

科目ナンバリング： UGH001
授業形態： 講義
科目名： 人生と哲学
担当教員： 相馬 宗胤(SOMA Munetane)

【授業の紹介】

哲学に魅力を感じる者もいれば、敬遠したくなる者もいると思います。哲学は人生に必要なものだと思感を持つ者もいれば、そんなものは自分には不要だと考える者もいると思います。そのような「哲学」とは一体何であり、「哲学」とは何をすることで、どう役に立つものなのでしょう。こういった問いについて考えていくことを通して、哲学をする経験を積むことが本授業科目のめざすところです。授業では、たとえば、哲学の定義、哲学的思考、哲学教育、哲学の歴史などのテーマに関する講義も行いますが、終盤は、自分たちで書いた哲学エッセイをもとに授業を進めていく予定です。

本授業科目は、課題の連絡や資料の共有にあたり、Webベースのサービス（たとえば、GoogleClassroomやSlackなど）を使用する予定です。具体的な使用方法は、第1回授業時に連絡します。

本授業科目は、授業課題を多く課す予定であり、かつ、課題を出すことで授業が成り立つように組み立てようと考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】

1. 哲学的思考の特徴を理解し、それを駆使しようとすることができる。
2. 授業で紹介された哲学の知（哲学史、哲学者の思想など）を理解する。
3. 哲学とは何かという問いに対して、自分なりの考え（答え）を述べることができる。

【成績の評価】

- ・ 授業後の課題の提出状況及びその質（60%）
- ・ 哲学エッセイ（40%）

提出されたエッセイについては、適宜フィードバックを行う。フィードバックにあたっては、Google Classroomを使用する。

【使用テキスト】

テキストは指定しません。授業資料は適宜配布します。

【参考文献】

- ・ 『概念と歴史がわかる 西洋哲学小事典』（生松敬三・木田元・伊東俊太郎・岩田靖夫編、筑摩書房、2011年）。
- ・ 『物語 哲学の歴史 自分と世界を考えるために』（伊藤邦武著、中央公論新社、2012年）
- ・ 『はじめての哲学的思考』（苫野一徳、筑摩書房、2017年）
- ・ 『思考の用語辞典 生きた哲学のために』（中山元著、筑摩書房、2007年）

その他、授業時に適宜紹介します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業の説明 / 哲学の対象	【授業後】提示された授業後の課題に取り組む（2時間）。	
2	学問体系としての哲学と実践としての哲学	【授業前】提示された授業前の課題に取り組む（2時間）。 【授業後】提示された授業後の課題に取り組む（2時間）。	
3	哲学の学び方	同上。	
4	哲学的思考の性質や方法 1 記号論的アプローチ	同上。	
5	哲学的思考の性質や方法 2 比喻によるアプローチ	同上。	
6	哲学的思考の性質や方法 3 対話によるアプローチ	同上。	
7	哲学の具体例 1 古代の哲学	同上。	
8	哲学の具体例 2 中世、近代の哲学	同上。	
9	哲学の具体例 3 現代の哲学	同上。	
10	哲学エッセイという方法	同上。	
11	哲学の実践 1 哲学エッセイの題材を考える	同上。	
12	哲学の実践 2 哲学エッセイのためのアイデアを集める	同上。	
13	哲学の実践 3 哲学エッセイの論証構造を検討する	同上。	
14	哲学の実践 4 哲学エッセイの第一ドラフトを検討する	同上。	
15	授業全体の振り返り	【授業前】提示された授業前の課題に取り組む（2時間）。 【授業後】提示された授業後の課題に取り組む（2時間）。また、哲学エッセイを完成させる（2時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGS002
授業形態： 講義
科目名： 日本国憲法
担当教員： 金子 匡良(KANEKO Masayoshi)

【授業の紹介】

この授業では、日本国憲法の土台をなす立憲主義およびそれを生み出した歴史的背景について理解した上で、日本国憲法の構造および主要な規定内容について学んでいく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】

この授業は、以下の事項を修得することを目標とする。
憲法の土台をなす立憲主義の内容について理解し、それを説明することができる。
立憲主義が誕生した歴史的背景と立憲主義の変遷について理解し、それを説明することができる。
日本国憲法の制定経緯について理解し、それを説明することができる。
日本国憲法の構造および主要な規定内容について理解し、それを説明することができる。
憲法の知識を通じて現代社会の諸問題を分析することができる。

【成績の評価】

成績評価は、定期試験の点数に基づいて行う（100％）。試験後に試験内容についてフィードバックを行う。

【使用テキスト】

なし。毎回の授業時に配布するプリントに基づいて授業を進める。

【参考文献】

長谷部恭男(解説)『日本国憲法』（岩波文庫、2019年）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

国会議員政策担当秘書の実務経験がある。それを生かし、講義の中で憲法と現実政治との関連についても触れる。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	【憲法の意義と機能】 立憲主義の意義と憲法の規範構造について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
2	【憲法の歴史：近代憲法の成立】 近代憲法が成立した経緯について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
3	【憲法の歴史：近代憲法の変遷と現代憲法の成立】 近代憲法の変遷と現代憲法の成立について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
4	【日本国憲法の概要】 日本国憲法の全体構造と特徴について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
5	【国民主権】 国民主権の意義、およびその規範的意味について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
6	【天皇制】 象徴天皇制の概要と天皇の国事行為について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
7	【平和主義】 平和主義の意義と憲法9条に関する解釈・判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
8	【平等権】 平等権の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
9	【表現の自由】 表現の自由の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
10	【参政権】 参政権の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
11	【社会権】 社会権の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
12	【権力分立】 権力分立の意義およびその現代的変容について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
13	【違憲審査制】 違憲審査制の意義とその限界について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
14	【司法権の独立】 司法権の独立の意義とそれを脅かす要因につ	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	いて学ぶ。	復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
15	【授業のまとめ】 授業内容を振り返るとともに、試験を行った上でフィードバックを行う。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGI001
授業形態： 講義
科目名： 人権教育
担当教員： 金子 匡良(KANEKO Masayoshi)

【授業の紹介】

私たちは「人権」という言葉をよく耳にしますが、では「人権」とはいったい何なのかと問われると、うまく説明できない人が多いのではないのでしょうか。そこでこの授業では、まず人権とは何かについて説明していきます。次に、日常生活の中で起こりやすい差別問題を取りあげ、なぜ差別が起こるのか、差別をなくすために何が必要なのかを考えていきます。それに続けて、女性の人権や障害者の人権といった具体的なテーマを取り上げ、日本や世界にどのような人権問題があるのか考えます。また、日本に古くから存在する部落差別（同和問題）についても取り上げます。

この授業はGoogle Classroomを用いたオンライン授業で行います。受講者は毎週金曜日にアップロードされる授業のプリントを見ながら動画を視聴して、自己学習をした上で、1週間後までに課題を提出してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

人権の意味や役割を理解し、他人の権利や人格を尊重することができる。
様々な人権問題の内容や沿革を正しく理解し、自分なりの言葉で説明することができる。
現代社会を人権という観点から分析し、問題点を発見し、自分でその解決策を考案することができる。

【成績の評価】

成績評価は、毎回の課題の提出状況とその点数に基づいて行います（100％）。課題提出後に課題内容についてフィードバックを行います。なお、課題の提出回数が9回以下の場合は、成績評価の対象にならないので注意してください。

【使用テキスト】

アジア・太平洋人権情報センター（編）『人権ってなんだろう？』（解放出版社・2018年）

【参考文献】

適宜指示します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

国会議員政策担当秘書の実務経験があります。その経験を生かし、講義の中で現実政治と人権問題の関わりについても触れます。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	【人権の意味】 人権の定義と構成要素について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
2	【人権の内容と役割】 人権の具体的な権利内容とその機能について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
3	【平等と差別：平等の意義と種類】 平等の定義と種類について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
4	【平等と差別：差別の種類と解消方法】 差別の定義と種類、および差別の種類に応じた解消方法について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
5	【人権を守る仕組み】 人権救済の方法、および国内人権機関について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
6	【差別の構造と要因】 差別の構造とそれが生まれるメカニズムについて学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
7	【差別の解消方法】 差別の解消方法、特に偏見の低減方法について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
8	【女性の人権】 女性の人権の歴史と日本の女性の社会的地位について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
9	【女性の人権】 女性の人権の歴史と日本の女性の社会的地位について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
10	【女性の人権】 女性に対するDV、セクハラ、就労差別等について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
11	【女性の人権】 男女雇用機会均等法の内容と意義について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
12	【女性の人権】 男女雇用機会均等法成立までの経緯とそれに携わった関係者の努力について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
13	【部落差別】 部落差別の内容とその特徴、歴史的経緯について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
14	【部落差別】 部落差別の実態と課題について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
15	【ハンセン病元患者の人権】 ハンセン病問題の歴史的経緯と残された課題について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UG0301

授業形態： 講義

科目名： 総合科目

担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro), 糸目 真也(ITOME Shinya)

【授業の紹介】

現代の企業経営を、地域、産業、社会の立場で、深くかつ広い視野から探求するため、学外の権威ある指導者から企業経営観、企業文化論あるいは専門分野の先端情報等のテーマを中心に講義を願い、近代経営のあり方を考えます。講師陣の豊富な人生経験に触れることにより幅広い教養に裏付けられた知識や能力を身に付け、地域社会の中での自身の役割や係わりについて学習します。

本講義は、経営・情報・会計などの知識を、組織においてどの様に活用しているか、グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通して貢献しているかなどを、講師陣の体験談を交え聴講することが出来ます。

特にこの授業は実社会でも、また講演会でもなかなかお目にかかれない、各界トップの講師陣が直接皆さんに語りかける講座で、本学特有のスペシャルメニューです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】

1. 講師陣のお話を聞き、社会人としての豊かな人間性を高めることができる。
2. 講師陣の経営観や人生観などを吸収し、多様な考え方を取入れることができる。

【成績の評価】

随時課するレポートにより100%評価します。提出物は、評価して返却することでフィードバックします。

【使用テキスト】

ありません。

【参考文献】

必要の都度、指示します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、毎回の講師の方との意見交換なども交えながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 以下の「授業計画」は前年度の実績であり、今年度は決まり次第連絡する。		担当：蓮井 明博 担当：糸目 信也
2	高松丸亀街商店街振興組合 理事長 古川 康造 氏 持続可能な社会の構築～丸亀町商店街を題材に	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井 明博 担当：糸目 信也
3	特定非営利活動法人わははネット 理事長 中橋 恵美子 氏 「社会を変える」を仕事に	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井 明博 担当：糸目 信也
4	日本銀行高松支店 支店長 高田 英樹 氏 日本銀行の仕事とお金の話	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井 明博 担当：糸目 信也
5	株式会社香川銀行 代表取締役専務 近石 政義 氏 地域経済の課題と当行の取り組み	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井 明博 担当：糸目 信也
6	ジェトロ香川 地域統括センター長（四国） 石原 孝志 氏 世界と私たち	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井 明博 担当：糸目 信也
7	高松琴平電気鉄道株式会社 代表取締役社長 眞鍋 康正 氏	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井 明博 担当：糸目 信也
8	内閣府公正取引委員会事務総局 四国支所長 福田 秀一郎 氏 公共交通と街づくり	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井 明博 担当：糸目 信也
9	香川県教育委員会 教育次長 三好 健浩 氏 「教師」という職業	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井 明博 担当：糸目 信也

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
10	四国旅客鉄道株式会社 相談役 泉 雅文 氏 四国新幹線って要るの？	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井 明博 担当：糸目 信也
11	公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー 理事長 佐野 正 氏 出合い・夢・挑戦	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井 明博 担当：糸目 信也
12	香川証券株式会社 代表取締役社長 中條 博之 氏 証券会社の役割りと今後求められる人材	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井 明博 担当：糸目 信也
13	丸善工業株式会社 代表取締役会長 三谷 朋幹 氏 これまでの日本 これからの日本	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井 明博 担当：糸目 信也
14	香川経済同友会 代表幹事 佐藤 哲也 氏 ～夢とロマンと冗談と～四国なんでも88箇所巡礼	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井 明博 担当：糸目 信也
15	株式会社百十四銀行 代表取締役副頭取 香川 亮平 氏 金融の基礎知識と地方銀行の役割	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	担当：蓮井 明博 担当：糸目 信也
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGH002
授業形態： 講義
科目名： 芸術文化
担当教員： 辻野 栄一(TSUJINO Eiichi)

【授業の紹介】

文芸、音楽、美術、演劇、舞踊、映画、アニメーション、漫画等の芸術文化は、人間の感性を豊かにする知的で創造的な活動です。また、人間が人間らしく生きるための糧ともなり、社会全体が活性化できる大きな力にもなります。本授業では、西洋美術史・日本美術史を中心として、歴史を辿りながら多くの芸術作品を図版や映像で鑑賞します。時代背景を学びながら、その時代の美術・文化の特徴についてレポート提出があります。

なお、学生への連絡等は、Google Classroomを通じて行います。クラスコードは、p6qm4y6です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】

- 1．美術の歴史や流れの中に継承された伝統がどのように取り込まれ、形として表れているかを理解することができる。
- 2．美術作品に対して作者との心の交流を深め価値を見出したりすることができる。
- 3．作品を鑑賞して自分に語りかけ自己の感じ方を学ぶことができる。
- 4．様々な美術作品を鑑賞することで表現方法や技法を学ぶことができる。

【成績の評価】

各授業で講義内容についてのレポート提出があります。
レポート提出（80％）、授業態度・意欲（20％）で評価します。
提出されたレポートに対して、次の授業で講評することでフィードバックします。

【使用テキスト】

『いちばん親切的な西洋美術史』（池上英洋他 著、新生出版社、2016年）

【参考文献】

『すぐわかる日本の美術 改訂版』（田中 日佐夫 監修、東京美術、2009年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、芸術と芸術文化の意義 「洞窟壁画」	予習として、テキスト全体に目を通しておくこと。そして、高校以前の世界史で出てきたラスコーやアルタミラの洞窟壁画をインターネット等で検索して、なぜクロマニヨン人は、後期旧石器時代に真っ暗な洞窟の壁面に数多くの絵を描き残したのか考え、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（3時間） 復習として、授業で説明した内容を自分なりにまとめて他者に説明できるようにしておくこと。（1時間）	
2	西洋美術（エジプト・メソポタミア文明） 「ツタンカーメン王のマスク」他	予習として、テキストの20～25ページを読み込み、またインターネット等で検索して、古代4大文明の中で特にメソポタミア文明、エジプト文明についてどのような文明であったかを理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介したメソポタミア文明、エジプト文明で作られた彫刻や絵などの美術品の特徴について、他者に説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
3	西洋美術（エーゲ・ギリシャ・ローマ文明） 「ミロのビーナス」他	予習として、テキストの26～43ページを読み込み、またインターネット等で検索して地中海沿岸で花開いたそれぞれの文明の特徴について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した建造物や彫刻等の中で特に古代ギリシャで大きく様式が変わった3つの期に作られた彫刻等の様式の特徴について、他者に説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
4	西洋美術（ルネサンス） 「モナ・リザ」ダ・ビンチ 他	予習として、テキストの44～93ページを読み込み、またインターネット等で検索して、3世紀頃から14世紀に花開いた文化運動のルネサンスまでの時代の流れや特徴について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した建造物や彫刻、絵画等の中で特にルネサンスで活躍した作家、作品について説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
5	西洋美術（北方ルネサンス・バロック・ロココ） 「真珠の耳飾りの少女」フェルメール 他	予習として、テキストの94～139ページを読み込み、またインターネット等で検索して、その時代背景や美術の特徴について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画等の中で特に北方ルネサンス、バロック美術の特徴と活躍した作家、作品について説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
6	西洋美術（新古典主義・ロマン主義・印象派） 「印象・日の出」モネ 他	予習として、テキストの140～179ページを読み込み、またインターネット等で検索して、その時代背景や美術の特徴について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画等の中で特に印象派の特徴や印象派に属する作家・作品について説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
7	西洋美術（世紀末美術） 「ユディット」クリムト 他	予習として、テキストの180～199ページを読み込み、またインターネット等で検索して、その時代背景や美術の特徴について理解して	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		おくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画、彫刻、工芸、建築等の中で特にアール・ヌーヴォーとアール・デコのそれぞれの特徴や違いについて、説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
8	西洋美術（近代美術） 「アヴィニヨンの娘たち」ピカソ他	予習として、テキストの200～215ページを読み込み、またインターネット等で検索して、その時代背景や美術の特徴について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画、彫刻等の中で特に近代美術の考え方やそれぞれの作家と作品について特徴や考え方を説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
9	日本美術（縄文～天平時代） 「法隆寺金堂釈迦三尊像」他	予習として、日本の美術の中で縄文時代から天平時代についてインターネット等で検索して、それぞれの文化、そこから生み出された美術作品について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した出土品、絵画、彫刻、工芸等の中で特に1万年以上続いた縄文時代について、世界に類を見ない1万年以上も続いた時代の生活や出土した土器等の特徴について、説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
10	日本美術（平安～鎌倉時代） 「金剛力士像」運慶 他	予習として、平安時代から鎌倉時代についてインターネット等で検索して、それぞれの文化、そこから生み出された美術作品について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画、彫刻、工芸等の中で特に平安時代に発達した日本独自の絵画である大和絵の特徴的な表現技法について説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
11	日本美術（室町～江戸時代初期） 「唐獅子図」狩野永徳 他	予習として、室町時代から江戸時代初期についてインターネット等で検索して、それぞれの文化、そこから生み出された美術作品について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画、彫刻、工芸等の中で特にその時代に活躍した絵画の流派である土佐派、狩野派、琳派のそれぞれの特徴と代表とされる画家について説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
12	日本美術（江戸中期～江戸後期） 「富嶽三十六景」葛飾北斎 他	予習として、江戸時代中期から江戸時代後期についてインターネット等で検索して、それぞれの文化、そこから生み出された美術作品について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画等の中で特に元禄文化の美術、化政文化の美術について、それぞれそれぞれの特徴と代表とされる画家について説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
13	日本美術（明治～昭和初期） 「霊峰飛鶴」横山大観 他	予習として、明治時代から昭和初期についてインターネット等で検索して、それぞれの文化、そこから生み出された美術作品について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画、彫刻等の中で特に明治の美術、大正の美術について、それぞれそれぞれの特徴と代表とされる画家について説明できるように自分なりにまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		て記載しておくこと。（2時間）	
14	現代美術 ナンバー1」ジャクソン・ポロック他	予習として、テキストの216～218ページを読み込み、またインターネット等で検索して、その時代背景や美術の特徴について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画、彫刻等の中で特に戦後多様化していった現代美術の考え方やそれぞれの作家と作品の特徴や考え方について、説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
15	西洋・日本美術以外の美術 アフリカ大陸、中国、オセアニア、南アメリカ大陸の美術他	予習として、インターネット等で検索して、これまで紹介した西洋美術、日本美術以外の世界で発展した文明、文化から生み出された美術作品について理解しておくこと。（2時間） 復習として、授業で紹介した絵画、彫刻、工芸等の中でそれぞれの地域・文化の特徴や違いについて、説明できるように自分なりにまとめて記載しておくこと。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UG0001

授業形態： 講義

科目名： うどん学

担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi)

【授業の紹介】

香川県では、半夏の日にうどんを食べる習慣があるそうです。お祝にもうどんはつきものです。サラリーマンは昼食の多くをうどん屋で食べ、一人あたりのうどんの消費量も日本一です。近年香川県をうどん県と名うち全国に情報発信するようになり、香川県におけるうどんの認知度は益々上がる一方です。うどん県ならではの授業として、うどん学を開講し、うどんの歴史、製法、材料、販売など様々な角度からうどんを学習していきます。そして、うどんを通して、地域の文化や産業、観光などの観点から、うどんの特徴や今後の課題について学んでいきます。

また、調理実習時では、白衣またはエプロン・三角巾の着用が必要です。また、材料費を徴収します。なお、材料費は受講している全員から徴収します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】

うどんの文化、地理、歴史、経営商学に至る様々な角度からうどんについて考えるみることができる。
うどんの特徴が説明でき、うどん打ちをすることができる。
うどんを統計的に分析することにより、うどんを定量的に見ることができるようになる。この様な経験を基に、地域の課題に気づいて解決することができる。

【成績の評価】

授業内レポート(20%)、課題レポート(50%)、定期試験(30%)の評価を行う。
授業内レポート、課題レポート等は添削して返却します。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

必要に応じて、その都度指定する。
たとえば、うどん統計データであれば、香川県のホームページを参照するなど

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	うどんとは	授業で示された課題を解く（4時間）	
2	うどんの歴史	授業で示された課題を解く（4時間）	
3	うどんを広めた人々	授業で示された課題を解く（4時間）	
4	全国のうどん地図	うどん店の調査（4時間）	
5	うどん店を調査する	うどんと行事の調査（4時間）	
6	うどんと祭事、行事	授業で示された課題を解く（4時間）	
7	さぬきにうどん屋が多いわけ	授業で示された課題を解く（4時間）	
8	小麦とうどん	授業で示された課題を解く（4時間）	
9	うどんとだし、薬味	授業で示された課題を解く（4時間）	
10	うどんの消費と動向	授業で示された課題を解く（4時間）	
11	うどんを打つ	授業で示された課題を解く（4時間）	
12	うどんを食べる	授業で示された課題を解く（4時間）	
13	うどんと文学、うどんと経済学	授業で示された課題を解く（4時間）	
14	うどんと音楽、映画	授業で示された課題を解く（4時間）	
15	うどんと香川	授業で示された課題を解く（4時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UG0102
授業形態： 講義
科目名： 香川学【経】
担当教員： 西岡 達哉(NISHIOKA Tatsuya)

【授業の紹介】

授業の趣旨は、香川県の地理、歴史、人物、文化芸術などを教材として、香川県で生まれたこと、香川県で育ったこと、香川県で学んでいること、これから香川県で暮らし続けることなどの意味について理解させるとともに、職業人として必須の香川県に関する深層的な知識を身に付けさせることです。

まずは、香川県の特徴ある風土や、香川県人の優れた知恵や技術、日本の歴史における香川県の位置などについての「気付き」の機会をつくります。

そして、個々の事象について深く教授することにより、学生自らが将来にわたってこれらを継承するために必要な感性や創造・企画力などを育成していきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

1. 現代人の暮らしが先人の知恵や工夫によってかたちづけられていることを知ることができる。
2. 香川県の風土や人々の知恵や技術などが全国に誇れるものであることを知ることができる。
3. 将来の職業人として、香川県出身であることや香川県で働くことに大いなる意義を実感するとともに、香川県らしさを発揮した創意や工夫が生まれる素質を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業における発表（10%）、授業におけるレポート（10%）、定期試験（80%）
成績の評価については、個人面談などを行うことにより口頭でフィードバックを行う。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

1. 大学的香川ガイド（守田逸人編、昭和堂、2022年）
2. 忘れられた日本人（宮本常一著、岩波文庫、1984年）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

教育委員会における文化財保護や文化財調査、博物館及び美術館における文化芸術活動などの経験を活かして、香川県の気候、地形、人物、産業、美術工芸、建築、交通、歴史上の出来事などについて、具体的な事例を紹介します。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（授業の趣旨や計画などの説明） 香川の気候・地形1（内海と島、阿讃山脈とメサとビュート）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）	
2	香川の地形2（扇状地、川、出水、ため池）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）	
3	香川の人1（空海から松平頼重まで）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）	
4	香川の人2（大久保謙之丞から大平正芳まで）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）	
5	香川の産業1（第1次産業の歴史的及び文化的特徴）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）	
6	香川の産業2（第2次産業の歴史的及び文化的特徴）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）	
7	香川の産業3（第3次産業の歴史的及び文化的特徴）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	香川の美術工芸1（美術）	<p>居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間）</p> <p>香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）</p>	
9	香川の美術工芸2（工芸）	<p>居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間）</p> <p>香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）</p>	
10	香川の建築1（古建築）	<p>居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間）</p> <p>香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）</p>	
11	香川の建築2（モダニズム建築）	<p>居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間）</p> <p>香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）</p>	
12	香川の交通1（瀬戸大橋架橋以前）	<p>居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間）</p> <p>香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）</p>	
13	香川の交通2（瀬戸大橋架橋以降）	<p>居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間）</p> <p>香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）</p>	
14	日本史における香川の重大事件1 （崇徳院配流、源平合戦以前）	<p>居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間）</p> <p>香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	日本史における香川の重大事件 2 (細川氏による支配以降)	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。(2時間) 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UG0002
授業形態： 演習
科目名： 香川学演習
担当教員： 西岡 達哉(NISHIOKA Tatsuya)

【授業の紹介】

香川県には、長い歴史に培われた秀逸な「遺産」が多数現存します。これらには、国宝や重要文化財などの著名な物件とともに、地方の小コミュニティなどによって大切に保護されてきた無名の物件も数多く含まれています。

この授業の趣旨は、全学共通科目の「香川学」の趣旨を理解するとともに、学生自らが身近な物件に気づき、学生自身の五感を駆使することによって、香川県の隠された魅力を体感、体得することです。

授業の方法は、学生に対して居住地や通学路などの日常の生活圏に存在する地形、植生、動物相、遺跡、神社、寺院、祠、古民家、コンクリート建造物、墓地、石造物、記念碑、美術工芸品、文学作品、人物、祭礼、行事などのさまざまな物件についての調査研究を課し、調査報告書の作成を求めます。

調査研究の対象物件の選択は学生個々の自由裁量としますが、調査研究の過程において物件の種類別にディスカッションを行い、学生相互に影響し合う機会を設けます。

さらに学生に対しては、身近な祭礼や行事などへの積極的な参加を促します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

1. 学生個々の生活圏において継承すべき「遺産」の存在に気付くことができる。
2. 香川県における学生個々の生活圏の存在意義を知ることができる。
3. ふるさとに対する興味や関心を涵養することができる。
4. 社会貢献に対する情熱を醸成することができる。

【成績の評価】

調査研究の内容（25％）、口頭報告の内容（25％）、調査報告書の内容（50％）

成績の評価については、調査研究報告書に基づき、個人面談などを行うことにより口頭でフィードバックを行う。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

1. 考現学入門（今和次郎著、ちくま文庫、1987年）
2. 超芸術トマソン（赤瀬川原平編、ちくま文庫、1987年）
3. 路上観察学入門（赤瀬川原平・南伸坊・藤森照信著、ちくま文庫、1986年）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

教育委員会における文化財保護や文化財調査、博物館及び美術館における文化芸術活動などの経験を活かして、香川県の気候、地形、人物、産業、美術工芸、建築、交通、歴史上の出来事などについて、具体的な事例を紹介します。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業の趣旨についての説明	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておく必要があります。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
2	香川県における「遺産」の現況についての解説	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておく必要があります。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
3	調査研究の方法についての説明	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておく必要があります。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含ま</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>れていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
4	<p>学生による調査研究の対象物件についての検討</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
5	<p>学生による調査研究の対象物件についての報告・ディスカッション1</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
6	<p>学生による調査研究の対象物件についての報告・ディスカッション2</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
7	<p>学生による自主的な調査研究 1 地形</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
8	<p>学生による自主的な調査研究 2 植生</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
9	<p>学生による自主的な調査研究 3 動物相</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
10	<p>学生による自主的な調査研究 4 遺跡</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
11	<p>学生による調査研究についての経過報告 1 地形～遺跡</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
12	<p>学生による自主的な調査研究 5 神社</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
13	<p>学生による自主的な調査研究 6 寺院</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
14	<p>学生による自主的な調査研究 7 祠</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
15	<p>学生による自主的な調査研究 8 古民家</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
16	<p>学生による調査研究についての経過報告 2 神社～古民家</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
17	<p>学生による自主的な調査研究 9 コンクリート建造物</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておく必要があります。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
18	<p>学生による自主的な調査研究10 墓地</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておく必要があります。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
19	<p>学生による自主的な調査研究11 石造物</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておく必要があります。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてく</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>ださい。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
20	<p>学生による自主的な調査研究12 記念碑</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておく必要があります。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
21	<p>学生による調査研究についての経過報告3 コンクリート建造物～記念碑</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておく必要があります。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。 さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。 実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
22	<p>学生による自主的な調査研究13 美術工芸品</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。 調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておく必要があります。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。 次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
23	<p>学生による自主的な調査研究14 文学作品</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
24	<p>学生による自主的な調査研究15 人物</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
25	<p>学生による自主的な調査研究16 祭礼</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。こ</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>の計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
26	<p>学生による調査研究についての経過報告 4 美術工芸品～祭礼</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
27	<p>学生による自主的な調査研究17 行事</p>	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		モとして保存しておいてください。	
28	学生による自主的な調査研究18 その他	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
29	学生による調査研究についての経過報告5 行事～その他	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手することに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
30	調査報告書の作成	<p>この授業において最も重要な学習は、授業時間外における調査研究です。</p> <p>調査研究を行うためには、まず「何について」「どのような手順で」「どのような方法で」「何を準備して」実施するのか事前に詳しく計画を立案しておくことが必要です。この計画づくりのために十分な学習時間を確保してください。（1時間）わからないことは授業においてしっかり質問して疑問を払しょくするように心がけてください。</p> <p>次に現地調査を行う際には、物件そのものを調査することはもちろんのこととして、少しその周囲にも視野を広げて観察してみてください。</p> <p>さらに、積極的に物件周囲の住民などと会話することにより、埋もれた情報を入手する</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>ことに努めてください。文字や写真などに表現されていない情報の中に貴重な情報が含まれていることが多くあります。</p> <p>実施した調査研究の具体的な内容や、入手した情報などについては、可能な限り記憶が鮮明なうちに調査報告書にまとめておいてください。（1時間）決してキレイにまとめようとするのではなく、まずはありのままのメモとして保存しておいてください。</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGH003
授業形態： 講義
科目名： 歴史
担当教員： 溝渕 利博(MIZOBUCHI Toshihiro)

【授業の紹介】

グローバル化が進展する中、今、「日本とは何か」が問われています。日本人一人ひとりへの問いかけがなされています。「過去を知らなければ、未来を語ることはできない」とよく言われます。未来は、過去を振り返ることによってのみ明らかになってきます。日本には先人が生み育ててきた長い文化の歴史があり、この授業科目は、文化史の視点に立って改めて日本の歴史を振り返り、日本文化の特質とその歴史的な性格について学び理解することができます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

1. 日本の身近な文化財や伝統文化を通して、それらが生まれてきた風土や歴史的背景を理解できる。
2. 日本や日本文化に対する関心を高め、歴史的なものの見方や考え方を習得できる。
3. 新たな時代に相応しい日本文化を創造していく力を身に付けることができる。
4. 日本の文化の成り立ちや特色について関心を高めるとともに、自らの郷土や国家の歴史・文化及び先人の努力等について理解を深めることができる。

【成績の評価】

授業への参加意欲や受講態度を重視するとともに、質問事項への応答内容・主体的な学習状況の度合い等（10%）に加え、毎授業後に提出のリフレクションペーパー（10%）、ユニットごとの小テスト（20%）及び学修ノート（20%）・レポート（40%）の成績を総合して評価する。小テストについては、その都度、模範解答を示して講評し、授業時に返却してフィードバックする。遅刻5回で欠席1回とみなします。

【使用テキスト】

尾藤正英著『日本文化の歴史』（岩波新書、2000年）

【参考文献】

家永三郎『日本文化史（第二版）』（岩波新書、1982年）佐々木高明著『日本文化の多重構造』（小学館、1997年）阿部猛・西垣晴次編『日本文化史ハンドブック』（東京堂出版、2002年）村井康彦著『日本の文化』（岩波ジュニア新書、2002年）大久保喬樹著『日本文化論の系譜』（中央新書、2003年）遠山淳他編『日本文化論キーワード』（有斐閣、2009年）ほか、必要に応じて授業の中で適宜紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・文化史とは何か。	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
2	日本文化の源流（P.1～P.14）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
3	古代国家の形成と日本神話（P.15～P.39）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
4	仏教の受容とその発展（P.41～P.54）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
5	漢風文化から国風文化へ（P.55～P.72）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
6	第1回～第5回までの範囲に関する小テスト（基礎知識と小論文）。平安時代の仏教文化（P.73～P.83）	第1回～第5回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
7	鎌倉仏教文化の成立（P.85～P.110）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
8	内乱期の文化（P.111～P.124）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
9	国民的宗教の成立（P.125～P.136）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
10	近世国家の成立と歴史思想（P.137～P.156）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
11	第6回～第10回までの範囲に関する小テスト（基礎知識と小論文）。元禄文化（P.157～P.173）	第6回～第10回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
12	儒学の日本的展開（P.175～P.185）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
13	国学と洋学・明治維新における公論尊重の理念（P.187～P.212）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
14	近代日本における西洋化と伝統文化（P.213～P.229）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
15	第11回～第14回までの範囲に関する小テスト（基礎知識と小論文）。これまでの授業のまとめと質疑応答～日本文化史から日本文化論へ～	第11回～第14回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。復習として、これまでの授業内容を踏まえて、日本文化史について自ら研究したことを「研究レポート」にまとめて提出すること。（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGH004
授業形態： 講義
科目名： 地理
担当教員： 溝渕 利博(MIZOBUCHI Toshihiro)

【授業の紹介】

地理学 (geography) は空間的な視点から地表上の諸事象についてその実態や要因を研究する学問で、geo (土地) を graphia (記述する) という語源に発しています。世界遺産は地球の生成や人類の歴史によって生み出された貴重な財産で、地理学の絶好な教科書でもある。現在では地球環境保護への関心が高まり、自然や景観の価値が見直されています。この授業科目は、人類共通の至宝である世界遺産等の学習を通して、世界の自然や民族・文化等の多様性や世界平和・地球環境保護に関する認識を深めます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904 ~ 202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904 ~ 202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

1. 世界遺産等の学習を通して、世界の自然や民族・文化等の多様性を理解できる。
2. 世界の国や地域に関する知識を広めるとともに、地理学的空間認識能力を高めることができる。
3. 世界平和や持続可能な地球環境保護に関する意識を高め、地理学に関する幅広い知見を身に付けることができる。
4. 地理学を中心に地質学、生態学、文化人類学、環境学、国際関係学等を総合的学際的に学ぶことができ、広い視野と幅広い知識を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業への参加意欲や受講態度を重視するとともに、質問事項への応答内容・主体的な学習状況の度合い等 (10%) に加え、毎授業後に提出のリフレクションペーパー (10%)、ユニットごと的小テスト (20%) 及び学修ノート (20%) ・レポート (40%) の成績を総合して評価する。小テストについては、その都度、模範解答を示して講評し、授業時に返却してフィードバックする。遅刻5回で欠席1回とみなします。

【使用テキスト】

NPO法人世界遺産アカデミー監修『きほんを学ぶ世界遺産100 世界遺産検定3級公式テキスト 第4版』(NPO法人世界遺産アカデミー、2023年3月19日発行)。世界の気候や風土を確認するため、手持ちの地図帳を持参すること。

【参考文献】

奈良大学文学部世界遺産を考える会編『世界遺産学を学ぶ人のために』(世界思想社、2000年) 愛川フォーール紀子監修・古田陽久・古田真美著『世界遺産入門ーユネスコから世界を学ぶー』(シンクタンクせとち総合研究機構、2007年) 安江則子編『世界遺産学への招待』(法律文化社、2011年) 古田陽久著『世界遺産ガイド ユネスコ遺産の基礎知識 2024改訂版』(シンクタンクせとち総合研究機構、2022年) ほか、必要に応じて授業の中で適宜紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、地理学と世界遺産、地域別世界遺産地図（P.1～.10）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
2	地理BASICテスト。世界遺産とは、世界遺産条約、世界遺産登録、世界遺産委員会、世界遺産の概念（P.11～P.18）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
3	地理BASICテスト。ユネスコ、世界遺産と日本、世界遺産と観光、無形文化遺産/世界の記憶、グラフと数字でみる世界遺産、世界遺産登録基準（P.19～P.24）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
4	地理BASICテスト。日本の世界遺産、食物連鎖、定住の始まり、隆起を続ける山地、平和を希求、墓所、絹産業、固有の生態系（P.25～P.39）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
5	地理BASICテスト。近代建築、信仰の山、伝統的集落、古都と激動の歴史、時代を代表する都、文化交流、道の遺産（P.40～P.53）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
6	第1回～第5回までの範囲に関する小テスト（基礎知識と小論文）。古墳群、都市と城郭建築、銀鉱山関連の産業遺産、海に囲まれた遺産、第二次世界大戦の傷跡、産業革命（P.54～P.65）	第1回～第5回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
7	地理BASICテスト。信仰の島、アジア諸国へのキリスト教の広がり、植物の垂直分布、固有種、交易都市、日本の暫定リスト（P.66～P.78）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
8	地理BASICテスト。人類の誕生と古代文明、巨石文明、地中海世界の形成（オリエント、エジプト、ギリシャ）、ローマ帝国（P.79～P.92）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
9	地理BASICテスト。アジア世界の形成と宗教、中華文明の形成、東南・中央アジア世界の形成、仏教、イスラム教、世界三大宗教（P.93～P.110）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
10	地理BASICテスト。ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代、西ヨーロッパ世界の成立、産業と都市、レコンキスタと十字軍、宗教分裂、宗教改革、ルネサンス、海洋都市国家と大航海時代、東ヨーロッパ世界（P.111～P.124）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
11	第6回～第10回までの範囲に関する小テスト（基礎知識と小論文）。アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動、アメリカ大陸の文明、東アジアの変動、アフリカの諸王朝、オセアニア（P.125～P.134）	第6回～第10回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
12	地理BASICテスト。近代国家の成立と世界の近代化、絶対王政、啓蒙専制君主、周辺主権国家、ウィーン体制、産業革命、南北アメリカの独立、産業革命と新素材/建築様式のまとめ（P.135～P.146）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
13	地理BASICテスト。テーマでみる世界遺産、文化的景観、戦争・紛争、危機遺産、負の遺産、探究学習の手引き（P.147～P.164）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
14	地理BASICテスト。世界の自然遺産、地球の歴史、火山、評価とフィヨルド、滝、海洋と湖、生物多様性、絶滅危惧種（P.165～P.179）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べて学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
15	世界遺産検定小テストに挑戦。これまでの授業のまとめと質疑応答～世界の自然や文化の多様性を学ぶことの意義～	第11回～第14回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。世界遺産を白地図に記入した「世界遺産地図」の完成品を提出すること。（2時間）復習として、これまでの授業内容を踏まえて、世界遺産の現状と今後の課題等について自ら研究したことを「研究レポート」にまとめて提出すること。（4時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGS004

授業形態： 講義

科目名： 暮らしと経済

担当教員： 高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

私たちは日々、生活者として経済活動を行っています。そして、その暮らしの中で、社会・経済に関する様々なニュースに触れています。そこで、本講義では、暮らしの中の身近なトピックスを概観するとともに、そのトピックスを「自分事」として捉えることで、自分と地域社会とのつながりを見出し、社会の一員であるとの自覚を促します。また、自らのライフプランを考えることで、計画性をもって生活すること、社会・経済に関する情報や知識を得ることの重要性について学びを深めます。受講生の皆さんには、受講の意思を固めたなら、その意思を最後まで貫く努力をすることを求めます。なお、この授業科目は、上級情報処理士、上級ビジネス実務士取得のための選択科目に該当します。また、授業は原則対面で実施します。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。Google Classroomのクラスコードは「owdivae」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

1. 日本における社会・経済の課題への関心を深め、自分の考えを述べることができる。
2. 個人の暮らしが日本国内だけでなくグローバルな経済とつながっていることが理解できる。
3. 自らのライフプランを考えるとともに、そのプランを実現させるためには、社会人基礎力の育成が必要であることが理解できる。

【成績の評価】

評価項目は、授業態度（10%）、課題（50%）、前期末筆記試験（40%）とする。受講生には、他の受講生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。さらに、授業の内容について理解を深めるような積極的な発問、回答の内容については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。なお、各評価項目や配点の詳細は、第1回のガイダンスで連絡する。前期末筆記試験終了後、模範解答を研究室外に掲示する。

【使用テキスト】

なし。プリントを随時配布する。

【参考文献】

川廷昌弘著『未来をつくる道具 わたしたちのSDGs』ナツメ社、2020年。
河口 真理子著『SDGsで「変わる経済」と「新たな暮らし」』生産性出版、2020年。
折笠和文他著『日本経済の基本問題 事例で学ぶ教養経済』実教出版株式会社、2001年。
大江英樹著『知らないと損する 経済おかねの超基本 1年生』東洋経済新報社、2016年。
池上彰著『政治と経済のしくみがわかるおとな事典』講談社、2012年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス Google Classroomへの参加 (クラスコード owdivae)	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課題を丁寧に仕上げ、期日までに提出すること（4時間）。	
2	SDGs SDGsの概要	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。	
3	SDGs 2030アジェンダ	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課題を丁寧に仕上げ、期日までに提出すること（4時間）。	
4	SDGs SDGsの達成状況	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。	
5	SDGs 消費者・生活者とSDGs（食品ロス）第	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。	
6	SDGs 消費者・生活者とSDGs（エシカル消費・海洋汚染）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課題を丁寧に仕上げ、期日までに提出すること（4時間）。	
7	SDGs 企業とSDGs（ジェンダーを含む）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。	
8	ライフプランを考える	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。	
9	国家財政 令和6年度国家予算	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
10	国家財政 危機的な財政状況	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。	
11	国家財政 高松税務署による「租税教室」	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課題を丁寧に仕上げ、期日までに提出すること（4時間）。	
12	社会保障 社会保障の役割	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。	
13	社会保障 公的年金	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。	
14	香川労働局による講話 - 「働くこと」と労働法（仮題） -	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課題を丁寧に仕上げ、期日までに提出すること（4時間）。	
15	これまでの講義についてのまとめ（学習した重要項目の確認）と質疑応答	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UGN001
授業形態： 講義
科目名： 人間と環境
担当教員： 西本 真(NISHIMOTO Makoto)

【授業の紹介】

現在世界中が気候変動問題について対策を取っていく中、日本でも脱炭素社会の実現に向けて2050年に温室効果ガス排出0を目指す方針が打ち出されました。このことにより、環境に対する国民の関心は、年々高まっており、自然環境への配慮や保全等が強く求められています。

この授業では、地球環境問題の現状とその発生要因やメカニズムを理解し、今後の各個人の生活の在り方を考え、実践できる力と人に伝える力を養成するものです。

具体的には持続可能な開発目標「SDGs」を理解し、それぞれの専門分野の講師から自然環境や気候変動などと人間との関わり等について学び、自分の行動、特に環境への対策がどこに繋がりとどう広がっていくかを考え、脱炭素社会を目指した対策を取りながら持続可能な社会に向けた行動ができる力を習得するとともに、学んだことを伝える力を身に付けます。

また、質問等を随時受け付け授業中に回答します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

- (1) 人間と環境との関わり合いについて理解できる。
- (2) 持続可能な社会を実現するために、今、私たちが考えなければならないこと、しなければならないことについて、自分なりの見解を持ち、実践できる素養を身に付けるとともに人に伝える力を身につけることができる。
- (3) 授業は正しい解が教えられるものではなく、考える習慣や感性を身につけるものであることを理解し、実践することができる。

【成績の評価】

成績の評価は、各講義のあとの確認テストとレポート(30分以内で記入)を提出してもらいます。問題の回答とレポート内容60%、人に伝える資料内容(プレゼンテーション)30%、授業への参加状況(出席ではなくディスカッションへの参加状況、意見発表、質問など)10%とします。また、レポート・試験答案等は、希望する者に、返却します。
各授業に公社職員が同行し評価をします。

【使用テキスト】

無し

【参考文献】

・新しい環境学(環境問題の基礎知識をマスターする) 著者 鈴木孝弘

・IPCC第6次評価報告書統合報告書政策決定者向け要約他
<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ipcc/ar6/index.html>

その他適宜各講師により紹介

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業のガイダンス 授業の目的・内容・進め方、レポート及びプレゼンテーション等について	無し	（公財）香川県環境保全公社 地球温暖化防止コミュニケーター 西本 真
2	SDGs（持続可能な開発目標）について 社会の様々な課題（特に環境問題）とSDGsとの繋がりを理解し、持続可能な世界を築くために私たちがすべきことなどを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	SDGsコンサルタント 三村 寛
3	脱炭素社会に向けて国の動向等について 世界中で気候変動対策が実施される中、脱炭素社会に向けて日本が目指す方向性や具体策などを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	環境省中国四国環境事務所四国事務所職員
4	地球温暖化による気候変動について（香川県の気候について） 地球温暖化の基礎知識や香川県での気候について現在どのように変化が起きているかなど、気象庁の具体的なデータや事例をもとに学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	気象庁高松气象台職員
5	地球温暖化と生活防災について 地球の温暖化の影響はすでに日本でも起きている。地震だけでなく集中豪雨や台風といった気候変動による影響に私たちが備えるべきことを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	地球温暖化防止活動推進員・防災士 古井 秀樹
6	再生可能エネルギーの今とこれから 今後の脱化石燃料に向けたエネルギー源の転換を念頭に国内の電源構成や再生可能エネルギーの普及等について学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	経済産業省四国経済産業局エネルギー対策課職員
7	プラスチックごみと食品ロスの問題と対策について 近年問題になっているプラスチックごみやまだ食べられるのに捨てられている食品ロスを中心に香川県でのごみ対策について学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	香川県循環型社会推進課職員
8	エシカル消費について 地域の活性化や雇用なども含む、人や社会・環境に配慮した消費行動「倫理的消費（エシカル消費）」について学び自分のことだけでなく、自分以外の人や社会、環境のことを考える	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	地球温暖化防止活動推進員・消費生活アドバイザー 片山 仁子
9	地域を元気にする農業の取組みについて 地球温暖化で起きている農作物への影響を知ること、また生産者から消費者へ直接供給する産直などで地域を元気にする取組などを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	香川県農業協同組合中央会職員
10	自然環境と持続可能な地域社会について 県内で自然環境の保全に取り組む事例や自然保護に取組みながら持続可能な地域を目指す具体的な取り組みを学び地域活動を考える	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	森林インストラクター・農学博士 横山 昌太郎
11	省エネ住宅設備 身近でできる住まいの省エ	予習：事前配布した資料の確認（1時間）	地球温暖化防止活動

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	ネ 脱炭素社会に向けて切り離せない私たちの住まい、省エネ住宅（ZEH）や住宅設備の省エネ化及び家庭でできる取組みを学ぶ	復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	推進員・(株)LIXIL 釘宮 貴志
12	家電の今昔について ここ10年あまりで急激に技術開発されている家電、昔の家電とのエネルギー消費の違いや正しい家電の使い方が省エネにつながることを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	地球温暖化防止活動 推進員・省エネ普及 指導員 滝口 隆男
13	香川県での環境活動について 香川県地球温暖化防止活動推進センター及び地球温暖化防止活動推進員等が取り組んでいる活動の事例や普及啓発活動などを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	（公財）香川県環境 保全公社 地球温暖 化防止コミュニケー ター 西本 真
14	個人ワークまたはグループワーク（ディスカッション等） 第2～13回の講義テーマを1つ選択し個人もしくは各グループでプレゼンテーション（短時間で人に伝えられる）ができるように各テーマについて資料を作成する	予習：これまでの講義のふりかえり（4時間） 復習：伝えるための資料作成（10時間）	（公財）香川県環境 保全公社 地球温暖 化防止コミュニケー ター 西本 真
15	学生によるプレゼンテーション及び人間と環境まとめ 個人もしくは各グループ3分程度でプレゼンテーションを行い（人数により時間を変更します）全講座を通しての気づきや学びを振り返る	予習：伝えるための資料作成（10時間）	（公財）香川県環境 保全公社 地球温暖 化防止コミュニケー ター 西本 真
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGS001

授業形態： 演習

科目名： ボランティア

担当教員： 蓮井 孝夫(HASUI Takao), 山本 龍太郎(YAMAMOTO Ryutaro)

【授業の紹介】

この授業では、ボランティアの歴史や現状を学び、ボランティアとは何かについて考えていきます。そしてボランティア活動実施に当たり、活動の意義や社会的な役割などの基礎的知識を「ワークショップ・グループワーク」などのアクティブラーニングを通じ、対話的・主体的・実践的な深い学びをします。学外でのボランティア活動実施の準備として、ゲストスピーカーの体験談や様々な活動への情報提供・体験を行います。あわせて各種活動スキルを学びます。学外ボランティア活動を自主的に体験（必須）することは、多くの異世代の人たちと出会い、「対話と実践」を通じ、未来を開く心豊かな社会人の第一歩となるでしょう。積極的な活動参加を期待しています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

1. ボランティア活動を通じて、視野を広げることができる。
2. 様々な立場の人と接することで、コミュニケーション能力を向上させることができる。
3. ボランティア活動の実体験から、自らの新しい価値観が生み出され、身につけることができる。
4. 社会の構成員としての自覚を認識し、社会的課題解決に取り組めることができる。
5. 「自ら学び、自ら考え、自ら気づき、自ら表現し、自ら行動し、社会的課題を解決する資質や能力」を身につけることができる。

【成績の評価】

学外ボランティア活動・受講態度（約30%）、授業ふりかえり・レポート（約30%）、テスト（約40%）などで総合的に評価（添削し返却又は口頭によるフィードバックを行います）。

【使用テキスト】

使用テキストなし、随時授業資料・レジュメを配付（保存のこと）

【参考文献】

藤田久美編著「大学生のためのボランティア活動ハンドブック」（ふくろう出版）
岡本栄一・菅井直也・妻鹿ふみ子著「学生のためにボランティア論」（大阪ボランティア協会）
巡静一・早瀬昇著「基礎から学ぶボランティアの理論と実際」（中央出版）
ホールファミリーケア協会編「新傾聴ボランティアのすすめ」（三省堂）
堀公俊、加藤彰著「ワークショップデザイン（知をつむぐ対話の場づくり）」
「ワールドカフェをやるう」香取一昭大川恒その他

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

国際支援活動30年（ラオス国の教育支援）。現地に小学校13校建設に携わる。
自殺予防活動38年（相談員）。団体立ち上げと相談員として関わる。
朗読奉仕活動40年（朗読ボランティア養成等）視覚障害者へのCD「あじさい」制作（毎月）し全国発送。大島青松園自治会機関誌「青松」の朗読CD化。
ボランティア団体中間支援活動21年。市民ボランティア団体の活動を支援。
～等、現場でのボランティア経験を活かし、具体的な活動事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	「オリエンテーション」（ボランティア活動DVD視聴）	（予習）これまで体験したボランティア活動のふりかえろう。 （復習）レジュメを読み返そう。	授業ノートを持参しよう。 全てのレジュメを保存しよう。
2	「子ども食堂」活動紹介 （えびすハッピー子ども食堂）	（予習）県内の「子ども食堂」調べよう。 （復習）「フードバンク」の活動調べよう。	ボランティア活動として参加しよう。
3	「セカンド・ハンド」活動紹介 （事務局職員）	（予習）全国の「セカンドハンド」活動調べよう。 （復習）高松市内の「セカンドハンド」店舗を訪ねてみよう。	ボランティア活動として参加しよう。
4	「折紙」体験 （日本折紙協会香川県支部長）	（予習）図書館の本などで折紙について調べよう。 （復習）再度、折紙して見よう。	折紙は大学が準備します。 保育所・幼稚園実習に役立てよう。
5	「国際教育支援（ラオス）」活動紹介 （香川国際ボランティアセンター理事）	（予習）県内の国際支援団体を調べよう。 （復習）香川国際ボランティアセンターのH、Pをみよう。	ラオスの子どものためにノート、鉛筆、衣類など集めてみよう。
6	「自殺予防活動（電話相談）」活動紹介（香川いのちの電話元理事）	（予習）県内の自殺者数、自殺原因を調べよう。 （復習）レジュメを読み返そう。「傾聴・受容・共感」を意識して友人らと会話してみよう。	
7	「朗読ボランティア」活動体験 （高松朗読会顧問）	（予習）好きな本を声を出して読んでみよう。 （復習）授業で体験した朗読を、再度挑戦してみよう。	保育所・幼稚園実習に役立てよう。
8	「紙芝居」活動体験 （高松朗読会顧問）	（予習）図書館の紙芝居を、声を出して表現してみよう。 （復習）授業で体験した紙芝居を、再度挑戦してみよう。	保育所・幼稚園実習に役立てよう。また友人らと高齢者・障害者施設を訪問してみよう。
9	「SDGsゲーム」活動体験	（予習）SDGsについて調べてみよう。 （復習）SDGs 17項目で取り組める活動を調べてみよう	
10	「こどもミュージカル」活動紹介 （ほくとときみ・こどもミュージカル）	（予習）こどもの体験格差について調べてみよう。 （復習）こどもの体験格差について、自分が出来る事を考えよう。	保育所・幼稚園実習に役立てよう。
11	「ひろしまの原爆体験」取材活動紹介 （西日本放送取材者）	（予習）原爆・戦争被害の写真を見てみよう。 。祖父母に体験を聞いてみよう。 （復習）あなたが戦争・平和について何ができるか考えてみよう。	
12	「（元中学校教員・美術）手記高松空襲」絵本原画作成過程	（予習）高松空襲について調べてみよう。 （復習）高松空襲体験記を読んでみよう。 高松平和資料館を訪ねてみよう。	
13	「ボランティア活動の理論」学習	（予習）何のためにボランティア活動をする必要があるのか考えてみよう。 （復習）レジュメを読み返そう。自分が、今、取り組めるボランティア活動を探そう。	
14	「ボランティア活動の理論」学習	（予習）何のためにボランティア活動をする必要があるのか考えてみよう。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		(復習) レジюмеを読み返そう。自分が、今、取り組めるボランティア活動を探そう。	
15	「ボランティア活動授業反省会&グループワーク」	(予習) 自分が、今取り組めるボランティア活動を探そう。 (復習) レジюмеを読み返そう。ボランティア活動実践に向けて動きはじめよう。	「ボランティア活動体験報告」は、授業15回目までは教師に提出。以後は、教務課に提出。締め切りは8月25日正午。
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UBL001
授業形態： 演習
科目名： 日本語表現基礎 【経】
担当教員： 澤田 文男(SAWADA Fumio)

【授業の紹介】

○日本語の言語学的特質について理解を深め、実用的表現能力を身に付けるために、日本語の文章や情報を正

確に吸収し、社会人として読み書きできる力を養います。

○ディスカッションを多く取り入れ、聞く力や話す力を養い、発言力を養います。

○各種の経済・経営・時事問題などの理解に必要な日本語の基礎を内容としています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

○学生が、日本語の言語学的特質について理解を深め、実用的表現能力を身に付けることができる。

○学生が、文章や情報を正確に読み解き、対話する力、豊かな人間性や主体的に生きる力を身に付けることができる。

○学生が、今後の様々な社会生活の場で課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業に対する取組み姿勢を評価します。

ノートの評価... ノートができていない場合はテストを受ける資格がありません。

上記 と の合計(30%)と定期試験の結果(70%)を合わせて総合的に評価します。

フィードバック

定期試験の結果については、試験終了後、正答例を研究室前に掲示します。

【使用テキスト】

○自作資料集

【参考文献】

○「言葉の選び方大全」青春出版社 日本語研究会 2017年1月21日

○「分かりやすい公用文の書き方」株式会社ぎょうせい 磯崎陽輔 2020年10月15日

○関連する参考図書については、授業の中で適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は実務経験のある教員による授業科目です。学校教育現場での授業の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	○授業内容オリエンテーション ○経営・時事関係用語・漢字練習 ○日本語の性格について ○課題発表・評価 具体性	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
2	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○日本語の表記と文字の特徴 ○課題発表・評価 具体的表現	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
3	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○日本語の文字と表記の特徴 ○課題発表・評価 人と物	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
4	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○仮名及び仮名遣いの歴史 ○課題発表・評価 視点	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
5	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○現代仮名遣いの要点 ○課題発表・評価 五感の表現	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
6	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○日本語の音韻 ○課題発表・評価 個性	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
7	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○単語の種類 ○課題発表・評価 細部にこだわる	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
8	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○日本語文法概要 ○課題発表・評価 比喩表現	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
9	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○日本語文法トレーニング ○課題発表・評価 擬音語	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
10	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○敬語表現 尊敬語 ○課題発表・評価 書き出し	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
11	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○敬語表現 尊敬語トレーニング ○課題発表・評価 繊細な感覚	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
12	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○敬語表現 謙譲語 ○課題発表・評価 分かり易い表現	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
13	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○敬語表現 謙譲語トレーニング ○課題発表・評価 短文の引用	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
14	○経営・時事関係用語・漢字練習	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
	<ul style="list-style-type: none"> ○敬語表現語 丁寧語 ○課題発表・評価 俳句のルール 	<ul style="list-style-type: none"> ○事前配布の各回該当課題プリントの完成 (40分) 	
15	<ul style="list-style-type: none"> ○経営・時事関係用語・漢字練習 ○敬語表現 敬語3種類トレーニング ○課題発表・評価 時間軸 ○定期試験予告 	<ul style="list-style-type: none"> ○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成 (40分) 	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UBL001
授業形態： 演習
科目名： 日本語表現基礎 【留】
担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

本講義は、外国人留学生在が大学で学ぶために必要な日本語能力を中上級レベルに引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。

「日本語表現基礎」は「日本語」と同一テキストを用い、「書く・話す・聞く」能力の養成に重点を置きます。「書く」では、読み物に関連したテーマで作文を書く練習をします。「話す」では、2つのモデル会話の会話パターンに沿って、スピーチやディスカッションの練習を行います。「聞く」では、読み物に関連したテーマの話から情報を聞き取る練習を行います。また、各課の学習の最後に、ブラッシュアップとして、語彙力、表現力、漢字力の向上を図ります。

授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、受講生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。また、発表者のスピーチに対しても受講生全員で批評を行います。学習者が「書ける・話せる・聞ける」達成感を感じながら学習を進めていきます。

なお、「読む・聞く・書く・話す」四技能をバランスよく統合的に学習するために、関連科目の「日本語」を履修してください。また、「日本語表現基礎」を続けて履修してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

段落・文章構成を意識した作文を書くことができる。

情報を正確に聞き取ることができる。

テーマに沿ってプレゼンテーションやグループディスカッションができる。

【成績の評価】

授業中の発表（50%）、レポート・小テスト（50%）

レポート・小テストは、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。

遅刻3回で欠席1回とみなす。

【使用テキスト】

『4技能でひろがる 中級日本語カルテット』坂本正監修、安井朱美・井手友里子・土居美有紀・浜田英紀著、the japan times、2020年、3,000円+税

【参考文献】

『留学生のための ここが大切 文章表現ルール』石黒圭・筒井千絵著、スリーエーネットワーク、2009年、1,600円+税

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
2	第7課 書く「経験からの学び」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
3	第7課 話す「国際交流」 会話1：言いづらいこと	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
4	第7課 話す「国際交流」 会話2：ディスカッション	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
5	第7課 聞く「異文化コミュニケーション」 聴解1：カルチャーショック 聴解2：多文化共生社会	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
6	第7課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：視点 漢字チャレンジ：部首「さんずい」「てへん」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
7	第8課 書く「インタビュー記事」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
8	第8課 話す「大切な物」 会話1：忘れ物	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
9	第8課 話す「大切な物」 会話2：私のおすすめ	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
10	第8課 聞く「温泉事情」 聴解1：温泉旅行 聴解2：温泉の「タトゥー禁止」問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
11	第8課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：四字熟語、ことわざ 漢字チャレンジ：音符、知っている漢字から単語の意味を考える	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
12	第9課 書く「小説や映画のレビュー」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
13	第8課 話す「ある日のできごと」 会話1：申し出 会話2：最悪なできごと	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
14	第9課 聞く「ペットに関する社会事情」 聴解1：ペットの殺処分 聴解2：ペットビジネス	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
15	第9課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：オノマトペ 漢字チャレンジ：部首「いとへん」「りっしんべん」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング：

授業形態： 演習

科目名： 日本語表現法 【経】

担当教員： 澤田 文男(SAWADA Fumio)

【授業の紹介】

- 日本語の言語学的特質について理解を深め、実用的表現能力を身に付けるために、日本語の文章や情報を正確に吸収し、社会人として読み書きできる力を養います。
- ディスカッションを多く取り入れ、聞く力や話す力を養い、発言力を養います。
- 各種の経済・経営・時事問題などの理解に必要な日本語の基礎を内容としています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

- 学生が、日本語の言語学的特質について理解を深め、実用的表現能力を身に付けることができる。
- 学生が、文章や情報を正確に読み解き、対話する力、豊かな人間性や主体的に生きる力を身に付けることができる。
- 学生が、今後の様々な社会生活の場で課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業に対する取組み姿勢を評価します。
ノートの評価... ノートができていない場合はテストを受ける資格がありません。
上記 と の合計(30%)と定期試験の結果(70%)を合わせて総合的に評価します。

フィードバック

定期試験の結果については、試験終了後、正答例を研究室前に掲示します。

【使用テキスト】

- 自作資料集

【参考文献】

- 「言葉の選び方大全」青春出版社 日本語研究会 2017年1月21日
- 「分かりやすい公用文の書き方」株式会社ぎょうせい 磯崎陽輔 2020年10月15日
- 関連する参考図書については、授業の中で適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は実務経験のある教員による授業科目です。学校教育現場での授業の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	○授業内容オリエンテーション ○経営・時事関係用語・漢字練習 ○日本語の性格について ○課題発表・評価 具体性	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
2	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○日本語の表記と文字の特徴 ○課題発表・評価 具体的表現	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
3	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○日本語の文字と表記の特徴 ○課題発表・評価 人と物	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
4	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○仮名及び仮名遣いの歴史 ○課題発表・評価 視点	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
5	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○現代仮名遣いの要点 ○課題発表・評価 五感の表現	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
6	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○日本語の音韻 ○課題発表・評価 個性	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
7	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○単語の種類 ○課題発表・評価 細部にこだわる	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
8	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○日本語文法概要 ○課題発表・評価 比喩表現	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
9	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○日本語文法トレーニング ○課題発表・評価 擬音語	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
10	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○敬語表現 尊敬語 ○課題発表・評価 書き出し	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
11	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○敬語表現 尊敬語トレーニング ○課題発表・評価 繊細な感覚	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
12	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○敬語表現 謙譲語 ○課題発表・評価 分かり易い表現	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
13	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○敬語表現 謙譲語トレーニング ○課題発表・評価 短文の引用	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
14	<ul style="list-style-type: none"> ○経営・時事関係用語・漢字練習 ○敬語表現語 丁寧語 ○課題発表・評価 俳句のルール 	<ul style="list-style-type: none"> ○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分) 	
15	<ul style="list-style-type: none"> ○経営・時事関係用語・漢字練習 ○敬語表現 敬語3種類トレーニング ○課題発表・評価 時間軸 ○定期試験予告 	<ul style="list-style-type: none"> ○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分) 	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング：

授業形態： 演習

科目名： 日本語表現法 【留】

担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

本講義は、外国人留学生在が大学で学ぶために必要な日本語能力を中上級レベルに引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。

「日本語表現法」は「日本語」と同一テキストを用い、「書く・話す・聞く」能力の養成に重点を置きます。「書く」では、読み物に関連したテーマで作文を書く練習をします。「話す」では、2つのモデル会話の会話パターンに沿って、スピーチやディスカッションの演習を行います。「聞く」では、読み物に関連したテーマの話から情報を聞き取る練習を行います。また、各課の学習の最後に、ブラッシュアップとして、語彙力、表現力、漢字力の向上を図ります。

授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、受講生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。また、発表者のスピーチに対しても受講生全員で批評を行います。学習者が「書ける・話せる・聞ける」達成感を感じながら学習を進めていきます。

なお、「読む・聞く・書く・話す」四技能をバランスよく統合的に学習するために、関連科目の「日本語」を履修してください。また、「日本語表現法」を続けて履修してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

段落・文章構成を意識した作文を書くことができる。

情報を正確に聞き取ることができる。

テーマに沿ってプレゼンテーションやグループディスカッションができる。

【成績の評価】

授業中の発表（50%）、レポート・小テスト（50%）

レポート・小テストは、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。

遅刻3回で欠席1回とみなす。

【使用テキスト】

『4技能でひろがる 中級日本語カルテット』坂本正監修、安井朱美・井手友里子・土居美有紀・浜田英紀著、the japan times、2020年、3,000円+税

【参考文献】

『留学生のための ここが大切 文章表現ルール』石黒圭・筒井千絵著、スリーエーネットワーク、2009年、1,600円+税

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
2	第7課 書く「経験からの学び」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
3	第7課 話す「国際交流」 会話1：言いづらいこと	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
4	7課 話す「国際交流」 会話2：ディスカッション	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
5	第7課 聞く「異文化コミュニケーション」 聴解1：カルチャーショック 聴解2：多文化共生社会	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
6	第7課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：視点 漢字チャレンジ：部首「さんずい」「てへん」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
7	第8課 書く「インタビュー記事」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
8	第8課 話す「大切な物」 会話1：忘れ物	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
9	第8課 話す「大切な物」 会話2：私のおすすめ	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
10	第8課 聞く「温泉事情」 聴解1：温泉旅行 聴解2：温泉の「タトゥー禁止」問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
11	第8課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：四字熟語、ことわざ 漢字チャレンジ：音符、知っている漢字から単語の意味を考える	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
12	第9課 書く「小説や映画のレビュー」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
13	第8課 話す「ある日のできごと」 会話1：申し出 会話2：最悪なできごと	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
14	第9課 聞く「ペットに関する社会事情」 聴解1：ペットの殺処分 聴解2：ペットビジネス	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
15	第9課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：オノマトペ 漢字チャレンジ：部首「いとへん」「りっしんべん」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UBL002
授業形態： 演習
科目名： 日本語表現基礎 【経】
担当教員： 澤田 文男(SAWADA Fumio)

【授業の紹介】

- 日本語の言語学的特質について理解を深め、実用的表現能力を身に付けるために、日本語の文章や情報を正確に吸収し、社会人として読み書きできる力を養います。
- ディスカッションを多く取り入れ、聞く力や話す力を養い、発言力を養います。
- 各種の経済・経営・時事問題などの理解に必要な日本語の基礎を内容としています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

- 学生が、日本語の言語学的特質について理解を深め、実用的表現能力を身に付けることができる。
- 学生が、文章や情報を正確に読み解き、対話する力、豊かな人間性や主体的に生きる力を身に付けることができる。
- 学生が、今後の様々な社会生活の場で課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業に対する取組み姿勢を評価します。
ノートの評価... ノートができていない場合はテストを受ける資格がありません。
上記 と の合計(30%)と定期試験の結果(70%)を合わせて総合的に評価します。

フィードバック

定期試験の結果については、試験終了後、正答例を研究室前に掲示します。

【使用テキスト】

- 自作資料集

【参考文献】

- 「言葉の選び方大全」青春出版社 日本語研究会 2017年1月21日
- 「分かりやすい公用文の書き方」株式会社ぎょうせい 磯崎陽輔 2020年10月15日
- 関連する参考図書については、授業の中で適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は実務経験のある教員による授業科目です。学校教育現場での授業の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	○授業内容オリエンテーション ○経営・時事関係用語・漢字練習 ○人権を傷つける恐れのある語句 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
2	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○アカデミックワードの基礎 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
3	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○公用文の書き表し方の基準 ・熟字訓 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
4	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○文脈による意味と読み方 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
5	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○間違いやすい語句 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
6	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○間違いやすい重言 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
7	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○間違いやすい慣用句 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
8	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○間違いやすい類似語 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
9	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○間違いやすい外来語 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
10	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○間違いやすい外来語表記 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
11	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○助数詞の使い方 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
12	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○語彙の増やし方 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
13	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○形容詞の多義性 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
14	<ul style="list-style-type: none"> ○経営・時事関係用語・漢字練習 ○簡潔な表現 ○課題発表・評価 	<ul style="list-style-type: none"> ○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分) 	
15	<ul style="list-style-type: none"> ○経営・時事関係用語・漢字練習 ○日本語と漢字・漢文・故事成語 ○課題発表・評価 ○テスト予告 	<ul style="list-style-type: none"> ○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分) 	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UBL002
授業形態： 演習
科目名： 日本語表現基礎 【留】
担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

本講義は、外国人留学生在が大学で学ぶために必要な日本語能力を中上級レベルに引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。

「日本語表現基礎」は「日本語」と同一テキストを用い、「書く・話す・聞く」能力の養成に重点を置きます。「書く」では、読み物に関連したテーマで作文を書く練習をします。「話す」では、2つのモデル会話の会話パターンに沿って、スピーチやディスカッションの練習を行います。「聞く」では、読み物に関連したテーマの話から情報を聞き取る練習を行います。また、各課の学習の最後に、ブラッシュアップとして、語彙力、表現力、漢字力の向上を図ります。

授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、受講生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。また、発表者のスピーチに対しても受講生全員で批評を行います。学習者が「書ける・話せる・聞ける」達成感を感じながら学習を進めていきます。

なお、関連科目として「日本語表現基礎」が既習であることを前提とします。また「読む・聞く・書く・話す」四技能をバランスよく統合的に学習するために、関連科目の「日本語」を履修してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

段落・文章構成を意識した作文を書くことができる。

情報を正確に聞き取ることができる。

テーマに沿ってプレゼンテーションやグループディスカッションができる。

【成績の評価】

授業中の発表（50%）、レポート・小テスト（50%）

レポート・小テストは、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

『4技能でひろがる 中級日本語カルテット』坂本正監修、安井朱美・井手友里子・土居美有紀・浜田英紀著、the japan times、2020年、3,000円+税

【参考文献】

『留学生のための ここが大切 文章表現ルール』石黒圭・筒井千絵著、スリーエーネットワーク、2009年、1,600円+税

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	第10課 書く「データ分析」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
2	第10課 話す「学生生活」 会話1：面接	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
3	第10課 話す「学生生活」 会話2：学食についての提案	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
4	第10課 聞く「格差社会」 聴解1：所得格差 聴解2：教育格差	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
5	第10課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：カタカナ語 漢字チャレンジ：漢字とコンテキストから意味を考える	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
6	第11課 書く「日本語と母語の違い」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
7	第11課 話す「コミュニケーションスタイル」 会話1：難しいお願い	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
8	第11課 話す「コミュニケーションスタイル」 会話2：類義語の比較	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
9	第11課 聞く「若者のコミュニケーションスタイル」 聴解1：言葉の変化 聴解2：SNSとコミュニケーション	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
10	第11課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：接続詞 漢字チャレンジ：部首「うかんむり」「かいへん」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
11	第12課 書く「小論文」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
12	第12課 話す「人や社会とのつながり」 会話 1：別れ	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくる。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
13	第12課 話す「人や社会とのつながり」 会話 2：賛成？ 反対？	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくる。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
14	第12課 聞く「求められる人材」 聴解 1：企業が求める人材 聴解 2：グローバル人材	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくる。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
15	第12課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：慣用句 漢字チャレンジ：部首のまとめ	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくる。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング：

授業形態： 演習

科目名： 日本語表現法 【経】

担当教員： 澤田 文男(SAWADA Fumio)

【授業の紹介】

- 日本語の言語学的特質について理解を深め、実用的表現能力を身に付けるために、日本語の文章や情報を正確に吸収し、社会人として読み書きできる力を養います。
- ディスカッションを多く取り入れ、聞く力や話す力を養い、発言力を養います。
- 各種の経済・経営・時事問題などの理解に必要な日本語の基礎を内容としています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

- 学生が、日本語の言語学的特質について理解を深め、実用的表現能力を身に付けることができる。
- 学生が、文章や情報を正確に読み解き、対話する力、豊かな人間性や主体的に生きる力を身に付けることができる。
- 学生が、今後の様々な社会生活の場で課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業に対する取組み姿勢を評価します。
ノートの評価... ノートができていない場合はテストを受ける資格がありません。
上記 と の合計(30%)と定期試験の結果(70%)を合わせて総合的に評価します。

フィードバック

定期試験の結果については、試験終了後、正答例を研究室前に掲示します。

【使用テキスト】

- 自作資料集

【参考文献】

- 「言葉の選び方大全」青春出版社 日本語研究会 2017年1月21日
- 「分かりやすい公用文の書き方」株式会社ぎょうせい 磯崎陽輔 2020年10月15日
- 関連する参考図書については、授業の中で適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は実務経験のある教員による授業科目です。学校教育現場での授業の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	○授業内容オリエンテーション ○経営・時事関係用語・漢字練習 ○人権を傷つける恐れのある語句 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
2	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○アカデミックワードの基礎 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
3	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○公用文の書き表し方の基準 ・熟字訓 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
4	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○文脈による意味と読み方 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
5	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○間違いやすい語句 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
6	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○間違いやすい重言 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
7	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○間違いやすい慣用句 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
8	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○間違いやすい類似語 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
9	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○間違いやすい外来語 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
10	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○間違いやすい外来語表記 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
11	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○助数詞の使い方 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
12	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○語彙の増やし方 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	
13	○経営・時事関係用語・漢字練習 ○形容詞の多義性 ○課題発表・評価	○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
14	<ul style="list-style-type: none"> ○経営・時事関係用語・漢字練習 ○簡潔な表現 ○課題発表・評価 	<ul style="list-style-type: none"> ○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分) 	
15	<ul style="list-style-type: none"> ○経営・時事関係用語・漢字練習 ○日本語と漢字・漢文・故事成語 ○課題発表・評価 ○テスト予告 	<ul style="list-style-type: none"> ○経営・時事関係用語・漢字練習(20分) ○事前配布の各回該当課題プリントの完成(40分) 	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング：

授業形態： 演習

科目名： 日本語表現法 【留】

担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

本講義は、外国人留学生在が大学で学ぶために必要な日本語能力を中上級レベルに引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。

「日本語表現法」は「日本語」と同一テキストを用い、「書く・話す・聞く」能力の養成に重点を置きます。「書く」では、読み物に関連したテーマで作文を書く練習をします。「話す」では、2つのモデル会話の会話パターンに沿って、スピーチやディスカッションの練習を行います。「聞く」では、読み物に関連したテーマの話から情報を聞き取る練習を行います。また、各課の学習の最後に、ブラッシュアップとして、語彙力、表現力、漢字力の向上を図ります。

授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、受講生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。また、発表者のスピーチに対しても受講生全員で批評を行います。学習者が「書ける・話せる・聞ける」達成感を感じながら学習を進めていきます。

なお、関連科目として「日本語表現法」が既習であることを前提とします。また「読む・聞く・書く・話す」四技能をバランスよく統合的に学習するために、関連科目の「日本語」を履修してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

段落・文章構成を意識した作文を書くことができる。

情報を正確に聞き取ることができる。

テーマに沿ってプレゼンテーションやグループディスカッションができる。

【成績の評価】

授業中の発表（50%）、レポート・小テスト（50%）

レポート・小テストは、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

『4技能でひろがる 中級日本語カルテット』坂本正監修、安井朱美・井手友里子・土居美有紀・浜田英紀著、the japan times、2020年、3,000円+税

【参考文献】

『留学生のための ここが大切 文章表現ルール』石黒圭・筒井千絵著、スリーエーネットワーク、2009年、1,600円+税

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	第10課 書く「データ分析」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
2	第10課 話す「学生生活」 会話1：面接	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
3	第10課 話す「学生生活」 会話2：学食についての提案	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
4	第10課 聞く「格差社会」 聴解1：所得格差 聴解2：教育格差	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
5	第10課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：カタカナ語 漢字チャレンジ：漢字とコンテキストから意味を考える	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
6	第11課 書く「日本語と母語の違い」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
7	第11課 話す「コミュニケーションスタイル」 会話1：難しいお願い	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
8	第11課 話す「コミュニケーションスタイル」 会話2：類義語の比較	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
9	第11課 聞く「若者のコミュニケーションスタイル」 聴解1：言葉の変化 聴解2：SNSとコミュニケーション	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
10	第11課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：接続詞 漢字チャレンジ：部首「うかんむり」「かいへん」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
11	第12課 書く「小論文」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
12	第12課 話す「人や社会とのつながり」 会話 1：別れ	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
13	第12課 話す「人や社会とのつながり」 会話 2：賛成？ 反対？	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
14	第12課 聞く「求められる人材」 聴解 1：企業が求める人材 聴解 2：グローバル人材	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
15	第12課 ワークブックまとめの練習問題 ブラッシュアップ 上級へのチャレンジ：慣用句 漢字チャレンジ：部首のまとめ	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UBM001
授業形態： 講義
科目名： 数学基礎
担当教員： 土井 理裕(DOI Masahiro)

【授業の紹介】

この授業は、身近な生活の中にある課題や古典的課題に対して、数学のさまざまな考え方をを用いて、根拠を基に筋道立てて考え、その解決方法を見つけるために、あなたが考え、あなたが解決する時間です。じっくりと考えること、多面的に考えることの面白さを体験し、数学的思考を高めていきましょう。この授業ではGoogle Classroom(クラスコード：wuneiso)を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

1. 与えられた課題を理解し、解決方法を見つけることができる。
2. 各自の考えた解決策を相互に検討し、解答を導くことができる。
3. 自分のアイデアや解法をみんなに分かるように説明(証明)することができる。

【成績の評価】

受講態度(10%) 課題レポート(80%) 最終課題レポート(10%)
・毎回の授業の最後に、課題レポートを提出する(解説等を添付して返却します)。
・最終課題(「数学を学ぶ意義 身近な生活の中にある数学」についてのレポート)を作成し、第15回の最終授業時に提出する。

【使用テキスト】

毎回、授業プリントを配布します。

【参考文献】

- ・「数学」はこんなところで役に立つ(白取春彦, 青春出版社, 2005)
- ・大人のための数学勉強法 - どんな問題も解ける10のアプローチ(永野裕之, ダイヤモンド社, 2012)
- ・算数から数学まで まるごと8時間でわかる本(何森仁, 小沢健一, 明日香出版社, 2014)
- ・本当はすごい小学算数(小田敏弘, 日本実業出版社, 2015)
- ・算数少女ミカ 割合なんて、こわくない!(石原清貴, 日本評論社, 2018)
- ・改訂版 中学校3年間の数学が1冊でしっかりわかる本(小杉 拓也, かんき出版, 2021)

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校・特別支援学校での学校現場指導を活かし、具体的な数学に関する事例を示しながら授業していきます。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス、はじめの問題	はじめの問題（Google Classroomに提示）を解き、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
2	数と式	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
3	数の性質（1）：倍数と約数	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
4	数の性質（2）：小数と分数、n進数	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
5	方程式と不等式の解法	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
6	方程式と不等式の応用	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
7	割合	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
8	生活の中の数学（1）：お金に関する話題	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
9	生活の中の数学（2）：濃度に関する話題	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
10	生活の中の数学（3）：変化に関する話題	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
11	生活の中の数学（4）：量に関する話題	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
12	数の規則性	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
13	場合の数と確率	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
14	図形の性質（1）：角度に関する話題	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	進めるための予習が重要です。
15	図形の性質（2）：面積等に関する話題	次回の授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UBN001
授業形態： 講義
科目名： 自然科学基礎
担当教員： 糸目 真也(ITOME Shinya)

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校・特別支援学校での学校現場での指導を活かし、具体的な科学に関する事例を取り上げながら授業を行います。地球、気象、宇宙を主な対象とするほかに、身近な生活の中にある科学や最先端の科学技術、最近深刻な環境問題にも触れていきます。自然の事物・現象に主体的に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究しようとする態度や資質・能力を育むことを目指します。

< 卒業認定・学位授与の方針における関連項目 >

1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
2. 課題に気づいて解決する方法や社会に貢献できる力

< 学修成果における関連項目 >

- 豊かな人間性や主体的に生きる力
- 課題に気づいて解決する方法や社会に貢献できる力

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

- 1 授業内容を理解し、自然の事物・現象に関する基礎的な知識を身に付けることができる。
- 2 授業で与えられた課題を理解し、その探究方法を見つけることができる。
- 3 授業を通して、日常生活においても、自然の事物・現象に主体的に興味を持って関わるようになる。

【成績の評価】

受講態度や課題レポートの提出状況及び期末試験の結果により、総合的に評価します。

概ね、受講態度（15%）、課題レポート（25%）、試験（60%）とします。

- ・授業で配布・使用して、授業中に記入したプリントを毎回の授業の終わりに提出する。（プリントは次の授業で返却します）
- ・授業で配布・使用したプリントの中から問題を作成して、試験を実施します。

【使用テキスト】

特にありません。授業中のスライド資料がテキストとなります。

【参考文献】

授業で、適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。担当教員が高等学校で地学の授業をした経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	地球を知る : 地球の内部構造とプレートの運動	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
2	地球を知る : プレートの運動と地震	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
3	地球を知る : プレートの運動と火山活動	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
4	地球の歴史を知る : 地球誕生～先カンブリア時代	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
5	地球の歴史を知る : 古生代の古生物と地球環境	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
6	地球の歴史を知る : 中生代～新生代の古生物と地球環境	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
7	地球の大気を知る : 大気の大循環	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
8	地球の大気を知る : 大気の大循環	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
9	地球の大気を知る : 日本の天気	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
10	宇宙を知る : 太陽系内の天体	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること	担当：糸目真也

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		（2時間）	
11	宇宙を知る : 恒星と銀河	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
12	宇宙を知る : 巨大望遠鏡による観測	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
13	身近な科学：光と虹	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
14	現代社会の最先端科学：I P S細胞、人工知能	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲のキーワードの意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間） 復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（2時間）	担当：糸目真也
15	現代社会の課題：環境問題	復習として授業の最後に課す授業内容に関する課題をレポートにまとめて提出すること（4時間）	担当：糸目真也
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UBS002

授業形態： 講義

科目名： 社会科学基礎

担当教員： 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

情報化や技術革新により急速に社会が変化し先を見通すことが困難といわれている現代、日本や世界は様々な問題に直面しています。これからの社会を担う皆さんが避けては通れない問題です。

この授業では、取り上げたいいくつかの問題について基本的な解説を加え、一緒に考え勉強していきます。「そうだったのか!」、「それっておかしいぞ!」など、リアクションを期待しています。

時事問題が中心となるので、就職試験や採用試験の対策を考えるのに一役買うことができればこの上ない喜びです。

なお、受講者の希望により取り上げる問題を変更する場合があるととも、外部の専門家を招へいしての授業も予定しています。

また、アクティブ・ラーニング(ディスカッション、プレゼンテーション、3分間スピーチ)を通して自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、社会の多様性に気づくきっかけになることを想定しています。

この授業ではGoogle Classroom(クラスコード:j27zepj)を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

1. 現代社会が直面する様々な問題への視野を広げることができる。
2. 情報を収集、検討、議論することで、解決への道筋を見つけ自分が取るべき行動を見極めることができる。

【成績の評価】

授業への取り組み(30%)、提出物(35%)、プレゼンテーション(35%)

3分間スピーチやプレゼンテーションはその都度コメントする。提出物は後日返却する。プレゼンテーションの評価はオフィスアワーでコメントする。

【使用テキスト】

特になし。
授業プリントや資料を配付する。

【参考文献】

その都度指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス並びにファクトとフェイク	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
2	成人年齢の引き下げ	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
3	選挙と地方自治	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
4	コミュニケーション	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
5	児童虐待といじめ	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
6	ハラスメント	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
7	働き方改革	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
8	インターネットと携帯電話	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだり	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		インターネット等で調べるなどして、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
9	景気と物価変動	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
10	南海トラフ地震と防災	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
11	世界の分断と国際協調	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
12	SDGs	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
13	日本や世界が直面する様々な問題に対してあなたが言いたい事	予習として、発表する問題について研究し、プレゼンテーションができるようにパワーポイントを作成し、発表原稿を整理すること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
14	日本や世界が直面する様々な問題に対してあなたが言いたい事	予習として、発表する問題について研究し、プレゼンテーションができるようにパワーポイントを作成し、発表原稿を整理すること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
15	これからの日本や世界のためにあなたが取る	予習として、これまでの授業内容を振り返	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	行動	り、自分の考え等をノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UBE101

授業形態： 演習

科目名： 英語基礎

担当教員： 竹田 忠弘(TAKEDA Tadahiro)

【授業の紹介】

この授業では、日常生活でよく使われる語句や表現を学ぶことができます。言語活動を多く取り入れるので、受講生は自分自身、家族、友だち、学校、好きなことと嫌いなことなどについて英語で伝えるチャンスがあり、英語の技能を確実に高めることができます。各ユニットには、発音のポイントも配されており、満足な発音を身につけることができます。

受講生には、授業中の言語活動に積極的に参加するために、テキストの予習・復習を欠かさず、本文を何度も音読しながら、継続的に学ぶ姿勢が必須です。Google Classroom Code: Id5vonh

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

1. 英語で会話をするための基礎的な語句や表現を身につけることができる。
2. 会話文を音読することで英語に慣れ、覚えた表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。
3. 自分の意見や感想を英語で発表したり、書いたりすることができる。

【成績の評価】

「授業への関心・意欲・態度」10%、「提出物等授業時間外に課す課題」15%、「小テスト」20%、「音読テスト」15%、「定期試験」40%の5項目を総合的に評価します。小テスト及び授業時間外に課す課題については、その都度評価及びフィードバックを行います。

なお、30分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻3回で欠席1回とみなします。

【使用テキスト】

New Getting Into English 始めよう英会話！<改訂新版>（Joseph Cronin, Eric Bray著、南雲堂、2023）

【参考文献】

なし

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高校現場での英語指導の経験を活かして授業を行います。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
2	Unit 1 Hi, I'm Rina. (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
3	Unit 1 Hi, I'm Rina. (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
4	Unit 2 How do you spell that? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
5	Unit 2 How do you spell that? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
6	Unit 3 What's the time? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
7	Unit 3 What's the time? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
8	Unit 4 Where are you from? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
9	Unit 4 Where are you from? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
10	Unit 5 What's your favorite food? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	Unit 5 What's your favorite food? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
12	Unit 6 How often do you get your hair cut? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
13	Unit 6 How often do you get your hair cut? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
14	Unit 7 What kinds of music do you like? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
15	Unit 7 What kinds of music do you like? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング：

授業形態： 演習

科目名： プラクティカル・イングリッシュ

担当教員： 竹田 忠弘(TAKEDA Tadahiro)

【授業の紹介】

この授業では、日常生活でよく使われる語句や表現を学ぶことができます。言語活動を多く取り入れるので、受講生は自分自身、家族、友だち、学校、好きなことと嫌いなことなどについて英語で伝えるチャンスがあり、英語の技能を確実に高めることができます。各ユニットには、発音のポイントも配されており、満足な発音を身につけることができます。

受講生には、授業中の言語活動に積極的に参加するために、テキストの予習・復習を欠かさず、本文を何度も音読しながら、継続的に学ぶ姿勢が必須です。Google Classroom Code: Id5vonh

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

1. 英語で会話をするための基礎的な語句や表現を身につけることができる。
2. 会話文を音読することで英語に慣れ、覚えた表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。
3. 自分の意見や感想を英語で発表したり、書いたりすることができる。

【成績の評価】

「授業への関心・意欲・態度」10%、「提出物等授業時間外に課す課題」15%、「小テスト」20%、「音読テスト」15%、「定期試験」40%の5項目を総合的に評価します。小テスト及び授業時間外に課す課題については、その都度評価及びフィードバックを行います。
なお、30分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻3回で欠席1回とみなします。

【使用テキスト】

New Getting Into English 始めよう英会話！<改訂新版>（Joseph Cronin, Eric Bray著、南雲堂、2023）

【参考文献】

なし

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高校現場での英語指導の経験を活かして授業を行います。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
2	Unit 1 Hi, I'm Rina. (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
3	Unit 1 Hi, I'm Rina. (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
4	Unit 2 How do you spell that? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
5	Unit 2 How do you spell that? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
6	Unit 3 What's the time? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
7	Unit 3 What's the time? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
8	Unit 4 Where are you from? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
9	Unit 4 Where are you from? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
10	Unit 5 What's your favorite food? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
11	Unit 5 What's your favorite food? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
12	Unit 6 How often do you get your hair cut? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
13	Unit 6 How often do you get your hair cut? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
14	Unit 7 What kinds of music do you like? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
15	Unit 7 What kinds of music do you like? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UBE102

授業形態： 演習

科目名： 英語基礎

担当教員： 竹田 忠弘(TAKEDA Tadahiro)

【授業の紹介】

この授業では、日常生活でよく使われる語句や表現を学ぶことができます。言語活動を多く取り入れるので、受講生は自分自身、家族、友だち、学校、好きなことと嫌いなことなどについて英語で伝えるチャンスがあり、英語の技能を確実に高めることができます。各ユニットには、発音のポイントも配されており、満足な発音を身につけることができます。

受講生には、授業中の言語活動に積極的に参加するために、テキストの予習・復習を欠かさず、本文を何度も音読しながら、継続的に学ぶ姿勢が必須です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

1. 英語で会話をするための基礎的な語句や表現を身につけることができる。
2. 会話文を音読することで英語に慣れ、覚えた表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。
3. 自分の意見や感想を英語で発表したり、書いたりすることができる。

【成績の評価】

「授業への関心・意欲・態度」10%、「提出物等授業時間外に課す課題」15%、「小テスト」20%、「音読テスト」15%、「定期試験」40%の4項目を総合的に評価します。小テスト及び授業時間外に課す課題については、その都度評価及びフィードバックを行います。

なお、30分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻3回で欠席1回とみなします。

【使用テキスト】

New Getting Into English 始めよう英会話！<改訂新版>（Joseph Cronin, Eric Bray著、南雲堂、2023）

【参考文献】

なし

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高校現場での英語指導の経験を活かして授業を行います。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
2	Unit 8 Who's older, you or your sister? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
3	Unit 8 Who's older, you or your sister? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
4	Unit 9 How was your weekend? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
5	Unit 9 How was your weekend? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
6	Unit 10 Have you ever been abroad? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
7	Unit 10 Have you ever been abroad? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
8	Unit 11 What kinds of movies do you like? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
9	Unit 11 What kinds of movies do you like? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
10	Unit 12 What's the weather going to be like? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
11	Unit 12 What's the weather going to be like? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
12	Unit 13 What's your favorite coffee shop? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
13	Unit 13 What's your favorite coffee shop? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
14	Unit 14 Do you have a part-time job? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
15	Unit 14 Do you have a part-time job? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング：

授業形態： 演習

科目名： プラクティカル・イングリッシュ

担当教員： 竹田 忠弘(TAKEDA Tadahiro)

【授業の紹介】

この授業では、日常生活でよく使われる語句や表現を学ぶことができます。言語活動を多く取り入れるので、受講生は自分自身、家族、友だち、学校、好きなことと嫌いなことなどについて英語で伝えるチャンスがあり、英語の技能を確実に高めることができます。各ユニットには、発音のポイントも配されており、満足な発音を身につけることができます。

受講生には、授業中の言語活動に積極的に参加するために、テキストの予習・復習を欠かさず、本文を何度も音読しながら、継続的に学ぶ姿勢が必須です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

1. 英語で会話をするための基礎的な語句や表現を身につけることができる。
2. 会話文を音読することで英語に慣れ、覚えた表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。
3. 自分の意見や感想を英語で発表したり、書いたりすることができる。

【成績の評価】

「授業への関心・意欲・態度」10%、「提出物等授業時間外に課す課題」15%、「小テスト」20%、「音読テスト」15%、「定期試験」40%の4項目を総合的に評価します。小テスト及び授業時間外に課す課題については、その都度評価及びフィードバックを行います。

なお、30分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻3回で欠席1回とみなします。

【使用テキスト】

New Getting Into English 始めよう英会話！<改訂新版>（Joseph Cronin, Eric Bray著、南雲堂、2023）

【参考文献】

なし

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高校現場での英語指導の経験を活かして授業を行います。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
2	Unit 8 Who's older, you or your sister? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
3	Unit 8 Who's older, you or your sister? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
4	Unit 9 How was your weekend? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
5	Unit 9 How was your weekend? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
6	Unit 10 have you ever been abroad? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
7	Unit 10 have you ever been abroad? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
8	Unit 11 What kinds of movies do you like? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
9	Unit 11 What kinds of movies do you like? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
10	Unit 12 What's the weather going to be like? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
11	Unit 12 What's the weather going to be like? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
12	Unit 13 What's your favorite coffee shop? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
13	Unit 13 What's your favorite coffee shop? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
14	Unit 14 Do you have a part-time job? (1)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
15	Unit 14 Do you have a part-time job? (2)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UD0101

授業形態： 講義

科目名： 数理データサイエンスと未来【経】

担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi),土井 理裕(DOI Masahiro)

【授業の紹介】

Society 5.0社会が到来し、大学での教育も大きく変化しようとしている。様々な課題解決の場においてもビッグデータやAIが活用される社会となっている。このような状況において数理・データサイエンス・Aの知識や技術は、大変重要なテーマである。本講義では、入学当初に、・ 社会で起きている変化、・ データ・AI利活用の最新動向、・ 社会で活用されているデータ、・ データ・AI利活用のための技術、・ AI利活用の現場・AIの活用領域を中心に、STEAM教育の観点も含めSociety 5.0を実現するための学習として授業を行う。なお授業にあたっては学習管理システム(LMS)などを活用して授業を行う。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

Society 5.0を実現する社会を理解することができる。
Society 5.0社会においても豊かな人間性を発揮できる。

- ・ Society 5.0社会で起きている事柄の理解
- ・ データ・AI利活用の最新動向
- ・ 社会で活用されているデータ
- ・ データ・AIの活用領域
- ・ データ・AI利活用のための技術
- ・ データ・AI利活用の現場

以上の理解が図れる。

【成績の評価】

提出物50%、小テスト50%により評価を行う。
提出物は、評価して返却する。小テストは、模範解答を小テストの次の授業で解説することでフィードバックを行う。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

世界を変えるSTEAM人材 シリコンバレー「デザイン思考」の核心 (朝日新書)ヤング吉原麻里子著朝日新聞出版 2019
東京大学のデータサイエンティスト育成講座 Pythonで手を動かして学ぶデータ分析 塚本邦尊, 山田典一, 大澤文孝 (著), 中山浩太郎 (監修), 松尾 豊[協力] マイナビ出版 2019

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	What ' s 数理・データサイエンス・A I（体験で学ぶSociety5.0）	授業で提出された課題を解く（4時間）	
2	What ' s 数理・データサイエンス・A I（数学、Computer Science、Data Scienceの領域）	授業で提出された課題を解く（4時間）	
3	数理・データサイエンス・A I（第4次産業革命、データ駆動型社会、身近なIoTを体験）	授業で提出された課題を解く（4時間）	
4	身近な生活の中にあるデータを利活用する事を学ぶ	授業で提出された課題を解く（4時間）	
5	数理・データサイエンス・A Iて何	授業で提出された課題を解く（4時間）	
6	社会で活用されているデータ利活用してみよう	授業で提出された課題を解く（4時間）	
7	社会で活用されているデータ利活用してみよう	授業で提出された課題を解く（4時間）	
8	データ・AIの活用領域	授業で提出された課題を解く（4時間）	
9	データ・AIの活用領域	授業で提出された課題を解く（4時間）	
10	データ・AI利活用のための技術 (Technology)	授業で提出された課題を解く（4時間）	
11	データ・AI利活用のための技術 (Technology)	授業で提出された課題を解く（4時間）	
12	データ・AI利活用の現場	授業で提出された課題を解く（4時間）	
13	データ・AI利活用の現場	授業で提出された課題を解く（4時間）	
14	データ・AI利活用の現場	授業で提出された課題を解く（4時間）	
15	数理・データサイエンス・A Iの将来	授業で提出された課題を解く（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング：

授業形態： 講義

科目名： 総合講座【経】

担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi),土井 理裕(DOI Masahiro)

【授業の紹介】

Society 5.0社会が到来し、大学での教育も大きく変化しようとしている。様々な課題解決の場においてもビッグデータやAIが活用される社会となっている。このような状況において数理・データサイエンス・Aの知識や技術は、大変重要なテーマである。本講義では、入学当初に、・ 社会で起きている変化、・ データ・AI利活用の最新動向、・ 社会で活用されているデータ、・ データ・AI利活用のための技術、・ AI利活用の現場・AIの活用領域を中心に、STEAM教育の観点も含めSociety 5.0を実現するための学習として授業を行う。なお授業にあたっては学習管理システム（LMS）などを活用して授業を行う。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

Society 5.0を実現する社会を理解することができる。
Society 5.0社会においても豊かな人間性を発揮できる。
・ Society 5.0社会で起きている事柄の理解
・ データ・AI利活用の最新動向
・ 社会で活用されているデータ
・ データ・AIの活用領域
・ データ・AI利活用のための技術
・ データ・AI利活用の現場
以上の理解が図れる。

【成績の評価】

提出物50%、小テスト50%により評価を行う。
提出物は、評価して返却する。小テストは、模範解答を小テストの次の授業で解説することでフィードバックを行う。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

世界を変えるSTEAM人材 シリコンバレー「デザイン思考」の核心 (朝日新書)ヤング吉原麻里子著朝日新聞出版 2019
東京大学のデータサイエンティスト育成講座 Pythonで手を動かして学ぶデータ分析 塚本邦尊, 山田典一, 大澤文孝 (著), 中山浩太郎 (監修), 松尾 豊[協力] マイナビ出版 2019

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
1	What 's 数理・データサイエンス・A I（体験で学ぶSociety5.0）	授業で示された課題を解く（4時間）	
2	What 's 数理・データサイエンス・A I（数学、Computer Science、Data Scienceの領域）	授業で示された課題を解く（4時間）	
3	数理・データサイエンス・A I（第4次産業革命、データ駆動型社会、身近なIoTを体験）	授業で示された課題を解く（4時間）	
4	身近な生活の中にあるデータを利活用する事を学ぶ	授業で示された課題を解く（4時間）	
5	数理・データサイエンス・A Iて何	授業で示された課題を解く（4時間）	
6	社会で活用されているデータ	授業で示された課題を解く（4時間）	
7	社会で活用されているデータ利活用してみよう	授業で示された課題を解く（4時間）	
8	データ・AIの活用領域 宅学習	授業で示された課題を解く（4時間）	
9	データ・AIの活用領域	授業で示された課題を解く（4時間）	
10	データ・AI利活用のための技術 (Technology)	授業で示された課題を解く（4時間）	
11	データ・AI利活用のための技術 (Technology)	授業で示された課題を解く（4時間）	
12	データ・AI利活用の現場	授業で示された課題を解く（4時間） 授業で示された課題を解く（4時間）	
13	データ・AI利活用の現場	授業で示された課題を解く（4時間）	
14	データ・AI利活用の現場	授業で示された課題を解く（4時間）	
15	数理・データサイエンス・A Iの将来	授業で示された課題を解く（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI101
授業形態： 講義
科目名： 情報基礎
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

「AI」、「ビッグデータ」、「IoT」といったデータ利活用に関連する新技術の進展がこれからの社会に大きな変革をもたらしている。これらの新技術によって創出された新たな製品やサービス等を効果的に活用するために、また、社会人になる基礎力として、ITリテラシーに関する知識を身に付けることが必要となっている。この授業はデータやAIといったものを利活用する際に必要となる基本的な知識と習得し、現代社会におけるITへの認識を深めるよう展開していく。この知識や理解を深めるための実習課題を通し、情報技術活用によるメリットやデメリット、情報化社会に参画する態度についても考えることとする。なお、この授業は国家試験である「ITパスポート試験」の入門としても役立つように配慮していく。また、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための必修科目である。さらに、数理データサイエンスAI教育プログラムの科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

1. パソコンなど情報機器を活用するために最低限必要な、情報機器（ハードウェア）およびソフトウェアの仕組み、情報処理の基礎概念を説明できる。
2. 情報化社会に参画するための知識を習得できる。

【成績の評価】

授業内レポート（20%）、中間試験（30%）、定期試験（50%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。レポートおよび中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。フィードバックとして期末試験の返却を希望する場合は、研究室まで取りに来ること。

【使用テキスト】

かんたん合格 ITパスポート教科書 令和6年度 坂下夕里&ラーニング編集部 インプレス 2023年

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション／情報社会で活用されているデータ紹介、データやAIに関する動向	予習として、Googleclassroomで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）。	
2	ハードウェア（CPU、主記憶装置）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）。	
3	ハードウェア（補助記憶装置、入出力装置、入出力インターフェース）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）	
4	ソフトウェア（OS、ファイルの管理）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）	
5	ソフトウェア（表計算ソフト、関数）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）	
6	コンピュータで扱うデータ（2進数）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）	
7	コンピュータで扱うデータ（マルチメディア）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）	
8	データベース	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）	
9	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る課題をレポートにまとめて提出する（2時間）	
10	ネットワーク	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）。	
11	情報セキュリティの実際	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）。	
12	システムの導入	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）。	
13	システム開発とプロジェクトマネジメント	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）。	
14	情報社会における光と影	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）。	
15	データやAIを扱う上での留意事項	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCI102
授業形態： 演習
科目名： 情報基礎演習【経A】
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

パソコンに関する基礎知識やファイルの保存・整理などの基本操作、学業に必要なレポートの作成法、就職活動や社会に出てからも必要となるさまざまなビジネス文書作成、ポスターなどの表現技能について学ぶ。インターネットの仕組み、メールやWebなどのネットの活用法、さらに、ネット社会を適切に生きるためのセキュリティ技術やモラル・マナー、トラブル対処などについても学習していく。そして、さまざまな発表会やビジネスの場で広く利用されているPowerPointによるスライド作成の基本技能も学ぶ。高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- (1) 学業を深め、レポートや卒業論文等を仕上げるのに必要な文書作成および情報検索を円滑に実施できる。
- (2) 学業や社会生活において効率よく情報検索や情報発信するための知識・技能、マナーやセキュリティの重要性を理解することができる。
- (3) 将来、社会人としてビジネスや教職などの就業に必要最低限の情報技術と問題解決力を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】

30時間アカデミック 情報リテラシー Office2021 杉本くみ子他 実教出版 2022年

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション+パソコンの基本操作 (1) パソコンおよび周辺機器の構成	予習として、GoogleClassroo上で指定した教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	パソコンの基本操作(2) コンピュータにおける情報処理の特性	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	ファイルの保存と整理	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	文書作成の基本(1)+Webとメールの基本操作 (1): ワードプロソフトの特徴と基本機能	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	文書作成の基本(2)+Webとメールの基本操作 (2): ページレイアウトの設定、文書入力、フォントの書式変更など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	文書編集の活用(1)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(1): 罫線+情報セキュリティの基礎知識など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	文書編集の活用(2)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(2): 長文作成機能+ ネット上の個人情報、著作権など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	文書作成の実際(1)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(3): レポートの作成+ SNSの利用など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ている場合は、練習ソフトでの自主練習に取り 組むこと。	
9	文書作成の実際(2)：ビジネス文書およびポス ターの作成	予習として、教科書や配布資料をしっかり読 み、授業内容の目的や達成目標をよく理解す る(60分)。復習としては、授業で出題され た教科書や配布資料にある課題を必ず実施し 、指定された期日に提出する(60分)。また 、タッチタイピングの速度が遅いと自覚して いる場合は、練習ソフトでの自主練習に取り 組むこと。	
10	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかり読 み、授業内容の目的や達成目標をよく理解す る(60分)。復習としては、授業で出題され た教科書や配布資料にある課題を必ず実施し 、指定された期日に提出する(60分)。また 、タッチタイピングの速度が遅いと自覚して いる場合は、練習ソフトでの自主練習に取り 組むこと。	
11	プレゼンテーションソフトの基本操作(1)：ス ライドの作成・編集	予習として、教科書や配布資料をしっかり読 み、授業内容の目的や達成目標をよく理解す る(60分)。復習としては、授業で出題され た教科書や配布資料にある課題を必ず実施し 、指定された期日に提出する(60分)。また 、タッチタイピングの速度が遅いと自覚して いる場合は、練習ソフトでの自主練習に取り 組むこと。	
12	プレゼンテーションソフトの基本操作(2)：プ レゼンテーションの企画案作成	予習として、教科書や配布資料をしっかり読 み、授業内容の目的や達成目標をよく理解す る(60分)。復習としては、授業で出題され た教科書や配布資料にある課題を必ず実施し 、指定された期日に提出する(60分)。また 、タッチタイピングの速度が遅いと自覚して いる場合は、練習ソフトでの自主練習に取り 組むこと。	
13	プレゼンテーションの企画と実施(1)：マルチ メディアファイル(画像、音声、動画)の扱 い	予習として、教科書や配布資料をしっかり読 み、授業内容の目的や達成目標をよく理解す る(60分)。復習としては、授業で出題され た教科書や配布資料にある課題を必ず実施し 、指定された期日に提出する(60分)。また 、タッチタイピングの速度が遅いと自覚して いる場合は、練習ソフトでの自主練習に取り 組むこと。	
14	プレゼンテーションの企画と実施(2)：発表会 および相互評価	予習として、教科書や配布資料をしっかり読 み、授業内容の目的や達成目標をよく理解す る(60分)。復習としては、授業で出題され た教科書や配布資料にある課題を必ず実施し 、指定された期日に提出する(60分)。また 、タッチタイピングの速度が遅いと自覚して いる場合は、練習ソフトでの自主練習に取り 組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかり読 み、授業内容の目的や達成目標をよく理解す る(60分)。復習としては、授業で出題され た教科書や配布資料にある課題を必ず実施し 、指定された期日に提出する(60分)。また 、タッチタイピングの速度が遅いと自覚して いる場合は、練習ソフトでの自主練習に取り 組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI102

授業形態： 演習

科目名： 情報基礎演習【経B】

担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

パソコンに関する基礎知識やファイルの保存・整理などの基本操作、学業に必要なレポートの作成法、就職活動や社会に出てからも必要となるさまざまなビジネス文書作成、ポスターなどの表現技能について学ぶ。インターネットの仕組み、メールやWebなどのネットの活用法、さらに、ネット社会を適切に生きるためのセキュリティ技術やモラル・マナー、トラブル対処などについても学習していく。そして、さまざまな発表会やビジネスの場で広く利用されているPowerPointによるスライド作成の基本技能も学ぶ。高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- (1) 学業を深め、レポートや卒業論文等を仕上げるのに必要な文書作成および情報検索を円滑に実施できる。
- (2) 学業や社会生活において効率よく情報検索や情報発信するための知識・技能、マナーやセキュリティの重要性を理解することができる。
- (3) 将来、社会人としてビジネスや教職などの就業に必要最低限の情報技術と問題解決力を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】

30時間アカデミック 情報リテラシー Office2021 杉本くみ子他 実教出版 2022年

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション+パソコンの基本操作 (1) パソコンおよび周辺機器の構成	予習として、GoogleClassroo上で指定した教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	パソコンの基本操作(2) コンピュータにおける情報処理の特性	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	ファイルの保存と整理	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	文書作成の基本(1)+Webとメールの基本操作(1): ワードプロソフトの特徴と基本機能	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	文書作成の基本(2)+Webとメールの基本操作(2): ページレイアウトの設定、文書入力、フォントの書式変更など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	文書編集の活用(1)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(1): 罫線+情報セキュリティの基礎知識など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	文書編集の活用(2)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(2): 長文作成機能+ ネット上の個人情報、著作権など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	文書作成の実際(1)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(3): レポートの作成+ SNSの利用など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ている場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	文書作成の実際(2)：ビジネス文書およびポスターの作成	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	プレゼンテーションソフトの基本操作(1)：スライドの作成・編集	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	プレゼンテーションソフトの基本操作(2)：プレゼンテーションの企画案作成	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	プレゼンテーションの企画と実施(1)：マルチメディアファイル(画像、音声、動画)の扱い	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	プレゼンテーションの企画と実施(2)：発表会および相互評価	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI102
授業形態： 演習
科目名： 情報基礎演習【経C】
担当教員： 山村 孝子(YAMAMURA Takako)

【授業の紹介】

パソコンに関する基礎知識やファイルの保存・整理などの基本操作、学業に必要なレポートの作成法、就職活動や社会に出てからも必要となるさまざまなビジネス文書作成、ポスターなどの表現技能について学ぶ。インターネットの仕組み、メールやWebなどのネットの活用法、さらに、ネット社会を適切に生きるためのセキュリティ技術やモラル・マナー、トラブル対処などについても学習していく。そして、さまざまな発表会やビジネスの場で広く利用されているPowerPointによるスライド作成の基本技能も学ぶ。高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- (1) 学業を深め、レポートや卒業論文等を仕上げるのに必要な文書作成および情報検索を円滑に実施できる。
- (2) 学業や社会生活において効率よく情報検索や情報発信するための知識・技能、マナーやセキュリティの重要性を理解することができる。
- (3) 将来、社会人としてビジネスや教職などの就業に必要最低限の情報技術と問題解決力を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】

30時間アカデミック 情報リテラシー Office2021 杉本くみ子他 実教出版 2022年

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション+パソコンの基本操作 (1) パソコンおよび周辺機器の構成	予習として、GoogleClassroo上で指定した教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	パソコンの基本操作(2) コンピュータにおける情報処理の特性	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	ファイルの保存と整理	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	文書作成の基本(1)+Webとメールの基本操作 (1): ワードプロソフトの特徴と基本機能	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	文書作成の基本(2)+Webとメールの基本操作 (2): ページレイアウトの設定、文書入力、フォントの書式変更など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	文書編集の活用(1)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(1): 罫線+情報セキュリティの基礎知識など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	文書編集の活用(2)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(2): 長文作成機能+ ネット上の個人情報、著作権など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	文書作成の実際(1)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(3): レポートの作成+ SNSの利用など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ている場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	文書作成の実際(2)：ビジネス文書およびポスターの作成	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	プレゼンテーションソフトの基本操作(1)：スライドの作成・編集	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	プレゼンテーションソフトの基本操作(2)：プレゼンテーションの企画案作成	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	プレゼンテーションの企画と実施(1)：マルチメディアファイル(画像、音声、動画)の扱い	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	プレゼンテーションの企画と実施(2)：発表会および相互評価	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI102

授業形態： 演習

科目名： 情報基礎演習【経D】

担当教員： 山村 孝子(YAMAMURA Takako)

【授業の紹介】

パソコンに関する基礎知識やファイルの保存・整理などの基本操作、学業に必要なレポートの作成法、就職活動や社会に出てからも必要となるさまざまなビジネス文書作成、ポスターなどの表現技能について学ぶ。インターネットの仕組み、メールやWebなどのネットの活用法、さらに、ネット社会を適切に生きるためのセキュリティ技術やモラル・マナー、トラブル対処などについても学習していく。そして、さまざまな発表会やビジネスの場で広く利用されているPowerPointによるスライド作成の基本技能も学ぶ。高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- (1) 学業を深め、レポートや卒業論文等を仕上げるのに必要な文書作成および情報検索を円滑に実施できる。
- (2) 学業や社会生活において効率よく情報検索や情報発信するための知識・技能、マナーやセキュリティの重要性を理解することができる。
- (3) 将来、社会人としてビジネスや教職などの就業に必要最低限の情報技術と問題解決力を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】

30時間アカデミック 情報リテラシー Office2021 杉本くみ子他 実教出版 2022年

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション+パソコンの基本操作 (1) パソコンおよび周辺機器の構成	予習として、GoogleClassroo上で指定した教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	パソコンの基本操作(2) コンピュータにおける情報処理の特性	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	ファイルの保存と整理	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	文書作成の基本(1)+Webとメールの基本操作 (1): ワードプロソフトの特徴と基本機能	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	文書作成の基本(2)+Webとメールの基本操作 (2): ページレイアウトの設定、文書入力、フォントの書式変更など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	文書編集の活用(1)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(1): 罫線+情報セキュリティの基礎知識など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	文書編集の活用(2)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(2): 長文作成機能+ ネット上の個人情報、著作権など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	文書作成の実際(1)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(3): レポートの作成+ SNSの利用など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ている場合は、練習ソフトでの自主練習に取り 組むこと。	
9	文書作成の実際(2)：ビジネス文書およびポス ターの作成	予習として、教科書や配布資料をしっかり読 み、授業内容の目的や達成目標をよく理解す る(60分)。復習としては、授業で出題され た教科書や配布資料にある課題を必ず実施し 、指定された期日に提出する(60分)。また 、タッチタイピングの速度が遅いと自覚して いる場合は、練習ソフトでの自主練習に取り 組むこと。	
10	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかり読 み、授業内容の目的や達成目標をよく理解す る(60分)。復習としては、授業で出題され た教科書や配布資料にある課題を必ず実施し 、指定された期日に提出する(60分)。また 、タッチタイピングの速度が遅いと自覚して いる場合は、練習ソフトでの自主練習に取り 組むこと。	
11	プレゼンテーションソフトの基本操作(1)：ス ライドの作成・編集	予習として、教科書や配布資料をしっかり読 み、授業内容の目的や達成目標をよく理解す る(60分)。復習としては、授業で出題され た教科書や配布資料にある課題を必ず実施し 、指定された期日に提出する(60分)。また 、タッチタイピングの速度が遅いと自覚して いる場合は、練習ソフトでの自主練習に取り 組むこと。	
12	プレゼンテーションソフトの基本操作(2)：プ レゼンテーションの企画案作成	予習として、教科書や配布資料をしっかり読 み、授業内容の目的や達成目標をよく理解す る(60分)。復習としては、授業で出題され た教科書や配布資料にある課題を必ず実施し 、指定された期日に提出する(60分)。また 、タッチタイピングの速度が遅いと自覚して いる場合は、練習ソフトでの自主練習に取り 組むこと。	
13	プレゼンテーションの企画と実施(1)：マルチ メディアファイル(画像、音声、動画)の扱 い	予習として、教科書や配布資料をしっかり読 み、授業内容の目的や達成目標をよく理解す る(60分)。復習としては、授業で出題され た教科書や配布資料にある課題を必ず実施し 、指定された期日に提出する(60分)。また 、タッチタイピングの速度が遅いと自覚して いる場合は、練習ソフトでの自主練習に取り 組むこと。	
14	プレゼンテーションの企画と実施(2)：発表会 および相互評価	予習として、教科書や配布資料をしっかり読 み、授業内容の目的や達成目標をよく理解す る(60分)。復習としては、授業で出題され た教科書や配布資料にある課題を必ず実施し 、指定された期日に提出する(60分)。また 、タッチタイピングの速度が遅いと自覚して いる場合は、練習ソフトでの自主練習に取り 組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかり読 み、授業内容の目的や達成目標をよく理解す る(60分)。復習としては、授業で出題され た教科書や配布資料にある課題を必ず実施し 、指定された期日に提出する(60分)。また 、タッチタイピングの速度が遅いと自覚して いる場合は、練習ソフトでの自主練習に取り 組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI103
授業形態： 演習
科目名： 情報応用演習【経A】
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

情報関連の知識・技術の基礎（「情報基礎演習」）をすでに学んだ人を対象に、主にExcelによる表計算を用いた情報の利活用の実際について学ぶ。アンケート調査などで取得した多量のデータを分析し、利用するためには、その前提として様々なデータを取り扱うための基礎知識を学習する必要がある。さらに、様々な種類のデータに対する適切なデータ処理とデータの提示方法を学習し、その練習を繰り返し実施する。そして、数理・データサイエンスに関する基礎知識についても学習する。
数理データサイエンスAI教育プログラムの科目である。また、高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- (1)Excelの操作画面の名称と機能を説明できる。
- (2)Excelによる表・グラフの作成、データベースの基本操作を円滑に実行できる。
- (3)日常のさまざまな課題解決に情報技術を活用できる見方・考え方を身に付けることができる。
- (4)数理・データサイエンスの基礎知識について説明できる。

【成績の評価】

授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	数理・データサイエンスに関する基礎知識 (1) 身近な数理・データサイエンスの紹介 ・データ ・AI利活用における留意事項	予習として、GoogleClassrooで指定した教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	数理・データサイエンスに関する基礎知識 (2) 表計算ソフトを利用したデータ処理・データを 守る上での留意事項	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	テーブルと条件付き書式	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	グラフの利用	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	基本的な関数	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	順位と条件の判定、検索	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	データベース関数	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚してい	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	SUMIF関数、配列数式	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	フィルタとデータ抽出	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	クロス集計とピボットテーブル	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	論理演算、真理値表	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	条件の組み合わせに関する基本法則	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	様々な条件の組み合わせを考えてみる	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI103
授業形態： 演習
科目名： 情報応用演習【経B】
担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

情報関連の知識・技術の基礎（「情報基礎演習」）をすでに学んだ人を対象に、主にExcelによる表計算を用いた情報の利活用の実際について学ぶ。アンケート調査などで取得した多量のデータを分析し、利用するためには、その前提として様々なデータを取り扱うための基礎知識を学習する必要がある。さらに、様々な種類のデータに対する適切なデータ処理とデータの提示方法を学習し、その練習を繰り返し実施する。そして、数理・データサイエンスに関する基礎知識についても学習する。
数理データサイエンスAI教育プログラムの科目である。また、高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- (1)Excelの操作画面の名称と機能を説明できる。
- (2)Excelによる表・グラフの作成、データベースの基本操作を円滑に実行できる。
- (3)日常のさまざまな課題解決に情報技術を活用できる見方・考え方を身に付けることができる。
- (4)数理・データサイエンスの基礎知識について説明できる。

【成績の評価】

授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （１）身近な数理・データサイエンスの紹介 ・データ ・AI利活用における留意事項	予習として、GoogleClassrooで指定した教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （２）表計算ソフトを利用したデータ処理・データを 守る上での留意事項	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	テーブルと条件付き書式	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	グラフの利用	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	基本的な関数	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	順位と条件の判定、検索	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	データベース関数	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚してい	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	SUMIF関数、配列数式	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	フィルタとデータ抽出	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	クロス集計とピボットテーブル	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	論理演算、真理値表	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	条件の組み合わせに関する基本法則	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	様々な条件の組み合わせを考えてみる	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI103

授業形態： 演習

科目名： 情報応用演習【経C】

担当教員： 山村 孝子(YAMAMURA Takako)

【授業の紹介】

情報関連の知識・技術の基礎（「情報基礎演習」）をすでに学んだ人を対象に、主にExcelによる表計算を用いた情報の利活用の実際について学ぶ。アンケート調査などで取得した多量のデータを分析し、利用するためには、その前提として様々なデータを取り扱うための基礎知識を学習する必要がある。さらに、様々な種類のデータに対する適切なデータ処理とデータの提示方法を学習し、その練習を繰り返し実施する。そして、数理・データサイエンスに関する基礎知識についても学習する。

数理データサイエンスAI教育プログラムの科目である。また、高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- (1)Excelの操作画面の名称と機能を説明できる。
- (2)Excelによる表・グラフの作成、データベースの基本操作を円滑に実行できる。
- (3)日常のさまざまな課題解決に情報技術を活用できる見方・考え方を身に付けることができる。
- (4)数理・データサイエンスの基礎知識について説明できる。

【成績の評価】

授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	<p>数理・データサイエンスに関する基礎知識 （１）身近な数理・データサイエンスの紹介 ・データ ・AI利活用における留意事項</p>	<p>予習として、GoogleClassrooで指定した教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。</p>	
2	<p>数理・データサイエンスに関する基礎知識 （２）表計算ソフトを利用したデータ処理・データを 守る上での留意事項</p>	<p>予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。</p>	
3	<p>テーブルと条件付き書式</p>	<p>予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。</p>	
4	<p>グラフの利用</p>	<p>予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。</p>	
5	<p>基本的な関数</p>	<p>予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。</p>	
6	<p>順位と条件の判定、検索</p>	<p>予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。</p>	
7	<p>ここまでの要点整理と中間試験</p>	<p>予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。</p>	
8	<p>データベース関数</p>	<p>予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚してい</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	SUMIF関数、配列数式	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	フィルタとデータ抽出	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	クロス集計とピボットテーブル	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	論理演算、真理値表	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	条件の組み合わせに関する基本法則	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	様々な条件の組み合わせを考えてみる	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI103

授業形態： 演習

科目名： 情報応用演習【経D】

担当教員： 山村 孝子(YAMAMURA Takako)

【授業の紹介】

情報関連の知識・技術の基礎（「情報基礎演習」）をすでに学んだ人を対象に、主にExcelによる表計算を用いた情報の利活用の実際について学ぶ。アンケート調査などで取得した多量のデータを分析し、利用するためには、その前提として様々なデータを取り扱うための基礎知識を学習する必要がある。さらに、様々な種類のデータに対する適切なデータ処理とデータの提示方法を学習し、その練習を繰り返し実施する。そして、数理・データサイエンスに関する基礎知識についても学習する。

数理データサイエンスAI教育プログラムの科目である。また、高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- (1)Excelの操作画面の名称と機能を説明できる。
- (2)Excelによる表・グラフの作成、データベースの基本操作を円滑に実行できる。
- (3)日常のさまざまな課題解決に情報技術を活用できる見方・考え方を身に付けることができる。
- (4)数理・データサイエンスの基礎知識について説明できる。

【成績の評価】

授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （１）身近な数理・データサイエンスの紹介 ・データ ・AI利活用における留意事項	予習として、GoogleClassrooで指定した教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （２）表計算ソフトを利用したデータ処理・データを 守る上での留意事項	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	テーブルと条件付き書式	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	グラフの利用	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	基本的な関数	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	順位と条件の判定、検索	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	データベース関数	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚してい	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	SUMIF関数、配列数式	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	フィルタとデータ抽出	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	クロス集計とピボットテーブル	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	論理演算、真理値表	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	条件の組み合わせに関する基本法則	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	様々な条件の組み合わせを考えてみる	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UDS101

授業形態： 講義

科目名： 数理データサイエンス基礎

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshi)

【授業の紹介】

現代の情報化社会において、数理・データサイエンス・AIの重要性が認識され、様々な企業や組織での活動に必要とされるとともに、基礎的な考え方を理解し、日常生活や仕事において使いこなせる人材が必要とされるようになってきています。この授業では、そもそも何のために何をどのように計量し、データを取得しようとしているのか、得られたデータをどのように使うのかについて、基礎的な学習を行うとともに、情報やAI(人工知能)の概要について学びます。
この科目は、数理データサイエンスAI教育プログラムの選択科目です。

< 卒業認定・学位授与の方針における関連項目 >

2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

< 学修成果における関連項目 >

課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

1. 情報とは何かを理解し、データと情報の違いを説明できる。
2. データの集まりについて、その統計量を把握できる。
3. 数理モデルを考え、その妥当性を確かめることができる。
4. 機械学習の仕組みの概要を把握し、説明できる。

【成績の評価】

授業における取組みとコメント(25%)、小テスト型課題(25%)、定期試験代わりの課題(50%)
コメントについては、優秀なものについて解説を行うことにより、フィードバックを行う。
小テスト型課題および定期試験代わりの課題については、採点結果を返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

資料を配布します。

【参考文献】

伊藤大河ら著「大学基礎 データサイエンス」(実教出版) ISBN978-4-407-36122-3
Kay, Mr. 著「楽しいAI体験から始める機械学習 算数・数学をやらせてみたら」(技術評論社) ISBN978-4-297-11276-9, ¥2,180+税
加藤公一監修, 秋庭伸也ら著「見て試してわかる機械学習アルゴリズムの仕組み 機械学習図鑑」(翔泳社) ISBN978-4-7981-5565-4, ¥2,680+税

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンスとイントロダクション	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
2	データと情報	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
3	データの特徴を把握する	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
4	和の記号 と数列の和	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 課題：和の記号 と数列の和に関する課題(2時間)	
5	物事を数式を使って表す	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
6	データをもとに推測する	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
7	確率の基礎知識	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 課題：確率に関する課題(2時間)	
8	条件付確率とベイズの定理	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 課題：条件付確率に関する課題(2時間)	
9	確率分布と期待値	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 課題：期待値に関する課題(2時間)	
10	全数調査と標本調査	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
11	仮説検定	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
12	推定	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 課題：仮説検定と推定に関する課題(2時間)	
13	AIを使う	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
14	AIは考えているのか	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容をまとめる(2時間) 小課題：授業内容に関連する小課題を自分なりに設定して調べる(2時間)	
15	総括：定期試験代わりの課題に関する説明と	復習：配布資料や参考図書をもとに授業内容	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
	今後の学習活動へのアドバイス	をまとめる(2時間) 課題：定期試験代わりの課題(2時間)	
	定期試験(実施しない)		定期試験代わりの課題を実施します

科目ナンバリング： UDS201
授業形態： 講義
科目名： データ分析活用法
担当教員： 正岡 利朗(MASAOKA Toshirou)

【授業の紹介】

データを処理して分析し、その活用を図るという観点より、企業及び公共組織等が商品の販売促進やサービスの向上などを企図して行うアンケート調査につき、教員が解説を行うかたちで、講義を進めます。アンケートを回答したことがあっても、自ら作る側に回った方は少ないと思われます。ですが、このような知識は、みなさんがさまざまな組織で仕事をするに当たり、身につけておいて決して損はしないものです。慣れてくると、考え方が整理され、アンケート調査の重要性、有用性がだんだんわかってきますので、興味のある方はこの機会にぜひ受講してみてください。

なお、本授業は、グループワークで情報収集・ディスカッションを行うアクティブ・ラーニング形式を採用しています。また、高等学校教諭一種免許状（情報・商業）取得のための選択科目に該当します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 企業及び公共組織等が商品の販売やサービスなどを促進させるために行うアンケート調査について、理解を深めることができる。
2. リサーチの技法を確実に身につけることができる。
3. 上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティー5.0に寄与する各技能や考え方を身につけることができる。

【成績の評価】

レポート提出（100％）の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生（グループ）のレポートの結果については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

とくにありません（インターネットを使用する場合もある）。

【参考文献】

酒井隆『アンケート調査の進め方＜第2版＞』日本経済新聞出版社、2012年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	アンケート調査とは	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
3	企画・設計の手順（調査課題の設定）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
4	企画・設計の手順（調査方法の選定）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
5	企画・設計の手順（調査期間等の見通し）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
6	アンケート票の作成（言葉遣いについて）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
7	アンケート票の作成（調査ボリューム）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
8	アンケート票の作成（レイアウトの検討）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
9	集計・分析の手順（集計の手順）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
10	集計・分析の手順（集計方法）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
11	集計・分析の手順（集計上の留意点）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
12	報告書の作成（文章、分析内容の検討）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>ておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
13	<p>報告書の作成（レイアウトの検討）</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
14	<p>とくにweb調査について</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
15	<p>これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
	<p>定期試験(実施しない)</p>		

科目ナンバリング：

授業形態： 講義

科目名： アンケート調査法

担当教員： 正岡 利朗(MASAOKA Toshirou)

【授業の紹介】

企業及び公共組織等が商品の販売促進やサービスの向上などを企図して行うアンケート調査につき、教員が解説を行うかたちで、講義を進めます。アンケートを回答したことがあっても、自ら作る側に回った方は少ないと思われます。ですが、このような知識は、みなさんがさまざまな組織で仕事をするに当たり、身につけておいて決して損はしないものです。慣れてくると、考え方が整理され、アンケート調査の重要性、有用性がだんだんわかってきますので、興味のある方はこの機会にぜひ受講してみてください。なお、本授業は、グループワークで情報収集・ディスカッションを行うアクティブ・ラーニング形式を採用しています。また、高等学校教諭一種免許状（情報・商業）取得のための選択科目に該当します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 企業及び公共組織等が商品の販売やサービスなどを促進させるために行うアンケート調査について、理解を深めることができる。
2. リサーチの技法を確実に身につけることができる。
3. 上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティ5.0に寄与する各技能や考え方を身につけることができる。

【成績の評価】

レポート提出（100％）の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生（グループ）のレポートの結果については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

とくにありません（インターネットを使用する場合もある）。

【参考文献】

酒井隆『アンケート調査の進め方＜第2版＞』日本経済新聞出版社、2012年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	アンケート調査とは	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
3	企画・設計の手順（調査課題の設定）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
4	企画・設計の手順（調査方法の選定）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
5	企画・設計の手順（調査期間等の見通し）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
6	アンケート票の作成（言葉遣いについて）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
7	アンケート票の作成（調査ボリューム）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
8	アンケート票の作成（レイアウトの検討）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
9	集計・分析の手順（集計の手順）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
10	集計・分析の手順（集計方法）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
11	集計・分析の手順（集計上の留意点）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
12	報告書の作成（文章、分析内容の検討）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>ておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
13	<p>報告書の作成（レイアウトの検討）</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
14	<p>とくにweb調査について</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
15	<p>これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
	<p>定期試験(実施しない)</p>		

科目ナンバリング： UCL001
授業形態： 講義
科目名： コミュニケーション表現【経】
担当教員： 岩澤 健(IWASAWA Takeshi)

【授業の紹介】

この授業では、現代社会に不可欠なコミュニケーションについて、その理論と実践を学び、社会生活で求められるコミュニケーションの力を考え、身につけることを目標にします。聞く力や、正しく読む力などコミュニケーションの力を身につけることで、問題発見、課題解決能力とは何かを理解し、対人関係の問題や目標に向かって進む思考力を高めることも目指します。
関連科目の「コミュニケーション演習」もあわせて受講することを希望します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

社会生活で重要なコミュニケーションを図る能力を身につけることができる。
企業社会で必要とされるコミュニケーション能力とは何かを理解できる。
「話す力」「聞く力」「書く力」「読む力」ができる。
「考える力」「問題を発見し、解決する思考」が身につけられる。
コミュニケーションの観点から、経済学、経営学への興味が高められるようになる。
プレゼンテーション力を身につけることができる。

【成績の評価】

受講態度（約50%）、テスト（約50%）などで評価します。テストは採点、講評とともに返却します。

【使用テキスト】

使用テキストなし、随時授業資料を配付

【参考文献】

アクセルロッド「付き合い方の科学」
中川邦夫「問題解決の全体観」
内田和成「論点思考」
内田和成「仮説思考」
グロービス経営大学院「クリティカルシンキング」
照屋華子「ロジカルライティング」
渡辺隆裕「ゼミナールゲーム理論入門」
福田充「リスクコミュニケーション」

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ことば表現：「オリエンテーション」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
2	ことば表現：「聴く力、共感力」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
3	ことば表現：「質問する力自己紹介」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
4	ことば表現：「書く力」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
5	ことば表現：「自己紹介」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
6	ことば表現：「行動経済学とコミュニケーション」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
7	ことば表現：「ロジカルシンキングで書く、話す」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
8	ことば表現：「マーケティングとコミュニケーション」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
9		授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいま	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		す。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
10	ことば表現：「問題解決能力、フェルミ推定」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
11	ことば表現：「経営戦略とコミュニケーション」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
12	ことば表現：「言い方の工夫 敬語、クッション言葉」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
13	ことば表現：「ゲーム理論へのアプローチ」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
14	ことば表現：「災害とコミュニケーション」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
15	ことば表現：「まとめ 人を動かす」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCL002
授業形態： 演習
科目名： コミュニケーション演習 【経】
担当教員： 岩澤 健(IWASAWA Takeshi)

【授業の紹介】

近年、コミュニケーションの重要性が叫ばれています。幸福感、健康、仕事の成功などを導く最大の要因の一つは人間関係だと言われており、それを良好にする力がコミュニケーションです。「聞く」「話す」「読む」「書く」というコミュニケーション能力を高めることで、社会生活を円滑に送ったり、社会に貢献できたりする人間力を高めることが可能になります。より良いコミュニケーションの探求の先に、問題発見や解決に取り組む能力をつけることも目標にします。
関連科目の「コミュニケーション演習」、「コミュニケーション表現」もあわせて履修を希望します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

コミュニケーション全般についての基礎的概念の理解を深めることができる。
「聴く技術」を身につけ、対人コミュニケーション能力を高める。
総合的なコミュニケーションの技術を身につけ、様々な知識を吸収する力を高める。
人間力、生きる力を向上させ、人としての成長を図る。

【成績の評価】

受講態度（約50%）、テスト（約50%）などで評価。テストは採点、講評とともに返却します。

【使用テキスト】

使用テキストなし、随時授業資料を配付

【参考文献】

杉原保史「プロカウンセラーの共感の技術」
照屋華子著「ロジカル・シンキング」
ケイト・マーフィー「リッスン」
ロバート・チャルディーニ著「影響力の武器」
ダニエル・カーネマン「ファスト&スロー」
山崎康司著「考える技術・書く技術」
ジェシカ・プロディ「セイブザキャットの法則」

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ことば表現演習：「オリエンテーション」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
2	ことば表現演習：「傾聴する力」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
3	ことば表現演習：「共感力を高める」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
4	ことば表現演習：「質問力をつける」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
5	ことば表現演習：「非言語コミュニケーションの重要性を知る」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
6	ことば表現演習：「雑談について」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
7	ことば表現演習：「アサーティブコミュニケーションを知る」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
8	ことば表現演習：「読解力をつける」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
9	ことば表現演習：「感情をコントロールする」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
10	ことば表現演習：「文章表現の基本について」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいま	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		す。必要に応じて、課題も出します。	
11	ことば表現演習：「認知バイアスを理解する」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
12	ことば表現演習：「ロジカルシンキング 論理的に書く、話す」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
13	ことば表現演習：「文章を書く ストーリーテリング」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
14	ことば表現演習：「問題発見、解決能力の基本」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
15	ことば表現演習：「まとめ」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習（1時間）してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて口頭で伝えたり、レジュメを配布したりしますので、事前に予習してもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCL003
授業形態： 演習
科目名： コミュニケーション演習 【経】
担当教員： 岩澤 健(IWASAWA Takeshi)

【授業の紹介】

企業が新入社員に求める能力として、毎年上位にあがるのが「コミュニケーション能力」です。一方で、コミュニケーションが苦手と言う若い世代も増えています。
この授業では、社会人として活躍できる力としてコミュニケーション能力を高め、社会生活で良好な対人関係を築けるような方法についても学びます。書く力を身に着けることにも力点を置きます。
「コミュニケーションで説得する力」「人の心を動かすコミュニケーション」「論理的な思考能力」などを身につけることで、問題解決に取り組む力の育成も図ります。
関連科目の「コミュニケーション演習」「コミュニケーション表現」もあわせて履修を希望します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

表現する力を身につけ、自分の考えを正しく伝える能力の向上をはかることができる。
コミュニケーション力を高めることで、問題解決の力を身につけることができる。
実社会で役立つ「分かりやすい文章」「人の心を動かす文章」を学ぶことができる。
「プレゼンテーション力」を身につけることができる。
ビジネスで求められるコミュニケーション力を身につけることができる。

【成績の評価】

受講態度（約50%）、テスト（約50%）などで評価。テストは採点、講評とともに返却します。

【使用テキスト】

使用テキストなし、随時授業資料を配付

【参考文献】

アリストテレス「弁論術」
ロジャー・フィッシャー「ハーバード流交渉術」
中川功一「行動経済学大全」
サイモン・シネック「WHYからはじめよ」
照屋華子著「ロジカル・シンキング」
柿内尚文「バナナの魅力をも100文字で伝えてください」
アネット・シモンズ「プロフェッショナルはストーリーで伝える」

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ことば表現演習：「オリエンテーション」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて調べてもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
2	ことば表現演習：「アクティブリスニング」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて調べてもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
3	ことば表現演習：「分かりやすく書く」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて調べてもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
4	ことば表現演習：「説得する力」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて調べてもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
5	ことば表現演習：「書く力を高める」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて調べてもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
6	ことば表現演習：「交渉術」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて調べてもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
7	ことば表現演習：「敬語について」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて調べてもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
8	ことば表現演習：「書く力 言葉を磨く」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて調べてもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
9	ことば表現演習：「行動経済学、ナッジ理論について」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて調べてもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
10	ことば表現演習：「ゴールデンサークル理論とは」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて調べてもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。必要	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		に応じて、課題も出します。	
11	ことば表現演習：「心を動かす書き方」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて調べてもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
12	ことば表現演習：「ビジネスコミュニケーションを考える」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて調べてもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
13	ことば表現演習：「商談の話法」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて調べてもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
14	ことば表現演習：「書く技術を高める」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて調べてもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
15	ことば表現演習：「まとめ」	授業は毎回レジュメ配布します。自宅などでレジュメを再読し、復習してもらいます。また毎回の授業の最後に次週のテーマについて調べてもらいます。事前の予習を通じ、授業の理解が深まるようにしてもらいます。必要に応じて、課題も出します。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCS001

授業形態： 講義

科目名： マスメディアと社会

担当教員： 山下 淳二(YAMASHITA Junji)

【授業の紹介】

ネット社会の進展につれ変貌するマスコミュニケーションの実相を新聞を中心としたオールドメディアの側から明らかにし、現代社会において望ましいマスメディアの在り方、市民との関係について学ぶ。情報はどのようにとらえられ、加工され、送られるのか。40年を超える新聞づくりの経験を生かしながら、送り手側の問題点、受け手側の課題を探る。その中で得られるメディア・リテラシーは、自ら考え、判断し、行動する力の基礎となるだろう。言葉を換えれば、「情報化社会を知的に生きる基礎」と言える。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】

情報を読むことは単に字面を追うことではない。

1. 毎回の授業の冒頭は、最新のニュースを題材に、読み方を議論しながら情報を鵜呑みにしない視点を磨くことができる。
2. 情報を主体的に読み解く力、メディア・リテラシーの獲得をめざす。

【成績の評価】

この1週間の出来事の中から、テーマを選び毎週提出するミニ・レポートは、独自の視点を養い、情報の偏りの有無などを発見する作業。

毎授業の初めに、前週のレポートの主な評価をコメント付きで発表し、全員で考える材料とすることでフィードバックします。(50%)

最後に、統一のテーマを設定して締めくくりのレポート提出を求める。(50%)

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

日々の新聞、雑誌など

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	1週間のうち1本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをレポートする（3時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（1時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
2	マスメディアの興亡（歴史）	1週間のうち1本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをレポートする（3時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（1時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
3	ネット社会のマスメディア（現状）	1週間のうち1本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをレポートする（3時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（1時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
4	ニュースとは何か	1週間のうち1本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをレポートする（3時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（1時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
5	ニュースの価値判断	1週間のうち1本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをレポートする（3時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（1時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
6	報道と人権（概論）	1週間のうち1本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをレポートする（3時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（1時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
7	報道と人権（えん罪の構造）	1週間のうち1本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをレポートする（3時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（1時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
8	知る権利と報道の自由	1週間のうち1本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをレポートする（3時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（1時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
9	取材源の秘匿と報道倫理	1週間のうち1本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをレポートする（3時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（1時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
10	マスメディアの構造的問題（記者クラブ）	1週間のうち1本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをレポートする（3時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（1時間）。メディ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ア・リテラシーの実践である。	
11	マスメディアの構造的問題（新聞の宅配制度と特殊指定）	1週間のうち1本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをレポートする（3時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（1時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
12	マスメディアの構造的問題（クライアントとの距離感）	1週間のうち1本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをレポートする（3時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（1時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
13	マスメディアの構造的問題（クロス・オーナー・シップ）	1週間のうち1本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをレポートする（3時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（1時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
14	メディア・リテラシー	1週間のうち1本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをレポートする（3時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（1時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
15	これまでの講義のまとめ及び質疑応答	1週間のうち1本でいい。気になる出来事、興味ある報道を取り上げ、「今週のマイニュース」として、感じたこと、読み取ったことをレポートする（3時間）。授業への疑問、提案もまとめておく（1時間）。メディア・リテラシーの実践である。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCH001
授業形態： 講義
科目名： 比較文化
担当教員： 井上 隆史(INOUE Takashi)

【授業の紹介】

今日のアジアは成長著しく、活気にあふれています。中国、朝鮮半島、モンゴル、東南アジアなど多くのアジアの国とかがわって、様々なドキュメンタリーを制作してきたジャーナリストの眼から見、肌で感じた文化と歴史、人々の暮らしを紹介します。中でもライフワークとして取り組んだのがシルクロードですが、21世紀のシルクロードは、まさに激動と混迷の時代に入ってしまった。アジアの国々で、そしてシルクロードの地で今何が起きているのか？人々はどんな暮らしをしているのか・・・？古代と現代を行き来し、時空を超えた旅をしながら、それぞれの国や地域の魅力にも迫りたいと思います。グローバル時代を生き抜くためには、歴史の事象や世界を「複眼」で見ることを心がけなければなりません。まずは世界を知ることです。特に同じアジア文化圏の歴史や今に触れて実情を知り、日本との繋がりがその違いを見つめ直すことが重要です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

- 1 授業で取り上げた国々や事件・事象の中で最も関心を持ったテーマについて、自分なりの意見を1500字程度で書くことができる。
- 2 浮かび上がった日本および日本人の問題点・課題を自分なりにわかりやすく述べることができる。

【成績の評価】

レポート（50％）授業への参加状況（50％）レポートは集中講義終了後採点し、コメントをつけて返却することでフィードバックをします。

【使用テキスト】

必要に応じて講義の時に配布します。

【参考文献】

- 「アフガニスタン・さまよえる国宝」（2017年 NHK出版）
- 「アフガニスタンを知るための70章」（2021年 明石書店）
- 「みろくへの道」（2023年 東京藝術大学）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	モンゴルから世界を見る 世界最大の帝国モンゴルとは何だったのか？	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（2時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙1枚程度にまとめておくこと。（2時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
2	モンゴルから世界を見る 幻の東方キリスト教国プレスタ ジョンの幻影	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（2時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙1枚程度にまとめておくこと。（2時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
3	モンゴルから世界を見る パクスモンゴリカ（モンゴルの平和）とその正と負の遺産	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（2時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙1枚程度にまとめておくこと。（2時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
4	シルクロードは麺ロード 讃岐うどんの原点である麺文化の源流を探る	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（2時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙1枚程度にまとめておくこと。（2時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
5	シルクロードは麺ロード 中国の黄色い大地「黄土高原」の豊かな麺文化	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（2時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙1枚程度にまとめておくこと。（2時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
6	シルクロードは麺ロード イタリアに麺文化を伝えたのはマルコポーロか？イスラム商人か？	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（2時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙1枚程度にまとめておくこと。（2時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
7	シルクロード最大の謎・楼蘭に挑む タクラマカン砂漠の砂の中に眠る謎の王国「楼蘭」	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		と。（2時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙1枚程度にまとめておくこと。（2時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
8	シルクロード最大の謎・楼蘭に挑む ミイラのDNA分析からわかってきた古代楼蘭の実像	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（2時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙1枚程度にまとめておくこと。（2時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
9	シルクロード最大の謎・楼蘭に挑む 古代ユーラシアの知られざる人類大移動。	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（2時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙1枚程度にまとめておくこと。（2時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
10	アジアの国々の素顔に迫る ベトナム戦争に翻弄された国民的歌手の悲劇とドイモイ	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（2時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙1枚程度にまとめておくこと。（2時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
11	アジアの国々の素顔に迫る 謎の国北朝鮮の実像。日本の古代文化の源流を見、人々の生の声を聴く	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（2時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙1枚程度にまとめておくこと。（2時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
12	アジアの国々の素顔に迫る ビルマ（ミャンマー）独立運動と日本。	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（2時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙1枚程度にまとめておくこと。（2時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
13	遠くて近い国アフガニスタン アフガニスタン文化遺産保護活動と日本文化の源流	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（2時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙1枚程度にまとめておくこと。（2時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		枚程度にまとめておくこと。（2時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
14	遠くて近い国アフガニスタン 20年にわたる 戦乱と流出文化財の悲劇	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（2時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙1枚程度にまとめておくこと。（2時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
15	遠くて近い国アフガニスタン タリバン政権 と世界に見捨てられた国の未来像	授業計画の各回のテーマや舞台になる地域について、授業の前に下調べをしてそれぞれの関心事項や疑問をノート等にまとめておくこと。（2時間） 授業で初めて知ったことや異文化やそれぞれの歴史について感じたことについてA4用紙1枚程度にまとめておくこと。（2時間） こうした姿勢が将来異文化と出合った時に、コミュニケーションを生み、相互理解につながっていきます。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCE101

授業形態： 演習

科目名： 英語 【経あ】

担当教員： バテン, ポール(BATTEN, Paul)

【授業の紹介】

本授業では、基礎的な英語文法の定着を図るとともに、グローバル人材に求められるコミュニケーションスキルの育成を重点的に行います。身近で実用的なトピックを扱いながら、読む・聞く・書く・話すという英語の総合的な運用能力を習得し、社会人としての幅広い教養を身に付け、豊かな人間性の向上を目指します。

また、さらなるリスニング能力の定着に向けて、ディクテーション活動を適宜取り入れます。和訳の練習も行います。

毎回、十分に予習・復習を行った上で授業に臨んで下さい。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 英語を用いて、積極的にコミュニケーションを図ることができる。
2. 英文法の基礎を理解することができる。
3. 英語語彙および表現を練習し、使うことができる。
4. 多文化コミュニケーションに対する知識や理解を深めることができる。

【成績の評価】

小テスト(30%)、定期試験(30%)、授業中の各活動(40%)

フィードバック方法：授業中に行います。

小テストはその都度解答・解説を行う。

【使用テキスト】

柴田真一、神藤理恵、Lindsay Wells 著

『MUST-HAVE English Skills for Global Communication』(金星堂 2018年)

【参考文献】

オンライン英和辞典等を必ず準備してください。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

私の専門分野は応用言語学、つまり言語教育と学習です。私は日本での海外生活経験があり、日常生活だけでなく、さまざまな環境で35年以上にわたって第二言語である日本語を使ってきました。第二外国語を習得し、それをうまく使うために何が必要かを熟知しています。また、日本人の英語学習者の特徴にも精通しています。私のクラスでは、様々な学習者に適切な指導と励ましを提供できればと思っています。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	Introduction and course outline	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
2	Unit 1 May I help you?	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
3	初対面の人と会話を続け表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
4	Unit 2 What do you do on the weekend?	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
5	ポジティブ・ネガティブな意見を述べる時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
6	Unit 3 That sounds interesting!	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
7	体調を伝える時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	Unit 4 I'm not feeling well.	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
9	注意する時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
10	Unit 5 You shouldn't step there!	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
11	提案する時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
12	Unit 6 Why don't we buy potatoes?	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
13	スケジュールを調整する時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
14	Unit 7 Would 5:00 p. m. be convenient for you?	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	依頼を断る時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしていくこと。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いていくこと。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE101
授業形態： 演習
科目名： 英語 【経い】
担当教員： 藤井 昭洋(FUJII Akihiro)

【授業の紹介】

皆さんの中には、過去に英語を学んできた過程の中で、英語が嫌いではないにもかかわらず伸び悩んでいたたり、また英語に初めて出会ったときのつまずきが原因で英語アレルギーになったりという経験を持っている人がいるのではないのでしょうか。この授業は、そのような思いをしている人が無理なく英語を復習しながら、バランスのとれた4技能を習得し、さらに実用英語技能検定試験やTOEIC受験のための基礎を築いていくためのものです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

バランスの取れた英語力の習得のためには、当然のことながら文法・語法の理解は不可欠です。この授業で目指すものは、以下の三つです。

基礎的な文法を確実に理解できるようになる。
まとまった長さの英文を読み、理解することができる。
実用英語検定試験3級程度の英文を聞き、理解することができる。

【成績の評価】

小テスト(40%)、宿題(10%)および定期試験(50%)の結果を総合的に判断して行ないます。小テストは直後に解答を解説し、また提出物は評価したものを、その後の授業時に返却し、解説します。

【使用テキスト】

佐藤 哲三 「基礎からの英語入門」(First Primer) (南雲堂)

【参考文献】

オリエンテーションの時、指示します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・英語のbe動詞（現在）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
2	一般動詞（現在）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
3	多様な疑問文	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
4	be動詞（過去）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
5	一般動詞（過去）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
6	特殊な文	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
7	未来形	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
8	進行形	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
9	助動詞（それらの特殊用法）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
10	英文の第1, 2, 3文型	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		分)	
11	英文の第4, 5文型	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
12	受動態(基本的なもの)	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
13	受動態(熟語となっているもの)	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
14	比較(原級比較と比較級)	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
15	比較(最上級と特殊のもの)	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE101

授業形態： 演習

科目名： 英語 【経う】

担当教員： ジェームズ ブロックスホーム

【授業の紹介】

英語によるコミュニケーション力を身に付けるために、まず、英文法の基礎的事項の定着ならびに語彙力の強化に努めます。毎時間の授業では、使用頻度の高い語彙や英文法の実践的な学習を行い、ビジネス英会話を含む様々な問題演習に取り組むことにより、英語を正しく運用する力を養成します。併せて、平易な英文の読解演習を行うとともに、社会生活で必要とされる英語の常識にも触れ、その力が今後の人生で生かせるようにします。様々な課題が課されるので、受講生は家庭での予習・復習を中心として、継続的な学習が必要とされます。毎時間、英和辞典(電子辞書も可)を使用しますので、必ず持参してください。

The class will be conducted using a flipped classroom approach. Students will need to study and submit assignments prior to the class in order to participate in class activities. Classes will use the allocated textbook with additional resources to improve communication skills.

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

未入力

【成績の評価】

小テスト・宿題 (50%)

中間テスト (20%)

期末テスト (30%)

【使用テキスト】

Complete Communication Book 1 -Basic. (Seibido, 2022年)

【参考文献】

なし

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	Study and complete Unit 1 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
2	Unit 1	Unit 1 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
3	Unit 1	Study and complete Unit 2 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
4	Unit 2	Unit 2 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
5	Unit 2	Study and complete Unit 3 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
6	Unit 3	Unit 3 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
7	Unit 3	Review Unit 1-3 for中間テスト	Review Unit 1-3 for中間テスト
8	中間テスト	Study and complete Unit 4 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
9	Unit 4	Unit 4 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
10	Unit 4	Study and complete Unit 5 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
11	Unit 5	Unit 5 appendix	Students should submit the

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
			homework a day prior the lesson and study for the vocab test
12	Unit 5	Study and complete Unit 6 part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
13	Unit 6	Unit 6 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
14	Unit 6	Review unit 1-6 期末テスト	Review unit 1-6 期 末テスト
15	期末テスト		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE102

授業形態： 演習

科目名： 英語 【経あ】

担当教員： バテン, ポール(BATTEN, Paul)

【授業の紹介】

英語 に継続し、本授業では基礎的な英語文法の定着を図るとともに、グローバル人材に求められるコミュニケーションスキルの育成を重点的に行います。身近で実用的なトピックを扱いながら、読む・聞く・書く・話すという英語の総合的な運用能力を習得し、社会人としての幅広い教養を身に付け、豊かな人間性の向上を目指します。

また、さらなるリスニング能力の定着に向けてディクテーション活動を適宜取り入れます。毎回、十分に予習・復習を行った上で授業に臨んでください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 英語を用いて、積極的にコミュニケーションを図ることができる。
2. 英文法の基礎を理解することができる。
3. 異文化に対する知識や理解を深めることができる。
4. 仕事で使う数字、金額、などを正しく書くこととすることができる。

【成績の評価】

小テスト(30%)、定期試験(30%)、授業中の各活動(40%)

フィードバック方法：授業中に行います。

小テストはその都度解答・解説を行う。

【使用テキスト】

柴田 真一、神藤 理恵、Lindsay Wells 著

『MUST-HAVE English Skills for Global Communication』(金星堂 2018年)

【参考文献】

英和辞典を必ず準備してください(電子辞書可)。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、Unit 8 - I'll have to pass	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
2	Dealing with Diet Restrictionsについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
3	Unit 9 - I have an idea	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
4	The importance of being proactiveについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
5	Unit 10 - Could you do me a favor?	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
6	Two ways to ask: Directly or indirectlyについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
7	Unit 11 - I think you could explain this more	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	Giving and accepting criticism in an effective wayについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
9	Unit 12 - I don't get what you mean	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
10	But I still don't understandについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
11	Unit 13 - I'm so sorry to hear that	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
12	Being a good winner ... or loserについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
13	Unit 14 - That's not what I meant	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
14	What should I give them?について	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	Unit 15 - Let's keep in touch	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE102
授業形態： 演習
科目名： 英語 【経い】
担当教員： 藤井 昭洋(FUJII Akihiro)

【授業の紹介】

英語 に引き続き、この授業では文法力のさらなる定着を図るとともに、身近な話題を扱いながら、英語の4技能の運用能力を高め、将来社会人として最低限必要な英語力の涵養に努めます。また、実用英語技能検定試験やTOEICの問題にあたりながら、英語による問題解決力の向上をもめざします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- 1．基本的な英文法を理解し、使うことができる。
- 2．平易な英文の読解ができる。
- 3．日常的な英文を聞いて、概要をつかむことができる。
- 4．英検準2級に出題された問題を解くことができる。

【成績の評価】

前期と同様に、小テスト(40%)、宿題(10%)および定期試験(50%)の結果を総合的に判断して行ないます。小テストは直後に解答を解説し、また提出物があれば評価したものを次の授業時に返却し、解説します。

【使用テキスト】

前期の進度により、後期に使用するテキストは、前期の最後に指示します。

【参考文献】

オリエンテーションの時、指示します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・前期の復習	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
2	完了形（結果、継続）	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
3	完了形（経験）	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
4	不定詞（名詞用法）	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
5	不定詞（形容詞・副詞用法）	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
6	分詞	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
7	動名詞	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
8	時制	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
9	関係代名詞（基本）	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
10	関係代名詞（発展）	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
11	節	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
12	熟語の整理	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
13	仮定法	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
14	仮定法過去完了	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
15	英語の重要構文	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE102
授業形態： 演習
科目名： 英語 【経う】
担当教員： ジェームズ ブロックスホーム

【授業の紹介】

英語1に引き続き、英語によるコミュニケーション力をさらに高めるために、英文法の重要事項の定着 ならびに語彙力の強化に努めます。毎時間の授業では、使用頻度の高い語彙や英文法の実践的な学習を進め、ビジネス英会話を含む様々な問題演習にも取り組むことにより、英語を正しく運用する力を高めていきます。併せて、平易な英文の読解演習を行うとともに、社会生活で必要とされる英語の常識にも触れ、その力が今後の人生で生かせるようにします。

様々な課題が課されるので、受講生は家庭での予習・復習を中心として、継続的な学習が必要とされます。毎時間、英和辞典（電子辞書も可）を使用しますので、必ず持参してください。

The class will be conducted using a flipped classroom approach. Students will need to study and submit assignments prior to the class in order to participate in class activities. Classes will use the allocated textbook with additional resources to improve communication skills.

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

未入力

【成績の評価】

小テスト・宿題（50%）
中間テスト（20%）
期末テスト（30%）

【使用テキスト】

Complete Communication Book 1 -Basic. （Seibido, 2022年）

【参考文献】

なし

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	Study and complete Unit 7 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
2	Unit 7	Unit 7 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
3	Unit 7	Study and complete Unit 8 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
4	Unit 8	Unit 8 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
5	Unit 8	Study and complete Unit 9 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
6	Unit 9	Unit 9 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
7	Unit 9	Review Unit 7-9 for中間テスト	Review Unit 7-9 for中間テスト
8	中間テスト	Study and complete Unit 10 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
9	Unit 10	Unit 10 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
10	Unit 10	Study and complete Unit 11 Part 1/2 vocab/ Unit 11 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
11	Unit 11	Study Unit 12 Part 1/2 vocab/ Unit 12 appendix	Students should submit the

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
			homework a day prior the lesson and study for the vocab test
12	Unit 12	Study Unit 13 part 1/2 vocab/ Unit 13 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
13	Unit 13	Study and complete Unit 14/15 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
14	Unit 14/15	Review unit 7-15 期末テスト Unit 14/15 appendix	Review unit 7-15 期末テスト
15	期末テスト		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE201

授業形態： 演習

科目名： 英語 【経あ】

担当教員： ジェームズ ブロックスホーム

【授業の紹介】

本授業では、中学校・高等学校で習った英語文法力の定着を図るとともに、卒業後の社会において求められる英語でのコミュニケーション力の強化のために必要となる聴解力と読解力の強化に努めます。家庭では予習と復習が求められ、その確認のため毎回授業のはじめに小テストを行います。

The class will be conducted using a flipped classroom approach. Students will need to study and submit assignments prior to the class in order to participate in class activities. Classes will use the allocated textbook with additional resources to improve communication skills.

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

未入力

【成績の評価】

小テスト・宿題 (50%)

中間テスト (20%)

期末テスト (30%)

【使用テキスト】

Let's Read Aloud & Learn English- On Campus. (Seibido, 2019年)

【参考文献】

なし

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	Study and complete Unit 1 -Part 1 vocab & grammar points	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
2	Unit 1	Complete Let ' s read section -Unit 1	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
3	Unit 1	Study and complete Unit 2 -Part 1 vocab & grammar points	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
4	Unit 2	Complete Let ' s read section -Unit 2	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
5	Unit 2	Study and complete Unit 3 -Part 1 vocab & grammar points	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
6	Unit 3	Complete Let ' s read section -Unit 3	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
7	Unit 3	Review Unit 1-3 for中間テスト	Review Unit 1-3 for中間テスト
8	中間テスト	Study and complete Unit 4 -Part 1 vocab & grammar points	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
9	Unit 4	Complete Let ' s read section -Unit 4	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
10	Unit 4	Study and complete Unit 5 -Part 1 vocab & grammar points	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
11	Unit 5	Complete Let ' s read section -Unit 5	Students should submit the

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
			homework a day prior the lesson and study for the vocab test
12	Unit 5	Study and complete Unit 6 -Part 1 vocab & grammar points	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
13	Unit 6	Complete Let ' s read section -Unit 6 Study and complete Unit 7 -Part 1 vocab & grammar points	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
14	Unit 7	Review unit 1-7 期末テスト Complete Let ' s read section -Unit 7	Review unit 1-7 期 末テスト
15	期末テスト		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE201

授業形態： 演習

科目名： 英語 【経い】

担当教員： 竹田 忠弘(TAKEDA Tadahiro)

【授業の紹介】

英語の4技能のうちの「聞く」「話す」の2技能の基礎となる日常生活でよく使われる会話独特の「決まり文句」の習得を目標に、教科書の音読・表現完成問題・表現選択問題・表現作文問題等に取り組む。また、まとまった英文を授業課題として取り組み、音読を繰り返すことで、「読む」技能の向上を目指す。受講生には、授業中の言語活動に積極的に参加するために、テキストの予習・復習を欠かさず、本文を何度も音読しながら、継続的に学ぶ姿勢が必須です。 Google Classroom Code: 64of7gg

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 日常生活でよく使われる英会話独特の「決まり文句」に慣れ、正しく発音することができる。
2. 覚えた「決まり文句」を用いてクラスメートとコミュニケーションを図ることができる。
3. まとまった英文を聴いたり読んだりして内容を理解するとともに、概要を伝えることができる。

【成績の評価】

「授業への関心・意欲・態度」10%、「提出物等授業時間外に課す課題」15%、「小テスト」20%、「音読テスト」15%、「定期試験」40%の5項目を総合的に評価します。小テスト及び授業時間外に課す課題については、その都度評価及びフィードバックを行います。
なお、30分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻3回で欠席1回とみなします。

【使用テキスト】

A Shorter Course in Everyday Conversation 5分間 英会話決まり文句140 (小中秀彦著、南雲堂、2023年)

【参考文献】

なし

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高校現場での英語指導を活かして授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
2	Lesson 01 YOU中心の会話表現 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
3	Lesson 02 命令文の会話表現(1) 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
4	Lesson 03 WHAT中心の会話表現 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
5	Lesson 04 主語Iの会話表現(1) 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
6	Lesson 05 名詞中心の会話表現(1) 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
7	Lesson 06 主語ITの会話表現 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
8	Lesson 07 主語I'Mの会話表現 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
9	Lesson 08 否定命令文の会話表現 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
10	Lesson 09 主語THATの会話表現 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
11	Lesson 10 形容詞・副詞中心の会話表現 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
12	授業課題 (Reading 11)	予習として、次回に行うLessonの問題を解い	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		てくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
13	授業課題（Reading 12）	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
14	授業課題（Reading 13）	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
15	授業課題（Reading 14）	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE202
授業形態： 演習
科目名： 英語 【経あ】
担当教員： ジェームズ ブロックスホーム

【授業の紹介】

英語 に引き続き、この授業では文法力のさらなる定着を図るとともに、身近な話題を扱いながら、英語の4技能の運用能力を高め、将来社会人として最低限必要な英語力の養に努めます。
また、実用英語技能検定試験やTOEICの問題にあたりながら、英語による問題解決能力の向上をもめざします。

The class will be conducted using a flipped classroom approach. Students will need to study and submit assignments prior to the class in order to participate in class activities. Classes will use the allocated textbook with additional resources to improve communication skills.

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

未入力

【成績の評価】

小テスト・宿題 (50%)
中間テスト (20%)
期末テスト (30%)

【使用テキスト】

Let's Read Aloud & Learn English- On Campus. (Seibido, 2019年)

【参考文献】

なし

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	Study and complete Unit 8 -Part 1 vocab & grammar points	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
2	Unit 8	Complete Let ' s read section -Unit 8	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
3	Unit 8	Study and complete Unit 9 -Part 1 vocab & grammar points	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
4	Unit 9	Complete Let ' s read section -Unit 9	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
5	Unit 9	Study and complete Unit 10 -Part 1 vocab & grammar points	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
6	Unit 10	Complete Let ' s read section -Unit 10	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
7	Unit 10	Review Unit 8-10 for中間テスト	Review Unit 8-10 for中間テスト
8	中間テスト	Study and complete Unit 11 -Part 1 vocab & grammar points	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
9	Unit 11	Complete Let ' s read section -Unit 11	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
10	Unit 11	Study and complete Unit 12 -Part 1 vocab & grammar points	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
11	Unit 12	Complete Let ' s read section -Unit 12	Students should submit the

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
			homework a day prior the lesson and study for the vocab test
12	Unit 12	Study and complete Unit 13 -Part 1 vocab & grammar points	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
13	Unit 13	Complete Let ' s read section -Unit 13 Study and complete Unit 14/15 -Part 1 vocab & grammar points/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
14	Unit 14/15	Review unit 8-15 期末テスト Complete let ' s read section 14/15	Review unit 8-15 期末テスト
15	期末テスト		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE202

授業形態： 演習

科目名： 英語 【経い】

担当教員： 竹田 忠弘(TAKEDA Tadahiro)

【授業の紹介】

英語の4技能のうちの「聞く」「話す」の2技能の基礎となる日常生活でよく使われる会話独特の「決まり文句」の習得を目標に、教科書の音読・表現完成問題・表現選択問題・表現作文問題等に取り組む。また、まとまった英文を授業課題として取り組み、音読を繰り返すことで、「読む」技能の向上を目指す。受講生には、授業中の言語活動に積極的に参加するために、テキストの予習・復習を欠かさず、本文を何度も音読しながら、継続的に学ぶ姿勢が必須です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 日常生活でよく使われる英会話独特の「決まり文句」に慣れ、正しく発音することができる。
2. 覚えた「決まり文句」を用いてクラスメートとコミュニケーションを図ることができる。
3. まとまった英文を聴いたり読んだりして内容を理解するとともに、概要を伝えることができる。

【成績の評価】

「授業への関心・意欲・態度」10%、「提出物等授業時間外に課す課題」15%、「小テスト」20%、「音読テスト」15%、「定期試験」40%の5項目を総合的に評価します。小テスト及び授業時間外に課す課題については、その都度評価及びフィードバックを行います。
なお、30分以上の遅刻は欠席とみなし、また、遅刻3回で欠席1回とみなします。

【使用テキスト】

A Shorter Course in Everyday Conversation 5分間 英会話決まり文句140
(小中秀彦著、南雲堂、2023年)

【参考文献】

なし

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高校現場での英語指導の経験を活かして授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	第1回 オリエンテーション	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
2	Lesson 11 LET'S・PLEASE中心の会話表現 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
3	Lesson 12 命令文の会話表現(2) 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
4	Lesson 13 HOW・WHY中心の会話表現 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
5	Lesson 14 主語Iの会話表現(2) 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
6	Lesson 15 名詞中心の会話表現(2) 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
7	Lesson 16 主語YOUの会話表現 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
8	Lesson 17 助動詞中心の会話表現 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
9	Lesson 18 副詞中心の会話表現 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
10	Lesson 19 主語I'LLの会話表現 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	Lesson 20 命令文の会話表現(3) 授業課題	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
12	授業課題 (Reading 11)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
13	授業課題 (Reading 12)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
14	授業課題 (Reading 13)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
15	授業課題 (Reading 14)	予習として、次回に行うLessonの問題を解いてくること。（30分） 復習として、音読テストを3回実施するとともに、小テストを5回実施します。そのためのワークシートを5枚課します。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE203
 授業形態： 演習
 科目名： 英語表現法
 担当教員： ブルスビーン アマド タボアダ

【授業の紹介】

In this course, the students will be building as foundation of basic phrases and vocabulary to help them discuss various issues. The course aims to help students develop confidence through self expression and discussion while building their knowledge of basic English grammar and vocabulary. They will take part in reading and writing tasks,

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

Students should feel more confident when using English to express their thoughts and feelings. Though they will still make many mistakes, they will not worry so much that it stops them from taking part in discussion. They should also have developed a stronger understanding of basic grammar and a larger bank of vocabulary.

【成績の評価】

in class effort: 30%
 midterm exam: 20%
 Homework: 20%
 Final exam: 30%

Students will receive feedback and advice on their progress during class-time.

【使用テキスト】

Topic Talk: issues, Second Edition
 EFL Press
 ¥2,805
 Order from: <http://www.eflpress.com/JP/orders.html>

【参考文献】

<https://breakingnewsenglish.com/>

A very useful website for self study. The articles are taken from real news articles and edited to match many different English Levels.

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
1	course explanation and self introductions. Students will learn about what they need for the course as well as what is expected of them to succeed.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
2	Health. We will discuss health and healthy living.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
3	Health. We will talk about moral and social issues with regards to health.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
4	Animals. We will discuss pets and our relationship in society with animals.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
5	We will continue with the topic of animals, but also introduce the "conditional tense" to imagine how things could be different.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
6	Fashion and self expression	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
7	midterm exam	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
8	Fashion and self expression continued. Adjectives and comparisons.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
9	Families and relationships.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
10	Families and relationships continued. We will also practiced should/shouldn't/ have to/ mustn't	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
11	Culture and culture shock.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
12	Culture and culture shock continued. Comparisons and differences.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
13	Love and marriage.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
14	Personal expectations. Should / shouldn't.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
15	Work and office life.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング：

授業形態： 演習

科目名： プラクティカル・イングリッシュ

担当教員： ブルスビーン アマド タボアダ

【授業の紹介】

In this course, the students will be building as foundation of basic phrases and vocabulary to help them discuss various issues. The course aims to help students develop confidence through self expression and discussion while building their knowledge of basic English grammar and vocabulary. They will take part in reading and writing tasks,

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

Students should feel more confident when using English to express their thoughts and feelings. Though they will still make many mistakes, they will not worry so much that it stops them from taking part in discussion. They should also have developed a stronger understanding of basic grammar and a larger bank of vocabulary.

【成績の評価】

in class effort: 30%
midterm exam: 20%
Homework: 20%
Final exam: 30%

Students will receive feedback and advice on their progress during class-time.

【使用テキスト】

Topic Talk: issues, Second Edition
EFL Press
¥2,805
Order from: <http://www.eflpress.com/JP/orders.html>

【参考文献】

<https://breakingnewsenglish.com/>

A very useful website for self study. The articles are taken from real news articles and edited to match many different English Levels.

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	course explanation and self introductions. Students will learn about what they need for the course as well as what is expected of them to succeed.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
2	Health. We will discuss health and healthy living.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
3	Health. We will talk about moral and social issues with regards to health.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
4	Animals. We will discuss pets and our relationship in society with animals.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
5	We will continue with the topic of animals, but also introduce the "conditional tense" to imagine how things could be different.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
6	Fashion and self expression	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
7	midterm exam	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
8	Fashion and self expression continued. Adjectives and comparisons.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
9	Families and relationships.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
10	Families and relationships continued. We will also practiced should/shouldn't/ have to/ mustn't	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
11	Culture and culture shock.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
12	Culture and culture shock continued. Comparisons and differences.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
13	Love and marriage.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
14	Personal expectations. Should / shouldn't.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
15	Work and office life.	Students will be expected to complete 60 minutes of assignments outside of class each week, as well as check their notes and practice the English they have learned.	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE204
 授業形態： 演習
 科目名： 英語表現法
 担当教員： ブルスビーン アマド タボアダ

【授業の紹介】

For the second part of this course, students will continue to talk identify and talk about various issues in the world. The students will build on the language they have already learned. The course will focus strongly on self expression and the development of an English "voice" for the students. Through a combination of writing, speak and listening tasks, the students will have ample time to use English to reflect their own experiences and opinions.

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

The aim of the course is for the students to have a strong understanding of "low" to "mid-level" grammar. They will have also built up a large bank of useful Vocabulary and phrases. The students should be able to express their thoughts and feelings with international students and native English speakers in person and in online forums. The students will also have developed a stronger understanding of international ideas and attitudes towards a variety of issues.

【成績の評価】

in class effort: 30%
 homework: 20%
 midterm Exam: 20%
 final Exam: 30%

Students will receive feedback and advice on their progress during class-time.

【使用テキスト】

Topic Talk: issues, Second Edition
 EFL Press
 ¥2,805
 Order from: <http://www.eflpress.com/JP/orders.html>

【参考文献】

<https://breakingnewsenglish.com/>

A very useful website for self study. The articles are taken from real news articles and edited to match many different English Levels.

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容(時間) / 復習内容(時間)	備考
1	introduction, question and answer session and general course information.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
2	Jobs -career choices	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
3	Jobs continued: formal vs casual language	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
4	Shopping: brands and shopping culture	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
5	shopping language. Buying and selling.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
6	Education and schools	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
7	midterm exam	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
8	Education and schools. Inspiration, goals and challenges.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
9	TV and movies. Relative pronouns and plot.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
10	Entertainment and how it has changed.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
11	Nature and the environment.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
12	conservation and personal responsibility.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
13	social issues and making a difference.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
14	designing a response to an environmental issue.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
15	course review	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング：

授業形態： 演習

科目名： プラクティカル・イングリッシュ

担当教員： ブルスビーン アマド タボアダ

【授業の紹介】

For the second part of this course, students will continue to talk identify and talk about various issues in the world. The students will build on the language they have already learned. The course will focus strongly on self expression and the development of an English "voice" for the students. Through a combination of writing, speak and listening tasks, the students will have ample time to use English to reflect their own experiences and opinions.

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

The aim of the course is for the students to have a strong understanding of "low" to "mid-level" grammar. They will have also built up a large bank of useful Vocabulary and phrases. The students should be able to express their thoughts and feelings with international students and native English speakers in person and in online forums. The students will also have developed a stronger understanding of international ideas and attitudes towards a variety of issues.

【成績の評価】

in class effort: 30%

homework: 20%

midterm Exam: 20%

final Exam: 30%

Students will receive feedback and advice on their progress during class-time.

【使用テキスト】

Topic Talk: issues, Second Edition

EFL Press

¥2,805

Order from: <http://www.eflpress.com/JP/orders.html>

【参考文献】

<https://breakingnewsenglish.com/>

A very useful website for self study. The articles are taken from real news articles and edited to match many different English Levels.

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
1	introduction, question and answer session and general course information.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
2	Jobs -career choices	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
3	Jobs continued: formal vs casual language	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
4	Shopping: brands and shopping culture	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
5	shopping language. Buying and selling.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
6	Education and schools	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
7	midterm exam	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
8	Education and schools. Inspiration, goals and challenges.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
9	TV and movies. Relative pronouns and plot.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
10	Entertainment and how it has changed.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
11	Nature and the environment.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
12	conservation and personal responsibility.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
13	social issues and making a difference.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
14	designing a response to an environmental issue.	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
15	course review	Students will be expected to complete at least 60 minutes of homework each week as well as review their class notes.	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCF101

授業形態： 演習

科目名： フランス語

担当教員： エラリー ジャンクリストフ(Jean-Christophe Helary)

【授業の紹介】

「フランス語が難しければ、フランス人でも話せません!」という出発点から始まります。赤ちゃんは周りの音から少しずつ意味が取れるようになり、自分から表現できるようになります。このフランス語に参加される皆さんは赤ちゃんではありませんが、同じやり方で少しずつフランス語を自分のものにしていきます。ポイントは実際に話される内容を生かせることです。つまり、テキストの登場人物がやっていることを学んでいくのではなく、自分について、自分がやっていることについて、自分がやりたいことについて、そしてそれぞれについて仲間に尋ねる、という覚え方です。

15回の授業を2つのプロジェクトに分けます。それをさらに3つのテーマに分けて、各テーマに対して2つの授業をします。1つ目の授業は先生の話しているモデルに従った簡単な会話を中心に(話す力)、そして、その会話について簡単な文書を読みます(読む力)。2つ目の授業は身についた内容について簡単な作文をし(書く力)、それを発表して、会話に戻します(一つの「聞く、話す、読む、書く」循環が完成できました)。テーマを通じて、語彙や使える表現が少しずつ増やしていきます。プロジェクトごとにまとめ(復習)の授業があります。最後の授業は次のステップにつなげる内容を導入します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 実際の状況に応じて、コミュニケーションを図ることができる。
2. 総合的なフランス語能力を身につけるため、「聞く、話す、読む、書く」の循環を展開できる。

【成績の評価】

授業中の積極的な参加の評価 80%
テーマの復習 20% 総合合格点は60点以上です。
授業時間内に随時コメントを行うことでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

必要な場合はプリント

【参考文献】

<https://ja.wikipedia.org/wiki/神経言語学的アプローチ>

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	（初級）自分について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
2	（初級）自分について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
3	（初級）家族、親戚について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
4	（初級）家族、親戚について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
5	（初級）友達、先生、バイト先の仲間について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
6	（初級）友達、先生、バイト先の仲間について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
7	（初級）テーマの復習	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
8	（中級）自分について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
9	（中級）自分について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
10	（中級）家族、親戚について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
11	（中級）家族、親戚について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
12	（中級）友達、先生、バイト先の仲間について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
13	（中級）友達、先生、バイト先の仲間について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
14	（中級）テーマの復習	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
15	（初級）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCF102

授業形態： 演習

科目名： フランス語

担当教員： エラリー ジャンクリストフ(Jean-Christophe Helary)

【授業の紹介】

フランス語 を参照。

フランス語 は、同じ方法で、別のプロジェクトを通じてフランス語能力を高めていきます。フランス語検定5級を受けたい生徒に対して独学で受けられるようにヒントを提示します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 実際の状況に応じて、コミュニケーションを図ることができる。
2. 総合的なフランス語能力を身につけるため、「聞く、話す、読む、書く」の循環を展開できる。
3. 独学でフランス語検定5級を受けられる力を身につけることができる。

【成績の評価】

授業中の積極的な参加の評価 80%
テーマの復習 20% 総合合格点は60点以上です。
授業時間内に随時コメントを行うことでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

必要な場合はプリント

【参考文献】

<https://ja.wikipedia.org/wiki/神経言語学的アプローチ>

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	（初級）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
2	（初級）日常生活について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
3	（中級1）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
4	（中級1）日常生活について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
5	（中級2）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
6	（中級2）日常生活について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
7	テーマの復習（第1回～第6回）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
8	（初級）最近あったことについて、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
9	<p>（初級）最近あったことについて、書く（発表）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
10	<p>（初級）これからあることについて、話す（読む）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
11	<p>（初級）これからあることについて、書く（発表）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
12	<p>（中級）最近あったこと、これからあることについて、話す（読む）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
13	<p>（中級）最近あったこと、これからあることについて、書く（発表）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
14	<p>テーマの復習（第8回～第13回）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
15	<p>（初級）自分の好みとその理由について、話す（読む）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
	<p>定期試験(実施しない)</p>		

科目ナンバリング： UCF201

授業形態： 演習

科目名： フランス語

担当教員： エラリー ジャンクリストフ(Jean-Christophe Helary)

【授業の紹介】

フランス語 を参照。

フランス語 は、同じ方法で、別のプロジェクトを通じてフランス語能力を高めていきます。フランス語検定4級を受けたい生徒に対して独学で受けられるようにヒントを提示します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 実際の状況に応じて、コミュニケーションを図ることができる。
2. 総合的なフランス語能力を身につけるため、「聞く、話す、読む、書く」の循環を展開できる。

【成績の評価】

授業中の積極的な参加の評価 80%
テーマの復習 20% 総合合格点は60点以上です。
授業時間内に随時コメントを行うことでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

必要な場合はプリント

【参考文献】

<https://ja.wikipedia.org/wiki/神経言語学的アプローチ>

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	（初級）自分の好みとその理由について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
2	（初級）自分の好みとその理由について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
3	（中級1）自分の好みとその理由について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
4	（中級1）自分の好みとその理由について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
5	（中級2）自分の好みとその理由について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
6	（中級2）自分の好みとその理由について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
7	テーマの復習（第1回～第6回）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
8	（初級）自分の小さい頃について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
9	（初級）自分の小さい頃について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
10	（中級1）自分の小さい頃について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
11	（中級1）自分の小さい頃について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
12	（中級2）自分の小さい頃について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
13	（中級2）自分の小さい頃について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
14	テーマの復習（第8回～第13回）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
15	（初級）人や場所の描写、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCF202

授業形態： 演習

科目名： フランス語

担当教員： エラリー ジャンクリストフ(Jean-Christophe Helary)

【授業の紹介】

フランス語 を参照。

フランス語 は、同じ方法で、別のプロジェクトを通じてフランス語能力を高めていきます。フランス語検定4級を受けたい生徒に対して独学で受けられるようにヒントを提示します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 実際の状況に応じて、コミュニケーションを図ることができる。
2. 総合的なフランス語能力を身につけるため、「聞く、話す、読む、書く」の循環を展開できる。
3. 独学でフランス語検定4級を受けられる力を身につけることができる。

【成績の評価】

授業中の積極的な参加の評価 80%
テーマの復習 20% 総合合格点は60点以上です。
授業時間内に随時コメントを行うことでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

必要な場合はプリント

【参考文献】

<https://ja.wikipedia.org/wiki/神経言語学的アプローチ>

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	（初級）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
2	（初級）人や場所の描写、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
3	（中級1）人や場所の描写、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
4	（中級1）人や場所の描写、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
5	（中級2）人や場所の描写、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
6	（中級2）人や場所の描写、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
7	テーマの復習（第1回～第6回）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
8	（初級）自分のしたいこと、夢、計画について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
9	（初級）自分のしたいこと、夢、計画について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
10	（中級1）自分のしたいこと、夢、計画について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
11	（中級1）自分のしたいこと、夢、計画について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
12	（中級2）自分のしたいこと、夢、計画について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
13	（中級2）自分のしたいこと、夢、計画について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
14	テーマの復習（第8回～第13回）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
15	（初級）自信のあること、不難なことについて、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCC101
授業形態： 演習
科目名： 中国語
担当教員： 李 佳坤(Li JiaKun)

【授業の紹介】

この授業では、中国語を話し読むための発音記号（ピンイン）や中国語の基本文型を学習し、そのうえ、漢字を読み、単語を覚え、簡単な会話や挨拶を練習していきます。発音の練習は通信媒体の機能を利用して楽しく学習していきます。また、中国社会や中国文化についても紹介し、グローバルな思考を養います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- 1．中国語の発音記号（ピンイン）を学習することによって中国語の漢字をすべて読むことができる。
- 2．中国語での挨拶や簡単な会話ができるようになる。
- 3．中国語基本文型の構造が理解できる。

【成績の評価】

授業中の各活動（10％）、授業時間外の学習ための問題（10％）、中間テスト（30％）、期末テスト（50％）
作文や小テストについては、その都度、結果を授業時に講評し、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

陳淑梅・劉光赤 著 「実学実用 初級中国語」 朝日出版社

【参考文献】

日中・中日辞書
自編教材『ピンインをマスターできる』

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと単母音	予習：教科書の8ページの単母音 復習：学習内容をノートにまとめ。	
2	子音と単母音	予習：教科書の14ページの子音 復習：配ったプリントで復習する。	
3	子音と複合母音	予習：教科書の複合母音 復習：配ったプリントで復習する。	
4	子音と鼻音	予習：教科書の鼻音 復習：配ったプリントで復習する。	
5	ピンインの復習と簡単な挨拶	予習：教科書20ページまで 復習：配ったプリントで復習する。	
6	ピンインテスト	予習：教科書20ページまで 復習：配ったプリントで復習する。	
7	名前の言い方	予習：自分の名前を中国語で読めるようにピンインを付ける。 復習：自己紹介の練習	
8	「是」の使い方	予習：教科書の24 - 27ページ 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
9	動詞述語	予習：教科書の7課の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
10	動詞「喜欢」の使い方	予習：教科書の8課の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
11	動詞「有」の使い方	予習：教科書の9課の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
12	時間名詞と使い方	予習：教科書の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
13	「在」	予習：教科書の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
14	形容詞述語	予習：教科書の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
15	復習	予習：教科書の内容	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCC102
授業形態： 演習
科目名： 中国語
担当教員： 李 佳坤(Li JiaKun)

【授業の紹介】

この授業では、中国語 を学習した学生を対象にさらに語彙を増やし、基本文型を学習し、それを使って会話をしたり、中国語の文章を読んだり、書いたりします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- 1．簡単な会話ができる。
- 2．簡単な中国語を読んだり、書くことができる。

【成績の評価】

小テスト（プリント）（25％）、中間テスト（25％）、期末テスト（50％）
作文や小テストについては、その都度、結果を授業時に講評し、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

陳 淑梅・劉光赤著 「実学実用 初級中国語」（朝日出版社）

【参考文献】

『中日・日中辞典』

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	前置詞「从・往・离」	予習：教科書の11課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
2	動詞「在」と文末の「了」	予習：教科書の12課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
3	時刻、時量詞	予習：教科書の13課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
4	比較の言い方	予習：教科書の14課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
5	助動詞「可以」、方向補語	予習：教科書の15課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
6	復習	予習：教科書の11課～15課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
7	中間テスト	予習：教科書の11課～15課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
8	結果補語、助動詞「会」	予習：教科書の16課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
9	二重目的語、様態補語と助動詞「能」	予習：教科書の17課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
10	可能補語	予習：教科書の18課の前半 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
11	程度補語	予習：教科書の18課の後半 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
12	「是...的」の使い方	予習：教科書の19課の前半 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
13	進行と持続の表現	予習：教科書の19課の後半 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
14	存現文	予習：教科書の20課	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
15	復習	予習：教科書の16課～20課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCC201
授業形態： 演習
科目名： 中国語
担当教員： 李 佳坤(Li JiaKun)

【授業の紹介】

この授業は、中国語 を学習した学生を対象に、さらに語彙や文型を学習し、1つの場面を決め、それにめぐる内容で話す・書く練習をします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- 1．いくつかの日常生活場面の会話ができる。
- 2．生活場面の会話内容を中国語で書くことができる。

【成績の評価】

中文の読解と作文（20％）、小テスト（30％）、期末テスト（50％）
中文の読解と作文、小テストについては、その都度、結果を授業時に講評し、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

「中国語実用会話 初級から中級へ」 李佳坤著

【参考文献】

『中日・日中辞典』

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション		
2	自己紹介	予習：第1課 復習：自己紹介文を作る。	
3	自分についての短文の読解と会話の練習	予習：短文を読解する。 復習：原稿なしで自己紹介できる練習	
4	家族	予習：第2課 復習：家族を紹介する文を作る。	
5	家族についての短文の読解と会話の練習	予習：短文を読解する。 復習：家族を紹介する内容を会話文にする。	
6	一日	予習：第3課 復習：自分の一日の行動を紹介する文を作る。	
7	一日についての短文の読解と会話の練習	予習：短文を読解する。 復習：自分の一日の行動を紹介する内容を会話文にする。	
8	中間テスト	予習：1 - 3課の内容	
9	趣味	予習：第4課 復習：自分の趣味を紹介する文を作る。	
10	趣味についての短文の読解と会話の練習	予習：短文を読解する。 復習：自分の趣味を紹介する内容を会話文にする。	
11	夏休み	予習：第5課 復習：自分の夏休みを紹介する文を作る。	
12	夏休みについての短文の読解と会話の練習	予習：短文を読解する。 復習：自分の夏休みを紹介する内容を会話文にする。	
13	旅行	予習：第6課 復習：自分の旅行を紹介する文を作る。	
14	旅行について作文と会話	予習：短文を読解する。 復習：自分の旅行を紹介する内容を会話文にする。	
15	これまで学習した内容の復習	予習：1～6課の内容 教科書の1～6課の練習問題で復習する。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCC202
授業形態： 演習
科目名： 中国語
担当教員： 李 佳坤(Li JiaKun)

【授業の紹介】

この授業は、中国語 . . . を習得した学生を対象にします。中国へ一人旅するときに遭遇する場面を想定し、その会話の練習をします。また、その会話文を文章にする練習もします。さらに、中国文化や最近の出来事などをも紹介します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 簡単な中国語の文章を読解できる。
2. 中国へ一人旅できる程度の会話ができる。

【成績の評価】

中文の読解と作文・レポート(25%)、中間テスト(25%)、期末テスト(50%)
中文の読解と作文・レポートや小テストについては、その都度、結果を授業時に講評し、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

『中国語実用会話 初級から中級へ』 李佳坤著

【参考文献】

『中日・日中辞典』

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	第1回 オリエンテーション		
2	買い物	予習：買い物に使う単語をノートにまとめる。 復習：買い物するときの会話文を作る。	
3	買い物についての短文の読解と会話の練習	予習：買い物についての日本語文を中国語に訳す。 復習：教科書と異なるシチュエーションを作文する。	
4	レストランにて	予習：レストランで使う単語をノートにまとめる。 復習：レストランにての会話文を作る。	
5	レストランについての短文の読解と会話の練習	予習：レストランにての日本語文を中国語に訳す。 復習：教科書と異なるシチュエーションを作文する。	
6	道を尋ねる	予習：道を尋ねる際に使う単語をノートにまとめる。 復習：道を尋ねる際の会話文を作る。	
7	道を聞くことについての短文の読解と会話の練習	予習：道を尋ねる際の日本語文を中国語に訳す。 復習：教科書と異なるシチュエーションを作文する。	
8	中間テスト	予習：これまで学習した単語と文型をまとめる。	
9	病気	予習：体の不調に関する単語をノートにまとめる。 復習：体の不調を述べる会話文を作る。	
10	病気についての短文の読解と会話の練習	予習：病気に関する日本語文を中国語に訳す。 復習：教科書と異なるシチュエーションを作文する。	
11	電話でチケットを注文	予習：電話をかける時に使う単語をノートにまとめる。 復習：電話をかける時の会話文を作る。	
12	電話をかける短文の読解と会話の練習	予習：電話でチケットを買う日本語文を中国語に訳す。 復習：教科書と異なるシチュエーションを作文する。	
13	友達を作る	予習：友達を訪問する時に使う単語をノートにまとめる。 復習：友達を訪問する時の会話文を作る。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
14	友達について短文の読解と会話	予習：友達を訪問する際の日本語文を中国語に訳す。 復習：教科書と異なるシチュエーションを作文する。	
15	これまで学習した内容の復習	これまで学習した内容や教科書にある練習問題を復習する。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK101
授業形態： 演習
科目名： 韓国語 【A】
担当教員： 崔 榮晋(CHOI Youngjin)

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員が担当しています。授業では、韓国語を読む・書くための文字であるハングルの基本文字（24字）と基本文法を学習します。日本語の文法と似ているので、単語を覚えていくと会話がより豊になります。多くの学習者が苦手とする、発音は日本語の単語から分かりやすく説明し練習して綺麗な発音が習得できます。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 韓国語の固有文字であるハングルの読み書きを正確な発音として習得できる。
2. 韓国語での基本的な挨拶や簡単な会話が出来ることによってコミュニケーションの楽しさを経験できる。
3. 韓国語の語順や文型は、日本語と同様な部分が多く日本語ベースで構造を理解することができる。
4. 韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。

【成績の評価】

授業への取り組みや各活動（20%）、小テスト・課題・レポート（50%）、期末試験（30%）小テスト。レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

「WE CAN 韓国語」（入門から初級へ） 金世徳・張京花 著（博英社） ISBN 978-4-910132-15-0

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと基本母音（10個）		
2	基礎子音（14個）合成母音		
3	韓国語の仕組み		
4	終声(パッチム)と発音のルール		
5	まとめ（母音・子音の発音と成り立ちの習得を確認）		
6	～です/ですか / ～は（自己紹介）		
7	～ではありません。		
8	あります/います / ～に		
9	ありません/いません		
10	まとめ（母音・子音を用いて自由に書き取りができる。自己紹介などの基本挨拶の表現ができる）		
11	「この、その、あの」+N		
12	助詞「～と、～も」		
13	～です・～ます「名詞文の 体」		
14	助詞「～を、～で」		
15	漢数字の言い方		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK101
授業形態： 演習
科目名： 韓国語 【B】
担当教員： 朴 英信

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員が担当しています。授業では、韓国語を読む・書くための文字であるハングルの基本文字（24字）と基本文法を学習します。日本語の文法と似ているので、単語を覚えていくと会話がより豊になります。多くの学習者が苦手とする、発音は日本語の単語から分かりやすく説明し練習して綺麗な発音が習得できます。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- 1． 韓国語の固有文字であるハングルの読み書きを正確な発音として習得できる。
- 2． 韓国語での基本的な挨拶や簡単な会話が出来ることによってコミュニケーションの楽しさを経験できる。
- 3． 韓国語の語順や文型は、日本語と同様な部分が多く日本語ベースで構造を理解することができる。
- 4． 韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。

【成績の評価】

授業への取り組みや各活動（20%）、小テスト・課題・レポート（50%）、期末試験（30%）小テスト。レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

「WE CAN 韓国語」（入門から初級へ） 金世徳・張京花 著（博英社） ISBN 978-4-910132-15-0

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと基本母音（10個）		
2	基礎子音（14個）合成母音		
3	韓国語の仕組み		
4	終声(パッチム)と発音のルール		
5	まとめ（母音・子音の発音と成り立ちの習得を確認）		
6	～です/ですか / ～は（自己紹介）		
7	～ではありません。		
8	あります/います / ～に		
9	ありません/いません		
10	まとめ（母音・子音を用いて自由に書き取りができる。自己紹介などの基本挨拶の表現ができる）		
11	「この、その、あの」+N		
12	助詞「～と、～も」		
13	～です・～ます「名詞文の 体」		
14	助詞「～を、～で」		
15	漢数字の言い方		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK102
授業形態： 演習
科目名： 韓国語 【A】
担当教員： 崔 榮晋(CHOI Youngjin)

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員が担当しています。「韓国語」を履修した学生を対象とします。「韓国語」で学んだ内容を確実に復習した上、より多彩な表現と文法を学習し、多様な場面でコミュニケーションができるように練習します。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 「韓国語」で学んだ内容を理解し、韓国の日常生活や文化を深める。
2. より複雑な表現と文法を理解することができる。
3. 学習した内容を実際に利用し、多様な場面でコミュニケーションすることができる。
4. 簡単な文の内容と書き手の意図を理解し、自分の意見を表現することができる。
5. 韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。
6. ハングル能力検定4級以上の合格を目標とする。

【成績の評価】

授業への取り組みや各活動（20%）、小テスト・課題・レポート（50%）、期末試験（30%）小テスト。レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

「WE CAN 韓国語」（入門から初級へ） 金世徳・張京花 著（博英社） ISBN 978-4-910132-15-0

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと韓国語 のまとめ		
2	過去形（でした、ました、でしたか、ましたか）		
3	～ （～する前に）		
4	～ （～ましょうか）		
5	～ （～したいです）		
6	～ 「勧誘や希望の言い方（ きましょう 。 したい）」		
7	～ （～した後に）		
8	～ （～ただ、ひたすら、だけ、のみ）		
9	～するつもりです・～予定です「予定、意思」		
10	～ （～しているところ）		
11	～しようとする。（予定や計画、～）		
12	～ ～ （～から～まで）		
13	～ 。（～することにする）		
14	～ / 。（状態の継続）		
15	状態の継続のまとめ（～ている）		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK102
授業形態： 演習
科目名： 韓国語 【B】
担当教員： 朴 英信

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員が担当しています。「韓国語」を履修した学生を対象とします。「韓国語」で学んだ内容を確実に復習した上、より多彩な表現と文法を学習し、多様な場面でコミュニケーションができるように練習します。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 「韓国語」で学んだ内容を理解し、韓国の日常生活や文化を深める。
2. より複雑な表現と文法を理解することができる。
3. 学習した内容を実際に利用し、多様な場面でコミュニケーションすることができる。
4. 簡単な文の内容と書き手の意図を理解し、自分の意見を表現することができる。
5. 韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。
6. ハングル能力検定4級以上の合格を目標とする。

【成績の評価】

授業への取り組みや各活動（20%）、小テスト・課題・レポート（50%）、期末試験（30%）小テスト。レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

「WE CAN 韓国語」（入門から初級へ） 金世徳・張京花 著（博英社） ISBN 978-4-910132-15-0

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと韓国語 のまとめ		
2	過去形（でした、ました、でしたか、ましたか）		
3	～ （～する前に）		
4	～ （～ましょうか）		
5	～ （～したいです）		
6	～ 「勧誘や希望の言い方（ きましょう 。 したい）」		
7	～ （～した後に）		
8	～ （～ただ、ひたすら、だけ、のみ）		
9	～するつもりです・～予定です「予定、意思」		
10	～ （～しているところ）		
11	～しようとする。（予定や計画、～）		
12	～ ～ （～から～まで）		
13	～ 。（～することにする）		
14	～ / 。（状態の継続）		
15	状態の継続のまとめ（～ている）		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK103
授業形態： 演習
科目名： 韓国語 【A】
担当教員： 崔 榮晋(CHOI Youngjin)

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員が担当しています。「韓国語」を履修した学生を対象とします。「韓国語」で学んだ内容を確実に復習した上、より多彩な表現と文法を学習し、多様な場面でコミュニケーションができるように練習します。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 「韓国語」で学んだ内容を理解し、韓国の日常生活や文化を深める。
2. より複雑な表現と文法を理解することができる。
3. 学習した内容を実際に利用し、多様な場面でコミュニケーションすることができる。
4. 簡単な文の内容と書き手の意図を理解し、自分の意見を表現することができる。
5. 韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。
6. ハングル能力検定4級以上の合格を目標とする。

【成績の評価】

授業への取り組みや各活動(20%)、小テスト・課題・レポート(50%)、期末試験(30%)
小テスト。レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

「WE CAN 韓国語」(初級から中級へ) 金世徳・張京花 著 (博英社) ISDN 978-4-910132-32-7

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと韓国語 のまとめ		
2	過去形（でした、ました、でしたか、ましたか）		
3	～ （～する前に）		
4	～ （～ましょうか）		
5	～ （～したいです）		
6	～ 「勧誘や希望の言い方（ きましょう 。 したい）」		
7	～ （～した後に）		
8	～ （～ただ、ひたすら、だけ、のみ）		
9	～するつもりです・～予定です「予定、意思」		
10	～ （～しているところ）		
11	～しようとする。（予定や計画、～）		
12	～ ～ （～から～まで）		
13	～ 。（～することにする）		
14	～ / 。（状態の継続）		
15	状態の継続のまとめ（～ている）		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK103
授業形態： 演習
科目名： 韓国語 【B】
担当教員： 朴 英信

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員が担当しています。「韓国語」を履修した学生を対象とします。「韓国語」で学んだ内容を確実に復習した上、より多彩な表現と文法を学習し、多様な場面でコミュニケーションができるように練習します。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 「韓国語」で学んだ内容を理解し、韓国の日常生活や文化を深める。
2. より複雑な表現と文法を理解することができる。
3. 学習した内容を実際に利用し、多様な場面でコミュニケーションすることができる。
4. 簡単な文の内容と書き手の意図を理解し、自分の意見を表現することができる。
5. 韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。
6. ハングル能力検定4級以上の合格を目標とする。

【成績の評価】

授業への取り組みや各活動（20%）、小テスト・課題・レポート（50%）、期末試験（30%）小テスト。レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

「WE CAN 韓国語」（初級から中級へ） 金世徳・張京花 著（博英社） ISDN 978-4-910132-32-7

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと韓国語 のまとめ		
2	過去形（でした、ました、でしたか、ましたか）		
3	～ （～する前に）		
4	～ （～ましょうか）		
5	～ （～したいです）		
6	～ 「勧誘や希望の言い方（ きましょう 。 したい）」		
7	～ （～した後に）		
8	～ （～ただ、ひたすら、だけ、のみ）		
9	～するつもりです・～予定です「予定、意思」		
10	～ （～しているところ）		
11	～しようとする。（予定や計画、～）		
12	～ ～ （～から～まで）		
13	～ 。（～することにする）		
14	～ / 。（状態の継続）		
15	状態の継続のまとめ（～ている）		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： uCK104
授業形態： 演習
科目名： 韓国語 【A】
担当教員： 崔 榮晋(CHOI Youngjin)

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員が担当しています。「韓国語」を履修した学生を対象とします。「韓国語」で学んだ内容を確実に復習した上、より多彩な表現と文法を学習し、多様な場面でコミュニケーションができるように練習します。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 「韓国語」で学んだ内容を理解し、韓国語や文化を深める。
2. より複雑な表現と文法を理解することができる。
3. 学習した内容を実際に利用し、多様な場面でコミュニケーションすることができる。
4. 簡単な文の内容と書き手の意図を理解し、自分の意見を表現することができる。
5. 韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。
6. ハングル能力検定4級以上の合格を目標とする。

【成績の評価】

授業への取り組みや各活動(20%)、小テスト・課題・レポート(50%)、期末試験(30%)
小テスト。レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

「WE CAN 韓国語」(初級から中級へ) 金世徳・張京花 著 (博英社) ISDN 978-4-910132-32-7

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと韓国語のおさらい		
2	第7課 ~なければならない		
3	~て、くて、ので		
4	第8課 ~しに行く（移動の目的）		
5	~したり		
6	文化の紹介		
7	第9課 ~でも良い「許可」		
8	~ではいけない「禁止」		
9	第10課 ~します「意志」		
10	~（ ）に（人・動物を表す語に付く）		
11	第11課 ~することが出来る「可能」		
12	~（~ので、から）		
13	第12課 ~してから「経過」		
14	~（~します）「未来」		
15	まとめ		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： uCK104
授業形態： 演習
科目名： 韓国語 【B】
担当教員： 朴 英信

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員が担当しています。「韓国語」を履修した学生を対象とします。「韓国語」で学んだ内容を確実に復習した上、より多彩な表現と文法を学習し、多様な場面でコミュニケーションができるように練習します。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 「韓国語」で学んだ内容を理解し、韓国語や文化を深める。
2. より複雑な表現と文法を理解することができる。
3. 学習した内容を実際に利用し、多様な場面でコミュニケーションすることができる。
4. 簡単な文の内容と書き手の意図を理解し、自分の意見を表現することができる。
5. 韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。
6. ハングル能力検定4級以上の合格を目標とする。

【成績の評価】

授業への取り組みや各活動（20%）、小テスト・課題・レポート（50%）、期末試験（30%）小テスト。レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

「WE CAN 韓国語」（初級から中級へ） 金世徳・張京花 著（博英社） ISDN 978-4-910132-32-7

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと韓国語のおさらい		
2	第7課 ~なければならない		
3	~て、くて、ので		
4	第8課 ~しに行く（移動の目的）		
5	~したり		
6	文化の紹介		
7	第9課 ~でも良い「許可」		
8	~ではいけない「禁止」		
9	第10課 ~します「意志」		
10	~（ ）に（人・動物を表す語に付く）		
11	第11課 ~することが出来る「可能」		
12	~（~ので、から）		
13	第12課 ~してから「経過」		
14	~（~します）「未来」		
15	まとめ		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCJ101
授業形態： 演習
科目名： 日本語
担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

本講義は、外国人留学生在が大学で学ぶために必要な日本語能力を中上級レベルに引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。

「日本語」では読解能力の養成に重点を置き、学習者が興味を持っている日本文化や社会に関する読み物を読みます。まず、読みのストラテジーで読解スキルを学習した後、N2、N1の文法・語彙を中心に、文型・表現を学習しながら、読解力を身につけます。また、別冊ワークブックの問題練習を通じて、読み物の内容理解度を確認し、文法力、語彙力、漢字力も伸ばしていきます。授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、受講生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。また、読み物のテーマに関連して、受講生全員でディスカッションを行います。学習者が「読める」達成感を感じながら学習を進めていきます。

なお、「読む・聞く・書く・話す」四技能をバランスよく統合的に学習するために、関連科目の「日本語表現基礎」を履修してください。また、「日本語」を続けて履修してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

中上級レベルの文章を正確に理解できる。
中上級レベルの漢字・語彙・文法を使うことができる。

【成績の評価】

レポート・授業中の発表（25%）、小テスト（25%）、定期試験（50%）
レポート・小テストについては、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。定期試験の結果はオフィスアワーの際に解説する。
遅刻3回で欠席1回とみなす。

【使用テキスト】

『4技能でひろがる 中級日本語カルテット』坂本正監修、安井朱美・井手友里子・土居美有紀・浜田英紀著、the japan times、2020年、3,000円+税

【参考文献】

『改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型500』友松悦子・宮本淳・和栗雅子著、アルク、2010年、2,500円+税

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
2	第7課 読む「異文化での気づき」 読みのストラテジー：省略された言葉 読み物1：「日本人学生の留学体験記」 文型・表現：～つつある／～際（に）／～てしょうがない	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
3	第7課 読む「異文化での気づき」 読み物1：「日本人学生の留学体験記」 文型・表現：～こそ／むしろ／～にもかかわらず／～ばかり	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
4	第7課 読む「異文化での気づき」 読み物1：「日本人学生の留学体験記」 ワークブック練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
5	第7課 読む「異文化での気づき」 読み物2：「外国人留学生の思い」 文型・表現：～と同時に／～ことに／Nにおける／まさに	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
6	第7課 読む「異文化での気づき」 読み物2：「外国人留学生の思い」 ワークブック練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
7	第8課 読む「インタビューに見るプロ意識」 読みのストラテジー：インタビューの質問に対する答え、何を説明している例か 読み物1：「『日本一の旅館』加賀屋の女将に聞く」 文型・表現：～どころか（～も、さえ）／～ない限り／Nならではの	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
8	第8課 読む「インタビューに見るプロ意識」 読み物1：「『日本一の旅館』加賀屋の女将に聞く」 文型・表現：～ないまでも／～とともに／～たものだ／かえって	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
9	第8課 読む「インタビューに見るプロ意識」 読み物1：「『日本一の旅館』加賀屋の女将に聞く」 ワークブック練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
10	第8課 読む「インタビューに見るプロ意識」 読み物2：「Bentoで日本をもっと近く」 文型・表現：～うちに／Nなりに／Nにこだわ	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	第8課 読む「インタビューに見るプロ意識」 読み物2：「Bentoで日本をもっと近く」 ワークブック練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
12	第9課 読む「小説・エッセイを通じて考える愛」 読みのストラテジー：「たとえ」を使った表現、タイトルから読み取れるメッセージ 読み物1：「夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について」 文型・表現：～くらい／～に違いない／～たとしても／Nなんか／いったい～（か）／～VかVないか	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
13	第9課 読む「小説・エッセイを通じて考える愛」 読み物1：「夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について」 ワークブック練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
14	第9課 読む「小説・エッセイを通じて考える愛」 読み物2：「愛と恐怖」 文型・表現：～ということは／～はずがない／～わけがない／～得る・得ない／～もしない	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
15	第9課 読む「小説・エッセイを通じて考える愛」 読み物2：「愛と恐怖」 ワークブック練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCJ102
 授業形態： 演習
 科目名： 日本語
 担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

本講義は、外国人留学生在が大学で学ぶために必要な日本語能力を中上級レベルに引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。
 「日本語」では引き続き読解能力の養成に重点を置き、学習者が興味を持っている日本文化や社会に関する読み物を読みます。まず、読みのストラテジーで読解スキルを学習した後、N2、N1の文法・語彙を中心に、文型・表現を学習しながら、読解力を身につけます。また、別冊ワークブックの問題練習を通じて、読み物の内容理解度を確認し、文法力、語彙力、漢字力も伸ばしていきます。
 授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、受講生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。また、読み物のテーマに関連して、受講生全員でディスカッションを行います。学習者が「読める」達成感を感じながら学習を進めていきます。
 なお、関連科目として「日本語」が既習であることを前提とします。また、「読む・聞く・書く・話す」四技能をバランスよく統合的に学習するために、関連科目の「日本語表現基礎」を履修してください。さらに上級レベルの日本語力を身につけるために、「日本語」を続けて履修してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

中上級レベルの文章を正確に理解できる。
 中上級レベルの漢字・語彙・文法を使うことができる。

【成績の評価】

レポート・授業中の発表（25%）、小テスト（25%）、定期試験（50%）
 レポート・小テストについては、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。定期試験の結果はオフィスアワーの際に解説する。
 遅刻3回で欠席1回とみなす。

【使用テキスト】

『4技能でひろがる 中級日本語カルテット』坂本正監修、安井朱美・井手友里子・土居美有紀・浜田英紀著、the japan times、2020年、3,000円+税

【参考文献】

『改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型500』友松悦子・宮本淳・和栗雅子著、アルク、2010年、2,500円+税

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	第10課 読む「データから考える社会」 読みのストラテジー：データの説明、調査結果のグラフ 読み物1：「結婚・子育て、夢描きにくく朝日新聞社世論調査」 文型・表現：Nにとどまる／一方（で）／Nに達する／Nを超える	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
2	第10課 読む「データから考える社会」 読み物1：「結婚・子育て、夢描きにくく朝日新聞社世論調査」 文型・表現：Nを占める／～ながら／Nほど／Nにのぼる	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
3	第10課 読む「データから考える社会」 読み物1：「結婚・子育て、夢描きにくく朝日新聞社世論調査」 ワークブック問題練習	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
4	第10課 読む「データから考える社会」 読み物2：「日本人が政府に期待するものISSP国際比較調査『政府の役割』から」 文型・表現：～つつ／～たところ／～ものの	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
5	第10課 読む「データから考える社会」 読み物2：「日本人が政府に期待するものISSP国際比較調査『政府の役割』から」 ワークブック問題練習	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
6	第11課 読む「言葉の裏にあるもの」 読みのストラテジー：キーワード 読み物1：「よろしく 日本語表と裏」 文型・表現：～なり～なり／～まい／～すえ（に）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
7	第11課 読む「言葉の裏にあるもの」 読み物1：「よろしく 日本語表と裏」 文型・表現：Nまで／Nであれ／～かねない	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
8	第11課 読む「言葉の裏にあるもの」 読み物1：「よろしく 日本語表と裏」 ワークブック問題練習	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
9	第11課 読む「言葉の裏にあるもの」 読み物2：「二重人格者の会話 日本語の復権」 文型・表現：Nはさておくとして／いずれにしても／～とばかりは言えない／Nとする／Nでも	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
10	第11課 読む「言葉の裏にあるもの」	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	読み物2：「二重人格者の会話 日本語の復権」 ワークブック問題練習	の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
11	第12課 読む「発想の転換」 読みのストラテジー：小見出し、隠喩 読み物1：「奇跡の職場 新幹線清掃チームの“働く誇り”」 文型・表現：～といっても／～がち／Nに応じて	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
12	第12課 読む「発想の転換」 読み物1：「奇跡の職場 新幹線清掃チームの“働く誇り”」 文型・表現：～分（だけ）／～にすぎない／～以上（は）／～うえで	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
13	第12課 読む「発想の転換」 読み物1：「奇跡の職場 新幹線清掃チームの“働く誇り”」 ワークブック問題練習	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
14	第12課 読む「発想の転換」 読み物2：「あらしのよるに」 文型・表現：～そうになる／～なかれ／～ようがない／～なり	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
15	第12課 読む「発想の転換」 読み物2：「あらしのよるに」 ワークブック問題練習	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCJ201
 授業形態： 演習
 科目名： 日本語
 担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

本講義は、外国人留学生の日本語能力を上級レベルに引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。
 上級レベルに到達するには、語彙力のアップ、文型の正確な使用や状況に応じた運用が求められます。そのため、ワークブックを併用し、豊富な問題練習によって、重要表現や語彙・漢字の理解、定着を図ります。さらに、学んだ語彙や重要表現を用いて、テキストの内容に即した話題で、自分の考えを自由に発信するタスク練習を行います。「読む」「聞く」「書く」「話す」を統合させたクラス活動を通して、運用能力を高めていきます。
 授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、受講生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。また、各課のテーマに沿ってディスカッションやプレゼンテーション練習も行います。
 なお、関連科目として「日本語 」、「日本語 」、「日本語 」が既習であることを前提とします。また「日本語 」を続けて受講してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

上級レベルの文章の読解ができる。
 上級レベルの語彙・文法を使うことができる。
 テーマに沿ってレポートを作成することができる。
 社会問題に関するプレゼンテーションやディスカッションができる。

【成績の評価】

レポート・授業中の発表（25%）、小テスト（25%）、定期試験（50%）
 レポート・小テストについては、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。定期試験の結果はオフィスアワーの際に解説する。
 遅刻3回で欠席1回とみなす。

【使用テキスト】

『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』鎌田修・ボイクマン総子・富山佳子・山本真知子著、the japan times、2012年、3,200円+税

【参考文献】

『改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型500』友松悦子・宮本淳・和栗雅子著、アルク、2010年、2,500円+税

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
2	第1課「自己紹介と本当の自分」 本文：「自分とは何だろう」 重要表現：～（の）でしょうか／～ことを「……」と言う／～ばかりで／このように見てみると（考えると）、～ということになる	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
3	第1課「自己紹介と本当の自分」 本文：「自分とは何だろう」 重要表現：～ば～ほど／例えば～とする／～場合もある／～と、なおさら……	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
4	第1課「自己紹介と本当の自分」 本文：「自分とは何だろう」 内容確認の問題練習 ワークブック（語彙練習）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
5	第1課「自己紹介と本当の自分」 文法・語彙練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
6	第1課「自己紹介と本当の自分」 読んだあとで：自分を印象づける自己紹介を考える タスク：エントリーシートを書く	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
7	第2課「若者の自己評価」 本文：「日米の大学生のコミュニケーション・スタイル」 重要表現：～に関するN（～に関して）／～なりに（～なりのN）／～ごとに／～まで	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。（1時間）	
8	第2課「若者の自己評価」 本文：「日米の大学生のコミュニケーション・スタイル」 重要表現：めったに～ない／いったい～の（だろう）か／～にすぎない／～はずがない／～わけではない	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
9	第2課「若者の自己評価」 本文：「日米の大学生のコミュニケーション・スタイル」 内容確認の問題練習 ワークブック（語彙練習）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
10	第2課「若者の自己評価」 文法・語彙練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
11	第2課「若者の自己評価」 読んだあとで：中高生の意識調査の結果を基	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	に話し合う タスク：ロールプレイ「人物を紹介する」	の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
12	第3課「ジェンダーを考える」 本文：「男の料理 市民権」 重要表現：～限り／～うえ（に）／～といったふうに（～というふうに）／～（の）代わりに	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
13	ユニット3「ジェンダーを考える」 本文：「男の料理 市民権」 重要表現：～うえで／どちらかといえば（どちらかという）／～ってことは、……ってこと（～ということ、……ということ）／～も～もない	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
14	第3課「ジェンダーを考える」 本文：「男の料理 市民権」 内容確認の問題練習 ワークブック（語彙練習）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
15	第3課「ジェンダーを考える」 文法・語彙練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCJ202
授業形態： 演習
科目名： 日本語
担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

本講義は、「日本語」に引き続き、外国人留学生の日本語能力を上級レベルに引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。

上級レベルに到達するには、語彙力のアップ、文型の正確な使用や状況に応じた運用が求められます。そのため、ワークブックを併用し、豊富な問題練習によって、重要表現や語彙・漢字の理解、定着を図ります。さらに、学んだ語彙や重要表現を用いて、テキストの内容に即した話題で、自分の考えを自由に発信するタスク練習を行います。「読む」「聞く」「書く」「話す」を統合させたクラス活動を通して、運用能力を高めていきます。

授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、受講生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。また、各課のテーマに沿ってディスカッションやプレゼンテーション練習も行います。

なお、関連科目として「日本語」「日本語」「日本語」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

上級レベルの文章の読解ができる。

上級レベルの語彙・文法を使うことができる。

テーマに沿ってレポートを作成することができる。

社会問題に関するプレゼンテーションやディスカッションができる。

【成績の評価】

レポート・授業中の発表（25%）、小テスト（25%）、定期試験（50%）

レポート・小テストについては、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。定期試験の結果はオフィスアワーの際に解説する。

遅刻3回で欠席1回とみなす。

【使用テキスト】

『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』鎌田修・ボイクマン総子・富山佳子・山本真知子著、the japan times、2012年、3,200円+税

【参考文献】

『改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型500』友松悦子・宮本淳・和栗雅子著、アルク、2010年、2,500円+税

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	第3課「ジェンダーを考える」 タスク：グラフを説明する	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
2	第4課「ことばと文化」 本文：「日本人は『ノー』と言わない？」 重要表現：～ようなものだ／～（よ）うものなら／～かねない／～ものの／なんといつても	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
3	第4課「ことばと文化」 本文：「日本人は『ノー』と言わない？」 重要表現：とても～ない（ぬ）／～をめぐり（めぐって）／～に反して／～からといって／～にとって（～にとってのN）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
4	第4課「ことばと文化」 本文：「日本人は『ノー』と言わない？」 内容確認の問題練習 ワークブック（語彙練習）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
5	第4課「ことばと文化」 文法・語彙練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
6	第4課「ことばと文化」 読んだあとで：感謝の表現に反映したモンゴル・日本の異文化 タスク：先生にお願いのメールを書く	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
7	第5課「心と体のバランス」 本文：「健康病が心身をむしばむ」 重要表現：～と（いうの）は……ことを言う（ことだ）／～と言っても／～度に／～そもそも／～ふしがある／～べきだ（～べきではない）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
8	第5課「心と体のバランス」 本文：「健康病が心身をむしばむ」 重要表現：いかにも～そうだ／～という／～つつ／～かける（～かけのN）／～に…を感じさせられる（考えさせられる）／さらには	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
9	第5課「心と体のバランス」 本文：「健康病が心身をむしばむ」 内容確認の問題練習 ワークブック（語彙練習）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
10	第5課「心と体のバランス」 文法・語彙練習問題	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
11	第5課「心と体のバランス」 読んだあとで：「病は気から」の心理 タスク：日本事情についてアンケート調査をする	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってもらうこと。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
12	第6課「働くということ」 本文：「『驚き』や『喜び』を食べて育つ」 重要表現：つまり／結果として／～につれ（て）／～末に／～からこそ（てこそ）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくる。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
13	第6課「働くということ」 本文：「『驚き』や『喜び』を食べて育つ」 重要表現：～として／ここ＋[期間]／～なんか／いかに～か／なぜなら（ば）～からだ	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくる。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
14	第6課「働くということ」 本文：「『驚き』や『喜び』を食べて育つ」 内容確認の問題練習 ワークブック（語彙練習）	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくる。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
15	第6課「働くということ」 文法・語彙練習問題 読んだあとで：日本で活躍する外国人社員の経験談	次回授業の範囲を提示するので、予習として、テキストの本文の音読、わからない言葉の下調べと練習問題をやってくる。また、プレゼンテーションやグループワークのための準備をすること。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UHH001
授業形態： 講義
科目名： 健康とスポーツ【経】
担当教員： 宮本 賢作(MIYAMOTO Kensaku)

【授業の紹介】

成長期から成人期に移行するこの時期に、正しいヘルスリテラシーを身につけるとともに、今後起こりうる健康問題について理解することで、その予防としての運動、食事、休養の重要性と、それをサポートする社会的なシステムについて理解する。またこれらを主体的かつ科学的に捉え、行動変容を意識した実践力と、その基盤となるエビデンスに基づいた健康づくりについて考察する。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】

健康な生活を営む上で必要な基礎知識の理解を深めることができる。
ヒトの生涯のさまざまな場面で生じる疾病の予防および健康の維持と生体機能の関係について理解を深めることができる。

【成績の評価】

成績の評価は学期末試験（60%）、レポート・ミニテスト（30%）、学習態度（10%）によって行い、総計60%以上を合格とします。なお、レポートについては講評や添削を行い返却（フィードバック）します。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

シンプル衛生公衆衛生学2022（南江堂）
これからの健康とスポーツの科学 第5版（講談社）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・健康（及び疾病）の概念とヘルスプロモーション	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
2	健康を取り巻く環境についての理解	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
3	健康情報とヘルスリテラシー	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
4	幼少期～成長期の健康問題	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
5	成人期の健康問題	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
6	高齢期の健康問題	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
7	死生観と生命倫理	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
8	健康と運動・労働	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着す	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		るよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
9	健康と食事・栄養	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
10	健康と休養・睡眠	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
11	喫煙，飲酒，薬物乱用，メディアリテラシーと健康	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
12	運動の科学と健康	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
13	体力の評価と分析	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
14	エビデンスに基づいた医療と健康づくり&持続可能な健康づくり	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
15	まとめ（生涯にわたる健康増進とスポーツライフの継続を目指して）	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UHH002
授業形態： 実習
科目名： 健康とスポーツ実習【経A】
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

本授業では様々な競技スポーツを通して、基礎的な知識や技能、ルールや戦術を身に付けることを目的としている。健康づくりや生きがいづくりの観点からもスポーツを捉えることができる態度を養うことや、ディプロマ・ポリシーに記載のように、スポーツを通して様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することでスポーツに関わる諸問題の解決に取り組んでいく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

様々な競技スポーツを通して基礎的な知識や技能、ルールや戦術を身に付けることができる。
アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、既存の知識を応用し技能向上のための効果的な練習方法の発見や、新たな問題点の発見およびそれを解決する力を修得することができる。

【成績の評価】

授業態度（40%）、レポート（20%）、定期試験（40%）で評価する。
またレポートについては、その都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。

60点以上を合格とする。

【使用テキスト】

テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】

G.シュテラー、I.コンツァック、H.デブラー著『ボールゲーム指導辞典』（大修館書店、1993年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてスポーツについて日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
2	ゴール型スポーツ（バスケットボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
3	ゴール型スポーツ（バスケットボール：シュート、2対2、ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
4	ゴール型スポーツ（バスケットボール：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
5	ゴール型スポーツ（サッカー：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
6	ゴール型スポーツ（サッカー：シュート、2対2、ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
7	ゴール型スポーツ（サッカー：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
8	ベースボール型スポーツ（ソフトボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		(30分)	
9	ベースボール型スポーツ（ソフトボール：キャッチボール、バッティング）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
10	ベースボール型スポーツ（ソフトボール：ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
11	ネット型スポーツ（バレーボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
12	ネット型スポーツ（バレーボール：レシーブ、トス、スパイク）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
13	ネット型スポーツ（バレーボール：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
14	ネット型スポーツ（バドミントン：ルールの理解、基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
15	ネット型スポーツ（バドミントン：基本ストローク、ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
	定期試験(実施する)		担当：花城 清紀

科目ナンバリング： UHH002
授業形態： 実習
科目名： 健康とスポーツ実習【経B】
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

本授業では様々な競技スポーツを通して、基礎的な知識や技能、ルールや戦術を身に付けることを目的としている。健康づくりや生きがいつくりの観点からもスポーツを捉えることができる態度を養うことや、ディプロマ・ポリシーに記載のように、スポーツを通して様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することでスポーツに関わる諸問題の解決に取り組んでいく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

様々な競技スポーツを通して基礎的な知識や技能、ルールや戦術を身に付けることができる。
アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、既存の知識を応用し技能向上のための効果的な練習方法の発見や、新たな問題点の発見およびそれを解決する力を修得することができる。

【成績の評価】

授業態度（40%）、レポート（20%）、定期試験（40%）で評価する。
またレポートについては、その都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。
60点以上を合格とする。

【使用テキスト】

テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】

G.シュテラー、I.コンツァック、H.デブラー著『ボールゲーム指導辞典』（大修館書店、1993年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてスポーツについて日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
2	ゴール型スポーツ（バスケットボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
3	ゴール型スポーツ（バスケットボール：シュート、2対2、ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
4	ゴール型スポーツ（バスケットボール：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
5	ゴール型スポーツ（サッカー：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
6	ゴール型スポーツ（サッカー：シュート、2対2、ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
7	ゴール型スポーツ（サッカー：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
8	ベースボール型スポーツ（ソフトボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
9	ベースボール型スポーツ（ソフトボール：キャッチボール、バッティング）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
10	ベースボール型スポーツ（ソフトボール：ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
11	ネット型スポーツ（バレーボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
12	ネット型スポーツ（バレーボール：レシーブ、トス、スパイク）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
13	ネット型スポーツ（バレーボール：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
14	ネット型スポーツ（バドミントン：ルールの理解、基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
15	ネット型スポーツ（バドミントン：基本ストローク、ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
	定期試験(実施する)		担当：花城 清紀

科目ナンバリング： BUS111
授業形態： 講義
科目名： 経営学概論
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

経営学概論は、学士（経営学）の学位を授与するために不可欠の必修の科目として設置され、経営の基礎的知識を修得し、それを組織において適切に活用できるように計画されている。

そのため、本講義では、まず「経営学がどのような学問であるか」、「企業の目標とは何か」、そして「企業とはどのような存在であるのか」について講義を行う。その上で、「戦略」、「組織」、そして「管理」に焦点を絞り、其々の基礎理論と企業における具体的な実践例を説明していく。その上で、現代企業における諸問題として、注目されているトピックスを学習し、受講者が社会に出て活躍していくための知識の獲得を目指すしていく。

本講義の小テストは、6/1以降については、BYODを前提に「高大ドリル」のシステムを活用して実施する予定である。

会社法や株式会社の有用性については、「会計学入門」で講義が行われる。

このシラバスは「単元化」のための導入テストも兼ねている。また、小テストの出題範囲は、この単元に基づいている。

第1回から第13回で配布する講義資料には、次回の講義内容とその講義で使用するキーワードを明記しておく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

本講義においては、次の事項を到達目標とする。

「経営学がどのような学問であるのか」を把握できる。

「経営戦略の基礎」を理解できる。

「機能別戦略の内容」を理解できる。

「人的資源管理の意義と課題」を理解できる。

「管理・組織の理論がどのように発展し、どのように現実の問題を解決できるのか」を理解できる。

【成績の評価】

講義中に実施する簡単な確認テスト(20%)と計3回の小テスト(80%)で評価を行う。小テストについては、平均点や難易度を加味し、若干の調整を行う。

3回実施する小テストは、全10問で各問題に10個の選択肢(の中から1つを選ぶ)という形態を予定している。

BYODを前提とした高大ドリルを使用した小テストを行う場合には、解答提出と同時に採点が行われる。全体および各回の平均点・標準偏差などの全体情報は、当該小テストの翌週に全体向けにフィードバックを実施する。

【使用テキスト】

一般社団法人日本経営協会【監修】/非特定営利法人経営能力開発センター【編】 [2023], 『マネジメント検定試験 公式テキスト (級) 経営学の基本』 中央経済社 ISBN-13 : 978-4-502-43511-9。

本テキストは、これまでのテキストと大幅改定されたため、最新のテキストを必ず用意すること。

【参考文献】

各回の講義資料において適宜指示を行う。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	<p>受講ガイダンス・イントロダクション、成績評価の方法、クラスルームへの登録、理解度確認テスト、小テストの実施方法についての説明</p>	<p>【予習】：初回講義で簡単な理解度確認テストを実施するため、「過去2年間における企業不祥事」について調べ、ノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第1回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第1回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。</p>	
2	<p>現代企業入門：「1-1 経営学とは何か、経営学を学ぶ意義とは何か」、「1-2 経営学の歴史（ドイツの経営学）」、「1-3 経営学の歴史（アメリカの経営学）」、「1-4 経営学の歴史（日本の経営学）」、「1-5 経営者の役割」、「1-6 企業と出資者の関係者」、「1-7 エージェンシー理論」、「1-8 企業とNPOの類似点と相違点」、「1-9 企業とステークホルダー」、「1-10 企業とステークホルダーの関係を良好なものにするために」</p>	<p>【予習】：「企業とステークホルダー」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、企業にはどのようなステークホルダーが存在するのか、についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第2回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第2回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。</p>	
3	<p>現代企業入門：「2-1 有限な経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報)」、「2-2 ベンチャー企業の定義」、「2-3アントレプレナーシップ」、「2-4 所有経営者から経営者支配へ」、「2-5 所有と経営の分離」、「2-6 専門経営者」、「2-7 コーポレート・ガバナンス」、「2-8 会社は株主のものか」、「2-9 Exit-Voice理論」、「2-10 各国のコーポレート・ガバナンス」</p>	<p>【予習】：「ベンチャー企業とアントレプレナーシップ」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、「ベンチャー企業」の特徴についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第3回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第3回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。</p>	
4	<p>経営戦略論：「3-1 戦略の概念」、「3-2 戦略と戦術の違い」、「3-3 戦略策定のプロセス」、「3-4 経営理念・ミッション・ビジョン」、「3-5 ドメイン」、「3-6 垂直統合と水平統合」、「3-7 取引コストとは」、「3-8 製品ー市場マトリックス」、「3-9 シナジーの意義」、「3-10 シナジーの失敗」</p>	<p>【予習】：「戦略策定のプロセス」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、「ビジョン」の重要性についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第4回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第4回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。</p>	
5	<p>経営戦略論：「4-1 PPM分析」、「4-2 相対的市場占有率」、「4-3 経験効果と製品ライフサイクル」、「4-4 PPMの問題点」、「4-5 負け犬からの撤退」、「4-6 選択と集中」、「4-7 ファイブフォース分析」、「4-8 新規参入の脅威」、「4-9 代替可能性とは」、「4-10 コスト・リーダーシップ戦略と差別化戦略」</p>	<p>【予習】：「PPM分析」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、「金のなる木」の重要性についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第5回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第5回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。</p>	
6	<p>機能別戦略：「5-1 野中郁次郎の知識創造理論」、「5-2 マーケティングとマーケティング戦略」、「5-3 マーケティングを志向した経営学」、「5-4 ターゲティングとは何か」、「5-5 マーケティング・ミックス」、「5-6 製品ライフサイクル」、「5-7 ロジスティクスと経営学」、「5-8 R&D戦略」、「5-9 生産戦略」、「5-10 財務戦略とは何か」</p>	<p>【予習】：「マーケティング・ミックス」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、「プロモーション」の重要性についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第6回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第6回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容(時間) / 復習内容(時間)	備考
7	第2回から第6回目までのまとめと第1回の小テストのプレ(BYOD対応以前のため、紙媒体でのプレテストを実施予定)	【予習】：第6回の講義で第1回の小テストの範囲を説明するので、第7回に実施するプレテストのために、これまでの範囲で分からなかったところを復習し、重要なポイントについてメモしておくこと(2時間)。 【復習】：プレテストの結果を踏まえ、自分の不得意分野を特定し、どの部分が苦手なのかを考え、小テストに向けた学習計画を作成しておくこと(2時間)。	
8	経営理論の実践事例	【予習】：第7回の講義の最後に、複数の企業を提示するため、その中から1社を選び、どのような企業なのかを調べ、メモしておくこと(2時間)。 【復習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
9	第1回の小テスト(6/1以降に実施：BYOD対応)	【予習】：第8回の講義で第1回の小テストの範囲を説明するので、小テストのためにこれまでに学習した内容を復習しておくこと(2時間)。 【復習】：第1回の小テストを踏まえ、理解度が不足していた部分について配布資料とテキストを復習すること(2時間)。	
10	人的資源管理論と組織構造論：「6-1 人的資源管理とは」、「6-2 雇用管理と多様化する雇用形態」、「6-3 労働条件管理とは」、「6-4 人材開発とは何か、日本的な人材開発とは」、「6-5 ダイバーシティ・マネジメント」、「6-6 ライフ・ワーク・バランス」、「6-7 働き方改革と現代企業」、「6-8 組織における水平的分業と垂直的分業」、「6-9 命令の一元性の原則」、「6-10 スパン・オブ・コントロール」	【予習】：「ダイバーシティ・マネジメント」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、「現代企業にはどのような多様性が求められているのか」についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第10回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第10回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。	
11	人的資源管理論と組織構造論：「7-1 ライン組織の長所と短所」、「7-2 ファンクショナル組織の長所と短所」、「7-3 ライン・アンド・スタッフ組織の長所と短所」、「7-4 職能部門制組織の長所と短所」、「7-5 事業部制組織の長所と短所」、「7-6 カンパニー制組織」、「7-7 持株会社組織」、「7-8 マトリックス組織」、「7-9 ネットワーク組織」、「7-10 プロジェクトチームという幻想」	【予習】：「ライン組織」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、「ライン組織にはどのような長所と短所が存在するのか」についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第11回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第11回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。	
12	第10回と第11回のまとめと第2回目の小テスト	【予習】：第11回の講義で第2回の小テストの範囲を説明するので、小テストのためにこれまでに学習した内容を復習しておくこと(2時間)。 【復習】：第2回の小テストを踏まえ、理解度が不足していた部分について配布資料とテキストを復習すること(2時間)。	
13	経営管理論と経営組織論：「8-1 テイラーの科学的管理法」、「8-2 ファヨールの管理過程論」、「8-3 クーンツのマネジメント・セオリー・ジャングル」、「8-4 ホーソン実験」、「8-5 メイヨーの問題意識」、「8-6 パーナード理論の基礎」、「8-7 公式組織の3要素と組織存続の条件」、「8-8 意思決定志向的な経営学」、「8-9 経営陣仮説」、「8-10 近代組織論以降の経営学」	【予習】：「テイラーの科学的管理法」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、「テイラーの科学的管理法の特徴」についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第12回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、教科書(テキスト)を確認の上、第11回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
14	<p>経営管理論と経営組織論：「9-1 M. ウェーバーの官僚制組織論」、「9-2 マートンらによる官僚制の逆機能」、「9-3 フェレットと統合の哲学」、「9-4 マズローの欲求階層理論」、「9-5 マグレガーのX理論とY理論」、「9-6 ハーズバーグの衛生理論」、「9-7 リーダーシップの理論と限界」、「9-8 コンティンジェンシー理論」、「9-9 組織文化論」、「9-10 組織における異文化シナジー」</p>	<p>【予習】：「マズローの欲求階層理論」を教科書(テキスト)やインターネットで調べ、「この理論にはどのような階層が存在し、それを満たすためにはどのような条件が必要なのか」についてノート(あるいはメモ帳)にまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第14回の講義において、第3回の小テストの範囲(単元)を最終確認するため、その範囲を勉強しておくこと(2時間)。</p>	
15	<p>これまでのまとめと第3回目的小テスト</p>	<p>【予習】：第14回の講義において、第3回の小テストの範囲(単元)を最終確認するため、その範囲を勉強しておくこと(2時間)。 【復習】：第3回の小テストの結果を踏まえ、理解度が不足していた部分について配布資料とテキストを復習すること(2時間)。</p>	
	<p>定期試験(実施しない)</p>		

科目ナンバリング： BUS121
授業形態： 講義
科目名： 商業概論
担当教員： 日笠 倫周(HIKASA Michinori)

【授業の紹介】

製造業者にとって、小売業者や卸売業者といった商業者の存在は効率的な販売活動を行う上で重要な存在です。また、消費者にとっても、日常的な消費行動を助けてくれる商業者は無くてはならない存在です。

本講義では、商業論の基礎的な概念や理論枠組みを理解し、それらの知識を活用できるようになることを目的とします。そのために、商業の構造や商業者間の関係性といった議論に特に焦点を当てます。

なお、関連科目として、マーケティング論などを履修することが望ましいです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 商業論の基礎理論を理解し、その理論枠組みを説明することができる。
2. 商品流通の仕組みを理解し、身近な商業者の役割を説明することができる。

【成績の評価】

成績は、小テスト（80%）、授業内課題（20%）を総合して評価します。

小テストの採点基準は講義時に説明します。

小テストと授業内課題のフィードバックとして、採点済答案の返却と解説を行います。

【使用テキスト】

初回講義時に指示します。

【参考文献】

石原武政・佐藤善信・池尾恭一著『商業学』（有斐閣,2000年）

鈴木安昭・田村正紀著『商業論』（有斐閣新書,1980年）

高嶋克義著『現代商業学（新版）』（有斐閣,2014年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
2	流通とは何か	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
3	流通業者の必要性	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
4	流通の役割と流通費用	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
5	小売・卸売の役割と構造	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
6	インターネットと流通	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
7	流通業者の先端的取組み	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
8	商業構造のまとめと小テスト	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
9	商業における取引関係	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
10	生産者による流通系列化	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
11	サプライチェーン・マネジメント	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
12	小売業者による製販統合	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等に	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		まとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
13	小売業者によるPB開発	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
14	流通業者と国際化	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
15	商業者間の関係性のまとめと小テスト	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング：

授業形態： 講義

科目名： 会計学原理

担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

会計を学ぶことで、企業や社会を鋭く観察することができるようになります。これは、会計によって提供される情報が、企業の経営について相対的な真実を示しているからです。そのため、会計はビジネスの共通言語と呼ばれ、企業で働く人にとって不可欠な知識となっています。

本講義では、初学者を対象に、会計の面白さや楽しさを知りながら、会計に関する基礎知識の修得を目指します。なお、質問やディスカッションを行う時間を設けるので、積極的に議論に参加することを望みます。

本講義は、高等学校教諭一種免許状（商業）取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 会計に関する基礎的な専門用語の意味を説明できる。
2. 財務諸表の基本的な考え方を説明できる。
3. 財務諸表によって提供される基礎的な情報を読み取ることができる。

【成績の評価】

課題（40%）、中間テスト（30%）、確認テスト（30%）により総合的に評価します。

なお、毎回の課題については、授業時間内に解説し、中間テストおよび確認テストについては、オフィスアワーの際に解説することでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】

谷武幸・桜井久勝・北川教央（編著）（2021）『1からの会計（第2版）』碩学社

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション／会計情報の役割	予習として「会計情報」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	会計制度と社会	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	会計の仕組み	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	貸借対照表	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	在庫品の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	生産設備の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	金融資産の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	負債と資本の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		予課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	重要項目の確認と中間テスト	予習として第1回から第8回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
10	損益計算書	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	営業活動の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	儲かる仕組みの分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	財務構造の分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	利益構造の分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	重要項目の確認と確認テスト	予習として第10回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC113
授業形態： 講義
科目名： 会計学入門
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

そもそも「経営学」とは、企業が活動するために必要となる経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報を効果的かつ効率的に管理・運用するための方法を考える学問です。

本講義は、経営資源のうち、カネ（資金）を扱う学問分野である「会計」と「ファイナンス」の入門的な位置づけの科目であり、会計とファイナンスに関する基礎知識を修得することを目的としています。なお、質問やディスカッションを行う時間を設けるので、積極的に議論に参加することを望みます。

関連科目として「会計学入門」では「会計学入門」で学んだ内容をふまえ、会計についてより深く学習しますので、続けて受講してください。

本講義は、高等学校教諭一種免許状（商業）取得のための必修科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

【到達目標】

1. 新聞記事などで使われている会計とファイナンスに関する基礎的な用語の意味を説明できる。
2. 株式会社の仕組みと株式会社におけるカネ（資金）の役割を説明できる。
3. 経営学における会計とファイナンスの位置づけを説明できる。

【成績の評価】

課題（40%）、確認テスト（60%）により総合的に評価します。

なお、毎回の課題については、授業時間内に解説し、期末試験については、オフィスアワーの際に解説することでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】

中井透・諏澤吉彦・石光裕（2021）『はじめて学ぶ会計・ファイナンス』中央経済社

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	会計、ファイナンスとは	予習として「会計」、「ファイナンス」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	事業投資の意思決定	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	株式会社とは何か	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	企業の財政状態：貸借対照表	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	企業の経営成績：損益計算書	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	企業の意思決定と会計：財務会計と管理会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	企業の直面するリスク：リスクとリターン	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	リスクマネジメントとリスクファイナンス	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		予課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	社債の発行と株式の上場	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	外部からの企業分析：財務諸表分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	株価はどのように決定されるのか	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	企業の再編	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	会社は誰のものか	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	企業の情報開示	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	重要項目の確認と確認テスト	予習として第1回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC221
授業形態： 講義
科目名： 会計学入門
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

会計を学ぶことで、企業や社会を鋭く観察することができるようになります。これは、会計によって提供される情報が、企業の経営について相対的な真実を示しているからです。そのため、会計はビジネスの共通言語と呼ばれ、企業で働く人にとって不可欠な知識となっています。

本講義では、初学者を対象に、会計の面白さや楽しさを知りながら、会計に関する基礎知識の修得を目指します。なお、質問やディスカッションを行う時間を設けるので、積極的に議論に参加することを望みます。

関連科目として「会計学入門」が既習であることを前提とします。

本講義は、高等学校教諭一種免許状（商業）取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 会計に関する基礎的な専門用語の意味を説明できる。
2. 財務諸表の基本的な考え方を説明できる。
3. 財務諸表によって提供される基礎的な情報を読み取ることができる。

【成績の評価】

課題（40%）、中間テスト（30%）、確認テスト（30%）により総合的に評価します。

なお、毎回の課題については、授業時間内に解説し、中間テストおよび確認テストについては、オフィスアワーの際に解説することでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】

谷武幸・桜井久勝・北川教央（編著）（2021）『1からの会計（第2版）』碩学社

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション／会計情報の役割	予習として「会計情報」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	会計制度と社会	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	会計の仕組み	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	貸借対照表	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	在庫品の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	生産設備の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	金融資産の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	負債と資本の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	重要項目の確認と中間テスト	予習として第1回から第8回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
10	損益計算書	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	営業活動の会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	儲かる仕組みの分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	財務構造の分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	利益構造の分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	重要項目の確認と確認テスト	予習として第10回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF101

授業形態： 講義

科目名： 経営情報概論

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshi)

【授業の紹介】

現代の情報化社会において、企業経営に欠かせない情報の活用とそれを支える情報システムの概要を学びます。情報システムを用いて業務を自動化・効率化したり、情報システムの支援により適切なタイミングで必要なデータを分かり易く提示させ、データに基づく意思決定を行うといった経営情報学の概要に加えて、情報システムを用いて出来ることと出来ないことの違い、AI(人工知能)の現状について学びます。この科目は、卒業要件の必修科目であり、高等学校教諭一種免許状(情報)取得のための必修科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 企業経営のために、どのような情報が必要なのかを把握し、説明できる。
2. 情報の収集・提示について、概要を把握し、説明できる。
3. 経営上の課題を分析・解決するための方法論について、概要を把握し、説明できる。
4. 企業経営に必要な情報システムについて、概要を把握し、説明できる。

【成績の評価】

授業における取組みとレポート課題(25%)、小テスト(25%)、定期試験代わりの課題(50%)
レポート課題については、優秀なものについて解説を行うことにより、フィードバックを行う。
小テストおよび定期試験代わりの課題については、メールにより採点結果を返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

大場允晶ほか「経営情報システムとビジネスプロセス管理」(創成社)ISBN978-4-7944-2385-6, ¥2,500+税。

【参考文献】

ベネット・ミラー監督『(映画)マネーボール』(ソニー・ピクチャーズ)
新井 紀子『コンピュータが仕事を奪う』(日本経済新聞出版)ISBN978-4532316709
新井 紀子『改訂新版 ロボットは東大に入れるか』(新曜社)ISBN978-4788515635
アンドリュー・カーネギー『カーネギー自伝』(中央公論)ISBN978-4122039841
小川 進『QRコードの奇跡: モノづくり集団の発想転換が革新を生んだ』(東洋経済新報社)ISBN978-4492534199

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
2	ビジネスゲーム	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 時間外学習：ビジネスゲーム(4時間)	
3	意思決定	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
4	メトリクス	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 課題：メトリクスに関する課題(6時間)	
5	確率分布と期待値	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
6	リスクを量る、リスクを取る	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 時間外学習：リスクの計算(4時間)	
7	情報を量る（情報理論）	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 時間外学習：エントロピーの計算(4時間)	
8	情報システムの構成要素とデータベース	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
9	情報システム導入の目的と流れ	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
10	業務プロセスの分析と図式化	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
11	AIが普及した社会の業務スキル	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 課題：新技術と社会変化に関する課題(10時間)	
12	コンピュータが問題を解くとは	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
13	コンピュータ処理の限界（計算理論）	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
14	駆引きの科学（ゲーム理論）	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
15	総括：定期試験代替りの課題に関する説明と今後の学習活動へのアドバイス	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 課題：定期試験代替りの課題(2時間)	
	定期試験(実施しない)		定期試験代替りの課題を実施する

科目ナンバリング： INF260
授業形態： 講義
科目名： 情報デザイン論
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

Webページおよびサイトの制作手法について学ぶ。Webサイトの制作では技術面だけではなく、関連技術やモラルなども理解しておく必要がある。Webサイトは、企業や個人を問わず、絶大な情報を持つ媒体である。そこから得られるメリットやデメリットも理解した上で、制作をしていくこととする。講義と演習を通して理解することを目標としている。

また、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1)公開されているWebサイトを検索・分析し、自ら発信したいWebサイトの構想を得ることができる。
- (2)Webサイト制作にあたり、考えておかなければならないこと自ら整理し、その内容を理解できる。
- (3)Webデザインに関する基礎的な知識を習得することができる。

【成績の評価】

授業内レポート（20%）、中間試験（30%）、定期試験（50%）の総合評価で行う。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。フィードバックとして定期試験の返却を希望する場合は、研究室まで取りに来ること。

【使用テキスト】

30時間でマスター Webデザイン改訂版 HTML5&CSS 3 実教出版企画開発部 実教出版 2019年

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション / Webサイトの基礎技術	予習として、GoogleClassroomから指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
2	Webサイトを制作する前に（仕組み、利点と危険性、著作権と肖像権）	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
3	Webデザインの基礎（テキストのデザイン、レイアウト）	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
4	Webの配色	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
5	Webサイトの制作手順	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
6	Webサイト制作の準備	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
7	ここまでの要点整理と中間試験、HTMLの基本要素	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
8	HTML基礎1：見出し・段落・強調	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
9	HTML基礎2：文字要素	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
10	HTML基礎3：リスト	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る（2時間）。	
11	HTML基礎4：画像	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
12	HTML基礎5：ハイパーリンク	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
13	HTML基礎6：ページ構造と文書構造の設定	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
14	HTML基礎7：ページ内リンク	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS252
授業形態： 講義
科目名： ビジネス法概論
担当教員： 松尾 邦之(MATSUO Kuniyuki)

【授業の紹介】

皆さんが実社会で働く際に経験することが多く、失敗やリスクにもチャンスにもつながる、物やサービスの取引やお金・資金の調達・貸し借り、そして働く場としての会社・企業のしくみと労使の権利と義務を中心に家族関係の経済的法律関係についても学びます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- ・受講者はビジネスにかかわる法律用語や民法や商法、会社法の規定を正確に読むことができる。
- ・物やサービスの取引に関する様々な法律があることやその大まかなしくみと社会的意義を理解できる。
- ・卒業後も意識的に学び続け、ビジネス活動における多様なリスクを知り適切に行動できるように努める人になる契機として活かすことができる。

【成績の評価】

定期試験結果（70%）をもとに、毎回配布する質問カードの提出状況及び記述内容（30%）とを勘案し総合的に評価します。評価について説明希望があれば対応することでフィードバックします。

【使用テキスト】

今年度は東京商工会議所編『ビジネス実務法務検定試験公式テキスト(3級)2024年版』（最新版）「中央経済社」を使い講義します。できるだけ購入してください。このシリーズ本は社会人になってからも役立ちます。

First Stageシリーズ ビジネス法務の基礎 改訂版

また、このテキストの理解の助けになるレジュメ（メモ）や条文等の資料も適宜配布します。テキストと合わせて「永久保存」をお勧めします。

【参考文献】

特に指定する参考文献はありません。

- ・最新版（2024年度版）のコンパクト六法やポケット六法を持っていると民法や商法など関連法令の全体像が把握できるので予習復習に役立ちます。
- ・資格を取りたい場合やビジネススキルを磨きたい方は、より上級の東京商工会議所編・ビジネス実務法務検定試験公式テキスト(各1・2級)を購入し自学自習してください。資格取得を目標としない場合でも2級や1級テキストが理解できるようなレベルになると将来のキャリアアップに必ず役立ちます。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス（講義の進め方や学習方法について）。ビジネスと法律のかかわり	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回4時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
2	企業と従業員の関係 / 労働契約と労働基準規制	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回4時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
3	企業と従業員の関係 / 労使関係と労働組合法	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回4時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
4	企業と従業員の関係 / 雇用における平等・均衡取り扱い	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回4時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
5	取引と家族関係・相続とのかかわり	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回4時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
6	法人と企業、会社の種類としくみ / 法人とは何か・その機能	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回4時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
7	法人と企業、会社の種類としくみ / 株式会社を中心に	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回4時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	企業活動と法規制 / 経済法規制としての独占禁止法を中心に	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回4時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
9	企業活動と法規制 / 消費者保護等規制及び横領背任等ビジネス犯罪について	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回4時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
10	契約とその役割・効果 / 売買契約を中心に	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回4時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
11	契約とその役割・効果 / 売買契約以外の典型契約を中心に	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回4時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
12	企業財産の管理と法律	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回4時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
13	ビジネスにおける債権の管理と回収 / 決済方法と担保 / 債権(債務)の決済方法について	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回4時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
14	ビジネスにおける債権の管理と回収 / 決済方法と担保 / 担保による債権の確保	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回4時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
15	ビジネスに関連する諸法令とコンプライアンスのつながり	法律用語や考え方に慣れるように、またテキストを正確に理解できるように、テキストを繰り返し精読し配布されたレジュメ・メモや資料をもとに各自が作成したノートを読み返して毎回復習することが重要です。少なくとも毎回4時間程度の予習・復習が必要です。復習し、疑問点や質問したいことをまとめること・教員に直接質問するなど積極的な取り組みを推奨します。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ACC111
授業形態： 演習
科目名： 簿記演習 【A】
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

企業が行う調達・製造・販売・財務といった経済活動を、金額に換算し、継続的に帳簿に記入する手段が複式簿記である。それゆえ、複式簿記はビジネスの言語といわれており、企業の活動を表現し、企業がどのような方向に進んでいるかを示してくれる。したがって、企業で働き、地域社会に貢献するためには複式簿記の知識が不可欠である。本授業では、組織において活用可能な複式簿記の基礎的知識の修得を目指し、日商簿記検定3級程度の内容を学習する。

高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目および上級ビジネス実務士の取得のための選択科目である。

毎回、必ずテキスト、ワークブック、電卓（12桁）を持参すること。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 一般的な簿記・会計用語の意味を説明できる。
2. 商品売買など基本的な仕訳問題を解くことができる。
3. 小規模な株式会社における、仕訳から精算表の作成までの一巡の手続きを理解し処理することができる。

【成績の評価】

課題（40%）、定期試験（60%）により総合的に評価する。

課題については添削のうえ返却し、定期試験については実施後に解説を行うことで、フィードバックする。

【使用テキスト】

テキスト：桑原知之 編著『とおる簿記シリーズ 日商簿記3級に“とおる”テキスト 第3版』ネットスクール出版。
ワークブック：桑原知之 編著『とおる簿記シリーズ 日商簿記3級に“とおる”トレーニング 第3版』ネットスクール出版。

【参考文献】

なし。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション及び貸借対照表と損益計算書	予習として「貸借対照表、損益計算書」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	取引と仕訳	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	元帳への転記	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	試算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	財務諸表の誘導と6桁精算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	決算の振替記入と帳簿の締切	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	簿記手続きの一巡	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	商品売買（掛取引・返品）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		予課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	商品売買（諸掛・手付金）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	商品売買（クレジット売掛金・受取商品券）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	現金と預金（現金・現金過不足）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	現金と預金（当座預金・小口現金）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	固定資産（取得原価の算定・減価償却）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	固定資産（売却時の処理）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	まとめ（総合問題演習）	予習として第1回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として総合問題演習後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ACC111
授業形態： 演習
科目名： 簿記演習 【B】
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

企業が行う調達・製造・販売・財務といった経済活動を、金額に換算し、継続的に帳簿に記入する手段が複式簿記である。それゆえ、複式簿記はビジネスの言語といわれており、企業の活動を表現し、企業がどのような方向に進んでいるかを示してくれる。したがって、企業で働き、地域社会に貢献するためには複式簿記の知識が不可欠である。本授業では、組織において活用可能な複式簿記の基礎的知識の修得を目指し、日商簿記検定3級程度の内容を学習する。

高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目および上級ビジネス実務士の取得のための選択科目である。

毎回、必ずテキスト、ワークブック、電卓（12桁）を持参すること。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 一般的な簿記・会計用語の意味を説明できる。
2. 商品売買など基本的な仕訳問題を解くことができる。
3. 小規模な株式会社における、仕訳から精算表の作成までの一巡の手続きを理解し処理することができる。

【成績の評価】

課題（40%）、定期試験（60%）により総合的に評価する。

課題については添削のうえ返却し、定期試験については実施後に解説を行うことで、フィードバックする。

【使用テキスト】

テキスト：桑原知之 編著『とおる簿記シリーズ 日商簿記3級に“とおる”テキスト 第3版』ネットスクール出版。

ワークブック：桑原知之 編著『とおる簿記シリーズ 日商簿記3級に“とおる”トレーニング 第3版』ネットスクール出版。

【参考文献】

なし。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション及び貸借対照表と損益計算書	予習として「貸借対照表、損益計算書」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	取引と仕訳	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	元帳への転記	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	試算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	財務諸表の誘導と6桁精算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	決算の振替記入と帳簿の締切	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	簿記手続きの一巡	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	商品売買（掛取引・返品）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		予課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	商品売買（諸掛・手付金）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	商品売買（クレジット売掛金・受取商品券）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	現金と預金（現金・現金過不足）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	現金と預金（当座預金・小口現金）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	固定資産（取得原価の算定・減価償却）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	固定資産（売却時の処理）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	まとめ（総合問題演習）	予習として第1回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として総合問題演習後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ACC112
授業形態： 演習
科目名： 簿記演習 【A】
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

企業が行う調達・製造・販売・財務といった経済活動を、金額に換算し、継続的に帳簿に記入する手段が複式簿記である。それゆえ、複式簿記はビジネス言語といわれており、企業の活動を表現し、企業がどのような方向に進んでいるかを示してくれる。したがって、企業で働き、地域社会に貢献するためには複式簿記の知識が不可欠である。本授業では、組織において活用可能な複式簿記の基礎的知識の修得を目指し、日商簿記検定3級程度の内容を学習する。

関連科目として「簿記演習」が既習であることを前提とする。

高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目および上級ビジネス実務士の取得のための選択科目である。

毎回、必ずテキスト、ワークブック、電卓（12桁）を持参すること。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 一般的な簿記・会計用語の意味を説明できる。
2. 小規模な株式会社における、仕訳から精算表の作成までの一巡の手続きを理解し処理することができる。
3. 毎年6月、11月、2月に実施される日商簿記検定3級程度の簿記知識を身につけ、問題を解くことができる。

【成績の評価】

課題（40%）、定期試験（60%）により総合的に評価する。

課題については添削のうえ返却し、定期試験については実施後に解説を行うことで、フィードバックする。

【使用テキスト】

テキスト：桑原知之 編著『とおる簿記シリーズ 日商簿記3級に“とおる”テキスト 第3版』ネットスクール出版。

ワークブック：桑原知之 編著『とおる簿記シリーズ 日商簿記3級に“とおる”トレーニング 第3版』ネットスクール出版。

【参考文献】

なし。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の復習）	予習として簿記演習 の第1回から第15回までの配布資料を読み返し、理解が十分ではなかった論点の学習に取り組んでください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	その他の債権債務の処理（約束手形・電子記録債権債務・貸付と借入など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	その他の債権債務の処理（未払金と未収入金・仮払金と仮受金など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	その他の債権債務の処理（立替金と預り金・税金など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	会社の設立と利益の計上・配当	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	決算整理（貸倒の見積・消耗品の処理など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	決算整理（収益・費用の前受け・前払いなど）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	決算整理（収益・費用の未収・未払いなど）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	試算表の構造	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	試算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	8桁精算表の構造	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	8桁精算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	損益計算書と貸借対照表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	伝票会計（3伝票制）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	まとめ（総合問題演習）	予習として第1回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として総合問題演習後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験（実施する）		

科目ナンバリング： ACC112
授業形態： 演習
科目名： 簿記演習 【B】
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

企業が行う調達・製造・販売・財務といった経済活動を、金額に換算し、継続的に帳簿に記入する手段が複式簿記である。それゆえ、複式簿記はビジネス言語といわれており、企業の活動を表現し、企業がどのような方向に進んでいるかを示してくれる。したがって、企業で働き、地域社会に貢献するためには複式簿記の知識が不可欠である。本授業では、組織において活用可能な複式簿記の基礎的知識の修得を目指し、日商簿記検定3級程度の内容を学習する。

関連科目として「簿記演習」が既習であることを前提とする。

高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目および上級ビジネス実務士の取得のための選択科目である。

毎回、必ずテキスト、ワークブック、電卓（12桁）を持参すること。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 一般的な簿記・会計用語の意味を説明できる。
2. 小規模な株式会社における、仕訳から精算表の作成までの一巡の手続きを理解し処理することができる。
3. 毎年6月、11月、2月に実施される日商簿記検定3級程度の簿記知識を身につけ、問題を解くことができる。

【成績の評価】

課題（40%）、定期試験（60%）により総合的に評価する。

課題については添削のうえ返却し、定期試験については実施後に解説を行うことで、フィードバックする。

【使用テキスト】

テキスト：桑原知之 編著『とおる簿記シリーズ 日商簿記3級に“とおる”テキスト 第3版』ネットスクール出版。

ワークブック：桑原知之 編著『とおる簿記シリーズ 日商簿記3級に“とおる”トレーニング 第3版』ネットスクール出版。

【参考文献】

なし。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の復習）	予習として簿記演習 の第1回から第15回までの配布資料を読み返し、理解が十分ではなかった論点の学習に取り組んでください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	その他の債権債務の処理（約束手形・電子記録債権債務・貸付と借入など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	その他の債権債務の処理（未払金と未収入金・仮払金と仮受金など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	その他の債権債務の処理（立替金と預り金・税金など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	会社の設立と利益の計上・配当	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	決算整理（貸倒の見積・消耗品の処理など）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	決算整理（収益・費用の前受け・前払いなど）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	決算整理（収益・費用の未収・未払いなど）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	試算表の構造	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	試算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	8桁精算表の構造	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	8桁精算表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	損益計算書と貸借対照表の作成	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	伝票会計（3伝票制）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	まとめ（総合問題演習）	予習として第1回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として総合問題演習後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験（実施する）		

科目ナンバリング： CAR201

授業形態： 講義

科目名： ビジネス実務概論

担当教員： 高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

ビジネス実務とは、個人または組織体が、利益と事業目的を具現化するために、経営理念にもとづき、経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報・ナレッジ（知識・知的財産）を活用して新しい価値を創出する活動です。本授業は、ビジネス実務に必要な基礎的知識や資質等（組織の機能、ビジネスパーソンとして必要とされる資質と能力）に焦点を当て、それらの重要性を理解するとともに、ビジネス活動における有為な人材としての基礎的能力を育むことを目的としています。ビジネス実務の遂行について深く理解するために、ビジネス実務マナー検定の事例を用いて授業を行います。また、適宜、課題や理解度確認テストを実施することで、学生の継続的な学びを促し、知識を着実に修得できているかの確認をします。受講生の皆さんには、受講の意思を固めたなら、その意思を最後まで貫く努力をすることを求めます。なお、本授業は、上級ビジネス実務士取得のための必修科目に該当します。また、本授業は原則、対面で実施します。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。

Google Classroomのクラスコードは「pntnbyv」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. ビジネス実務を学ぶ意義を理解し、説明できる。
2. 組織の機能について理解し、説明できる。
3. ビジネスパーソンとして必要とされる資質と能力について理解し、説明できる。

【成績の評価】

評価項目は、受講態度（10%）、宿題2回（30%）、理解度確認テスト（60%）とする。受講生には、他の受講生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。さらに、授業の内容について理解を深めるような積極的な発問、回答の内容については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。なお、各評価項目や配点の詳細は、第1回のガイダンスで連絡する。

【使用テキスト】

なし。プリントを随時配布する。

【参考文献】

宮田 篤編著『新・ビジネスとオフィスワーク』樹村房、2021年。
西村このみ著『ビジネス実務マナー検定受験2・3級 らくらく合格 テキスト&問題集』翔泳社、2022年。
実務技能検定協会編『ビジネス実務マナー検定受験ガイド3級』早稲田教育出版、2020年。
実務技能検定協会編『ビジネス実務マナー検定実問題集1・2級』早稲田教育出版、2021年。
実務技能検定協会編『ビジネス実務マナー検定実問題集3級』早稲田教育出版、2021年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス Google Classroomへの参加 (クラスコード pntnbyv) ビジネス実務について理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（3時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。	
2	組織の機能 業務分掌の意義と各部門の役割について理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（3時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。	
3	組織の機能 職位と職制について理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（3時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。	
4	組織の機能 企業の社会的責任について理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（2時間）。課された宿題を期日までに丁寧に仕上げ、提出すること（2時間）。	
5	組織の機能 これまでのまとめ 宿題の解説	宿題で誤った問題を再度解き直すこと（1時間）。次回の理解度確認テストに向けて、これまでのプリントをすべて見直しておくこと（3時間）。	
6	組織の機能 これまでのまとめ 理解度確認テスト（50分）とその解説（40分）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。理解度確認テストで誤った問題を再度解き直すこと（4時間）。	
7	必要とされる資質と能力 行動力、判断力、表現力の重要性を理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（3時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。	
8	必要とされる資質と能力 明るさ、誠実さの重要性を理解する 必要とされる資質と能力 身だしなみの重要性を理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（3時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。	
9	必要とされる資質と能力 自己管理の重要性を理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（3時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディア	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		から、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。	
10	必要とされる資質と能力 ルーチンワークを確実に実行することの重要性を理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（3時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。	
11	必要とされる資質と能力 良識を持ち、素直な態度をとることの重要性を理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（3時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。	
12	必要とされる資質と能力 協調性の重要性を理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（3時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、授業で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。	
13	必要とされる資質と能力 積極性、合理性、効率性の重要性を理解する	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（2時間）。課された宿題を期日までに丁寧に仕上げ、提出すること（2時間）。	
14	必要とされる資質と能力 これまでのまとめ 宿題 の解説	宿題で誤った問題を再度解き直すこと（1時間）。次回の理解度確認テストに向けて、これまでのプリントをすべて見直しておくこと（3時間）。	
15	必要とされる資質と能力 これまでのまとめ 理解度確認テスト（50分）とその解説（40分）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。理解度確認テストで誤った問題を再度解き直すこと（4時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CAR101
授業形態： 講義
科目名： キャリア開発
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

授業の目的は、自分の将来像を描き積極的に人生をおくるための準備を行うことです。特に、就職、昇進、家庭、リスキング、転職、退職などの将来起こりうる各ライフステージでどのような選択肢があるかを学び、選択を行う際に考慮すべきことを見つけ出すことに授業の重点をおきます。また、卒業後の自分のあり方を描き、それを今に投影して大学時代をどのように過ごすべきかを考えます。

授業を履修する前に、かならず以下の文章を読んでおいてください。

「安定した職につき、生活の基礎を維持し続けることはたやすいことではない。ましてや、技を磨き自分も成長していけるような、あるいは思い描いた自分のあり方に少しずつであれ近づいていけるような仕事を手に入れることはとても難しい。多くの人々は、(略)ただ穏やかな生活を望んでいるだけであるが、それさえも叶えることは容易ではない。したがって、(略)大きな誤りをしないよう、そして少しでも自分の目的が達成できるよう、人生の舵取りをしていかなければならない。

(略)

もちろん、キャリアに関する詳細な海図を描くことは不可能に近い。天候や潮流と同じように社会状況は複雑に変化し続けるし、個人が目指している場所も、好む生き方も異なっているからである。それらすべての可能性を描き出し、正確な指針を示すことなどできない。たとえ一人の人生に限ったとしても、起こりうることを全てを予測し、詳細に記述することなどできるはずもない。

しかし、古代海を渡り交易を続けた船乗りや、南洋諸島の民が星を見ながら島々を渡ることができたように、確固とした基本的知識はおおいに助けになる。また、その上に新たな知識と経験を積んでいくことで、風の臭いをかき潮の流れを読めるようになっていく。そうしていつか、単純に櫓をこぎ続けるだけでは決して辿り着けなかった遠い目的地へも、帆を上げ船を走らせることができるようになる。(阿部・松繁(編著)(2014)『キャリアのみかた』あとがき 有斐閣)」

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 将来の自分のキャリアイメージを描くことができる。
2. そのために、どのような選択を、特に大学時代にしておくべきかを考え実行できる。

【成績の評価】

授業への積極的な参加と貢献(40%)・・・グループワークにおいて欠席や遅刻があれば大きく減点します。

レポート(30%)・・・返却時に解説します。提出されていなければ0点、提出期限を遅れたら半分に減点します。

定期試験(30%)・・・テストは採点后、解説します。

小テスト、提出物、試験等に関しては、授業あるいはGoogle Classroomにてフィードバックを行います。

<重要> 定期試験はネット上で行います。スマホあるいはPCでネットに入れるようにしておいてください。

【使用テキスト】

阿部・松繁(編著)(2014)『キャリアのみかた』有斐閣

【参考文献】

適宜資料を配布します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
1	授業の構成と進め方	予習（2時間） - 関係する教科書の章立てとコースの内容理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認	
2	社会人基礎力、第1回目： 入学時点での社会人基礎力を測定します。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
3	さまざまな職業、職種、就業形態を知る。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
4	どのような仕事につきたいかを考える。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
5	どのような人材が求められているか。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
6	経済的自立	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
7	結婚	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
8	出産・育児	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
9	昇進	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
10	転職の可能性	予習(2時間) - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
11	定年退職と老後	予習(2時間) - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
12	就業と所得	予習(2時間) - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
13	家庭と支出	予習(2時間) - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
14	資産形成	予習(2時間) - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 定期試験の準備	
15	社会人基礎力 第2回目： 授業を受けた後で再度社会人基礎力を測定し、その成長を測ります。 全範囲学修確認テスト（定期試験）	予習（3時間） - 全範囲学修確認テスト（定期試験）の準備 復習（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： CAR211

授業形態： 演習

科目名： キャリア開発演習

担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro),高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

この授業は、自己理解、仕事理解を重点的に行い、また、就職に向けての準備として、企業との連携を図りつつ、必要な知識を身につけます。地元企業の経営者の話を聞く機会も設けます。

自分の特性は何か、自分はどんな強みはあるのか、それを活かすためにはどうすればいいのか、働く意味は何か、自分の向いている職業とは何か等の、自己理解及び職業理解を促します。また、社会人としてのビジネスマナーについても学習します。

この科目は、インターンシップに参加するための準備段階として位置付けています。履修予定者はインターンシップと必ず合わせて履修してください。なお、この講義受講者はキャリア開発、企業調査入門の履修が望ましい。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 社会で自立した人間になるためと、目標ややりがいを持って長く続けられる仕事に出会うために、就職について正しい選択ができる能力を身につけることができる。
2. 履歴書の作成と企業へのインタビューなどによって、自己理解や企業の仕事内容の理解を深めることができる。
3. 社会人としての基本的なビジネスマナーを習得できる。

【成績の評価】

授業への積極性・授業態度・貢献度（50%）、企業へのインタビューの結果報告内容（40%）、企業研究（10%）。企業へのインタビューの結果については、授業で報告するとともに企業にもフィードバックします。

【使用テキスト】

授業ごとに必要な資料を配布します。

【参考文献】

適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（1時間）	担当：蓮井 明博 担当：高塚 順子
2	ビジネスマナー マナーの必要性と身だしなみ	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で用いたプリントや、Classroomにアップロードされた資料を見て、学んだことを自分なりにまとめて再構築し、他者にも説明できるようにすること。（1時間）	担当：高塚 順子
3	ビジネスマナー インタビューシップの留意事項	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で用いたプリントや、Classroomにアップロードされた資料を見て、学んだことを自分なりにまとめて再構築し、他者にも説明できるようにすること。（1時間）	担当：高塚 順子
4	ビジネスマナー 表情、あいさつ、言葉遣い	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で用いたプリントや、Classroomにアップロードされた資料を見て、学んだことを自分なりにまとめて再構築し、他者にも説明できるようにすること。（1時間）	担当：高塚 順子
5	ビジネスマナー 学生生活に活かせるマナー	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で用いたプリントや、Classroomにアップロードされた資料を見て、学んだことを自分なりにまとめて再構築し、他者にも説明できるようにすること。（1時間）	担当：高塚 順子
6	ビジネスマナー 礼状の書き方 インターンシップの留意事項	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で用いたプリントや、Classroomにアップロードされた資料を見て、学んだことを自分なりにまとめて再構築し、他者にも説明できるようにすること。（1時間）	担当：高塚 順子
7	自分の適性を知る（VPI職業興味検査）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること。 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておく、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	担当：蓮井 明博
8	自己理解仕事理解（自分に合った職種・業種）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること。 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておく、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	担当：蓮井 明博
9	地元企業へのインタビュー （企業理念、経営者の考え方など）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習としてインタビューの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておく、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	担当：蓮井 明博

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
10	地元企業へのインタビュー （働く意味、社員との意見交換）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習としてインタビューの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	担当：蓮井 明博
11	地元企業へのインタビュー （結果の報告会）	予習としてインタビューの結果・修得した点などをPP資料としてまとめておくこと。 復習としてインタビューの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	担当：蓮井 明博
12	履歴書（エントリーシート）の作成（基本情報）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること。 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	担当：蓮井 明博 担当：高塚 順子
13	履歴書（エントリーシート）の作成（大学生活で学んだこと等）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること。 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	担当：蓮井 明博 担当：高塚 順子
14	インターンシップ先選定	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として当該企業の特徴などを自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	担当：蓮井 明博
15	インターンシップ先の企業事前研究	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として当該企業の特徴などを自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	担当：蓮井 明博
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CAR213

授業形態： 演習

科目名： キャリア開発演習

担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro),村山 昂

【授業の紹介】

この授業は、インターンシップ で身につけた自己理解、仕事理解をさらに深めるほか、就職に向けての準備として、企業との連携を図りつつ、必要な知識を身につけます。地元企業の経営者の話を聞く機会も設けます。

自分の特性は何か、自分はどんな強みはあるのか、それを活かすためにはどうすればいいのか、自分の向いている職業とは何か、働く意味は何か等の、自己理解及び職業理解を促します。また、社会人としてのビジネスマナーも学習します。

この科目は、就職に向けて自分自身が関心をもつ企業を選択し、当該企業の研究を行い、インターンシップ に参加するための準備段階として位置付けています。履修予定者はインターンシップ と必ず合わせて履修してください。なお、この講義受講者はキャリア開発、企業調査入門、キャリア開発演習、インターンシップ の履修が望ましい。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 社会で自立した人間となるために、働く意味や働き甲斐を考えることができる。
2. 就職について適切な選択ができる能力を身につけることができる。
3. 履歴書の作成と企業へのインタビューなどによって、キャリア開発演習 よりもさらに自己理解や企業の仕事内容の理解を深めることができる。

【成績の評価】

授業への積極性・授業態度・貢献度（50%）、企業へのインタビュー結果報告内容（40%）、企業研究（10%）。

企業へのインタビューの結果については、授業で報告するとともに企業にもフィードバックします。

【使用テキスト】

授業ごとに必要な資料を配布します。

【参考文献】

適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（1時間）	
2	インターンシップ参加準備 （履歴書作成）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること。復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
3	インターンシップ参加準備 （個別面談）	予習として自分の強み・課題や、大学時代に力を入れたことなどをまとめ、ノートに記載すること。復習として面談の内容を自分なりにまとめて再構築し、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
4	インターンシップ参加準備 （自己理解・仕事理解など）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること。復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
5	ビジネスマナー （マナーの基本）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること。復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
6	ビジネスマナー （立居振舞など）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること。復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
7	働く意味（就業観について）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること。復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
8	地元中小企業の魅力について （外部講師）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること。復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
9	地元企業へのインタビュー （企業理念、経営者の考えなど）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。復習としてインタビューの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
10	地元企業へのインタビュー （働く意味、従業員の考え方など）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習としてインタビューの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
11	地元企業へのインタビュー （経営者・従業員との意見交換）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習としてインタビューの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
12	地元企業へのインタビューの結果報告 （報告資料作成、報告発表）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習としてインタビューの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
13	地元企業へのインタビューの結果報告 （学生同士の意見交換会）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習としてインタビューの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（1時間）	
14	インターンシップ先選定	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること（1時間） 復習として当該企業の特徴などを自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
15	インターンシップ先の企業事前研究	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として当該企業の特徴などを自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CAR111

授業形態： 講義

科目名： 企業調査入門

担当教員： 未包 昭彦(SUEKANE Akihiko),村山 昂

【授業の紹介】

教員があらかじめ業種の異なる県内の代表的企業3社を選び、学生はまずそれらの企業がいつごろ創立され、どのような組織で事業を展開しているか、製品やサービスの特色はどこにあるのかなどを事前にインターネットや図書館の文献などで調べて企業調書を作成します。次に、それらの企業をバスで訪問し、企業側より企業概要、事業の一般的特徴、各企業独自の生産や販売の仕方などを紹介してもらいます。学生は各企業の事業に対する疑問点・不明点について質疑を行い、企業の実際の活動について理解を深めます。最後に、学生はインターネットで調査したり、企業を見学して得られた情報をまとめて、授業においてパワーポイント(PPT)を使ってプレゼンテーションを行うとともに、学生相互に意見を述べる等のアクティブラーニングを実施します。

教員は学生の企業に対する理解やプレゼンテーションの仕方、数値データの分析等についてコメントします。本科目は、上級ビジネス実務士、上級情報処理士資格取得の選択科目です。状況により履修制限を行うことがあります。

この授業ではGoogle Classroom(クラスコード：ti6l4eo)を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 企業の概要や特徴等をインターネット、文献等で調査することができる。
2. 企業訪問を通じて、企業の仕組み、仕事の流れ、問題点等が理解できる。
3. 事前の調査及び企業訪問で得た要点をPPTを用いて発表できる。
4. 柔軟かつ積極的な活動により、多様な人と良好な関わりを持つことができる。

【成績の評価】

評価は、事前に作成した企業調書(30%)、企業訪問時の質疑回数と内容(20%)、プレゼンテーション(30%)、PPT原稿の内容(20%)により行います。大幅な遅刻、筆記具の不携帯、企業訪問時のマナーに反する服装や態度は減点を行います。フィードバックは各人のプレゼンテーション時に行います。

【使用テキスト】

適宜指示します。

【参考文献】

『香川の会社情報2024年版』(香川経済レポート社、2023) 価格3,600円(税込)

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、事前にシラバスに目を通し、15回の授業項目とキーワード、疑問点を合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業の内容を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
2	企業見学の目的、服装、質疑応答の仕方、その他のガイダンス	予習として、配布資料に事前に目を通し、企業見学の目的、服装、質疑応答の仕方等に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、企業見学の目的、服装、質疑応答の仕方等に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと（2時間）	
3	A社の事前調査、企業調書の作成、訪問時の質問事項の準備	予習として、参考文献やインターネット等で、A社の概要等を調査し、企業調書作成の準備を行うこと、疑問点はノートに記載すること（2時間） 復習として、作成した企業調書を振り返り、企業訪問に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと（2時間）	
4	A社を訪問（企業側の説明、見学、質疑応答）	予習として、作成した企業調書を見直し、A社訪問に関する要点を自分なりにまとめておくこと、特に質問事項を説明ができるようにしておくこと（2時間） 復習として、訪問時の企業の説明や質問事項をPPT作成に活用できるよう整理しておくこと、疑問点はノートに記載すること（2時間）	
5	A社のPPT原稿の作成	予習として、作成した企業調書に基づき、PPTの構成を考えてまとめておき作成に反映させること（2時間） 復習として、作成したPPTの口述原稿の概要をまとめておき、プレゼンテーションに反映させること（2時間）	
6	A社のプレゼンテーションとそれに対するコメント、PPT原稿と企業調書の提出	予習として、PPT原稿を再度確認し、所要の修正を行う等、発表準備を十分に行うこと（2時間） 復習として、発表時に教員より指摘のあった事項をまとめてノートに記載すること。また、PPT原稿と企業調書を提出すること（2時間）	
7	B社の事前調査、企業調書の作成、訪問時の質問事項の準備	予習として、参考文献やインターネット等で、B社の概要等を調査し、企業調書作成の準備を行うこと、疑問点はノートに記載すること（2時間） 復習として、作成した企業調書を振り返り、企業訪問に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと（2時間）	
8	B社を訪問（企業側の説明、見学、質疑応答）	予習として、作成した企業調書を見直し、B社訪問に関する要点を自分なりにまとめておくこと、特に質問事項を説明ができるようにしておくこと（2時間） 復習として、訪問時の企業の説明や質問事項をPPT作成に活用できるよう整理しておくこと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		と、疑問点はノートに記載すること（2時間）	
9	B社のPPT原稿の作成	予習として、作成した企業調書に基づき、PPTの構成を考えてまとめておき作成に反映させること（2時間） 復習として、作成したPPTの口述原稿の概要をまとめておき、プレゼンテーションに反映させること（2時間）	
10	B社のプレゼンテーションとそれに対するコメント、PPT原稿と企業調書の提出	予習として、PPT原稿を再度確認し、所要の修正を行う等、発表準備を十分に行うこと（2時間） 復習として、発表時に教員より指摘のあった事項をまとめてノートに記載すること。また、PPT原稿と企業調書を提出すること（2時間）	
11	C社の事前調査、企業調書の作成、訪問時の質問事項の準備	予習として、参考文献やインターネット等で、C社の概要等を調査し、企業調書作成の準備を行うこと、疑問点はノートに記載すること（2時間） 復習として、作成した企業調書を振り返り、企業訪問に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと（2時間）	
12	C社を訪問（企業側の説明、見学、質疑応答）	予習として、作成した企業調書を見直し、C社訪問に関する要点を自分なりにまとめておくこと、特に質問事項を説明ができるようにしておくこと（2時間） 復習として、訪問時の企業の説明や質問事項をPPT作成に活用できるように整理しておくこと、疑問点はノートに記載すること（2時間）	
13	C社のPPT原稿の作成	予習として、作成した企業調書に基づき、PPTの構成を考えてまとめておき作成に反映させること（2時間） 復習として、作成したPPTの口述原稿の概要をまとめておき、プレゼンテーションに反映させること（2時間）	
14	C社のプレゼンテーションとそれに対するコメント、PPT原稿と企業調書の提出	予習として、PPT原稿を再度確認し、所要の修正を行う等、発表準備を十分に行うこと（2時間） 復習として、発表時に教員より指摘のあった事項をまとめてノートに記載すること。また、PPT原稿と企業調書を提出すること（2時間）	
15	未発表者による報告、授業の要約と質疑応答	予習として、A,B,C社の発表において教員より指摘された事項を「良い点」「改善を要する点」に整理し、発表できるようにしておくこと（2時間） 復習として、他の学生の「良い点」「改善を要する点」で参考になる事項をまとめてノートに記載すること（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CAR212

授業形態： 実習

科目名： インターンシップ

担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro),高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

この授業では、就職に向けての準備段階であるインターンシップの職場体験を通して、受け入れ先企業との連携を図っていくことが可能です。

社会に出る前のシミュレーション職場体験の場です。そこで、自分が興味のある業種を企業研究します。インターンシップでは、アルバイトと正社員の違いを理解できたり、その企業の組織の中でのコミュニケーションを確認したりすることに重点を置きます。その後、企業でのインターンシップを通して自分が得たこと、気づいたこと、考えたことなどをレポートやPPTを作成してまとめます。報告会での発表を通して、学んだことの振り返りができ、実際の就職に役立てることができます。

履修予定者はキャリア開発演習と必ず合わせて履修してください。なお、この講義受講者はキャリア開発、企業調査入門を履修していることが望ましく、インターンシップに参加するための基礎的段階として位置付けています。

なお、実習期間は企業の都合に合わせた2週間程度（1週間の場合は2つの企業で実施）とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. インターンシップを実際に体験することによって、基本的な社会の現実を知り、自分の興味がある職業を見つけ、その企業での業務の実際を知ることができる。
2. 就職活動に向けてのステップとなる課題や、今後の学習の指針を明確にする能力の獲得ができる。
3. 職業研究について高度な情報収集ができる力、社会に適應できる力を習得することができる。
4. 企業の組織の中でのコミュニケーションを確認する事ができる。

【成績の評価】

実習日誌・体験報告書（30%）、報告発表・PPT資料（30%）、企業評価（40%）
報告発表会は実習後に補習の時間を取って行います（企業へもフィードバックします）。

【使用テキスト】

授業ごとに必要な資料を配布します。

【参考文献】

適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、実習先企業と連携しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
2	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
3	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
4	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
5	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。	
6	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
7	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
8	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
9	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
10	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ておくこと。（1時間）	
11	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
12	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
13	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
14	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
15	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
16	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
17	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
18	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
19	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
20	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		めて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
21	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
22	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
23	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
24	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
25	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
26	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
27	実習日誌・体験報告書の作成	予習として実習結果をノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
28	お礼状の作成	予習としてキャリア開発演習で学習した「お礼状の書き方」を振り返り、ノートに記載すること。 復習としてお礼状の内容を他者へ説明ができるようにしておき、気づいた点などノートに記載しておくこと。（1時間）	
29	「インターンシップ実習報告」（発表資料PPT作成）	予習として実習体験の結果をまとめ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
30	「インターンシップ実習報告」（報告発表）	予習として実習体験の結果をまとめ、ノート	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>に記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CAR214
授業形態： 実習
科目名： インターンシップ
担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro),村山 昂

【授業の紹介】

インターンシップでは、よりもさらに経営学科の授業科目で学んだことを生かし、組織論やコミュニケーション演習などでの学習成果を基にしたインターンシップ実習に取り組みます。

企業でのインターンシップを通して自分が得たこと、気づいたこと、考えたことなどをレポートを作成してまとめます。報告会ではディスカッションによる振り返りができ、実際の就職に役立てることができま

す。
履修予定者はキャリア開発演習と必ず合わせて履修してください。この科目は、就職に向けて自分自身が関心をもつ企業を選択し、当該企業の研究を行い、インターンシップに参加するための準備段階として位置付けています。実習期間は、企業の都合に合わせた2週間程度（1週間の場合は2つの企業で実施）とします。なお、この講義受講者はキャリア開発、企業調査入門、キャリア開発演習、インターンシップの履修が望ましい。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 企業研究することでより深く仕事の現実を知り、自分の就きたい職業を見つけたり、希望する業務の実際を知ることができる。
2. 就職活動に向けてのステップとなる課題や、今後の学習の指針を明確にする能力の獲得ができる。
3. 職業研究について高度な情報収集ができる力、社会に適應できる力を習得できる。
4. 協働で課題解決する活動を通じて、自分の能力の課題に気づき、能力を高める行動をとることができる。

【成績の評価】

実習日誌・体験報告書（30%）、報告発表・PPT資料（30%）、企業評価（40%）
報告発表会は実習後に補習の時間を取って行います（企業へもフィードバックします）。

【使用テキスト】

授業ごとに必要な資料を配布します。

【参考文献】

適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、実習先企業と連携しつつ授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
2	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
3	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
4	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
5	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
6	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
7	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
8	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
9	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること（1時間） 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
10	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ておくこと。（1時間）	
11	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
12	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
13	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
14	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
15	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
16	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
17	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
18	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
19	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
20	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		めて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
21	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
22	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
23	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
24	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
25	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
26	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
27	実習日誌・体験報告書の作成	予習として実習結果をノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
28	お礼状の作成	予習としてキャリア開発演習で学習した「お礼状の書き方」を振り返り、ノートに記載すること。 復習としてお礼状の内容を他者へ説明ができるようにしておき、気づいた点などノートに記載しておくこと。（1時間）	
29	「インターンシップ実習報告」（発表資料PPT作成）	予習として実習体験の結果をまとめ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
30	「インターンシップ実習報告」（報告発表）	予習として実習体験の結果をまとめ、ノート	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>に記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CAR311

授業形態： 実習

科目名： インターンシップ

担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro),村山 昂

【授業の紹介】

この授業は、就職に向けての準備段階であるインターンシップの職場体験を通して、受け入れ先企業との連携を図っていくことが可能です。

インターンシップでは、企業調査入門、インターンシップ（2年次）を踏まえ、これまでの学習の成果を基にして、企業を深く考察し、企業の問題点を発見したり、ビジネスコミュニケーションを身に着けるなど、今後、学生自身が企業で活躍するために必要な能力の獲得を目指します。

この科目を履修するためには、インターンシップ、またはを履修していることとし、実習期間は企業に合わせた2週間程度（1週間の場合は2社で実施）です。

開講日時については初回の授業を4月中に開催予定とし掲示等で周知します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2．現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4．自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- 1．ビジネスマナーを概ね修得し、実践できる。
- 2．企業の事業内容を理解し、中核的な業務の一部を担うことができる。
- 3．企業の経営課題を発見し、対策を考えることができる。
- 4．社会の変化を感知して、学びを継続して自分のキャリアの方向性を考えることができる。

【成績の評価】

実習日誌・体験報告書（30％）、報告発表・PPT資料（30％）、企業評価（40％）

報告発表会は実習後に補習の時間を取って行います（企業へもフィードバックします）。

【使用テキスト】

適宜指示します。

【参考文献】

適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、実習先企業と連携しつつ授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
2	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
3	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
4	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
5	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
6	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
7	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
8	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
9	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
10	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ておくこと。（1時間）	
11	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
12	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
13	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
14	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
15	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
16	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
17	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
18	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
19	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
20	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		めて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
21	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
22	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
23	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
24	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
25	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
26	企業でのインターンシップ実習（1～2企業で2週間程度）	予習として当該企業に関する情報を調べ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
27	実習日誌・体験報告書の作成	予習として実習結果をノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
28	お礼状の作成	予習としてキャリア開発演習で学習した「お礼状の書き方」を振り返り、ノートに記載すること。 復習としてお礼状の内容を他者へ説明ができるようにしておき、気づいた点などノートに記載しておくこと。（1時間）	
29	「インターンシップ実習報告」（発表資料PPT作成）	予習として実習体験の結果をまとめ、ノートに記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
30	「インターンシップ実習報告」（報告発表）	予習として実習体験の結果をまとめ、ノート	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>に記載すること。 復習として実習体験の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CAR215

授業形態： 実習

科目名： 地域連携活動

担当教員： 藤原 泰輔(FUJIHARA Taisuke), 高塚 順子(TAKATSUKA Junko), 奥田 直希(OKUDA Naoki), 村山 昂

【授業の紹介】

本科目は、地域の文化や歴史、地域活性化や地域創生に興味がある学生に是非受講して欲しい授業です。地域と大学生が連携し、地域が有する課題を見出し、その解決のために様々なアイデアを創出し、実現可能性の高いアイデアを実践するプロジェクト実践型の授業です。そのため学生皆さんには、主体性や積極性が強く求められる授業です。

今年度は、「むれ源平石あかりロード」（高松市牟礼町で開催されているイベントで、「源平史跡」と「石材産業」がコラボレーションし、史跡と史跡の間に石あかりを設置し、ライトアップしている）に焦点を当てます。イベントの歴史や地域産業が抱える課題を理解したうえで、イベントの運営に参加して、イベントの魅力向上に向けた新しいアイデアや運営の課題や改善案を提案・プレゼンテーションをすることを考えています。地域の方々との交流の中で、座学では得られない面白さと難しさの両方を体験できるように。

学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合もあるかもしれませんが、授業は原則対面で実施します。学生皆さんの意向も確認しながら、ある程度柔軟に対応しますが、地域の方々とともに活動するため、関係者の皆さんと協働する意識で参加することを希望します。その意味では皆さんの負担は決して軽くはないでしょうけれど、その分、楽しいでしょうし、学びも大きいかと思います。

本科目は、上級ビジネス実務士、上級情報処理士資格取得の選択科目です。

授業の詳細な内容やイベントの実施日時、要領等については初回の授業時に説明します。履修希望者は、第1回目の授業を、4/12（金）5校時に、本館307講義室で実施予定ですので、出席してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心をもち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 地域社会や文化への関心を高め、地域社会をより深く理解することができる。
2. 地域の方々や仲間と円滑に、かつ良好にコミュニケーションできる。
3. 自ら課題を見出し、その解決方法を考えることができる。
4. 地域の方々や仲間の前でプレゼンテーションできる。
5. 地域活性化の現状と課題についてについて、自分の考えを表明できる。

【成績の評価】

各回の講義内での貢献（50%）、イベントの企画・運営への貢献（50%）によって評価する。評価に関してフィードバックを希望する人は個別に研究室で実施する。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

なし

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

様々な外部イベントへの企画・運営、地域からの要請による各種協議会メンバーとしての参加など、地域連携活動での実際の経験をベースにして本講義を実施していく。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	<p>【予習】シラバスを見て講義の全体像や目的を理解する。また事前に庵治石や石あかりロードについてウェブサイトなどで調べておく。（1時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、内容を定着させる。（1時間）</p>	
2	庵治石の理解、地場産業の現状の理解	<p>【予習】庵治石はなぜ高価なのか、物理的にはどのような特性を持っているのか、地場産業として庵治・牟礼はどのように発展してきたのかを、ウェブサイトなどを活用して事前に調べてレジュメを作成する。（1時間）</p> <p>【復習】講義で議論したことを振り返り、作成したレジュメに追記するなど、内容を定着させる。（1時間）</p>	
3	産地が抱える課題の把握・石あかりロードの歴史の理解	<p>【予習】産地としての庵治石の現状を理解したうえで、現在何が問題になっているのか、産地が抱える課題を事前に調べる。また石あかりロードは何を目的に始められたのか、どのような企画イベントなのかをウェブサイトなどを通して調べ、レジュメを作成する。（1時間）</p> <p>【復習】講義で議論したことを振り返り、作成したレジュメに追記するなど、内容を定着させる。（1時間）</p>	
4	課題の解決仮説の初期検討	<p>【予習】産地が抱える課題と石あかりロードが果たしてきた役割を理解したうえで、たとえば産地が直面している課題を石あかりロードとしてはどのように解決していけばいいのか、ないしは石あかりロードというイベントの課題をどのように解決すればいいのか、その仮説を自分なりに考えてレジュメを作成する。（1時間）</p> <p>【復習】講義で議論したことを振り返り、作成したレジュメに追記するなど、内容を定着させる。（1時間）</p>	
5	課題の解決仮説の精緻化・フィールドワーク準備	<p>【予習】前回の講義で検討した仮説を、さらに深く検討し、より具体的に、より実行可能と思われる仮説に精緻化させられるように、事前に検討を進める。（1時間）</p> <p>【復習】講義で議論したことを振り返り、作成したレジュメに追記するなど、内容を定着させる。（1時間）</p>	
6	フィールドワーク：石材店などへのヒアリング・実習	<p>【予習】設定した仮説を検証するために、石材店（石あかりロードの実行委員会メンバーを想定）などへの質問項目を検討する。（1時間）</p> <p>【復習】ヒアリング内容をまとめ、何がポイントなのかを自分なりに理解する。（1時間）</p>	
7	具体的な課題解決策の深掘り・発表	<p>【予習】これまで調査・分析・検討してきた内容を資料にまとめる。（1時間）</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		【復習】講義で議論したことを振り返り、決定事項を実行する。（1時間）	
8	イベントの流れの理解・チーム編成・担当役割の決定	【予習】これまでに作成してきた資料に再度目を通し、石あかりロードの目的などを再確認する。（1時間） 【復習】講義で議論したことを振り返り、自分の役割を理解し、どのように動くのか、動く際に何に気を付けなければならないのか、イベント全体の流れとその中での自分の役割を再確認する。（1時間）	
9	現地での最終確認	【予習】イベントにおける動き方を確認する。（1時間） 【復習】現地を視察したうえで、自分の役割や動き方を最終確認する。（1時間）	
10	現地でのイベント活動：第1回	【予習】イベントにおける動き方を確認する。（1時間） 【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（1時間）	
11	現地でのイベント活動：第2回	【予習】メンバーから共有された事項を確認したうえで、自分の役割や動き方について見直すべき点があるのかないのかを確認し、修正ポイントを認識する。必要に応じてチーム内ですり合わせをする。（1時間） 【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（1時間）	
12	現地でのイベント活動：第3回	【予習】メンバーから共有された事項を確認したうえで、自分の役割や動き方について見直すべき点があるのかないのかを確認し、修正ポイントを認識する。必要に応じてチーム内ですり合わせをする。（1時間） 【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（1時間）	
13	現地でのイベント活動：第4回	【予習】メンバーから共有された事項を確認したうえで、自分の役割や動き方について見直すべき点があるのかないのかを確認し、修正ポイントを認識する。必要に応じてチーム内ですり合わせをする。（1時間） 【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（1時間）	
14	現地でのイベント活動：第5回	【予習】メンバーから共有された事項を確認	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		<p>したうえで、自分の役割や動き方について見直すべき点があるのかないのかを確認し、修正ポイントを認識する。（1時間）</p> <p>【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（1時間）</p>	
15	振り返りと改善点の検討	<p>【予習】これまでを振り返り、自分が学んだこと、成長したことをレジュメにまとめる。（1時間）</p> <p>【復習】講義の中で他のメンバーから指摘されたことや意見を振り返り、自分なりの気づきをまとめる。（1時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CAR312

授業形態： 実習

科目名： 地域連携活動

担当教員： 藤原 泰輔(FUJIHARA Taisuke), 高塚 順子(TAKATSUKA Junko), 奥田 直希(OKUDA Naoki), 村山 昂

【授業の紹介】

本科目は、地域活性化や地域創生に興味がある、卒業後も地域に貢献したいと考える学生に是非受講して欲しい授業です。地域の新たな魅力を発掘し、イベントの集客力アップに向けた新しい戦略を考え、実践します。多数のステークホルダーを巻き込みながら、学生自身が主体的にイベントをプロデュースします。そのため、学生には、企画力や分析力だけでなく、地域や仲間を巻き込むコミュニケーション力、最後まで実現へのこだわりをもつ熱意と実践力を、これまで以上に高めていきたいという意欲が求められます。

今年度は、「むれ源平石あかりロード」（高松市牟礼町で開催されているイベントで、「源平史跡」と「石材産業」がコラボレーションし、史跡と史跡の間に石あかりを設置し、ライトアップしている）に焦点を当てます。地域の方々との交流の中で、座学では得られない面白さと難しさの両方を体験できるでしょう。

学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合もあるかもしれませんが、授業は原則対面で実施します。授業時間以外にもグループで集まり、課題について協議したり、主体的にイベント企画の準備をすることなどが求められるでしょう。地域の方々とともに活動するため、関係者の皆さんと協働する意識で参加することを希望します。その意味では皆さんの負担は決して軽くはないでしょうけれど、その分、楽しいでしょうし、学びも大きいかと思います。

本科目は、上級ビジネス実務士、上級情報処理士資格取得の選択科目です。

授業の詳細な内容やイベントの実施日時、要領等については初回の授業時に説明します。履修希望者は、第1回目の授業を、4/12（金）5校時に、本館307講義室で実施予定ですので、出席してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心をもち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. イベントの企画立案、計画に沿って実践することができる。
2. PDCAを回す力やプロジェクトマネジメント力など、社会的スキルを発揮することができる。
3. 問題の発見と分析、および解決のプロセスを身につけることができる。

【成績の評価】

各回の講義内での貢献（50％）、イベントの企画・運営への貢献（50％）によって評価する。評価に関してフィードバックを希望する人は個別に研究室で実施する。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

なし

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

様々な外部イベントへの企画・運営、地域からの要請による各種協議会メンバーとしての参加など、地域連携活動での実際の経験をベースにして本講義を実施していく。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	<p>【予習】シラバスを見て講義の全体像や目的を理解する。また事前に庵治石や石あかりロードについてウェブサイトなどで調べておく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、内容を定着させる。（2時間）</p>	
2	庵治石の理解、地場産業の現状の理解	<p>【予習】庵治石はなぜ高価なのか、物理的にはどのような特性を持っているのか、地場産業として庵治・牟礼はどのように発展してきたのかを、ウェブサイトなどを活用して事前に調べてレジュメを作成する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で議論したことを振り返り、作成したレジュメに追記するなど、内容を定着させる。（2時間）</p>	
3	産地が抱える課題の把握・石あかりロードの歴史の理解	<p>【予習】産地としての庵治石の現状を理解したうえで、現在何が問題になっているのか、産地が抱える課題を事前に調べる。また石あかりロードは何を目的に始められたのか、どのような企画イベントなのかをウェブサイトなどを通して調べ、レジュメを作成する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で議論したことを振り返り、作成したレジュメに追記するなど、内容を定着させる。（2時間）</p>	
4	石あかりロードの集客を高める方策のアイデア（仮説）検討	<p>【予習】イベント来場者数を高めるためにはどうしたらいいのか、そのアイデアを考えレジュメにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】検討グループを編成した場合には、講義で議論したことを振り返り、各グループで話し合いさらに仮説を進化させる。外部組織の協力を仰ぐ必要がある場合には、打診の準備を行う。（2時間）</p>	
5	仮説の精緻化・フィールドワーク準備	<p>【予習】前回の講義で検討した仮説を、より具体的に、より実行可能なものになるように事前に検討する。（2時間）</p> <p>【復習】次回のフィールドワークに向けてヒアリング項目を最終化を行う。（2時間）</p>	
6	フィールドワーク：石材店へのヒアリング・実習	<p>【予習】ヒアリング項目に抜け漏れがないか、確認する。（2時間）</p> <p>【復習】ヒアリング内容を踏まえ、必要に応じて仮説の修正・やらなければならないことの修正を行う。（2時間）</p>	
7	具体的な課題解決策の深堀り・発表	<p>【予習】これまで調査・分析・検討してきた内容を資料にまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で決まったことを実行する。（2時間）</p>	
8	イベントの流れの理解・チーム編成・担当役割の決定	<p>【予習】これまでに作成してきた資料に再度目を通し、石あかりロードの目的などを再確</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>認する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で議論したことを振り返り、自分の役割を理解し、どのように動くのか、動く際に何に気を付けなければならないのか、イベント全体の流れとその中で自分の役割を再確認する。（2時間）</p>	
9	現地での最終確認	<p>【予習】イベントにおける動き方を確認する。（2時間）</p> <p>【復習】現地を視察したうえで、自分の役割や動き方を最終確認する。（2時間）</p>	
10	現地でのイベント活動：第1回	<p>【予習】イベントにおける動き方を確認する。（2時間）</p> <p>【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（2時間）</p>	
11	現地でのイベント活動：第2回	<p>【予習】メンバーから共有された事項を確認したうえで、自分の役割や動き方について見直すべき点があるのかないのかを確認し、修正ポイントを認識する。必要に応じてチーム内ですり合わせをする。（2時間）</p> <p>【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（2時間）</p>	
12	現地でのイベント活動：第3回	<p>【予習】メンバーから共有された事項を確認したうえで、自分の役割や動き方について見直すべき点があるのかないのかを確認し、修正ポイントを認識する。必要に応じてチーム内ですり合わせをする。（2時間）</p> <p>【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（2時間）</p>	
13	現地でのイベント活動：第4回	<p>【予習】メンバーから共有された事項を確認したうえで、自分の役割や動き方について見直すべき点があるのかないのかを確認し、修正ポイントを認識する。必要に応じてチーム内ですり合わせをする。（2時間）</p> <p>【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（2時間）</p>	
14	回現地でのイベント活動：第5回	<p>【予習】メンバーから共有された事項を確認したうえで、自分の役割や動き方について見直すべき点があるのかないのかを確認し、修正ポイントを認識する。（2時間）</p> <p>【復習】実際に運営をしてみて気が付いたこと、問題点、改善点、来場者から質問されたことなどをメンバー相互で共有する。（2時間）</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間)	
15	振り返りと改善点の検討	<p>【予習】これまでを振り返り、自分が学んだこと、成長したことをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】講義の中で他のメンバーから指摘されたことや意見を振り返り、自分なりの気づきをまとめる。（2時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CAR301
授業形態： 講義
科目名： キャリアデザイン論
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

授業の目的は、自分の将来像を描き積極的に人生をおくるための準備を行うことです。特に、就職、昇進、家庭、リスキング、転職、退職などの将来起こりうる各ライフステージでどのような選択肢があるかを学び、選択を行う際に考慮すべきことを見つけ出すことに授業の重点をおきます。また、卒業後の自分のあり方を描き、それを今に投影して大学時代をどのように過ごすべきかを考えます。

授業を履修する前に、かならず以下の文章を読んでおいてください。

「安定した職につき、生活の基礎を維持し続けることはたやすいことではない。ましてや、技を磨き自分も成長していけるような、あるいは思い描いた自分のあり方に少しずつあれ近づいていけるような仕事を手に入れることはとても難しい。多くの人々は、(略)ただ穏やかな生活を望んでいるだけであるが、それさえも叶えることは容易ではない。したがって、(略)大きな誤りをしないよう、そして少しでも自分の目的が達成できるよう、人生の舵取りをしていかなければならない。

(略)

もちろん、キャリアに関する詳細な海図を描くことは不可能に近い。天候や潮流と同じように社会状況は複雑に変化し続けるし、個人が目指している場所も、好む生き方も異なっているからである。それらすべての可能性を描き出し、正確な指針を示すことなどできない。たとえ一人の人生に限ったとしても、起こりうることを全てを予測し、詳細に記述することなどできるはずもない。

しかし、古代海を渡り交易を続けた船乗りや、南洋諸島の民が星を見ながら島々を渡ることができたように、確固とした基本的知識はおおいに助けになる。また、その上に新たな知識と経験を積んでいくことで、風の臭いをかき潮の流れを読めるようになっていく。そうしていつか、単純に櫓をこぎ続けるだけでは決して辿り着けなかった遠い目的地へも、帆を上げ船を走らせることができるようになる。(阿部・松繁(編著)(2014)『キャリアのみかた』 あとがき 有斐閣)」

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	

【到達目標】

1. 将来の自分のキャリアイメージを描くことができる。
2. そのために、どのような選択を、特に大学時代にしておくべきかを考え実行できる。

【成績の評価】

授業への積極的な参加と貢献(40%)・・・グループワークにおいて欠席や遅刻があれば大きく減点します。

レポート(30%)・・・返却時に解説します。提出されていない場合は0点、提出期限を遅れたら半分に減点します。

定期試験(30%)・・・テストは採点后、解説します。

小テスト、提出物、試験等に関しては、授業あるいはGoogle Classroomにてフィードバックを行います。

<重要> 定期試験はネット上で行います。スマホあるいはPCでネットに入れるようにしておいてください。

【使用テキスト】

阿部・松繁(編著)(2014)『キャリアのみかた』有斐閣

【参考文献】

適宜資料を配布します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業の構成と進め方	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
2	働き方の変化： 複雑化する労働の世界を理解する。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
3	キャリアデザイン 1： キャリア・デザインとは何かを理解する。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
4	キャリアデザイン 2： 自分に合った職業や会社を考える。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
5	就職活動と求人： 就職のプロセスを学ぶ。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
6	就職と大学教育： 教育の効果や大学での勉強がどの程度役立つのかを検討する。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
7	賃金格差 1： マクロ的に賃金格差を捉える。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
8	賃金格差 2： 企業内賃金格差が生まれるメカニズムを考える。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
9	昇進と昇格 1： 企業内の昇進や昇格の仕組みを理解する。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		- 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
10	昇進と昇格 2： 「出世」するとはどういうことなのかを考える。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
11	離職と転職 1： 離職と転職がどの程度発生するのかを知る。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
12	離職と転職 2： 会社を辞めることがあるということを認識した上で、キャリアを考えてみる。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
13	定年退職： 定年退職制度や再雇用制度を学ぶ。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
14	高齢者の活用： 高齢者の活用の重要性とその方策を考える。	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
15	自分のキャリアデザインを再考 理解の確認	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： CAR202

授業形態： 演習

科目名： ビジネス実務演習

担当教員： 高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

ビジネスの現場において組織のメンバーや取引先など様々な人々と関わりながら協働で業務を遂行していくためには、ビジネス実務の基本スタイルを身につけておく必要があります。そこで、本授業では、卒業後にビジネスパーソンとして活躍できるよう、とりわけ「対人関係」に焦点を当てて、ビジネス実務の遂行にあたって求められる基礎的・汎用的能力（知識や技術など）を身につけることをめざします。ビジネス実務の遂行について理解するために、ビジネスの現場における身の処し方（態度）を一定の審査基準によって示しているビジネス実務マナー検定の事例を用いて授業を行います。また、適宜、課題や理解度確認テストを実施することで、学生の継続的な学びを促し、知識を着実に修得できているかの確認をします。受講生の皆さんには、受講の意思を固めたなら、その意思を最後まで貫く努力をすることを求めます。

なお、本授業は、上級ビジネス実務士取得のための必修科目に該当します。また、授業は原則対面で実施し、講義形式だけでなく、学生自身の主体的参加が必須となる実践的な学習（実技）も取り入れる予定です。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。

Google Classroomのクラスコードは「mfpvifn」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 職場において円滑な人間関係を築き、適切なコミュニケーションを図ることの重要性を理解し、説明できる。
2. ビジネス実務の遂行に必要な基礎的・汎用的能力を身につけ実践することができる。

【成績の評価】

評価項目は、受講態度（10%）、宿題2回（30%）、理解度確認テスト（60%）とする。受講生には、他の受講生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。授業の内容について理解を深めるような積極的な発問、回答の内容については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。なお、各評価項目や配点の詳細は、第1回のガイダンスで連絡する。

【使用テキスト】

なし。プリントを随時配布する。

【参考文献】

西村このみ著『ビジネス実務マナー検定受験2・3級 らくらく合格 テキスト&問題集』翔泳社、2022年。
実務技能検定協会編『ビジネス実務マナー検定受験ガイド3級』早稲田教育出版、2020年。
実務技能検定協会編『ビジネス実務マナー検定実問題集3級』早稲田教育出版、2021年。
山田敏世著『秘書検定2・3級 合格教本』新星出版社、2019年。
実務技能検定協会編『ビジネス電話検定受験ガイド 改訂版』早稲田教育出版、2007年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス Google Classroomへの参加 (クラスコード mfpvifn) 立居振舞とメール	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
2	対人関係 「ビジネス実務演習」を学ぶ 意義 人間関係	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
3	対人関係 ビジネスマナー	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
4	対人関係 服装、話し方	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
5	対人関係 敬語の種類と接遇表現	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
6	対人関係 敬語のつかい方	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
7	対人関係 目的に応じた話し方	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課された宿題を期日までに丁寧に仕上げ、提出すること（1時間）。	
8	これまでのまとめ 宿題 の解説	次回の理解度確認テストに向けて、これまでのプリントをすべて見直しておくこと（1時間）。	
9	これまでのまとめ 理解度確認テスト（50分）とその解説（40分）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。理解度確認テストで誤った問題を再度解き直すこと（1時間）。	
10	対人関係 慶弔のマナー	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
11	対人関係 贈答のしきたり	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
12	対人関係 慶弔の振る舞い	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
13	対人関係 交際業務	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課された宿題を期日までに丁寧に仕上げ、提出すること（1時間）。	
14	これまでのまとめ 宿題 の解説	次回の理解度確認テストに向けて、これまでのプリントをすべて見直しておくこと（1時間）。	
15	これまでのまとめ 理解度確認テスト（50分）とその解説（40分）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。理解度確認テストで誤った問題を再度解き直すこと（1時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CAR203

授業形態： 演習

科目名： ビジネス実務演習

担当教員： 高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

ビジネスの現場において組織のメンバーや取引先など様々な人々と関わりながら協働で業務を遂行していくためには、ビジネス実務の基本スタイルを身につけておく必要があります。そこで、本授業では、卒業後にビジネスパーソンとして活躍できるよう、とりわけ「電話実務」や「文書実務」に焦点を当てて、ビジネス実務の遂行にあたって求められる基礎的・汎用的能力（知識や技術など）を身につけることをめざします。ビジネス実務の遂行について深く理解するために、ビジネスの現場における身の処し方（態度）を一定の審査基準によって示しているビジネス実務マナー検定の事例を用いて授業を行います。また、適宜、課題や理解度確認テストを実施することで、学生の継続的な学びを促し、知識を着実に修得できているかの確認をします。受講生の皆さんには、受講の意思を固めたなら、その意思を最後まで貫く努力をすることを求めます。なお、本授業は、上級ビジネス実務士取得のための必修科目に該当します。

また、授業は原則対面で実施し、講義形式だけでなく、学生自身の主体的参加が必須となる実践的な学習（実技）も取り入れる予定です。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。

Google Classroomのクラスコードは「pxhtm5k」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 職場において円滑な人間関係を築き、適切なコミュニケーションを図ることの重要性を深く理解し、説明できる。
2. ビジネス実務の遂行に必要な基礎的・汎用的能力を十分に身につけ実践することができる。

【成績の評価】

評価項目は、受講態度（10%）、宿題2回（30%）、理解度確認テスト2回（60%）とする。受講生には、他の受講生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。授業の内容や学習上の理解を深めるような積極的な発問、回答の内容については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。なお、各評価項目や配点の詳細は、第1回のガイダンスで連絡する。

【使用テキスト】

なし。プリントを随時配布する。

【参考文献】

西村このみ著『ビジネス実務マナー検定受験2・3級 らくらく合格 テキスト&問題集』翔泳社、2022年。
実務技能検定協会編『ビジネス実務マナー検定受験ガイド3級』早稲田教育出版、2020年。
実務技能検定協会編『ビジネス実務マナー検定実問題集3級』早稲田教育出版、2021年。
山田敏世著『秘書検定2・3級 合格教本』新星出版社、2019年。
実務技能検定協会編『ビジネス電話検定受験ガイド 改訂版』早稲田教育出版、2007年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	第1回 ガイダンス Google Classroomへの参加（クラスコード pxhtm5k） 立居振舞とメール	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
2	電話実務 会話力	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
3	電話実務 応対力	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
4	電話実務 接客表現	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課された宿題を期日までに丁寧に仕上げ、提出すること（1時間）。	
5	これまでのまとめ 宿題 の解説	次回の理解度確認テストに向けて、これまでのプリントをすべて見直しておくこと（1時間）。	
6	これまでのまとめ 理解度確認テスト（50分）とその解説（40分）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。理解度確認テストで誤った問題を再度解き直すこと（1時間）。	
7	情報の取り扱い	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
8	文書実務 ビジネス文書の基礎知識（社内文書と社外文書）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
9	文書実務 ビジネス文書の基礎知識（慣用表現）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
10	文書実務 ビジネス文書の作成	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
11	文書実務 メール・グラフ・封書の書き方	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
12	文書実務 文書の取り扱い	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
13	会議の心得とマナー	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。課された宿題を期日までに丁寧に仕上げ、提出すること（1時間）。	
14	これまでのまとめ 宿題 の解説	次回の理解度確認テストに向けて、これまでのプリントをすべて見直しておくこと（1時間）。	
15	これまでのまとめ 理解度確認テスト（50分）とその解説（40分）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。理解度確認テストで誤った問題を再度解き直すこと（1時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS211
授業形態： 講義
科目名： 経営学原理
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

現代社会において、個人は企業とかかわりを持つことなく、現代的で便利で快適な生活を行うことは困難である。本講義においては、まず「経営学」は、何を対象とした学問であり、現代社会に欠かすことのできない「企業」とは、どのような存在であるのかを講義する。
その後で、19世紀末から20世紀の初頭にかけて、ドイツ、アメリカ、そして、日本でどのように「経営学」が発展してきたのかを明らかにする。その際には、社会科学における論理的な整合性と経験的な整合性の重要性についても検討を行う。
そして、企業における生産性、経済性、そして収益性の概念を企業目標との関連で議論を行い、先進工業国の中でも低いとされる日本企業の生産性向上の方法について検討を行い、人的資源管理と戦略との関連性について講義する。また、現代社会の抱える環境問題と企業の関係についても明らかにするとともに、企業倫理・企業の社会的責任についても講義を行う。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 企業がどのような存在であるのか、他者に説明することができる。
2. 企業の社会的責任について自分なりの考えを持つことができる。

【成績の評価】

講義内の課題30%、授業中試験70%で評価する。
課題については授業中に優れていたものを講評することでフィードバックをおこなう。
授業中試験の模範解答は研究室の外に掲示する。

【使用テキスト】

テキストは使用しない。各回の講義で配布資料を教室の入り口付近で配布する。

【参考文献】

深山明・海道ノブチカ編著 [2015], 『基本経営学』 同文館出版。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講者ガイダンス、イントロダクション、クラスルームの登録、成績評価の説明、クラスルームを用いた簡単な確認	【予習】：シラバスを読み、第2回から第14回の授業計画の中に登場する専門用語の中で、分からないものについて、ノートあるいはメモ帳にまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第1回の講義資料に次回の講義で説明する単元とそれに関連したキーワードを記載するので、第1回で配布した資料の該当欄にその内容について簡単な要約を作成しておくこと(2時間)。	
2	経営学の歴史：経営学史の方法論とドイツの経営学の誕生と展開	【予習】：第1回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第2回の講義で提示したキーワードについて調べ、第3回の講義で提出すること(2時間)。	
3	経営学の歴史：アメリカの経営学の誕生と発展	【予習】：第2回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第3回の講義で提示したキーワードについて調べ、第4回の講義で提出すること(2時間)。	
4	経営学の歴史：日本の経営学の誕生と発展	【予習】：第3回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第4回の講義で提示したキーワードについて調べ、第5回の講義で提出すること(2時間)。	
5	企業目標：「本来的目標」と「制約的目標」	【予習】：第4回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第5回の講義で提示したキーワードについて調べ、第6回の講義で提出すること(2時間)。	
6	「ベスト・アンド・ブライテスト」な経営者とは何か	【予習】：第5回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第6回の講義で提示したキーワードについて調べ、第7回の講義で提出すること(2時間)。	
7	合理的な意思決定と非合理的な意思決定：サイモンの理論を中心として	【予習】：第6回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第7回の講義で提示したキーワードについて調べ、第8回の講義で提出すること(2時間)。	
8	農業生産と工業生産の違い：「収穫逡減の法則」を中心として	【予習】：第7回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第8回の講義で提示したキーワードについて調べ、第9回の講義で提出すること(2時間)。	
9	林業から見る人手不足対策と経営学：経営資源の有効性を中心として	【予習】：第8回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		(2時間)。 【復習】：第9回の講義で提示したキーワードについて調べ、第10回の講義で提出すること(2時間)。	
10	人的資源管理：人材育成の3本柱を中心として	【予習】：第9回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第10回の講義で提示したキーワードについて調べ、第11回の講義で提出すること(2時間)。	
11	人的資源管理：令和の人事戦略を中心として	【予習】：第10回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第11回の講義で提示したキーワードについて調べ、第12回の講義で提出すること(2時間)。	
12	企業の社会的責任：「持続可能な社会」を中心として	【予習】：第11回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第12回の講義で提示したキーワードについて調べ、第13回の講義で提出すること(2時間)。	
13	企業の社会的責任：SDGs・ESGを中心として	【予習】：第12回の講義で指定する内容を事前にインターネットや文献を調べ、専門用語の意味などをノートなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第13回の講義で提示したキーワードについて調べ、第14回の講義で提出すること(2時間)。	
14	企業の社会的責任：企業の利益追求との調和を目指して	【予習】：第14回に説明した第15回の授業中試験の試験範囲を勉強しておくこと(2時間)。 【復習】：第14回の講義で提示したキーワードについて調べ、第15回の講義で提出すること(2時間)。	
15	これまでのまとめと授業中試験	【予習】：第14回に説明した第15回の授業中試験の試験範囲を勉強しておくこと(4時間)。 【復習】：研究室前に授業中試験の模範解答を掲示するので、それを踏まえて授業中試験の振り返りを行うこと(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN211

授業形態： 講義

科目名： 経済学概論

担当教員： 高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

本授業は、経済学を初めて学ぶ学生を対象としています。経済学は、社会全体の限られた資源をどのように分配すれば全体として豊かになるかを考える学問です。経済学は、「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」の大きく2つの専門分野に分かれています。ミクロ経済学は家計や企業など個別の経済主体を、マクロ経済学は国民経済全体をひとつくりにして分析対象としています。本授業を通じて、経済学の基礎的内容を理解したうえで、日常生活や様々な社会現象に興味を持ち、経済学がどのように生かされているのかを考えて欲しいと思います。受講生の皆さんには、受講の意思を固めたなら、その意思を最後まで貫く努力をすることを求めます。なお、本授業は、上級情報処理士、上級ビジネス実務士取得のための選択科目に該当します。

また、本授業は原則対面で実施します。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。

Google Classroomのクラスコードは「5o4d4jf」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 授業で用いた経済の基礎用語について、説明することができる。
2. 経済学に関する知識を修得するとともに、日常生活や様々な社会現象を経済学の視点から捉えることができる。
3. 授業で紹介した経済現象や経済問題について、自分の意見を述べるすることができる。
4. 受講生が将来直面する経済情勢についての確な判断・理解をすることができる。

【成績の評価】

評価項目は、授業態度（10%）、理解度確認レポート（50%）、課題（10%）、定期試験（30%）とする。

受講生には、他の受講生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。さらに、授業の内容について理解を深めるような積極的な発問、回答の内容については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。なお、各評価項目や配点の詳細は、第1回のガイダンスで連絡する。定期試験終了後、模範解答を研究室外に掲示する。

【使用テキスト】

なし。プリントを随時配布する。

【参考文献】

N・グレゴリー・マンキュー著『マンキュー入門経済学（第2版）』（洋経済新報社、2016年）
ジョセフ・E・スティグリッツ著『スティグリッツ 入門経済学（第3版）』東洋経済新報社、2005年。
新井明他著『経済の考え方がわかる本』岩波書店、2005年。
折笠和文他著『日本経済の基本問題 事例で学ぶ教養経済』実教出版株式会社、2001年。
中北徹・上村敏之著『ビビッとわかる！キャンパス・ライフの経済学』経済法令研究会、2005年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス Google Classroomへの参加 (クラスコード 5o4d4jf)	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
2	経済学の基本的な考え方	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
3	ミクロ経済学の基礎 比較優位	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
4	ミクロ経済学の基礎 需要と供給・余剰分析	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
5	ミクロ経済学の基礎 自由貿易と関税の余剰分析	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
6	ミクロ経済学の基礎 需要曲線または供給曲線のシフト	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
7	ミクロ経済学の基礎 需要曲線及び供給曲線のシフト	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。</p>	
8	<p>ミクロ経済学の基礎 需要の価格弾力性</p>	<p>配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。理解度確認レポートを丁寧に仕上げ、期日までに提出すること（4時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。</p>	
9	<p>ミクロ経済学の基礎 差別価格</p>	<p>配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。課題を丁寧に仕上げ、期日までに提出すること（2時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。</p>	
10	<p>理解度確認レポートの解説</p>	<p>配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。</p>	
11	<p>ミクロ経済学の基礎 市場の失敗 重要項目の確認）と質疑応答</p>	<p>配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。</p>	
12	<p>マクロ経済学の基礎 GDP</p>	<p>配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。</p>	
13	<p>マクロ経済学の基礎 インフレとデフレ</p>	<p>配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
14	マクロ経済学の基礎 外国為替	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
15	これまでの講義についてのまとめ（学習した重要項目の確認）と質疑応答	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、講義で学んだことに関連する内容について情報収集を行うこと（2時間）。このような学習を通じて、授業で学んだ知識と日常での経験を結びつける習慣を身につけて欲しい。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN212
授業形態： 講義
科目名： ファイナンス入門
担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro)

【授業の紹介】

本授業は、金融やお金に関する基礎知識を習得するほか、将来どのような分野に進んでも役に立つパーソナル・ファイナンスについて学習します。具体的には、生活設計に必要なお金に関する知識（金融商品、保険、不動産、税金、年金、相続など）を概説します。
また、習得した知識が生活やビジネスの場で活用でき、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図れるようにアクティブラーニングの授業も実施します。
さらに、卒業後も継続して新たな目標を設定し、その達成に向けてチャレンジできるように、FP（ファイナンシャル・プランナー）の資格取得に向けた基礎力の養成もめざします。
なお、本科目は、「ファイナンス論」の入門編であり、本科目を受講するにあたって「くらしと経済」を受講していることが望まれます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 社会人として自立するための基礎的な金融知識を身につけることができる。
2. 個人の生活設計において必要とされるお金に関する知識を体系的に習得することができる。
3. 国家資格「3級FP技能士」検定の基礎力を身につけることができる。

【成績の評価】

受講態度（40%）、レポート（10%）、定期試験（50%）により評価します。
なお、レポートについては後日の授業で模範解答例を紹介、定期試験の結果は評価後に返却します。

また、「FP技能検定」の受検状況も加点して評価します。

【使用テキスト】

最初の授業で指示します。その他、適宜プリントを配布します。

【参考文献】

適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	金融に関する情報を普段から意識し、キーワードや疑問等をメモしておくこと（2時間） 配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）	
2	人生とお金（ライフデザイン）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
3	人生とお金（所得と収支管理）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
4	人生とお金（ローンの仕組み）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
5	お金と経済	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
6	ライフプランニング（資金計画の立て方、社会保険のしくみ）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
7	ライフプランニング（キャッシュフロー分析）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
8	金融資産運用（金融の仕組み、金融商品の基礎知識）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
9	金融資産運用（金融商品の特徴）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
10	リスク管理（生命保険の基礎知識）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
11	リスク管理（損害保険の基礎知識）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
12	タックスプランニング（所得税・住民税の基礎知識）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
13	不動産運用（不動産取引の基礎知識）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
14	相続（贈与・相続の基礎知識）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
15	これまでの授業のまとめ（定期試験対策）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN213
授業形態： 講義
科目名： ファイナンス論
担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro)

【授業の紹介】

本科目では、「ファイナンス入門」の応用・実践編ともいうべき、生活者・職業人として必要とされる生活設計のお金に関する知識（金融商品、保険、不動産、税金、年金、相続など）を整理するとともに、生活設計上の課題の解決方法を学習します。

また、ケーススタディにより考察力を養うほか、アクティブラーニングを通して分析力や意思決定力などを育成することをめざします。

なお、本科目は「ファイナンス入門」を受講していない学生であっても、復習をしながら進めますので、受講は可能です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 生活設計に関する知識の定着と生活設計上の課題探求・解決ができる。
2. 国家資格「3級FP技能士」資格取得のための実戦力、「2級FP技能士」資格取得のための基礎力を身につけることができる。

【成績の評価】

受講態度（40%）、レポート（10%）、定期試験（50%）により評価します。

なお、レポートについては後日の授業で模範解答例を紹介、定期試験の結果は評価後に返却します。

また、「FP技能検定」の受検状況も加点して評価します。

【使用テキスト】

最初の授業で指示します。その他、適宜プリントを配布します。

【参考文献】

適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	金融に関する情報を普段から意識し、キーワードや疑問等をメモしておくこと（2時間） 配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）	
2	ライフプランニング（プランニングの手法、資金計画）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
3	ライフプランニング（社会保険制度）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
4	リスク管理（リスクマネジメント、生命保険の活用）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
5	リスク管理（損害保険の活用）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
6	金融資産運用（金融経済、金融商品の特徴）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
7	金融資産運用（金融資産の運用）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
8	これまでの授業のまとめ	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
9	タックスプランニング（税の体系、所得税のしくみ）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
10	タックスプランニング（所得税の計算、住民税のしくみ）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
11	不動産運用（不動産取引）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
12	不動産運用（不動産と税、不動産の有効活用）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
13	相続（贈与・相続の関連法規）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
14	相続（相続税のしくみ）	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
15	これまでの授業のまとめ	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： INF220
授業形態： 講義
科目名： プログラミング
担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

プログラムは、コンピュータに実行させる命令を書き並べたものである。その命令を書くときに使う言語についていくつか基礎的なものを紹介する。プログラミングの基本について、講義と演習を通して理解することを目標としている。

本授業はBYODパソコンの持込を必須とする。

また、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1)プログラミングの基礎的な考え方を修得できる。
- (2)JavaScriptの基本的文法を理解できる。
- (3)Pythonの基本的文法を理解できる。

【成績の評価】

授業内課題（20%）、中間試験（30%）、定期試験（50%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。フィードバックとして定期試験の返却を希望する場合は、研究室まで取りに来ること。

【使用テキスト】

適宜指示する

【参考文献】

ChatGPTと学ぶPython入門 「Python×AI」で誰でも最速でプログラミングを習得できる！
熊澤 秀道（著）翔泳社 2023年 ¥1,980+税 ISBN-13：978-4798182230

スラスラ読める JavaScriptふりがなプログラミング 増補改訂版
リブワークス（著）インプレス 2022年 ¥2,178 ISBN-13：978-4295015116

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス、プログラミングの基本とGoogle Colaboratoryの使い方	シラバスの熟読とGoogle Colaboratoryを調査し、ノートにまとめること 3時間 プログラミングの制御を調査し、ノートにまとめること 1時間	
2	プログラミングの基礎 変数とデータ型	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
3	プログラミングの基礎 制御構造	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
4	プログラミングの基礎 関数	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
5	Pythonの基礎 文字列の取扱い	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
6	Pythonの基礎 日時、時刻の取扱い	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
7	Pythonの基礎 リスト、辞書など	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
8	ここまでのまとめと中間試験	予習としてここまでの授業の振り返り 3時間 復習として中間試験の振り返り 1時間	
9	HTML、CSSの基礎	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
10	JavascriptとHTML	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
11	エディタを使ったJavascriptの記述	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
12	イベント処理 イベントリスナー	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したファイルの振り返り 2時間	
13	イベント処理 ボタン等	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したファイルの振り返り 2時間	
14	タイマー処理	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したファイルの振り返り	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		2時間	
15	第9回からここまでのまとめと中間試験	予習としてここまでの授業の振り返り 3時間 復習として中間試験の振り返り 1時間	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN311
 授業形態： 講義
 科目名： マーケティングリサーチ
 担当教員： 正岡 利朗(MASAOKA Toshiro)

【授業の紹介】

前半ではリサーチの概要につき解説し、後半ではリサーチの技法を身につけるための実習を行います。実習については、例年、いろいろな人間ドラマが展開されます。調査するテーマはすんなり決まったものの、質問文の作成にすごく苦労したり、集計作業のミスでせっかく入力したデータがパーになったり、意気揚々と提出した報告書の些細な誤字を指摘されたりと、ストレス溜まりまくりかも？けれども、それら乗り越えたときの充実感もまた格別です。「ワタシ、頑張りました！」と心より言える瞬間です。一通り実習を済ませた後は、普段目になっている各種のアンケートなどを見る目が変わっているかも？
 なお、本授業は、グループワークで情報収集・ディスカッションを行うアクティブ・ラーニング形式を採用しています。また、高等学校教諭一種免許状（情報）、上級ビジネス実務士取得のための選択科目に、上級情報処理士取得のための必修科目に該当します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 企業及び公共組織等が商品の販売やサービスなどを促進させるために行うリサーチ活動について、理解を深めることができる。
2. リサーチの技法を確実に身につけ、状況に応じてそれを使うことができる。
3. 上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティー5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】

レポート提出（100％）の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生（グループ）のレポートの結果については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

とくにありません（インターネットを使用する場合もある）。

【参考文献】

内田治・醍醐朝美『実践 アンケート調査入門』日本経済新聞社、2001年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	アンケートの計画	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
3	アンケートの作成（テーマの確定）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
4	アンケートの作成（質問文の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
5	アンケートの作成（アンケート用紙の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
6	アンケートの実施	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
7	アンケートの集計（集計フォーマットの作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
8	アンケートの集計（回答データの入力）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
9	アンケートの集計（グラフの作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
10	報告書の作成（集計結果の分析）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
11	第11回 報告書の作成（文章、分析内容の検討）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
12	報告書の作成（レイアウトの検討）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>ておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
13	<p>報告書の作成（総仕上げ）</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
14	<p>調査結果の報告（プレゼンテーション）</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
15	<p>これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
	<p>定期試験(実施しない)</p>		

科目ナンバリング： GBN214
授業形態： 講義
科目名： 統計学概論
担当教員： 正岡 利朗(MASAOKA Toshirou)

【授業の紹介】

経営に関することのみならず、さまざまな判断を行う際に統計学の知識及び統計に関するセンスは大いに役立ちます。そこで、この授業では、統計学の基本的な考え方を理解し、実際の社会生活で役立つ、さまざまな統計知識の解説を行うかたちで講義を進めます。

なお、本授業は、グループワークで情報収集・ディスカッションを行うアクティブ・ラーニング形式を採用しています。また、高等学校教諭一種免許状（情報・商業）、上級情報処理士取得のための選択科目に該当します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 統計データからいろいろなグラフを作成することができる。
2. 統計データからいろいろな統計表を作成することができる。
3. 統計データからいろいろな数値を計算することができる。
4. 作成したグラフ・統計表・統計値を解釈し、分析することができる。
5. 統計学の重要な専門用語、公式をよく理解し説明し応用することができる。
6. 上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティ－5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】

レポート提出（100％）の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生（グループ）のレポートの結果については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

とくにありません（インターネットを使用する場合もある）。

【参考文献】

阿部 真人『データ分析に必須の知識・考え方 統計学入門 仮説検定から統計モデリングまで重要トピックを完全網羅』ソシム、2021年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	度数分布表	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
2	ヒストグラム	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
3	代表値（平均値）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
4	散布度（標準偏差）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
5	散布図（2つ以上の変数）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
6	相関係数（2つ以上の変数）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
7	回帰分析（2つ以上の変数）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
8	確率と確率分布	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
9	正規分布の性質	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
10	正規分布の確率計算	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
11	正規分布の確率とEXCELの関数	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
12	標本分布	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
13	推定（平均値の推定）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
14	推定（比率の推定）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
15	これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS151
授業形態： 講義
科目名： 民法
担当教員： 辻上 佳輝(TSUJIGAMI Yoshi-teru)

【授業の紹介】

民法は、日常生活に最も密接に関係する法令です。その中でも、「契約法および不法行為法」を内容とする債権各論部分を学習します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	

【到達目標】

- ・日常生活やビジネスの世界でどのような課題があるか発見し、社会に貢献する力を培うことができる。
- ・また、自己管理能力、倫理観も養うことができる。

【成績の評価】

主に定期試験の成績によって判定します(感染状況を見てレポート試験とする可能性がある)。
加えて、提出物も求めます。定期試験60%、提出物40%です。
提出物等はコメントを記載し返却することでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

ありません。毎回の講義内容は、配布する講義資料に書かれています。

【参考文献】

第1回の講義で指示します。興味がある人は、内田貴「民法 ～ 」(東大出版会)を参照してください。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	契約総論（契約に関する一般的原則）	<p>期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。</p> <p>復習の内容は、講義時間内に指示します。たとえば、「配布するテキストの〇〇をもう一度読んでくる」とか、「次回の確認問題に備えて～の範囲を復習してくる」などの指示を適宜出します。それにかかる時間は、だいたい1回あたり4時間ほどを想定しています。約4時間×15回=60時間です。</p> <p>なお、あえて予習がしたい人は、テキストの先を読み進めてもかまいませんが、詳細にこだわったり、細かい語句を覚えたりするのではなく、ザッと内容を理解する程度にしてください。</p>	
2	契約総論（契約の概略的理解）	<p>期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。</p> <p>復習の内容は、講義時間内に指示します。たとえば、「配布するテキストの〇〇をもう一度読んでくる」とか、「次回の確認問題に備えて～の範囲を復習してくる」などの指示を適宜出します。それにかかる時間は、だいたい1回あたり4時間ほどを想定しています。約4時間×15回=60時間です。</p> <p>なお、あえて予習がしたい人は、テキストの先を読み進めてもかまいませんが、詳細にこだわったり、細かい語句を覚えたりするのではなく、ザッと内容を理解する程度にしてください。</p>	
3	契約の成立（成立要件）	<p>期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。</p> <p>復習の内容は、講義時間内に指示します。たとえば、「配布するテキストの〇〇をもう一度読んでくる」とか、「次回の確認問題に備えて～の範囲を復習してくる」などの指示を適宜出します。それにかかる時間は、だいたい1回あたり4時間ほどを想定しています。約4時間×15回=60時間です。</p> <p>なお、あえて予習がしたい人は、テキストの先を読み進めてもかまいませんが、詳細にこだわったり、細かい語句を覚えたりするのではなく、ザッと内容を理解する程度にしてください。</p>	
4	契約の履行・不履行（総論・三分体系）	<p>期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。</p> <p>復習の内容は、講義時間内に指示します。たとえば、「配布するテキストの〇〇をもう一度読んでくる」とか、「次回の確認問題に備えて～の範囲を復習してくる」などの指示を適宜出します。それにかかる時間は、だいたい1回あたり4時間ほどを想定しています。約4時間×15回=60時間です。</p> <p>なお、あえて予習がしたい人は、テキストの先を読み進めてもかまいませんが、詳細にこだわったり、細かい語句を覚えたりするのではなく、ザッと内容を理解する程度にしてください。</p>	
5	契約の履行・不履行（損害賠償）	<p>期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。</p> <p>復習の内容は、講義時間内に指示します。たとえば、「配布するテキストの〇〇をもう一度読んでくる」とか、「次回の確認問題に備えて～の範囲を復習してくる」などの指示を適宜出します。それにかかる時間は、だいたい1回あたり4時間ほどを想定しています。約4時間×15回=60時間です。</p> <p>なお、あえて予習がしたい人は、テキスト</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>の先を読み進めてもかまいませんが、詳細にこだわったり、細かい語句を覚えたりするのではなく、ザッと内容を理解する程度にしてください。</p>	
6	<p>売買契約（１） 売買契約の一般的ルール</p>	<p>期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。 復習の内容は、講義時間内に指示します。 たとえば、「配布するテキストの〇〇をもう一度読んでくる」とか、「次回の確認問題に備えて～の範囲を復習してくる」などの指示を適宜出します。それにかかる時間は、だいたい1回あたり4時間ほどを想定しています。 約4時間×15回=60時間です。 なお、あえて予習がしたい人は、テキストの先を読み進めてもかまいませんが、詳細にこだわったり、細かい語句を覚えたりするのではなく、ザッと内容を理解する程度にしてください。</p>	
7	<p>売買契約（２） 売主の契約不適合責任</p>	<p>期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。 復習の内容は、講義時間内に指示します。 たとえば、「配布するテキストの〇〇をもう一度読んでくる」とか、「次回の確認問題に備えて～の範囲を復習してくる」などの指示を適宜出します。それにかかる時間は、だいたい1回あたり4時間ほどを想定しています。 約4時間×15回=60時間です。 なお、あえて予習がしたい人は、テキストの先を読み進めてもかまいませんが、詳細にこだわったり、細かい語句を覚えたりするのではなく、ザッと内容を理解する程度にしてください。</p>	
8	<p>売買契約（３） 買主の権利義務</p>	<p>期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。 復習の内容は、講義時間内に指示します。 たとえば、「配布するテキストの〇〇をもう一度読んでくる」とか、「次回の確認問題に備えて～の範囲を復習してくる」などの指示を適宜出します。それにかかる時間は、だいたい1回あたり4時間ほどを想定しています。 約4時間×15回=60時間です。 なお、あえて予習がしたい人は、テキストの先を読み進めてもかまいませんが、詳細にこだわったり、細かい語句を覚えたりするのではなく、ザッと内容を理解する程度にしてください。</p>	
9	<p>賃貸借契約（１） 賃貸借契約の一般的ルール</p>	<p>期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。 復習の内容は、講義時間内に指示します。 たとえば、「配布するテキストの〇〇をもう一度読んでくる」とか、「次回の確認問題に備えて～の範囲を復習してくる」などの指示を適宜出します。それにかかる時間は、だいたい1回あたり4時間ほどを想定しています。 約4時間×15回=60時間です。 なお、あえて予習がしたい人は、テキストの先を読み進めてもかまいませんが、詳細にこだわったり、細かい語句を覚えたりするのではなく、ザッと内容を理解する程度にしてください。</p>	
10	<p>賃貸借契約（２） 転賃のルール</p>	<p>期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。 復習の内容は、講義時間内に指示します。 たとえば、「配布するテキストの〇〇をもう一度読んでくる」とか、「次回の確認問題に</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>備えて～の範囲を復習してくる」などの指示を適宜出します。それにかかる時間は、だいたい1回あたり4時間ほどを想定しています。約4時間×15回=60時間です。</p> <p>なお、あえて予習がしたい人は、テキストの先を読み進めてもかまいませんが、詳細にこだわったり、細かい語句を覚えたりするのではなく、ザッと内容を理解する程度にしてください。</p>	
11	<p>契約の効力 - 同時履行の抗弁権など</p>	<p>期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。</p> <p>復習の内容は、講義時間内に指示します。たとえば、「配布するテキストの〇〇をもう一度読んでくる」とか、「次回の確認問題に備えて～の範囲を復習してくる」などの指示を適宜出します。それにかかる時間は、だいたい1回あたり4時間ほどを想定しています。約4時間×15回=60時間です。</p> <p>なお、あえて予習がしたい人は、テキストの先を読み進めてもかまいませんが、詳細にこだわったり、細かい語句を覚えたりするのではなく、ザッと内容を理解する程度にしてください。期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。</p> <p>復習の内容は、講義時間内に指示します。たとえば、「配布するテキストの〇〇をもう一度読んでくる」とか、「次回の確認問題に備えて～の範囲を復習してくる」などの指示を適宜出します。それにかかる時間は、だいたい1回あたり4時間ほどを想定しています。約4時間×15回=60時間です。</p> <p>なお、あえて予習がしたい人は、テキストの先を読み進めてもかまいませんが、詳細にこだわったり、細かい語句を覚えたりするのではなく、ザッと内容を理解する程度にしてください。</p>	
12	<p>親族法概要(1) 親等概念・婚姻など</p>	<p>期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。</p> <p>復習の内容は、講義時間内に指示します。たとえば、「配布するテキストの〇〇をもう一度読んでくる」とか、「次回の確認問題に備えて～の範囲を復習してくる」などの指示を適宜出します。それにかかる時間は、だいたい1回あたり4時間ほどを想定しています。約4時間×15回=60時間です。</p> <p>なお、あえて予習がしたい人は、テキストの先を読み進めてもかまいませんが、詳細にこだわったり、細かい語句を覚えたりするのではなく、ザッと内容を理解する程度にしてください。</p>	
13	<p>親族法概要(2) 離婚など</p>	<p>期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。</p> <p>復習の内容は、講義時間内に指示します。たとえば、「配布するテキストの〇〇をもう一度読んでくる」とか、「次回の確認問題に備えて～の範囲を復習してくる」などの指示を適宜出します。それにかかる時間は、だいたい1回あたり4時間ほどを想定しています。約4時間×15回=60時間です。</p> <p>なお、あえて予習がしたい人は、テキストの先を読み進めてもかまいませんが、詳細にこだわったり、細かい語句を覚えたりするのではなく、ザッと内容を理解する程度にしてください。</p>	
14	<p>相続法概要(1) 相続の基本</p>	<p>期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>復習の内容は、講義時間内に指示します。 たとえば、「配布するテキストの〇〇をもう一度読んでくる」とか、「次回の確認問題に備えて～の範囲を復習してくる」などの指示を適宜出します。それにかかる時間は、だいたい1回あたり4時間ほどを想定しています。約4時間×15回=60時間です。</p> <p>なお、あえて予習がしたい人は、テキストの先を読み進めてもかまいませんが、詳細にこだわったり、細かい語句を覚えたりするのではなく、ザッと内容を理解する程度にしてください。</p>	
15	相続法概要(2) 遺言など	<p>期末試験に向けて、復習を中心にしてください。予習は必要ありません。</p> <p>復習の内容は、講義時間内に指示します。 たとえば、「配布するテキストの〇〇をもう一度読んでくる」とか、「次回の確認問題に備えて～の範囲を復習してくる」などの指示を適宜出します。それにかかる時間は、だいたい1回あたり4時間ほどを想定しています。約4時間×15回=60時間です。</p> <p>なお、あえて予習がしたい人は、テキストの先を読み進めてもかまいませんが、詳細にこだわったり、細かい語句を覚えたりするのではなく、ザッと内容を理解する程度にしてください。</p>	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS251
授業形態： 講義
科目名： 商法
担当教員： 前原 信夫(MAEHARA Nobuo)

【授業の紹介】

私たちの日常生活において日々多くの経済活動が行われ、それは多くの企業取引や企業活動によって支えられています。例えば、食べ物や衣服など私たちの日常生活において必要な多くのものは企業によって提供されていますし、大学卒業後に多くの人が企業へ就職することでしょう。このように、私たちは、好むと好まざるとに関わらず、生活の糧を得て生きて行くためには企業(会社)と無縁の生活を送ることはできません。そこで、本講義は、企業取引を規律する基本的な枠組みを定める商法、企業取引において金銭の支払手段や道具として利用される手形・小切手の成立から消滅までの過程を規制する手形法・小切手法、企業活動に関わる様々な人々の利害関係を調整することを目的とする会社法を学びます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

本講義は、「法と現実の乖離」を念頭に置きながら、商法・会社法上の諸制度を理解することを目的とします。これにより、学生は、商法、手形法・小切手法、会社法に関する専門用語を身に付けることができる。
「法と現実の乖離」を念頭に置きながら問題の解決を導くことができる。

【成績の評価】

中間テスト(30%) / 定期試験(70%)の合計点により評価します。なお、中間テストは当該テストの次回講義で解説を行い、定期試験については配点および解答のポイントを掲示等を行うことによりフィードバックします。なお、講義中の私語、スマートフォンや携帯電話等の電子機器類の使用は認められません。教員の指示に従わない学生には退室を求めるとともに、単位を認定しないので、十分に注意して下さい。

【使用テキスト】

浅木慎一『商法探訪 第2版[訂正]』¥1,980(信山社、2013年)。

【参考文献】

なし。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス／商法とは	ガイダンスを含む初回の授業のため、予習の必要はない。復習として、講義資料を読み返し、社会生活における法・法律の重要性を考へること。(1時間)	
2	権利の主体	予習として、使用テキスト（浅木慎一『商法探訪 第2版[訂正]』¥1,980(信山社、2013年)）の1～6頁を事前に読み、図書館等で専門用語の意味を調べる。(4時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
3	商人・商行為	予習として、テキストの65～77頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
4	商業使用人・商号・商業登記	予習として、商業使用人についてテキストの97～101頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
5	企業取引と決済方法	予習として、テキストの109～113頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
6	有価証券の定義	予習として、テキストの113～114頁、117～118頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間) 次回の中間テストの準備として、第1回～6回までの講義資料とテキストの該当箇所を読み返しておくこと。(4時間)	
7	約束手形の利用／中間テスト	予習として、テキストの114～119頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間) 復習として、講義資料を読み返しておくこと。(1時間)	
8	善意の手形取得者の保護	予習として、テキストの120～126頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
9	会社とは何か	予習として、国内にある企業および会社の数を調べておくこと。(2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
10	会社の種類	予習として、テキストの127～130頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。(2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
11	株式の意義と内容	予習として、テキストの137～146頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。また、授業前日の日経平均株価の終値を調べておくこと(2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
12	株主総会	予習として、テキストの146～151頁を事前に	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		読み、専門用語の意味を確認しておくこと。 (2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
13	株式会社の業務執行	予習として、テキストの156～161頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。 (2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
14	役員の義務と責任	予習として、テキストの161～167頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。 (2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、次回の授業の時に提出すること。(2時間)	
15	株式会社の資金調達	予習として、テキストの173～180頁を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。 (2時間) 復習として、授業の最後に課す簡単な課題をこなし、定期試験の終了後に提出すること。(2時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS318
授業形態： 講義
科目名： リスクマネジメント論
担当教員： 安井 敏晃(YASUI Toshiaki)

【授業の紹介】

この授業科目では、卒業認定・学位授与の方針にある「学部が示す専門的知識や技能および実践的能力」を習得するために、企業のリスク処理に関する基礎的な知識を修得することを目的とするものである。現代の企業は様々なリスクに取り囲まれており、それらのリスクに対処する必要がある事はいうまでもない。本講義では、企業をとりまくリスクを処理するための方法について、保険を中心に基礎的な内容を概説する。リスクマネジメントは、保険を合理的に活用する保険管理から発達したため、リスクマネジメントの概念およびリスク処理手段を理解するためには、保険制度の理解が不可欠なためである。まずリスクやその類概念であるハザードなどの定義を明らかにしたうえで、保険およびリスクマネジメントプロセスを学ぶ。その後、リスクコントロールとリスクファイナンスのそれぞれについて検討する。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	

【到達目標】

- ・ 保険などリスクマネジメントのごく基礎的な知識を獲得できる。
- ・ 現代社会におけるリスク処理の必要性を理解できる。

【成績の評価】

毎回、小テストを実施する。遅刻した場合には受験できないので注意すること。
小テスト(質問)(15%)に加え、定期試験(85%)を総合して評価する。
小テストの詳細については、その次の講義時に説明する。
小テストの解答については、その次の講義時に説明する。定期試験では、試験終了時にポイントの解説を行う。
その他詳細については、最初の講義において説明する。

【使用テキスト】

堀田一吉・中浜隆(2023)『現代保険学』有斐閣

【参考文献】

大谷孝一編『保険論(第3版)』成文堂

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス，危険の定義	教科書の第4章を精読すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
2	危険の類概念	指定されたレジュメないし該当頁を確認すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
3	損失についての研究（1） －損失とは－	指定されたレジュメないし該当頁を確認すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
4	損失についての研究（2） －損失の種類－	指定されたレジュメないし該当頁を確認すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
5	保険の基本的な仕組み	指定されたレジュメないし該当頁を確認すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
6	保険の原則と付保危険の要件	指定されたレジュメないし該当頁を確認すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
7	保険の分類	指定されたレジュメないし該当頁を確認すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
8	保険料の構造	指定されたレジュメないし該当頁を確認すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
9	保険金の構造	指定されたレジュメないし該当頁を確認すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
10	リスクマネジメントの変遷（保険管理から危険管理へ）	指定されたレジュメないし該当頁を確認すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
11	リスクマネジメントプロセスについて	指定されたレジュメないし該当頁を確認すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
12	リスクの発見・確認について	指定されたレジュメないし該当頁を確認すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
13	リスク・コントロールの理論（1） －ハインリッヒのドミノ理論－	指定されたレジュメないし該当頁を確認すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
14	リスク・コントロールの理論（2） －ヒューマン・エラーについて－	指定されたレジュメないし該当頁を確認すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
15	リスク・ファイナンスとしての保険の意義	指定されたレジュメないし該当頁を確認すること（1時間）/配布されたレジュメに基づき復習（3時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN331
授業形態： 講義
科目名： コミュニケーション論
担当教員： 久保田 由華(KUBOTA Yuka)

【授業の紹介】

この授業はキャリア形成系に属する上級科目であり、特にディプロマポリシーの2「現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組めること」に強く結びつく科目です。私たちが人間社会で生きていくうえで、情報のやりとりは不可欠です。人間同士のコミュニケーションは情報のやりとりの基幹です。しかし、周りの目が気になってしまう、他人の言動にイライラさせられる、論理的な考え方が苦手、などの理由で思うようにコミュニケーションがとれないこともあるでしょう。本講義では、コミュニケーションやディスカッションにおける基本的な知見を学びます。交流分析の理論に従って、人間関係におけるコミュニケーション能力を育てる方法を学びます。そのために、心理テストやロールプレイ(役割演技)を用いて自身の理解を深め、スキルを高めることも行います。なお、この授業はキャリア開発、ビジネス実務概論、ビジネス実務演習の受講を前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

交流分析理論を土台として、自己を理解し、他者を理解することができる
他人とのやりとりを5つの自我状態を用いて分析することができる
その知見を実際の生活の場で人間理解に生かすことができる
「大学時代に身につけたい12の力」のうち、特にコミュニケーション能力、ディスカッション能力、自己理解能力向上のための知識を習得することができる

【成績の評価】

毎回の講義での積極性(35%)、ミニ・レポート(45%)および期末レポート(20%)の作成により、成績を評価します。(定期試験は行わない)
なお、期末レポートを提出しない者、出席が10日に満たない者は不合格とします。
また、遅刻もしくは早退2回で欠席1回とします。
ミニレポート、期末レポートは返却すること、もしくは授業内にて取り上げるによりフィードバックを行います。

【使用テキスト】

使用テキストなし
必要に応じて事前もしくは当日プリントを配布します

【参考文献】

スチュアート&ジョインズ(1991)『TA TODAY - 最新交流分析入門』 実務教育出版 4500円
芦原 睦(1995)『自分がわかる心理テスト2』 講談社 980円
深田博己(1999)『コミュニケーション心理学』 北大路書房 2500円
その他の参考文献・参考図書は授業時に紹介します

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	<p>予習として、これまでの経験や学びから自分に関して理解していること、認識していることをまとめ、この講義を通して何を身につけていきたいのか整理しておくこと。（2時間）</p> <p>復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）</p>	
2	コミュニケーションとは	<p>予習として、「コミュニケーション」と聞いて自分が知っていることを書き出し、図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間）</p> <p>復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）</p>	
3	情報の中心ー自己ーを知る	<p>予習として、これまで行ってきた自己分析から理解している自分について、その資料も含めてノートにまとめ、考察しておくこと。（2時間）</p> <p>復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）</p>	
4	人の心の中の「3人の私と5つの心」機能分析	<p>予習として、「自我状態」について参考文献等を参照しながら、ノートにまとめておくこと。また、予習でわかりにくかったことについても整理しておくこと。（2時間）</p> <p>復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）</p>	
5	5つの心（自我状態）の識別	<p>予習として、自我状態を識別する時に必要な知識について、図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間）</p> <p>復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）</p>	
6	エゴグラムを描こう	<p>予習として、エゴグラムについて図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間）</p> <p>復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）</p>	
7	エゴグラムを見る時のポイント	予習として、エゴグラムの読解について図書	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
8	エゴグラムプロフィールの解釈上の諸注意	予習として、エゴグラムの解釈について図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
9	情報の伝達・交換 - 他者とのやりとり	予習として、情報伝達について図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
10	交流のパターン 平行交流	予習として、平行交流について図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
11	交流のパターン 交差交流・裏面交流	予習として、交差交流、裏面交流について図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
12	ストローク	予習として、ストロークについて図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間） 復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）	
13	ゲーム・時間の構造化	予習として、交流分析におけるゲームや時間の構造について図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）</p>	
14	脚本分析	<p>予習として、交流分析の脚本について図書館等で参考文献等の図書を参考にしながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間）</p> <p>復習として、毎回の講義や配布資料から学んだことのうち、大切なポイントを5つ選び出しノートにまとめること。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルや実践課題として出された宿題を、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）</p>	
15	コミュニケーションの進化	<p>予習として、現代のコミュニケーションについて、インターネット等を利用してリサーチを行い、必ず引用サイト・参照サイトを記録しながらキーワードとなる単語をノートにまとめておくこと。（2時間）</p> <p>復習として、全講義を振り返り、これからの自分の生活に活かせるスキルをノートにまとめる。（1時間）また、講義の中で学んだ新しいスキルを、日常生活の中で実際に使ってみること。（1時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS122
授業形態： 講義
科目名： 商業業態論
担当教員： 未包 昭彦(SUEKANE Akihiko)

【授業の紹介】

社会には、生産活動や消費活動ばかりでなく、生産と消費をリンクさせる流通活動があります。この流通は、消費生活をするために、社会的に必要不可欠な働きであり、その役割は、主として卸売業や小売業が担っています。本授業では、この「流通」についての基礎的な仕組みを学習するとともに、流通の重要な役割を担っている小売業の基本的知識や役割、店舗形態別小売業の役割、更にはチェーンストアや商業集積の基本的役割等について学習します。

また、本授業を通じて流通業界で唯一の公的資格である「3級販売士」取得をめざします。この検定試験は5科目からなっており、そのうちの1科目「小売業の類型」に関する授業です。

関連科目である「マーチャダイジング論」「販売技術論」「マーケティング論」「販売管理論」や課外講座（検定受験支援講座）を併せて受講することが望まれます。この授業は、高等学校教諭一種免許状（商業）取得のための選択科目です。

この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：xf56jsl）を使用し、ICTを活用した双方型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 流通業界における小売業の基礎的事項が理解できる。
2. 販売士検定科目のうち、「小売業の類型」について3級レベルの知識を有し活用できる。

【成績の評価】

評価は、受講態度（40%）、ミニレポート及びミニテスト（20%）、期末レポート（40%）の各項目（割合）により行います。その際、期末レポートを提出しない者は不合格とします。また、講義時間内外を問わず、積極的に質問を行った学生は加点をします。なお、受講生のレポート等については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

日本商工会議所・全国商工会連合会編『販売士ハンドブック（基礎編）～販売士検定試験3級対応～』（キャリアック、2019）上巻第1編「小売業の類型」を使用します。当該ハンドブックは「商品開発論」「販売技術論」「マーケティング論」「販売管理論」の各授業と共通で使用します。テキストの購入については、授業開始時に説明します。価格5,000円（税抜）

【参考文献】

適宜指示します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 流通とは何か	予習として、事前にシラバスに目を通し、15回の授業項目とキーワード、疑問点を合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業の内容を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
2	流通の役割と構造変化	予習として、教科書や配布資料に目を通し、流通の役割、構造変化に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、流通の役割、構造変化を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
3	小売業の機能と役割	予習として、教科書や配布資料に目を通し、小売業の機能と役割の要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、小売業の機能と役割の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
4	小売業と国際化	予習として、教科書や配布資料に目を通し、小売業と国際化の現状の要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、小売業と国際化の現状を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
5	組織小売業の種類と特徴	予習として、教科書や配布資料に目を通し、組織小売業の種類と特徴に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、組織小売業の種類と特徴を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
6	卸売業・製造業の機能	予習として、教科書や配布資料に目を通し、卸売業・製造業の機能に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、卸売業・製造業の機能を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
7	チェーンストアの基本的役割	予習として、教科書や配布資料に目を通し、チェーンストアの基本的役割、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、チェーンストアの基本的役割を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
8	販売形態の種類と特徴	予習として、教科書や配布資料に目を通し、販売形態の種類と特徴に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、販売形態の種類と特徴を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
9	インターネット社会と小売業	予習として、教科書や配布資料に目を通し、インターネット社会と小売業に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、インターネット社会と小売業に関する内容を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
10	小売業の店舗形態 （全般、専門店、百貨店）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、専門店、百貨店に関する要点や疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、専門店、百貨店に関する事項を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記述しておくこと（2時間）	
11	小売業の店舗形態 （スーパーマーケット、ホームセンター等）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、スーパーマーケット、ホームセンター等に関する要点や疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、スーパーマーケット、ホームセンター等に関する事項を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
12	小売業の店舗形態 （ドラッグストア、コンビニエンスストア等）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、ドラッグストア、コンビニエンスストア等に関する要点や疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習としてドラッグストア、コンビニエンスストア等に関する事項を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
13	商業集積の基本的役割 （商店街）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、商店街に関する要点や疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として商店街に関する事項を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
14	商業集積の基本的役割 （ショッピングセンター等）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、ショッピングセンター等に関する要点や疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として商店街に関する事項を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
15	これまでの講義の復習及び質疑応答、 商業業態の今後	予習として、これまでの授業内容を振り返り、14回の授業項目とその要点を記載するとともに、併せて疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、最終講義の内容を踏まえて、授業内容を自分なりにまとめ、他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS123
授業形態： 講義
科目名： マーチャンダイジング論
担当教員： 日笠 倫周(HIKASA Michinori)

【授業の紹介】

流通業界を取り巻く環境は、急激かつ大きく変化しています。人口減少や少子高齢化に伴う一般消費者の減少、ライフスタイルの変化、IT（情報技術）化の急速な進展、物流技術の発達など枚挙に暇がありません。このような変化に伴い、流通業者も仕入方法や販売方法、物流活動を変化させ、この市場環境に対応しています。

本講義では、チェーン店の仕入や販売、物流等について学習し、それらの知識が活用できるようになることを目的とします。また、本講義は、リテールマーケティング（販売士）3級検定試験の5科目のうちの1科目「マーチャンダイジング」に関する授業です。関連科目「商業業態論」「販売技術論」「マーケティング論」「販売管理論」を併せて受講することが望ましいです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 流通業界におけるマーチャンダイジングの基礎が理解できる
2. 流通業界で唯一の公的資格である「3級販売士」合格水準の知識を有し活用できる

【成績の評価】

成績は、小テスト（60%）、授業内課題（40%）を総合して評価する。

小テストの採点基準は講義時に説明する。

小テストと授業内課題のフィードバックとして、採点済答案の返却と解説を行う。

【使用テキスト】

日本商工会議所・全国商工会連合会編「販売士ハンドブック（基礎編）～リテールマーケティング（販売士）検定試験3級対応～」(キャリアック、2019)上巻を使用する。

【参考文献】

- 「1回で合格！販売士検定3級 テキスト&問題集」（上岡史郎著、成美堂出版、2018年）
「1回で合格！販売士検定3級 過去問題集 20年版」（上岡史郎著、成美堂出版、2019年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
2	商品とは何か・商品の分類	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
3	商品の本体要素・マーチャンダイジングの基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
4	コンビニエンスストア・チェーンにみるマーチャンダイジングの主な機能	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
5	第1回～4回の講義の復習と小テスト	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
6	商品計画の基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
7	販売計画策定並びに仕入計画策定の基本知識	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	棚割とディスプレイ・物流の基本知識	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
9	価格設定の基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
10	売価設定と利益構造の基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
11	第6回～10回の講義の復習と小テスト	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
12	在庫管理の基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
13	販売管理の基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
14	POSシステムによる販売データの活用・バーコードの基本知識	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	第12回～14回の講義の復習と小テスト	<p>予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間）</p> <p>復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング：

授業形態： 講義

科目名： 商品開発論

担当教員： 日笠 倫周(HIKASA Michinori)

【授業の紹介】

流通業界を取り巻く環境は、急激かつ大きく変化しています。人口減少や少子高齢化に伴う一般消費者の減少、ライフスタイルの変化、IT（情報技術）化の急速な進展、物流技術の発達など枚挙に暇がありません。このような変化に伴い、流通業者も仕入方法や販売方法、物流活動を変化させ、この市場環境に対応しています。

本講義では、チェーン店の仕入や販売、物流等について学習し、それらの知識が活用できるようになることを目的とします。また、本講義は、リテールマーケティング（販売士）3級検定試験の5科目のうちの1科目「マーチャダイジング」に関する授業です。関連科目「商業業態論」「販売技術論」「マーケティング論」「販売管理論」を併せて受講することが望ましいです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 流通業界におけるマーチャダイジングの基礎が理解できる
2. 流通業界で唯一の公的資格である「3級販売士」合格水準の知識を有し活用できる

【成績の評価】

成績は、小テスト（60%）、授業内課題（40%）を総合して評価する。

小テストの採点基準は講義時に説明する。

小テストと授業内課題のフィードバックとして、採点済答案の返却と解説を行う。

【使用テキスト】

日本商工会議所・全国商工会連合会編「販売士ハンドブック（基礎編）～リテールマーケティング（販売士）検定試験3級対応～」(キャリアック、2019)上巻を使用する。

【参考文献】

- 「1回で合格！販売士検定3級 テキスト&問題集」（上岡史郎著、成美堂出版、2018年）
「1回で合格！販売士検定3級 過去問題集 20年版」（上岡史郎著、成美堂出版、2019年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
2	商品とは何か・商品の分類	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
3	商品の本体要素・マーチャンダイジングの基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
4	コンビニエンスストア・チェーンにみるマーチャンダイジングの主な機能	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
5	第1回～4回の講義の復習と小テスト	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
6	商品計画の基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
7	販売計画策定並びに仕入計画策定の基本知識	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	棚割とディスプレイ・物流の基本知識	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
9	価格設定の基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
10	売価設定と利益構造の基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
11	第6回～10回の講義の復習と小テスト	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
12	在庫管理の基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
13	販売管理の基本	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	
14	POSシステムによる販売データの活用・バーコードの基本知識	予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	第12回～14回の講義の復習と小テスト	<p>予習として、その前の授業で指定する範囲の使用テキストを事前に読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間）</p> <p>復習として、講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること。更に、「リテールマーケティング（販売士）3級」取得をめざし、過去問題等に積極的に取り組み理解を深めること。（2時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS124
授業形態： 講義
科目名： 販売技術論
担当教員： 未包 昭彦(SUEKANE Akihiko)

【授業の紹介】

近年、顧客ニーズの多様化、価格競争の激化、IT化の著しい伸展など、流通業界を取り巻く環境は大きく変化しています。このような状況の中で、店を維持・繁栄させるためには、安定した利益を確保するための店舗運営（ストアオペレーション）が重要になります。本授業では、店舗の開店準備、発注、荷受・検収、値付け、補充、売場チェック、チェックアウト時のレジ業務、包装など、ストアオペレーションの基本的役割について学習するとともに、ディスプレイ、ワークスケジュールリング、顧客心理、接客販売技術などについても学習します。これらの授業の内、包装についてはアクティブラーニング手法を取り入れ、部外講師による実習を行います。

また、本授業を通して流通業界で唯一の公的資格である「3級販売士」取得をめざします。検定試験は5科目からなっており、そのうちの1科目「ストアオペレーション」に関する授業です。関連科目「商業業態論」「マーチャングデザイン論」「マーケティング論」「販売管理論」や課外講座（検定受験支援講座）を併せて受講することが望まれます。この授業は、高等学校教諭一種免許状（商業）取得のための選択科目です。

この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：c274gw5）を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 安定した利益を確保するための店舗運営（ストアオペレーション）が理解できる。
2. 販売士検定科目のうち、「ストアオペレーション」について3級レベルの知識を有し活用できる。

【成績の評価】

評価は、受講態度（40%）、ミニレポート及びミニテスト（20%）、期末レポート（40%）の各項目（割合）により行います。その際、期末レポートを提出しない者は不合格とします。また、講義時間内外を問わず、積極的に質問を行った学生は加点します。なお、受講生のレポート等については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

日本商工会議所・全国商工会連合会編『販売士ハンドブック（基礎編）～販売士検定試験3級対応～』（キャリアック、2019）下巻第3編「ストアオペレーション」を使用します。当該ハンドブックは「商業業態論」「商品開発論」「マーケティング論」「販売管理論」の各授業と共通で使用します。テキストの購入については、授業開始時に説明します。価格5,000円（税抜）

【参考文献】

適宜指示します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、事前にシラバスに目を通し、15回の授業項目とキーワード、疑問点を合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業の内容を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
2	基本的役割（開店準備の業務）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、開店準備の業務に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、開店準備の業務を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
3	基本的役割（日常の運営業務）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、日常の運営業務に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、日常の運営業務に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
4	基本的役割（メンテナンス業務等）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、メンテナンス業務に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、メンテナンス業務に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
5	基本的役割（包装の意義、種類等）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、包装の意義、種類に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、包装の意義、種類に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
6	基本的役割（包装技術）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、包装の具体的実施要領、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、包装の具体的実施要領に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
7	ストアオペレーションのまとめ	予習として、教科書や配布資料に目を通し、ストアオペレーション全般に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、ストアオペレーション全般に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
8	ディスプレイ（目的と役割）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、ディスプレイの目的と役割の要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、ディスプレイの目的と役割の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
9	ディスプレイ（基本的パターン 陳列器具）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、ディスプレイの基本的パターン（陳列器具）の要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、ディスプレイの基本的パターン（陳列器具）の要点を自分なりにまとめて他	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
10	ディスプレイ（基本的パターン 販売方法）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、ディスプレイの基本的パターン（販売方法）の要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、ディスプレイの基本的パターン（販売方法）の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
11	ディスプレイ（ファッション衣料品）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、ファッション衣料品のディスプレイの要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、ファッション衣料品のディスプレイの要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
12	ワークスケジューリング	予習として、教科書や配布資料に目を通し、ワークスケジューリングの要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、ワークスケジューリングの要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
13	顧客の購買心理	予習として、教科書や配布資料に目を通し、顧客の購買心理の要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、顧客の購買心理の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
14	接客販売技術	予習として、教科書や配布資料に目を通し、接客販売技術の要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、接客販売技術の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
15	これまでの講義の復習及び質疑応答、販売技術の今後	予習として、これまでの授業内容を振り返り、14回の授業項目とその要点を記載するとともに、併せて疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、最終講義の内容を踏まえて、授業内容を自分なりにまとめ、他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS222
授業形態： 講義
科目名： 販売管理論
担当教員： 未包 昭彦(SUEKANE Akihiko)

【授業の紹介】

企業のマネジメントの対象は、ヒト・モノ・カネ・情報です。さらに厳しい環境にある近年は特に法令順守によるリスクマネジメントも重要です。本授業では小売業における法令知識や計数管理（カネ）、職場における人間関係管理（ヒト）、施設管理（モノ）を学ぶことで、流通業の効率的運営に関する知識を身につけます。更に、販売員の基本業務の一つである接客の心構え等の学習を通じ、良き社会人としてのマナーの向上にもつなげたいと考えています。

また、本授業を通じて流通業界で唯一の公的資格である「3級販売士」取得をめざします。検定試験は5科目からなっており、そのうちの1科目「販売・経営管理」に関する授業です。

関連科目である「商業業態論」「マーチャンダイジング論」「販売技術論」「マーケティング論」や課外講座（検定受験支援講座）を併せて受講することが望まれます。この授業は、高等学校教諭一種免許状（商業）取得のための選択科目です。

この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：p5rqzjt）を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 流通業におけるマネジメントが理解できる。
2. 販売士検定科目のうち、「販売・経営管理」について3級レベルの知識を有し活用できる。

【成績の評価】

評価は、受講態度（40%）、ミニレポート及びミニテスト（20%）、期末レポート（40%）の各項目（割合）により行います。その際、期末レポートを提出しない者は不合格とします。また、授業内外を問わず、積極的に質問を行った学生は加点します。なお、受講生のレポート等については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

日本商工会議所・全国商工会連合会編『販売士ハンドブック（基礎編）～販売士検定試験3級対応～』（キャリアック、2019）下巻第5編「販売・経営管理」を使用します。当該ハンドブックは「商業業態論」「商品開発論」「販売技術論」「マーケティング論」の各授業と共通で使用します。テキストの購入については、授業開始時に説明します。価格5,000円（税抜）

【参考文献】

適宜指示します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、事前にシラバスに目を通し、15回の授業項目とキーワード、疑問点を合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業の内容を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
2	販売員の基本業務 （目的、役割、接客）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、販売員の目的、役割、接客に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、販売員の目的、役割、接客について自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
3	販売員の基本業務 （クレーム、返品）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、クレームや返品に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、クレームや返品について自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
4	小売業に関する法令知識 （全般）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、経営や事業全般に関する法規について、その要点や疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、経営や事業全般に関する法規について、自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
5	小売業に関する法令知識 （販売活動）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、販売活動に関する法規の要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、販売活動に関する法規の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
6	小売業に関する法令知識 （商品の安全）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、商品の安全に関する法規の要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、商品の安全に関する法規の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
7	小売業に関する法令知識 （商品の規格等）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、商品の規格等に関する法規の要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、商品の規格等に関する法規の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
8	小売業に関する法令知識 （販売促進、消費者等）	予習として、教科書や配布資料に目を通し、商品の販売促進等に関する法規の要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、商品の販売促進等に関する法規の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
9	小売業に関する法令知識	予習として、教科書や配布資料に目を通し、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	（環境問題）	環境問題に関する法規の要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、環境問題に関する法規の要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
10	計数管理	予習として、教科書や配布資料に目を通し、販売員に求められる計数管理に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、販売員に求められる計数管理に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
11	職場の人間関係	予習として、教科書や配布資料に目を通し、職場の人間関係に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、職場の人間関係に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
12	コミュニケーション	予習として、教科書や配布資料に目を通し、職場におけるコミュニケーションに関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、職場におけるコミュニケーションに関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
13	店舗管理の基本知識	予習として、教科書や配布資料に目を通し、店舗管理に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、店舗管理に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
14	店舗施設の保守・管理	予習として、教科書や配布資料に目を通し、店舗施設の保守・管理に関する要点、疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、店舗施設の保守・管理に関する要点を自分なりにまとめて他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
15	これまでの講義の復習及び質疑応答、販売管理の今後	予習として、これまでの授業内容を振り返り、14回の授業項目とその要点を記載するとともに、併せて疑問点をノートに記載すること（2時間） 復習として、最終講義の内容を踏まえて、授業内容を自分なりにまとめ、他者への説明ができるようにしておくこと。また、意見を記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS223
授業形態： 講義
科目名： 消費者行動論
担当教員： 日笠 倫周(HIKASA Michinori)

【授業の紹介】

製品やサービスを取り扱う企業にとって、消費者の行動を分析し理解するという事は、効果的かつ効率的にマーケティング活動を実施するために重要なことです。

本講義では、消費者行動に関する理論枠組みを理解できるようになることを目的とします。その上で、企業のマーケティング活動と消費者理解との関係に対する理解を深め、その知識を活用できるようになることを目指します。特に、消費者の性質をどのように販売に活かすのかについて、課題解決型のアクティブラーニングを実施することで、購買行動への理解促進を図る予定です。

なお、消費者行動を理解するためには様々な分野の知識が必要となります。初級レベルの統計学、マーケティングおよび商業に関する知識、高校レベルの数学の知識、心理学に関する知識を持ったうえで講義に参加することが望ましいです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

1. 消費者行動の基礎理論を理解し、その理論の枠組みを説明することができる。
2. 消費者行動の理論を使い現象を分析することができる。

【成績の評価】

成績は、小テスト(80%)、グループワーク(10%)、授業内課題(10%)を総合して評価します。

小テスト・グループワークの採点基準は講義時に説明します。

小テストと授業内課題のフィードバックとして、採点済答案の返却と解説を行います。

グループワークのフィードバックは個別に行いますので、希望者はオフィスアワーに研究室へ来て下さい。

【使用テキスト】

初回講義時に指示します。

【参考文献】

青木幸弘『消費者行動の知識』(日経文庫,2008年)

青木幸弘・新倉貴士・佐々木壮太郎・松下光司著『消費者行動論』(有斐閣アルマ,2012年)

池尾恭一・青木幸弘・南知恵子・井上哲浩『マーケティング』(有斐閣,2010年)

神取道宏『ミクロ経済学の力』(日本評論社,2014年)

杉本徹雄『消費者理解のための心理学』(福村出版,1997年)

田中洋・清水聰著『消費者・コミュニケーション戦略 現代のマーケティング戦略』(有斐閣アルマ,2006年)

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
2	消費者行動研究の変遷	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
3	消費者の意思決定過程 ～情報探索まで～	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
4	消費者の意思決定過程 ～購買後評価まで～	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
5	関与 + 小テスト(1)	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
6	態度	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
7	知覚と学習	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
8	記憶と知識	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
9	集団と消費	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
10	地位や文化と消費	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
11	消費者理解とマーケティング	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
12	二重過程理論とバイアス	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等に	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		まとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
13	グループワーク	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
14	近年の消費者行動研究	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
15	ラップアップ + 小テスト(2)	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN313
授業形態： 講義
科目名： 特別講義
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

この講義は、第4セメスターに配置されているスモールビジネス論を履修した学生が、ビジネス・ゲームの作成を通じて、企業が置かれている競争環境を理解し、それがどのように変化することで、企業意思決定や戦略にどの程度の影響を与えうるのか、を理解するために設置された科目である。

講義においては、はじめにSDGsゲームの体験を行う。この体験を踏まえて、ボードゲームからどのようなことが学べるのかを体験する。その後、チームに分かれて、2つのビジネス・ゲームをチームで作成することになる。チームでもビジネス・ゲーム作成においては、将来、企業や組織で必要不可欠となるリーダーシップ能力やコミュニケーション能力が重要な役割を果たす。そのため、グループディスカッションなどのアクティブラーニング手法に重点を置いている。

ビジネス・ゲームの体験会については、学生と相談の上、5校時に補講を行う可能性がある。また、チームでの意思決定やゲーム作成に参加できない学生は、本講義を履修したとしても単位を修得することは困難である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

この講義の到達目標は以下の通りである。

チームで協働してビジネス・ゲームを作成することができる。

企業の競争条件を理解することができる。

フリーライダーの何が問題なのかを理解することができる。

【成績の評価】

ビジネス・ゲーム作成への参加(50%)、作成したビジネス・ゲーム及びその報告(50%)。

ビジネス・ゲームの作成に参加しない学生には単位を認定することはできない。また、本講義においては、チームのメンバーにフリーライドを行う学生に単位を認定しない。

そして、フリーライダーを放置するリーダーも減点の対象となることを理解されたい。作成したビジネス・ゲーム及び報告の点数に関しては、希望者に対してフィードバックを行う。

【使用テキスト】

授業中に適宜資料を配布する。

【参考文献】

トム・ヴェルネック著/小野卓也訳 [2018], 『ボードゲーム デザイナー ガイドブック ~ボードゲーム デザイナーを目指す人への実践的なアドバイス』 スモール出版。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	イントロダクション(講義の説明、成績評価の方法、確認事項の徹底、グループ決め)	【予習】：スモールビジネス論で学んだ「ゲーミング」あるいは「シミュレーション」の重要性について、ノートやメモ帳にまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
2	SDGsゲームの体験 : SDGsの説明	【予習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
3	SDGsゲームの体験 : プレゲーム	【予習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第3回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
4	SDGsゲームの体験 : ゲームの本番	【予習】：第3回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第4回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
5	SDGsゲームの体験を踏まえた検討会	【予習】：第4回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第5回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
6	ビジネス・ゲーム作成 : 作成手順の説明とフレームワークの作成	【予習】：第5回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第6回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
7	ビジネス・ゲーム作成 : ルールの決定	【予習】：第6回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第7回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
8	ビジネス・ゲーム作成 : チーム内でのプレゲーム	【予習】：第7回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
9	学生が作成したビジネス・ゲームの報告会	【予習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第9回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
10	学生が作成したビジネス・ゲームの体験会	【予習】：第9回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第10回の講義で配布したワーク	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		シートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
11	ビジネス・ゲームの作成 : フレームワークの作成	【予習】：第10回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第11回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
12	ビジネス・ゲームの作成 : チーム内でのブレゲーム	【予習】：第11回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第12回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
13	学生が作成したビジネス・ゲームの報告会	【予習】：第12回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第13回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
14	学生が作成したビジネス・ゲームの体験会	【予習】：第13回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
15	これまでのまとめ(学生へのフィードバック及び成績評価の説明)	【予習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：最終課題に取り組み、指定の期日までに提出を行うこと(20時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN315
授業形態： 講義
科目名： 職業指導論
担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro)

【授業の紹介】

最近、非正規雇用の割合が増え、また"ブラック企業"といわれるものも出現するなど、若者の雇用環境は厳しくなっています。これまでの学校における職業指導（進路指導）は、就職先や進学先の選択指導に陥っていませんか。今、職業とは何なのか？人はなぜ働くのか？労働の意義、職業と自分との関わりについて考え、積極的に社会参加する意欲や態度・能力を育成することが求められています。高校生が自己の在りかたや生き方を考え、主体的に進路を選択できるようにするためには、どのような指導をすればよいのかを共に考え、その指導のために必要な知識を体系的に修得することをめざします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 働くことの意義、職業観について説明できる。
2. 日本にはどんな仕事があるか理解し説明できる。
3. 職業適性に対する理解を深め、説明できる。
4. 高校生に対して職業指導（進路指導）を行うことができる。

【成績の評価】

受講態度（20％）、課題の達成状況（30％）、定期試験（50％）を総合して評価します。課題や定期試験の結果は、評価した後、返却します。

【使用テキスト】

講義中にプリントを配付します。

【参考文献】

- 「進路指導・キャリア教育の理論と実践」吉田辰雄他 日本文化科学社 2011
「高等学校学習指導要領（平成21年11月）解説 総則編」

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	職業観や働き方等に関する情報を普段から意識し、キーワードや疑問等をメモしておくこと（2時間） 配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）	
2	働くとはどういうことか	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
3	どんな仕事があるか	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
4	就労現場の状況	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
5	現在の雇用状況	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
6	職業適性検査	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
7	自己分析とキャリア設計	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
8	職業選択の方法	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
9	職業指導の意義	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
10	職業指導・進路指導・キャリア教育の歴史	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
11	学校における職業指導・進路指導	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
12	進路指導の計画	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
13	進路指導の実践	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
14	家庭・諸機関等との連携	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
15	高校生に進路指導をするための必要事項のまとめ	予習としてテーマに関する専門用語やキーワード等を調べ、ノートに記載すること（2時間） 復習として授業の内容を自分なりにまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN231
授業形態： 演習
科目名： 基礎ビジネス日本語
担当教員： 児島 由佳(KOJIMA Yuka)

【授業の紹介】

本講義は、外国人留学生在が大学で学ぶために必要な日本語能力を、初級レベル（N4～N3程度）から中級レベル（N2程度）に引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。初級から中級へ到達するには、語彙力のアップ、文型の正確な使用や状況に応じた運用が求められます。そのため、ワークブックを併用し、豊富な問題練習によって、重要表現や語彙、漢字の理解・定着を図ります。さらに、学んだ語彙や重要表現を用いて、テキストの内容に即した話題で、自分の考えを自由に発信するタスク練習を行います。「読む」「聴く」「書く」「話す」を統合させたクラス活動を通して、運用能力を高めていきます。

授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、学生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

中級レベルの文章を正確に理解できる。
中級レベルの漢字・語彙・文法を使うことができる。
自分の意見を簡単にまとめて書いたり話したりできる。

【成績の評価】

授業中の態度・積極性、小テスト、課題の提出等（60％）、定期試験（40％）で総合的に評価する。授業での小テストや課題は、添削・採点して次回の授業時に返却し、フィードバックを行う。遅刻3回で欠席1回とみなす。

【使用テキスト】

『日本語を学ぶ人たちのための日本語を楽しく読む本・中級』、産業能率大学出版部、1991年、2,000円+税

『4技能でひろがる中級日本語カルテット』、坂本正監修・安井朱美・井手友里子・土居美有紀・浜田英紀著、The Japan Times、2020年、3,000円+税

* テキストは受講者のレベルにより変更になる場合がある。

【参考文献】

必要に応じて紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、『日本語を楽しく読む本』第2課「いつもとちがう」	本文を再度読む。出てきた語彙の復習と練習問題（1時間）	
2	『日本語を楽しく読む本』第3課「賢い農夫」	本文を再度読む。出てきた語彙の復習と練習問題（1時間）	
3	『日本語を楽しく読む本』第5課「振り向き賃」	本文を再度読む。出てきた語彙の復習と練習問題（1時間）	
4	『日本語カルテット』第7課 読み物1「日本人学生の留学体験記」	本文を再度読む。出てきた語彙の復習（1時間）	
5	『日本語カルテット』第7課 読み物2「外国人留学生の思い」	本文を再度読む。出てきた語彙の復習（1時間）	
6	『日本語カルテット』第7課 話す「言いづらいこと」、聞く「異文化コミュニケーション」	話す：会話文の作成と振り返り 聞く：聞いた内容を踏まえて、自分の意見をまとめる。（1時間）	
7	『日本語カルテット』第8課 読み物1「『日本一の旅館』加賀屋の女将に聞く」	本文を再度読む。出てきた語彙の復習（1時間）	
8	『日本語カルテット』第8課 読み物2「Bentoで日本をもっと近く」	本文を再度読む。出てきた語彙の復習（1時間）	
9	『日本語カルテット』第8課 話す「忘れ物」	会話文の復習と自分の持ち物の特徴を描写する練習（1時間）	
10	『日本語カルテット』第8課 聞く「温泉事情」	聞いた内容を踏まえて、自分の意見をまとめる。（1時間）	
11	『日本語カルテット』第9課 読み物1「夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について」	本文を再度読む。出てきた語彙の復習（1時間）	
12	『日本語カルテット』第9課 読み物2「愛と恐怖」	本文を再度読む。出てきた語彙の復習（1時間）	
13	『日本語カルテット』第9課 話す「申し出」	聞いた内容を踏まえて、自分の意見をまとめる。（1時間）	
14	『日本語カルテット』第9課 聞く「ペットに関する事情」	出てきた語彙の復習。聞いた内容に関連して自分の意見を書く。（1時間）	
15	『日本語カルテット』漢字チャレンジ1、上級へのチャレンジ「視点」、文法の復習	授業で習った漢字・文法項目の復習と練習問題をする。試験前の総復習（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN232
授業形態： 演習
科目名： 基礎ビジネス日本語
担当教員： 児島 由佳(KOJIMA Yuka)

【授業の紹介】

本講義は、外国人留学生在が大学で学ぶために必要な日本語能力を、初級レベル（N4～N3程度）から中級レベル（N2程度）に引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。初級から中級へ到達するには、語彙力のアップ、文型の正確な使用や状況に応じた運用が求められます。そのため、ワークブックを併用し、豊富な問題練習によって、重要表現や語彙、漢字の理解・定着を図ります。さらに、学んだ語彙や重要表現を用いて、テキストの内容に即した話題で、自分の考えを自由に発信するタスク練習を行います。「読む」「聴く」「書く」「話す」を統合させたクラス活動を通して、運用能力を高めていきます。

授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、学生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

中級レベルの文章を正確に理解できる。
中級レベルの漢字・語彙・文法を使うことができる。
自分の意見を簡単にまとめて書いたり話したりできる。

【成績の評価】

授業中の態度・積極性、小テスト、課題の提出等（60％）、定期試験（40％）で総合的に評価する。授業での小テストや課題は、添削・採点して次回の授業時に返却し、フィードバックを行う。遅刻3回で欠席1回とみなす。

【使用テキスト】

『日本語を学ぶ人たちのための日本語を楽しく読む本・中級』、産業能率大学出版部、1991年、2,000円+税

『4技能でひろがる中級日本語カルテット』、坂本正監修・安井朱美・井手友里子・土居美有紀・浜田英紀著、The Japan Times、2020年、3,000円+税

* テキストは受講者のレベルにより変更になる場合がある。

【参考文献】

必要に応じて紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容(時間)/復習内容(時間)	備考
1	『日本語を楽しく読む本』第2課「いつもとちがう」、リスニング	本文を再度読む。出てきた語彙の復習と練習問題(1時間)	
2	『日本語を楽しく読む本』第3課「賢い農夫」、リスニング	本文を再度読む。出てきた語彙の復習と練習問題(1時間)	
3	『日本語を楽しく読む本』第5課「振り向き賃」	本文を再度読む。出てきた語彙の復習と練習問題(1時間)	
4	『日本語カルテット』第7課 重要表現 : ~つつある/ ~際に/ ~てしょうがない / ~こそ/ ~からこそ/ むしろ/ ~にもかかわらず/ ~ばかり	授業で習った文型の復習と作文練習(1時間)	
5	『日本語カルテット』第7課 重要表現 : ~と同時に/ ~ことに/ Nにおける/ まさに	授業で習った文型の復習と作文練習(1時間)	
6	『日本語カルテット』第7課 書く「経験からの学び」	「経験から学んだこと」というテーマでの作文の作成(1時間)	
7	『日本語カルテット』第8課 重要表現 : ~どころか/ ~ない限り/ Nなれでは/ ~ないまでも/ ~とともに/ ~たものだ/ ~かえって	授業で習った文型の復習と作文練習(1時間)	
8	『日本語カルテット』第8課 重要表現 : ~うちに/ Nなりに/ Nにこだわる	授業で習った文型の復習と作文練習(1時間)	
9	『日本語カルテット』第8課 話す「私のおすすめ」	自分のおすすめのものの紹介文を書く。(1時間)	
10	復習・練習問題	復習テストの直しと、間違った部分の復習(1時間)	
11	『日本語カルテット』第9課 重要表現 : ~くらい/ ~に違いない/ ~たとしても/ Nなんか/ いったい/ ~か~ないか	授業で習った文型の復習と作文練習(1時間)	
12	『日本語カルテット』第9課 重要表現 : ~ということは/ ~はずがない/ ~わけがない/ ~得る・得ない/ ~もしない	授業で習った文型の復習と作文練習(1時間)	
13	『日本語カルテット』第9課 話す「最悪なできごと」	最近あったこと(恥ずかしかったこと、びっくりしたことなど)について、詳しく話すための紹介文を作成する。(1時間)	
14	『日本語カルテット』第9課 書く「小説や映画のレビュー」	おすすめの小説や映画の紹介文の作成(1時間)	
15	『日本語カルテット』漢字チャレンジ2、上級へのチャレンジ「慣用句」	授業で習った漢字や慣用句の復習。試験前の総復習(1時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN233
授業形態： 演習
科目名： 基礎ビジネス日本語
担当教員： 兎島 由佳(KOJIMA Yuka)

【授業の紹介】

本講義は、外国人留学生在が大学で学ぶために必要な日本語能力を、初級レベル（N4～N3程度）から中級レベル（N2程度）に引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。初級から中級へ到達するには、語彙力のアップ、文型の正確な使用や状況に応じた運用が求められます。そのため、ワークブックを併用し、豊富な問題練習によって、重要表現や語彙、漢字の理解・定着を図ります。さらに、学んだ語彙や重要表現を用いて、テキストの内容に即した話題で、自分の考えを自由に発信するタスク練習を行います。「読む」「聴く」「書く」「話す」を統合させたクラス活動を通して、運用能力を高めていきます。

授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、学生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

中級レベルの文章を正確に理解できる。
中級レベルの漢字・語彙・文法を使うことができる。
自分の意見を簡単にまとめて書いたり話したりできる。

【成績の評価】

授業中の態度・積極性、小テスト、課題の提出等（60％）、定期試験（40％）で総合的に評価する。授業での小テストや課題は、添削・採点して次回の授業時に返却し、フィードバックを行う。遅刻3回で欠席1回とみなす。

【使用テキスト】

『4技能でひろがる中級日本語カルテット』、坂本正監修・安井朱美・井手友里子・土居美有紀・浜田英紀著、The Japan Times、2020年、3,000円+税

*テキストは受講者のレベルにより変更になる場合がある。

【参考文献】

必要に応じて紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	これまでに習った中級文法の復習	文法の練習問題（1時間）	
2	『日本語カルテット』上級へのチャレンジ 「オノマトペ」、読み物	授業で出た「オノマトペ」の復習と練習問題 （1時間）	
3	『日本語カルテット』第11課 重要表現： ～なり～なり／～まい／～すえに／Nまで ／Nであれ／～かねない	授業で習った文型の復習と作文練習（1時間）	
4	『日本語カルテット』第11課 重要表現：N はさておき／いずれにしても／～とばかりは 言えない／Nとする／Nでも	授業で習った文型の復習と作文練習（1時間）	
5	『日本語カルテット』第11課 話す 「難 しいお願い」	難しいお願いをする会話文の作成（1時間）	
6	『日本語カルテット』第11課 話す 「類 義語の比較」、聞く「若者のコミュニケーシ ョン」	リスニングの内容を聞いた上で自分の意見を まとめて書く。（1時間）	
7	文法・語彙・漢字等の復習テスト	練習問題の直しと、間違った部分の復習（1 時間）	
8	『日本語カルテット』第10課 重要表現：N にとどまる／一方で／Nに達する／Nを超える ／Nを占める／～ながら／～ほど／Nにのぼる	授業で習った文型の復習と作文練習（1時間）	
9	『日本語カルテット』第10課 重要表現： ～つつ／～たところ／～ものの	授業で習った文型の復習と作文練習（1時間）	
10	『日本語カルテット』第10課 話す 「学 食についての提案」、聞く「格差社会」	自分の意見をまとめて書く。（1時間）	
11	『日本語カルテット』第10課 書く「デー タ分析」	振り返りと作成したものの直し（1時間）	
12	『日本語カルテット』第12課 重要表現： ～といっても／～がち／Nに応じて／～分（ だけ）／～にすぎない／～以上（は）／～う えで	授業で習った文型の復習と作文練習（1時間）	
13	『日本語カルテット』第12課 重要表現： ～そうになる／～なかれ／～ようがない ／～なり	授業で習った文型の復習と作文練習（1時間）	
14	『日本語カルテット』第12課 話す 「賛 成？反対？」	自分の意見を簡単にまとめた文章の作成（1 時間）	
15	『日本語カルテット』第12課 聞く「求め られる人材」、復習・まとめ	試験前の総復習（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN234
授業形態： 演習
科目名： 基礎ビジネス日本語
担当教員： 兎島 由佳(KOJIMA Yuka)

【授業の紹介】

本講義は、外国人留学生在が大学で学ぶために必要な日本語能力を、初級レベル（N4～N3程度）から中級レベル（N2程度）に引き上げることを目的としています。日本人学生は受講することができません。初級から中級へ到達するには、語彙力のアップ、文型の正確な使用や状況に応じた運用が求められます。そのため、ワークブックを併用し、豊富な問題練習によって、重要表現や語彙、漢字の理解・定着を図ります。さらに、学んだ語彙や重要表現を用いて、テキストの内容に即した話題で、自分の考えを自由に発信するタスク練習を行います。「読む」「聴く」「書く」「話す」を統合させたクラス活動を通して、運用能力を高めていきます。

授業全般をアクティブラーニングで構成し、問題練習においても、学生間で自由に意見を出し合って正解を導き出します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

中級レベルの文章を正確に理解できる。
中級レベルの漢字・語彙・文法を使うことができる。
自分の意見を簡単にまとめて書いたり話したりできる。

【成績の評価】

授業中の態度・積極性、小テスト、課題の提出等（60％）、定期試験（40％）で総合的に評価する。授業での小テストや課題は、添削・採点して次回の授業時に返却し、フィードバックを行う。遅刻3回で欠席1回とみなす。

【使用テキスト】

『4技能でひろがる中級日本語カルテット』、坂本正監修・安井朱美・井手友里子・土居美有紀・浜田英紀著、The Japan Times、2020年、3,000円+税
*テキストは受講者のレベルにより変更になる場合がある。

【参考文献】

必要に応じて紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	これまでに習った中級文法の復習	文法の練習問題（1時間）	
2	『日本語カルテット』上級へのチャレンジ 「オノマトペ」、読み物	授業で出た「オノマトペ」の復習と練習問題 （1時間）	
3	『日本語カルテット』第11課 読み物1「 言葉の裏にあるもの」	本文を再度読む。出てきた語彙の復習（1時 間）	
4	『日本語カルテット』第11課 読み物2「 二重人格者の会話 日本語の復権」	本文を再度読む。出てきた語彙の復習（1時 間）	
5	『日本語カルテット』第11課 書く「日本 語と母語の違い」	日本語と母語の違いについての作文の仕上げ （1時間）	
6	『日本語カルテット』第11課 話す 「類 義語の比較」	スピーチ文の作成（1時間）	
7	文法・語彙・漢字等の復習テスト	練習問題の直しと、間違った部分の復習（1 時間）	
8	『日本語カルテット』第10課 読み物1「 結婚・子育て、夢描きにくく」	本文を再度読む。出てきた語彙の復習（1時 間）	
9	『日本語カルテット』第10課 読み物2「 日本人が政府に期待するもの」	本文を再度読む。出てきた語彙の復習（1時 間）	
10	『日本語カルテット』第10課 話す 「面 接」	面接に答える練習（1時間）	
11	『日本語カルテット』第10課 書く「デー タ分析」	グラフを説明する文を書く。（1時間）	
12	『日本語カルテット』第12課 読み物1「 奇跡の職場 新幹線清掃チームの”働く誇り ”」	本文を再度読む。出てきた語彙の復習（1時 間）	
13	『日本語カルテット』第12課 読み物2「 あらしのよるに」	本文を再度読む。出てきた語彙の復習（1時 間）	
14	『日本語カルテット』第12課 話す 「別 れ」	別れの挨拶（簡単なスピーチ）の練習（1時 間）	
15	『日本語カルテット』第12課 話す 「賛 成？反対？」	ミニディベートの準備（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN332
授業形態： 演習
科目名： ビジネス外国語（日本語）
担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

本講義は、日本国内または海外の日本企業に就職を希望する外国人留学生を対象とした「ビジネス日本語」の授業です。日本人学生は受講することができません。

企業のグローバル化が進むなか、日本企業、海外の日系企業は、日本語を話せ、日本社会に精通している留学生をグローバル人材・ブリッジ人材と位置づけ、積極的に採用しはじめました。しかし就職した人からは、「電話対応ができない」「報告書が書けない」「日本人の同僚・上司とのコミュニケーションがうまくできない」などの悩みの声が多く聞かれます。

「ビジネス日本語」では、まず日本の一般常識、敬語の使い方、ビジネスマナーについて学習し、電話対応の練習をします。

授業全般をアクティブラーニングで構成し、ロールプレイを通して、ビジネスに必要な日本語能力、コミュニケーション能力、実用的な語彙・表現と情報処理能力、課題遂行能力を身につけます。

なお、関連科目として「日本語」「日本語」「日本語」「日本語」が既習であることを前提とします。また、関連科目の「ビジネス日本語」を続けて受講してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

日本社会と日本ビジネスの基本を理解できる。
ビジネスに相応しい語彙・表現を使うことができる。
基本的な電話対応ができる。

【成績の評価】

授業中の発表（50%）、レポート・小テスト（50%）

レポート・小テストは、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。

遅刻3回で欠席1回とみなす。

【使用テキスト】

『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』長沼スクール東京日本語学校編、国書刊行会、2018年、1,800円+税

【参考文献】

『クローズアップ日本事情15 日本語で学ぶ社会と文化』佐々木瑞枝著、the japan times、2017年、2,500円+税

『しごとの日本語 ビジネスマナー編』釜淵優子著、アルク、2008年、2,000円+税

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
2	日本事情	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
3	日本の一般マナーについて	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
4	敬語の使い方	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
5	ビジネスマナーについて	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
6	ビジネスの基本；あいさつ、指示の受け方、報告・連絡・相談	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
7	接客・訪問	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
8	電話 電話を受ける	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
9	電話 電話をかける	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
10	電話 伝言メモをとる	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
11	電話 アポイントをとる	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
12	ビジネスメール 社内一斉メール	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
13	ビジネスメール 社外メール 依頼・問い合わせ	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
14	ビジネスメール 社外メール 回答（受領・承諾・断り）	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
15	ビジネスメール 社外メール お礼・お詫び	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくること。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN333
授業形態： 演習
科目名： ビジネス外国語（日本語）
担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

本講義は、日本国内または海外の日本企業に就職を希望する外国人留学生を対象とした「ビジネス日本語」の授業です。日本人学生は受講することができません。
企業のグローバル化が進むなか、日本企業、海外の日系企業は、日本語を話せ、日本社会に精通している留学生をグローバル人材・ブリッジ人材と位置づけ、積極的に採用しはじめました。しかし就職した人からは、「電話応対ができない」「報告書が書けない」「日本人の同僚・上司とのコミュニケーションがうまくできない」などの悩みの声が多く聞かれます。
「ビジネス日本語」では、まずビジネスメール、ビジネス文書の書き方を練習します。その後ビジネスシーンで必ず出会う状況を「読解」「聴解」「聴読解」の問題形式を通して学びながら、「聞く・読む・話す・書く」四技能を総合的に伸ばします。
授業全般をアクティブラーニングで構成し、ロールプレイを通して、ビジネスに必要な日本語能力、コミュニケーション能力、実用的な語彙・表現と情報処理能力、課題遂行能力を身につけます。
なお、関連科目として「日本語」「日本語」「日本語」「日本語」「ビジネス日本語」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

基本的なビジネスメール、ビジネス文書を書くことができる。
ビジネスシーンに応じたコミュニケーションができる。
スケジュール調整ができる。

【成績の評価】

授業中の発表（50%）、レポート・小テスト（50%）
レポート・小テストは、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。
遅刻3回で欠席1回とみなす。

【使用テキスト】

『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』長沼スクール東京日本語学校編、国書刊行会、2018年、1,800円+税

【参考文献】

『新装版ビジネスのための日本語 初中級』米田隆介・藤井和子・重野美枝・池田広子共著、スリーエーネットワーク、2006年、2,800円+税
『日本語ビジネス文書マニュアル』奥村真希・安河内貴子著、アスク、2007年、1,500円+税
『タスクで学ぶ日本語 ビジネスメール・ビジネス文書』村野節子・向山陽子・山辺真理子著、スリーエーネットワーク、2014年、1,400円+税

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ビジネスメール 社内一斉メール	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
2	ビジネスメール 社外メール 依頼、問い合わせ	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
3	ビジネスメール 社外メール 回答（受領・承諾・断り）	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
4	ビジネスメール 社外メール お礼、お詫び	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
5	ビジネス文書 ビジネス文書の基本	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
6	ビジネス文書 社内向け	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
7	ビジネス文書 社外向け	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
8	許可 上司に許可を求める	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
9	許可 取引先の意向を尋ねて許可を求める	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
10	依頼 上司・同僚に頼む	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしていくこと。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		の発表内容を修正すること。（1時間）	
11	依頼 取引先に頼む	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくる。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
12	報告 上司に報告する	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくる。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
13	提案 自分の意見を言う	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくる。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
14	スケジュール調整	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくる。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
15	BJT模擬テスト	授業で習得した語彙・表現を使ってロールプレイ等のグループワークを行うので、グループメンバーで発表の準備をしてくる。また、授業中の発表については、受講生全員で批評を行うので、それを参考にしてグループの発表内容を修正すること。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS112
授業形態： 講義
科目名： 企業論
担当教員： 井藤 正信(ITO Masanobu)

【授業の紹介】

現代の資本主義社会においては、企業を抜きに生活を営むことはほぼ不可能である。すなわち、我々の生活は企業の様々な活動によって維持されている。言い換えると、企業が行う製品やサービスの生産と供給によって我々の生活は支えられており、そうした機能を果たしかつ利潤を獲得しつつ誠実に果たすことが企業には求められている。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

本講義においては、次の事柄を理解することに努める。
資本主義社会とは何か、産業とは何か、業種とは何か、企業とは何かといった用語が理解できる。
企業と社会の関係について理解できる。
企業と消費者との関係が理解できる。
企業の社会的責任についてが理解できる。

【成績の評価】

授業中に課した小テストや質疑応答についての評価（40％）と定期試験の成績（60％）とをあわせて総合的に評価する。なお、期末試験では、試験終了後に模範解答を提示し、内容の解説を行う。また、他の経営関連科目を受講する場合に本科目で得た知見を活用してもらいたい。なお、小テストは授業中に2回ほど行うことも考えている。授業計画では、小テストは2回ということになっているが、授業の進捗状況によっては回数は変わることもある。また、レポートや小テストによってフィードバックを行う。

【使用テキスト】

海野博・森山一郎・井藤正 [著] 『やさしく学べる経営学』（第3版）創成社、2024年4月、価格3100円＋税（予定） ISBN978-4-7944-2627-7

【参考文献】

図書館にあるできるだけ新しい経営の入門書。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス：講義の概要、課題レポートの書き方、成績評価の仕方など	シラバスを読んでできれば事前に担当教員にどのような予習をすればいいかを聞き、それに基づいて予習する（2時間）/担当教員の指示に基づいて予習をする（2時間）	
2	産業や業種とは何か 産業や業種についての全般的な理解	予習としては産業や業種について教科書に沿って勉強する。（2時間）/復習として教員がコメントした内容を整理してノートに記入する。疑問点を書き留め、後ほど担当教員に質問する（2時間）	
3	産業や業種とは何か 産業についての理解 - 産業区分について-	予習として教科書を熟読し、産業区分についてノートに重要な点を書き留め、授業に備える（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した産業についての内容をノートにまとめる（2時間）	
4	産業や業種とは何か 業種についての理解 - 業種区分について-	予習としては業種区分について教科書に沿って勉強する（2時間）/復習として教員がコメントした産業や業種についての内容を整理してノートに記入する（2時間）	
5	第一次産業、第二次産業、第三次産業についての理解	予習としては第一次、第二次、第三次の産業区分について教科書を熟読しノートに重要だと思われる点を書き留める。（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、場合によっては次回の授業で担当教員に質問する（2時間）	
6	産業の高度化についての理解 ペティ・クラークの法則-	予習としては産業の高度化について教科書に沿って勉強する。（1時間）/復習として教員がコメントした内容を整理してノートに記入する。（1時間）	
7	資本主義社会とは何か 資本主義の歴史と市場経済	予習としては資本主義社会の発展過程を教科書に沿って勉強する。（2時間）/復習として教員がコメントした内容を整理してノートに記入する。（2時間）	
8	資本主義社会とは何か 市場における価格決定メカニズム-需要と供給について-	予習として教科書を熟読し、ノートに重要な点を書き留め、授業に備える（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、場合によっては次回の授業で担当教員に質問する（2時間）	
9	企業と消費者との関係	予習としては企業と消費者について教科書に沿って勉強する。大事な点はノートに書き留める（2時間）/復習として教員がコメントした企業と消費者との関係の内容を整理してノートに記入する。（2時間）	
10	企業の社会的責任	予習としてはアメリカ経営管理の発展過程を教科書に沿って勉強する。（2時間）/復習として教員がコメントした内容を整理してノートに記入する。（2時間）	
11	これまでの復習及び小テスト。テストの解説 質問への回答	予習として次回実施する授業内容を教科書などを読んでノートにまとめる（2時間）/復習として小テストで間違った解答についてなぜ間違えてしまったかを考える（2時間）	
12	現代社会と企業-日本企業の現在の位置-	予習としては日本企業の発展過程を教科書に沿って勉強する。（2時間）/復習として教員がコメントした現代社会の諸問題についての内容を整理してノートに記入する。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
13	現代社会と企業-世界競争と多国籍企業-	予習としては多国籍企業の発展過程を教科書に沿って勉強する。(2時間)/復習として教員がコメントした現代社会と企業との関わりについての内容を整理してノートに記入する。(2時間)	
14	企業とステークホルダーの関係と小テスト 質問への回答	予習として次回が総まとめなのでこれまでの授業内容を教科書などを読んでノートにまとめる(2時間)/復習として小テストで間違った解答についてなぜ間違えてしまったかを考える(2時間)	
15	これまでのまとめ(定期試験の説明、課題レポートの完了確認、質疑応答、等々)	予習としてはこれから学ぶ他の経営学の授業に資する内容をまとめておく(2時間)/復習としてはこれまで本授業で学んだことをまとめ、定期試験に備える(2時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS314
授業形態： 講義
科目名： 経営史
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

本講義は、日本・アメリカ・欧州における経営の歴史を学ぶことを目的にしている。経営の歴史とは必ずしも「社史」、特に「自社の歴史を外部に公開するものとしての社史」を意味するものではない。即ち、必然性のない外部環境の激変に伴う企業危機を、「内部資源の活用により乗り越えたストーリー」から「普遍的理論」を導出することを目的とする。

本講義は、第4回の講義以降に、学生による報告(個人・グループ)での報告およびそれに対する他の学生からの質疑応答、その後の教員からの講評という形式でのアクティブラーニングを実施する。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

江戸時代末期の商業は鎖国の中であってどのように成熟していったかが理解できる。
初期資本主義企業の経営はどのような特徴があり、それがどのように発展したかが理解できる。
アメリカにおける近代企業がどのような特徴を持って発展したかが理解できる。
第2次大戦後世界中から注目されてきた、いわゆる日本的経営がどのような特色を持っていたか、それが近年どうして大きく変貌したかが理解できる。

【成績の評価】

2回の報告と感想の提出(80%)と講義における積極性(20%)で成績評価を行う。報告に関しては、その場でフィードバックを行い、積極性に関しては最後の講義で希望者に説明を行う。また、2回の報告と感想の評価方法に関しては、第1回目と第2回目の講義の中で説明する。

【使用テキスト】

テキストは指定しない。

【参考文献】

安部悦夫著 『経営史(第2版)』 日本経済新聞社、2010年。
宮本又郎他編著 『1からの経営史』 碩学社、2014年。
佐々木聡編著 『グラフィック経営史』 新世社、2022年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンスとイントロダクション：グループ決め、報告テーマの相談、クラスルームへの登録	【予習】：四国に有る企業を1社調べ、その企業の特徴についてA4:1枚に800字程度でまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当部分を埋めておくこと(2時間)。	
2	報告に関する詳細な説明：報告テンプレートの説明など	【予習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当部分を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当部分を埋めておくこと(2時間)。	
3	経営史研究の意義と課題：社史との差異、企業の成長・衰退に法則性は存在するのか？	【予習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当部分を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第3回の講義で配布したワークシートの該当部分を埋めておくこと(2時間)	
4	江戸時代までの商業と商人：日本における商業史	【予習】：第3回の講義で配布したワークシートの該当部分を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第4回の講義で配布したワークシートの該当部分を埋めておくこと(2時間)	
5	江戸時代における商業と商人：日本三大商人の歴史	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。 【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。	
6	江戸時代における商業と商人：ナラティブとしての「三方よし」	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。 【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。	
7	南北戦争から戦間期におけるアメリカ企業の展開	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。 【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。	
8	世界大戦後のアメリカ企業の凋落と産業転換	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。 【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。	
9	欧州企業の発展：ドイツの企業・オーストリアの企業	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。 【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。	
10	欧州企業の発展：イギリスの企業・フランスの企業	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。 【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
11	明治期における日本企業	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間) 。【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間) 。	
12	大正・昭和初期における日本企業	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間) 。【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間) 。	
13	戦後の日本企業	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間) 。【復習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間) 。	
14	コロナ禍における日本企業	【予習】：所定の回の報告資料の作成、報告原稿の作成、報告の練習を行うこと(2時間) 。【復習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
15	これまでのまとめ(報告の完了確認、質疑応答、等々)	【予習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第15回で説明した最終課題を作成し、期限内に提出すること(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS212
授業形態： 講義
科目名： 経営管理論
担当教員： 井藤 正信(ITO Masanobu)

【授業の紹介】

講義では、経営管理の概念 = コンセプトについての理解からはじめる。概念 = コンセプトという、難しいのだが、要するに「経営管理とは何か」ということを受講者に理解してもらうことから出発する。英語でBusiness Managementというように、企業における管理とは何かについての講義が中心になる。もちろん、経営学の初学者でも理解できるように、できるだけ平易な言葉を用いるように心がけ、学位授与方針にかなうよう指導することに努める。価値観が多様化している今日では、多様性を有する組織をどのようにまとめていくかを管理者が問われることが多くなる。そうした状況の下で管理者がどのようにリーダーシップを発揮しなければならないかについても本講義では触れることになる。ただ、受講生が熱心に受講しないと結局は内容について理解できないまま終わってしまうことになる。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904 ~ 202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904 ~ 202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

経営管理について基本的なことが理解できる。
経営管理で用いられているキータームについて理解できる。
経営管理について他の人に説明できる。
社会や組織の諸課題を自ら発見し、論理的に分析しかつ考察できる。

【成績の評価】

授業中に課した小テストや質疑応答についての評価（40%）と定期試験の成績（60%）とをあわせて総合的に評価する。なお、定期試験終了後に、模範解答を提示し、その解説を行う。それが今後受講する経営関連科目の理解につながることを説明する。また、レポートや小テストによってフィードバックを行う。

【使用テキスト】

海野博・森山一郎・井藤正 [著] 『やさしく学べる経営学』（第3版）創成社、2024年4月、価格3100円 + 税（予定） ISBN978-4-7944-2627-7

【参考文献】

図書館にある経営学の入門書を読んでおくことが望ましい

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス：教員のスケジュール上の都合や進度との関係によって変更の可能性も一部ある。	予習としてはシラバスを読んでできれば事前に担当教員にどのような予習をすればいいかを聞き、私事に基づいて勉強する（2時間）／担当教員の指示に基づいて予習をする（2時間）	
2	経営管理の対象について 一般組織	予習として次回実施する授業内容を教科書などを読んでノートにまとめる（2時間）／復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、担当教員に質問する（2時間）	
3	経営管理の対象について 企業	予習として経営管理の対象である企業について事前に調べ、それをノートに記入しておく。（2時間）／復習として経営管理の対象である一般組織を整理してノートに記入する。（2時間）	
4	経営管理の歴史	予習として担当教員が指示した個所である経営管理の歴史を教科書を読んでノートに簡単にまとめる。（2時間）／復習として実際の授業で担当教員が話した経営管理の内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、場合によっては次回の授業で担当教員に質問する（2時間）	
5	アメリカの経営管理の発展 テイラー	予習としてはアメリカ経営管理の発展過程を教科書に沿って勉強する。（2時間）／復習としてはアメリカ経営管理の授業で習ったところをノートで確認する。（2時間）	
6	アメリカの経営管理の発展 フォードシステム	予習としてはフォードシステムについて事前に調べ、それをノートに記入しておく（2時間）／復習としてアメリカの経営管理の発展過程を整理してノートに記入する（2時間）	
7	アメリカの経営管理の発展 人間関係論	予習として次回の内容について、教科書を熟読しノートに重要だと思われる点を書き留める（2時間）／復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、場合によっては次回の授業で担当教員に質問する（2時間）	
8	アメリカの経営管理の発展 行動科学的管理論	予習としてはアメリカ経営管理の発展過程を教科書に沿って勉強する。（2時間）／復習としてはアメリカ経営管理の授業で習ったところをノートで確認する。（2時間）	
9	小テスト 質問への回答 ディスカッション これまでの授業の復習	予習として次回実施する授業内容を教科書などを読んでノートにまとめる（2時間）／復習として小テストで間違った解答についてなぜ間違えてしまったかを考える（2時間）	
10	日本の経営管理の発展 アメリカ的手法の導入	予習としては日本の経営管理の発展過程を教科書に沿って勉強する（2時間）／復習としては日本の経営管理の発展過程について授業で習ったところをノートで確認する（2時間）	
11	日本の経営管理の発展 品質管理	予習として消費者の行動について事前に調べ、それをノートに記入しておく。（2時間）／復習として産業、業種、企業のそれぞれの概念を整理してノートに記入する。（2時間）	
12	日本の経営管理の発展 事業部制	予習としては日本の経営管理の発展過程を教科書に沿って勉強する（2時間）／復習としては日本の経営管理の発展過程で授業で習った	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ところをノートで確認し整理する（2時間）	
13	現代日本企業の経営管理 問題点	予習として消費者の行動について事前に調べ、それをノートに記入しておく（2時間）/復習として産業、業種、企業のそれぞれの概念を整理してノートに記入する（2時間）	
14	小テスト 質問への回答 ディスカッション これまでの授業の復習	予習として次回実施する授業内容（総まとめ）を教科書などを読んでノートに簡単に整理しておく（2時間）/復習として小テストで間違った解答についてなぜ間違えてしまったかを考える（2時間）	
15	これまでの授業内容、特に経営管理の歴史と実際の経営管理についての復習とまとめ	予習としてはこれから学ぶ他の経営学の授業に資する内容をまとめておく（2時間）/復習としてはこれまで本授業で学んだことをまとめ、定期試験に備える（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS214
授業形態： 講義
科目名： 生産管理論
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

企業の中心機能は「生産」である。企業は、最初の投下資本である貨幣を調達市場において商品である生産要素と交換する。生産要素は、労働力と生産手段からなり、それらを用いて「生産」が行われ、生産物が「生産」される。生産物としての商品は販売市場で販売され、企業は貨幣を得る。その際に、最初に投下した貨幣よりも多い貨幣を市場から回収することを目指す。この部分が利益である。このようなプロセスが繰り返し行われるのが、企業である。本講義においては、この「生産」に焦点を当てて講義を行う。

前半の講義では、生産の疑似体験を通じて、生産要素について学習を行う。後半の講義においては、生産計画、生産統制、生産方式を具体的に検討するとともに、QCDを向上させる生産管理や、生産体質の改善、そしてこれからの生産管理について講義を行い、企業における生産管理と今後、生産管理がどのように変容していくのかを検討する。

2024年度より、生産を疑似体験するために、グループによる製作体験を導入する。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

「企業」と「生産」の関係を理解することで、現代社会に欠かすことのできない存在である企業は、どのような存在であるのかを把握することができる。

利益を生む企業体質を構築するために必要な生産管理の基礎を理解することができる。

工場や現場で、どのようにすれば「生産性」を向上させることができるかを理解することができる。

【成績の評価】

グループでの活動とグループで作成したワークシート(60%)、課題レポートの内容(30%)、そして、授業の積極性と態度(10%)で評価を行う。

課題レポートについては、採点基準を講義の中で明示し、それに従って採点を行い、希望する学生には点数を開示する。また、優秀なレポートについては講義の最中にフィードバックを行う。

グループで作成したワークシートについては、第15回の講義で点数を希望者には開示する。

【使用テキスト】

指定しない。

【参考文献】

菅間正二 [2003], 『図解 よくわかるこれからの生産管理』 同文館出版 1,700円 + 税 ISBN-13: 978-4495563011.

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	イントロダクション(講義目標、講義概要、成績評価の説明、クラスルームへの登録、簡単な確認)	【予習】：身の回りにおける工業製品がどのように生産されているのかについて調べ、その内1つを第1回の講義でクラスルームで提出できるようにしておくこと(2時間)。 【復習】：第1回の講義でワークシートを配布するので、該当箇所を埋めたうえで、第2回の講義に持参すること(2時間)。	
2	生産管理実習：概要の説明・グループ決め・役割分担など	【予習】：第1回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第2回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第2回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第3回の講義に持参すること(2時間)。	
3	生産管理実習：グループでの制作プロセス	【予習】：第2回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第3回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第3回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第4回の講義に持参すること(2時間)。	
4	生産管理実習：前半グループでの制作プロセス/後半振り返り	【予習】：第3回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第4回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第4回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第5回の講義に持参すること(2時間)。	
5	生産管理実習：第2回と第3回の振り返り	【予習】：第4回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第5回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第5回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第6回の講義に持参すること(2時間)。	
6	連関図の作成：作成方法の説明と作成の練習	【予習】：第5回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第6回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第6回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第7回の講義に持参すること(2時間)。	
7	連関図の作成：「ムダどり」を前提とした連関図の作成	【予習】：第6回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第7回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第7回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第8回の講義に持参すること(2時間)。	
8	連関図の報告：前半チームの報告と講評	【予習】：第7回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第8回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第8回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第9回の講義に持参すること(2時間)。	
9	連関図の報告：後半チームの報告と講評	【予習】：第8回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第9回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第9回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第10回の講義に持参すること(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		上、必要箇所を埋めて、第10回の講義に持参すること(2時間)。	
10	農業経営と6次産業化 - 農業の「生産性」を向上させる方法 -	【予習】：第9回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第10回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第10回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第11回の講義に持参すること(2時間)。	
11	儲かる会社のハウレンソウ - 現場での「生産性」の向上の方法 -	【予習】：第10回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第11回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第11回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第12回の講義に持参すること(2時間)。	
12	サービス産業と「生産性」の向上 - サービスの特徴と -	【予習】：第11回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第12回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第12回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第13回の講義に持参すること(2時間)。	
13	サービス産業と「生産性」の向上 - 中小製造業のサービス化戦略 -	【予習】：第12回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第13回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第13回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第14回の講義に持参すること(2時間)。	
14	サービス業におけるIE活用方法 - 現場での「生産性」の向上方法 -	【予習】：第13回の講義でワークシートを配布するので該当箇所を埋めたうえで、第14回の講義に必ず持参すること(2時間)。 【復習】：第14回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第15回の講義に持参すること(2時間)。	
15	これまでのまとめ(課題レポートの完了確認、質疑応答、等々)	【予習】：第14回の講義で実習のためのワークシートを配布するので、グループで相談の上、必要箇所を埋めて、第15回の講義に持参すること(2時間)。 【復習】：これまでの総括をノートにまとめておくこと(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS213
授業形態： 講義
科目名： 経営組織論
担当教員： 井藤 正信(ITO Masanobu)

【授業の紹介】

本講義は経営組織とは何かを理解することから出発する。組織といっても、対象はいわゆる一般組織ではなく、経営組織という以上、企業組織に限定する。そのため、企業とは何かという前提を理解しておく必要がある。そうした理解を前提として、組織論の創始者であるC.I.バーナードの組織についての定義からはじまり、いくつかの組織理論について説明する。そして、続いて現実の企業ではどのような組織が存在しているかを論じ、それらの長所や短所の理解に努める。一見すると、組織論は難しいように思われているが、本講義ではできるだけ実例を多く紹介し、やさしく解説する。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

経営組織に関する基本的な知識を獲得できる。
より具体的に言えば、経営組織について基本的なことを理解し、説明できる。
経営組織で用いられるキータームについて理解できる。
本授業で得られた知見によって社会や組織の諸課題を自ら発見し、論理的に分析し考察することができる。

【成績の評価】

授業中に課した小テストや質疑応答についての評価（40％）と定期試験の成績（60％）とをあわせて総合的に評価する。なお、定期試験では、試験終了後に模範解答を提示し、内容の解説を行う。また、他の経営関連科目を受講する場合に本科目で得た知見を活用してもらいたい。また、レポートや小テストによってフィードバックを行う。

【使用テキスト】

海野博・森山一郎・井藤正 [著] 『やさしく学べる経営学』（第3版）創成社、2024年4月、価格3100円＋税（予定） ISBN978-4-7944-2627-7

【参考文献】

C.I.バーナード『経営者の役割』、ダイヤモンド社、1967年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス：教員の自己紹介と2回目以降の授業予定を簡潔に説明する。また、定期試験と評価方法について説明する。	シラバスを読んでできれば事前に担当教員にどのような予習をすればいいかを聞き、それに基づいて予習する（2時間）/担当教員の指示に基づいて予習をする（2時間）	
2	経営組織の対象について 一般組織	予習として教科書を熟読し、経営組織の対象についてノートに重要な点を書き留め、授業に備える。（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、場合によっては次回の授業で担当教員に質問する（2時間）	
3	経営組織の対象について 企業組織	予習として教科書を熟読し、経営組織論を理論的に学ぶ上で重要な点を書き留め、授業に備える。（1時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、場合によっては次回の授業で担当教員に質問する（2時間）	
4	経営組織論の理論的検討	予習として担当教員が指示した個所を教科書を読んでノートに簡単にまとめる（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した経営組織論の内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックする（2時間）	
5	アメリカにおける組織論の発展	予習としてアメリカの組織論について事前に調べ、それをノートに記入しておく（2時間）/経営組織論の諸理論を整理してノートに記入する（2時間）	
6	古典的組織論 小テスト 解説と質問に答える。	予習として次回の内容について、教科書を熟読しノートに重要だと思われる点を書き留める（2時間）/復習としては小テストの内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックする（2時間）	
7	近代的組織論	予習として教科書を熟読し、近代的組織論の重要な点を書き留め、授業に備える（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、近代的組織論で理解できなかった点をチェックする（2時間）	
8	バーナード理論について理解を深める	予習として教科書を熟読し、バーナード理論の重要な点を書き留め、授業に備える。（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、場合によっては次回の授業で担当教員に質問する（2時間）	
9	小テスト 質問に答える。 ディスカッション	予習として次回実施する授業内容を教科書などを読んでノートにまとめる（2時間）/復習として小テストで間違った解答についてなぜ間違えてしまったかを考える（2時間）	
10	日本の企業組織の発展	予習として教科書を熟読し、日本の企業組織の重要な点を書き留め、授業に備える（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックする（2時間）	
11	事業部制	予習として事業部制について事前に調べ、それをノートに記入しておく（2時間）/復習としては日本の企業組織の発展を整理してノー	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		トに記入する（2時間）	
12	企業の水平的統合	予習として教科書を熟読し、企業の水平的統合の重要な点を書き留め、授業に備える（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめる（2時間）	
13	企業の垂直的統合	予習としては次回の内容である企業の垂直的統合について、教科書を熟読しノートに重要だと思われる点を書き留める（2時間）/復習として実際の授業で担当教員が話した内容をノートにまとめるとともに、理解できなかった点をチェックし、場合によっては次回の授業で担当教員に質問する（2時間）	
14	日本における企業再編 小テスト 質問 ディスカッション	予習として企業再編についての内容を教科書などを読んでノートにまとめる（2時間）/復習として小テストで間違った解答についてなぜ間違えてしまったかを考える（2時間）	
15	これまでの講義内容の復習とまとめ まとめでは、重点内容を整理するとともに、専門用語の理解の確認に努める。	予習としてはこれから学ぶ他の経営学の授業に資する内容をまとめておく（2時間）/復習としてはこれまで本授業で学んだことをまとめ、定期試験に備える（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS243
授業形態： 講義
科目名： スモールビジネス論
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

本講義では個人経営の「飲食店」や「洋服店」、コンビニなどの「フランチャイズ店舗」を「スモールビジネス」として定義し、これらの店舗運営に欠かせない在庫管理、損益計算、売上予想などについての知識を獲得する講義として設計されている。さらに「データに基づく経営」を実践するトレーニングのため、ビジネスゲームを活用している。ビジネスゲームでは他店舗と競争しつつ、より優れた経営を目指してグループで店舗運営に取り組む。そして、グループでパワーポイントを作成し、報告を行うというアクティブラーニングを採用する。また、ビジネスゲームの勝ち負けのみで、成績をつけるわけではないことを明記しておく。本講義においては、横浜国立大学が管理するYBG(Yokohama Business Game)のサーバおよび講義担当者が用意したサーバを利用する。そして、高等学校教諭一種免許状(商業)取得のための選択科目である。

2019年度のスモールビジネス論において、「ビジネスゲームにより真剣に取り組むためには何が必要なのか」について学生より多数の意見が出た。それらの意見及び2021年度に履修する学生の意見を踏まえ、インセンティブを設定する予定である。このインセンティブという概念は、企業においても必要不可欠なものであるため、大学における教育の範疇を逸脱しない範囲で、且つ民主的な方法で決定する予定である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. データから企業の現状を読み取ることができる。
2. チームで協力してデータを分析し、将来の予測を立てることができる。
3. 市場のメカニズムを推測し、最大の利益を追求することができる。
4. 他者の戦略を推測し、適切な対策を取ることができる。

【成績の評価】

グループの意思決定への参加(50%)、発表資料作成および発表(50%)。そして、報告資料の発表に関しては、講義中に評価に関してのフィードバックを実施する予定である。

【使用テキスト】

各講義において資料を配布する。

【参考文献】

ED WEENK著/河合亜矢子・細田高道・中塚昭宏・小林知行・山本圭一・隈田樹一郎・丹治秀明・尹蘭翻訳 [2022], 『ビジネスゲームで学ぶサプライチェーンマネジメント 原理原則と演習、そして実業務への応用』 同友館 ISBN-13: 978-4496055775。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス、簡単な確認、イントロダクション、クラスルームへの登録	【予習】：身近な飲食店を1つあげ、その店舗の付近の家賃をインターネットを用いて調べ、その店舗の家賃を推測し、ノートやメモ帳にまとめておいてこと(2時間)。 【復習】：第1回の講義で全学生に配布するワークシートの該当欄を第2回講義開始までに埋めておくこと(2時間)。	
2	スモールビジネスの定義と課題、グループ決め、グループでのディスカッション	【予習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
3	経営シミュレータによるシミュレーションの実施	【予習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第3回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
4	グループでのディスカッション	【予習】：第3回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第4回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
5	グループでのディスカッション	【予習】：第4回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第5回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
6	スモールビジネスのプラン報告：チームの報告	【予習】：第5回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第6回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
7	スモールビジネスのプラン報告：チームの報告	【予習】：第6回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第7回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
8	スモールビジネスのプラン報告：チームの報告	【予習】：第7回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
9	スモールビジネスのプラン報告の振り返り	【予習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第9回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
10	ビジネス・ゲームの説明・プレゲーム	【予習】：第9回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第10回の講義で配布したワーク	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		シートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
11	ビジネス・ゲームの実施 : 前半のチーム	【予習】：第10回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第11回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
12	ビジネス・ゲームの実施 : 後半のチーム	【予習】：第11回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第12回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
13	OAGの実施 : 前半のチーム	【予習】：第12回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第13回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
14	OAGの実施 : 後半のチーム	【予習】：第13回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
15	これまでのまとめとフィードバック、成績の確認など	【予習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：これまでのまとめをノートにまとめておくこと(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS242
授業形態： 講義
科目名： 起業家論
担当教員： 村山 昂

【授業の紹介】

本講義の目的は、アントレプレナーやアントレプレナーシップに関する基本的な理論や概念を学ぶことにあります。ここでは、新しいビジネス機会を追求する中でアントレプレナーが直面する課題を取り上げ、それらの課題と関連する議論を解説することで、アントレプレナーやアントレプレナーシップに関する基本的な知識の習得を目指します。

国際競争力が低下し続けているとされる日本にとって、アントレプレナーやアントレプレナーシップは、経済を活性化するための重要なカギの一つです。新しいビジネス機会を追求するアントレプレナーは、イノベーションを主導し、雇用を生み出すことで、経済成長に貢献すると考えられています。また、国レベルだけではなく企業レベルで考えた場合にも、アントレプレナーは成長などに影響を及ぼす重要な存在です。そのために、アントレプレナーやアントレプレナーシップに関する理論や概念を学び、基本的な知識を理解しておくことには、これからの社会を生きていく上で大きな意味があると言えるでしょう。

関連科目としては経営学関連科目(「経営戦略論」や「経営組織論」など)や「中小企業論」があるため、それらの科目を履修すると、それぞれの講義の内容をより理解しやすくなると考えられます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. アントレプレナーやアントレプレナーシップに関する基本的な理論や概念を理解し、説明できる。
2. アントレプレナーが直面する課題について、講義で学んだ知識を使って考察できる。
3. アントレプレナーやアントレプレナーシップに関するニュースに興味を持つことができる。

【成績の評価】

平常点(40%)と定期試験(60%)を総合して評価します。

平常点では、講義中に示した課題や小テストへの取り組み、講義中の発言などを評価します。課題や小テストについては、次回講義での簡潔な講評を通じて、フィードバックを行う予定です。講義中、他の学生の学習を妨げる不適切な言動があった場合には、減点・退室・落第などの可能性があります。

定期試験期間中に定期試験を実施します。

本講義の単位を取得するためには、定期試験を受ける必要があります。

なお、大学の規定により、欠席回数が一定回数を超えた場合には、単位を取得することができません。

【使用テキスト】

テキストは使用しません。必要に応じて講義資料を配布予定です。

【参考文献】

忽那憲治・長谷川博和・高橋徳行・五十嵐伸吾・山田仁一郎 (2022). 『アントレプレナーシップ入門 [新版] ベンチャーの創造を学ぶ』有斐閣ストゥディア.
清水洋 (2022). 『アントレプレナーシップ』有斐閣.

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本講義の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを読み、本講義の進め方などに関する質問の有無を確認する(2時間)。 復習：講義資料を読み返し、本講義の進め方や内容を再度確認する(2時間)。	
2	アントレプレナーシップの基本 アントレプレナーシップとは何か	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
3	新しいビジネス機会の追求 新しいビジネス機会の探索・発見	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
4	新しいビジネス機会の追求 新しいビジネス機会の評価	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
5	新しいビジネス機会の追求 アイデアの考案と展開	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
6	新しいビジネス機会の追求 ビジネスモデルの構築	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
7	戦略・組織の検討 何をどのように売るのか	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
8	戦略・組織の検討 誰にどのように認知されるのか	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
9	戦略・組織の検討 競争優位の構築	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
10	戦略・組織の検討 組織マネジメント	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
11	資金繰りの検討 資金調達	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
12	資金繰りの検討 キャッシュフローの管理	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
13	次のステップの検討 成長戦略	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
14	次のステップの検討 出口戦略	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
15	本講義のまとめ 要点の整理と質疑応答	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：期末試験に向けて、講義で学んできた内容を全て振り返る(3時間)。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS221
授業形態： 講義
科目名： マーケティング論
担当教員： 日笠 倫周(HIKASA Michinori)

【授業の紹介】

企業が利益をあげるためには製品・サービスを販売する必要があります。しかしながら、一昔前のように「造れば売れる」様なことは、まずありません。企業の多くは市場と呼ばれる場所で、他の企業と競い合い、消費者を奪い合うことになるからです。このため、企業は対市場活動として様々な意思決定を行い、競争優位性や消費者選好を築いていきます。講義では、企業の対市場活動をマーケティングと呼び、マーケティングの考え方やマーケティングに関する多様な意思決定について説明していきます。

本講義では、マーケティングの基礎的な概念や理論枠組みを理解し、それらの知識を活用できるようになることを目的とします。そのために、企業と市場との関係やマーケティング意思決定に関して特に焦点を当てます。また、講義時には、課題解決型のアクティブラーニングを実施することで、受講生の理解促進を図る予定です。

なお、関連科目として、マーケティングリサーチや消費者行動論などを履修することが望ましいです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

1. マーケティングの基礎理論を理解し、その理論枠組みを説明することができる。
2. マーケティングの考え方を利用し、企業の行動を説明することができる。

【成績の評価】

成績は、小テスト（80%）、授業内課題（20%）を総合して評価します。
小テストの採点基準は講義時に説明します。
小テストと授業内課題のフィードバックとして、採点済答案の返却と解説を行います。

【使用テキスト】

初回講義時に指示します。

【参考文献】

神取道宏著『ミクロ経済学の力』（日本評論社, 2014年）
池尾恭一・青木幸弘・南知恵子・井上哲浩著『マーケティング』（有斐閣, 2010年）
沼上幹著『わかりやすいマーケティング戦略』（有斐閣アルマ, 2008年）
丸山雅祥著『経営の経済学』（有斐閣, 2017年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
2	マーケティングの考え方	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
3	マーケティング史	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
4	マーケティング・コンセプト	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
5	マーケティングと市場	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
6	マーケティング・マネジメント概要 + 小テスト(1)	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
7	マーケティング・リサーチ	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
8	マーケティング戦略	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
9	製品政策	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
10	価格政策	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
11	プロモーション政策	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
12	流通政策	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等に	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		まとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
13	マーケティングの動的展開と地位別戦略	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
14	現代のマーケティング	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
15	企業の戦略分析 + 小テスト(2)	予習：事前配布した資料を読み込み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（4時間） 復習：講義後は配布資料を読み返し、ノートに講義内容の要約を作成すること（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS224
授業形態： 講義
科目名： デジタルマーケティング論
担当教員： 日笠 倫周(HIKASA Michinori)

【授業の紹介】

デジタル化の進展に伴い、消費者の行動や企業のマーケティング活動は大きく変化してきています。特に、企業の意思決定では、テクノロジーやデータを用いて科学的にマーケティング意思決定を行うアプローチが重要視されるようになりました。講義では、特にデジタル化の進展に伴う変化に焦点を当てながら、デジタル・マーケティングの考え方について説明していきます。
本講義では、デジタル環境下におけるマーケティング活動の変化を理解することに加え、デジタル・マーケティングの基本的な概念や理論枠組みを理解し、それらの知識を活用できるようになることを目的とします。そのために、講義では、具体例などを用いながらデジタル・マーケティングの基礎理論を学んでいきます。加えて、ケーススタディに取り組むことで、受講生の企業活動の変化に対する理解促進を図ります。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. デジタル・マーケティングの基礎理論を理解し、その理論枠組みを説明できる。
2. 最新のマーケティングの考え方を利用し、企業の行動を説明できる。

【成績の評価】

成績は、小テスト（60%）、授業内課題（40%）を総合して評価します。
小テストの採点基準は講義時に説明します。
小テストと授業内課題のフィードバックとして、採点済答案の返却と解説を行います。

【使用テキスト】

初回講義時に指示します。

【参考文献】

西川英彦・渋谷覚 編著『1からのデジタル・マーケティング』（碩学舎, 2019年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（2時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（2時間）	
2	デジタル社会とマーケティング	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（2時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（2時間）	
3	デジタル社会と消費者行動：購買行動モデル	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（2時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（2時間）	
4	デジタル社会と消費者行動：カスタマー・ジャーニー	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（2時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（2時間）	
5	デジタル社会のビジネスモデル：プラットフォームビジネス	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（2時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（2時間）	
6	デジタル社会のビジネスモデル：ケース・スタディ + 小テスト(1)	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（2時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（2時間）	
7	デジタル社会におけるマーケティング戦略	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（2時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（2時間）	
8	デジタル・マーケティングにおける製品戦略	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（2時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		トに講義内容の要約を作成すること（2時間）	
9	デジタル・マーケティングにおける価格戦略	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（2時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（2時間）	
10	デジタル・マーケティングにおけるチャネル戦略	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（2時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（2時間）	
11	デジタル・マーケティングにおけるプロモーション戦略：□コミ	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（2時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（2時間）	
12	デジタル・マーケティングにおけるプロモーション戦略：ケース・スタディ	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（2時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（2時間）	
13	デジタル社会におけるリサーチ：探索と検証	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（2時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（2時間）	
14	デジタル社会におけるリサーチ：ケース・スタディ	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（2時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（2時間）	
15	ラップアップ + 小テスト(2)	予習：事前配布資料を読み、必要に応じて専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。また、事前課題がある場合、その課題に取り組むこと（2時間） 復習：学習内容を確認し、理論とキー概念を説明できるようにすること。復習の際、ノートに講義内容の要約を作成すること（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS311
授業形態： 講義
科目名： 経営戦略論
担当教員： 村山 昂

【授業の紹介】

本講義の目的は、経営戦略論における基本的な理論や概念、フレームワークを学ぶことにあります。ここでは、消費者として日々触れる製品市場での経営戦略を学び、戦略的思考法のイメージをつかんだ上で、徐々に視野を広げて事業戦略や全社戦略に関する内容も習得することを目指します。少子高齢化が進み、国内市場の大幅な成長を見込みづらい現代日本では、経営戦略の重要性がますます高まっています。国内に残って事業を展開するとしても、成長を求めて海外に進出するとしても、企業が目的を達成するためには、自社がとるべき方策を戦略的に考え、実行することが求められます。そのための基礎になりうるのが経営戦略論で蓄積されてきた考え方です。経営戦略論の理論や概念、フレームワークを理解し、それらに基づいて思考できるようになることは、種々の組織で働いていく上で意義のあることだと考えられます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 経営戦略論に関する基本的な理論や概念、フレームワークを理解し、説明できる。
2. 企業の経営戦略について、講義で学んだ知識を使って考察できる。
3. 経営戦略に関するニュースに興味を持つことができる。

【成績の評価】

平常点(40%)と定期試験(60%)を総合して評価します。

平常点では、講義中に示した課題や小テストへの取り組みや、講義中の発言などを評価します。課題や小テストについては、次回講義での簡潔な講評を通じて、フィードバックを行う予定です。講義中、他の学生の学習を妨げる不適切な言動があった場合には、減点・退室・落第などの可能性があります。

定期試験期間中に定期試験を実施します。

本講義の単位を取得するためには、定期試験を受ける必要があります。

なお、大学の規定により、欠席回数が一定回数を超えた場合には、単位を取得することができません。

【使用テキスト】

テキストは使用しません。必要に応じて講義資料を配布予定です。

【参考文献】

沼上幹 (2023). 『わかりやすいマーケティング戦略 第3版』有斐閣アルマ.
加藤俊彦 (2014). 『競争戦略』日本経済新聞社.

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本講義の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを読み、本講義の進め方などに関する質問の有無を確認する(2時間)。 復習：講義資料を読み返し、本講義の進め方や内容を再度確認する(2時間)。	
2	経営戦略論の基本 経営戦略とは何か	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
3	製品戦略 誰を顧客にするのか セグメンテーションと ターゲティング	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
4	製品戦略 顧客へのアプローチ 4P'sの設計	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
5	製品戦略 顧客へのアプローチ 製品ライフサイクル と4P's	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
6	製品戦略 競合企業との競争 ポーターの基本戦略と市場 地位別の戦略	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
7	事業戦略 業界の構造分析の基本 ファイブ・フォーセ ズ・モデル	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
8	事業戦略 業界の構造分析の展開 補完財と協調戦略	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
9	事業戦略 業界の構造分析の展開 競争構造の変革	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
10	事業戦略 リソース・ベースド・ビューに基づく戦略論	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
11	事業戦略 ビジネスモデル/ビジネスシステムの構築	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
12	全社戦略 ドメインの定義と多角化	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
13	全社戦略 PPM	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
14	全社戦略 国際化	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返して、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
15	本講義のまとめ 要点の整理と質疑応答	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：期末試験に向けて、講義で学んできた内容を全て振り返る(3時間)。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS312
授業形態： 講義
科目名： 労務管理論
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

組織は複数の人によって構成されています。よって、目標達成のためには、構成員それぞれに役割が与えられていることやそれを遂行するために指示が明確であることなどが求められるだけでなく、お互いの協力が促進されることも必要です。さらに、構成員が無理なく仕事に関わり、仕事に意義を見出せるようであれば長続きしませんし良い成果も出せません。企業もボランティア組織も大学も、適切な人や組織のあり方を考えなければなりません。授業では、そのための制度やメカニズムを学びます。さらに、雇用する側の立場からの論理だけでなく、従業員が意欲を持って働くために必要な職場環境とは何かも考えることで「多面的」に労務管理の意味を捉えます。加えて、必要に応じて海外の状況を紹介し文化・歴史・社会的背景の違いが及ぼす影響も学び、日本の労務管理制度を相対化できる視野を持てるようにします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

1. 労務管理に関する基本的な知識を習得できる。
2. 現在の制度がどのような考えに基づいて作られたかを理解できる。
3. 現在の日本企業が抱える労務管理に関する課題を理解し、解決の方向を見出すことができる。

【成績の評価】

小テスト（30%）
提出物（30%）
定期試験（40%）

小テスト、提出物、試験等に関しては、授業あるいはGoogle Classroomにてフィードバックを行います。
<重要> 提出物、テスト・試験は、ネット上で行う可能性があります。スマホあるいはPCでネットに入れるようにしておいてください。

【使用テキスト】

佐藤・藤村・八代（2023）『新しい人事労務管理（第7版）』有斐閣

【参考文献】

阿部・松繁（編著）（2014）『キャリアのみかた』有斐閣

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	企業経営と人事労務管理 （教科書 第1章）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
2	雇用管理 （教科書 第2章）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
3	能力開発 （教科書 第6章）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
4	評価：業績評価、上位評価、成果主義とコンピテンシー （別途資料を配布）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
5	職能資格、職務等級、職位 （教科書 第3章）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
6	賃金管理：年齢、勤続、能力、成果 （教科書 第4章）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
7	労働時間管理と働き方改革 （教科書 第5章）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
8	福利厚生 （教科書 第8章）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間） - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
9	ダイバーシティ1：男女間賃金格差が生まれるメカニズム （別途資料を配布）	予習（2時間） - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		- 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
10	ダイバーシティ2： 男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス (別途資料を配布)	予習(2時間) - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
11	非正規労働 (教科書 第7章)	予習(2時間) - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
12	解雇と失業 (別途資料を配布)	予習(2時間) - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
13	企業統治と従業員 (教科書 第9章)	予習(2時間) - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 小テストの準備	
14	残された課題 : 日本のライフシフトのあり方 (別途資料を配布)	予習(2時間) - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 授業で習った内容の確認 - 全範囲学修確認テストの準備	
15	残された課題 : Job型雇用をどう評価するか (別途資料を配布) 全範囲学修確認テスト(定期試験)	予習(2時間) - 関係する教科書の章の内容理解 - 必要に応じて事前に配られる資料の理解 復習(2時間) - 全範囲の知識と理解の確認	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS313
授業形態： 講義
科目名： 国際経営論
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

1990年代以降のグローバル化の進展によって、「企業」を取り巻くビジネス環境は大きく変化している。濁流のようなビジネス環境下で翻弄される現代企業が国際市場・グローバル市場で活動をしていくためには、グローバル競争戦略が必要不可欠である。また、混迷する世界情勢の理解や異文化理解、そして異文化の表出としてのメタファーの理解を理解するスキルは、21世紀のビジネス・パーソンにとって不可欠なものである。本講義は、第4回の講義以降に、学生による報告(個人・グループ)での報告およびそれに対する他の学生からの質疑応答、その後の教員からの講評という形式でのアクティブラーニングを実施する。

2024年度より、メタファーや異文化理解の困難さについての理解を深めるための方策として、学生が報告する際、学生が自作の映像(資料)を作成し、それを踏まえて報告することも認めるものとする。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

現在の国際ビジネスがグローバル時代の到来によって、どのような変化があるのかについて理解できる。

現代企業のグローバル競争戦略が、どのように立案され、それが構築され、実行に移されるのかを理解できる。

国際的人的資源管理について、グローバル時代においてどのような重要性を持つのかということ理解できる。

異文化マネジメントにおける異文化シナジーと異文化コミュニケーションの重要性を理解できる。

【成績の評価】

報告と学生報告回における感想の提出(59%)と講義内課題(41%)で成績評価を実施する。報告に関しては、その場でフィードバックを行い、積極性に関しては最後の講義で希望者に説明を行う。また、報告と感想の評価方法に関しては、第1回目と第2回目の講義の中で説明する。

報告を行わない学生には、単位を認定することができない。

【使用テキスト】

なし。

【参考文献】

江夏健一・桑名義晴編著 IBI国際ビジネス研究センター著 [2018], 『理論とケースで学ぶ 国際ビジネス』 四訂版 同文館出版 3,000円+税 ISBN-13 : 978-4495368746。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンスとイントロダクション：確認課題の実施、グループ決め、報告テーマの相談、クラスルームへの登録	【予習】：メタファーの重要性を確認するための課題を第1回の講義で行うため、その準備として、「メタファー」の意味を調べ、その内容についてノートやメモ帳にまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第1回の講義で提示した報告テーマの候補を踏まえ、それに関連するニュース記事などを調べ、自分でノートやワードなどにまとめておくこと(2時間)。	
2	報告に関する詳細な説明：報告テンプレートの説明、映像資料作成についての説明など	【予習】：第1回の講義で提示した報告テーマの候補を踏まえ、それに関連するニュース記事などを調べ、自分でノートやワードなどにまとめておくこと(2時間)。 【復習】：第2回の講義で配布した資料に目を通し、わからない部分に印をつけ、わからない部分をインターネットを用いて調べ、理解しておくこと(2時間)。	
3	映像作品にみる多文化共生の困難さとその克服に向けて：講義内での紹介	【予習】：第2回で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第3回の講義で配布した資料に目を通し、わからない部分に印をつけ、わからない部分をインターネットを用いて調べ、理解しておくこと(2時間)。	
4	映像作品にみる多文化共生の困難さとその克服に向けて：ディスカッション	【予習】：第3回で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第4回の講義で配布した資料に目を通し、わからない部分に印をつけ、わからない部分をインターネットを用いて調べ、理解しておくこと(2時間)。	
5	映像作品にみる多文化共生の困難さとその克服に向けて：振り返り	【予習】：第4回で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第6回から第8回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。	
6	多文化理解の困難さ：学生報告	【予習】：第6回から第8回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。 【復習】：第6回から第8回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。	
7	ポリティカルコネクトネスの重要性と課題：学生報告	【予習】：第6回から第8回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。 【復習】：第6回から第8回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。	
8	異文化理解におけるコンフリクトの解決：学生報告	【予習】：第6回から第8回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。 【復習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めてくること(2時間)。	
9	国際的人的資源管理：国際的人的資源管理を行うためには何が必要なのか？/グループでのディスカッション	【予習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めてくること(2時間)。 【復習】：第8回のディスカッションの結果を踏まえて、疑問に残る点をインターネットを用いて調べ、理解しておくこと(2時間)。	
10	国際的人的資源管理：シナジーを効果的に発揮させるためには/グループでのディスカッション	【予習】：第9回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めてくること(2時間)。 【復習】：第11回から第14回の学生報告のため	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		めの報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。	
11	異文化マネジメント：異文化シナジーと異文化コミュニケーションの難しさとは何か？/学生報告	【予習】：第11回から第14回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。 【復習】：第11回から第14回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。	
12	異文化マネジメント：多様性を維持した効率的な組織とは何か？/学生報告	【予習】：第11回から第14回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。 【復習】：第11回から第14回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。	
13	ウクライナ戦争により米ソ冷戦は復活するのか？/学生報告	【予習】：第11回から第14回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。 【復習】：第11回から第14回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。	
14	21世紀のグローバル経済と国際ビジネスの展望/学生報告	【予習】：第11回から第14回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。 【復習】：第11回から第14回の学生報告のための報告資料と原稿の作成、報告練習を行うこと(2時間)。	
15	これまでのまとめ(報告の完了確認、質疑応答、等々)	【予習】：これまでの報告した資料をブラッシュアップしておくこと(2時間)。 【復習】：第15回のまとめを踏まえて、これまでの講義で得られた知識をA4・2枚程度にまとめ、提出すること(4時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS321
授業形態： 講義
科目名： 営業論
担当教員： 藤原 泰輔(FUJIHARA Taisuke)

【授業の紹介】

近年、経済の成熟化に伴いモノやサービスが売れない時代になりつつある。したがって企業が売上および利益を高めるためには営業力を強化する必要がある。他方、営業マン個人のレベルでは、成績の良い営業マンもいれば成績の芳しくない営業マンもいるのが現実であり、組織全体としてどのようにして営業力を高めていくのかは企業が直面する大きな経営課題の一つである。本講義では、営業に関する理論と実践を学び、「営業とは何か」という基本的な論点の理解を深める。

<クラスルーム>
名称：2024営業論
コード：4nej36e

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

営業に関する基本的なフレームワークを理解できる。
営業に関する実践的なスキルやノウハウを理解できる。
「営業の考え方」が生活の中の様々なシーンで役立つことを理解できる。

【成績の評価】

講義の中で随時課される課題の提出や講義内での貢献（30%）および期末のレポート（70%）によって評価する。評価に関してフィードバックを希望する人は個別に研究室で実施する。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

D・カーネギー『人を動かす【新装版】』創元社（1999年）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

企業における経営や営業活動の実際の経験を活かし、企業の現場における具体的な事例を盛り込んだ授業を行う。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション：本講義の概要説明	<p>【予習】事前にシラバスに記載されているすべての内容を確認し、営業とはどういう概念なのかを様々なウェブサイトを見て自分なりに把握する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、講義の目的をしっかりと認識する。また自分の理解が正しかったところと違っていたところを把握し、理解を深める。（2時間）</p>	
2	営業とは：概要	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。そのうえで、自分が営業にむいている点/むいていない点について考える。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
3	経済環境の変化と営業	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
4	顧客ターゲットとニーズの把握	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。マーケティング関連科目を受講した経験のある学生は、当該講義資料を見直しておく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
5	営業のモデル	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
6	営業スタイルと営業担当者の役割	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）	
7	提案営業の展開	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。自分の知っている会社を想定して、何か提案できることはないかを考えてみる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）</p>	
8	提案営業の具体的プロセス	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）</p>	
9	営業力の向上	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。自分の中で常識にとらわれていることがあれば、具体的にそれは何かを考えてみる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）</p>	
10	営業管理	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）</p>	
11	顧客関係の管理	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
12	儲かる営業・損する営業	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。可能であれば、講義前に量販店で値引きの交渉を行ってみる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
13	セールステックの進化	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。近年のIT動向についてウェブサイト概略を掴んでおく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
14	新しい営業スタイル	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
15	各回の要約・振り返り	<p>【予習】これまでクラスルームにアップロードされた講義資料に再度一通り目を通し、何を学んできたのかを再確認する。（2時間）</p> <p>【復習】自分が学んだことのうち、最も重要だと思われる項目を3つ取り上げ、それぞれの内容に関して再度自分の理解度を確認する。（2時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS331
授業形態： 講義
科目名： 財務管理論
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本講義は、企業が資金調達からビジネスへの投資を通してどのように企業価値・株主価値を高めていけばよいのかを学習します。このような知識は財務担当者だけではなく、社会で活躍するためには必ず必要となるものです。また、株式等に投資する際にも役立つ知識が身につきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心をもち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 財務管理の役割を説明できる。
2. 投資決定と企業価値・株主価値との関係を説明できる。
3. 様々な資金調達の方法について説明できる。

【成績の評価】

平常点（授業への積極的な参加、小テスト等）60%、定期試験40%により評価します。
小テストは15回の講義中に3～4回程度行います。なお、小テストについては、点数を伝えます。また、小テストの模範解答を以降の講義で示します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
進捗により各テーマの講義回数を変更する可能性があります。日商簿記検定等の資格試験の相談についても対応していきます。

【使用テキスト】

なし。講義資料は毎回プリントを配布します。

【参考文献】

榊原茂樹・新井富雄・太田浩司・山崎尚志・山田和郎・月岡靖智（2023）『新・現代の財務管理』有斐閣。
榊原茂樹・岡田克彦（2012）『1からのファイナンス』碩学舎。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（財務管理の概要）	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の資金調達や投資の動向などについて知識を深める。参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。（2時間）復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。（2時間）	
2	財務的意思決定の基礎 割引キャッシュフロー法	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の資金調達や投資の動向などについて知識を深める。参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。（2時間）復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。（2時間）	
3	財務的意思決定の基礎 正味現在価値法	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の資金調達や投資の動向などについて知識を深める。参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。（2時間）復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。（2時間）	
4	財務分析	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の資金調達や投資の動向などについて知識を深める。参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。（2時間）復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。（2時間）	
5	レバレッジ効果	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の資金調達や投資の動向などについて知識を深める。参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。（2時間）復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。（2時間）	
6	資本コスト	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の資金調達や投資の動向などについて知識を深める。参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。（2時間）復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。（2時間）	
7	ポートフォリオ理論とCAPM	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の資金調達や投資の動向などについて知識を深める。参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。（2時間）復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。（2時間）	
8	オプション	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の資金調達や投資の動向などについて知識を深める。参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。（2時間）復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
9	コーポレート・ガバナンスとESG	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の資金調達や投資の動向などについて知識を深める。参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
10	投資案の評価	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の資金調達や投資の動向などについて知識を深める。参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
11	投資価値の創造	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の資金調達や投資の動向などについて知識を深める。参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
12	資金調達	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の資金調達や投資の動向などについて知識を深める。参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
13	配当政策と自社株買い	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の資金調達や投資の動向などについて知識を深める。参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
14	M&A	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の資金調達や投資の動向などについて知識を深める。参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
15	行動ファイナンス	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の資金調達や投資の動向などについて知識を深める。参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BUS342
授業形態： 講義
科目名： ベンチャー経営論
担当教員： 藤原 泰輔(FUJIHARA Taisuke)

【授業の紹介】

近年ベンチャー企業の存在がますます高くなっている。世の中を席卷している、いわゆるマグニフィセント・セブンと呼ばれるアメリカの巨大企業、日本でも楽天、メルカリ、サイバーエージェント、ディー・エヌ・エーなど今や大きな存在感を持つ企業も、もとをたどるとベンチャー企業から始まっている。本講義では、企業の立ち上げ（いわゆる起業）から、企業として成長するまでに必要となる実践的な知識・ノウハウを身に着けることを学ぶ。

<クラスルーム>

名称：2024ベンチャー経営論

コード：xnxoe2q

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

ベンチャー企業の経営に関する基本概念と経営現象を理解するために必要となる知識を身に着けることができる。

ベンチャー企業の経営に関する課題および解決策に関する実践知を身に着けることができる。

【成績の評価】

講義の中で随時課される課題の提出や講義への貢献（30%）および期末のレポート（70%）によって評価する。評価に関してフィードバックを希望する人は個別に研究室で実施する。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

大西康之『起業の天才！ 江副浩正 8兆円企業リクルートを作った男』東洋経済新報社（2021年）
レイ・A・クロック、ロバート・アンダーソン『成功はゴミ箱の中に レイ・クロック自伝』プレジデント社（2007年）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

ベンチャー企業に対する戦略策定・中期計画策定・資金調達・M&A・上場支援などのサポート実施、また自身のベンチャー企業経営の経験を活かし、ベンチャー企業の現場における具体的な事例を盛り込んだ授業を行う。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション：本講義の概要説明	<p>【予習】事前にシラバスに記載されているすべての内容を確認し、ベンチャーとはどういう概念なのかを様々なウェブサイトを見て自分なりに把握する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、講義の目的をしっかりと認識する。また自分の理解が正しかったところと違っていたところを把握し、理解を深める。（2時間）</p>	
2	ベンチャー企業とエコシステム	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、ベンチャーに関係する企業や組織にはどのようなものがあるのかという視点で資料を見たり考える。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
3	ビジネスのアイデア	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分なりにビジネスのアイデアを考えてみる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
4	起業の仕方	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、法人を設立する際の制度的な必要事項について把握しておく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
5	事業の立ち上げ	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
6	事業計画の作成	<p>【予習】事業計画とは何か、どのように作成するのかという視点で、クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
7	資金調達	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉の意味を調べる。なお、企業財務に関する専門用語が頻出する回なので、関連する科目を受講した経験のある学生は、当該科目の資料などを見直しておく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）</p>	
8	資本政策	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。株式および株式市場に関する知識を中心に理解を深めておく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）</p>	
9	急成長を実現する方法	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。講義資料にあげていない会社で急成長しているベンチャー企業を調べておく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）</p>	
10	ベンチャーにおける人の問題	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）</p>	
11	キャッシュフロー管理	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、1年・2年次に学んだ会計に関する基本的な用語について再度内容を確認しておく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
12	経営体制、ガバナンス	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。コーポレートガバナンスに触れている他の経営学関連科目を受講した経験があ</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>る学生はその科目の講義資料などを読み直しておく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
13	IPO/エグジット	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
14	ベンチャー企業が陥る罠、直面するリスク	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
15	各回の要約・振り返り	<p>【予習】クラスルームにアップロードされたこれまでの講義資料に目を通し、内容を再確認する。（2時間）</p> <p>【復習】15回の講義で自分が学んだことは何か3つ取り上げ、それぞれの内容に関して反芻する。（2時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング：

授業形態： 講義

科目名： BOPビジネス論

担当教員： 藤原 泰輔(FUJIHARA Taisuke)

【授業の紹介】

グローバル経済を概観すると、先進国の経済成長率は低いアジアの新興国やアフリカなどは高い人口成長率を背景に、経済成長率も二けた成長を記録するなど高い成長率を誇っている。他方、一人当たり所得を見ると先進国とはかけ離れており、先進国と同様の事業戦略では市場に食い込むことはできない。そこで本講義では、BOPビジネスを取り巻く市場や事業の状況および特性を把握し、BOPビジネスの特徴と成功パターンに関する理解を深めていく。

<クラスルーム>

名称：2024BOPビジネス論

コード：zvjj050

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

BOPビジネスの基礎理論を理解できる。
BOPビジネスの先進国市場との類似点および相違点を理解できる。

【成績の評価】

講義の中で随時課される課題の提出や講義での貢献度（30%）および期末のレポート（70%）によって評価する。期末レポートの評価に関するフィードバックを希望する人は、個別に研究室で行う。

【使用テキスト】

なし。

【参考文献】

ビジャイ・ゴビンダラジャン、クリス・トリンプル『リバース・イノベーション』ダイヤモンド社（2012年）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

企業での戦略策定、中期計画策定、中国や東南アジアでのビジネスサポートなど、実際の経験を活かし、企業の現場における具体的な事例を盛り込んだ授業を行う。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション：本講義の概要説明	<p>【予習】事前にシラバスに記載されているすべての内容を確認し、BOPとはどういう概念なのかを様々なウェブサイトを見て自分なりに把握する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、講義の目的をしっかりと認識する。また自分の理解が正しかったところと違っていたところを把握し、理解を深める。（2時間）</p>	
2	BOPビジネスの概略	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
3	BOP市場の現状：アフリカ・インド	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。特にアフリカやインドに関する現状をウェブサイトで検索しイメージを持っておく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
4	日本企業におけるBOPビジネス取り組み事例	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。講義資料の中で取り上げられている企業の概要を把握しておく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
5	BOPビジネスのモデルと進化	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
6	BOP市場での事業展開と発展	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）	
7	BOPビジネスの成功事例分析：先進国企業	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、講義資料の中で取り上げられている企業の概要を把握しておく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）</p>	
8	BOPビジネスの成功事例分析：新興国企業	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、講義資料の中で取り上げられている企業の概要を把握しておく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）</p>	
9	BOPビジネスの難しさ	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、講義資料の中で取り上げられている企業の概要を把握しておく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）</p>	
10	BOPビジネスの成功の鍵	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。これまでの講義資料の中で取り上げられた企業事例分析について、講義資料をもう一度見直し、内容を把握する。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着される。（2時間）</p>	
11	BOPビジネスのグローバル展開の可能性	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
12	BOP市場とベンチャー	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、自分の知らない言葉を</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>抽出し、その言葉の意味をウェブサイトなどで調べる。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
13	日本におけるBOPビジネス	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、日本における貧困層向けビジネスについてウェブサイトなどで事前に調べておく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
14	BOPを越えて	<p>【予習】クラスルームにアップロードされる講義資料に目を通し、なぜ、どうやって先進諸国は豊かになったのかについて自分なりに考えておく。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを振り返り、予習の段階で自分認識していたことのうち、正しかったところと違っていたところを把握する。そして自分の理解や意見を講義資料に書き込み、理解を定着させる。（2時間）</p>	
15	講義のまとめ（要約、質疑応答）	<p>【予習】これまでの講義資料に一通り目を通し、どのような講義の内容であったのかを振り返る。（2時間）</p> <p>【復習】全15回を振り返り、何を自分は学んだのかを3つ抽出し、それぞれについて理解を定着させる。（2時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BUS341
授業形態： 講義
科目名： 中小企業論
担当教員： 村山 昂

【授業の紹介】

本講義の目的は、中小企業の経営に関する基本的な理論や概念を学ぶことにあります。そこでは、中小企業を理解するための基本的な知識を学んだ後に、環境の変化や経営資源の制約などの中小企業が直面している問題と、その問題への対応について、一つ一つ検討していきます。

中小企業は、日本に存在する企業全体の99%以上を占めており、国全体の雇用や経済を支える要となる存在です。また、特定の地域に立地することが多い中小企業は、国全体のみならず地域経済をも支えています。それゆえに、中小企業への理解を深め、中小企業に活力をもたらすことは、国や地域を活性化していく上で非常に重要です。中小企業を理解するためには、他の講義で学んできた経営学の知識も大いに役立つと考えられます。しかしながら、中小企業は、大企業とは異なる中小企業独自の問題も抱えているため、中小企業に焦点を当てて学ぶことの重要性は高いと言えるでしょう。

関連科目としては経営学関連科目(「経営戦略論」や「経営組織論」など)や「起業家論」があるため、それらの科目を履修すると、それぞれの講義の内容をより理解しやすくなると考えられます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 中小企業の経営に関する基本的な知識を理解し、説明できる。
2. 中小企業が直面する課題について、講義で学んだ知識を使って考察できる。
3. 中小企業に関するニュースに興味を持つことができる。

【成績の評価】

平常点(40%)と定期試験(60%)を総合して評価します。

平常点では、講義中に示した課題や小テストへの取り組みや、講義中の発言などを評価します。課題や小テストについては、次回講義での簡潔な講評を通じて、フィードバックを行う予定です。講義中、他の学生の学習を妨げる不適切な言動があった場合には、減点・退室・落第などの可能性があります。

定期試験期間中に定期試験を実施します。
本講義の単位を取得するためには、定期試験を受ける必要があります。
なお、大学の規定により、欠席回数が一定回数を超えた場合には、単位を取得することができません。

【使用テキスト】

テキストは使用しません。必要に応じて講義資料を配布予定です。

【参考文献】

井上善海・木村弘・瀬戸正則 (2022). 『中小企業経営入門(第2版)』中央経済社.
加藤厚海・福嶋路・宇田忠司 (2023). 『中小企業・スタートアップを読み解く 伝統と革新、地域と世界』有斐閣ストウディア.

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本講義の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを読み、本講義の進め方などに関する質問の有無を確認する(2時間)。 復習：講義資料を読み返し、本講義の進め方や取り組む課題を再度確認する(2時間)。	
2	中小企業経営の基本 中小企業とは	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
3	中小企業の経営の基本 中小企業の歴史	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
4	中小企業の経営の基本 中小企業問題と中小企業政策	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
5	中小企業と環境への適応 中小企業の経営戦略	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
6	中小企業と環境への適応 下請企業の経営	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
7	中小企業と環境への適応 中小企業の企業間ネットワーク	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
8	中小企業と環境への適応 地域の中の中小企業	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
9	中小企業と環境への適応 中小企業の海外進出	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
10	中小企業と経営資源の制約 中小企業の組織マネジメント	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
11	中小企業と経営資源の制約 中小企業の事業承継	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
12	中小企業と経営資源の制約 中小企業の研究開発マネジメント	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
13	中小企業と経営資源の制約 中小企業と資金調達	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
14	補論 アントレプレナーシップ概論	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
15	本講義のまとめ 要点の整理と質疑応答	予習：講義資料に目を通してくる(1時間)。 復習：講義資料を読み返し、講義で紹介した内容を説明できるようにする(3時間)。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： INF221
授業形態： 演習
科目名： プログラミング演習
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

プログラミング演習では、JavaScriptおよびPythonを使ってアプリケーションを作成することを目標としている。アプリケーションをいきなり作るのは難しいので、既存のアプリケーションを模倣することからスタートする。演習では、Javascriptの復習を行った後、顔認証のアプリケーションの解説を中心に演習を進めていく。

また、高等学校教諭一種免許状（情報）必修科目である。

下記の授業計画は目安であって、受講生の理解度に合わせて進行状況を変えることがある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1)JavaScriptを使ったアプリケーション制作に関する知識を得ることができる。
- (2)Pythonの仕組みを理解することができる。

【成績の評価】

レポート20%、授業の成果物80%で評価する。フィードバックとして、在宅学習課題および中間試験は採点・添削をし、次回以降の授業で返却する。

また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】

資料等を作成し、配布する。

【参考文献】

- (1)HTML+JavaScriptによるプログラミング入門第2版 シンカーズ・スタジオ他著 日経BP社 2018年
- (2)最短距離でゼロからしっかり学ぶPython入門 実践編～ゲーム開発・データ可視化・Web開発 Eric Mattes著 鈴木たかのり他訳 技術評論社 2020年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
2	HTMLの復習	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
3	CSSの復習	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
4	Vue.jsとは	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
5	バインディング	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
6	繰返し	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
7	イベント	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
8	フォーム入力	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
9	条件分岐	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
10	トランジション&アニメーション	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
11	ここまでのまとめ	予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、ここまでの内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（1時間）	
12	アプリケーションの制作の基礎	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
13	要件定義	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
14	データの設計	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
15	アプリケーションの制作に向けて	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング：

授業形態： 演習

科目名： プログラミング演習

担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

プログラミング演習、では、JavaScriptおよびPythonを使ってアプリケーションを作成することを目標としている。アプリケーションをいきなり作ることは難しいので、既存のアプリケーションを模倣することからスタートする。演習では、Javascriptの復習を行った後、顔認証のアプリケーションの解説を中心に演習を進めていく。

また、高等学校教諭一種免許状（情報）必修科目である。

下記の授業計画は目安であって、受講生の理解度に合わせて進行状況を変えることがある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1)JavaScriptを使ったアプリケーション制作に関する知識を得ることができる。
- (2)Pythonの仕組みを理解することができる。

【成績の評価】

レポート20%、授業の成果物80%で評価する。フィードバックとして、在宅学習課題および中間試験は採点・添削をし、次回以降の授業で返却する。

また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】

資料等を作成し、配布する。

【参考文献】

- (1)HTML+JavaScriptによるプログラミング入門第2版 シンカーズ・スタジオ他著 日経BP社 2018年
- (2)最短距離でゼロからしっかり学ぶPython入門 実践編～ゲーム開発・データ可視化・Web開発 Eric Mattes著 鈴木たかのり他訳 技術評論社 2020年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
2	HTMLの復習	予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
3	CSSの復習	予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
4	Vue.jsとは	予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
5	バインディング	予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
6	繰返し	予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
7	イベント	予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
8	フォーム入力	予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
9	条件分岐	予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
10	トランジション&アニメーション	予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
11	ここまでのまとめ	予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、ここまでの内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（1時間）	
12	アプリケーションの制作の基礎	予習のキーワードを提示するので、図書館等	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
13	要件定義	予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
14	データの設計	予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
15	アプリケーションの制作に向けて	予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング：

授業形態： 演習

科目名： プログラミング演習

担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

前期のプログラミング演習では、JavaScriptを使ったアプリケーション作成のための準備を中心に、希望者にはPythonにも対応してきた。この演習では、それを元に実際にアプリケーションの作成を行うことを目標としている。

プログラミング能力は、情報技術の習得はもちろんだが、問題発見・解決能力の向上にも役に立つ。

また、高等学校教諭一種免許状（情報）選択科目である。

下記の授業計画は目安であって受講生の理解度に合わせて進行状況を変えることがある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

開発行程を理解し、活用できる

【成績の評価】

レポート20%、授業の成果物80%で評価する。フィードバックとして、在宅学習課題および中間試験は採点・添削をし、次回以降の授業で返却する。また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】

資料等を作成し、配布する。

【参考文献】

(1)HTML+JavaScriptによるプログラミング入門 第2版 シンカーズ・スタジオ他著 日経BP社 2018年

(2)最短距離でゼロからしっかり学ぶPython入門 実践編～ゲーム開発・データ可視化・Web開発 Eric Mattes著 鈴木たかのり他訳 技術評論社 2020年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
2	アプリケーション開発の手順	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
3	要件定義	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
4	外部設計	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
5	内部設計	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
6	プログラム実装1 レゴブロックを用いたプログラミング資料の作成	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
7	プログラム実装2 アプリ「クロッカー」を用いた作業	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
8	プログラム実装3 課題解決プログラミング	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
9	プログラム実装4 少し複雑なアルゴリズムに挑戦する	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較す	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		るなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
10	テスト要件の決定	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
11	仕様書の作成方法	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
12	仕様書の作成と報告	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
13	レビューの準備	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
14	レビューの作成	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
15	アプリケーション開発からシステム開発へ	予習として、Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておく（0.5時間）。復習として、レポート等を行う場合には、まず、自ら調べる。その結果を他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行う（1時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF263
授業形態： 講義
科目名： 情報倫理及びセキュリティ
担当教員： 玉田 和恵

【授業の紹介】

情報技術の進展は目覚しく、我々を取り囲む情報機器・ネットワーク環境は大きく変化している。Society5.0の実現に向け、自分が問題に直面した際に、高度情報技術を活用して目的や解決策を適切に発想し判断できる人材となる必要がある。この動向は社会、経済、生活のいろいろな分野に大きな影響を及ぼしている。情報技術を健全に活用すれば、素晴らしい社会の進展が期待できる。しかし、物事には光の面と影の面があり、情報技術を悪用した不正行為や反社会的な事件なども多発している。光の部分を進展させるとともに、影の面から自分を守ること、知らないうちに自分が加害者にならない気をつけることなども求められている。そのためにはネットワーク社会でも、日常生活と同じように、「人に迷惑をかける」「自分も被害に遭わない」ための判断力が必要である。その判断力を身につけるために必要となる知識・技能・考え方を修得する。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

情報社会で必要となる問題解決力・思考力・判断力を身につける。
判断に必要となる規範知識・情報技術の知識・合理的判断の知識を身につける。
さまざまな課題に直面した際に適切に判断し、行動できる技術を身につける。

【成績の評価】

到達目標 「情報化社会で必要となる問題解決力・思考力・判断力を身につける。」については、問題解決課題に適切に対応できるかを問う課題で評価する（30%）
到達目標 「判断に必要となる規範知識・情報技術の知識・合理的判断の知識を身につける。」については、自身でネットワーク社会の諸問題の中から問題点を見つけ、レポートとしてまとめる（30%）。
到達目標 「さまざまな課題に直面した際に適切に判断し、行動できる技術を身につける。」については日頃の授業での発言や理解度・行動規範を問うフォームなどの小テストで修得度を評価する（40%）。

【使用テキスト】

松田稔樹、萩生田伸子（2021） 問題解決のためのデータサイエンス入門 実教出版
FOM出版（富士通ラーニングメディア）（2021） ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集（よくわかるマスター）

【参考文献】

なし

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

以下のようにセキュリティ対策を含めた開発経験がある。
汎用コンピュータによる生命保険顧客管理システムの構築、及び、プログラミングの標準化を担当。電力会社電柱敷地管理システムの構築及び、管理業務の自動化システムを開発。
個人企業向け青色申告システムを開発。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ネットワーク社会とは	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク社会で起こる様々な問題について興味関心を持ち、ネットワーク社会の特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・ネットワーク社会の特徴について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
2	問題解決の方法と手順	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の方法と手順についてノートにまとめる（120分程度） ・問題解決の方法と手順について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
3	ネットワーク社会とSDGs	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsとネットワーク社会について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・SDGsとネットワーク社会について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
4	Society5.0時代のネットワーク社会	<ul style="list-style-type: none"> ・Society5.0について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・Society5.0について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
5	情報の収集とデータ分析（IoT・ビッグデータ・人工知能）	<ul style="list-style-type: none"> ・IoT・ビッグデータ・人工知能について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・IoT・ビッグデータ・人工知能について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
6	デジタルトランスフォーメーション（DX）とは	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルトランスフォーメーションについて興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・デジタルトランスフォーメーションについて授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
7	ネットワーク社会に求められる情報倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク社会に求められる情報倫理に興味関心を持ち、必要な事項をノートにまとめる（120分程度） ・ネットワーク社会に求められる情報倫理に授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
8	情報セキュリティ（1）（不正アクセス 個人情報保護）	<ul style="list-style-type: none"> ・不正アクセス、個人情報保護について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・不正アクセス、個人情報保護について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
9	情報セキュリティ（2）（セキュリティポリシー ID/パスワード 生体認証 暗号方式）	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティについて興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・情報セキュリティについて授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
10	ネットワークと犯罪	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク犯罪について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・ネットワーク犯罪について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	ネットワーク上のコミュニケーション （１）（電子メール Webページ）	<ul style="list-style-type: none"> ・電子メール・Webページについて興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・電子メール・Webページについて授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
12	ネットワーク上のコミュニケーション （２）（ソーシャルネットワークサービス）	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルネットワークサービスについて興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・ソーシャルネットワークサービスについて授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
13	ネットワークとビジネス ～企業における倫理とセキュリティ～	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークビジネスについて興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・ネットワークビジネスについて授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
14	ディベート	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット社会のプラス面・マイナス面についてノートにまとめる（120分程度） ・ネット社会のプラス面・マイナス面について、授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
15	情報社会の発展と情報倫理・セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会の発展と諸問題についてノートにまとめる（120分程度） ・情報社会の発展と諸問題について、授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF241
授業形態： 講義
科目名： 情報ネットワーク論
担当教員： 最所 圭三(SAISHO Keizo)

【授業の紹介】

インターネットは重要な社会インフラの1つとなっており、それを用いて、情報発信や情報収集、コミュニケーション、エンターテインメント、経済活動などが行われています。企業などの多くの組織などでは社内ネットワークや情報システムが構築され、インターネットに接続されていますが、皆さんが卒業後に働く職場において、インターネットを利用した業務に関わることが多くなると考えられます。場合によっては、ネットワークや情報システムの構築や管理に関わることがあるかもしれません。

この授業では、インターネットで行われているネットワークサービスの利用や情報交換に必要な基礎知識やインターネット上の脅威について学ぶことを目的としています。具体的には、インターネットの基礎、インターネットにおける脅威、ネットワークサービスの仕組み、代表的なネットワークサービスおよびクラウドサービスについて学びます。

なお、この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための必修科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. インターネットがどのようなネットワークであるのか説明できる。
2. インターネット上での脅威やコンピュータウイルスおよびそれらに対する対策について説明できる。
3. インターネット上でのサービスの仕組みを説明できる。
4. Webサービスや電子メールの仕組みを説明できる。
5. クラウドサービスについて説明できる。

【成績の評価】

レポート（20%）、小テスト（20%）、中間試験（30%）、定期試験（30%）で評価する。ただし、レポートを5回以上提出しない場合は合格点に達していても不合格とする。

レポートについては、次の回の授業の開始時に解説することでフィードバックする。

小テスト、中間試験、定期試験については、試験後に解答例を示すことでフィードバックする。

【使用テキスト】

福永勇二「イラスト図解式 この一冊で全部わかるネットワークの基本 第2版」(ソフトバンククリエイティブ)、ISBN978-4-8156-1767-7、\1720E、2023年

【参考文献】

増田若奈、根本佳子「ネットワーク 仕事で使える基本の知識 [改訂新版]」(技術評論社)、ISBN978-4-7741-97777-7、\1680E、2018年

林雅之「イラスト図解式 この一冊で全部わかるクラウドの基本 第2版」(ソフトバンククリエイティブ)

ISBN978-4-7973-9999-8、\1680E、2019年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	なし	
2	インターネットの概要	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
3	DNSとDHCPの役割と仕組み	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
4	インターネットにおける脅威	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
5	コンピュータウイルスとその対策	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
6	コンピュータ上での種々のデータ形式	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
7	クライアント - サーバモデル	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
8	第6回までのまとめおよび中間試験	第2回から6回までのレポートを振り返ることで授業内容の理解度を深める(5時間)	
9	Webサービスの仕組み	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
10	WebページとHTML	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
11	電子メールの基礎および配送	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
12	電子メールの閲覧およびファイル添付	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
13	ファイル共有とリモートログイン	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
14	クラウドサービス	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
15	授業の総括：重要項目の解説	第7回および第9回から14回までのレポートを振り返ることで授業内容の理解度を深める(7	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： INF201

授業形態： 講義

科目名： 企業情報システム

担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

企業情報システムは、その企業のみで利用する時代から、企業が持つデータを共有し、新たな価値を生み出すものへと変化しています。企業が持つデータは様々な形式があり、またその量は膨大なものとなります。そのような、多種多様な膨大なデータをビッグデータと呼び、それを分析する方法はBI (Business Intelligence) と呼ばれ、データサイエンスにとって重要な役割となっています。この授業では、BIとデータサイエンスについて講義・演習を行い、データの取扱いに長けた人材を育成することを目的としています。

また、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1) BIについて説明できる
- (2) データを分析できる形式に変換する方法を説明できる
- (3) AIを用いたデータ分析ができる

【成績の評価】

授業への取組み（10%）、レポート（90%）

レポートについては、採点・添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

適宜指示する

【参考文献】

最短コースでわかる Pythonプログラミングとデータ分析 赤石 雅典(著)
日経BP 2022年 ¥3,190 ISBN-13: 978-4296201129

実務で役立つPython機械学習入門 課題解決のためのデータ分析の基礎
池田 雄太郎、田尻 俊宗 新保 雄大 共著
翔泳社 2023年 ¥3,300 ISBN-13: 978-4798184890

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション シラバスを用いて授業の概要を説明する。	予習として前期の科目である「経営システム工学」の振り返り 3時間 復習として履修理由のレポートの作成 1時間	
2	Pythonによるデータの可視化 その1 グラフ作成のためのライブラリの概要を説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
3	Pythonによるデータの可視化 その2 データフレームから簡単なグラフの作成方法を説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
4	データ分析プロジェクトの説明 データ分析の手法について説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
5	データの収集 データ分析のためのデータ収集方法を説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
6	データの加工と編集 データ分析のために必要となるデータの加工、編集方法を説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
7	AIを用いたデータ分析 AI(特に機械学習)を用いたデータ分析について説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
8	AIの学習モデルの構築 AIの学習モデルの構築方法を説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
9	AIの学習モデルを用いたデータの予測 学習モデルを用いたデータ予測の方法を説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
10	データ分析演習 その1 テーマの選定する。	予習としてテーマ設定の方法について調査し、ノートにまとめること 3時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 1時間	
11	データ分析演習 その2 データの収集と加工を行う。	予習として分析に必要なデータを調査し、そのデータの加工方法を調査し、ノートにまとめること 3時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 1時間	
12	データ分析演習 その3 学習モデルの構築	予習としてAIの学習モデルについて調査し、ノートにまとめること 3時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 1時間	
13	データ分析演習 その4 データ分析を行う。	予習としてここまでのデータ分析の結果を振り返り、ノートにまとめること 3時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 1時間	
14	データ分析演習 その5	予習として、データ分析演習の振り返り 3時	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
	データ分析の結果をレポートとしてまとめる。	間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 1時間	
15	全体のまとめとこれからのデータ分析	予習としてここまでの授業内容の振り返り 3時間 復習としてデータ分析の様々な手法の調査し、のーとにまとめること 1時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF321

授業形態： 講義

科目名： データベース論

担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

この授業では、データベースの設計・運用・管理等の基礎的な知識の習得を目標としています。データベースは、データを使いやすいように整理して集積したもので、将来、情報システムの導入や開発に関わる仕事をするためには、必須の知識になっています。また、データサイエンスにおいては、基盤技術の一つでもあり、データベースに関する知識・技術を習得することは、これからの社会人にとって非常に重要なものとなっています。

また、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的な知識から専門的な知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1) データベースに関する基礎知識を理解し、説明できる
- (2) リレーショナルデータベースの基本的な操作を理解し、SQL文を記述できる
- (3) 適切なデータの構造を理解し、システムのデータフローを理解できる
- (4) データサイエンスにおけるデータベースの役割を説明できる

【成績の評価】

授業への取り組みとレポート（10%）、中間試験（30%）、定期試験（60%）

レポート、中間試験および定期試験については、採点・添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

図解まるわかり データベースのしくみ

坂上 幸大（著）、翔泳社 2021年、\ 1,848円、ISBN-13 : 978-4798166056

【参考文献】

適宜指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として履修科目の決定とシラバスの熟読 2時間 復習として履修理由のレポートの作成 2時間	
2	データベースとは	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
3	リレーショナルデータベースとは	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
4	データベースの操作	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
5	SQLとは	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
6	正規表現と関係演算	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
7	データの型と集計	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
8	ここまでのまとめと中間試験 SQLを中心に中間試験を行う	予習としてここまでの授業内容の振返り 3時間 復習として、中間試験の振返り 1時間	
9	テーブル設計と正規化	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
10	テーブル設計とER図	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
11	演習：テーブルの正規化	予習としてテーブルの正規化についてノートにまとめること 3時間 復習として、授業の成果物の振り返り 1時間	
12	演習：ER図の作成	予習としてER図とその作成方法についてノートにまとめること 3時間 復習として、授業の成果物の振り返り 1時間	
13	データベースの運用とセキュリティ	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
14	データサイエンスとデータベース 企業経営におけるデータサイエンスの一例としてデータ駆動型経営とデータベースの関係性について説明する	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
15	これまでのまとめと今後のデータベースの重要性について	予習としてここまでの授業内容の振り返り 3時間 復習として、ここまでの授業で興味を持ったことをまとめる 1時間	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： INF202
授業形態： 講義
科目名： 情報産業概論
担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

最近、DX(Digital Transformation)という言葉が耳にする機会が増えています。DXとは、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」(2018年 経済産業省)ということです。DXは近年のデータ駆動型社会やSociety5.0と呼ばれる社会変革にも影響を受け、日々進化を遂げています。そのため、職業にも大きな変化が生じています。

本講義では、「DXとは何か?」「DXに必要な技術とは?」「DXによって企業、社会はどう変わるのか?」「職業はどう変化するのか」などについて、理解を深め、DXの進展が自らにどう影響するのかを考えてもらいたいと思っています。

また、高等学校教諭一種免許状(情報)の取得のための選択科目です。

高等学校教諭一種免許状(情報)必修

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1) DXについて理解できる
- (2) DXに必要な技術・知識を理解できる
- (3) DXによる社会(学校・企業等)の変化を理解できる
- (4) DXによる職業意識の変化を説明できる

【成績の評価】

授業への取り組みとレポート(10%)、中間レポート(30%)、最終レポート(60%)
レポートについては、採点・添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

DXの教養 デジタル時代に求められる実践的知識
志度 昌宏他(著)、三菱ケミカルホールディングス 先端技術・事業開発室 DXグループ(著)
インプレス社 2020年 ¥1,800円+税、ISBN-13 : 978-4295011217

【参考文献】

適宜指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション シラバスを用いて授業の概要とDigital Transformationを説明する。	予習として履修科目の決定とシラバスの熟読 2時間 復習として履修理由のレポートの作成 2時間	
2	DXとは	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
3	DXの実例	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
4	企業の変化	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
5	DXを支えるテクノロジー（CPSなど）	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
6	DXを支えるテクノロジー（セキュリティなど）	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
7	データ分析技術	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
8	データの取扱い	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
9	DXによるビジネスの変化	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
10	デザインシンキング	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
11	DXを利用した新しい技術	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
12	DX社会での職業意識の変化 DX社会での職業意識の変化とそれに伴う職業指導の問題点について説明する。	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
13	DXと社会との関係	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
14	生成AIの概要	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
15	DXとの付き合い方と全体のまとめ	予習としてテキストの振返り 2時間 復習として、最終レポートの作成 2時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF322

授業形態： 講義

科目名： システム構成論

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

企業がWWWサイトやSNSを利用して広報・営業するだけでなく、企業内の業務を支援するためにWWW技術を利用した情報システムを構築しているのが当たり前の時代ですが、中小企業や中堅企業では、ネットワーク管理部署を設置したり、専任のネットワーク管理者をおくことが難しい現状があります。皆さんが卒業後に働く現場で、ネットワーク管理の仕事を依頼されたり、業者との折衝を任されるかも知れません。

この授業では、WWWベースのシステムを通じて、情報システムの構成要素や情報システムを構築する際の注意点などを学習します。様々なビジネスへ適用している事例を紹介するのに加え、オンラインショッピングサイトなどやWWWベースの業務支援システムを構成する技術、および、業者との打合せに必要な事柄を学習します。

この科目は、情報ネットワーク論、コンピュータネットワーク論、データベース論の内容を理解していることを前提とします。

この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. WWWベースの情報システムの様々なビジネスへの適用例を知り、概要を説明できる。
2. 三層クライアント・サーバシステムの概要を理解し、説明できる。
3. WWWベースの情報システムを構成する技術を理解し、説明できる。
4. 業務を遂行するのに必要な情報システム全体の概要を構想できる。
5. 業務を遂行するのに必要な情報システムを外部の業者に発注することができる。

【成績の評価】

授業における取組みと実技課題（30%）、小テスト（20%）、定期試験に代わる課題（50%）

小テストおよび定期試験に代わる課題についてはメール等により採点結果を通知し、実技課題については優秀例を解説することで、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

資料を配布します。

【参考文献】

押切 孝雄ほか『はじめてでもよくわかる！Webマーケティング集中講義』（マイナビ）ISBN978-483995068、¥2,380+税。

小林 恭平ほか『イラスト図解式 この一冊で全部わかるWeb技術の基本』（SBクリエイティブ）ISBN978-4797388817、¥1,680+税。

きはし まさひろ『イラスト図解式 この一冊で全部わかるサーバーの基本』（SBクリエイティブ）ISBN978-4797386660、¥1,680+税。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容(時間) / 復習内容(時間)	備考
1	受講ガイダンス	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
2	なぜWebシステムは広く利用されるのか	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
3	HTMLの基礎	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：HTMLに関する課題(4時間)	
4	CSSの基礎	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：CSSに関する課題(4時間)	
5	HTTPとWWWコンテンツの公開と管理	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：フォルダ構成とアクセス権限に関する課題(2時間)	
6	動的コンテンツを構成する技術(1)：CGIの仕組みとPerlの基礎	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：CGIに関する課題(2時間)	
7	動的コンテンツを構成する技術(2)：ファイル操作と排他制御処理	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：プログラムからのファイル操作に関する課題(2時間)	
8	動的コンテンツを構成する技術(3)：JavaScript, PHP, JSP, Java Applet	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：デプロイメントに関する課題(2時間)	
9	システム構成要素・データベースとの連携(1)：Webシステムにおけるデータベース	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：データベースに関する課題(6時間)	
10	システム構成要素・データベースとの連携(2)：RDBにおけるテーブルの管理	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
11	システム構成要素・データベースとの連携(3)：プログラムからのデータベース操作	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
12	セキュリティの基礎とアクセス制御(1)：Apacheにおけるアクセス制御の設定	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：アクセス制御に関する課題(6時間)	
13	セキュリティの基礎とアクセス制御(2)：SSL、Basic認証、XAuth認証、OAuth認証	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
14	不正アクセス対策と負荷分散	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
15	総括：定期試験代わりの課題に関する説明	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 課題：定期試験代わりの課題(2時間)	
	定期試験(実施しない)		定期試験代わりの課題を実施します

科目ナンバリング： INF261

授業形態： 講義

科目名： 情報コンテンツ表現概論

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshi)

【授業の紹介】

現在、企業の広報活動において、様々なチャネルを用いることによる消費者とのコミュニケーションの重要性が高まっています。このようなコミュニケーションにおいては、目的を効果的に達成するためのコンテンツ選択やその表現技術が重要です。この授業では、コンテンツ制作に必要な様々な知識について、特に、静止画像・文字・音声に焦点を当て、その基礎知識と活用方法を学習します。

関連科目として「情報基礎」が既習であることを前提とします。また「情報コンテンツ表現演習」では動画に焦点を当てて学習しますので、続けて受講することを推奨します。

この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. マルチメディアの概念について、他者に説明できる。
2. 各種ファイル形式について概要を理解できる。
3. 各種コンテンツ制作の仕様を理解できる。
4. 様々な目的を達成するために表現技術を活用できる。

【成績の評価】

授業における取組みと制作課題（25%）、小テスト（25%）、定期試験代わりの課題（50%）
小テストおよび定期試験代わりの課題については、メール等を通じて採点結果を返却します。制作課題については、優秀作品について講評を行うことにより、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

資料を配布します。

【参考文献】

知的財産教育協会「インターネットユーザのための事例で学ぶ知的財産権の基礎知識」（日本経済新聞社）ISBN978-4-532-49010-2，¥1,600+税。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (1時間)	
2	画像処理の基礎とファイル形式の変換	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (2時間)	
3	静止画像の加工(1)：領域選択、色調変換	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：領域選択及び色調変換に関する課題 (5.5時間)	
4	静止画像の加工(2)：レイヤー、変形	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：レイヤー及び変形に関する課題(5.5時間)	
5	静止画像の加工(3)：パス、マスクング	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：パス及びマスクングに関する課題(5.5時間)	
6	画像データの仕組み	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (4時間)	
7	文字とフォント	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：フォントに関する課題(2.5時間)	
8	ロゴマークの作成	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：フォントに関する課題(5.5時間)	
9	音声データの加工と編集(1)：MIDIシーケンサ	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：MIDIデータに関する課題(3.5時間)	
10	音声録音の仕組み：標本化・量子化・符号化	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (4時間)	
11	音声データの加工と編集(2)：波形処理ソフト	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：波形処理に関する課題(1.5時間)	
12	音声データの加工と編集(3)：ノイズとフィルタ	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：フィルタに関する課題(1.5時間)	
13	音声データの加工と編集(4)：より高度な音声編集	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：音声編集に関する課題(7.5時間)	
14	コンテンツの利用と知的財産権：著作権と保護技術	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (4時間)	
15	総括：定期試験代わりの課題に関する説明	課題：定期試験代わりの課題(2時間)	
	定期試験(実施しない)		定期試験代わりの課題を実施する

科目ナンバリング： INF223
授業形態： 講義
科目名： 情報システム論
担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

現在、情報システムは、企業の活動の基盤として、なくてはならないものになっています。単に人手を置き換えることで人件費を削減するだけでなく、経営者から末端の従業員まで幅広い立場の者の意思決定を支援し、新しい経営戦略や新しいビジネスプロセスを実現する基幹としての役割を果たすようになっていきます。ビジネスの構想のなかに情報システムを組み込み、情報システムを実際に稼働させる過程を把握することは、経営者にとって必須の知識です。

この授業では、情報システムの開発に焦点を当てながら情報システムに関わる様々な物事を学習し、先人たちによる企業の情報化の取り組みで得られた様々な知恵について学んでいきます。

関連科目として、「情報基礎」「経営情報概論」が既習であることを前提とし、前後の近い時期に「情報産業概論」「プログラミング」「情報ネットワーク論」を履修することを推奨します。また、「データベース論」「システム構成論」に連携します。

この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための必修科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 企業における情報システムの役割を説明できる。
2. 情報システムの開発の流れと各工程の概要を説明できる。
3. 情報システムの保守や文書管理の重要性を説明できる。
4. 情報システムの要件を定義し、文書化できる。

【成績の評価】

授業への取り組みとコメント（25%）、小テストおよび課題（25%）、定期試験代わりの課題（50%）
小テストおよび定期試験代わりの課題については、メールにて採点結果を返却し、コメントや課題については優秀なものについて解説することによりフィードバックを行う。

【使用テキスト】

小泉寿男ほか『ソフトウェア開発（改訂2版）』（オーム社）、2015、ISBN978-4-274-21841-5。
きたみりゅうじ『キタミ式イラストIT塾ITパスポート令和06年』（技術評論社）、2023、ISBN978-4-297-13805-9。

【参考文献】

羽生章洋『はじめよう！要件定義～ビギナーからベテランまで～』（技術評論社）、2015、ISBN978-4774172286、¥1,980+税。
細川義洋『なぜ、システム開発は必ずモメるのか？49のトラブルから学ぶプロジェクト管理術』（日本実業出版社）、2013、ISBN978-4534051158、¥2,000+税。
岡島幸男ほか『プロマネやっちはいけない（計画・管理編）』（日経BP社）、2011、ISBN978-4822211905、¥1,600+税。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス、情報システムの役割	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
2	情報システムのライフサイクル	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
3	システム開発の流れと代表的な開発モデル	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
4	業務のモデル化と要件定義、ユーザインタフェース	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
5	コード設計と入力チェック	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
6	動作検証(テスト工程)	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
7	プロジェクトマネジメント、アローダイアグラム	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
8	サービスマネジメント、システム監査	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
9	プログラミング	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
10	アルゴリズムとデータ構造	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
11	システム構成、性能指標	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
12	故障対策、信頼性と稼働率、バックアップ	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
13	電子商取引	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
14	システム開発に関連する法規、請負と派遣	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
15	総括：定期試験代わりの課題に関する説明	復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間) 定期試験代わりの課題(2時間)	
	定期試験(実施しない)		定期試験代わりの課題を実施する

科目ナンバリング： INF264
授業形態： 講義
科目名： データエンジニアリング基礎
担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

データエンジニアリングとは、データを収集・処理・蓄積することであり、データ・AI活用にとって非常に重要な役割を果たしています。この授業では、データエンジニアリングを中心に、コンピュータでデータを収集・処理・蓄積するための技術の概要をはじめ、コンピュータ内でのデータの表現、データの収集・編集方法等について理解し、データ・AI活用の基礎的な能力の獲得を目指します。

また、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1) Pythonを用いてデータを収集・処理・蓄積するための技術の概要が理解できる
- (2) データを扱うためのデータ表現の基礎が理解できる
- (3) Webサイト等からデータを検索し、収集できる
- (4) データ・AI活用に必要なITセキュリティの基礎が理解できる
- (5) 数千件～数万件のデータを加工処理するプログラムが作成できる

【成績の評価】

普通の授業態度（10%）、レポート（30%）定期試験（60%）で評価する。
授業での提出物、定期試験は採点等を行い、返却することによってフィードバックとする。

【使用テキスト】

適宜指示する

【参考文献】

最短コースでわかる Pythonプログラミングとデータ分析 赤石 雅典(著)
日経BP 2022年 ¥3,190 ISBN-13：978-4296201129

ChatGPTと学ぶPython入門 「Python×AI」で誰でも最速でプログラミングを習得できる！
熊澤 秀道(著) 翔泳社 2023年 ¥1,980+税 ISBN-13：978-4798182230

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション シラバスを用いて授業の概要を説明する。	予習として履修科目の決定とシラバスの熟読 2時間 復習として履修理由のレポートの作成 2時間	
2	データエンジニアリングの説明及びGoogle Colabの説明 データエンジニアリングに必要となる知識としてビッグデータおよびセキュリティについて説明を行い、その後、Google Colabの利用方法を説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業内容と授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
3	Pythonの概要	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
4	Pythonの文法とデータ型	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
5	Pythonの制御文、リスト、辞書等	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
6	Pythonの関数定義	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
7	Pandasの概要	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
8	Pandasにおけるデータ表現	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
9	Pandasにおけるデータの収集・加工	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
10	Pandasにおける文字、時間データの加工	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
11	Pandasにおけるデータの結合と検索	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
12	演習：データ分析プロジェクト（1） 課題発見・解決に必要となるデータをWeb上から収集し、そのデータを加工する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
13	演習：データ分析プロジェクト（2） データを処理し、適切にグラフ化する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
14	演習：データ分析プロジェクト（3） データ分析のレポートを作成する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックとレポートの振り返り 2時間	
15	ここまでのまとめと今後の展望	予予習としてこれまで作成した全ノートブックの読み返し 3時間 復習としてAIを利用した分析例を調査し、ノートにまとめること 1時間	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング：

授業形態： 講義

科目名： 経営システム工学

担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

企業や組織は、多種多様でかつ膨大なデータを保有しています。そのデータを使って、企業的意思決定を支援することをBusiness Intelligence：BIといい、データに基づいて意思決定を行うことを「データ駆動」と言います。

本講義では、BIの入門としてデータ分析の基礎、特にデータエンジニアリングについて学修します。最近のデータ分析はプログラミング言語であるPythonを用いてデータの収集・加工・集計・視覚化を行うことが増えており、データ分析にはPythonの活用が当たり前となっています。そのため、データ分析に必要なPythonの文法やライブラリの使用方法を中心に授業を進めます。授業を通じ、データサイエンスやその基盤技術であるデータエンジニアリングの基礎的な内容を理解し、これからの社会に適応したデジタル人材の育成を目標としています。

また、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1)Pythonを用いたデータ分析について説明できる
- (2)データ分析に必要なPythonのライブラリを説明できる
- (3)データエンジニアリングを説明できる
- (4)BIの必要性を説明できる

【成績の評価】

授業への取組み（10%）、レポート（30%）、定期試験（60%）

レポート、中間試験および定期試験については、採点・添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

適宜指示する

【参考文献】

最短コースでわかる Pythonプログラミングとデータ分析 赤石 雅典(著)
日経BP 2022年 ¥3,190 ISBN-13：978-4296201129

実務で役立つPython機械学習入門 課題解決のためのデータ分析の基礎
池田 雄太郎、田尻 俊宗 新保 雄大 共著
翔泳社 2023年 ¥3,300 ISBN-13:978-4798184890

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション シラバスを用いて本講義の概要を説明する。 終了後に受講理由をレポートとして提出すること。	予習として履修科目の決定とシラバスの熟読 2時間 復習として受講理由のレポート作成とPython言語の確認 2時間	
2	Google Colabの使い方 本講義で利用するGoogle Colabの使い方をPythonの基本的な文法を使って説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
3	Pythonのデータ型、関数、制御文 Python言語の組み込み関数の説明と制御文の文法を説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
4	リスト・タプル・集合・辞書 データ型であるリスト等の説明と制御文の繰返し構文を説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
5	関数定義 関数の定義方法とその呼び出し方法など使い方を説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
6	Pandas その1 データ分析のライブラリーであるPandasの概要とデータフレームの作成方法を説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
7	Pandas その2 データフレームの操作や簡単な検索方法を説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
8	Pandas その3 Pandasのデータの確認とデータの前処理を説明する。	予習としてデータ確認のためのメソッドの調査 2時間 復習として授業で作成したノートブックの読み返し 2時間	
9	Pandas その4 データの集計方法を説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
10	Pandas その5 データの検索とデータフレームの結合方法を説明する。	予習として授業内容の事前調査 1時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 1時間	
11	Pandas その6 データフレームの文字列や時間型の取扱い方法を説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
12	ここまでの復習とまとめ 復習と兼ねた演習問題を行う。これを中間試験とする。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として中間試験の振り返り 2時間	
13	実データを使った分析 eStatからデータをダウンロードし、そのデータを使ったデータ分析の方法を説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
14	AIを用いたデータ分析	予習として授業内容を事前調査し、ノートに	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	AIを用いたデータ分析の概要とその方法を説明する。	まとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
15	全体のまとめとこれからのデータ分析	予習としてこれまで作成した全ノートブックの読み返し 2時間 復習としてAIを利用した分析例を調査し、ノートにまとめること 1時間	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： INF262
授業形態： 演習
科目名： 情報コンテンツ表現演習
担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

現在、企業の広報活動において、動画配信の活用による消費者とのコミュニケーションの重要性が高まっています。特に、コンテンツサービス業務においては、目的を効果的に達成するための表現技術が重要になっています。この科目では、コンテンツ制作に必要な様々な知識について、特に、動画に焦点を当て、その基礎知識と活用方法を学習します。関連科目として、「情報基礎」と「情報コンテンツ表現概論」が既習であることを前提とします。

この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための必修科目です。

なお、使用ソフトウェアのライセンス個数に限りがあるため、時間割記載の授業時間における対面での受講者は、40名までに限定します。優先順位は、教員免許（情報）取得希望者 > 経営情報コース > 成績GPA の順になります。選にもれた受講生については、5校時や土曜日などの時間枠を設定して授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 動画の仕組みやマルチメディアの概念について、他者に説明できる。
2. 各種ファイル形式、および、コンテナフォーマットの概要について理解できる。
3. 各種コンテンツ制作の仕様を理解できる。
4. 様々な目的を達成するために表現技術を活用できる。

【成績の評価】

授業内の制作物（25%）、小テスト（25%）、課題（50%）

小テストについては採点済答案を返却し、課題については優秀作品について講評を行うことにより、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

家子史穂、千崎達也「仕事に使える動画術」（翔泳社）ISBN978-4-7981-4164-0、¥1,800+税。
マウンテンスタジオほか「これからはじめるPremiereProの本[改訂2版]」（技術評論社）、ISBN978-4-297-12417-5、¥2,600+税。

【参考文献】

知的財産教育協会「インターネットユーザのための事例で学ぶ知的財産権の基礎知識」（日本経済新聞社）ISBN978-4-532-49010-2、¥1,600+税。

日本映画・テレビ編集協会編「図解 映像編集の秘訣」（玄光社）ISBN4-7683-0099-5、¥2,000+税。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間)	
2	動画編集ソフト	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
3	動画の歴史とパラパラ漫画	課題：パラパラ漫画(1時間)	
4	パラパラ漫画から動画へ	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
5	撮影と照明	課題：ホワイトバランス(1時間)	
6	動画にとっての音声	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
7	構図・カメラワークと遷移	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
8	演技と絵コンテ	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
9	生成AIの活用	課題：絵コンテ(2時間)	
10	ストーリー構成(1)：三幕構成	課題：ストーリー分析(4時間)	
11	ストーリー構成(2)：関係の変化	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
12	動画の企画と企業での活用	課題：動画制作(8時間)	
13	動画編集	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
14	動画配信と知的財産権	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間)	
15	総括：より魅力的な動画を目指して	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF341
授業形態： 講義
科目名： コンピュータネットワーク論
担当教員： 最所 圭三(SAISHO Keizo)

【授業の紹介】

インターネットは、情報発信や情報収集、コミュニケーション、電子商取引などを支える社会基盤であり、社会生活に欠くことができないものです。企業や団体などの多くの組織で組織内のネットワークが構築され、インターネットに接続されていますが、皆さんが卒業後に働く職場において、ネットワーク管理に関する業務に携わることがあるかもしれません。

この授業では、そのような立場になったときに必要とされる知識を得ることを目的として、インターネットの仕組み、インターネットへの接続やネットワーク管理に必要な基礎知識、ネットワークセキュリティの基礎知識などについて学びます。具体的には、ネットワークでの通信で用いられる通信の約束事であるプロトコル、プロトコルの階層化、それぞれの階層の役割、無線通信、ストリーミング、ユーザ管理、暗号通信、ファイアウォールおよびネットワーク監視について学びます。

なお、この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 通信におけるプロトコルについて説明できる。
2. インターネットで用いられているプロトコルの階層化と各階層の役割を説明できる。
3. 仮想ネットワークやストリーミングについて説明できる。
4. ユーザ管理について説明できる。
5. 暗号化技術およびファイアウォールについて説明できる。
6. ネットワーク監視のためプロトコルやツールについて説明できる。

【成績の評価】

レポート（20%）、小テスト（20%）、中間試験（30%）、定期試験（30%）で評価する。ただし、レポートを5回以上提出しない場合は合格点に達していても不合格とする。

レポートについては、次の回の授業の開始時に解説することでフィードバックする。

小テスト、中間試験、定期試験については、試験後に解答例を示すことでフィードバックする。

【使用テキスト】

福永勇二「イラスト図解式 この一冊で全部わかるネットワークの基本 第2版」(ソフトバンククリエイティブ)、ISBN978-4-8156-1767-7、\1720E、2023年

【参考文献】

増田若奈、根本佳子「図解 ネットワーク 仕事で使える基本の知識 [改訂新版]」(技術評論社)、ISBN978-4-7741-97777-7、\1680E、2018年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	なし	
2	通信プロトコルの概要	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
3	物理的な通信のための物理層	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
4	コンピュータをネットワークに接続するためのネットワークインタフェース層	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
5	世界規模の通信を実現するインターネット層	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
6	インターネット層でのルータの役割	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
7	無線LANと仮想ネットワーク	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
8	ネットワークプログラム同士の通信を実現するトランスポート層	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
9	第7回までのまとめと中間試験	第2回から7回までのレポートを振り返ることで授業内容の理解度を深める(6時間)	
10	TCPにおける通信の信頼性の実現	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
11	ストリーミングとIP電話	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
12	ユーザ管理	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
13	暗号化技術とファイアウォール	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
14	ネットワーク監視プロトコルとネットワーク監視ツール	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
15	授業の総括：重要項目の解説	第8回および第10回から14回までのレポートを振り返ることで授業内容の理解度を深める	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		(6時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ACC211
授業形態： 講義
科目名： 簿記論
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

本講義では、日商簿記検定2級の範囲に含まれる商業簿記の中から、株式会社の会計に関する内容を中心に学習します。よって、株式会社で行われる取引を、どのように会計処理するのかについての理解を深めます。

関連科目として「簿記演習」、「簿記演習」が既習であることを前提とします。また「財務会計論」では作成された財務諸表の分析に焦点を当てて学習しますので、続けて受講してください。

本講義は、高等学校教諭一種免許状（商業）取得のための選択科目です。
毎回、電卓（12桁）を必ず持ってくるようにしてください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 株式会社に特有の取引を理解し、財務諸表作成までの会計処理を適切な形で行うことができる。
2. 上記の会計処理を問う問題を解くことができ、その会計処理が必要とされる背景を説明することができる。

【成績の評価】

課題（50%）、中間テスト（25%）、確認テスト（25%）により総合的に評価します。

なお、毎回の課題については、授業時間内に解説し、中間テストおよび確認テストについては、オフィスアワーの際に結果を開示するとともに、解説することでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】

桜井久勝（2023）『財務会計講義（第24版）』中央経済社

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション / 株式会社とは何か？	予習として「オランダ東インド会社」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	株式の発行	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	剰余金の配当と処分	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	税金	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	商品売買	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	銀行勘定調整表	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	重要項目の確認と中間テスト	予習として第1回から第6回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
8	固定資産の購入・減価償却・売却など	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	固定資産の除却・改良、建設仮勘定など	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	研究開発費と無形固定資産	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	有価証券の購入と売却、配当金の受け取りなど	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	端数利息の処理、満期保有目的債権の評価	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	引当金	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	収益の認識基準	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	重要項目の確認と確認テスト	予習として第8回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC222
授業形態： 講義
科目名： 財務会計論
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

会計は、ある特定の経済主体の経済活動を、貨幣額などを用いて計数的に測定し、その結果をまとめて利害関係者に伝達するためのシステムであるとされています。そのため、財務諸表を読み取る力を修得すると、財務諸表を通して企業の実態を知ることができるようになります。本講義は、こうした力を養うことを目的としています。なお、質問やディスカッションを行う時間を設けるので、積極的に議論に参加することを望みます。

関連科目として「簿記論」が既習であることを前提とします。
本講義は、高等学校教諭一種免許状（商業）取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 財務諸表の構成を理解し、会計情報を読み取ることができる。
2. 読み取った会計情報を分析し、解釈することができる。

【成績の評価】

課題（50%）、中間テスト（25%）、確認テスト（25%）により総合的に評価します。

なお、毎回の課題については、授業時間内に解説し、中間テストおよび確認テストについては、オフィスアワーの際に解説することでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】

桜井久勝（2020）『財務諸表分析（第8版）』中央経済社

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション／財務会計の機能	予習として「財務3表」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	貸借対照表の読み方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	損益計算書の読み方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	収益性の分析（総資本事業利益率）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	収益性の分析（自己資本純利益率）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	収益性の分析（資本利益率の分解）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	重要項目の確認と中間テスト	予習として第1回から第6回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
8	安全性の分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	成長性の分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	不確実性によるリスクの分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	キャッシュ・フロー計算書の読み方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	キャッシュ・フロー情報の分析	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	連結財務諸表／セグメント情報の読み方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	会計情報と資本市場の関係	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	重要項目の確認と確認テスト	予習として第8回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC231
授業形態： 講義
科目名： 原価計算論
担当教員： 岡田 龍哉

【授業の紹介】

原価計算は、特に製造企業において用いられる会計であり、製品原価の計算のみならず、企業内部で行われる様々な活動から発生するアウトプットの原価を計算する会計である。したがって、原価計算は企業が限られた経済的資源を効果的に利用するために必要な会計であり、規模や業種を問わず、あらゆる企業経営において不可欠な知識・技術である。本講義では、資源の投入から様々なアウトプットが算出されるまでに行われる価値の移転を意識しながら各種の知識・技術・思考を身に付けることにより、地域企業・地域社会に貢献し得るための能力を身に付けることを目的とする。
高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための選択科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

日商簿記検定2級程度の工業簿記および原価計算の知識を習得し、自ら計算できる。
工業簿記および原価計算の背後にある理論や考え方について理解し実践することができる。
種々の数値を算出するだけでなく、その数値が何を意味するのかについて自らの経営問題に照らして説明することができる。

【成績の評価】

毎回の授業で提示する課題（60%）および不定期に提示するクイズ（40%）により評価する。フィードバックは各種課題およびクイズの解答および質疑応答の時間に行う。

【使用テキスト】

なし。

【参考文献】

廣本敏郎・挽文子（2015）『原価計算論 第3版』中央経済社。ISBN:978-4-502-14401-1。 \ 6,300（税別）。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、簿記演習 の内容を確認し、特に仕訳の方法について、疑問点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、原価計算論を履修する意義を自分なりに解釈し、目標としてノート等に記述すること（2時間）	
2	原価計算総論	予習として、事前に提示したキーワードについて調べ、内容および疑問点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点に関し自分なりの言葉でノート等に内容をまとめ、それに基づき課題に取り組むこと（2時間）	
3	材料費の計算	予習として、事前に提示したキーワードについて調べ、内容および疑問点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点に関し自分なりの言葉でノート等に内容をまとめ、それに基づき課題に取り組むこと（2時間）	
4	労務費および経費の計算	予習として、事前に提示したキーワードについて調べ、内容および疑問点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点に関し自分なりの言葉でノート等に内容をまとめ、それに基づき課題に取り組むこと（2時間）	
5	製造間接費配賦の基礎と部門別計算	予習として、事前に提示したキーワードについて調べ、内容および疑問点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点に関し自分なりの言葉でノート等に内容をまとめ、それに基づき課題に取り組むこと（2時間）	
6	個別原価計算	予習として、事前に提示したキーワードについて調べ、内容および疑問点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点に関し自分なりの言葉でノート等に内容をまとめ、それに基づき課題に取り組むこと（2時間）	
7	単純総合原価計算	予習として、事前に提示したキーワードについて調べ、内容および疑問点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点に関し自分なりの言葉でノート等に内容をまとめ、それに基づき課題に取り組むこと（2時間）	
8	仕損が生じる場合の総合原価計算	予習として、事前に提示したキーワードについて調べ、内容および疑問点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点に関し自分なりの言葉でノート等に内容をまとめ、それに基づき課題に取り組むこと（2時間）	
9	工程別総合原価計算	予習として、事前に提示したキーワードについて調べ、内容および疑問点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点に関し自分なりの言葉でノート等に内容をまとめ、それに基づき課題に取り組むこと（2時間）	
10	組別総合原価計算と等級別総合原価計算	予習として、事前に提示したキーワードについて調べ、内容および疑問点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点に関し自分なりの言葉でノート等に内容をまとめ、それ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		に基づき課題に取り組むこと（2時間）	
11	標準原価計算：計算構造と原価差異	予習として、事前に提示したキーワードについて調べ、内容および疑問点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点に関し自分なりの言葉でノート等に内容をまとめ、それに基づき課題に取り組むこと（2時間）	
12	標準原価計算：原価差異分析	予習として、事前に提示したキーワードについて調べ、内容および疑問点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点に関し自分なりの言葉でノート等に内容をまとめ、それに基づき課題に取り組むこと（2時間）	
13	標準原価計算：原価管理の基礎知識	予習として、事前に提示したキーワードについて調べ、内容および疑問点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点に関し自分なりの言葉でノート等に内容をまとめ、それに基づき課題に取り組むこと（2時間）	
14	直接原価計算	予習として、事前に提示したキーワードについて調べ、内容および疑問点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点に関し自分なりの言葉でノート等に内容をまとめ、それに基づき課題に取り組むこと（2時間）	
15	CVP分析	予習として、事前に提示したキーワードについて調べ、内容および疑問点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点に関し自分なりの言葉でノート等に内容をまとめ、それに基づき課題に取り組むこと（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC331
授業形態： 講義
科目名： 経営分析論
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

企業が公表する決算書は企業情報の宝庫といわれており、企業の活動について総合的な知識を得るための重要な情報源である。そこで本講義は、企業の決算書から売上高や純利益などの財務データを用いて企業の収益性・安全性・成長性などを分析する方法を学習します。そして、分析結果について株価の動向を見たりしながらディスカッションを行います。このような知識は社会に出てから自分の会社の経営状態を分析する際に不可欠です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 企業が実際に公表している決算書を入手できる。
2. 財務データに基づいて経営分析を行える。
3. 分析結果について自分の意見を述べられる。

【成績の評価】

平常点（授業への積極的な参加、小テスト、授業内レポート等）60%、定期試験40%により評価します。小テストは15回の講義中に3～4回程度行います。なお、小テストについては、点数を伝え模範解答を示します。また、授業内レポートを1回行います。授業内レポートについては授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。進捗により各テーマの講義回数を変更する可能性があります。日商簿記検定等の資格試験の相談についても対応していきます。

【使用テキスト】

なし。講義資料は毎回プリントを配布します。

【参考文献】

桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社。（最新版）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（経営分析の概要）	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。(2時間)	
2	貸借対照表の見方・損益計算書の見方	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。(2時間)	
3	経営分析の視点と方法	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深める。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。(2時間)	
4	収益性の分析 (ROA)	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深めてディスカッションにしっかり参加できるようにする。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して計算結果を確認する。(2時間)	
5	収益性の分析 (ROAの2分解)	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深めてディスカッションにしっかり参加できるようにする。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して計算結果を確認する。(2時間)	
6	収益性の分析 (ROE)	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深めてディスカッションにしっかり参加できるようにする。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して計算結果を確認する。(2時間)	
7	収益性の分析 (ROEの3分解)	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深めてディスカッションにしっかり参加できるようにする。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して計算結果を確認する。(2時間)	
8	収益性の分析 (売上高利益率)	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深めてディスカッションにしっかり参加できるようにする。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して計算結果を確認する。(2時間)	
9	安全性の分析 (短期的安全性)	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深めてディスカッションにしっかり参加できるようにする。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して計算結果を確認する。(2時間)	
10	安全性の分析 (長期的安全性)	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深めてディスカッションにしっかり参加できるようにする。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して計算結果を確認する。(2時間)	
11	安全性の分析 (キャッシュフロー計算書の分	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	析)	経営状態や経済の動向などについて知識を深めてディスカッションにしっかり参加できるようにする。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して計算結果を確認する。(2時間)	
12	不確実性によるリスクの分析（売上高の変動性など）	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深めてディスカッションにしっかり参加できるようにする。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して計算結果を確認する。(2時間)	
13	不確実性によるリスクの分析（費用構造と利益変動など）	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深めてディスカッションにしっかり参加できるようにする。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して計算結果を確認する。(2時間)	
14	成長性の分析	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深めてディスカッションにしっかり参加できるようにする。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して計算結果を確認する。(2時間)	
15	証券投資への応用	予習として、新聞や経済雑誌を読んで企業の経営状態や経済の動向などについて知識を深めてディスカッションにしっかり参加できるようにする。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して計算結果を確認する。(2時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ACC232
授業形態： 講義
科目名： 管理会計論
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

管理会計は、経営管理のために行われる会計です。管理会計による会計情報は、企業内部の経営者から各部門の管理者を含む経営管理者が、意思決定や業績管理を行う際に利用されています。そして、会計数値を用いて経営管理を行う知識は、企業に属するすべての人々に必要なものです。本講義では、管理会計によってどのような会計情報が作成されるのか、および会計情報がどのような分析に用いられているのかなどに関して学習します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

管理会計の目的を説明できる。
管理会計による会計情報の作成方法を説明できる。
管理会計による会計情報の分析方法について説明できる。

【成績の評価】

平常点（授業への積極的な参加、小テスト等）60%、定期試験40%により評価します。
小テストは15回の講義中に3～4程度行います。小テストについては、点数を伝えます。また、小テストの模範解答を以降の講義で示します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
進捗により各テーマの講義回数を変更する可能性があります。日商簿記検定等の資格試験の相談についても対応していきます。

【使用テキスト】

なし。講義資料は毎回プリントを配布します。

【参考文献】

谷武幸（2022）『エッセンシャル管理会計（第4版）』中央経済社。
國部克彦・大西靖・東田明（2020）『1からの管理会計』碩学舎。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（管理会計の概要）	予習として、参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。参考文献や簿記検定の工業簿記・原価計算の問題を解く。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
2	管理会計の意義	予習として、参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。参考文献や簿記検定の工業簿記・原価計算の問題を解く。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
3	管理会計の基礎概念 原価概念	予習として、参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。参考文献や簿記検定の工業簿記・原価計算の問題を解く。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
4	管理会計の基礎概念 原価分解	予習として、参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。参考文献や簿記検定の工業簿記・原価計算の問題を解く。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
5	意思決定アプローチの方法 意思決定アプローチの基礎	予習として、参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。参考文献や簿記検定の工業簿記・原価計算の問題を解く。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
6	意思決定アプローチの方法 差額分析	予習として、参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。参考文献や簿記検定の工業簿記・原価計算の問題を解く。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
7	業績管理アプローチの方法	予習として、参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。参考文献や簿記検定の工業簿記・原価計算の問題を解く。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
8	原価管理 原価管理の基礎	予習として、参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。参考文献や簿記検定の工業簿記・原価計算の問題を解く。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
9	原価管理 直接費の管理・製造間接費の管理	予習として、参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。参考文献や簿記検定の工業簿記・原価計算の問題を解く。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
10	長期経営計画	予習として、参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。参考文献や簿記検定の工業簿記・原価計算の問題を解く。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
11	設備投資計画 経済性評価の要件	予習として、参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。参考文献や簿記検定の工業簿記・原価計算の問題を解く。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
12	設備投資計画 経済性計算の方法	予習として、参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。参考文献や簿記検定の工業簿記・原価計算の問題を解く。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
13	利益計画 利益計画の基礎	予習として、参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。参考文献や簿記検定の工業簿記・原価計算の問題を解く。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
14	利益計画 損益分岐点分析	予習として、参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。参考文献や簿記検定の工業簿記・原価計算の問題を解く。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
15	予算管理	予習として、参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。参考文献や簿記検定の工業簿記・原価計算の問題を解く。(2時間) 復習として、配付資料に書き込んだ内容を読み返して質問等をメモする。毎回の授業で学習した内容について参考文献を読んで理解を深める。(2時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ACC321
授業形態： 講義
科目名： 監査論
担当教員： 井上 善弘(INOUE Yoshihiro)

【授業の紹介】

監査論の主要な研究領域のうち、金融商品取引法に基づく内部統制監査について、財務諸表監査との関係性に留意しながら、その基本的な思考及び方法論について詳述します。内部統制監査は、企業が公表する内部統制報告書の信頼性を独立した第三者の立場から保証することをその任務とします。今日の我が国においては、内部統制監査は企業のディスクロージャー制度を支える重要な基盤となっています。本授業を履修することで、会計学の主要領域の一つである監査論について知識・技能を修得します。また、監査論に関する専門的知識の修得を通して、様々な組織においてその知識を適切に活用することができるようになりますとともに、より広く、課題に気付いて解決する力や社会に貢献できる力を身に付けることができます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- ・内部統制の基本的要素と機能について理解できる。
- ・経営者による財務報告に係る内部統制の評価の方法について理解できる。
- ・内部統制監査の意義と理論構造について理解できる。
- ・日本型内部統制監査の論理と課題について理解できる。

【成績の評価】

確認テスト（25％）× 2回 = 50％（採点し、次回の授業終了時に返却します。）
期末レポート（50％）（添削し評価後に返却します。）

【使用テキスト】

井上善弘『内部統制監査の論理と課題』創成社、2022年（2585円）。第1回の授業より前に必ず購入しておいてください。授業は、受講生が本教科書を購入済みであることを前提に行います。

【参考文献】

なし

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	監査とは	次回の授業までに配布資料を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に関する配布資料を予習しておいてください（2時間）	
2	財務諸表監査の意義と必要性	次回の授業までに配布資料を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に関する配布資料を予習しておいてください（2時間）	
3	内部統制報告制度導入の背景と経緯	次回の授業までに配布資料及び教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に関する配布資料及び教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
4	内部統制の基本的要素と機能	次回の授業までに配布資料及び教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に関する配布資料及び教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
5	経営者による財務報告に係る内部統制の評価・その1（評価範囲の決定と全社的な内部統制の評価）	次回の授業までに配布資料及び教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に関する配布資料及び教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
6	経営者による財務報告に係る内部統制の評価・その2（業務プロセスに係る内部統制の評価）	次回の授業までに配布資料及び教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に関する配布資料及び教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
7	経営者による財務報告に係る内部統制の評価・その3（内部統制報告書の作成）	次回の授業までに配布資料及び教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に関する配布資料及び教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
8	内部統制監査の意義～保証業務の観点から～	次回の授業までに配布資料及び教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に関する配布資料及び教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
9	監査人による評価範囲の妥当性の検討	次回の授業までに配布資料及び教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に関する配布資料及び教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	
10	監査人による全社的な内部統制の評価の妥当性の検討	次回の授業までに配布資料及び教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。 次回の授業までに次回の授業に関する配布資料及び教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	監査人による業務プロセスに係る内部統制の評価の検討	<p>次回の授業までに配布資料及び教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。</p> <p>次回の授業までに次回の授業に関する配布資料及び教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）</p>	
12	内部統制監査報告書の意義と構造	<p>次回の授業までに配布資料及び教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。</p> <p>次回の授業までに次回の授業に関する配布資料及び教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）</p>	
13	内部統制監査と財務諸表監査との間の関係性	<p>次回の授業までに配布資料及び教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。</p> <p>次回の授業までに次回の授業に関する配布資料及び教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）</p>	
14	日本型内部統制監査の論理と課題	<p>次回の授業までに配布資料及び教科書の該当箇所を復習しておいてください（2時間）。</p> <p>次回の授業までに次回の授業に関する配布資料及び教科書の該当箇所を予習しておいてください（2時間）</p>	
15	まとめ：要点の整理・質疑応答	レポート課題の作成に取り組んでください（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC322
授業形態： 講義
科目名： 会計学史
担当教員： 橋本 武久(HASHIMOTO Takehisa)

【授業の紹介】

会計学，そしてその前提となる複式簿記の発生からその後の理論的展開について，社会経済的背景を踏まえて講義を行います。

簿記や会計は，単なる計算構造とその理論と理解されがちですがそうではありません。それぞれの時代や地域に起こる様々な経済的な出来事を反映し，そこで簿記や会計に関わる商人たちの記録計算上の要求を反映して革新し理論的に展開をしてきています。

そこで，この講義では，簿記や会計学がなぜ，どのように生まれたかを概観した上で，理論面だけではなくわが国の戦後の会計制度にも大きな影響を与えたアメリカの学説を学びます。

なお，この講義では，たんにそれぞれの理論や学説の中身を紹介するだけではなく，なぜそのような理論や学説が必要とされたのかについて，社会経済的に画期的な出来事，たとえば株式会社の発生がどのような影響を与え，簿記や会計学の革新につながったのかを一緒に考え，その存在意義を考えてみたいと思います。

また，21世紀に入って大きな潮流となっている会計基準の国際化を踏まえて，会計学がどのように変わろうとしているのかについても解説し，今後の社会の変化と会計学の在り方についてもディスカッションやディベートを通して受講者の理解をより深めることとします。

この授業では，Google Classroom（クラスコード：uqtxmvf）を使用し，資料の配布を行うなど，ICTを活用したインタラクティブな授業を行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

1. 複式簿記や会計学を史的に学ぶことによりその社会経済的意義を理解することができる。
2. 簿記や会計学の現代的意義や今後の展開について考える力を身につけることができる。

【成績の評価】

授業中の受講態度や質疑応答などで10%。たとえば「なぜ複式簿記は生まれ，これほど長く使用されていると思いますか？」，「日本の会計はこれから国際会計基準と統一した方が良いと思いますか？」といったテーマでの議論（ディベート）に際しての発言などをもとに評価します。この他，課題の提出状況とその内容で20%，定期試験で70%とし，これらの合計100%で評価します。

なお，定期試験の採点基準や模範解答は，教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

なし。

講義資料をクラスルームにアップして配布しますので，事前にプリントアウトをして確認・予習をし，持参してください。

【参考文献】

中野常男・清水泰洋（2019）『近代会計史入門（第2版）』同文館出版。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	授業の全体像と進行について講義します。 〔事前学習〕シラバスを熟読しておいてください。（60分） 〔事後学習〕配布資料をもとに、講義全体の構成をイメージできるようにしてください。（60分）	本講義は集中講義です。
2	複式簿記の発生：なぜ簿記は生まれたのか？	〔事前学習〕クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし、熟読してきてください。またわからない用語はマークし、講義内で確認してください。（60分） 〔事後学習〕「複式簿記の成立要件」について、100-200字程度でまとめておいてください。（90分）	
3	複式簿記の誕生と Paciolo の「簿記論」の意義	〔事前学習〕クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし、熟読してきてください。またわからない用語はマークし、講義内で確認してください。（60分） 〔事後学習〕「イタリア式貸借簿記の特徴」について、100-200字程度でまとめておいてください。（90分）	
4	常設的取引所の開設による複式簿記への影響	〔事前学習〕クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし、熟読してきてください。またわからない用語はマークし、講義内で確認してください。（60分） 〔事後学習〕「Ympyn簿記論の意義」について、100-200字程度でまとめておいてください。（90分）	
5	株式会社の発生と複式簿記の革新	〔事前学習〕クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし、熟読してきてください。またわからない用語はマークし、講義内で確認してください。（60分） 〔事後学習〕「オランダ東インド会社の簿記システム」について、300-400字程度でまとめておいてください。（90分）	
6	イギリスの簿記事情と簿記理論化の試み	〔事前学習〕クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし、熟読してきてください。またわからない用語はマークし、講義内で確認してください。（60分） 〔事後学習〕「仕訳帳アプローチの意義と限界」について、100-200字程度でまとめておいてください。（60分）	
7	イギリスにおける複式簿記の革新と簿記理論の生成	〔事前学習〕クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし、熟読してきてください。またわからない用語はマークし、講義内で確認してください。（60分） 〔事後学習〕「イギリスにおける産業革命と複式簿記の革新」について、300-400字程度でまとめておいてください。（90分）	
8	アメリカへの複式簿記の伝播と簿記理論の展開	〔事前学習〕クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし、熟読してきてください。またわからない用語はマークし、講義内で確認してください。（60分） 〔事後学習〕「ブックキーピング・パートナー」について、100-200字程度でまとめておいてください。（60分）	
9	ビッグ・ビジネスの形成と「会計学」の誕生	〔事前学習〕クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし、熟読してきてください。またわからない用語はマークし、講義内で確認してください。（60分） 〔事後学習〕「Hatfield会計学の意義と限界」について、300-400字程度でまとめてお	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容(時間) / 復習内容(時間)	備考
		いてください。(120分)	
10	アメリカの会計基準設定と会計理論 : 大恐慌と会計及び会計基準設定	<p>【事前学習】クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし、熟読してきてください。また、大恐慌について調べてきてください。(60分)</p> <p>【事後学習】授業の内容をレジюмеに沿って復習しておいてください。授業中に出した課題に答えてください。(60分)</p>	
11	アメリカの会計基準設定と会計理論 : アメリカの会計原則設定運動	<p>【事前学習】クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし、熟読してきてください。また、企業会計原則とは何かについて調べてきてください。(60分)</p> <p>【事後学習】授業の内容をレジюмеに沿って復習しておいてください。授業中に出した課題に答えてください。(90分)</p>	
12	アメリカの会計基準設定と会計理論 : アメリカの会計基準設定団体の興亡と現在のアメリカの会計基準の設定機関	<p>【事前学習】クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし、熟読してきてください。また、会計基準設定団体とは何かについて調べてきてください。(60分)</p> <p>【事後学習】授業の内容をレジюмеに沿って復習しておいてください。授業中に出した課題に答えてください。(90分)</p>	
13	日本の会計基準設定と会計理論 : 西洋会計制度が導入とその後の会計基準設定	<p>【事前学習】クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし、熟読してきてください。また、日本の会計基準について教科書で調べてきてください。(60分)</p> <p>【事後学習】授業の内容をレジюмеに沿って復習しておいてください。授業中に出した課題に答えてください。(90分)</p>	
14	日本の会計基準設定と会計理論 : 戦後の会計基準設定と国際化	<p>【事前学習】クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし、熟読してきてください。また、IFRSについて教科書で調べてきてください。(60分)</p> <p>【事後学習】授業の内容をレジюмеに沿って復習しておいてください。授業中に出した課題に答えてください。(90分)</p>	
15	まとめ: 簿記や会計学の現代的意義や今後の展開	<p>【事前学習】クラスルームにアップしてある資料をダウンロードし、熟読してきてください。また、簿記会計学の現代的意義について考えてきてください。(60分)</p> <p>【事後学習】授業の内容をレジюмеに沿って復習しておいてください。授業中に出した課題に答えてください。(90分)</p>	集中講義であることから、授業の終了後、休憩をはさみ、直ちに授業内評価として試験を実施します。
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACC241
授業形態： 講義
科目名： 税法
担当教員： 吉田 晃(YOSHIDA Akira)

【授業の紹介】

税法は、憲法や民法と密接に関係し、人々の日常生活に深くかかわっています。まず、税金一般について概要を理解してもらいます。次いで主要な税法について、その概要を学習します。租税法の内容、租税要件等の基礎的な事項や納税義務の発生や確定等の一般通則の理解を目指します。税法は社会経済の発展、経済取引のグローバル化に伴って毎年のように改正が行われています。こうした問題にも触れ、新聞やテレビ等で報道されるニュース性をもった税金問題等の具体的な話題についても、できるだけ取り上げ、税金についての関心、興味をもてるように配慮しながら税法に関する知識を修得するよう授業を進めてまいります。本授業を通して、税に関する基礎的な知識を修得し、組織においてその知識を適切に活用できるようになることや卒業後も継続して新たな目標を設定して、その達成に向かって努力するとともに自己管理能力や責任感および倫理観等を持ち社会性を持った行動ができることを目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 学生が社会人としての知的人格形成することができる。
2. 学生が社会に出たときに、社会人、経済人として立派に対応することができる。
3. 学生が「税」及び「税法」について基礎的な知識を修得することができる。

【成績の評価】

定期試験の結果で評価（100%）し、試験結果は成績発表にて行う。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにする。

【使用テキスト】

税法入門（有斐閣） 平成29年10月出版

【参考文献】

税法六法法令編（新日本法規出版株式会社）令和6年度版 令和6年6月出版
税務六法法令編（株式会社ぎょうせい）令和6年度版 令和6年6月出版

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	税についての基礎知識 1．税とは何か 2．税の根拠 3．税の種類	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
2	税法の規定の概要 1．税法の内容 2．税法の構成 3．税法の特質	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
3	税法の基本原則 1．租税法律主義 2．公平負担原則	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
4	税源の配分（国税と地方税）	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
5	税法の解釈と適用 1．税法の解釈 2．借用概念と固有概念	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
6	租税回避および信義則	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
7	所得税	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
8	法人税	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
9	相続税・贈与税	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
10	固定資産税	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
11	消費税	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
12	国際取引と所得課税 1．国際二重課税とその排除	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	2．非居住者および外国法人の課税	また、復習として授業内容を踏まえた上で再度教科書の該当ページに目を通しておくこと（2時間）	
13	租税の賦課と徴収 1．租税行政の組織と租税職員 2．申告納税制度 3．更正・決定の手続き 4．納付と徴収	予習として教科書の該当ページに目を通しておくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再度教科書の該当ページに目を通しておくこと（2時間）	
14	納税者の権利保護 1．税務行政と権利救済の必要性 2．再調査の請求と審査請求 3．訴訟	予習として教科書の該当ページに目を通しておくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再度教科書の該当ページに目を通しておくこと（2時間）	
15	租税犯とその処罰 1．租税犯とそれに対する罰則 2．反則調査と処罰の手続	予習として教科書の該当ページに目を通しておくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再度教科書の該当ページに目を通しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ACC341
授業形態： 講義
科目名： 法人税法
担当教員： 吉田 晃(YOSHIDA Akira)

【授業の紹介】

法人税の理解に必要不可欠な法人税の性格、法人税の特色等について解説するとともに、法人税の基本的な問題を中心に法人税法の基礎的な知識の修得し、法人税の申告についても、申告書作成のための基礎知識を修得できるように授業を行います。また、卒業後も継続して新たな目標を設定して、その達成に向かって努力するとともに自己管理能力や責任感および倫理観等を持ち社会性を持った行動ができることを目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 学生が法人税の性格、特色をよく理解したうえで、時代の流れに遅れないようにすることができる。
2. 学生が法人税法の基礎知識を修得できる。
3. 学生が企業会計上の利益から誘導的に計算される法人税の課税所得の計算構造を修得することができる。

【成績の評価】

定期試験の結果で評価（100％）し、試験結果は成績発表にて行う。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにする。

【使用テキスト】

法人税入門の入門（税務研究会出版局） 令和6年4月出版

【参考文献】

税法六法法令編（新日本法規出版株式会社）令和6年度版 令和6年6月出版
税務六法法令編（株式会社ぎょうせい）令和4年度版 令和6年6月出版

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	1．法人税とは 2．法人の種類 3．法人税のかかる利益	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
2	1．所得金額の計算 2．会社の決算と税法	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
3	1．益金とは 2．収益の計上時期	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
4	受取配当等の益金不算入	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
5	1．損金とは 2．費用の計上時期	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
6	減価償却	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
7	繰延資産	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
8	役員給与	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
9	寄付金	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
10	交際費	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
11	1．租税公課 2．貸倒れ	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再 度教科書の該当ページに目を通しておくこと （2時間）	
12	圧縮記帳	予習として教科書の該当ページに目を通して おくこと（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		また、復習として授業内容を踏まえた上で再度教科書の該当ページに目を通しておくこと（2時間）	
13	1．引当金 2．欠損金	予習として教科書の該当ページに目を通しておくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再度教科書の該当ページに目を通しておくこと（2時間）	
14	1．税額計算 2．同族会社	予習として教科書の該当ページに目を通しておくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再度教科書の該当ページに目を通しておくこと（2時間）	
15	1．グループ通産制度 2．グループ法人単体課税制度	予習として教科書の該当ページに目を通しておくこと（2時間） また、復習として授業内容を踏まえた上で再度教科書の該当ページに目を通しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ACP313
授業形態： 講義
科目名： 簿記・会計学特殊講義
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

本講義では、日商簿記検定1級の範囲に含まれる商業簿記の中から、基本的な論点について学習します。これにより日商簿記検定1級相当の簿記および会計学の知識を身につけ、経理・財務部門の専門職を目指す人に必要な知識・能力を養成することを目的としています。また、簿記の仕訳や会計学の理論の背景にある論理について理解を深めることにより、経理・財務部門の専門職として活躍する上で必要となる思考力を養います。

関連科目として「簿記・会計学特殊講義」、「簿記・会計学特殊講義」が既習であることを前提とします。

本科目は職業会計人育成プログラム所属者のみ履修可能です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 日商簿記検定1級程度の商業簿記について、基本的な論点を理解できる。
2. 上記の基本的な論点を問う問題を解くことができる。

【成績の評価】

授業への貢献状況（70%）、課題（30%）により総合的に評価します。

なお、課題については、授業時間内に講評・解説し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】

梅原秀継（2022）『財務会計論』白桃書房

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として簿記・会計学特殊講義 の第1回から第15回までの配布資料を読み返し、理解が十分ではなかった論点の学習に取り組んでください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	連結会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	連結会計（ディスカッション）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	連結会計（問題演習）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	企業結合と事業分離	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	企業結合と事業分離（ディスカッションと問題演習）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	リース	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	リース（ディスカッションと問題演習）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	退職給付と株式報酬	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	退職給付と株式報酬（ディスカッションと問題演習）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	外貨換算	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	外貨換算（ディスカッションと問題演習）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	課税所得と税効果	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	課税所得と税効果（ディスカッションと問題演習）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	まとめ（重要項目の確認）と質疑応答	予習として第1回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACP333
授業形態： 講義
科目名： 原価計算特殊講義
担当教員： 岡田 龍哉

【授業の紹介】

原価計算は、特に製造企業において用いられる会計であり、製品原価の計算のみならず、企業内部で行われる様々な活動から発生するアウトプットの原価を計算する会計である。したがって、原価計算は企業が限られた経済的資源を効果的に利用するために必要な会計であり、規模や業種を問わず、あらゆる企業経営において不可欠な知識・技術である。本講義は、特に公認会計士試験の管理会計論に関連した内容を、計算のみならず、背後にある理論・理念・思考に対する洞察を得ることにより、専門知識を地域社会の発展のため適切に活用できるよう、職業会計人として必要な能力を養うことを大きな目的としている。

本科目は職業会計人育成プログラム所属者のみ履修可能である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

日商簿記検定1級程度の知識から、公認会計士試験の範囲に相当する知識・技術を修得し、問題を解くことができる。

経営者の観点から原価計算によって得られる数値の意味を理解し、説明することができる。

【成績の評価】

毎回の予習・復習の状況（30%）、授業内での議論への参加状況（70%）によって評価する。

毎回の授業で問題演習について解答・解説を通じて、学習状況に対しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

なし。ただし、以下のテキストの最新版を参照しながら資料を配布するため、必要な場合は受講生自身が購入すること。

TAC株式会社 『合格トレーニング 日商簿記1級工業簿記・原価計算』 TAC出版。

TAC株式会社 『合格トレーニング 日商簿記1級工業簿記・原価計算』 TAC出版。

【参考文献】

岡本清（2000）『原価計算 六訂版』 國元書房。ISBN:978-4-7658-1009-7。9,000円(税別)。

廣本敏郎・挽文子（2015）『原価計算論 第3版』 中央経済社。ISBN:978-4-502-14401-1。6,300円（税別）。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、原価計算特殊講義の内容を復習し、受講前に確認しておきたい論点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、シラバスに記載の論点を確認し、再度理解に不安の残る論点をノート等に記述すること（2時間）	
2	設備投資の意思決定：回収期間法と投下資本利益率法	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
3	設備投資の意思決定：DCF法の基礎	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
4	設備投資の意思決定：NPV法	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
5	設備投資の意思決定：IRR法	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
6	設備投資の意思決定：総合問題演習	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
7	戦略的コスト・マネジメントの基礎	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
8	活動基準原価計算	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
9	ライフサイクル・コストニング	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
10	品質原価計算	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		等に記述すること（2時間）	
11	原価企画	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
12	経営分析：収益性分析	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
13	経営分析：安全性分析	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
14	経営分析：成長性分析	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
15	経営分析：ケーススタディ	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACP314
授業形態： 演習
科目名： 簿記論対策演習
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本講義は、日商簿記1級・税理士試験の簿記論レベルの簿記の論点を学習します。各論点について説明した後、練習問題を解くことで理解を深めます。本講義の学習内容は会計の専門家として活躍するために必要となるものです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 日商簿記1級・税理士試験の簿記論の問題を解くことができる。
2. 上記の解答方法を説明できる。

【成績の評価】

授業への積極的な参加（60%）、小テスト（20%）、課題（20%）で評価します。
小テストについては、点数を伝え模範解答を示します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
進捗により各テーマの講義回数を変更する可能性があります。

【使用テキスト】

学生と相談の上で指示します。

【参考文献】

ネットスクール株式会社『税理士試験 教科書 簿記論・財務諸表論 基礎導入編』ネットスクール出版。(最新版)	教科書	簿記論・財務諸表論	基礎導入編』ネットスクール出版。
ネットスクール株式会社『税理士試験 教科書 簿記論・財務諸表論 基礎完成編』ネットスクール出版。(最新版)	教科書	簿記論・財務諸表論	基礎完成編』ネットスクール出版。
ネットスクール株式会社『税理士試験 教科書 簿記論・財務諸表論 応用編』ネットスクール出版。(最新版)	教科書	簿記論・財務諸表論	応用編』ネットスクール出版。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（本講義の進行について）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
2	簿記一巡	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
3	法人税法・租税公課	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
4	税効果会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
5	消費税	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
6	リース会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
7	減損損失	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
8	退職給付	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
9	引当金	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
10	社債	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
11	純資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
12	繰延資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしてお	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		く。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
13	外貨換算	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
14	棚卸資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
15	金融商品	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACP315
授業形態： 演習
科目名： 簿記論対策演習
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本講義は、日商簿記1級・税理士試験の簿記論レベルの簿記の論点を学習します。各論点について説明した後練習問題を解くことで理解を深めます。本講義の学習内容は会計の専門家として活躍するために必要となるものです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 日商簿記1級・税理士試験の簿記論の問題を解くことができる。
2. 上記の解答方法を説明できる。

【成績の評価】

授業への積極的な参加 (60%)、小テスト (20%)、課題 (20%) で評価します。
小テストについては、点数を伝え模範解答を示します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
進捗により各テーマの講義回数を変更する可能性があります。

【使用テキスト】

学生と相談の上で指示します。

【参考文献】

ネットスクール株式会社『税理士試験 教科書 簿記論・財務諸表論 基礎導入編』ネットスクール出版。(最新版)	教科書	簿記論・財務諸表論	基礎導入編
ネットスクール株式会社『税理士試験 教科書 簿記論・財務諸表論 基礎完成編』ネットスクール出版。(最新版)	教科書	簿記論・財務諸表論	基礎完成編
ネットスクール株式会社『税理士試験 教科書 簿記論・財務諸表論 応用編』ネットスクール出版。(最新版)	教科書	簿記論・財務諸表論	応用編

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（本講義の進行について）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
2	特殊商品売買	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
3	資産除去債務	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
4	収益認識	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
5	本支店会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
6	建設業会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
7	商的工業簿記	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
8	本社工場会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
9	過年度遡及	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
10	組織再編	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
11	連結会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
12	キャッシュ・フロー	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしてお	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		く。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
13	デリバティブ	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
14	帳簿組織	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
15	伝票	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACP321
授業形態： 演習
科目名： 財務諸表論対策演習
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本講義では財務会計の重要な論点を取り上げて解説を行い、財務会計の重要な論点を網羅的に理解することを目的とします。各論点について説明した後に練習問題を解くことで理解を深めます。また、ディスカッションへの積極的な参加が必要となります。本講義の学習内容は会計の専門家として活躍するために必要となるものです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 日商簿記1級・税理士試験の財務諸表論の問題を解くことができる。
2. 上記の解答方法を説明できる。

【成績の評価】

授業への積極的な参加（80%）、レポート（20%）で評価します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
進捗により各テーマの講義回数を変更する可能性があります。

【使用テキスト】

学生と相談の上で指示します。

【参考文献】

ネットスクール株式会社『税理士試験 教科書 財務諸表論 理論編』ネットスクール出版。（最新版）
桜井久勝『財務会計講義』中央経済社。（最新版）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（本講義の進行について）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
2	財務諸表論の基礎知識	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
3	財務諸表の全体構造	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
4	貸借対照表と損益計算書（資産の評価など）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
5	貸借対照表と損益計算書（収益認識など）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
6	会社法開示制度	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
7	注記事項等	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
8	四半期財務諸表	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
9	貸借対照表の作成	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
10	金銭債権	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
11	棚卸資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
12	金融商品	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしてお	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		く。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
13	デリバティブ	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
14	有形固定資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
15	リース会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACP322
授業形態： 演習
科目名： 財務諸表論対策演習
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本講義では財務会計の重要な論点を取り上げて解説を行い、財務会計の重要な論点を網羅的に理解することを目的とします。各論点について説明した後に練習問題を解くことで理解を深めます。また、ディスカッションへの積極的な参加が必要となります。本講義の学習内容は会計の専門家として活躍するために必要となるものです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 日商簿記1級・税理士試験の財務諸表論の問題を解くことができる。
2. 上記の解答方法を説明できる。

【成績の評価】

授業への積極的な参加（80%）、レポート（20%）で評価します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
進捗により各テーマの講義回数を変更する可能性があります。

【使用テキスト】

学生と相談の上で指示します。

【参考文献】

ネットスクール株式会社『税理士試験 教科書 財務諸表論 理論編』ネットスクール出版。（最新版）
桜井久勝『財務会計講義』中央経済社。（最新版）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（本講義の進行について）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
2	無形固定資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
3	減損損失	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
4	繰延資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
5	負債	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
6	退職給付	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
7	純資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
8	税効果会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
9	損益計算書の概要	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
10	収益認識の基準	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
11	外貨換算	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
12	建設業会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしてお	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		く。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
13	連結財務諸表	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
14	組織再編	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
15	キャッシュ・フロー計算書	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ATH202
授業形態： 講義
科目名： スポーツ社会学
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

今日、スポーツは大規模かつ複雑な営みになっており、私たちの社会に少なくない影響を及ぼしています。そのため、スポーツの振興に携わる者には、そうしたスポーツ現象を的確に理解し、批判的に検討する態度が求められます。そこでこの講義では、スポーツ社会学の基本的な知見について理解を深め、スポーツを社会的な行為として捉え直し、社会学的な視点から現実のスポーツ現象を分析する力を身につけることを目指します。

また、本科目は公認スポーツ指導者講習（日本スポーツ協会）「共通科目」の免除、ならびに「スポーツ指導基礎資格（スポーツリーダー）」の交付に単位取得が必要となる科目です。

なお、この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：sfjmkbu）を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. スポーツ社会学の主要概念を理解できる
2. 社会的行為としてスポーツを捉えることができる
3. スポーツ現象にみられる前提を問い直すことができる
4. 学術的レポートに相応しい文章表現を用いることができる

【成績の評価】

- ・レポート（中間・期末） 40%
- ・講義ごとのコメント 60%

《フィードバックの方法》

授業時のコメントは、次の講義に優秀なものを紹介します。また、採点状況を第10回終了時および第15回終了時に開示します。期末レポートについては、第15回終了後、オフィスアワーを活用してフィードバックを実施します。

【使用テキスト】

テキストは指定しません。講義毎に資料を配布します。

【参考文献】

森川貞夫・佐伯聡夫編著『体育・スポーツ社会学講義』（大修館書店、1988年）1,900円
友添秀則編『現代スポーツ評論』（図書館に配架）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomに参加し、事前アンケートに回答する。（1時間） 【復習】講義で示した参考文献を読み、疑問点についてノートにまとめておく。（3時間）	
2	スポーツと社会	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
3	スポーツと文化	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
4	スポーツと歴史 : 古代	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
5	スポーツと歴史 : 近代	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
6	スポーツと現代 : メディア	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
7	スポーツと現代 : 生涯スポーツ	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
8	学習内容の中間まとめ	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
9	スポーツとマンガ	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
10	スポーツと地域 : クラブ	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
11	スポーツと地域 : 行政	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
12	スポーツと学校 : 体育	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
13	スポーツと学校 : 部活動	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
14	スポーツと産業	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
15	まとめとふりかえり	【予習】これまでの講義内容を確認し、疑問点をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】これまでの講義の際に抱いた疑問に対する仮説を最終レポートにまとめて提出する（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ATH201
授業形態： 講義
科目名： 発育発達論
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

発育発達とは人間の成人に至る期間の形態及び機能の両面の質と量とにわたる変化を意味している。そしてこれら形態及び機能の変化は性、年齢、環境等により多くの個人差を生じてくるが、ここでは成人に至る発育発達の過程について十分な理解を深める。

ただし、履修条件として『健康とスポーツ』の単位を取得していることとする。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

成人に至る発育発達の過程について理解を深めることができる。

成人以降の老化と体力や運動能力などの関連について理解を深めることができる。

アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、発育発達に関わる諸問題に対し、既存の知識を応用して新たな問題点の発見や解決する力を修得することができる。

【成績の評価】

授業態度（40%）、レポート（30%）、定期試験（30%）で評価する。

また、レポートについてはその都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。

60点以上を合格とする。

【使用テキスト】

テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】

藤井勝紀著『発育・発達への科学的アプローチ』三恵社 2006年

公益財団法人 日本スポーツ協会『Reference Book』2021年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	発育発達の考え方	予習として発育発達について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
2	発育発達論の意義と役割	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
3	発育の概念と発達概念	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
4	発育の概観	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
5	発達の概観	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
6	発育発達期の身体特徴	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
7	発育発達期の心理的特徴	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
8	発育発達期のスポーツプログラム	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
9	発育発達の予測	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
10	形態発育の経過	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
11	機能発達の経過	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
12	身体発達に影響する要因と条件	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
13	中高年とスポーツ	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
14	中高年とスポーツ	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
15	定期試験の要領説明および重点ポイント解説	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ATH211

授業形態： 講義

科目名： スポーツと栄養

担当教員： 津村 哲司(TSUMURA Tetsuji)

【授業の紹介】

健康寿命の延伸が重要な政策課題となっている中で、運動・スポーツ、栄養管理などのビジネスも拡大している。2020年には26兆円、2030年には37兆円規模に拡大するともいわれている。新たなビジネスチャンスとして注目されている。また、健康面での自己管理能力が企業の採用基準の重要ファクターとなる。本講義では、栄養学の知識を単なる競技パフォーマンスの向上のためのスキルと捉えず、コンディショニングの維持に必要な栄養や食事法に関する知識と技術をQOLの向上に必要なスキルとして講義する。。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 摂取した栄養素が体内でどのように代謝し、どのようにエネルギーを産生しているのかを科学的に理解できる。
2. 栄養や食事法が競技パフォーマンスの向上やコンディショニングの維持に及ぼす効果について科学的に理解できる。
3. 本授業の知識や技能を活かし、競技パフォーマンスの向上やコンディショニングの維持が出来る食事を実践できる。

【成績の評価】

成績の評価は定期試験（90%）、学習態度（10%）によって行い、総計60%以上を合格とします。なお、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにしておきます。

【使用テキスト】

使用しない

【参考文献】

- 江指隆年、中嶋陽子編著『ネオエス力基礎栄養学』（同文書院、2012年）
樋口 満著『コンディショニングの栄養学』（一村出版、2001年）
奥田豊子編『スポーツ栄養学』（嵯峨野書院、2013年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	<p>ガイダンス</p> <p>>>> 本講義は運動パフォーマンスの向上を将来の目標としています。シラバスを確認の上、最終目標に到達するためには、どのような知識・技術を修得しなければいけないのかを理解し、本講義を履修する目的を今一度明確にします。</p>	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。ガイダンスを聴いて、自分の目標と乖離が無いが十分考えて判断してください。	
2	<p>基礎化学</p> <p>>>> 前述の最終目標を達成するためには、数学や有機化学などの知識が不可欠です。小・中・高校で学んだ知識を復習します。</p>	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
3	<p>味覚と栄養</p> <p>>>> 健全な栄養摂取は正常な味覚があることが前提です。味覚に異常があると運動パフォーマンスの向上も望めない可能性があることを解説します。</p>	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
4	<p>糖質の栄養</p> <p>>>> 糖質（炭水化物）の生体内での役割や消化吸収について学びますが、まずは基礎となる構造から学習します。</p>	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
5	<p>糖質の代謝</p> <p>>>> 糖質の代謝はエネルギーを獲得する上で最も重要な内容です。摂取した糖質がどのようにエネルギーに変わっていくのかを学習します。</p>	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
6	<p>脂質の栄養</p> <p>>>> 脂質の生体内での役割や消化吸収について学びますが、まずは基礎となる種類や構造から学習します。</p>	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
7	<p>脂質の代謝</p> <p>>>> 脂質はアスリートにとって大敵ですが、重要なエネルギー貯蔵物質です。摂取した脂質がどのようにエネルギーに変わっていくかを学習します。</p>	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
8	<p>たんぱく質の栄養</p> <p>>>> たんぱく質は消化酵素やホルモンとしての働きその他エネルギーとしても重要です。特に骨格筋でのたんぱく質およびアミノ酸の働きはアスリートにとって非常に重要です。本項では基礎となるアミノ酸の種類や構造から学習します。</p>	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。	
9	<p>たんぱく質の代謝</p> <p>>>> たんぱく質がどのように分解され、どのように合成されるかを学習します。</p>	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててく	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ださい。なお、在宅学習の場合、課題を出す ことでもありますので、準備しておくこと。	
10	ビタミン・ミネラル・水分の働き >>> たんぱく質、糖質、脂質の代謝には ビタミン、ミネラルの存在が不可欠です。三 大栄養素とビタミン、ミネラルの関連性を学 習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キー ワードを参考文献等により、内容確認を行う など、2時間以上予習をしてください。また 授業終了後その日の講義内容をレポート用紙 にまとめるなど2時間以上の復習に充ててく ださい。なお、在宅学習の場合、課題を出す ことでもありますので、準備しておくこと。	
11	各運動における消費エネルギー >>> 各運動にはそれぞれ強度があり、消 費するエネルギーにも違いがあります。それ ぞれの運動がどれくらいのエネルギーを消費 するのかを学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キー ワードを参考文献等により、内容確認を行う など、2時間以上予習をしてください。また 授業終了後その日の講義内容をレポート用紙 にまとめるなど2時間以上の復習に充ててく ださい。なお、在宅学習の場合、課題を出す ことでもありますので、準備しておくこと。	
12	基礎代謝量の算出を含む栄養計算（1） >>> 基本的な食事の栄養計算の方法を学 習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キー ワードを参考文献等により、内容確認を行う など、2時間以上予習をしてください。また 授業終了後その日の講義内容をレポート用紙 にまとめるなど2時間以上の復習に充ててく ださい。なお、在宅学習の場合、課題を出す ことでもありますので、準備しておくこと。	
13	基礎代謝量の算出を含む栄養計算（2） >>> 基礎代謝量から一日に必要なエネル ギー量の算出方法を学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キー ワードを参考文献等により、内容確認を行う など、2時間以上予習をしてください。また 授業終了後その日の講義内容をレポート用紙 にまとめるなど2時間以上の復習に充ててく ださい。なお、在宅学習の場合、課題を出す ことでもありますので、準備しておくこと。	
14	アスリートとしての食事管理 >>> 様々な栄養素もやみ雲に摂取しても 意味がありません。栄養素を摂取する適切な タイミングについて学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キー ワードを参考文献等により、内容確認を行う など、2時間以上予習をしてください。また 授業終了後その日の講義内容をレポート用紙 にまとめるなど2時間以上の復習に充ててく ださい。なお、在宅学習の場合、課題を出す ことでもありますので、準備しておくこと。	
15	まとめ（3大栄養素の代謝経路について） >>> 栄養素の代謝経路を統合して解説し ながら試験対策についても講義します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キー ワードを参考文献等により、内容確認を行う など、2時間以上予習をしてください。ここ までの授業を通して重要なポイントについて まとめるなど最低2時間以上十分な復習をし て定期試験に臨むようにしてください。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ATH314
授業形態： 講義
科目名： スポーツ医学
担当教員： 阿部 純也(ABE Junya)

【授業の紹介】

本講義ではスポーツ指導者としての基礎的な医学的知識、スポーツと健康との関連についての理解を深めます。またスポーツ中のケガや病気の現状と予防対策を学び、救急処置や傷の手当て、アスレチック・リハビリテーションなどの実際を学びます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. スポーツ指導者に必要な基礎的な医学的知識を理解することができる。
2. スポーツ活動と健康との関係を医学的に説明できる。
3. スポーツ活動中のケガや病気について理解できる。

【成績の評価】

授業態度・レポート（60%）、定期試験（40%）レポートについては講義時に評価し、助言、修正や追加によりフィードバックを行う。
出席率70%以上を原則として、評価点が全体の60%以上を合格とする。

【使用テキスト】

使用せず、資料を配布する。

【参考文献】

福林徹・武富修治『アスレチックリハビリテーションガイド』（文光堂,2018）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
2	スポーツと健康	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
3	スポーツの内科的障害と対策	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
4	スポーツ外傷	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
5	スポーツ障害	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
6	頭頸部の外傷・障害	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
7	上肢の外傷・障害	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
8	体幹の外傷・障害	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
9	下肢の外傷・障害	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
10	救急処置	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
11	傷の手当てと応急処置	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
12	基本動作習得を目的としたアスレティック・リハビリテーション	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
13	競技の特性に応じたアスレティック・リハビリテーション	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
14	コンディショニングの手法	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
15	事例に対する計画の立案と実践	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ATH212
授業形態： 講義
科目名： スポーツ心理学
担当教員： 中塚 勝俊(NAKATSUKA Katsutoshi)

【授業の紹介】

スポーツ心理学は、スポーツに関する精神的領域を対象とする学問です。本授業では、スポーツの実践や指導に必要な心理学的基礎を学び、生涯スポーツを視野にスポーツ指導員としてあるいは、競技者としての必要な心理学的識見を身に付け、スポーツ経営を通して卒業後地域社会に貢献することをめざします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	

【到達目標】

スポーツ指導員としての心理学的知識を学修し、それらを選手としての競技、スポーツ技能の指導、スポーツの動機づけ、スポーツの心理学的効果などに応用し、地域スポーツ現場で活躍できる人材となる意欲を高めることができる。

【成績の評価】

- ・ 授業態度[授業への参加度](20%)、提出物(授業へのコメント・レポート)(20%)、定期試験(60%)から総合的に評価します。
- ・ 提出物に関しては、授業時にコメントを返却します。テストについては、個人的に研究室でフィードバックします。

【使用テキスト】

伊達万里子他(編著)「新・スポーツ心理学」(嵯峨野書院、2015)2600円

【参考文献】

授業中に、スポーツの心理学的知見を資料などを随時配布します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	自分が経験したスポーツ（3年以上）について何を得たかをまとめノートに記述しておくこと。（2時間）授業中に話される他者の経験談を参考に自分の気づきを文章にまとめること。（2時間）	
2	スポーツ心理学の内容	自分が今まで既習した心理学の内容で印象に残っている事象とその理由についてノートに文章化しておくこと。（2時間）スポーツにおいて心理学的知識が関係していると思われる事柄についてノートに整理しておくこと。（2時間）	
3	スポーツと認知・反応 運動学習、感覚と認知	心理学における「認知」について調べ、具体的日常場面を挙げノートに文章化しておくこと。（2時間）感覚と認知の違いを自ら体験した事例をノートにまとめること。（2時間）	
4	スポーツと認知・反応 空間の認知、速度の認知	主観的認知、客観的認知について調べ、自分の体験例をノートに文章化しておくこと。（2時間）スポーツ場面において体験される空間の認知、速度の認知についてノートにまとめること。（2時間）	
5	スポーツ技能の学習 スポーツ技能の学習過程	技能学習が必要とされるスポーツの種類の内、一つを取り上げskillの上達のプロセスについて視覚化した図をノートに記載すること。（2時間）授業中に提供される3種類の様相を参考に予習でとりあげたスポーツの上達過程を振り返りノートにまとめること。（2時間）	
6	スポーツ技能の学習 言語による指導、視覚的指導、動機づけ	自分が体験したスポーツにおいて指導者から受けた意欲の向上につながる指導法について整理しノートにまとめること。（2時間）スポーツにおけるコツを伝える「わざ言語」について調べノートに整理しておくこと。（2時間）	
7	スポーツの動機づけ理論	教科書の動機づけ理論に目を通し使用されている専門用語について調べ、ノートに整理しておくこと。（2時間）動機づけ、内発的動機づけの効用と限界についてノートにまとめること。（2時間）	
8	スポーツと発達 発達とは、発達の要因	生涯発達理論について調べ、主なキーワード三つについてノートにまとめること。（2時間）生涯発達とスポーツの複合性について自分の考えをノートにまとめること。（2時間）	
9	スポーツと発達 運動発達の段階と特徴	生涯における運動発達（上昇・下降）について教科書を読みノートに文章化しておくこと。（2時間）運動発達が下降するスポーツの種類と内容についてノートに文章化しておくこと。（2時間）	
10	スポーツの心理学的効果	スポーツが人間に及ぼす好影響、悪影響を調べ、それぞれノートに文章化しておくこと。（2時間）授業中に提案されるストレス対処法とスポーツの関係についてノートに整理しておくこと。（2時間）	
11	スポーツ・カウンセリング カウンセリングとは	臨床心理学におけるカウンセリングの種類を調べ、その特徴についてノートにまとめてお	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		くこと。（2時間）スポーツカウンセリングとメンタルトレーニングの差異についてまとめノートに記述しておくこと。（2時間）	
12	スポーツカウンセリング スポーツカウンセリングと心理学的技法	カウンセリング技法の中の非指示的、指示的カウンセリングの違いを文章にまとめノートに記述しておくこと。（2時間）授業中に提供される認知行動療法についてまとめノートに記述しておくこと。（2時間）	
13	スポーツカウンセリングの諸技法 来談者中心カウンセリング	来談者中心カウンセリングについて文献などを読み、ノートにまとめておくこと。（2時間） 来談者中心カウンセリングの短所・長所について考えノートに列挙しておくこと。（2時間）	
14	スポーツカウンセリングの諸技法 認知的行動療法	認知行動療法について調べ、この療法の基本的考え方についてまとめノートに記述しておくこと。（2時間）認知行動療法がスポーツにおけるストレスマネジメントに果たす役割についてまとめノートに文章化しておくこと。（2時間）	
15	スポーツカウンセリングの諸技法 自己リラクゼーション、イメージトレーニング	心理的リラクゼーションの方法について調べノートに整理しておくこと。（2時間）イメージトレーニングのスポーツにおけるパニック障害への応用可能性についてまとめノートに整理しておくこと。（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ATH312
授業形態： 講義
科目名： コーチング論
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

この授業は、スペインのハンドボールチームでコーチとして指導をした実務経験のある教員が担当している。心理学的な理論と実際のコーチング場面を結び付けて考察することにより、各自が実際の指導場面に応用できるコーチングの技法を修得することが本講義のねらいである。具体的には、体育の授業や部活動等スポーツの指導場面において心理学的な視点から概観し、選手が力を発揮し成果をあげるために指導者は何をすべきかを考えることや、実践的な問題解決方法を学んでいく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

コーチングを行う上で必要な専門的知識および理論を修得することができる。
様々なスポーツ指導場面に生かすコーチングの技法を修得することができる。
アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、コーチングにおける諸問題に対し、既存の知識を応用して新たな問題点の発見や解決する力を修得することができる。

【成績の評価】

授業態度（40%）、レポート（30%）、定期試験（30%）で評価する。
また、レポートについてはその都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。

60点以上を合格とする。

【使用テキスト】

テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】

公益財団法人 日本スポーツ協会編『Reference Book』2021年
佐藤英郎著『プレイングマネージャーのための新図解コーチング術』（アーク出版、2010年）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、スペインのハンドボールチームでコーチとして指導をした実務経験のある教員が担当している。授業の中では、日本とスペインのコーチングの違いやスペインのライセンス制度なども紹介し、学んでいく。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス（スポーツ指導者とは）	予習としてコーチングやスポーツ指導について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
2	指導者の心構え・視点、指導哲学、プレーヤーとの関係	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
3	リーダーシップの理論	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
4	言語による指導（フィードバックの種類と効果的な利用法）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
5	言語による指導（イメージを引き出す言葉、褒め言葉）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
6	視覚的な指導	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
7	競技者育成プログラムの理念および理念に基づく展開	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
8	スポーツ活動と安全管理	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
9	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の責任	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		自分なりの意見をノートに記載しておくこと （2時間）	
10	スポーツ事故における法的責任	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
11	ヨーロッパにおけるコーチング（自主性の発揮）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
12	ヨーロッパにおけるコーチング（コーチライセンスの仕組み）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
13	コーチングにおける年間計画の立て方	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
14	スポーツにおける人権問題	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
15	総括（第2回から第14回の講義の中で、特に興味深かったテーマについて討議する）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ATH313
授業形態： 演習
科目名： コーチング演習
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

この授業は、スペインのハンドボールチームでコーチとして指導をした実務経験のある教員が担当している。指導教員と受講生による双方向のコミュニケーションを通して、コーチング論において学んだ効果的なコーチングに関する専門的知識および技能を、自分自身のコーチング場面にどのように適用できるかを検討していく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

様々なスポーツにおいて効果的なコーチングに関する専門的知識および技能が修得できる
コーチングに関する専門的知識および技能を実際のコーチング場面で活かすことができる
アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、既存の知識を応用し
コーチングにおける新たな問題点の発見およびそれを解決する力を修得することができる。

【成績の評価】

授業態度（40%）、レポート（30%）、定期試験（30%）で評価する。
また、レポートについてはその都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、
定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。

60点以上を合格とする。

【使用テキスト】

テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】

河野一郎監修、勝田隆著『知的コーチングのすすめ』（大修館書店、2010年）
R.W. クリスチナ、D.M. コーコス著『スポーツ技術の指導』（大修館書店、1993年）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、スペインのハンドボールチームでコーチとして指導をした実務経験のある教員が担当している。日本とスペインのコーチングの違い（実際のコーチング場面を紹介・実践）や、スペインでのライセンス制度について学んでいく。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	予習としてコーチングやスポーツ指導について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
2	我が国における指導者養成の歩みと資格制度	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
3	コーチングにおける基礎知識	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
4	コーチングにおけるリーダーシップ	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
5	ジュニア期におけるコーチング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
6	コーチングの実践（ゴール型スポーツ）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
7	コーチングの実践（ネット型スポーツ・ベースボール型スポーツ）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
8	スポーツにおけるチーム・マネジメント	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		(30分)	
9	チーム・マネジメントの実践	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
10	トレーニング計画の立案	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
11	ゲーム分析とその活用方法	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
12	プロスポーツチームの指導者によるコーチング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
13	ゲームにおけるコーチング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
14	コーチングクリニック	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
15	総括（第2回から第14回の講義の中で、特に興味深かったテーマについて討議する）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
	定期試験(実施する)		担当：花城 清紀

科目ナンバリング： ATH311
授業形態： 講義
科目名： トレーニング論
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

健康の維持・増進や競技力・スポーツパフォーマンス向上のためにトレーニングは欠かすことができない。よって本講義は、身体の仕組みを理解するとともに、トレーニングに関する基礎的な知識を身につけ、適切なトレーニングが処方できる基礎を学ぶことを目的とする。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

身体の仕組みを理解するとともに、トレーニングに関する基礎的な知識を身につけることができる。体育の授業や部活動等の実践場面において合理的かつ総合的なトレーニング計画の立案と実行ができる。
アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、トレーニングにおける課題に対し、既存の知識を応用して新たな問題点の発見や解決する力を修得することができる。

【成績の評価】

授業態度（40%）、レポート（30%）、定期試験（30%）で評価する。
また、レポートについてはその都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。

60点以上を合格とする。

【使用テキスト】

テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】

宮下 充正著 『トレーニングの科学的基礎』（ブックハウス・エイチディ、2007年）
有賀 誠司著 『基礎から学ぶ！筋力トレーニング』（ベースボール・マガジン社、2008年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	予習としてトレーニングについて日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
2	トレーニングとは	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
3	体力とは 体力の概念	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
4	トレーニングの進め方	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
5	トレーニングの種類	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
6	トレーニング理論とその方法	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
7	トレーニングと栄養	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
8	トレーニング計画と実際	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
9	理論に基づいたトレーニング計画の具体案	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
10	体力テストとその活用（形態、身体組成、筋力、筋パワーの測定と評価）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
11	体力テストとその活用（無酸素性能力、有酸素性能力の測定と評価）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
12	ジュニア期のトレーニング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
13	中高年者のトレーニング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
14	各競技におけるトレーニング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
15	総括（第2回から第14回の講義の中で、特に興味深かったテーマについて討議する）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ATH321
授業形態： 講義
科目名： スポーツ経営学
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

この講義の目的は、スポーツ組織の経営活動に貢献できる人材になることを目指し、スポーツ経営学の基礎知識を理解するとともに、スポーツサービスを企画する技能を身に付けることです。スポーツ基本法に示されている通り、スポーツは人々の生活を豊かにする世界共通の文化だと言えます。ところが、わが国には、暴力やハラスメントあるいはドーピングなどの問題が象徴するように、スポーツ振興上の課題が山積しています。そこでこの講義では、「スポーツ経営とは何か」という問いを中心に、人々のスポーツ行動を支える「スポーツサービス」や、サービスの提供主体である「スポーツ経営組織」に関する知識と技術を学びます。

また、この講義は公認スポーツ指導者講習（日本スポーツ協会）「共通科目」の免除、ならびに「スポーツ指導基礎資格（スポーツリーダー）」の交付に単位取得が必要となる科目であり、履修にあたっては「スポーツ社会学」（2年次後期配当科目）を履修していることが望ましいです。

なお、この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：jd6qabn）を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. スポーツ経営学の主要な概念を説明できる。
2. スポーツ経営の仕組みを説明できる。
3. スポーツサービスを企画できる。
4. 経験的なデータを収集し、自分の考えを効果的に表現できる。

【成績の評価】

- ・試験（小テスト、中間試験）60%
- ・レポート 40%

《フィードバックの方法》

小テストは講義中に答え合わせをします。中間試験は、次の講義で採点したものを返却します。レポート課題は、次の講義で講評をおこないます。

【使用テキスト】

柳沢和雄・木村和彦・清水紀宏 編著『テキスト 体育・スポーツ経営学』（大修館書店、2017年）1,800円

【参考文献】

八代勉・中村平 編著『体育・スポーツ経営学講義』（大修館書店、2002年）2,200円

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomに参加し、事前アンケートに回答する。（1時間） 【復習】講義で示した参考文献を読み、疑問点についてノートにまとめておく。（3時間）	
2	スポーツ経営の概念	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
3	スポーツ経営の構造	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
4	スポーツ経営の実践領域	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
5	運動者行動論	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
6	豊かな運動生活とは	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
7	経営資源論	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
8	スポーツ事業論	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
9	スポーツ事業論	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
10	学習内容のふりかえりと中間試験	【予習】これまでの講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】中間試験の疑問点をノートにまとめておく。（2時間）	
11	運動部活動の経営論	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
12	プロスポーツの経営論	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		専門用語の意味をノートにまとめておく。 （2時間）。 【復習】講義資料の内容をノートにまとめて おく。（2時間）	
13	職場スポーツの経営論	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する 専門用語の意味をノートにまとめておく。 （2時間）。 【復習】講義資料の内容をノートにまとめて おく。（2時間）	
14	スポーツ経営人材	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する 専門用語の意味をノートにまとめておく。 （2時間）。 【復習】講義資料の内容をノートにまとめて おく。（2時間）	
15	学習内容のふりかえりと今後の学習課題	【予習】これまでの講義内容を確認し、疑問 点をノートにまとめておく。（2時間）。 【復習】これまでの講義を踏まえ、スポーツ 事業の企画案を検討し、最終レポートにまと めて提出する（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング：

授業形態： 講義

科目名： スポーツマネジメント論

担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

この講義では、スポーツ経営学で学習した知識を定着させるとともに、それらの知識を実践現場に応用できる力量を養成することを目的としています。そのため、プログラムサービスの提案に関わる実践的活動およびスポーツ施設におけるファシリティマネジメントといった二つの題材を学習課題として設定し、グループワークやプレゼンテーションを行います。

また、スポーツ事業を行うためには、計画・実行・評価・修正のプロセスを踏まえ、スポーツ経営学の基礎的知識に基づいた事業計画および事業評価を適切に設定することが求められます。これらの課題に取り組むことによって、特に事業計画と事業評価に関わる実践的知識の獲得を目指します。

なお、この講義の履修にあたっては「スポーツ経営学」（3年・前期）を履修していることが必須となります。この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：t6lfbvc）を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	

【到達目標】

1. スポーツ事業計画を評価できる
2. スポーツ施設管理事業の提案書を作成できる
3. 事業計画を効果的に書面および口頭で表現できる

【成績の評価】

- ・レポート 50%
- ・表現課題 50%

《フィードバックの方法》

レポートと表現課題については、次の講義で講評をおこないます。

【使用テキスト】

柳沢和雄・木村和彦・清水紀宏 編著『テキスト 体育・スポーツ経営学』（大修館書店、2017年）1,800円

スポーツ経営学（3年・前期）で使用したテキストです

【参考文献】

八代勉・中村平 編著『体育・スポーツ経営学講義』（大修館書店、2002年）2,200円

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomに参加し、事前アンケートに回答する。（1時間） 【復習】講義で示した参考文献を読み、疑問点についてノートにまとめておく。（3時間）	
2	スポーツ事業論の振り返り	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
3	事業計画と事業評価	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
4	事業計画書の作成（1）目的の設定	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
5	事業計画書の作成（2）評価の検討	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
6	事業計画書の作成（3）資料の作成	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
7	事業計画書のプレゼンテーションと評価	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
8	プログラムサービスの実践と評価	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
9	スポーツ施設のマネジメント（1）エリアサービス	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
10	スポーツ施設のマネジメント（2）指定管理者制度	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
11	スポーツ施設活用方法の検討（1）情報の収集と整理	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
12	スポーツ施設活用方法の検討（2）事業の提案	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		(2時間)。 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。(2時間)	
13	スポーツ施設活用方法の検討(3)戦略の考案	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。(2時間)。 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。(2時間)	
14	スポーツ施設活用方法の検討(4)広報活動の検討	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。(2時間)。 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。(2時間)	
15	学習内容の振り返りと今後の学習活動	【予習】これまでの講義内容を確認し、疑問点をノートにまとめておく。(2時間)。 【復習】これまでの講義を踏まえ、スポーツ事業の計画書を検討し、最終レポートにまとめて提出する(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ATH322
授業形態： 講義
科目名： スポーツマーケティング論
担当教員： 正岡 利朗(MASAOKA Toshirou)

【授業の紹介】

スポーツがビジネスとして認知されるにつれ、スポーツ産業なるものが大きな市場を形成するようになりました。そこで、この授業では、スポーツ産業（市場）を対象として、スポーツ消費者に対するマーケティング活動を理解できるようになるべく、さまざまなアプローチの方法や事例を説明します。

なお、本授業は、グループワークで情報収集・ディスカッションを行うアクティブ・ラーニング形式を採用しています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. スポーツに関わるさまざまな主体が、消費者に対してどのようなアプローチを行っているのかを理解できる。
2. 基本的なアプローチを踏まえた上でマーケティング活動のアイデアを自ら発案できる。
3. 上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティー5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】

レポート提出（100％）の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生（グループ）のレポートの結果については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

とくにありません（インターネットを使用する場合もある）。

【参考文献】

原田宗彦『スポーツマーケティング』大修館書店、2008年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	スポーツマーケティング	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
3	スポーツプロダクト	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
4	スポーツ消費者	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
5	スポーツマーケティングプラン	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
6	プロモーション	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
7	スポンサー	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
8	ブランディングとライセンス	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
9	ITの活用	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
10	価格戦略	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
11	事例研究（カマタマーレ讃岐）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
12	事例研究（高松ファイブアローズ）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>ておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
13	事例研究（香川オリーブガイナース）	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
14	事例研究（香川アイスフェローズ）	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
15	これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101

授業形態： 演習

科目名： 基礎演習

担当教員： 未包 昭彦(SUEKANE Akihiko)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101

授業形態： 演習

科目名： 基礎演習

担当教員： 高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 村山 昂

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探ることができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101

授業形態： 演習

科目名： 基礎演習

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探ることができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102

授業形態： 演習

科目名： 基礎演習

担当教員： 未包 昭彦(SUEKANE Akihiko)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要な場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要な場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要な場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要な場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 村山 昂

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要な場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度(30%)、チームワーク(30%)、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題(40%)により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要な場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

この授業では、人々の行動、企業の経営戦略やそれらを取り巻く社会経済環境に関するトピックを取り上げて議論します。1授業1トピックのペースで進める予定ですが、背景となる社会構造や経営・経済理論の説明が必要な場合は、それに追加的な時間を割くこともあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 文章を要約し、それを発表することができる。
2. 他者に伝わるようにレポートや資料を書くことができる。
3. 社会課題に興味を抱き、自らの意見を持つことができる。

【成績の評価】

授業への貢献（80％）・・・教員評価と仲間評価が行われ、コメントとともに評価結果がフィードバックされます。

発表（10％）・・・発表の内容、準備資料等に関して評価が行われフィードバックされます。

レポート等の提出（10％）

- 授業に貢献する行為や積極的な発言や質問は歓迎します。評価にも加点します。
- 授業への貢献が評価されるので全授業への出席が求められます。理由なく欠席した場合、その授業への貢献はゼロ、また5分以上遅刻した場合は大きく評価を下げることになります。また、授業の進行や他の学生の学習を妨げる行為や発言があった場合も減点します。

【使用テキスト】

山崎 康司（2016）『考える技術・書く技術【スライド編】』ダイヤモンド社

山崎 康司（2011）『入門 考える技術・書く技術 日本人のロジカルシンキング実践法』ダイヤモンド社

【参考文献】

2023年度の授業内容の一部と学生の評価は研究室の前に貼ってあります。

参考資料は、適宜配布します。

アセモグル, レイブソン, リスト (2020) 『入門経済学』 東洋経済新報社
Acemoglu, D., D. Laibson and J. List (2021) Economics, Global Edition

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	高大ドリルの使い方 30分 人生グラフを書いてみよう。	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	4、5月に就職説明会と社会人基礎力を測定する合同ゼミが、それぞれ1回ずつあります。
2	高大ドリル前期目標設定 30分 人生グラフを使って自己紹介 第1回	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
3	高大ドリル 30分 人生グラフを使って自己紹介 第2回	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
4	高大ドリル 30分 ゼミでアピール 1	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
5	高大ドリル 30分 ゼミでアピール 2	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
6	高大ドリル 30分 香川県1週間滞在ツアープラン 1	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
7	高大ドリル 30分 香川県1週間滞在ツアープラン 1	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
8	高大ドリル 30分 香川県1週間滞在ツアープラン ポスター	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
9	高大ドリル 30分 香川県1週間滞在ツアープラン ポスター	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
10	高大ドリル 30分 香川県1週間滞在ツアープラン ポスター	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
11	高大ドリル 30分 香川県1週間滞在ツアープラン スライド作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
12	高大ドリル 30分 香川県1週間滞在ツアープラン スライド作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
13	ファイナル・プレゼンテーションの予行練習	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
14	ファイナル・プレゼンテーションの予行練習	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
15	ファイナル・プレゼンテーション	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro)

【授業の紹介】

現在、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要なお金に関する知識や判断力（「金融リテラシー」）が強く求められるようになっていきます。

この授業は、「生活スキルとして最低限身に付けるべき金融リテラシー」の習得を目指します。具体的には、私たちに身近なお金の役割・機能のほか、金融の仕組み・金融機関の役割などに関連するトピックを取り上げてプレゼンテーションを行い、議論します。背景となる社会構造や経営・経済理論の説明が必要な場合は、それに追加的な時間を割くこともあります。

また、日本銀行高松支店などの視察等も実施する予定です（先方の都合で実施時期が異なることもあります）。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 文章を要約し、それを発表することができる。
2. 他者に伝わるようにレポートや資料を書くことができる。
3. 社会課題に興味を抱き、自らの意見を持つことができる。

【成績の評価】

プレゼンテーションの内容（50%）、授業中の意見交換など授業への貢献（50%）

【使用テキスト】

適宜紹介します。

【参考文献】

適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	金融に関する情報を普段から意識し、キーワードや疑問等をメモしておくこと（2時間） 配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）	
2	第1回プレゼンテーションの準備 （人生のデザインとお金）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
3	第1回プレゼンテーションの準備 （ライフプラン）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
4	第1回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
5	第2回プレゼンテーションの準備 （お金の役割り）、	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
6	第2回プレゼンテーションの準備 （資産運用とリスク・リターン）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
7	第2回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
8	第3回プレゼンテーションの準備 （経済と金融商品）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
9	第3回プレゼンテーションの準備 （クレジット、ローン）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		まとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
10	第3回プレゼンテーションの準備 （損失への備え）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
11	第3回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
12	第4回プレゼンテーションの準備 （不確実性と意思決定）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
13	第4回プレゼンテーションの準備 （金融トラブルへの対処）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
14	第4回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
15	外部視察・研修（日本銀行など）	予習として視察する外部組織（日本銀行など）の情報を収集し、質問事項などをノートに記載しておくこと。 復習として視察の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

本講義は、外国人留学生のプレゼンテーション能力を向上させることを目的としています。日本人学生は受講することができません。

「演習」では、「聴く」「話す」スキルを中心に学習します。授業では、プレゼンテーションのCDを聴いてメモを取り、その後メモを見ながら聴き取った内容を自分の言葉で発表する練習を繰り返し行います。発表練習を通して、プレゼンテーションの流れと基本的な表現を身につけます。授業全般をアクティブラーニングで構成し、各発表に対してゼミ生全員で批評を行います。発表者はゼミ生の意見を参考にして発表内容を修正し、次週再発表を行います。これを繰り返し行うことで、プレゼンテーション能力の向上を図ります。

なお、関連科目として「演習」を続けて履修してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

他者のプレゼンテーションを正確に聴き取ることができる。
プレゼンテーションの流れを理解できる。
プレゼンテーションの基本的な表現を使うことができる。

【成績の評価】

授業中の発表（50%）、レポート・小テスト（50%）

レポート・小テストは、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。

遅刻3回で欠席1回とみなす

【使用テキスト】

『アカデミック・スキルを身につける 聴解・発表ワークブック』犬飼康弘著、スリーエーネットワーク、2007年、2,500円＋税

【参考文献】

授業中に適宜資料を配付する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
2	第1課「食中毒」 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
3	第1課「食中毒」 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
4	第2課「言葉と文化」 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
5	第2課「言葉と文化」 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
6	第3課「不登校」 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
7	第3課「不登校」 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
8	問題 コンビニエンス・ストアの今後 問題 がん告知について	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
9	第4課「高校生とバイク」 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
10	第4課「高校生とバイク」 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
11	第5課「食糧自給率」 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
12	第5課「食糧自給率」 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
13	問題 交通事故を減少させる方法について 問題 収入と労働時間について	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
14	第6課「子供の生活習慣病」 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
15	第6課「子供の生活習慣病」 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 村山 昂

【授業の紹介】

本演習の目的は、経営学の基本的な知識を学び、身近な経営現象を分析する能力の基礎を養うことにあります。レポートや卒業論文、就職活動、仕事などに経営学の知識を活かしていくためには、理論やフレームワークを正しく理解することが重要になります。本演習では、大学一年生で学んだ内容の振り返りや、今後の講義で学ぶであろう内容を先取りすることで、経営学の理論やフレームワークを正しい理解の下で習得することを目指します。

その目的を達成するために、本演習では、入門レベルの経営学の教科書を輪読していきます。そこでは、一つ一つの理論やフレームワークの内容を丁寧に確認しながら、ミクロ組織論やマクロ組織論、経営戦略論、イノベーション論の基礎的な内容を学び、経営学の全体像を大まかにつかんでいきます。

関連科目としては「経営学概論」や「経営戦略論」、「経営組織論」などがありますが、本演習では入門レベルの教科書を輪読していくため、関連科目の知識を前提とすることはありません。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 経営学の基本的な理論やフレームワークを説明できる。
2. 経営学の基本的な理論やフレームワークを使って、身近な経営現象を考察できる。
3. 自分の考えを相手に伝えるように説明することができる。

【成績の評価】

報告資料(50%)、授業への貢献(50%)を総合して評価します。

報告資料では、毎週提出されるレジュメの内容を評価します。必要に応じてフィードバックを行います。

- 授業への貢献では、議論への積極的な参加や質問、その他の工夫などを評価します。ゼミナール形式の授業では、全授業への参加と全ての課題の提出が成績評価の前提になります。したがって、遅刻や欠席、課題の未提出、不適切な言動などは大きく減点します。

【使用テキスト】

榊原清則 (2013). 『経営学入門[上] <第2版>』日本経済新聞出版社.
榊原清則 (2013). 『経営学入門[下] <第2版>』日本経済新聞出版社.

【参考文献】

参考文献については、必要に応じて授業中に紹介します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本演習の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを読み、本演習の進め方などに関する質問の有無を確認する(2時間)。 復習：講義資料を読み返し、本演習の進め方や取り組む課題を再度確認する(2時間)。	
2	経営学とは何か	予習：テキスト上巻の第1章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジюмеに追記する(1時間)。	
3	ミクロ組織論 組織の中の個人と集団の特性	予習：テキスト上巻の第2章の指定範囲を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジюмеに追記する(1時間)。	
4	ミクロ組織論 組織の中の集団の機能	予習：テキスト上巻の第2章の指定範囲を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジюмеに追記する(1時間)。	
5	マクロ組織論 組織構造	予習：テキスト上巻の第3章の指定範囲を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジюмеに追記する(1時間)。	
6	マクロ組織論 組織デザイン	予習：テキスト上巻の第3章の指定範囲を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジюмеに追記する(1時間)。	
7	経営戦略論 戦略論の基礎と資源戦略	予習：テキスト上巻の第4章の指定範囲を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジюмеに追記する(1時間)。	
8	経営戦略論 競争戦略	予習：テキスト上巻の第4章の指定範囲を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジюмеに追記する(1時間)。	
9	経営戦略論 ドメイン戦略	予習：テキスト上巻の第4章の指定範囲を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジюмеに追記する(1時間)。	
10	企業成長のための戦略と組織	予習：テキスト下巻の第1章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジюмеに追記する(1時間)。	
11	国際化のための戦略と組織	予習：テキスト下巻の第2章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジюмеに追記する(1時間)。	
12	イノベーション経営の戦略と組織	予習：テキスト下巻の第3章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレーム	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ワークの内容をレジюмеに追記する(1時間)。 。	
13	日本企業の経営課題	予習：テキスト下巻の第4章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジюмеに追記する(1時間)。 。	
14	経営学史	予習：テキスト下巻の付録1を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジюмеに追記する(1時間)。 。	
15	本演習のまとめ 要点の整理と興味関心の検討	予習：本演習で読んできた中で特に面白かった／興味がひかれた議論、もしくは面白いと感じなかった／興味がひかれなかった議論を取り上げ、なぜそのように感じたのかを考えて、レジюмеにまとめてくる(2時間)。 復習：演習内の議論も踏まえて、改めて自身の関心について考える(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 日笠 倫周(HIKASA Michinori)

【授業の紹介】

本演習では、身近な社会問題を論理的に説明できるようになることを目的とします。問題を把握するためには、現象を正確に把握できる目が重要になります。情報過剰な世の中で、情報に騙されず、より正確な問題認識をするためには、データの捉え方を学ぶ必要があると考えています。

そのため、本演習では、データ分析に関する書籍の輪読とグループによるプレゼンテーションを実施します。輪読とグループワークにより考える力とデータを見る目を養うと共に、グループワークやプレゼンテーションの要点を理解して欲しいと考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 論理的に思考することができる。
2. 自分の考えを説得的に伝えることができる。
3. データを正確に把握することができる。

【成績の評価】

成績は報告（50%）、授業態度（50%）を総合して評価します。
報告については、各人の報告時に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

初回講義時に指示します。

【参考文献】

刈谷剛彦『知的複眼思考法 誰でも持っている想像力のスイッチ』（講談社、2002年）
谷岡一郎『「社会調査」のウソ』（文藝春秋、2000年）
ダレル・ハフ著、高木秀玄訳『統計でウソをつく法』（講談社、1968年）
筒井淳也『社会を知るためには』（筑摩書房、2020年）
中室牧子、津川友介『「原因と結果」の経済学』（ダイヤモンド社、2017年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
2	統計とサンプリング	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
3	平均	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
4	分散	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
5	変数と図表	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
6	相関関係	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
7	相関関係と因果関係	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
8	偶然の相関	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
9	見せかけの相関関係を生み出す因子	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
10	逆の因果関係	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
11	グループ1によるプレゼンテーション	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
12	グループ2によるプレゼンテーション	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		時間) 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
13	グループ3によるプレゼンテーション	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
14	グループ4によるプレゼンテーション	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
15	これまでのまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

1年次の基礎演習 ・ では大学生の基礎的スキルとして、「文章を読んで理解する」「話を聴いて理解する」「理解を助け、後で思い出せるように記録する」「報告文書を書く」を中心にして取り組みました。2年次の演習 ・ では「他者に伝わるように表現する」を中心とした学習に取り組みます。経営情報コースでは、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得希望者の受講を前提においた学習内容に取り組みます。

この授業では、情報処理の学習として情報システムの設計を行うことによって、Excelとは違う情報処理を経験してもらいたいと考えています。また、その体験を通じて情報産業や情報通信システムの基礎的な概念について調べ、その内容をプレゼンテーション形式で報告発表することを課します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。 2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. プレゼンテーション形式の報告発表技術を身に付け、実践することができる。
2. 情報通信システムを構成する基礎的な要素について理解し、概要について説明できる。
3. 情報通信システムの仕組みや開発工程を理解し、概要について説明できる。

【成績の評価】

プレゼンテーション（60％）と取り組む姿勢（40％）を総合的に判断して評価する
フィードバックとして、各グループ、各個人ごとに必要なものや準備物等の注意を行う。
また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】

適宜指示する

【参考文献】

図解まるわかり データベースのしくみ
坂上 幸大（著）、翔泳社 2021年、\1,848円、ISBN-13：978-4798166056

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてITパスポート試験の調査 1時間 復習として情報システムの調査 1時間	
2	情報システムとは	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
3	いろいろな情報システムを体験する	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
4	情報システムの設計とは	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
5	情報システムを考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
6	ユーザインターフェースを考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
7	ラフスケッチを書く	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
8	中間発表	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
9	情報システムとデータ	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
10	データについて考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
11	データの関連を考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
12	データベースの役割	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
13	データフローを考える ア	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
14	アプリケーションを発表する	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	レビュー	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

1年次の基礎演習 ・ では大学生の基礎的スキルとして、「文章を読んで理解する」「話を聴いて理解する」「理解を助け、後で思い出せるように記録する」「報告文書を書く」を中心にして取り組みました。2年次の演習 ・ では「他者に伝わるように表現する」を中心とした学習に取り組みます。経営情報コースでは、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得希望者の受講を前提においた学習内容に取り組みます。

この授業では、情報処理の学習としてExcelVBAを用いた売上管理システムの作成に取り組みとともに、情報産業や情報通信システムの基礎的な概念について調べ、その内容をプレゼンテーション形式で報告発表することを課します。また、学生が企画して授業運営を行う学生企画授業を、前期では2回予定しています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. プレゼンテーション形式の報告発表技術を身に付け、実践することができる。
2. 情報通信システムを構成する基礎的な要素について理解し、概要について説明できる。
3. 情報通信システムの仕組みや開発工程を理解し、概要について説明できる。

【成績の評価】

議論への貢献（30%）、売上管理システム制作の進捗（30%）、プレゼンテーション発表（40%）それぞれ、個別の指導を通じて、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

横山達大「アプリ作成で学ぶExcelVBAプログラミング ユーザーフォーム&コントロール 2019/2016対応」（秀和システム）ISBN987-4-7980-5770-5
その他、資料を配布する。

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容(時間) / 復習内容(時間)	備考
1	ガイダンス	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	授業計画は目安であり、内容や進行は、クラスの状況に応じて変わることがあります。
2	プレゼンテーションの特徴と心構え	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
3	プレゼンテーション資料の準備1-(1)：ストーリー	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
4	プレゼンテーション資料の準備1-(2)：良いスライドとは	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
5	プレゼンテーション発表1	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
6	学生企画授業1	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
7	売上管理システム(1)：ExcelVBAの概要・作りたいアプリの概要の把握	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
8	売上管理システム(2)：商品マスタ登録画面を作る	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
9	売上管理システム(3)：商品マスタの登録処理を行うプログラムを作る	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
10	売上管理システム(4)：メニュー画面を作る	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
11	プレゼンテーション資料の準備2	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
12	プレゼンテーション発表2	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
13	売上管理システム(5)：商品マスタの修正/削除フォームを作る	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
14	学生企画授業2	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
15	総括：夏季休業中の取組みに関する説明	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

1年次の基礎演習 ・ では大学生の基礎的スキルとして、「文章を読んで理解する」「話を聴いて理解する」「理解を助け、後で思い出せるように記録する」「報告文書を書く」を中心にして取り組んだ。
2年次の演習 ・ では「他者に伝わるように表現する」を中心とした学習に取り組む。さらに経営情報コースでは、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得希望者の受講を前提においた学習内容にも取り組む。
この授業では、情報処理の学習としてExcel VBAを用いた売上管理システムの作成に取り組むとともに、情報産業や情報通信システムの基礎的な概念について調べ、その内容をプレゼンテーション形式で報告することを課す。また、学生が企画して授業運営を行う学生企画授業を、前期では2回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. プレゼンテーション形式の報告発表技術を身に付けることができる。
2. 情報通信システムを構成する基礎的な要素について理解することができる。
3. 情報通信システムの仕組みや開発工程を理解することができる。

【成績の評価】

授業内課題（20%）、3回分のプレゼンテーション（80%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、プレゼンテーション結果については解説する。

【使用テキスト】

資料を授業中に配布する。

【参考文献】

データ流通推進協議会 図解入門ビジネス 最新データ流通ビジネスがよくわかる本 ISDN 978-4798060408

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としては、GoogleClassroomから配布した資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
2	プレゼンテーションとは1（言葉遣いについて）	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
3	プレゼンテーション資料1のスライド作成	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
4	プレゼンテーション資料1の発表原稿作成	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
5	プレゼンテーション資料1の発表	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
6	プレゼンテーションとは2（フォント、図、表の使い方）	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
7	テーマの選定1（学生企画授業に向けて）	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
8	使用する図表等の選定	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシ-	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ト)を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
9	プレゼンテーション資料2の実施と議論	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
10	プレゼンテーションとは3（論理的な展開）	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
11	テーマの選定2（前回の振り返りを受けての学生企画授業）	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
12	シナリオの作成	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
13	発表原稿の作成とチェック	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
14	プレゼンテーション資料3の発表	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書）は、お金という尺度によって、私たちに企業の経営状況を伝えてくれます。そのため、財務諸表を読み解くことができるようになると、企業の経営を数値によって理解することができるようになります。本講義では、こうした財務諸表を読み解く能力についての基礎を養います。

また、本講義では、プレゼンテーションやディスカッションなどのグループワークを実施し、実践的、体験的な学びを通して、企業の経営を適切に分析し、その内容を他者に伝える力を養います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書に記載されている情報を理解し、活用することができる。
2. パワーポイントなどの資料によって、自分の意見を他者に伝えることができる。

【成績の評価】

報告内容（50%）、積極的な議論への参加（50%）により総合的に評価します。

なお、報告および議論内容に関しては、授業時間内に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】

大手町のランダムウォーカー（2020）『会計クイズを解くだけで財務3表がわかる 世界一楽しい決算書の読み方』KADOKAWA

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として「財務諸表分析」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
2	財務諸表とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
3	貸借対照表とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
4	貸借対照表の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
5	貸借対照表の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
6	損益計算書とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
7	損益計算書の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
8	損益計算書の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
9	キャッシュ・フロー計算書とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
10	キャッシュ・フロー計算書の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
11	キャッシュ・フロー計算書の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
12	財務諸表を組み合わせた分析とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>てください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）</p>	
13	財務諸表を組み合わせた分析方法	<p>予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）</p>	
14	財務諸表を組み合わせた分析（ケーススタディ）	<p>予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）</p>	
15	まとめ（重要項目の確認）	<p>予習として第1回から第14回までの配布資料や質疑応答をまとめたノートを総復習してください（1時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（1時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本演習では、簿記・会計の基礎的な論点を学習します。学習は企業が公表している財務諸表を参照しながら行います。そして、初歩的な経営分析を実践します。演習ではディスカッションでの積極的な発言を希望します。すなわち、プレゼンテーションや質疑応答の能力を高めることも目的とします。なお、学生と相談の上で授業計画を変更することがあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

会計・簿記の基本的な知識を習得し、財務諸表を読み取ることができるようになる。
初歩的な経営分析を行える。
積極的に発言ができる。

【成績の評価】

演習への積極的な参加（発表・質疑応答の発言など）80%、レポート（20%）で評価します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
日商簿記検定等の資格試験についても対応していきます。

【使用テキスト】

学生と相談の上で指示します。

【参考文献】

谷武幸・桜井久勝・北川教央（2021）『1からの会計 <第2版>』碩学舎。
桜井久勝『財務会計講義』中央経済社。（最新版）
桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社。（最新版）
桑原知之（2022）『とおる簿記シリーズ 日商簿記3級に“とおる”テキスト 第3版』ネットスクール出版。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（演習の進め方について）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
2	簿記の学習 貸借対照表と損益計算書	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
3	簿記の学習 基本的な仕訳	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
4	簿記の学習 試算表の作成	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
5	会計学の学習 会計の役割	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
6	会計学の学習 制度会計と社会	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
7	会計学の学習 会計の仕組み	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	会計学の学習 貸借対照表	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
9	会計学の学習 在庫品の会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
10	会計学の学習 生産設備の会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
11	会計学の学習 金融資産の会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
12	会計学の学習 損益計算書	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
13	経営分析の基礎 儲かっている企業を見つける	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
14	経営分析の基礎 倒産しそうな企業を見つける	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	経営分析の基礎 株価との関連性	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 正岡 利朗(MASAOKA Toshirou)

【授業の紹介】

本演習は、演習、やその後の卒業論文で必要となる、「調べて、その内容を要領よくまとめて報告する」という一連の能力を向上させるために、何回かに分けて調べるべきテーマを設定し、それぞれのテーマについてまとめた資料を、他の受講生の前で発表するというパターンで授業を行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. プレゼンテーション用ソフトの効果的使用方法が理解できる。
2. プレゼンテーションの技法を確実に身につけることができる。
3. 上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティー5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】

プレゼン内容(100点満点)の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生のプレゼン内容は講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

とくにありません(インターネットを使用する場合もある)。

【参考文献】

プレゼンテーション研究会『学生のためのプレゼンテーション・トレーニング』実教出版、2015年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	イントロダクション	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	プレゼンテーション 1 回目の準備（情報収集）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
3	プレゼンテーション 1 回目の準備（情報の整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
4	プレゼンテーション 1 回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
5	プレゼンテーション 1 回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
6	プレゼンテーション 2 回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
7	プレゼンテーション 2 回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
8	プレゼンテーション 2 回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
9	プレゼンテーション 3 回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
10	プレゼンテーション 3 回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
11	プレゼンテーション 3 回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
12	プレゼンテーション 4 回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>ておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
13	<p>プレゼンテーション4回目の準備（発表用資料の作成）</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
14	<p>プレゼンテーション4回目の発表</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
15	<p>これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
	<p>定期試験(実施しない)</p>		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

スポーツ振興を担う人材は、スポーツの文化的価値を理解し、スポーツ文化の創造的な発展を希求する態度が求められます。そのためこの演習では、まずフットボールを題材としてスポーツ種目の成り立ちやルールの変遷を学習します。次にスポーツ種目を興味関心に応じて選択した後、その種目の成立過程やルールの変遷に関する資料を収集・読解し、その成果をまとめて発表します。さらに、新たなスポーツを創造し、創造したスポーツを実践することによって、スポーツの成立過程やルールの重要性を実践的に学習します。これらの活動を通じて、スポーツ文化に対する理解を深めるとともに、スポーツ文化創造の力量を養うことを目指します。

なお、この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：noe64ru）を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. スポーツの文化的価値を説明できる。
2. スポーツの成立過程を調査し、その成果を表現できる。
3. 新しいスポーツを創造することができる。
4. チームでコミュニケーションを取り、協力することができる。
5. 必要な資料を適切に収集することができる。

【成績の評価】

プレゼンテーション（口頭発表） 50%
発表資料等の成果物 50%
フィードバックとして、次の演習で報告内容の講評を行います

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

ルチアーノ・ウェルニッケ著 桑田 健訳 『サッカーはなぜ11人对11人で戦うのか？』扶桑社 2022年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomに参加し、事前アンケートに回答する。（1時間）	
2	スポーツと文化	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
3	フットボールの成り立ち	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
4	フットボールのルールとその変遷	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
5	スポーツの成り立ちに関する調査（1）種目の選定	【復習】選択したテーマに基づき資料を収集し、調べた内容をパワーポイントにまとめておく。（1時間）	
6	スポーツの成り立ちに関する調査（2）資料の収集	【復習】選択したテーマに基づき資料を収集し、調べた内容をパワーポイントにまとめておく。（1時間）	
7	スポーツの成り立ちに関する調査（3）発表資料の作成	【復習】選択したテーマに基づき資料を収集し、調べた内容をパワーポイントにまとめておく。（1時間）	
8	スポーツの成り立ちに関する調査（4）プレゼンテーションと評価	【復習】他者の発表時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
9	新しいスポーツを創造することの意義と必要性	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
10	新しいスポーツの創造（1）テーマの発案	【予習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（1時間）	
11	新しいスポーツの創造（2）ルールの検討	【予習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（1時間）	
12	新しいスポーツの創造（3）用具の確認	【予習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（1時間）	
13	新しいスポーツの創造（4）プレゼンテーションと評価	【予習】新スポーツの創造に関するプレゼンテーション資料を作成する。（1時間）	
14	新しいスポーツの創造（5）実践	【復習】新スポーツの創造に関する活動を振り返り、レポートにまとめて提出する。（1時間）	
15	学習内容の振り返りと今後の学習課題の確認	【復習】学習内容を振り返り、レポートにまとめて提出する。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

キャリア・デザインやライフ・デザインに関する知識を蓄積するために、教科書を参考にしながら、労働市場や企業の人事制度に関する資料やデータを収集し、発表を通じてゼミ内で情報を共有します。特に、適切に図表を作成し報告する技術と説明を文章化する方法を身につけることで、小論文やレポートの書き方を習得します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 文章を要約し、それを発表することができる。
2. 他者に伝わるようにレポートや資料を書くことができる。
3. 社会課題に興味を抱き、自らの意見を持つことができる。

【成績の評価】

授業への貢献（80％）・・・教員評価と仲間評価が行われ、コメントとともに評価結果がフィードバックされます。

発表（10％）・・・発表の内容、準備資料等に関して評価が行われフィードバックされます。
レポート等の提出（10％）

- 授業に貢献する行為や積極的な発言や質問は歓迎します。評価にも加点します。
- 授業への貢献が評価されるので全授業への出席が求められます。理由なく欠席した場合、その授業への貢献はゼロ、また5分以上遅刻した場合は大きく評価を下げることになります。また、授業の進行や他の学生の学習を妨げる行為や発言があった場合も減点します。

【使用テキスト】

阿部・松繁（編著）（2014）『キャリアのみかた』有斐閣

【参考文献】

2023年度の授業内容の一部と評価は研究室の前に貼ってあります。
参考資料は、適宜配布します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	6ヶ月で6kg痩せる方法1 調査 ポストイットを貼る	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：調査の見直し（2時間）	
2	6ヶ月で6kg痩せる方法2 調査 ポストイットを貼る	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：調査の見直し（2時間）	
3	6ヶ月で6kg痩せる方法3 ポスター作成 発表練習	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：ポスターの完全案を作る（2時間）	
4	6ヶ月で6kg痩せる方法4 ポスター作成 発表	予習内容：発表・ポスターの改善（2時間） 復習内容：発表・ポスターの見直し（2時間）	
5	理想のチームを作る メンバーの選択 発表	予習内容：理想のチーム編成を考える（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
6	高松のどこに住むべきか ポスター作成 発表	予習内容：理想のチーム編成を考える（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
7	演習 と演習 のこれまでをグラフでふりかえる。	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
8	理想の「演習」を考える 1 具体的授業計画を作る 第1回～第5回	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
9	理想の「演習」を考える 2 具体的授業計画を作る 第6回～第10回	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
10	理想の「演習」を考える 3 具体的授業計画を作る 第11回～第15回	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
11	理想の「演習」を考える 1 シラバス案を作成する1	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
12	理想の「演習」を考える 2 シラバスを完成する1	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
13	理想の「演習」 1 スライドを作成する	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
14	理想の「演習」 2 スライドを作成する 発表の練習	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
15	理想の「演習」 3 発表	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro)

【授業の紹介】

この授業は、演習 で学修した金融に関する基礎知識をもとに、現代の経済社会に関するトピックス（資産運用、デジタルイゼーション、年金改革など）についてプレゼンテーションを行い、議論します。さらに、金融と経済に関する知識を深めるため、金融機関の役割や証券市場などについて議論していきます。外部組織（銀行や証券会社）の視察・研修も予定しています（先方の都合により実施時期が異なる場合もあります）。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 文章を要約し、それを発表することができる。
2. 他者に伝わるようにレポートや資料を書くことができる。
3. 社会課題に興味を抱き、自らの意見を持つことができる。

【成績の評価】

プレゼンテーションの内容（50%）、発表（50%）

-

【使用テキスト】

適宜紹介します。

【参考文献】

適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	金融に関する情報を普段から意識し、キーワードや疑問等をメモしておくこと（2時間） 配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）	
2	第1回プレゼンテーションの準備 （金商品とリスク・リターン）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
3	第1回プレゼンテーションの準備 （経済と金利）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
4	第1回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
5	第2回プレゼンテーションの準備 （新NISA）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
6	第2回プレゼンテーションの準備 （iDeCo）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
7	第2回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
8	第3回プレゼンテーションの準備 （フィンテック）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
9	第3回プレゼンテーションの準備 （デジタル中央銀行券）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		まとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
10	第3回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
11	第4回プレゼンテーションの準備 （間接金融と銀行）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
12	第4回プレゼンテーションの準備 （直接金融と証券市場）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
13	第4回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
14	外部視察・研修（地元の銀行）	予習として視察する外部組織（地元の銀行）の情報を収集し、質問事項などをノートに記載しておくこと。 復習として視察の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
15	外部視察・研修（地元の証券会社）	予習として視察する外部組織（地元の証券会社）の情報を収集し、質問事項などをノートに記載しておくこと。 復習として視察の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

本講義は、外国人留学生のプレゼンテーション能力を向上させることを目的としています。日本人学生は受講することができません。

「演習」では、自分が調べたことや自分の意見を口頭発表します。まず、プレゼンテーションの流れと関連表現を学習した上で、内容の構成、順序を重視しながら、聞いている人にわかりやすく発表する練習を行います。

授業全般をアクティブラーニングで構成し、各発表に対してゼミ生全員で批評を行います。発表者はゼミ生の意見を参考にして発表内容を修正し、次週再発表を行います。これを繰り返し行うことで、プレゼンテーション能力の向上を図ります。

なお、関連科目として「演習」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

プレゼンテーションの流れと、それに関連した表現を使うことができる。
プレゼンテーションのpptを作ることができる。
テーマに沿ってプレゼンテーションができる。

【成績の評価】

授業中の発表（50%）、レポート・小テスト（50%）

レポート・小テストは、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。

遅刻3回で欠席1回とみなす

【使用テキスト】

『アカデミック・スキルを身につける 聴解・発表ワークブック』犬飼康弘著、スリーエーネットワーク、2007年、2,500円＋税

『アカデミックプレゼンテーション入門』三浦香苗・岡澤孝雄・深澤のぞみ・ヒルマン小林恭子著、ひつじ書房、2006年、2,200円＋税

【参考文献】

授業中に適宜資料を配付する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	第7課「少子化」 はじめに	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてこること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）	
2	第8課「少子化」 保育サービスの現状と問題点	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてこること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）	
3	第9課「少子化」 企業の育児休業制度について	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてこること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）	
4	第10課「少子化」 男性の育児に対する考え方と現状	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてこること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）	
5	第11課「少子化」 まとめ	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてこること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）	
6	プレゼンテーションの基礎	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてこること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）	
7	プレゼンテーションに必要な表現 「図表の説明に必要な表現」	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）</p>	
8	<p>プレゼンテーションに必要な表現 「比較の表現、引用の表現、接続の表現」</p>	<p>共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）</p>	
9	<p>pptの作り方 プレゼンテーションにおける話し方</p>	<p>共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）</p>	
10	<p>プレゼンテーション 「都市を紹介しよう」 各自の発表</p>	<p>共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）</p>	
11	<p>プレゼンテーション 「都市を紹介しよう」 各自の再発表</p>	<p>共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）</p>	
12	<p>プレゼンテーション 「伝統行事を紹介しよう」 各自の発表</p>	<p>共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）</p>	
13	<p>プレゼンテーション 「伝統行事を紹介しよう」 各自の再発表</p>	<p>共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）</p>	
14	<p>プレゼンテーション 「自由テーマ」</p>	<p>共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
	各自の発表	等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてもらうこと。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にし、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。 (1時間)	
15	プレゼンテーション 「自由テーマ」 各自の再発表	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてもらうこと。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にし、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。 (1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 村山 昂

【授業の紹介】

本演習の目的は、経営戦略論の基本的な知識を使って、企業の経営戦略を分析する能力を養うことにあります。レポートや卒業論文、就職活動、仕事などに経営学の知識を活かしていくためには、知識として知っているだけではなく、それらを使いこなせるようになることが求められます。本演習では、特に経営戦略論に焦点を当て、お手本から分析手法を学び、そこで学んだ内容を実際に試してみる経験を積むことで、経営学の知識を使いこなせるようになるきっかけをつかむことを目指します。その目的を達成するために、本演習では、大きく二つのことに取り組んでいきます。第一に、経営戦略の分析例をまとめた本を輪読します。そこでは、経営戦略論の基本的な知識を使ってどのような分析をしているのか、その分析ではどのようなデータを集めているのか、そのデータを使ってどんなグラフを作成しているのか等、経営戦略の分析の仕方について学んでいきます。第二に、一つ目の取り組みで学んだ内容を活かして、実際に経営戦略を分析するグループワークを行います。事例を選んでから、データを集めて分析を行い、その分析結果をプレゼンテーションするという一連のプロセスを経験することで、経営戦略を分析できるようになるための第一歩を踏み出すことを目指します。関連科目としては「経営学概論」や「経営戦略論」などがありますが、読解に必要な知識については演習内でも若干の解説を行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 経営戦略論の基本的な知識を使って、身近な経営現象を分析できる。
2. 分析に必要なデータを考え、自力で探することができる。
3. 自分の考えを相手に伝えるように説明することができる。

【成績の評価】

授業への貢献(50%)、分析の発表内容(50%)を総合して評価します。

授業への貢献では、輪読回のレジюмеや、議論への積極的な参加、質問、その他の工夫などを評価します。

分析の発表内容については、講評を行い、フィードバックします。

評価にあたっては、同グループのメンバーからの貢献度評価も考慮に入れます。

ゼミナール形式の授業では、全授業への参加と全ての課題の提出が成績評価の前提になります。

したがって、遅刻や欠席、課題の未提出、不適切な言動などは大きく減点します。

【使用テキスト】

沼上幹＋一橋MBA戦略ワークショップ(2018). 『一橋MBAケースブック【戦略転換編】』東洋経済新報社.

【参考文献】

沼上幹(2023). 『わかりやすいマーケティング戦略 第3版』有斐閣アルマ.
その他の参考文献については、必要に応じて授業中に紹介します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本演習の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを読み、本演習の進め方などに関する質問の有無を確認する(2時間)。 復習：講義資料を読み返し、本演習の進め方や取り組む課題を再度確認する(2時間)。	
2	丸亀製麺の事例 市場や企業の概要の示し方	予習：テキスト第3章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：市場や企業について、どのようなことを、どのようなデータで、どのように分析していたのかをノート等にまとめる(1時間)。	
3	丸亀製麺の事例 マーケティングミックスの分析	予習：テキスト第3章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：4P'sの分析で、どのようなことを、どのようなデータで、どのように分析していたのかをノート等にまとめる(1時間)。	
4	葬儀業界のティアの事例 市場や企業の概要の示し方	予習：テキスト第1章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：市場や企業について、どのようなことを、どのようなデータで、どのように分析していたのかをノート等にまとめる(1時間)。	
5	葬儀業界のティアの事例 業界の構造分析	予習：テキスト第1章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：業界の構造分析で、どのようなことを、どのようなデータで、どのように分析していたのかをノート等にまとめる(1時間)。	
6	葬儀業界のティアの事例 マーケティングミックスの分析	予習：テキスト第1章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：4P'sの分析で、どのようなことを、どのようなデータで、どのように分析していたのかをノート等にまとめる(1時間)。	
7	事例分析の実践 事例の選択	予習：インターネットや新聞で調べて、興味のある業界や企業を3つ以上選び、なぜ興味があるのかをレジюмеにまとめる(3時間)。 復習：第6回までに読んできた内容を見返し、事例分析にはどのようなデータが必要なのかを考える(1時間)。	
8	事例分析の実践 データの探索	予習：第7回の授業で選んだ業界や企業について、インターネットや図書館などを活用して、関連しそうなデータを探索する(2時間)。 復習：データの探索を進める(2時間)。	
9	事例分析の実践 事例の分析	予習：関連しそうなデータを前回に引き続き探索する(2時間)。 復習：データの探索と分析を進める(2時間)。	
10	大塚家具の事例 市場や企業の概要の示し方 業界の構造分析	予習：テキスト第6章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：業界に関する情報を示すために、どのようなことを、どのようなデータで、どのように分析していたのかをノート等にまとめる(1時間)。	
11	大塚家具の事例 時間展開の分析	予習：テキスト第6章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：市場や企業について、どのようなことを、どのようなデータで、どのように分析していたのかをノート等にまとめる(1時間)。	
12	事例分析の実践 分析の進捗報告	予習：ここまでの分析状況について、パワーポイントにまとめてくる(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習：足りないデータの収集と必要な分析を進める(2時間)。	
13	事例分析の実践 発表資料の作成	予習：テキストを見返して、どのような情報を発表に盛り込む必要があるのかを考えてくる(1時間)。 復習：発表に向けて、発表資料の作成と発表の練習を行う(3時間)。	
14	事例分析の実践 分析内容の発表	予習：発表に向けて、発表資料の作成と発表の練習を行う(3時間)。 復習：発表内容や発表方法について、良かった点や改善できる点などを考える(1時間)。	
15	本演習のまとめ 経営戦略の分析についての総括	予習：前回発表した事例分析とテキストの分析を比較して、次に事例分析を行う際に活かすことができそうなポイントを考えてくる(2時間)。 復習：演習内の議論も踏まえて、本演習で学んできた事例分析の方法を振り返り、ノート等に整理する(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 日笠 倫周(HIKASA Michinori)

【授業の紹介】

本演習では、演習での学習を基礎に、身近な社会問題をマーケティングや消費者行動論の観点から説明できるようになることを目的とします。そのために、入門レベルの専門書の輪読とグループによるプレゼンテーションを実施します。輪読とグループワークにより専門知識を活用して考える術を養うと共に、グループワークの有用性を理解して欲しいと考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 論理的に思考することができる。
2. 自分の考えを説得的に伝えることができる。
3. マーケティングと消費者行動論の基礎理論を理解し説明できる。

【成績の評価】

成績は報告（50%）、授業態度（50%）を総合して評価します。
報告については、各人の報告時に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

初回講義時に指示します。

【参考文献】

沼上幹著『わかりやすいマーケティング戦略』（有斐閣アルマ, 2008年）
青木幸弘著『消費者行動の知識』（日経文庫, 2008年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
2	マーケティングと市場	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
3	マーケティング戦略	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
4	定量的データとマーケティング・リサーチ	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
5	定性的データとマーケティング・リサーチ	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
6	ブランド戦略	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
7	デジタル・マーケティング	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
8	消費者行動とマーケティング	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
9	意思決定過程	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
10	関与	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
11	態度	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
12	消費者行動の分析	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		時間) 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
13	ブランド選択	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
14	消費文化	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
15	これまでのまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

前期では、情報システムの設計を体験してもらいましたが、この授業ではプログラミングを体験してもらいます。プログラミングと言っても様々な言語やツールがありますので、その紹介を行い、いくつかの言語とツールを体験してもらいます。その体験を通じて、情報産業や情報通信システムへの理解をより深めてもらいたいと考えています。
また、大学祭への模擬店の出展を計画することにより、プロジェクトマネジメントを体験してもらいたいと考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. プログラミング言語の概略を理解できる
2. システムエンジニアの仕事を理解できる
3. プロジェクトマネジメントを理解できる

【成績の評価】

授業での成果物（60％）と取り組む姿勢（40％）を総合的に判断して評価する
フィードバックとして、各グループ、各個人ごとに必要なものや準備物等の注意を行う。
また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】

資料等を配布する。

【参考文献】

図解まるわかり データベースのしくみ
坂上 幸大 (著)、翔泳社 2021年、\ 1,848円、ISBN-13 : 978-47981660560

スラスラ読める Pythonふりがなプログラミング 増補改訂版 リブロワークス インプレス

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
2	プロジェクトマネジメント（PM）とは	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
3	スケジュールの決定	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
4	業務内容の決定	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
5	役割分担の決定	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
6	プログラミングとは	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
7	プログラミング体験：基礎 プログラミングの文法等について説明する。	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
8	プログラミング体験：基礎＋ オブジェクト指向型の考え方について説明する。	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
9	作るべきプログラムを考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
10	プログラムのシナリオを考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
11	必要となる技術を調べる	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
12	必要なアクタを考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
13	必要な機能を考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
14	データフローを考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
15	全体のまとめとSEの役割	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

演習 では、演習 に引き続き「他者に伝わるように表現する」を中心とした学習に取り組みます。経営情報コースでは、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得希望者の受講を前提においた学習内容に取り組みます。

この授業では、演習 に引き続き、情報処理の学習としてExcelVBAを用いた売上管理システムの作成に取り組むとともに、情報産業や情報通信システムの基礎的な概念について調べ、その内容をプレゼンテーション形式で報告発表することを課します。報告発表は、輪番の発表と共通課題の発表があります。また、大学祭への模擬店・展示での参加を予定しています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. プレゼンテーション形式の報告発表技術を身に付け、実践できる。
2. 情報通信システムを構成する基礎的な要素について理解し、概要について説明できる。
3. 情報通信システムの仕組みや開発工程を理解し、概要について説明できる。

【成績の評価】

議論への貢献（30%）、売上管理システム制作の進捗（30%）、プレゼンテーション発表（40%）それぞれ、個別の指導を通じて、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

横山達大「アプリ作成で学ぶExcelVBAプログラミング ユーザーフォーム&コントロール 2019/2016対応」
（秀和システム）ISBN987-4-7980-5770-5
その他、資料を配布する。

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	授業計画は目安であり、内容や進行は、クラスの状況に応じて変わることがあります。
2	企画の立案(1)：ブレインストーミングとアイデアの整理、ドキュメントの整備	課題：アイデアを整理し、ドキュメントにまとめる(1時間)	
3	企画の立案(2)：WBSと役割分担	課題：WBSおよび役割分担をドキュメントにまとめる(1時間)	
4	企画の立案(3)：スケジュールリング	課題：スケジュールをドキュメントにまとめる(1時間)	
5	大学祭準備	課題：展示物や道具類、原材料を準備する(1時間)	
6	決算報告と評価点検	課題：決算報告をまとめる(1時間)	
7	売上管理システム(1)：顧客マスタの登録フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
8	売上管理システム(2)：顧客マスタの修正／削除フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
9	売上管理システム(3)：売上情報の登録フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
10	売上管理システム(4)：売上明細の修正フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
11	売上管理システム(5)：売上情報の検索フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
12	売上管理システム(6)：売上情報の修正フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
13	売上管理システム(7)：会社情報の登録／修正フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
14	売上管理システム(8)：請求書の指定フォーム、印刷フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
15	総括：春季休業中の取組みに関する説明	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

この授業はグループによるプレゼンテーションを行う。個人で行う場合との違い等に気付くことによって、グループワークの大切さを理解することをねらっている。また、大学祭への模擬店の出店の活動等を通して、グループワークの重要性を学ぶことができると考える。そこで、大学祭への出店計画も授業内容の1つとしている。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. プレゼンテーション形式の報告発表技術を実践できる。
2. 情報通信システムを構成する基礎的な要素について、その概要を説明できる。
3. 情報通信システムの仕組みや開発工程について、その概要について説明できる。

【成績の評価】

授業内課題（20%）、グループでの役割分担表での実施（20%）、2回分のプレゼンテーション（60%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、プレゼンテーション結果については解説する。

【使用テキスト】

資料を授業中に配布する。

【参考文献】

鈴木 義幸 未来を共創する 経営チームをつくる ISBN 978-4799326930

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション／大学祭の準備1：ブレンストーミング	予習として、GoogleClassroomから提示された配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
2	大学祭の準備2＋当日の準備についての整理	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
3	大学祭の準備3＋グループ決め（その1）	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
4	大学祭の準備4＋テーマ選定とシナリオ作成（その1）	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
5	資料作成（その1）	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
6	発表準備とレジユメの作成（その1）	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
7	グループ毎のプレゼンテーション発表（その1）大学祭に関するプレゼンテーション	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
8	これまでの振り返り	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うこ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		とと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
9	グループ決め（その2）	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対する再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
10	テーマ選定とシナリオ作成（その2）	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対する再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
11	シナリオに沿った役割分担の確認	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対する再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
12	発表資料とレジユメの作成（その2）	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対する再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
13	グループ毎のプレゼンテーション発表（その2）グループで取り組んだ課題解決のプレゼンテーション	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対する再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
14	卒業論文に向けて	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対する再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対する再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

演習 では、演習 までの学習内容を基礎として、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書）を読み解き、分析する能力を養います。

また、本講義では、プレゼンテーションやディスカッションなどのグループワークを実施し、実践的、体験的な学びを通して、企業の経営を適切に分析し、その内容を他者に伝える力を養います。

関連科目として「演習」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書に記載されている情報を理解し、簡単な分析を行うことができる。

2. パワーポイントなどの資料によって、自分の意見を他者に伝えることができる。

【成績の評価】

報告内容（50%）、積極的な議論への参加（50%）により総合的に評価します。

なお、報告および議論内容に関しては、授業時間内に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】

大手町のランダムウォーカー（2022）『会計クイズを解くだけで財務3表がわかる 世界一楽しい決算書の読み方 実践編』KADOKAWA

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として財務諸表分析の手法をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
2	財務3表とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
3	財務3表の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
4	財務3表の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
5	時系列分析とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
6	時系列分析の方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
7	時系列分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
8	競合比較分析とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
9	競合比較分析の方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
10	競合比較分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
11	事例分析とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
12	事例分析の方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
13	事例分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
14	最終報告資料の作成	予習として財務諸表分析の手法と報告予定の事例をパワーポイントにまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
15	最終報告	予習として第14回で指摘された内容を踏まえ、最終報告資料を完成させてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
	定期試験（実施しない）		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本演習では演習 に続いて、簿記・会計の基礎的な論点を学習します。学習は企業が公表している財務諸表を参照しながら行います。次に、初歩的な経営分析を実践します。そして、ビジネスゲームを行い、経営や財務の基礎を習得します。演習ではディスカッションでの積極的な発言を希望します。すなわち、プレゼンテーションや質疑応答の能力を高めることも目的とします。なお、学生と相談の上で授業計画を変更することがあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

会計・簿記の基本的な知識を習得し、財務諸表を読み取ることができるようになる。
初歩的な経営分析を行える。
経営や財務の基礎を理解できる。
積極的に発言ができる。

【成績の評価】

演習への積極的な参加（発表・質疑応答の発言など）80%、レポート（20%）で評価します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
日商簿記検定等の資格試験についても対応していきます。

【使用テキスト】

学生と相談の上で指示します。

【参考文献】

谷武幸・桜井久勝・北川教央（2021）『1からの会計 <第2版>』碩学舎。
桜井久勝『財務会計講義』中央経済社。（最新版）
桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社。（最新版）
桑原知之（2022）『とある簿記シリーズ 日商簿記3級に“とある”テキスト 第3版』ネットスクール出版。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（演習の進め方について）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
2	簿記の学習 決算整理	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
3	簿記の学習 精算表の作成	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
4	簿記の学習 財務諸表の作成	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
5	会計学の学習 営業活動の会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
6	会計学の学習 利益構造の分析	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
7	会計学の学習 経営管理と会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	経営分析の基礎 収益性の分析	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
9	経営分析の基礎 安全性の分析	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
10	経営分析の基礎 成長性の分析	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
11	経営分析の基礎 株式投資への応用	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
12	経営と財務の学習 ビジネスゲーム（練習 前半）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
13	経営と財務の学習 ビジネスゲーム（練習 後半）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
14	経営と財務の学習 ビジネスゲーム（本番 前半）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	経営と財務の学習 ビジネスゲーム（本番 後半）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいった、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 正岡 利朗(MASAOKA Toshirou)

【授業の紹介】

本演習は、演習に引き続き、演習、やその後の卒業論文で必要となる、「調べて、その内容を要領よくまとめて報告する」という一連の能力を向上させるために、何回かに分けて調べるべきテーマを設定し、それぞれのテーマについてまとめた資料を、他の受講生の前で発表するというパターンで授業を行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. プレゼンテーション用ソフトの効果的使用方法が理解できる。
2. プレゼンテーションの技法を確実に身につけることができる。
3. 上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティ5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】

プレゼン内容(100点満点)の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生のプレゼン内容は講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

とくにありません(インターネットを使用する場合もある)。

【参考文献】

プレゼンテーション研究会『学生のためのプレゼンテーション・トレーニング』実教出版、2015年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	イントロダクション	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	プレゼンテーション 5 回目の準備（情報収集）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
3	プレゼンテーション 5 回目の準備（情報の整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
4	プレゼンテーション 5 回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
5	プレゼンテーション 5 回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
6	プレゼンテーション 6 回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
7	プレゼンテーション 6 回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
8	プレゼンテーション 6 回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
9	プレゼンテーション 7 回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
10	プレゼンテーション 7 回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
11	プレゼンテーション 7 回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
12	プレゼンテーション 8 回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>ておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
13	<p>プレゼンテーション8回目の準備（発表用資料の作成）</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
14	<p>プレゼンテーション8回目の発表</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
15	<p>これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
	<p>定期試験(実施しない)</p>		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

スポーツ振興を担う人材には、自ら問題を設定し、科学的な探求活動に従事する力が求められます。そこでこの演習では、本学所属学生のスポーツライフの実態調査という課題を通して、社会調査の基本的な考え方について理解するとともに、実際にアンケート調査を実施し、定量的データを収集・分析するための知識および技能を身に付けることを目指します。

なお、この授業ではGoogle Classroom(クラスコード：noe64ru)を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 社会調査の基本的な考え方を理解できる
2. アンケート調査を計画し実行できる
3. アンケートにおいて適切な情報を得られるように質問内容を工夫できる
4. アンケート調査から得た定量的データを学術レポートとして表現できる
5. パラグラフを意識した記述ができる

【成績の評価】

研究報告レポート 50%

研究報告プレゼンテーション 50%

フィードバックとして、オフィスアワーを活用して報告内容の講評を行います。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

戸田山和久 著『最新版 論文の教室 レポートから卒論まで』 NHK出版 2022年 1,540円

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomを通じて配布される事前アンケートに回答する。（1時間）	
2	理論、概念、リサーチクエスション	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
3	データ、方法論、調査デザイン	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
4	パラグラフライティング、文献の引用	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
5	定量的調査の考え方と進め方	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
6	既存文献のレビュー（1）：グループAからの報告	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
7	既存文献のレビュー（2）：グループBからの報告	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
8	アンケート項目の検討	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
9	調査依頼文の作成	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
10	調査結果の集計	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
11	定量的データの分析	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
12	分析結果の考察	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
13	調査報告書の作成	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
14	研究報告会：調査結果の発表	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
15	学習内容の振り返り	【復習】授業内で扱った図書や論文の文献一覧を作成し、ノートにまとめておく。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

学生の興味に応じて、人材育成、教育・訓練、人事管理等、あるいは、経営に関して企業や社会が抱える課題をいくつか取り上げ、グループ・ワークを通じて理解を深めるとともに、具体的な解決策の提案まで試みます。また、それらをスライドにまとめプレゼンテーションを行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 人材育成、教育・訓練、人事管理等に関する課題を検討し、解決策を提案できる。
2. わかりやすいスライドを作ることができる。
3. 説得力のあるプレゼンテーションができる。

【成績の評価】

グループへの貢献（60％）・・・教員評価と仲間評価が行われ、コメントとともに評価結果がフィードバックされます。
中間発表（10％）・・・発表の内容、プレゼンの技術等に関してコメントし、評価が返却されます。
最終発表（20％）・・・発表の内容、プレゼンの技術等に関してコメントし、評価が返却されます。
最終スライド（10％）・・・コメントとともに評価結果がフィードバックされます。

グループ・ワークが中心のため、全授業への出席が求められます。適切な理由なく欠席した場合は、その授業への貢献はゼロ、5分以上遅刻した場合は大きく評価をさげることになります。

【使用テキスト】

山崎 康司（2016）『考える技術・書く技術【スライド編】』ダイヤモンド社

【参考文献】

TED（YouTube）等で良い発表を学んでください。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	1. スライド・レポートとの基本 2. 研究テーマの設定 3. グループ分け	予習：教科書の第1章を読む（2時間） 復習：授業内容の復習（2時間）	4、5月に就職説明会と社会人基礎力を測定する合同ゼミが、それぞれ1回ずつあります。
2	1. スライド・レポートとは ピラミッドからスライド・レポートへ 2. グループのテーマ検討 1	予習：授業に対応する箇所を読む（2時間） 復習：研究テーマの再考(2時間)	
3	1. スライド・メッセージの鉄則 2. グループのテーマ検討2	予習：授業に対応する箇所を読む（2時間） 復習：研究テーマの再考(2時間)	
4	1. サポート・データの要点 2. 資料を集める 1	予習：授業に対応する箇所を読む（2時間） 復習：資料を使ったレポートの作成(2時間)	
5	1. 図表を使う。 ルールとエチケット 2. 資料を集める 2	予習：資料収集（2時間） 復習：資料を使ったレポートの作成(2時間)	
6	1. 表紙、目次、導入、本論、結び 2. 資料を集める 3	予習：資料収集（2時間） 復習：資料を使ったレポートの作成(2時間)	
7	1. ストーリー展開の方針 2. 資料を集める 4	予習：資料収集（2時間） 復習：資料を使ったレポートの作成(2時間)	
8	1. ストーリーボード ストーリーラインの最終チェック 2. 資料を集める 4	予習：資料収集（2時間） 復習：資料を使ったレポートの作成(2時間)	
9	1. グループのスライド作成 1	予習：スライドの準備（2時間） 復習：スライドの改善(2時間)	
10	1. グループのスライド作成 2	予習：スライドの準備（2時間） 復習：スライドの改善(2時間)	
11	中間発表 前半	予習：発表の準備（2時間） 復習：発表の改善(2時間)	
12	中間発表 後半	予習：発表の準備（2時間） 復習：発表の改善(2時間)	
13	スライドの修正1	予習：発表の準備（2時間） 復習：発表の改善(2時間)	
14	スライドの修正 2	予習：発表の準備（2時間） 復習：発表の改善(2時間)	
15	最終発表	予習：発表の準備（2時間） 復習：発表の振り返り(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro)

【授業の紹介】

現在、我が国の地方・地域は、地元香川を含め、少子・高齢化やそれに伴う人口減少などが急速に進んでおり、地域の活性化が強く求められています。

この授業は、地元香川の地域の魅力を探るとともに、どうすれば地域が活性化するか、地元企業はどんな取り組みを行っているか、香川で働く魅力は何かなどを研究し、議論します。

可能な範囲でフィールドワークを行い、地域活性化に取り組んでいる地域や地元企業等に出向いて、積極的な意見交換を行います（フィールドワークは受入れ準備などから実施時期が異なる場合があります）。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 文章を要約し、それを発表することができる。
2. 他者に伝わるようにレポートや資料を書くことができる。
3. 社会課題に興味を抱き、自らの意見を持つことができる。

【成績の評価】

プレゼンテーションの内容（50％）、授業中の意見交換など授業への貢献（50％）

【使用テキスト】

適宜紹介します。

【参考文献】

適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	地元の魅力や企業に関する情報を普段から意識し、キーワードや疑問等をメモしておくこと（2時間） 配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）	
2	第1回プレゼンテーションの準備 （地元香川の魅力）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
3	第1回プレゼンテーションの準備 （瀬戸内国際芸術祭）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
4	第1回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
5	第1回フィールドワークの準備 （瀬戸内国際芸術祭の舞台など）	予習として対象地域に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
6	第1回フィールドワークの実施	予習として対象地域に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該地域の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
7	第1回フィールドワークの振り返り	予習として対象地域に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該地域の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
8	第2回プレゼンテーションの準備 （働く意味）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
9	第2回プレゼンテーションの準備 （地元企業で働く魅力）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		まとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
10	第2回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
11	第2回フィールドワークの準備 （地元企業の研究）外部講師	予習として対象企業に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該企業の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
12	第2回フィールドワークの準備 （魅力のある地元企業）	予習として対象企業に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該企業の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
13	第2回フィールドワークの実施	予習として対象企業に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該企業の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
14	第2回フィールドワークの振り返り	予習として対象企業に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該企業の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
15	これまでの授業のまとめ	予習として地元香川の魅力や香川の企業で働く意味などを整理し、ノートに記載しておくこと。 復習として当該魅力や働く意味・課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

皆さんが考える「より良いゼミ」とは何でしょうか？本演習の担当者は、様々な考えを持つ者が集まり、主体性をもち能動的にコミュニケーションを図りながら相互の意見を尊重し、より深く学び合うことで何らかの成果を創出していく場でありたいと考えています。そのためには、自他の学習権や人権を尊重しながら、学修を継続できる好ましい学習環境を、学生と教員がともに創り出すことが前提です。ゼミは、馴れ合いの仲良しクラブではありません。学生と教員がともに切磋琢磨し創り上げる「学びの場」「成長の場」であることを認識してください。

さて、本演習では特定のテーマにもとづくプレゼンテーションやディスカッション、来るべき就職活動や卒業論文に向けた準備などを予定しています。例えば、就職活動の流れを理解し、自分自身の能力と魅力を冷静に自己分析する機会を設けています。今のうちから自己分析を始めることは、採用スケジュールから逆算すると、早すぎるとは言えません。また、特定のテーマにもとづく統計資料からその背景を読み取り、統計の用語や分析手法に興味を持ってほしいと思います。さらに本演習では、「主体性を育む」「地域社会への関心を高める」「地域社会の一員としての自覚を促す」の3つの観点から、学生の希望があれば、学内外における学生主体のプロジェクトの実施や、地域・社会貢献活動などへの自主的な判断にもとづく積極的な参加を推奨します。これらの活動は、自らの成長を促すと思われる活動を学生が主体的に行うものであり、必ずしも授業時間内に実施するものではありません。とりわけ地域・社会貢献活動は、自らの興味関心があり、無理なく続けられる活動内容が求められるでしょう。

また、本授業は原則対面で実施します。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。

Google Classroomのクラスコードは「5fko7ra」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心をもち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 自分自身の能力と魅力を冷静に自己分析し、自己成長のための研鑽を積むことができる。
2. 統計データを正しく読み解き、論理的に思考・吟味し、自分の考えをまとめることができる。
3. プレゼンテーションやディスカッションを通じて、口頭でわかりやすく説明したり、質疑応答したりすることができる。

【成績の評価】

評価項目は、受講態度（60%）、プレゼンテーション・ディスカッション内容（40%）とする。なお、本演習で制作した学習成果物等については、その都度講評を行いフィードバックするとともに、学内外へ向けて公表する場合もある。

学生には、他の学生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。さらに、本演習がより建設的で良い方向に進むような積極的な発問、提案、回答等については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。

なお、各評価項目や配点の詳細は、第1回のガイダンスで連絡する。

【使用テキスト】

なし。プリントを随時配布する。

【参考文献】

保本正芳編著『はじめの一步 基礎からはじめるデータサイエンス』ワークアカデミー、2022年。
noa出版著『活用事例でわかる！統計リテラシー』ワークアカデミー、2021年。
竹田茂生他著『ゼロからの統計学 - 使えるシーンが見える - 』くろしお出版、2010年。
戸田山 和久著『最新版 論文の教室 - レポートから卒論まで - 』NHKブックス、2022年。
桑田てるみ他著『学生のレポート・論文作成トレーニング 改訂版 - スキルを学ぶ21のワーク - 』実教出版株式会、2015年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス Google Classroomへの参加 （クラスコード 5fko7ra） 高大ドリルについて	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
2	情報収集の仕方 「Chat GPTの誤りを収集せよ！」	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。プレゼンテーションのテーマにもとづき、情報収集を行い、スライドを作成し、発表準備を行うこと（予習：1時間）。	
3	情報収集の仕方 「全国の“たーちゃん”を搜索せよ！」	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。プレゼンテーションのテーマにもとづき、情報収集を行い、スライドを作成し、発表準備を行うこと（予習：1時間）。	
4	プレゼンテーション	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。プレゼンテーションのテーマにもとづき、情報収集を行い、スライドを作成し、発表準備を行うこと（予習：1時間）。	
5	統計データを読み取る	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
6	ディスカッション 「大学で学ぶ意義と、これからの2年間」	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。ディスカッションのテーマにもとづき、これまでの生き方を振り返り、これからの生き方を熟考し、自分の意見をまとめておくこと（予習：1時間）。	
7	就職活動に向けた準備 社会人基礎力診断、学修ポートフォリオの入力	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
8	就職活動に向けた準備 リテラシー（論理的思考力）とコンピテンシー（実践的な行動特性）の診断	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
9	就職活動に向けた準備 リテラシー（論理的思考力）とコンピテンシー（実践的な行動特性）の診断結果の振り返り	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
10	就職活動に向けた準備 協働的問題解決力の診断（Ai GROWの実施）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間）。	
11	就職活動に向けた準備 マイナビ、リクナビ登録	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
12	就職活動に向けた準備 就活スタートアップ講座	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
13	就職活動に向けた準備 履歴書・エントリーシートの書き方	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
14	就職活動に向けた準備 自己紹介書作成に向けて	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
15	これまでの授業のまとめ（学修した重点項目の確認）と質疑応答	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

「失われた30年」を経た日本、そして地方の衰退は加速度的に進んでいる。人手不足に代表される地方における経営資源の不足は、地方の企業だけではなく、地方の経済・社会システムまでを脅かしている。本演習においては、地方衰退の現状を確認し、その解決策を発見するために、複数回のフィールドワーク(現地の見学、現地でのインタビューなど)を実施する予定である。フィールドワークを実施する際には、通常の時間帯の講義を休講し、土曜日実施する可能性があることに留意されたし。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

地方衰退に関連したテーマについて、自分なりの考えを持ち、それを他者に説明できる。

【成績の評価】

報告(100%)で成績の評価を行う。報告の点数に関しては、希望者に対してフィードバックを行う。

【使用テキスト】

指定しない。

【参考文献】

饗庭 伸 [2015], 『都市をたたむ 人口減少時代をデザインする都市計画』 花伝社/本体¥1,700+税/ISBN-13:978-4763407627。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス、イントロダクション、個別面談の実施 など	【予習】：2024年4月から同年9月の間に高松市周辺で行われるイベントを調べ、その概要についてノートやメモ帳(電子媒体を含む)などにまとめておくこと(1時間)。 作成物は第1回の講義に必ず持参すること。 【復習】：第1回の講義で学習ポートフォリオについて説明を行うので、指示した項目を埋めておくこと(1時間)。	
2	個別面談の実施 とグループ決め、フィールドワークの説明	【予習】：第1回の講義で学習ポートフォリオについて説明を行うので、指示した項目を埋めておくこと(1時間)。 【復習】：第2回の講義で配布したワークシートの所定の項目を埋めておくこと(1時間)。	
3	フィールドワークの準備 : 文献調査	【予習】：第2回の講義で配布したワークシートの所定の項目を埋めておくこと(30分)。 【復習】：第3回の講義で説明を行った第5回で実施するフィールドワークの準備として、指定した文献を図書館などで借りてくること(1時間)。	
4	フィールドワークの準備 : インターネット資料の調査	【予習】：第3回の講義で説明を行った第5回で実施するフィールドワークの準備として、指定した文献を図書館などで借りてくること(1時間)。 【復習】：第3回の講義で説明を行った第5回で実施するフィールドワークの準備として、この回で調べることができなかったインターネットの資料を用意しておくこと(1時間)。	
5	フィールドワーク : マップの作成	【予習】：第5回のフィールドワークの準備として、第4回の講義で配布したマップに目を通し、可能であればインターネットを活用して、マップ内の施設について調べておくこと(1時間)。 【復習】：第6回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。	
6	フィールドワーク : 現地状況を把握	【予習】：第6回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。 【復習】：第7回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。	
7	フィールドワーク : インタビュー	【予習】：第7回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。 【復習】：第8回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。	
8	フィールドワーク : まとめ	【予習】：第8回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。 【復習】：これまでのフィールドワークを踏まえて、第8回に配布したワークシートに振り返りを記入すること(1時間)。	
9	フィールドワークの振り返り	【予習】：これまでのフィールドワークを踏まえて、第8回に配布したワークシートに振り返りを記入すること(1時間)。 【復習】：第9回の講義で配布したワークシートの該当箇所を記入しておくこと(1時間)。	
10	フィールドワークの準備	【予習】：第11回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		【復習】：第11回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
11	フィールドワーク：マップの作成	【予習】：第11回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第12回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
12	フィールドワーク：現地状況を把握	【予習】：第12回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第13回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
13	フィールドワーク：インタビュー	【予習】：第13回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第14回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
14	フィールドワーク：まとめ	【予習】：これまでのフィールドワークを踏まえて、第13回に配布したワークシートに振り返りを記入すること(1時間)。 【復習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を記入しておくこと(1時間)。	
15	前期のまとめ、振り返り、期末課題の説明	【予習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を記入しておくこと(1時間)。 【復習】：期末課題を説明するので、期末課題を作成し、提出すること(4時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 日笠 倫周(HIKASA Michinori)

【授業の紹介】

本演習の目的は、「身近な社会現象をマーケティングや消費者行動論の理論で説明できるようになる」ことです。そのためには、知識を身に付け、論理的な思考力を養い、現象の裏にある法則性を論理的に理解することが必要となります。これらの能力を培うために、本演習では輪読を行います。論理的思考能力を養うということは、社会の様々な問題を読み解き解決へ導く能力を養うということです。「本を読み、考え、まとめ、議論する」という一連の流れを通じて、専門知識と論理的思考力を身に付けて欲しいと考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 論理的に思考することができる。
2. 自分の考えを説得的に伝えることができる。
3. マーケティングと消費者行動論の理論を理解し説明できる。

【成績の評価】

成績は報告（50%）、授業態度（50%）を総合して評価します。
報告については、各人の報告時に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

初回講義時に指示する。

【参考文献】

池尾恭一・青木幸弘・南知恵子・井上哲浩『マーケティング』（有斐閣,2010年）
神取道宏『ミクロ経済学の力』（日本評論社,2014年）
田村正紀『リサーチ・デザイン 経営知識創造の基本技術』（白桃書房,2006年）
野村康『社会科学の考え方 認識論、リサーチ・デザイン、手法』（名古屋大学出版会,2017年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
2	マーケティング専門書の輪読と報告（マーケティング戦略）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
3	マーケティング専門書の輪読と報告（マーケティング戦術）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
4	マーケティング専門書の輪読と報告（マーケティング・リサーチ）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
5	マーケティング専門書の輪読と報告（定量的な分析）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
6	マーケティング専門書の輪読と報告（定性的な分析）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
7	マーケティング専門書の輪読と報告（デジタル・マーケティング）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
8	マーケティング専門書の輪読と報告（ブランド・マネジメント）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
9	消費者行動論専門書の輪読と報告（デジタル化と消費者行動）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
10	消費者行動論専門書の輪読と報告（消費者行動分析におけるフレームワーク）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
11	消費者行動論専門書の輪読と報告（ロジットモデル）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
12	消費者行動論専門書の輪読と報告（プロビットモデル）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		時間) 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
13	消費者行動論専門書の輪読と報告（因子分析）	予習：指定図書該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
14	消費者行動論専門書の輪読と報告（複数の消費者の反応分析）	予習：指定図書該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
15	これまでのまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	予習：指定図書該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

この授業では、ビジネスモデルを考えることを目標としています。ビジネスモデルを考えるというとても非常に難しく感じるかもしれませんが、情報技術を使って従来のビジネスや業務を改善することもビジネスモデルの1つだと考え、テキストを読みながら、みんなでいろいろな意見を持ち寄り、新しいビジネスモデルを考えていきたいと思っています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1) DXを用いたビジネスモデルを説明できる
- (2) 自分の意見に他の人の考えを取り込むことができる
- (3) 他の人に自分の意見を説明できる

【成績の評価】

授業での成果物（60％）と取り組む姿勢（40％）を総合的に判断して評価する
フィードバックとして、各グループ、各個人ごとに必要なものや準備物等の注意を行う。
また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】

DXビジネスモデル 80事例に学ぶ利益を生み出す攻めの戦略 小野塚征志（著） インプレス 2022年
¥2,090 ISBN-10 : 4295013919

【参考文献】

適宜指示する

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
2	DXとは	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
3	DXとビジネスモデル	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
4	最近の情報技術	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
5	場の創造によるビジネスモデルの例	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
6	非効率を解消するビジネスモデルの例	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
7	需給を拡大するビジネスモデルの例	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
8	収益機会を拡張するビジネスモデルの例	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
9	ビジネスモデルの作成：テーマの決定	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
10	ビジネスモデルの作成：現状分析	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
11	ビジネスモデルの作成：問題発見	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
12	ビジネスモデルの作成：問題解決	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
13	ビジネスモデルの作成：プロセスの設計	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
14	レビュー	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
15	演習 に向けて	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

本演習は、卒業論文のための準備として、情報システムを図解し記述するための方法論を学ぶことを目標としています。題材としては、情報化社会の現状について勉強するとともに、「身近な情報システムについて考察する」「情報システムを組み合わせるとして便利で快適な機能を提供する」「情報システムにとって、どのようなことが危険か」ということなどテーマに繋がるものを扱います。また、本演習での実践的、体験的な学びを通して経営や社会に対する理解を深めます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. ネットワークの専門用語について独力で調べ、概念を把握することができる。
2. 情報システムの構成を図解し記述する方法を理解し、小規模のシステムについて実際に作図できる。
3. 情報システムの企画につながるアイデアを出すことができる。

【成績の評価】

授業において提示した課題への取り組み(100%)
個別の指導を通じて、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

適宜資料を配布する。

【参考文献】

荒井玲子「上流工程で成功する人、つまずく人」(技術評論社) ISBN978-4-7741-3746-9
そのほか、適宜指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	就職関連のガイダンスが行われることがあります。 また、学生の到達状況に応じて、内容を適切に変更します。 さらに、情報関連の時事的なトピックがある場合は言及します。
2	オブジェクト指向の基本概念	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	
3	UML(1)：ユースケース図	課題：ユースケース図に関する課題(1時間)	
4	UML(2)：クラス図	課題：クラス図に関する課題(1時間)	
5	UML(3)：シーケンス図	課題：シーケンス図に関する課題(1時間)	
6	UML(4)：コミュニケーション図	課題：コミュニケーション図に関する課題(1時間)	
7	UML(5)：ステートマシン図	課題：ステートマシン図に関する課題(1時間)	
8	UML(6)：アクティビティ図	課題：アクティビティ図に関する課題(1時間)	
9	UML(7)：コンポーネント図	課題：コンポーネント図に関する課題(1時間)	
10	UML(8)：配置図	課題：配置図に関する課題(1時間)	
11	要求定義モデリング	課題：要求定義モデリングに関する課題(1時間)	
12	構造モデリング	課題：構造モデリングに関する課題(1時間)	
13	振る舞いモデリング	課題：振る舞いモデリングに関する課題(1時間)	
14	実装モデリング	課題：実装モデリングに関する課題(1時間)	
15	総括：今後の学習活動と夏季休業中の取組みについて	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

現在公開されている公的統計データおよびICTに関する記事などを概観しながら、そこで発生している問題を回避、解決するための思考力・判断力を身につけることで、卒業論文作成に向けての準備とする。さらには対象に応じたどのような指導プログラムへの作成可能かについても検討する。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1)メディアの中の情報を正確にとらえ、的確に伝えることができる。
- (2)自分自身がICT問題解決力を身に付けることができる。
- (3)ICT問題解決力の必要性を他者に伝えることができるようになる。

【成績の評価】

授業において提示した課題への取り組み（100%）
リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題およびプレゼンテーション結果については解説する。
オフィスアワーを設定しているので、研究室に質問に来れば対応する。

【使用テキスト】

資料を授業中に配布する。

【参考文献】

総務省 令和5年度 情報通信白書 2023年
問題解決力を鍛える!アルゴリズムとデータ構造 大槻兼資 講談社 2020年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス ICT分野の基本データの確認	予習として、GoogleClassroomからダウンロードした配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
2	情報通信業基本調査の実際	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
3	通信利用動向調査の実際	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
4	ICT産業の市場規模について	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
5	ICTサービスの利用動向	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
6	電気通信事業におけるICT政策の最新動向	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
7	電波および放送におけるICT利活用	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
8	移動通信システムの進展	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
9	通信市場の構造変化	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行う	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
10	世界のIoTデバイス数の推移及び予測	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
11	ICTを導入・利活用することによる雇用や生活の質の変化について	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
12	ICTを活用した社会課題解決の取組	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
13	5Gがもたらす社会全体のデジタル化	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
14	5G/IoT/AI等のイノベーション	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
15	総括：今後の学習活動に向けてのアドバイス	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

有価証券報告書は、様式が統一され、監査によって信頼性が守られているため、企業を比較検討しやすいという特徴があり、業界研究や企業分析など様々な場面において役立ちます。しかし、有価証券報告書は、財務情報（会計情報）に加え、非財務情報（経営者による説明など）の記載もあり、100ページを超えるものが普通であるため、どこをどう読み進めれば良いのかというポイントを掴むことが必要になります。本講義では、こうした能力を養います。さらに、自分の意見を文章や図表で表現する練習をすることで卒業論文の執筆に備えます。

また、本講義では、プレゼンテーションやディスカッションなどのグループワークを実施し、実践的、体験的な学びを通して、企業の経営を定量的かつ定性的に分析する力を養います。さらに、次年度の卒業論文の執筆に向け、仮説の立て方や検証方法についての基礎を学んでいきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 有価証券報告書に記載されている情報を理解し、活用することができる。
2. パワーポイントなどの資料によって、自分の意見を他者に伝えることができる。

【成績の評価】

報告内容（50%）、積極的な議論への参加（50%）により総合的に評価します。
なお、報告および議論内容に関しては、授業時間内に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】

桜井久勝（2020）『財務諸表分析（第8版）』中央経済社

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として「実証会計学」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
2	有価証券報告書の概要と探し方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
3	貸借対照表の見方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
4	貸借対照表の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
5	貸借対照表の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
6	損益計算書の見方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
7	損益計算書の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
8	損益計算書の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
9	キャッシュ・フロー計算書の見方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
10	キャッシュ・フロー計算書の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
11	キャッシュ・フロー計算書の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
12	財務諸表分析の視点と方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		てください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
13	財務諸表分析（収益性）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
14	収益性の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
15	収益性の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本演習では、経営分析の実践を中心に行います。経営分析では、実際に企業が公表している財務諸表の数値を使用して分析を行います。各学生が分析担当企業を決めて分析を実践し、その分析結果を発表してディスカッションを行います。分析方法については適宜講義します。また、会計学の基礎知識についても適宜講義します。演習ではディスカッションでの積極的な発言を希望します。すなわち、プレゼンテーションや質疑応答の能力を高めることも目的とします。なお、学生と相談の上で授業計画を変更することがあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

経営分析の基本的な知識を習得する。
経営分析を行い、その結果についてプレゼンテーションできる。
ディスカッションにおいて積極的に発言ができる。

【成績の評価】

演習への積極的な参加（発表・質疑応答の発言など）80%、レポート（20%）で評価します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
日商簿記検定等の資格試験についても対応していきます。

【使用テキスト】

学生と相談の上で指示します。

【参考文献】

桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社。（最新版）
桜井久勝『財務会計講義』中央経済社。（最新版）
谷武幸・桜井久勝・北川教央（2021）『1からの会計 <第2版>』碩学舎。
桑原知之（2022）『とおる簿記シリーズ 日商簿記3級に“とおる”テキスト 第3版』ネットスクール出版。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（演習の進め方について）	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだ、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。(1時間)	
2	経営分析の実践と発表 収益性の分析	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだ、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。(1時間)	
3	経営分析の実践と発表 収益性の分析	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだ、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。(1時間)	
4	分析結果についてのディスカッション	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだ、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。(1時間)	
5	経営分析の実践と発表 安全性の分析	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだ、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。(1時間)	
6	経営分析の実践と発表 安全性の分析	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだ、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。(1時間)	
7	分析結果についてのディスカッション	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こちらの企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
8	これまでの分析結果と株価との関連性	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こちらの企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
9	経営分析の実践と発表 成長性の分析	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こちらの企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
10	経営分析の実践と発表 成長性の分析	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こちらの企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
11	分析結果についてのディスカッション	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こちらの企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
12	経営分析の実践と発表 不確実の分析	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こちらの企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
13	経営分析の実践と発表 不確実の分析	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こちらの企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		をノートに書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。(1時間)	
14	分析結果についてのディスカッション	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。(1時間)	
15	これまでの分析結果と株価との関連性	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

近年、健康・スポーツ科学における様々な分野の中で、調査的研究手法が数多く利用されている。この演習では、健康・スポーツ科学に関するデータを用いて、分析・評価・検討を行うことで、実際に起こっている事象を明らかにしていく。そのために、まず、健康・スポーツ科学に関するデータを用いた図書を参考にして実際の事例を学び、分析・評価がどのように行われているのかを学ぶ。その後、実際に用意したデータを用いての分析・評価・検討、最終的にはデータの収集から検討に至る一連の流れを経験することで、調査的研究手法の基礎を学んでいく。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

図書や論文を読み、その内容を理解し、説明できる。
データの集め方や集計方法を理解し、説明できる。
データ分析の代表的な手法について理解し、実践できる。
分析結果を論文にふさわしい文章で表現できる。

【成績の評価】

小テスト40%、最終レポート60%で評価する。
小テスト、レポートの結果および内容については授業時に公表してフィードバックを行い、質問点や疑問点については、オフィスアワーの際に解説を行う。

60点以上を合格とする。

【使用テキスト】

- ・西内 啓 著「遠藤保仁がいればチームの勝ち点は117%になる～データが見せるサッカーの新しい魅力～」(ソフトバンク新書, 2012) 730円
適宜資料も配布する。

【参考文献】

- ・P.G.ホーエル 著「初等統計学」(培風館, 1981)
- ・中西 達夫 著「悩めるみんなの統計学入門」(技術評論社, 2010)

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてスポーツ競技のデータについて日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
2	健康・スポーツ科学のデータ基礎	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
3	健康・スポーツ科学のデータ分析事例	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
4	健康・スポーツ科学のデータのまとめ	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
5	データの集計と表現の基礎知識	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
6	分散と標準偏差	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
7	様々な確率分布	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
8	独立性の検定：カイ二乗検定	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		(30分)	
9	2つの平均の差の検定：t検定	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
10	3つ以上の平均の差の検定：分散分析	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
11	小テスト（カイ二乗検定、t検定、分散分析）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として小テストでできなかったところを自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
12	データの収集	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
13	データの分析と評価	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
14	分析結果および評価の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
15	まとめ（前期の振り返り）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

スポーツ経営学をはじめとする社会科学における実証研究では、質問紙調査による量的研究手法が多く採用されています。この演習では、健康・スポーツ科学に関するデータを用いて、分析・評価・検討を行うことで、スポーツの現場で起こっている現象を数量的に明らかにする方法を学びます。そのために、まず、健康・スポーツ科学に関するデータを用いた図書を参考にして数値の捉え方を学び、それらの数値がどのように分析・評価されているのかを学びます。その後、実際にデータを用いての分析・評価・検討、最終的にはデータの収集から検討に至る一連の流れを経験することで、量的研究手法の基礎を学んでいきます。

なお、この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：e5gc453）を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

図書や論文を読み、その内容を理解し、説明できる。
データの集め方や集計方法を理解し、説明できる。
データ分析の代表的な手法について理解し、実践できる。
分析結果を論文にふさわしい文章で表現できる。

【成績の評価】

小テスト40%、最終レポート60%で評価する。
小テスト、レポートの結果および内容については授業時に公表してフィードバックを行い、質問点や疑問点については、オフィスアワーの際に解説を行う。
60点以上を合格とする。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

- ・P.G.ホーエル 著「初等統計学」（培風館，1981）
- ・中西 達夫 著「悩めるみんなの統計学入門」（技術評論社，2010）
- ・西内 啓 著「遠藤保仁がいればチームの勝ち点は117%になる～データが見せるサッカーの新しい魅力～」(ソフトバンク新書，2012)

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomに参加し、事前アンケートに回答する。（1時間）	
2	健康・スポーツ科学のデータ基礎	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
3	健康・スポーツ科学のデータ分析事例	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
4	健康・スポーツ科学のデータのまとめ	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
5	データの集計と表現の基礎知識	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
6	分散と標準偏差	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
7	様々な確率分布	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
8	独立性の検定：カイ二乗検定	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
9	2つの平均の差の検定：t検定	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
10	3つ以上の平均の差の検定：分散分析	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
11	小テスト（カイ二乗検定、t検定、分散分析）	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
12	データの収集	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
13	データの分析と評価	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
14	分析結果および評価の検討	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
15	まとめ（前期の振り返り）	【復習】学習内容を振り返り、レポートにまとめて提出する。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

演習 で行なったプレゼンテーションの内容をさらに掘り下げ、最終的には論文にまとめます。また、スライドとプレゼンテーションも引き続き改善していきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 人材育成、教育・訓練、人事管理、経営に関する課題を検討し、解決策を提案できる。
2. 学術的な論文を書くことができる。

【成績の評価】

レポート等提出物（60％）・・・日々の積み重ねを重視します。
中間発表（10％）・・・発表の内容、プレゼンの技術等に関してコメントし、評価がフィードバックされます。
最終原稿（20％）・・・コメントとともに評価結果がフィードバックされます。
最終スライドと発表（10％）・・・コメントとともに評価結果がフィードバックされます。

全授業への出席が求められます。適切な理由なく欠席した場合は、その授業への貢献はゼロ、5分以上遅刻した場合や提出が遅れた場合は大きく評価をさげることになります。

【使用テキスト】

山崎 康司（2011）『入門 考える技術・書く技術 日本人のロジカルシンキング実践法』 ダイアモンド社

【参考文献】

安宅和人(2010)『イシューからはじめよ 知的生産の「シンプルな本質」』 英治出版
TED (YouTube) 等で良い発表を学んでください。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	論文の構成	論文構成の整理（2時間） 論文構成の改善（2時間）	
2	先行研究と論文の貢献	参考文献の整理（2時間） 参考文献の追加（2時間）	
3	参考文献の書き方	参考文献の整理（2時間） 参考文献の追加（2時間）	
4	個人作業：スライドから論文の構成を考える。	論文校正の準備（2時間） 論文校正の改善（2時間）	
5	個人作業：先行研究の吟味1	先行研究の吟味1（2時間） 先行研究箇所の執筆2（2時間）	
6	個人作業：先行研究の吟味2	先行研究の再吟味（2時間） 先行研究箇所の校正（2時間）	
7	個人作業：論文の貢献	論文の貢献の再吟味（2時間） 論文の貢献箇所の校正（2時間）	
8	個人作業：参考文献リスト作成	参考文献リストの再吟味（2時間） 参考文献リストの校正（2時間）	
9	個人作業：ファーストドラフトの完成	ファーストドラフトの作成（2時間） ファーストドラフトの校正（2時間）	
10	ファーストドラフトの発表	発表スライドの準備（2時間） 発表スライドの校正（2時間）	
11	個人：論文の改善1	セカンドドラフトの準備（2時間） セカンドドラフトの校正（2時間）	
12	個人作業：論文の改善2	サードドラフトの準備（2時間） サードドラフトの校正（2時間）	
13	個人作業：論文完成	最終原稿の執筆（2時間） 最終原稿の再校正（2時間）	
14	個人作業：スライドの改善	発表スライドの改善（2時間） 発表スライドの決定と発表の練習（2時間）	
15	最終発表	発表の改善（2時間） 発表の振り返り（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro)

【授業の紹介】

現在、我が国の地方・地域は、地元香川を含め、少子・高齢化やそれに伴う人口減少などが急速に進んでおり、地域の活性化が強く求められています。

この授業は、演習で学修した内容をさらに深めつつ、地元香川の地域の魅力を探るとともに、どうすれば地域が活性化するか、地元企業はどんな取り組みを行っているか、香川で働く魅力は何かなどを研究し、議論します。

可能な範囲でフィールドワークを行い、地域活性化に取り組んでいる地域や地元企業等に出向いて、積極的な意見交換を行います（フィールドワークは受入れ準備などから実施時期が異なる場合があります）。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 文章を要約し、それを発表することができる。
2. 他者に伝わるようにレポートや資料を書くことができる。
3. 社会課題に興味を抱き、自らの意見を持つことができる。

【成績の評価】

プレゼンテーションの内容（50％）、授業中の意見交換など授業への貢献（50％）

【使用テキスト】

適宜紹介します。

【参考文献】

適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	地元の魅力や企業に関する情報を普段から意識し、キーワードや疑問等をメモしておくこと（2時間） 配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）	
2	第1回プレゼンテーションの準備 （地元香川の魅力）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
3	第1回プレゼンテーションの準備 （屋島、小豆島などの観光地）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
4	第1回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
5	第1回フィールドワークの準備 （観光地、八十八か所霊場など）	予習として対象地域に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
6	第1回フィールドワークの実施	予習として対象地域に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該地域の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
7	第1回フィールドワークの振り返り	予習として対象地域に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該地域の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
8	第2回プレゼンテーションの準備 （働く意味）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
9	第2回プレゼンテーションの準備 （地元企業で働く魅力）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		まとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
10	第2回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること（1時間） 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（1時間）	
11	第2回フィールドワークの準備 （地元企業の研究）外部講師	予習として対象企業に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
12	第2回フィールドワークの準備 （魅力のある地元企）	予習として対象企業に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
13	第2回フィールドワークの実施	予習として対象企業に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該企業の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
14	第2回フィールドワークの振り返り	予習として対象企業に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該企業の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
15	これまでの授業のまとめ	予習として地元香川の魅力や香川の企業で働く意味などを整理し、ノートに記載しておくこと。 復習として当該魅力や働く意味・課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

ゼミは、自他の学習権や人権を尊重しながら、学修を継続できる好ましい学習環境を、学生と教員がともに創り出すことが前提です。ゼミは、馴れ合いの仲良しクラブではありません。学生と教員がともに切磋琢磨し創り上げる「学びの場」「成長の場」であることを認識しましょう。

本演習では演習で学んだ内容をベースとして、来るべき卒業論文執筆に向けた学修準備および就職活動に向けた準備（進路を見据えたキャリア形成）などを行います。具体的には、卒業論文執筆の意義について理解を深めたうえで、各自が関心のある社会事象をピックアップしレポートにまとめるとともに、卒業論文中間報告会にも参加します。また、就職活動に向けて履歴書や自己紹介書の作成を行うとともに、特定のテーマにもとづくディスカッションを行います。他者との関係を築きつつ、自己の意見を他者に伝えるように表現する力、すなわち実社会に通じるコミュニケーション能力の向上につながるでしょう。さらに、学生が希望する場合は大学祭にも出店します。大学祭催し物の企画立案・準備・実践は、協調性や責任感を養うきっかけとなるでしょう。さらにまた、演習に引き続き「主体性を育む」「地域社会への関心を高める」「地域社会の一員としての自覚を促す」の3つの観点から、学生の希望があれば、学内外における学生主体のプロジェクトの実施や、地域・社会貢献活動などへの自主的な判断にもとづく積極的な参加を推奨します。これらの活動は、自らの成長を促すと思われる活動を学生が主体的に行うものであり、授業時間外に実施する場合があります。とりわけ地域・社会貢献活動は、自らの興味関心があり、無理なく続けられる活動内容が求められるでしょう。就職活動に向けた準備として、授業時間外に本学キャリア支援課がガイダンス等を行う場合がありますが、それらには積極的に参加してください。地域の発展や持続可能性を追求し、多様な主体と連携・協働できる職業人に近づけるよう日々研鑽に励みましょう。また、本授業は原則対面で実施します。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。

Google Classroomのクラスコードは「5fko7ra」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心をもち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 統計データの正しい表現方法を身につけるとともに、データを正しく読み解き、論理的に思考・吟味し、自分の考えをまとめることができる。
2. 自らの問題意識を明確化し、卒業論文のテーマを設定し、研究計画を作成することができる。
3. 自分の将来のキャリアを真剣に考え、自己分析や企業分析を入念に行ったうえで、就職活動に臨むことができる。

【成績の評価】

評価項目は、受講態度（60%）、プレゼンテーション・ディスカッション内容（20%）、履歴書・レポート等の提出物（20%）とする。なお、本演習で制作した学習成果物等については、その都度講評を行いフィードバックするとともに、学内外へ向けて公表する場合もある。

学生には、他の学生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。さらに、本演習がより建設的で良い方向に進むような積極的な発問、提案、回答等については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。なお、各評価項目や配点の詳細は、第1回のガイダンスで連絡する。

【使用テキスト】

なし。プリントを随時配布する。

【参考文献】

保本正芳編著『はじめの一步 基礎からはじめるデータサイエンス』ワークアカデミー、2022年。
noa出版著『活用事例でわかる！統計リテラシー』ワークアカデミー、2021年。
戸田山 和久著『最新版 論文の教室 - レポートから卒論まで - 』NHKブックス、2022年。
桑田てるみ他著『学生のレポート・論文作成トレーニング 改訂版 - スキルを学ぶ21のワーク - 』実教出版株式会、2015年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス Google Classroomへの参加 （クラスコード 5fko7ra） 高大ドリルについて	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
2	ディスカッション “コロナ禍があなたに気づかせたものとは？”	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。ディスカッションのテーマにもとづき、自分の意見をまとめておくこと（予習：1時間）。	
3	ディスカッション “身近なモノが10年後にどう変わったらうれしいですか？”	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。ディスカッションのテーマにもとづき、自分の意見をまとめておくこと（予習：1時間）。	
4	就職活動に向けた準備 社会人基礎力及び学修ポートフォリオ	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
5	就職活動に向けた準備 協働的問題解決力の診断（Ai GROWの実施）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
6	就職活動に向けた準備 履歴書の書き方（概要説明）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
7	就職活動に向けた準備 履歴書を書く・添削	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
8	就職活動に向けた準備 ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
9	就職活動に向けた準備 就職活動報告会	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
10	卒業論文執筆に向けた準備 卒業論文の意義と執筆要領	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	卒業論文執筆に向けた準備 研究論文の探し方	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
12	卒業論文執筆に向けた準備 研究テーマの検討	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
13	卒業論文執筆に向けた準備 テーマに沿った情報収集とレポート作成	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
14	卒業論文執筆に向けた準備 レポート添削	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
15	これまでの授業のまとめ（学修した重点項目の確認）と質疑応答	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

「失われた30年」を経た日本、そして地方の衰退は加速度的に進んでいる。人手不足に代表される地方における経営資源の不足は、地方の企業だけではなく、地方の経済・社会システムまでを脅かしている。本演習においては、地方衰退の現状を確認し、その解決策を発見するために、複数回のフィールドワーク(現地の見学、現地でのインタビューなど)を実施する予定である。フィールドワークを実施する際には、通常の時間帯の講義を休講し、土曜日を実施する可能性があることに留意されたし。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

「地方衰退」、「地方再活性化」に関連するテーマに関して、批判的に検討を行い、自分の考えを他者に伝えることができる。

【成績の評価】

パワーポイントでの報告内容(50%)とフィールドワークへの参加(40%)、授業への積極性と態度(10%)で評価を行う。報告内容及び資料の点数に関しては、希望者に対してフィードバックを行う。

【使用テキスト】

指定しない。

【参考文献】

饗庭 伸 [2015], 『都市をたたむ 人口減少時代をデザインする都市計画』 花伝社 ISBN-13:978-4763407627。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス、イントロダクション、個別面談	【予習】：「地方衰退」に関連する文献やインターネット資料を調べ、ノートなどにまとめておくこと(1時間)。 【復習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めておくこと(1時間)。	
2	グループ決め、グループディスカッション	【予習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めておくこと(1時間)。 【復習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めておくこと(1時間)。	
3	フィールドワークのための資料収集	【予習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めておくこと(1時間)。 【復習】：第3回の講義で提示した資料を図書館などで借りてくること(1時間)。	
4	フィールドワークのための資料収集	【予習】：第3回の講義で説明した資料を図書館などで用意すること(1時間)。 【復習】：第5回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
5	フィールドワーク：現地の確認	【予習】：第5回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第6回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
6	フィールドワーク：インタビュー	【予習】：第6回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第7回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
7	フィールドワーク：まとめ	【予習】：第7回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第4回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(1時間)。	
8	フィールドワークを踏まえた報告	【予習】：第8回の報告の準備をしておくこと(1時間)。 【復習】：第8回の報告を踏まえて、第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(1時間)。	
9	ミニ・フィールドワーク	【予習】：第8回の報告を踏まえて、第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(1時間)。 【復習】：第10回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
10	ミニ・フィールドワーク	【予習】：第10回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第11回の報告の準備を行うこと(1時間)。	
11	フィールドワークを踏まえた報告	【予習】：第11回の報告の準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第11回の報告を踏まえて、第11回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(1時間)。	
12	フィールドワーク：現地の確認	【予習】：第12回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第13回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
13	フィールドワーク：インタビュー	【予習】：第13回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		【復習】：第14回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
14	フィールドワーク　：まとめ	【予習】：第14回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第14回で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(1時間)	
15	これまでのまとめ、振り返り、フィードバック	【予習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を記入しておくこと(1時間)。 【復習】：期末課題を説明するので、期末課題を作成し、提出すること(4時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 日笠 倫周(HIKASA Michinori)

【授業の紹介】

本演習の目的は、「興味のある身近な社会現象の問題点を明確化し論理的に説明できるようになる」ことです。そのために、本演習の前半では社会調査に関する専門書の輪読を行います。社会調査への理解を深めながら、論証時に必要とされる手続きを身に付けて欲しいと考えています。また、本演習の後半からは、論文の精読を行いながら、卒業論文のテーマを選定していきます。論文（で示される研究課題）を読み解きながら、個々人が興味のあるテーマを掘り下げ、卒業論文の準備を進めて欲しいと考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 論理的に思考することができる。
2. 社会調査の基礎を理解し説明できる。
3. 卒業論文のテーマを決めることができる。

【成績の評価】

成績は報告（50%）、授業態度（50%）を総合して評価します。
報告については、各人の報告時に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

初回講義時に指示する。

【参考文献】

伊神満 『「イノベーターのジレンマ」の経済学的解明』（日経BP, 2018年）
田村正紀 『リサーチ・デザイン 経営知識創造の基本技術』（白桃書房, 2006年）
戸田山和久 『論文の教室 レポートから卒論まで』（NHKブックス, 2012年）
野村康 『社会科学の考え方 認識論、リサーチ・デザイン、手法』（名古屋大学出版会, 2017年）
盛山和夫 『社会調査法入門』（有斐閣, 2004年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
2	専門書の輪読と報告（社会調査の基礎）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
3	専門書の輪読と報告（サンプリング）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
4	専門書の輪読と報告（分布と統計量）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
5	アンケート調査について	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
6	専門書の輪読と報告（検定の基本）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
7	専門書の輪読と報告（相関関係）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
8	専門書の輪読と報告（回帰分析）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
9	専門書の輪読と報告（質的データの基本）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
10	卒業論文のテーマについて	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
11	論文の精読（論文における「問い」の設定）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
12	論文の精読（論文における「主張」の明示）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		時間) 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
13	論文の精読（「論証」とは何か）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
14	論文の精読（論文執筆における「アウトライン」の役割）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
15	卒業論文テーマの選定	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

前期のゼミナールでは、ビジネスモデルを考えました。この授業ではそのビジネスモデルから卒業論文のタイトルと目次を作成します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1) 卒業論文のテーマを決定できる
- (2) 卒業論文の目次を作成できる

【成績の評価】

授業への取組み(10%)と成果物(90%)で総合的に判断する。
成果物については、添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

各自個別に指示する

【参考文献】

データ分析力を育てる教室 松本健太郎(著) マイナビ出版 2022年 ¥2,299 ISBN-13 : 978-4839976392

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
2	卒業論文のテーマ作り	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
3	テーマ決定のための情報収集1	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
4	テーマ決定のための情報収集2	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
5	テーマ決定のための情報収集3	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
6	テーマ決定のための情報収集4	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
7	テーマの決定(主題文を書く)	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
8	目次の作成1	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
9	目次の作成2	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
10	各章の主題文を考える1	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
11	各章の主題文を考える2	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
12	各節の主題文を考える1	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
13	各節の主題文を考える2	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
14	卒論のテーマと目次を発表する	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
15	卒業論文に向けて	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

本演習では、卒業論文のための準備として、論文形式の文章に慣れることを目標としています。題材としては、情報化社会の現状について勉強するとともに、「身近な情報システムについて考察する」「情報システムを組み合わせると便利で快適な機能を提供する」「情報システムにとって、どのようなことが危険か」ということなどテーマに繋がるものを扱います。また、本演習での実践的、体験的な学びを通して経営や社会に対する理解を深めます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. ネットワークの専門用語について独力で調べ、概念を把握することができる。
2. 論文形式の文章の構成や記述の方法を理解し、与えられた文章をもとに要約を記述することができる。
3. 卒業論文のための問題設定につながるアイデアを出すことができる。

【成績の評価】

授業において提示した課題への取組み（100%）
個別の指導を通じて、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

適宜資料を配布する。

【参考文献】

山内志朗「ぎりぎり合格への論文マニュアル」(平凡社) ISBN978-4-582-85103-8
そのほか、適宜指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	就職関連のガイダンスが行われることがあります。 また、学生の到達状況に応じて、内容を適切に変更します。 さらに、情報関連の時事的なトピックがある場合は言及します。
2	企画の立案(1)：ブレインストーミングとアイデアの整理、ドキュメントの整備	課題：アイデアを整理し、ドキュメントにまとめる(1時間)	
3	企画の立案(2)：WBS	課題：WBSをドキュメントにまとめる(1時間)	
4	企画の立案(3)：組織体制の設計と役割分担	課題：役割分担をドキュメントにまとめる(1時間)	
5	企画の立案(4)：スケジュールリング	課題：スケジュールをドキュメントにまとめる(1時間)	
6	大学祭準備	課題：展示物や道具類、原材料を準備する(1時間)	
7	決算報告と評価点検	課題：決算報告をまとめる(1時間)	
8	自分の正しさを説明する	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	
9	説明の欠陥を指摘する	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	
10	文章を読む(1)：デジタルサイネージ	課題：要約をまとめる(1時間)	
11	文章を読む(2)：知的画像認識	課題：要約をまとめる(1時間)	
12	文章を読む(3)：チームスポーツ解析	課題：要約をまとめる(1時間)	
13	文章を読む(4)：緊急医療における情報通信システム	課題：要約をまとめる(1時間)	
14	文章を読む(5)：古文書の計量分析	課題：要約をまとめる(1時間)	
15	総括：卒業論文のテーマ設定に向けて	課題：研究ノートを整備する(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

前期「演習」に引き続き、日々の情報に向き合う中、問題を回避、解決するための思考力・判断力を身につけることで、卒業論文作成に向けての準備とする。さらには対象に応じてどのような指導プログラム作成が可能かについても引き続き検討する。特に、論文形式の文章に慣れることで、卒業論文作成に向けての準備をする。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1)メディアの中の情報を正確にとらえ、的確に伝えることができる。
- (2)自分自身がICT問題解決力を身につけることができる。
- (3)ICT問題解決力の必要性を他者に伝えることができるようになる。

【成績の評価】

授業において提示した課題への取組み(100%)リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題およびプレゼンテーション結果については解説する。

【使用テキスト】

資料を授業中に配布する

【参考文献】

経営情報学入門 木嶋恭一他著 放送大学教育振興会 2019年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	問題解決力に関する論文検索	予習として、GoogleClassroomからダウンロードした配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
2	合同ゼミ	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
3	PDCAサイクルおよび目標設定過程	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
4	代替案発想過程	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
5	合理的判断過程	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
6	最適案導出過程	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
7	数値データの扱い	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
8	図解化の考え方、描き方	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
9	メタ認知	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
10	ブレイクスルー	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
11	グループワーク活動とファシリテーター	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
12	システム思考とデザイン思考	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
13	ゲーミング教材の基礎技術	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
14	ゲーミング教材の開発	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
15	総括：今後の卒業論文作成に向けてのアドバイス	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

演習 では、演習 までの学習内容を基礎として、有価証券報告書をより深く分析する能力の修得を目指します。演習 と同じく、自分の意見を文章や図表で表現する練習をすることで卒業論文の執筆に備えます。

学習成果をレポートの形式でまとめることにより、卒業論文の練習を行います。また、本講義では、プレゼンテーションやディスカッションなどのグループワークを実施し、実践的、体験的な学びを通して、企業の経営を定量的かつ定性的に分析する力を養います。さらに、次年度の卒業論文の執筆に向け、仮説の立て方や検証方法についての基礎を学んでいきます。

関連科目として「演習 」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 有価証券報告書に記載されている情報を理解し、活用することができる。
2. 文章によって、自分の意見を正しく他者に伝えることができる。

【成績の評価】

報告内容（50%）、積極的な議論への参加（50%）により総合的に評価します。
なお、報告および議論内容に関しては、授業時間内に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】

桜井久勝（2020）『財務諸表分析（第8版）』中央経済社

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として財務3表の分析手法をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
2	財務諸表分析（生産性）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
3	生産性の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
4	生産性の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
5	財務諸表分析（安全性）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
6	安全性の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
7	安全性の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
8	財務諸表分析（不確実性によるリスク）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
9	不確実性によるリスクの分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
10	不確実性によるリスクの分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
11	財務諸表分析（成長性）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
12	成長性の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
13	成長性の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
14	最終報告資料の作成	予習として財務3表の分析手法と報告予定の事例をパワーポイントにまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
15	最終報告	予習として第14回で指摘された内容を踏まえ、最終報告資料を完成させてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本演習では、論文・書籍の輪読を中心に行います。輪読は会計分野、株価と会計情報の関係などの論文・書籍を取り上げます。これらについて担当者が内容を資料にまとめて発表を行い、その後ディスカッションを行う。このような学習で会計データを使った分析方法や論文の書き方を覚えていきます。続いて、チームでテーマを決めて調査・分析を行い、レポートを書いたり発表を行います。最終的に、これらの学習から卒業論文のテーマを決めていきます。演習ではディスカッションでの積極的な発言を希望します。すなわち、プレゼンテーションや質疑応答の能力を高めることも目的とします。なお、学生と相談の上で授業計画を変更することがあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

専門的な論文・書籍の内容を理解できる。
その内容をしっかりプレゼンテーションできる。
会計データを使った分析を行い、資料を作成し発表できる。
ディスカッションにおいて積極的に発言ができる。

【成績の評価】

演習への積極的な参加（発表・質疑応答の発言など）80%、レポート（20%）で評価します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
日商簿記検定等の資格試験についても対応していきます。

【使用テキスト】

学生と相談の上で指示します。

【参考文献】

田村威文・中條祐介・浅野信博（2021）『会計学の手法（第2版）』中央経済社。
桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社。（最新版）
伊藤邦雄（2023）『企業価値経営 第2版』日経BP 日本経済新聞出版。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（演習の進め方について）	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
2	輪読 設備投資とその後の利益（研究の目的と背景）	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
3	輪読 設備投資とその後の利益（分析結果）	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
4	輪読 設備投資とその後の利益（研究の結論）	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
5	輪読 研究開発投資とその後の利益（研究の目的と背景）	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
6	輪読 研究開発投資とその後の利益(分析結果)	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
7	輪読 研究開発投資とその後の利益(研究の結論)	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
8	輪読 会計情報と株価との関連性（研究の目的と背景）	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
9	輪読 会計情報と株価との関連性（分析結果）	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
10	輪読 会計情報と株価との関連性（研究の結論）	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		解を深める。(1時間)	
11	チーム別の研究発表の準備	予習・復習として、チーム別の研究について調査・分析をしっかりとこなす。(2時間～終わるまで)	
12	チーム別の研究発表の準備	予習・復習として、チーム別の研究について調査・分析をしっかりとこなす。(2時間～終わるまで)	
13	チーム別の研究発表	予習・復習として、発表の資料作成やプレゼンテーションの準備をしっかりと行う。(2時間～終わるまで)	
14	チーム別の研究発表	予習・復習として、発表の資料作成やプレゼンテーションの準備をしっかりと行う。(2時間～終わるまで)	
15	チーム別の研究発表	予習・復習として、発表の資料作成やプレゼンテーションの準備をしっかりと行う。(2時間～終わるまで)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

この演習の目的は、学術論文の要件と研究の進め方を理解し、卒業研究の計画書を作成することである。そのため、この演習では、まず、テキストから学術研究の意味や進め方を学習していく。次に、担当教員から提示された学術論文の要件に沿って、研究の背景と方法を検討し、自らの問題意識を表現していく。第15回には、研究計画の報告会を実施する。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 図書や論文を読み、その内容を理解できる。
2. 卒業研究の計画書を論文に相応しい文章表現で他者に説明できる。
3. 3つ以上の先行研究から、それらの学術的・実践的な貢献と課題を説明できる。
4. 他者の研究内容や文章表現上の問題を指摘できる。

【成績の評価】

- ・小テスト 20% (特に到達目標1に対応)
- ・研究計画書 80% (特に到達目標2、3、4に対応)

《フィードバックの方法》

研究の進捗に応じて、その都度、フィードバックをおこないます。

【使用テキスト】

上野千鶴子 著 『情報生産者になる』 (筑摩書房, 2018年) 920円
その他にも、スポーツ経営学 (3年前期) で利用する教科書 『テキスト 体育・スポーツ経営学』 を利用します。

【参考文献】

ハワード・S・ベッカー著 『論文の技法』 講談社 1996年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてスポーツ関連の論文について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
2	学术论文の要件	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
3	研究の進め方	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
4	研究計画書の要件、小テスト	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容、また、小テストでできなかったところを自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
5	問題意識の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
6	問題意識の設定	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
7	問題意識の表現	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
8	先行研究の収集・読解	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
9	先行研究の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
10	先行研究の整理と批判的検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
11	先行研究の課題の表現	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
12	研究目的の設定・表現	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
13	調査手法の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
14	調査手法の表現	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
15	研究計画の報告	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

この演習の目的は、学術論文の要件と研究の進め方を理解し、卒業研究の計画書を作成することです。そのため、この演習では、まず、テキストから学術研究の意味や進め方を学習します。次に、担当教員から提示された学術論文の要件に沿って、研究の背景と方法を検討し、自らの問題意識を表現していきます。第15回には、研究計画の報告会を実施します。

なお、この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：e5gc453）を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- 1．図書や論文を読み、その内容を理解できる。
- 2．卒業研究の計画書を論文に相応しい文章表現で他者に説明できる。
- 3．3つ以上の先行研究から、それらの学術的・実践的な貢献と課題を説明できる。
- 4．他者の研究内容や文章表現上の問題を指摘できる。

【成績の評価】

- ・小テスト 20%（特に到達目標1に対応）
 - ・研究計画書 80%（特に到達目標2、3、4に対応）
- 《フィードバックの方法》
研究の進捗に応じて、その都度、フィードバックをおこないます。

【使用テキスト】

上野千鶴子 著『情報生産者になる』（筑摩書房，2018年）920円
その他にも、スポーツ経営学（3年前期）で利用する教科書『テキスト 体育・スポーツ経営学』を利用します。

【参考文献】

- ・日本スポーツ社会学会 編「スポーツ社会学研究 第29巻 第1号」（創文企画、2021）
- ・日本体育・スポーツ経営学会 編『体育・スポーツ経営学研究 第36巻』（日本体育・スポーツ経営学会、2024）
- ・日本スポーツマネジメント学会 編『スポーツマネジメント研究 第13巻』（創文企画、2021）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomに参加し、事前アンケートに回答する。（1時間）	
2	学術論文の要件	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
3	研究の進め方	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
4	研究計画書の要件	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
5	問題意識の検討	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
6	問題意識の設定	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
7	問題意識の表現	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
8	先行研究の収集・読解	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
9	先行研究の検討	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
10	先行研究の整理と批判的検討	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
11	先行研究の課題の表現	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
12	研究目的の設定・表現	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
13	調査手法の検討	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
14	調査手法の表現	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
15	研究計画の報告	【復習】報告した研究計画に基づき、研究計画書を作成し提出する。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
科目名： 卒業論文
担当教員： 藤原 泰輔(FUJIHARA Taisuke)

【授業の紹介】

ものの考え方、現象のとらえ方、論文とはどういうものかなど、演習 及び で学んだことを背景に卒業論文を作成する。不思議な現象の発見とそれに基づく研究課題の設定、仮説の構築、アウトラインの作成、関連するデータの収集分析、および本論の作成と関連する論文のレビューなどを行い、卒業論文として完成させる。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

世の中の面白い現象とはどういうものかを把握できる。
データ収集及び分析のスキルを獲得し、論理的に文章を書くことができる。

【成績の評価】

各回の発表内容（20%）および卒業論文の内容（80%）で評価する。
評価に関するフィードバックを希望する人は、個別に研究室で行う。

【使用テキスト】

なし。

【参考文献】

伊丹敬之『創造的論文の書き方』有斐閣（2001年）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

企業経営の経験に基づき、社会現象の捉え方や分析の仕方などを、経営の視点から紐解き、卒業論文に反映することができる。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション：本講義の概要説明	<p>【予習】論文とは何か、論文の全体はどのような要素で構成されているか。事前に渡される資料を見て理解をする。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを再度振り返り、講義の目的をしっかりと認識する。また自分の理解が正しかったところと違っていたところを把握し、理解を深める。（2時間）</p>	
2	テーマ検討：探索	<p>【予習】テーマを検討し、論文の問題設定につながる現実の事象を抽出する。それをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
3	テーマ検討：深堀り	<p>【予習】前回の指摘事項を踏まえ、不思議な現象と思える事象に関する事実やデータを収集し、それをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
4	テーマ検討：決定	<p>【予習】論文で分析する事象・問題設定・当該時点での仮説を具体化し、それをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
5	アウトラインの作成：章立ての検討	<p>【予習】論文全体のアウトラインを作成する。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、アウトライン全体を再度検討する。（2時間）</p>	
6	アウトラインの作成：各章の内容検討	<p>【予習】全体の流れを踏まえ、各章でどのようなことを書くのか、箇条書きでまとめたレジюмеを作成する。また当初仮説を進化させていく。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
7	アウトラインの作成：全体の流れのチェック	<p>【予習】各章の内容を踏まえて、全体として追加しなければならない内容はないのかなどを検討し、それをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
8	アウトラインの作成：完成	<p>【予習】確度の高い仮説を構築し、詳細なアウトラインを作成する。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、アウトラインを完成させる。（2時間）</p>	
9	第1回中間報告	<p>【予習】現状までに進めたことを発表資料に</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		まとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、修正が必要なところは修正する。（2時間）	
10	データ収集：ウェブ・雑誌・新聞など各種メディア	【予習】仮説を検証していくための事実や定性的なデータを集め、それをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
11	データ収集：政府統計など定量データ	【予習】仮説を検証していくための定量データを収集し、それをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
12	データ収集：インタビューなどその他の方法	【予習】必要なインタビューやフィールドワークを実施し、そこで明らかになったことをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
13	データ分析：初期分析	【予習】収集した定性的・定量的データを分析し、仮説の確からしさを評価する。それらをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
14	データ分析：深堀り	【予習】初期分析に基づき、さらに深く分析をすすめる、その結果をレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
15	第2回中間報告	【予習】これまでの分析結果を発表資料に落とし込む。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
16	論文の執筆：分析対象となる現象のパート	【予習】分析対象の事象および問題設定を文章化する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
17	論文の執筆：仮説パート	【予習】自分が設定している仮説について文章化する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
18	論文の執筆：レビューパート	【予習】関連する既存研究の資料・論文を読み、それを取りまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
19	論文の執筆：論証パート	【予習】これまでに行った分析や論証を文章化する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
20	論文の執筆：結論パート	【予習】結論パートを文章化する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
21	第3回中間報告	【予習】中間発表資料を作成する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
22	中間報告をうけての修正：仮説論証パート	【予習】仮説論証パートの文章修正を行う。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
23	中間報告をうけての修正：結論パートの修正	【予習】結論部分の文章の修正を進める。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
24	論文の目的・目次の作成	【予習】論文全体の内容を踏まえて目次は「はじめに」のパートを作成する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
25	最終報告準備	【予習】最終報告に向けて論文の記載内容を再度見直す。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
26	最終報告	【予習】論文の最終化を行う。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
27	論文の校正：本文	【予習】誤字脱字のチェックなど、作成原稿を指定された様式に修正していく。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		修正を進める。（2時間）	
28	論文の校正：図表	<p>【予習】図表のナンバリング・出所の確認などを行う。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）</p>	
29	要約の作成	<p>【予習】作成した本編に基づき要約を作成する。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）</p>	
30	論文提出	<p>【予習】修正箇所がないか再度確認し提出の準備を行う。（2時間）</p> <p>【復習】論文作成プロセスの全体を通して自分が学んだことを整理する。（2時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
科目名： 卒業論文
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

卒業論文を完成させることで、ものごとを分析するにあたって必要な作業を学ぶ。

1. 研究課題の設定
2. 先行研究レビュー
3. 仮説の構築
4. アウトラインの作成
5. 関連するデータの収集分析
5. 本論の作成
6. 結語

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

研究計画を立て、適切にスケジュール管理をしながら遂行することができる。
適切な研究方法を選択し、研究倫理を踏まえたうえで分析結果を深く考察し、研究論文の様式に従って論述できる。
研究成果をまとめ、他者に論理的に明確に伝えることができる。
自主的探求活動に意欲的に取り組むことができる。

【成績の評価】

準備段階での提出物（30%）、発表内容（30%）、卒業論文の内容（40%）で評価する。

【使用テキスト】

山崎 康司（2011）「入門 考える技術・書く技術 日本人のロジカルシンキング実践法」ダイヤモンド社

【参考文献】

適宜指示

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	(04月) 資料No.10の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
2	資料No.11の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
3	資料No.12の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
4	(05月) 資料No.13の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
5	資料No.14の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
6	資料No.15の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
7	(06月) 資料No.01-No.15の整理	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
8	テーマ案 目次の作成 1	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
9	目次の作成 2	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
10	「本論（前半）」の執筆（仮説、方法、データと資料の説明）	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
11	(07月) 「本論（後半）」の執筆（仮説の証明）1	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
12	「本論（後半）」の執筆（仮説の証明）2	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
13	「本論（後半）」の執筆（仮説の証明）3	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
14	「結語」の執筆	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
15	(08月) 参考文献の執筆	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
16	(9,10月) 「先行研究と論文の課題」の執筆	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
17	「序論」の執筆 1	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
18	「序論」の執筆2	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
19	「結語」の執筆（第1稿 完成）	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
20	(11月) 論文校正（追加資料の作成）1	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
21	論文校正（追加資料の作成）2	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
22	論文校正（追加資料の作成）3	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
23	要約の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
24	(12月)論文校正 4	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
25	論文校正 5（校了）	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
26	プレゼンテーション・スライドの作成1	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
27	プレゼンテーション・スライドの作成2	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
28	(01月)プレゼンテーションの練習 1	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
29	プレゼンテーションの練習2	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）間）	
30	発表	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400

授業形態： 演習

科目名： 卒業論文

担当教員： 高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

本演習の目的は、これまでのゼミや授業等で身につけた知識や思考力を活用し、大学4年間の集大成である卒業論文を各自で書き上げ、要約をまとめ、その成果を発表することです。各々が、最も興味関心のあるテーマについて、背景の整理から独自の着眼点での分析・考察を行い、発表まで行います。具体的には、研究テーマの設定、研究計画の作成、研究背景や先行研究のレビュー（テーマに関する従来の専門的学術研究の情報を収集したうえで、そこから課題を見出したうえでそれを解決する仮説や研究方法等を見出す）、論文執筆要領を遵守しながら研究論文の形式に従って論文を執筆、プレゼンテーション資料の作成と発表（研究成果を他者に論理的に明確に伝える）などを行います。1年間にわたる長丁場の自主的探究活動であるため、卒業論文の完成という大きな目標達成に向けて、常に複数の小さな達成目標を設定し、それを一つひとつ乗り越えていくことが重要です。そのため、定期的に報告と質疑応答を行うとともに、全員参加のゼミ活動と個別指導を併用した授業スタイルとします。卒業論文の執筆という知的トレーニングを通じて、問題発見・分析・解決能力を高め、忍耐力、発想力、自主性、独自性、創造性を育みましょう。また、学生相互にコメントし合うピア・レビューを通じて、各自の論文をブラッシュアップしていきましょう。

なお、研究テーマは自由ですが、あまり担当者の専門とかけ離れている場合は十分に指導できない可能性があります。地域の現状を把握し、直面する社会課題をどのように解決するか、その方策を多様な視点（例えば、皆さんがこれまでに学んだ経営学、経済学、統計学等の専門領域の視野）から考察し、何らかの解決策を見出すような内容（地域の持続可能性を探求し、地域社会の課題解決に貢献する内容）が望ましいです。

また、本授業は原則対面で実施します。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。

Google Classroomのクラスコードは「7khtfdx」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

地域における課題に興味関心をもち、その課題を抽出し明文化できる。

研究計画を立て、適切にスケジュール管理をしながら遂行することができる。

適切な研究方法を選択し、研究倫理を踏まえたうえで分析結果を深く考察し、研究論文の様式に従って論述できる。

研究成果をまとめ、他者に論理的に明確に伝えることができる。

自主的探求活動に意欲的に取り組むことができる。

【成績の評価】

評価項目は、報告・発表（30%）、卒業論文およびその要約の完成度の内容（50%）、授業態度（20%）とする。なお、卒業論文の結果については審査し、フィードバックを行う。

学生には、他の学生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度や研究への姿勢が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。さらに、本授業がより建設的で良い方向に進むような積極的な発問、提案、回答等については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。研究の進捗状況によっては、上述した授業計画に加えて授業時間外に、必要な時間をさらに確保する必要がある。

なお、評価に関する詳細は、第1回のガイダンスで連絡する。

【使用テキスト】

なし。適宜、必要資料を配布する。

【参考文献】

戸田山 和久著『最新版 論文の教室 - レポートから卒論まで - 』NHKブックス、2022年。
石井 一成著『ゼロからわかる 大学生のためのレポート・論文の書き方』ナツメ社、2011年。
新田 誠吾著『はじめてでも、ふたたびでも、これならできる！レポート・論文のまとめ方』すばる舎、2019年。
白谷 秀一他著『実践 はじめての社会調査 テーマ選びから報告まで 』自治体研究社、2009年。
no a 出版著『活用事例でわかる！統計リテラシー』ワークアカデミー、2021年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	前期ガイダンス Google Classroomへの参加 (クラスコード 7khtfdx)	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、各自の論文執筆に関連する内容について情報収集を行うこと(1時間)。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること(1時間)。	
2	執筆要領の確認、学問的誠実性について	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、各自の論文執筆に関連する内容について情報収集を行うこと(1時間)。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること(1時間)。	
3	問題意識の検討・明確化	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、各自の論文執筆に関連する内容について情報収集を行うこと(1時間)。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること(1時間)。	
4	おおまかな研究テーマの決定	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、各自の論文執筆に関連する内容について情報収集を行うこと(1時間)。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること(1時間)。	
5	研究計画の作成	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと(1時間)。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと(1時間)。	
6	先行研究のレビューと論点整理 (文献・資料1本目)	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと(1時間)。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと(1時間)。	
7	先行研究のレビューと論点整理 (文献・資料2本目)	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと(1時間)。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと(1時間)。	
8	先行研究のレビューと論点整理 (文献・資料3本目)	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
9	先行研究のとりまとめ	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
10	先行研究の検討と主要論点の抽出	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
11	研究課題の抽出、仮説設定	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
12	分析の方向性の確認、タイトル（仮題）の決定、章構成の検討	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
13	章構成の検討 キーワードの列挙	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
14	中間報告書の提出および発表（論文タイトル、研究背景（動機）、研究目的、先行研究のレビュー、章構成）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
15	これまでのまとめ（学修した重点項目の確認）と質疑応答、夏季休業中に取り組むべき課題の周知	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
16	後期ガイダンス 夏季休業中の進捗状況確認	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
17	論文執筆（個別指導） の収集・吟味・執筆 第1章に必要な資料	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
18	論文執筆（個別指導） の収集・吟味・執筆 第2章に必要な資料	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
19	論文執筆（個別指導） の収集・吟味・執筆 第3章に必要な資料	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
20	論文執筆（個別指導） アップ・整理・執筆 参考文献のリスト	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
21	論文執筆（個別指導） ・修正・研究上の限界と課題の明示 全体の整合性確認	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
22	卒業論文中間報告会の概要説明	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間発表の準備を行うこと（2時間）。	
23	卒業論文中間報告会の準備（PPT資料の作成）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間発表の準備を行うこと（2時間）。	
24	卒業論文中間報告会の準備（PPT資料に基づく発表練習）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間発表の準備を行うこと（2時間）。	
25	卒業論文中間報告会	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（2時間）。	
26	中間報告に基づく修正箇所の見直し	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（2時間）。	
27	本論の完成	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業にて、教員や学生相	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（2時間）。	
28	要約の執筆	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
29	要約の完成	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに概要等を書き進めること（2時間）。	
30	卒業論文最終報告（プレゼンテーション）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
科目名： 卒業論文
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

卒業論文の作成に際しては、まず学生自身が、これまでの3年間の履修で修得した経営学に関する専門知識を用いて、「国際・グローバル経営」、「倫理」、「地域の衰退」、「地域活性化」そして「生産性向上」に関連したテーマを選択する。その上で、自ら調査・研究を行い、その成果をゼミナールにおいて報告を行い、質疑応答を繰り返して理解を深める。そして、11月下旬から12月上旬頃に開催が予定されている「卒論中間報告会」において報告と質疑応答をした後、そこでの討議・議論を踏まえた上で、必要な場合には修正を加え、最終的に卒業論文としてまとめることを目標としている。2020年度より、経営に関連したボードゲームを作成し、その作成過程及びルールの説明、実際にプレーした際に分かったこと、そして改善点をまとめたものを論文形式で執筆し、それを卒業論文とすることを認める。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心をもち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

研究・調査・議論したことをもとに、卒業論文とその要約を完成させることができる。
企業や経営に関する部分的・理論的な知識を、具体的・実践的・総合的な知識にまとめ上げることができる。

【成績の評価】

卒業論文の中間報告会での報告(41%)および、提出された卒業論文(59%)で評価を行う。
卒業論文の中間報告会での報告を行うか、その代替となる報告を行わない学生には単位を認定することができない。また、中間報告会での報告および卒業論文の点数に関しては、希望者に対してフィードバックを行う。

【使用テキスト】

適宜指示を行う。

【参考文献】

アンドレアス・ズーハネク著/柴田明・岡本丈彦訳 [2017], 『企業倫理：信頼に投資する』 同文館出版 ISBN-13 : 978-4495388010。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンスとイントロダクション、個別面談	【予習】：卒業論文のテーマについて考え、そのテーマを選択した理由をノートあるいはワードでA4・1枚程度にまとめておくこと(2時間)。 個別面談の際に使用するため、ノートあるいはワードを印刷した資料を持参の上、授業に臨むこと。 【復習】：予習で作成した内容と個別面談での指摘を踏まえて、第1回の講義で配布したワークシートに記入を行うこと(2時間)。	
2	個別面談 と卒業論文のテーマについての検討・グループでのディスカッション :AグループとBグループ	【予習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 個別面談の際に使用するため、第1回の予習で作成したノートあるいは、ワードを印刷した資料を持参の上、授業に臨むこと。 【復習】：グループでのディスカッションの際に出た指摘を踏まえて、予習で作成したワークシートのブラッシュアップを行うこと(2時間)。	
3	卒業論文のテーマについての検討・グループでのディスカッション :CグループとDグループ	【予習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：グループでのディスカッションでの指摘を踏まえて、予習で作成したワークシートのブラッシュアップを行うこと(2時間)。	
4	卒業論文のテーマについての報告会 :Aグループ	【予習】：第3回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「卒業論文のテーマについての報告会」の感想とそこからのインプリケーションをワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。	
5	卒業論文のテーマについての報告会 :Bグループ	【予習】：第4回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「卒業論文のテーマについての報告会」の感想とそこからのインプリケーションをワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。	
6	卒業論文のテーマについての報告会 :CグループとDグループ	【予習】：第5回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「卒業論文のテーマについての報告会」の感想とそこからのインプリケーションをワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。	
7	テーマについての関係資料の調査報告 と面談 :AグループとBグループ	【予習】：第6回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「テーマについての関係資料の調査報告」の感想とそこからのインプリケーションをワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。	
8	テーマについての関係資料の調査報告 と面談 :CグループとDグループ	【予習】：第7回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「テーマについての関係資料の調査報告」の感想とそこからのインプリケーションをワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	これまでの報告の振り返り	【予習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「これまでの報告の振り返り」の感想と今後の卒業論文の作成計画についてワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。	
10	論文の章立てについての説明と作業	【予習】：第9回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第10回に配布したワークシートに、現在の卒業論文の章立ての構想をまとめておくこと(2時間)。	
11	論文の章立てについての報告会	【予習】：第11回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：報告回での指摘を踏まえ、章立てをブラッシュアップすること(2時間)。	
12	論文の章立てについての報告会	【予習】：第12回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：報告回での指摘を踏まえ、章立てをブラッシュアップすること(2時間)。	
13	論文の章立てについての報告会	【予習】：第13回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：報告回での指摘を踏まえ、章立てをブラッシュアップすること(2時間)。	
14	講評	【予習】：卒業論文の作成に向けた資料を図書館で探し、可能であれば借りてくること(2時間)。 【復習】：第14回に配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
15	前期のまとめと今後の相談	【予習】：第14回に配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第15回に配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
16	卒業論文の完成に向けたスケジュールの確認、個別面談	【予習】：卒業論文の執筆のスケジュールを作成してこること(2時間)。 【復習】：第16回の講義を踏まえて、作成したスケジュールをブラッシュアップすること(2時間)。	
17	論文の第1章についての報告会	【予習】：第17回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：第18回の報告会の準備を行うこと(2時間)。	
18	論文の第1章についての報告会	【予習】：第18回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：第19回の報告会の準備を行うこと(2時間)。	
19	論文の第1章についての報告会	【予習】：第19回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：第17回から第19回の報告回を踏まえて、執筆中の卒業論文のブラッシュアップを行うこと(2時間)。	
20	卒業論文中間報告会のPPTプレゼンテーション・リハーサル	【予習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。 【復習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
21	卒業論文中間報告会のPPTプレゼンテーション・リハーサル	【予習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。 【復習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。	
22	卒業論文中間報告会のPPTプレゼンテーション・リハーサル	【予習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。 【復習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。	
23	卒業論文の中間報告会	【予習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。 【復習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。	
24	卒業論文の中間報告会	【予習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。 【復習】：中間報告回での質疑応答を踏まえて、執筆中の卒業論文をブラッシュアップすること(2時間)。	
25	卒論の最終報告と論文の本文（序論・本論・結論）草稿提出	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(2時間)。 【復習】：第25回の指摘を踏まえて、卒業論文の執筆をつづけること(2時間)。	
26	卒論の最終報告と論文の本文（序論・本論・結論）草稿修正	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(2時間)。 【復習】：第26回の指摘を踏まえて、卒業論文の執筆をつづけること(2時間)。	
27	卒論の最終報告と論文の本文（序論・本論・結論）草稿確認	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(2時間)。 【復習】：第27回の指摘を踏まえて、卒業論文の執筆をつづけること(2時間)。	
28	卒論要約・卒論黒表紙・中表紙3枚・目次・本文・参考文献/参考サイトの提出	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(2時間)。 【復習】：第28回の指摘を踏まえて、卒業論文の執筆をつづけること(2時間)。	
29	卒論要約・卒論黒表紙・中表紙3枚・目次・本文・参考文献/参考サイトの確認	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(2時間)。 【復習】：第28回の指摘を踏まえて、卒業論文の執筆をつづけること(2時間)。	
30	卒業論文の確認と提出	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(20時間)。 【復習】：提出後、卒業論文の執筆を通じて考えたことをメールで指導教員まで提出すること(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
科目名： 卒業論文
担当教員： 日笠 倫周(HIKASA Michinori)

【授業の紹介】

本演習の目的は、卒業論文の作成です。そのために、各自でマーケティングや消費者行動論に関連した問題を設定し、文献レビューや調査を進めていきます。加えて、論文の質向上と進捗管理のために、定期的に、報告と質疑応答を行います。論文執筆を目的としたゼミ活動と個別指導を行う中で、柔軟な思考を養って欲しいと考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. マーケティングや消費者行動論に関連した問題を設定できる。
2. 文献レビューや調査を通じ、問題解決のための手順を身に付けることができる。

【成績の評価】

成績はゼミ報告（10%）、中間報告（40%）、卒業論文の内容（50%）で評価します。報告は講義の度に問題点などを指摘し、随時フィードバックを行います。卒業論文の内容に関する評価は、提出後、個別にフィードバックを行います。

【使用テキスト】

適宜指示します。

【参考文献】

酒井聡樹著『これから論文を書く若者のために 大改訂増補版』（共立出版,2006年）
田村正紀著『リサーチ・デザイン 経営知識創造の基本技術』（白桃書房,2006年）
盛山和夫著『社会調査法入門』（有斐閣,2004年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（年間予定の確認）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
2	問いの設定と資料整理（問題意識と関係した資料収集）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
3	問いの設定と資料整理（関連資料の収集整理）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
4	問いの設定と資料整理（調査資料から図表の作成）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
5	問いの設定と資料整理（資料の追加収集）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
6	問いの設定と資料整理（問いの確定）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
7	アウトライン（章立てと各章の構成）の作成（アウトラインの意義と作り方）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
8	文献レビューの作成（問題意識と関係した文献渉猟）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
9	文献レビューの作成（関連領域の文献渉猟）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
10	文献レビューの作成（調査した先行研究の整理）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
11	文献レビューの作成（理論の整理）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
12	文献レビューの作成（位置付けの確定）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
13	アウトライン（章立てと各章の構成）の作成（アウトラインの修正）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
14	進捗状況の報告（前半グループの1回目の報告）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
15	進捗状況の報告（後半グループの1回目の報告）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
16	オリエンテーション（後期ゼミ運営方針の確認）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
17	アウトライン（章立てと各章の構成）の作成（アウトラインの確定）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
18	個別指導（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
19	個別指導（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
20	個別指導（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
21	進捗状況の報告（前半グループの2回目の報告）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
22	進捗状況の報告（後半グループの2回目の報告）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
23	中間報告会準備（資料作成）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
24	中間報告会準備（報告練習）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
25	中間報告会	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
26	個別指導（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
27	個別指導（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
28	個別指導（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
29	最終校正と要旨作成	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
30	成果報告と講評	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
科目名： 卒業論文
担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

演習 の経験を生かして、卒業論文を期日内に完成させましょう。
卒業論文を書くということは、4年間で自分がどれだけ成長できたかを確認する良い機会です。4年間で学んだ問題発見・解決能力、経営、情報、会計に関する知識をフルに使って頑張りましょう！

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

資料収集や文章表現能力を身に付け、卒業論文を完成させることができる

【成績の評価】

卒業論文100%で評価する。
論文は資料として保管します。
製本等を希望する人は申し出てください。
また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】

論文の内容に合わせ適宜指示する

【参考文献】

適宜指示する

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として演習、の振り返り 2時間 復習として論文例の調査 2時間	
2	卒業論文のテーマ探し その1	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
3	卒業論文のテーマ探し その2	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
4	卒業論文のテーマ探し その3	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
5	テーマの報告会	予習として発表資料作成 2時間 復習として発表後の質疑応答に対する再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
6	卒業論文の作成 その1	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
7	卒業論文の作成 その2	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
8	卒業論文の作成 その3	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
9	卒業論文の作成 その4	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
10	卒業論文の作成 その5	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
11	進捗状況の報告 その1	予習として発表資料作成 2時間 復習として発表後の質疑応答に対する再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
12	卒業論文の作成 その6	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
13	卒業論文の作成 その7	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
14	卒業論文の作成 その8	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
15	卒業論文の作成 その9	予習として、各自で図書館、インターネット	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
16	卒業論文の作成 その10	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
17	進捗状況の報告 その2	予習として発表資料作成 2時間 復習として発表後の質疑応答に対する再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
18	卒業論文の作成 その11	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
19	卒業論文の作成 その12	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
20	卒業論文の作成 その13	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
21	卒業論文の作成 その14	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
22	卒業論文の作成 その15	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
23	身長状況の報告 その3	予習として発表資料作成 2時間 復習として発表後の質疑応答に対する再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
24	卒業論文の作成 その16	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
25	卒業論文の作成 その17	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
26	卒業論文の作成 その18	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
27	卒業論文の作成 その19	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
28	卒業論文の作成 その20	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
29	卒業論文の発表会 その1	予習として発表資料作成 2時間 復習として発表後の質疑応答に対する再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
30	卒業論文の発表会 その2	予習として発表資料作成 2時間 復習として発表後の質疑応答に対する再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
科目名： 卒業論文
担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

卒業論文の提出に向けて取り組みます。各自の取り組みとして、様々な社会状況に関心を持ち、解決や解明が必要とされている事柄に着目し、その問題を明文化された形で設定することからスタートします。情報システムを使えば解決する問題や、データの分析により解明できることが、必ずあるはずで、それを見つけてください。また、その問題に対する自分なりの意見を出すこと、そしてその意見の正当性・妥当性を文章を用いて、とことん説明し切ることが、各自に求められる課題です。そのためには、作業工数の見積もりや、スケジュール管理が重要になります。これまでの学問の積重ねや総合的な人間力が求められる最終ボス戦ですので、すべてを総動員し気合を入れて頑張り抜きましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 様々な社会状況に興味関心を持ち、問題を抽出し明文化することができる。
2. 論文形式の文章の構成や記述のしかたを理解し、文章を書くことができる。
3. 研究計画を立て、適切にスケジュール管理をしながら遂行していくことができる。

【成績の評価】

提出された卒業論文の内容（100%）により評価を行う。これには、合同で行う中間報告会における説明や質疑応答の内容、その後の授業において実施する口頭試問における内容も含んでいる。評価の内訳は、問題設定の妥当性（30%）、結論とそれを支える論拠の妥当性（40%）、文章が一義的で論理展開が正確であること（30%）を目安とするが、必ずしもこのとおりでない場合もある。卒業論文の内容に関しては、原稿の完成に至るまでの各段階、および、原稿完成後の提出前の時点において、着眼点や論証方法、文体について批評・評価を行うことでフィードバックを行う。

【使用テキスト】

花井等ほか「論文の書き方マニュアル ステップ式リサーチ戦略のすすめ」（有斐閣）ISBN978-4641120457

【参考文献】

適宜、指示する。自分で必要な文献を探すこと。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	前期ガイダンス	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
2	問題設定と背景	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
3	問題の精選	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
4	研究計画	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
5	全体連絡(1)：問題設定に関する報告資料の作成	課題：報告資料を作成する(4時間)	
6	進捗報告(1)：問題設定の絞り込み状況	課題：報告資料を作成する(4時間)	
7	進捗報告(2)：問題設定の文章表現	課題：報告資料を作成する(4時間)	
8	デッドライン(1)：問題設定完了	課題：報告資料を作成する(4時間)	
9	全体連絡(2)：章構成とWBSに関する報告資料の作成	課題：報告資料を作成する(4時間)	
10	進捗報告(3)：構成要素の洗い出し	課題：報告資料を作成する(4時間)	
11	進捗報告(4)：構成要素の取捨選択と順序	課題：報告資料を作成する(4時間)	
12	デッドライン(2)：章構成の決定・WBS作成	課題：報告資料を作成する(4時間)	
13	全体連絡(3)：原稿執筆のマイルストーンについて	課題：報告資料を作成する(4時間)	
14	デッドライン(3)：原稿作成(背景・問題設定・仮説・章構成)	課題：報告資料を作成する(4時間)	
15	前期総括：各自の取組みについての講評、および、夏季休業中に取組むべき課題	課題：報告資料を作成する(4時間)	
16	後期ガイダンス	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
17	原稿校正(1)：文体	課題：原稿を作成する(4時間)	
18	原稿校正(2)：各章の説明内容とアイデア	課題：原稿を作成する(4時間)	
19	全体連絡(4)：中間報告資料の作成について	課題：原稿を作成する(4時間)	
20	原稿校正(3)：根拠・論拠・裏付けの確認	課題：原稿を作成する(4時間)	
21	原稿校正(4)：論理構成要素の過不足	課題：原稿を作成する(4時間)	
22	中間報告練習(1)	課題：報告資料を作成する(4時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
23	中間報告練習(2)	課題：報告資料を作成する(4時間)	
24	中間報告練習(3)	課題：報告資料を作成する(4時間)	
25	中間報告会	復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間) 課題：原稿を作成する(2時間)	
26	原稿校正(5)：指摘事項の検討と取捨選択	課題：原稿を作成する(4時間)	
27	原稿校正(6)：図表番号の確認	課題：原稿を作成する(4時間)	
28	口頭試問	復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間) 課題：原稿を作成する(2時間)	
29	デッドライン(4)：最終原稿提出	復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間) 課題：原稿を作成する(2時間)	
30	総括：各自の卒業論文についての講評	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
科目名： 卒業論文
担当教員： 岡田 龍哉

【授業の紹介】

本授業では、演習、で学んだことを踏まえて、会計学をはじめとする卒業論文を執筆・作成する。卒業論文を執筆するにあたっては、適切なテーマの設定を前提に、資料・データ収集を重ね、それらから読み取れる社会現象を科学的な思考で捉えることが重要となる。本授業では、諸社会現象を対象として、これらを科学的観点から分析する手法を学びながら、それらを論文としてまとめる作業の指導を中心に進めていく。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

科学的な思考でさまざまな社会現象を説明することができる。
仮説の構築、検証、考察を論理的に行うことができる。
論文として適切な文章を作成することができる。

【成績の評価】

評価は、発表・議論（40%）及び論文内容（60%）の各項目（割合）により行う。卒業論文は資料として保管する。フィードバックは報告、発表の都度実施する。

【使用テキスト】

教員作成の研究・執筆要領に関する冊子を用いる。

【参考文献】

石坂春秋著『レポート・論文・プレゼン スキルズ』（くろしお出版、2012） 価格1,400円（税抜）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、研究テーマに関する現在の興味・関心をまとめ、Wordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、研究テーマに関する疑問点をまとめ、Wordファイルにまとめておくこと（2時間）	
2	予備調査：現状の整理	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
3	予備調査：先行研究の探索	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
4	仮テーマの選定	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
5	論旨の提示：先行研究の整理	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
6	論旨の提示：リサーチクエスションの設定	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
7	中間報告	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
8	テーマの設定	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
9	目次案の作成	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
10	資料の整理・報告：問題意識の設定	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		おくこと（2時間）	
11	資料の整理・報告：先行研究の検討	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
12	資料の整理・報告：研究課題の整理	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
13	資料の整理・報告：研究方法の設定	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
14	資料の整理・報告：論理構成の確認	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
15	中間報告：前期の振り返り	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
16	論文の執筆：全体的な概要の作成	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
17	論文の執筆：各章の概要の作成	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
18	論文の執筆：各章の内容の確認	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
19	論文の執筆：序章および終章のまとめ方	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
20	論文の執筆：序章および終章の確認	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
21	卒業論文中間報告会への準備 : 構成の確認	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
22	卒業論文中間報告会への準備 : スライドの作成	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
23	卒業論文中間報告会への準備 : まとめ	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
24	卒業論文中間報告会リハーサル	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
25	卒業論文中間報告会（予定）	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
26	最終調整 : 問題設定および結論の確認	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
27	最終調整 : 修正点の洗い出し	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
28	論文の校正及び要旨の作成 : 手順の確認	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
29	論文の校正及び要旨の作成 : 最終確認	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
30	最終報告	予習として、授業時間内に提示された疑問点	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
科目名： 卒業論文
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

この授業の目的は、スポーツ経営現象を対象とした社会科学的な研究をおこない、その学術研究の成果を卒業論文として提出することである。そのため、この授業では、まず、自分の問題意識に応じた先行研究の検討をおこない、先行研究の課題を指摘していく。そして、その先行研究の課題に応じたリサーチクエスチョンを導出し、研究の目的を設定する（この課題は演習で完了しているが、再検討をおこなう）。次に、自分の研究目的に応じた調査手法を学び、具体的な調査を計画する。この計画にしたがって、データの収集をおこなう。続いて、調査結果を記述し、リサーチクエスチョンに対して考察を加える。最後に、研究上の限界や課題について説明する。これら一連の課題を、論文を執筆していくかたちで進めていく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 先行研究の検討から学術的に意義のあるリサーチクエスチョンが導出できる。
2. 研究課題に応じた調査技法を用いてデータを収集できる。
3. 適切な推論によって調査結果を考察できる。
4. 論文に相応しい文章表現を用い、研究成果を他者に説明できる。

【成績の評価】

卒業論文として提出された論文の質 100%

《フィードバックの方法》

研究の進捗に応じて、その都度フィードバックをおこなう。

【使用テキスト】

新堀 聰著『評価される博士・修士・卒業論文の書き方・考え方』同文館出版 2010年

【参考文献】

ハワード・S・ベッカー著『論文の技法』講談社 1999年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてスポーツ関連の論文について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
2	研究目的の再検討：問題意識の吟味	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
3	研究目的の再検討：先行研究の吟味	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
4	研究目的の再検討：リサーチクエストの吟味	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
5	研究手法の検討：主要概念の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
6	研究手法の検討：主要概念の定義	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
7	研究手法の検討：調査手法の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
8	研究手法の検討：調査対象の選定	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
9	研究手法の検討：調査の計画	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
10	調査実施依頼	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
11	調査実施	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
12	調査実施	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
13	再調査	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
14	再調査	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
15	データの整理	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
16	データの分析	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
17	データの分析	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
18	調査結果の記述	予習として配布資料やノートなどに目を通	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
19	調査結果の記述	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
20	結果の考察	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
21	結果の考察	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
22	研究成果の要約	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
23	学術的・実践的含意の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
24	学術的・実践的含意の説明	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
25	研究上の限界と課題の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
26	研究上の限界と課題の説明	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		(30分)	
27	参考文献表の確認	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
28	要約の作成	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
29	文章表現の確認	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
30	卒業論文として提出	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。さらに、提出する予定の卒業論文の様式を再度確認する(30分) 復習として再度提出した卒業論文の内容を確認し、今後の課題をノートにまとめておくこと(30分)	担当：花城 清紀
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP211
授業形態： 講義
科目名： 教師論【卒業要件外】
担当教員： 藤本 駿(FUJIMOTO Syun)

【授業の紹介】

教職や保育職は、皆さんにとって最も身近な職業の一つです。幼稚園や小学校でお世話になった先生に憧れて、この大学に入学した人も多いのではないのでしょうか。では、先生の仕事はどのようなものなのか知っていますか。先生の仕事の実際は、保育や教育を受ける立場からは見えづらいものです。教職や保育職を目指すならば、教師や保育者としての視点を持つことが必要です。

そこで本授業では、教職や保育職にかかわる歴史、制度、理論など様々な視点から検討し、その理解を深めていきます。また、現代社会における教職や保育職の重要性や課題を通して、教職への意欲を高め、各自の教職の在り方を考えることを目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 公教育の担い手である教職・保育職の社会的意義やその役割について理解できる。
2. 教師観や保育者観の変遷を通して、今日に求められる資質能力を理解できる。
3. 教師・保育者の職務内容や、服務上・身分上の義務を理解できる。
4. 教職・保育職が学校内外の専門家等と連携・分担し、チームとして諸課題に対応する重要性を理解できる。
5. 教職・保育職についての自分の考えを深め、自分の適性や意欲を確かめることができる。

【成績の評価】

毎回授業後に配布する振り返りシートの提出（30%）、4回行う小レポートの作成（20%）、期末試験の結果（50%）から総合的に評価する。

定期試験のフィードバックは、試験終了後に解答例を配付する。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

- ・佐々木司・三山緑編著『これからの学校教育と教師 - 「失敗」から学ぶ教師論入門 - 』ミネルヴァ書房、2014年。
- ・大豆生田啓友他編著『アクティベート保育学 保育者論』ミネルヴァ書房、2019年。
- ・佐久間亜紀・佐伯胖編著『アクティベート教育学 現代の教師論』ミネルヴァ書房、2019年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、教師・保育者とは何か	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
2	教師観・保育者観の歴史（1）江戸時代の教師・保育者	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
3	教師観・保育者観の歴史（2）戦前の教師・保育者	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
4	教師観・保育者観の歴史（3）戦後の教師・保育者	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師観・保育者観の歴史に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまとめること（2時間）。	
5	教師・保育者の役割（1）保育者の仕事とその魅力	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
6	教師・保育者の役割（2）教師の仕事とその魅力	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
7	教師・保育者の役割（3）教師・保育者の職業的特徴	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師・保育者の役割に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまとめること（2時間）。	
8	教師・保育者の専門性（1）授業づくり	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
9	教師・保育者の専門性（2）子ども理解	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
10	教師・保育者の専門性（3）学級経営	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師・保育者の専門性に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		めること（2時間）。	
11	教師・保育者の職務内容（1）服務上・身分上の義務	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
12	教師・保育者の職務内容（2）教員研修	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
13	教師・保育者の職務内容（3）勤務条件	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
14	教師・保育者の職務内容（4）チーム学校運営への対応	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師・保育者の専門性に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまとめること（2時間）。	
15	全体のまとめ、これからの教師・保育者を取り巻く課題	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP111
授業形態： 講義
科目名： 教育学原論【卒業要件外】
担当教員： 松原 勝敏(MATSUBARA Katsutoshi)

【授業の紹介】

教育学原論では、教育課程編成・実施の方針に示す「自ら考え、判断し、行動できる力」を獲得するための基礎作りを行う。そして、卒業認定・学位授与の方針に示す、現代社会における様々な問題に関心を持ち、問題解決に取り組む力量を獲得するために、本授業では、教育に関係する領域を広範囲に、かつ、多角的に追求し、教育の概念や理念の把握に努める。

今日、人々の教育に関する意見や要望、そして批判には、いろんな立場から多様な意見が噴出して、答えを出すのが非常に難しい状況にある。教育学原論では、教育という社会事象を専門的な立場から理解するために必要な基礎的な知識を獲得し、自らの言葉で今日の教育課題を説明することができる力量を形成する。

本講義は、卒業認定・学位授与の方針の「3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる」及び「自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる」ための資質の形成を目指します。

この科目では、学修成果として、専門知識活用能力、多面的思考能力、多文化理解能力に関連しています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

1. 教育という社会事象を専門的な立場から理解するために必要な基礎的な知識を獲得することができる。
2. 教育の基本的概念や教育の理念の基礎を理解することができる。
3. 教育の歴史や思想の学習をとおして、今日の教育の基本理念の形成過程を理解することができる。
4. 自らの教育観の基礎を作り、教育に関する事柄について、専門的・客観的な立場から、自分なりの意見表明ができる力の獲得することができる。
5. 上の4つの到達目標を達成することで、卒業認定・学位授与の方針に示す、現代社会における様々な問題に関心を持ち、問題解決に取り組む力量を獲得することができる。

【成績の評価】

毎回の授業終了時に課するミニレポート（約30%）、レポート（約20%）、定期試験（約50%）の3つを以て、総合的に評価する。

- ・ミニレポートについては、次の授業の冒頭の部分で内容についてコメントする。
- ・主たるレポート課題については、15回目の授業でフィードバックする。
- ・試験の内容については、学内ネットを通じてフィードバックする。

【使用テキスト】

新中等教育原理（平成22年 佐々木正治編著、福村出版）

【参考文献】

授業時に、適宜、紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・教育の意味と本質	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
2	教育の目的と目標	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
3	人間社会における教育の役割	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
4	家族や社会における教育の思想と教育の役割	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
5	主要な教育思想	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
6	近代学校制度の成立と展開	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
7	日本の学校教育の歴史	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
8	義務教育の概要	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
9	今日の我が国における学校制度と主要国の学校制度	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		提出。(1時間)	
10	教育課程の基礎	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
11	学習指導の基礎	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
12	家庭教育	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
13	生涯学習	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
14	教員養成	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
15	今日の教育課題	予習：1～14回のワークシートの点検。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP212
授業形態： 講義
科目名： 教育心理学【卒業要件外】
担当教員： 横川 和章(YOKOGAWA Kazuaki)

【授業の紹介】

教師は、幼児・児童・生徒の発達や学習状態を適切にとらえ、それに応じて指導することが求められています。本講義では、幼児・児童・生徒の発達、性格、知的能力（記憶、思考、学習）、やる気、学習指導と評価、学級集団などについての基本的知識を扱います。心理学に基づく教育の充実を目標として、学校や幼稚園・保育所で直接に子どもの教育・保育に関わる際に有用となる理論を紹介し、受講した学生が理論と教育実践を結びつけられることを目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 学生が子どもの教育・保育にあたるための幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、理論を含めた基礎的な知識を身に付けることができる。
2. 学生が各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解できる。
3. 学生がそのような知識をどのようにして子どもの教育・保育の実践に生かせるのか考える態度を身に付けることができる。

【成績の評価】

- ・ 定期試験（80％）、授業時に出される課題（20％）。
- ・ 定期試験及び課題については、オフィスアワーにてフィードバックします。

【使用テキスト】

富永大介・平田幹夫・竹村明子・金武育子（2016）『教職をめざすひとのための発達と教育の心理学』（ナカニシヤ出版）

【参考文献】

鎌原雅彦・竹綱誠一郎（2019）『やさしい教育心理学』（有斐閣）
武田明典（2020）『教師と学生が知っておくべき教育心理学』（北樹出版）
藤原和政・谷口弘一（2021）『学校現場で役立つ教育心理学』（北大路書房）
高櫻綾子（2021）『子どもの育ちを考える教育心理学』（朝倉書店）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	教育心理学の内容・方法	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
2	学習と記憶	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
3	動機づけ	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
4	知能・創造性と学力	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
5	自己理解とパーソナリティ	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
6	心理検査	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
7	測定と評価	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
8	幼児児童生徒の理解	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
9	発達の原理	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
10	発達段階の特徴	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
11	社会化と個性化	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
12	学校不適応行動の理解	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておく	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		こと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
13	学級経営	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
14	学級集団	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
15	発達障害と支援	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP121
授業形態： 講義
科目名： 特別支援教育【卒業要件外】
担当教員： 湯浅 恭正(YUASA Takamasa)

【授業の紹介】

特別な支援を必要とする子ども理解を進めるための基本を講義し、学校における教育内容・教育方法について学ぶ。そのために特別な支援を必要とする子どもの心理特性・発達特性、学級づくり・授業づくりの指導方法と教育課程の概要を講義する。これらを通して教師の資質・能力として必要な知識・技術・教育観について学ぶ。さらにインクルーシブ教育の理念・国際的動向・制度の基本を押さえ、「通級による指導」や「自立活動」の意義に触れるとともに、特別支援学校・学級で求められる個別の指導計画・個別の教育支援計画の意義、関係機関との連携等、インクルーシブ教育時代の特別支援教育の現代的課題を学ぶ。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 特別な支援を必要とする子どもの生活・発達・学習における困難さとニーズを把握するための基本を理解することができ、それを表現して他者に伝えることができる。
2. 特別な支援を必要とする子どもが授業や学級活動に参加するための支援に必要な知識・支援方法・関係機関との連携の在り方の基本を理解することができ、それを他者に伝えることができる。
3. 特別な支援を必要とする子どもとともに生きるインクルーシブな共生社会の在り方の基本を理解することができ、それを他者に伝えることができる。

【成績の評価】

授業の各回をいくつかにまとめたテーマごとに特別支援教育の基本的な知識と指導技術の理解、さらに教育観について各自が総括した報告を評価する(80%) - 総括の視点は授業において適宜説明し、学生からの質問等を受けて質の高い総括報告を求める。

授業の毎回において小報告を提出し、それをトータルに評価する(20%) - 毎回の小報告について特に重要と思われる学生からの指摘や質問を取り上げて、次回の授業でフィードバックする。

【使用テキスト】

『よくわかる特別支援教育 第2版』(湯浅恭正編、ミネルヴァ書房、2018)

【参考文献】

授業において適宜資料を配布する。また参考文献として、渡部昭男『障害のある子の就学・進学ガイドブック 改訂版』日本標準、2022。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	特別支援教育を学ぶために-授業のガイダンス	予習内容:指定したテキストの内容の目次を含めて特別支援教育の内容を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別支援教育を学ぶためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて、総括報告に備える(2時間)。	
2	インクルーシブ教育を含めた特別支援教育の理念と制度	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別支援教育とインクルーシブ教育の関連についてメモし、講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、インクルーシブ教育と特別支援教育の理念・制度の関連のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
3	特別なニーズのある子どもの発達特性	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別なニーズのある子どもの発達特性を概観してメモし、講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別なニーズのある子どもの発達特性を理解するためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
4	特別なニーズのある子どもの心理特性	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別なニーズのある子どもの心理特性を概観してメモし、講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別なニーズのある子どもの心理特性を理解するためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
5	特別支援学校・学級に在籍する子どもの学習・発達における困難さ	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別支援学校・学級に在籍する子どもの学習・発達における困難さを概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別支援学校・学級に在籍する子どもの学習・発達における困難さを理解するためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
6	特別な支援を必要とする幼児の支援方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別な支援を必要とする幼児の支援方法を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別な支援を必要とする幼児の支援方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
7	特別な支援を必要とする児童・生徒の支援方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、通常学級における特別な支援を必要とする児童・生徒の支援方法の事例を読み、口頭発表に備える(3時間)。復習内容:講義を踏まえて、通常学級における特別な支援を必要とする児童・制度の支援方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
8	教育課程における「通級による指導」「自立活動」の位置づけ	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「通級による指導」「自立活動」の教育課程における位置づけを概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、教育課程における「通級による指導」「自立活動」の位置づけのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
9	「通級による指導」の内容と指導方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「通級による指導」の内容と方法を概観し、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「通級による指導」の内容と方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
10	「自立活動」の内容と指導方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「自立活動」の内容と指導方法を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「自立活動」の内容と指導方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
11	個別の指導計画・個別の教育支援計画の意義と教育課程	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の意義と教育課程について概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の意義と教育課程における位置づけのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
12	個別の指導計画・個別の教育支援計画を作成する方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成する方法を概観し、メモして講義に備える(2時)。復習内容:講義を踏まえて、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成する方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
13	関係機関と連携して特別支援教育の体制を整備する意義	予習内容:指定したテキストの内容のうち、関係機関と連携して特別支援教育の体制を整備する意義を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、関係機関と連携して特別支援教育の体制を整備する意義のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
14	外国につながるのある子ども・貧困等により困難な課題のある子どもへの支援	予習内容:指定したテキストの内容のうち、外国につながるのある子どもを含めた特別なニーズのある子どもの支援について概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、外国につながるのある子どもを含めた特別なニーズのある子どもの支援のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
15	インクルーシブ教育時代の特別支援教育の方向	予習内容:講義の全体を振り返り、総括報告のための準備をする(3時間)。復習内容:講義を踏まえて、インクルーシブ教育時代の特別支援教育の方向のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて最終の総括報告に備えるとともに、講義の全体を振り返り、教職における特別支援教育の意義を確かめる。(4時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP311
授業形態： 講義
科目名： 教育制度論【卒業要件外】
担当教員： 松原 勝敏(MATSUBARA Katsutoshi)

【授業の紹介】

Google Classroom クラスコード：kcvykpI

「教育制度」という言葉は、やや「お堅い」言葉に聞こえるかもしれませんが、また、制度や法規に関連することからは難しいのでできれば避けて通りたい…と思う人も少なくないと思います。

しかし、学校は、今日、私たちの暮らしを支える制度の1つとして機能しています。それ故に、学校には、その目的や制度のあり方、教育内容について様々な規定が設けられるとともに、多くの税金やその他の財貨が投入され、そこに教員をはじめといたくさんの人々が関わって、生徒たちの生活を支えているのです。それゆえに、教員に対する社会的使命や期待には大きなものがあると同時に厳しいものがあります。

本講義は、そのような点を考慮して、責任を果たせる教員としての意識づくりを図りたいと思います。また、採用試験も考慮して、法制面からのアプローチによって教育制度の理解を目指します。できるだけ、丁寧にわかりやすく講義することに努めますので、肩肘張らず受講して下さい。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- ・教育現場での1つ1つの行為が、社会的な制度の枠の中で運営されていることを理解し、自らの教育実践に取り組む姿勢を形成することができる。
- ・この授業では、教育制度の基本的な枠組みを理解すると共に、制度構築の理念を理解して、教育制度に関する問題に自分なりの意見表明ができる。

【成績の評価】

毎回の授業時におけるミニレポートへのコメント(約30%)、レポート(約20%)及び定期試験(約50%)の合計点によって成績を評価し、単位を認定します。

毎回の授業時に、各学生の学びを点検し、学習成果の改善のためのフィードバックを行います。また、最終的な学習の成果については、私の学内HPを通じて学生に以後の学びへの示唆をフィードバックします。

【使用テキスト】

河野和清編著『現代教育の制度と行政 改訂版』福村出版 2017

【参考文献】

文部科学省「幼稚園教育要領」2017
文部科学省「小学校学習指導要領」2017

その他、授業時に、適宜紹介します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション&教育制度を学ぶ意義	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
2	教育法規の全体像	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
3	学校制度とその課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
4	教育行政制度とその課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
5	教育財政制度とその課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
6	教育課程行政	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
7	学校経営の理論と実際	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
8	学校経営における地域や保護者との連携	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
9	幼児・児童の管理	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
10	学校における安全管理	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		提出。(1時間)	
11	教員養成制度	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
12	特別支援教育制度	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
13	学校を巡る社会状況の変化と学校の課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
14	生涯学習社会に向けた教育制度の在り方	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
15	我が国及び諸外国における教育事情と教育改革	予習：1～14回のワークシートの点検。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP231
授業形態： 講義
科目名： 教育課程論【卒業要件外】
担当教員： 山岸 知幸(YAMAGISHI Tomoyuki)

【授業の紹介】

教育課程とは、学校教育を行っていく上での根幹をなすものです。子どもの「資質・能力」を確実に育成するために、様々なレベルでの計画が示されているものと言ってもよいでしょう。

この授業では、教育課程・カリキュラムに関する歴史、意義や編成原理、現在の学習指導要領の重要なポイントについて学んでいきます。教育課程についての具体的な事例にも基づいて考察していきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 教育課程・カリキュラムに関わる歴史や理論を理解することができる。
2. 学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程の意義や編成方法を体系的に理解することができる。
3. 各学校の実情にあわせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解することができる。

【成績の評価】

レポート試験（60%）、毎回の授業後に提出する小レポート（40%）

レポートについては、採点基準を説明する。

毎回の授業後に提出する小レポートについては、次の授業時間にコメントを添えて返却する。

【使用テキスト】

高等学校学習指導要領解説 総則編（平成30年7月 文部科学省）

【参考文献】

授業中に適宜資料を配付する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション - 教育課程とは -	シラバスを読み、また教科書に目を通し、考えたことや疑問点についてノートにまとめておくこと（2時間）。 本授業のねらいについて、A5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
2	我が国の戦後の教育課程の変遷	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントがA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
3	カリキュラム改革の歴史（1） - 児童中心主義思想を中心に -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントがA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
4	カリキュラム改革の歴史（2） - 教育内容の現代化を中心に -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントがA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
5	教育課程の編成原理と類型	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントがA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
6	教育課程の編成・実施・評価・改善	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントがA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
7	学習指導要領を学ぶ（1） - 総則を中心に -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントがA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
8	学習指導要領を学ぶ（2） - カリキュラム・マネジメントの視点から -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントがA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
9	学習指導要領を学ぶ（3） - 学校間連携の視点から -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントがA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
10	教育課程の実際（1） - 年間行事計画 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントがA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	教育課程の実際（２） - 時間割の作成 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをA５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
12	教育課程の実際（３） - 日課・週時程の編成 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをA５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
13	教育課程の実際（４） - 教科年間指導計画 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをA５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
14	教育課程の実際（５） - 特色ある学校づくりと学校評価 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをA５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
15	まとめ - これからの教育課程・カリキュラムの課題 -	これまでに配布された資料及びテキストを復習し、質問項目をノートにまとめておくこと（２時間）。 これまで学んだことを整理し、A４一枚程度にまとめること（２時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP335
授業形態： 講義
科目名： 総合的な学習の時間の指導法【卒業要件外】
担当教員： 野村 一夫(NOMURA Kazuo)

【授業の紹介】

学習指導要領に示された目標、内容及び内容の取扱い等の分析を通して、小・中学校の総合的な学習の時間及び高等学校の総合的な探究の時間の趣旨やねらい、カリキュラム上の位置付けなどの理解を図ります。

また、現代的な課題から探究課題を設定し探究活動を行い、ディスカッションを通して、自己の在り方生き方と一体的で不可分な課題を発見し、解決していくための学習指導の意義を考えます。

これらの学修を通して授業設計や指導法、評価、環境整備、外部との連携などについての基礎的な理解と実践力の育成を図り、高等学校教員としての資質・能力の基礎を培うことを目指します。

この授業ではClassroom(クラスコード：v5rriis)を使用し、資料配付や課題「授業リフレクション」の提示などを行います。

この授業科目は教職に関する科目であり、卒業要件外となります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 総合的な学習の時間創設の経緯を知り、カリキュラム論に基づく位置付けを説明することができる。
2. 総合的な探究の時間へ移行した背景と趣旨を踏まえ、自己の生き方在り方と一体的で不可分な課題を探究する指導計画を作成することができる。

【成績の評価】

学修内容の理解はもとより、学修に対する意欲と態度を評価します。

「私の考える探究課題」の提出(40%)、「授業リフレクション」の提出(10%)、定期試験(50%)とします。

「授業リフレクション」は、Classroomで提出し、返却時にコメントします。

定期試験は、採点基準を説明します。

【使用テキスト】

高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編 平成30年 文部科学省

【参考文献】

随時紹介する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。教育委員会や教育センターにおける指導経験を踏まえて、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間の意義と課題、指導上の留意事項等について指導します。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（総合的な学習の時間（総合的な探究の時間）のイメージ）	予習として、小学校から高等学校における総合的な学習の時間の学習経験（テーマ、特に記憶に残っている学習活動、学習を通じていたことなど）を振り返り、ノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間の現状と課題を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
2	総合的な学習の時間の経緯と背景	予習として、総合的な学習の時間を学習することの必要性について考え、ノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間創設の経緯を踏まえて、その意義授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
3	総合的な学習の時間の教育課程上の位置付けとカリキュラム論	予習として、小・中学校における現行の教育課程（カリキュラム構成）を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間を教育課程に位置付けられていることに関する自らの考え授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
4	総合的な探究の時間への移行による学習指導要領における目標、内容及び内容の取扱いの変化	予習として、総合的な学習の時間と各教科との目標、内容及び内容の取扱いの異同について調べ、ノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、各教科と総合的な学習の時間の違いから考えたことを授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
5	総合的な探究の時間で育成することを旨とする資質・能力	予習として、総合的な学習の時間で身に付けたい力を具体的に考えノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間で育成する資質・能力をどのように活かすのかを授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
6	総合的な探究の時間における四つの課題の取扱い	予習として、総合的な学習の時間における四つの課題を調べノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、四つの課題に関する自らの考えを授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
7	各学校において目標及び内容等を定める際の留意事項	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の全体計画を収集しておくこと。（1時間）復習として、各学校において目標と内容等を定めることの意義を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
8	総合的な探究の時間の全体計画の作成	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の全体計画を収集しておくこと。（1時間）復習として、全体計画を作成することの意義を授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
9	総合的な探究の時間の年間指導計画の作成	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の年間指導計画を収集しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間において年間指導計画を作成することの意義を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
10	総合的な探究の時間の単元計画の作成	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の学習指導案等を収集しておくこと（1時間）復習として、総合的な学習の時間の学習活動の在り方を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	探究的な学習の過程における「主体的・対話的で深い学び」の視点	予習として、探究的な学習を中核とする単元計画を考えノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、最適な学習活動の在り方を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
12	探究的な学習の指導のポイント	予習として、探究的な学習を指導する際の留意事項を考えノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、探究的な学習における指導上留意したいことを考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
13	総合的な探究の時間の評価の在り方	予習として、各教科における評価上の留意点を整理しノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間における評価方法を振り返り、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
14	総合的な探究の時間の指導体制と時間の弾力的運用の在り方	予習として、各教科等における学習形態と指導体制等の工夫を調べノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、時間の弾力的運用の工夫を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
15	総合的な探究の時間に係る環境整備と地域との連携・協働の在り方	予習として、学校と地域との連携・協働の在り方について調べ、ノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、これからの学習活動の在り方を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP332
授業形態： 講義
科目名： 情報科教育法 【卒業要件外】
担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi)

【授業の紹介】

高等学校における情報教育として設置された普通教科「情報」専門教科「情報」各教科の目標を達成するために必要な基礎知識や指導技術について学習を行う。高等学校学習指導要領改訂についても触れる。教職科目として、情報の教員となるための教育実践の修得し教育実習につなげる科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

高等学校学習指導要領に定められた、普通教科「情報」専門教科「情報」について具体的に授業運営ができる。
高等学校学習指導要領に定められた、普通教科「情報」専門教科「情報」についての授業運営の課題を解決することができる。

【成績の評価】

評価は、授業内ミニレポート20%、授業内発表50%、課題レポート30%で評価を行います。
授業内ミニレポート、課題レポートは添削し返却します。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 情報編

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	現代情報化社会の概要と普通教科「情報」、 専門教科「情報」の内容概説	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
2	普通教科「情報」設置の経緯と趣旨および科目 編成。高等学校学習指導要領改訂について	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
3	普通教科「情報」の概要	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
4	普通教科「情報」「情報」の目標と内容	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
5	普通教科教科「情報」「情報」の目標と内 容	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
6	普通教科「情報」各科目における授業計画の 立案法	授業計画の立案法について復習する（4時間 ）	
7	学習題材やテーマの選定法	学習課題やテーマの選定法について指示され た課題を解く（4時間）	
8	学習指導案の作成法	学習指導案の作成法について指示された課題 を解く（4時間）	
9	学習指導法	学習指導案を作成する（4時間）	
10	学習の評価と測定の方法	学習の評価と測定の方法の復習（4時間）	
11	専門教科「情報」設置の趣旨	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
12	専門教科「情報」の目標と科目編成	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
13	教育課程の編成と指導計画の作成	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
14	関係法規の概要	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
15	進路指導	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP333
授業形態： 講義
科目名： 情報科教育法 【卒業要件外】
担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi)

【授業の紹介】

高等学校における情報教育として設置された普通教科「情報」専門教科「情報」各教科の目標を達成するために必要な基礎知識や指導技術について学習を行う。なお、高等学校学習指導要領改訂についても触れる。教職科目として、情報の教員となるための教育実践の修得し教育実習につなげる科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

高等学校学習指導要領に定められた、普通教科「情報」専門教科「情報」について具体的に授業運営ができる。
高等学校学習指導要領に定められた、普通教科「情報」専門教科「情報」についての授業運営の課題を解決することができる。

【成績の評価】

評価は、授業内ミニレポート20%、授業内発表50%、課題レポート30%で評価を行います。
授業内ミニレポート、課題レポートは添削し返却します。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

必要に応じてその都度指定する

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	専門教科「情報」基礎的科目の目標と内容 「情報産業と社会」「情報の表現と管理」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
2	専門教科「情報」応用的選択科目の目標と内容1 「アルゴリズムとプログラム」「情報と問題解決」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
3	専門教科「情報」応用的選択科目の目標と内容2 「情報テクノロジー」「ネットワークシステム」「データベース」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
4	専門教科「情報」応用的選択科目の目標と内容3 「情報メディア」、「情報デザイン」、「表現メディアの編集と表現」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
5	専門教科「情報」総合的科目の目標と内容 「課題研究」「情報システム実習」「情報コンテンツ実習」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
6	学習指導を行う上で必要な情報活用技能1 情報の収集・処理・発信の技能とツールの利用方法	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
7	学習指導を行う上で必要な情報活用技能2 シミュレーション、問題解決のツールの利用方法	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
8	学習指導を行う上で必要な情報活用技能3 デジタル化、ネットワークコミュニケーション技能	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
9	グループによる教育指導の実際1 グループ分けとテーマ設定	テーマについての調査（4時間）	
10	グループによる教育指導の実際2 設定したテーマについての調査、情報収集	テーマについての調査（4時間）	
11	グループによる教育指導の実際3 調査結果のまとめと授業計画の作	テーマについての調査（4時間）	
12	グループによる教育指導の実際4 学習指導案の作成	学習指導案の作成作業（4時間）	
13	グループによる教育指導の実際5 模擬授業及び相互批判、検討	模擬授業の準備（4時間）	
14	グループによる教育指導の実際6 授業計画、指導案等の手直し、改良、評価、検討	指導案の修正（4時間）	
15	高等学校学習指導要領まとめ	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP334
授業形態： 講義
科目名： 商業科教育法 【卒業要件外】
担当教員： 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

教科「商業」に関する知識や商業（ビジネス）教育の理念と内容について体系的に学び、その指導方法を考察し商業科の教員としての資質能力を身に付けます。

「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。

高等学校教員一種免許状「商業」の取得を希望する者以外の履修はできません。

また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、プレゼンテーション、3分間スピーチ）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。

この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：bb1odvj）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	

【到達目標】

1. 学習指導要領に示された目標や内容を理解することができる。
2. 商業（ビジネス）教育の基本理念を理解することができる。
3. 教科「商業」に関する教育内容を体系的に把握することができる。
4. 基礎的・基本的知識と指導法を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業への取り組み（30%）、発表（45%）、提出物（25%）。
発表はその場で講評し、提出物は後日返却する。

【使用テキスト】

日本商業教育学会編『商業科教育論』（2019年）実教出版

文部科学省『高等学校学習指導要領解説 商業編』（平成31年）実教出版...文部科学省のHPからダウンロードしたものでかまわない

【参考文献】

文部科学省『高等学校学習指導要領』（平成31年）東山書房
他、その都度指示する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校や教育委員会での教育や指導、管理の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を進めます。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと教員としての心構え	予習として、「教職ポートフォリオ」の必要範囲を記入・整理しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
2	商業教育の意義・必要性	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
3	高等学校学習指導要領と商業教育	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
4	商業科の教育課程の編成と実施	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
5	商業科の学習指導	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
6	各分野の学習指導（1）基礎的科目、マーケティング・マネジメント分野	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
7	各分野の学習指導（2）会計・ビジネス情報分野、総合的科目	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
8	指導計画の理念と作成	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	学習指導案の研究（１）作成（ICT機器、教材の活用を含む）	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
10	学習指導案の研究（２）模擬授業	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるようにパワーポイントや配付する資料を作成すること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
11	学習指導案の研究（３）振り返り	予習として、前回の模擬授業の反省点等を洗い出し、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
12	プレゼンテーションの基本（ICT機器、教材の活用を含む）	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
13	教育課程編成の事例研究	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
14	学習評価の理念と実際	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
15	これからの商業教育のあり方	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
	定期試験（実施しない）		

科目ナンバリング： BTP335
授業形態： 講義
科目名： 商業科教育法 【卒業要件外】
担当教員： 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

先修科目「商業科教育法」で修得した知識や技術を活用することで教育課程編成についての理解を深めるとともに、様々な分野において修得した知識を総合的に活用することで授業を組み立てる力や学習指導案の作成から模擬授業の実施にいたるP D C Aサイクルを回すことで授業を改善する力を身に付けます。

。「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。
高等学校教員一種免許状「商業」の取得を希望する者以外の履修はできません。
また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、プレゼンテーション、フィールドワーク、3分間スピーチ）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。
この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：k7xjxvs）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	

【到達目標】

1. 学習指導要領に示された教科「商業」に関する各科目を体系的に把握することができる。
2. 基礎的な学習指導や指導計画の考え方を理解することができる。
3. 具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業への取り組み（30%）、発表（模擬授業など）（45%）、提出物（レポート、学習指導案など）（25%）。
発表はその場で講評し、提出物は後日返却する。

【使用テキスト】

日本商業教育学会編『商業科教育論』（2019年）実教出版
文部科学省『高等学校学習指導要領解説 商業編』（平成31年）実教出版...文部科学省のHPからダウンロードしたものでもかまわない

【参考文献】

文部科学省『高等学校学習指導要領』（平成31年）東山書房
他、その都度指示する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校や教育委員会での教育や指導、管理の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を進めます。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと高等学校における商業教育の現状	予習として、「教職ポートフォリオ」の必要範囲を記入・整理しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
2	教育課程と学習指導	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
3	指導計画と授業展開（ICT機器、教材の活用を含む）	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
4	プレゼンテーションと授業（ICT機器、教材の活用を含む）	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるようにパワーポイントや配付する資料を作成すること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
5	授業の振り返りと効果的な授業（ICT機器、教材の活用を含む）	予習として、前回の模擬授業の反省点等を洗い出し、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
6	学習指導案とその事例研究	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
7	授業研究（1）高校へ出向き授業を見学（授業見学）	予習として、見学予定の高等学校について調べ、その特徴や教諭等への質問事項を整理しノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
8	授業研究（2）高校へ出向き授業を見学（授業見学、質疑応答、振り返り）	予習として、見学予定の高等学校について調べ、その特徴や教諭等への質問事項を整理しノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
9	学習指導案の作成	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるように学習指導案等を作成する準備をすること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
10	授業研究（教材の作成、板書の整理、振り返り等）	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるようにパワーポイントや配付する資料を作成する準備をすること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
11	模擬授業（1）（板書等利用）実施による授業研究とその評価	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるように準備をすること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
12	模擬授業（2）（ICT等利用）実施による授業研究とその評価	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるように準備をすること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
13	模擬授業（3）（「ビジネス基礎」）実施による授業研究とその評価	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるように準備をすること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
14	模擬授業（4）（基礎的・基本的な科目）実施による授業研究とその評価	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるように準備をすること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
15	これからの商業教育および「商業科教育法」のまとめと質疑応答	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP232

授業形態： 講義

科目名： 特別活動論【卒業要件外】

担当教員： 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

学校における多様な集団活動による課題の発見や解決を通してよりよい集団の形成や学校での生活を旨とする特別活動の意義を理解するとともに、取り上げた問題やトピックを様々な視点から考察することで、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等、特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付けます。

「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。

高等学校教員一種免許状の取得を希望する者以外の履修はできません。

発達科学部の学生も受講します。

また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、3分間スピーチ）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。

この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：ulx55hf）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 学習指導要領における特別活動の目標及び主な内容を理解することができる。
2. 教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連を理解することができる。
3. ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事の特質を理解することができる。
4. 教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方を理解することができる。
5. 特別活動における取り組みの評価・改善活動の重要性を理解することができる。
6. 合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の意義や指導の在り方を例示することができる。
7. 特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解することができる。

【成績の評価】

授業への取り組み（30%）提出物（40%）、模擬授業体験（30%）。

提出物は後日返却し、模擬授業体験はその都度コメントするとともに評価のコメントはオフィスアワーで行う。

【使用テキスト】

文部科学省『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』（平成30年）東洋館出版社...文部科学省のHPからダウンロードしたものでかまわない

【参考文献】

その都度指示する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校や教育委員会での教育や指導、管理の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を進めます。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	特別活動の意義・目標・内容と教育課程における位置づけ	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
2	特別活動の歴史的変遷	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
3	特別活動と生徒指導	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
4	特別活動とホームルーム経営	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
5	ホームルーム活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
6	生徒会活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
7	部活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
8	学校行事	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	特別活動の今	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
10	特別活動の指導の在り方（模擬体験授業の解説）	予習として、どのような模擬体験授業を行うのかを想定し授業の構成を考え、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
11	特別活動の指導の在り方（模擬体験授業の内容検討）	予習として、どのような模擬体験授業を行うのかを想定し授業の構成を考え、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
12	特別活動の指導の在り方（模擬体験授業の構成検討）	予習として、どのような模擬体験授業を行うのかを想定し授業の構成を考え、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
13	模擬体験（グループ発表）と振り返り	予習として、これまでの授業を振り返るために使用テキストを読み直し、特別活動の目標や意義を、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
14	模擬体験（グループ発表）と振り返り	予習として、これまでの授業を振り返るために使用テキストを読み直し、特別活動の目標や意義を、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
15	これからの特別活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP233

授業形態： 講義

科目名： 教育の方法及び技術【卒業要件外】

担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi),河田 祥司

【授業の紹介】

現代は高度情報通信社会と言われるように、スマホやタブレット等に代表される各種の情報メディアが開発され、よりに大量の情報生成、蓄積、流通等が可能になりました。このような社会で求められる能力とは、インターネットや新しいICTを活用でき、必要とする情報の選択、加工、創造、伝達等に関わる新しいコミュニケーション能力です。なおこの授業過程では、「学習者の新たな学びという、主体的で対話的な深い学び」を目標にアクティブラーニング(以下、ALと称する)の手法を取り入れた新しい教育改革の一端を経験することができます。

この科目では、学習者の豊かな発想や興味・関心に対応できる学習形態の中で、経験、観察や調査、情報検索、映像やCGなどが活用できる自由度の高いメディアの選択と活用を可能にする教育の方法と技術の修得を目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 教育実践に必要な教育の方法に関する基礎的・基本的な知識の理解、技術の習得ができる。
2. 新しい学力観に対応した教授学習システムを設計することができる。
3. 情報ネットワークや情報メディアなど、ICTを活用した教育技術の習得ができる。
4. ALを体験することで、新しい教育方法・技術の活用方法が習得でき、教育者としての資質・力量の向上が養われる。

【成績の評価】

予習レポート(15%)、復習レポート(15%)、研究レポート(70%)、なお、予習レポートとは、主として授業前に予習した内容を、復習レポートとは、授業後に行った復習の結果をまとめて提出するもので、後日採点したものは返却する。研究レポートとは、最終試験に代わるものとして、当該科目に関するいくつかの課題から、幾つかを選択して報告書としてまとめて提出するものを指す。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

授業の中で適宜印刷物(資料)を配布します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	良い授業の調査から見る教育（保育）方法・技術の分析	予習（1時間）：良い授業の調査から見る教育（保育）方法・技術の分析の予習 復習（3時間）復習1時間：良い授業の調査から見る教育（保育）方法・技術の分析の復習	
2	子供の成長・発達段階における教育の役割の考察	予習（1時間）子供の成長・発達段階における教育の役割の予習 復習（3時間）子供の成長・発達段階における教育の役割の考察のまとめ	
3	学習指導要領における「確かな学力」の分析	予習（1時間）学習指導要領における「確かな学力」の分析の予習 復習（3時間）学習指導要領における「確かな学力」の分析の復習	
4	学習意欲の向上を図る動機付け理論の考察	予習（1時間）学習意欲の向上を図る動機付け理論の予習 復習（3時間）学習意欲の向上を図る動機付け理論の復習	
5	指導技術の向上を目指す方策の検討	予習（1時間）指導技術の向上を目指す方策の予習 復習（3時間）指導技術の向上を目指す方策の復習	
6	学習と成長を支える教育目標の分類体系の検討	予習（1時間）学習と成長を支える教育目標の分類体系の予習 復習（3時間）学習と成長を支える教育目標の分類体系の復習	
7	AL先進校の教育記録からみる有効性と限界の分析	予習（1時間）AL先進校の教育記録からみる有効性と限界の分析の予習 復習（3時間）AL先進校の教育記録からみる有効性と限界の分析の復習	
8	ICTの特徴と教育（保育）利用の有効性と限界の検討	予習（1時間）ICTの特徴と教育（保育）利用の有効性と限界の検討の予習 復習（3時間）ICTの特徴と教育（保育）利用の有効性と限界の検討復習	
9	ICTを活用した学習指導案（保育案）の作成	予習（1時間）ICTを活用した学習指導案（保育案）の作成の予習 予習（3時間）ICTを活用した学習指導案（保育案）の作成の復習	
10	情報社会の光と影（1）情報モラルと教育	予習（1時間）情報社会の光と影（1）情報モラルと教育の予習 復習（3時間）情報社会の光と影（1）情報モラルと教育の復習	
11	情報社会の光と影（2）未来への展望	予習（1時間）情報社会の光と影（2）未来への展望の予習 復習（3時間）情報社会の光と影（2）未来への展望の復習	
12	AL「主体的・対話的で深い学び」の授業過程の設計	予習（1時間）AL「主体的・対話的で深い学び」の授業過程の設計の予習 復習（1時間）AL「主体的・対話的で深い学び」の授業過程の設計の復習	
13	ALによる教育の円滑な実施（1）指導内容・方法の検討	予習（1時間）ALによる教育の円滑な実施（1）指導内容・方法の検討の予習	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習（1時間）ALによる教育の円滑な実施 （1）指導内容・方法の検討の復習	
14	ALによる教育の円滑な実施（2）人的環境等の検討	予習（1時間）ALによる教育の円滑な実施 （2）人的環境等の予習 復習（1時間）ALによる教育の円滑な実施 （2）人的環境等の検討復習	
15	教育の方法及び技術のまとめと展望	予習（1時間）教育の方法及び技術全体の振り返り 復習（3時間）教育の方法及び技術のまとめ	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP336
授業形態： 演習
科目名： 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法【卒業要件外】
担当教員： 松田 圭司

【授業の紹介】

この授業では、現代のICTの現状を知り、教育現場や校務でのICT（情報通信技術）活用状況等を学ぶ。講義および視聴覚資料による解説・事例紹介と、学生自身が各種ICT機器、環境を活用し、体験的に学修する機会を設けながら、授業における児童生徒および教員によるICT活用の他、授業の準備、学習評価に関する活用、校務における活用や教育データの活用を学ぶ。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

授業のテーマ及び到達目標

- 1．情報通信技術の活用の意義と理論を理解する。
- 2．情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について理解する。
- 3．児童及び生徒に情報活用能力（情報モラルを含む。）を育成するための基礎的な指導法を身につける。

【成績の評価】

学生に対する評価

授業への取り組みとレポート課題（50%）、定期試験（50%）

提出されたレポートを返却することにより、フィードバックを行います。
オフィスアワーを設定しているので、利用すること。

【使用テキスト】

テキスト

教室へのICT活用入門（藤本 かおる 著、国書刊行会）ISBN-13：978-4336063397

【参考文献】

参考書・参考資料等

無理なくできる 学校のICT活用 タブレット・電子黒板・デジタル教科書などを使ったアクティブ・ラーニング（長谷川 元洋 著、学事出版）ISBN-13: 978-4761921903

小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	現代のICTの現状（ICTを支えるさまざまな技術要素を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
2	ICTの教育現場および校務での活用状況（現在学校で導入されているICT技術の具体例を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
3	教育現場でのICTの重要性および生かし方（教育現場で必要とされているICTの要素を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
4	特別の支援を必要とする児童、生徒のためのICTの活用（特別支援の各種ケースとICT適用の可能性の判断方法を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
5	ICT支援員など外部人材や大学などの外部機関やサポート機関との連携のありかた（ベンダのサポートIPAなど公的機関にはどのようなものがあるか？その活用方法について学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
6	学習場面に応じたICTを効果的に活用した指導事例【教材の作成方法】（実際に教材を作る際に有効なツールについて学ぶ。講義スライドや動画作成ツールなどを学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
7	学習場面に応じたICTを効果的に活用した指導事例【教材の活用、セキュリティ】（効果的な教材の活用方法およびネットワークセキュリティを確保するためのツールについて学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
8	教育データの採取、保管による指導、評価の実践（教務パッケージシステムやLMSの現状について学ぶ。クラウドストレージの有効活用について学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
9	遠隔、オンライン教育の意義およびシステムの利用方法（教務パッケージシステムやLMSそれらの操作方法などを学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
10	遠隔、オンライン教育の事例および問題点を確認（各種オンラインシステムの効果的な活用方法および問題点と改善策（将来像）などの方法を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間)	
11	統合型校務支援システムを含む情報通信技術を効果的に活用した校務の推進の方法（重要な校務の抽出、分析とそれらの概略業務フローについて学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
12	総合的な学習の時間において、横断的に育成する情報活用能力の内容について（科目の特性に関わらず、スムーズにICTを導入するための手法について学ぶ。）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
13	情報活用能力について各科目の指導事例を理解し、その指導方法の習得1（具体的な指導案の作成および対象科目の選定とその科目の特徴の明確化する。）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
14	情報活用能力について各科目の指導事例を理解し、その指導方法の習得2（指導案策定訓練、レポートの作成及び提出）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
15	将来の理想ICT教育のありかたについて、グループディスカッションおよびレポート作成（機器訓練も含む）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP234
授業形態： 講義
科目名： 生徒・進路指導論【卒業要件外】
担当教員： 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

生徒指導の進め方や進路指導・キャリア教育のあり方についての様々な問題やトピックを取り上げ、生徒が抱える課題などを見つけ解決する手法を身に付けます。

「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。

高等学校教員一種免許状の取得を希望する者以外の履修はできません。

発達科学部の学生も受講します。

また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、3分間スピーチ）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。

この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：2rnsi66）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 生徒指導、進路指導・キャリア教育の理論と方法について理解することができる。
2. 生徒指導、進路指導・キャリア教育を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付けることができる。

【成績の評価】

提出物及び小レポート（50%）、学年末の最終レポート（50%）。
小レポートは後日返却し、最終レポートはオフィスアワーでコメントする。

【使用テキスト】

文部科学省『生徒指導提要（改訂版）』（令和4年）。… 文部科学省のHPからダウンロードしたものでかまわない

【参考文献】

その都度指示する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校や教育委員会での教育や指導、管理の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を進めます。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	生徒指導の基礎	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
2	生徒指導の方法原理	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
3	生徒指導の組織的な取組みと学校内外の連携	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
4	こども基本法	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
5	進路指導の進め方 - ほめ方と叱り方	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
6	生徒指導の諸問題（1）- インターネットと携帯電話	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
7	生徒指導の諸問題（2）- 校則	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
8	生徒指導の諸問題（3）- いじめ	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
9	生徒指導の諸問題（4）- 不登校	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
10	生徒指導の諸問題（5）- 懲戒と体罰	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
11	生徒指導の諸問題（6）- 暴力行為と少年非行	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
12	進路指導・キャリア教育の意義と教育課程における位置づけ	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
13	進路指導・キャリア教育の組織的な推進体制と連携	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
14	職業に関する体験活動とキャリア教育	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
15	生涯を通じたキャリア形成とキャリア・カウンセリング	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP331
授業形態： 講義
科目名： 教育相談【卒業要件外】
担当教員： 織田 幸美(ODA Yukimi)

【授業の紹介】

教育相談は、生徒の心理的発達を支援するための日常的な教育活動であり、教育の専門家としての教師にとって、教育相談に関する基礎の習得は不可欠です。幼児・児童・生徒の発達上直面する問題について柔軟に対応し、援助するためのスキルについて、体験的な活動も取り入れながら心理的成長を支える予防的援助について学習します。

この授業ではGoogle Classroom(クラスコード：gl7ixql)を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

到達目標は以下の4点である。

1. 学校における教育相談の意義と理論を理解することができる。
2. 教育相談を進める際に必要な基礎的知識を理解することができる。
3. 教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解することができる。
4. 学校での予防的心理教育の方法について理解し、実践力を高めることができる。

【成績の評価】

学期末試験(60%)と小レポート(40%)

小レポートについては、その都度、授業時に講評する。定期試験については教務課窓口及び教員研究室において模範解答を閲覧できるようにする。

【使用テキスト】

教師のための教育相談(2018年 西本絹子 萌文書林)

【参考文献】

絶対役立つ教育相談(2017年 藤田哲也監修 ミネルヴァ書房)
生徒指導提要(改訂版)デジタルバージョン(2022年 文部科学省)

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目である。小・中・高等学校の現場での教育相談担当教員やスクールカウンセラーの経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行う。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	現代の子どもと子育てをめぐる状況と教師に求められる役割	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
2	教育相談とは何かー教師のおこなう教育相談の役割・特徴	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
3	相談援助の理論ーカウンセリングとカウンセリングマインドの考え方を理解する。	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
4	相談援助の技術1ーカウンセリングマインドを活かす聴き方	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
5	相談援助の技術2ーカウンセリングマインドを活かす保護者との関係づくり	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
6	子ども理解1ー発達の視点から子どもを理解する	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
7	子ども理解2ー問題のアセスメント	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
8	子ども理解3 問題行動のとら	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
9	いじめ問題への対応	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
10	不登校への対応	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		めて提出すること。（2時間）	
11	特別な支援を要する子どもへの対応1－理解と支援の考え方	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
12	特別な支援を要する子どもへの対応2－支援の実際の基礎	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
13	障害のある子ども・気になる子どもへの保護者への対応	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
14	「困った保護者」・不適切な養育環境への対応	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
15	子ども支援と学級経営	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP351

授業形態： 講義

科目名： 教育実習事前事後指導【卒業要件外】

担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi), 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

高等学校で教育実習を行うための準備学習を行います。
実習後は振り返りと総括を行い、別に教育実習の報告会も実施します。
「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。
高等学校教員一種免許状の取得を希望する者以外の履修はできません。
また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1) 高等学校教諭の業務や職業倫理について理解し、教師としての使命感や倫理観を培うことができる。
- (2) 自己評価および自己課題の明確化を通して豊かな人間性を育むことができる。
- (3) 学校教育活動に必要な知識や判断力を習得することができる。
- (4) 学習指導計画の作成・実践・記録・評価等を体験する中で、教師として必要な技能、実践力を習得することができる。

【成績の評価】

授業への興味関心及び授業に積極的に参加する態度（20％）、提出物（30％）、発表（50％）
提出物はオフィスアワーで、発表はその都度コメントします。

【使用テキスト】

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 情報編（文部科学省 開隆堂出版）
又は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 商業編（文部科学省 実教出版）

【参考文献】

必要に応じてその都度指定する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	教育実習の意義・目的・内容等について	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、要点をノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
2	実習校の研究と実習上の留意点	予習として、実習予定の高等学校について調べその特徴などを整理し、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
3	小論文の書き方と教材研究について	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、要点をノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
4	学習指導と生活指導の方法	予習として、予定されている授業内容を確認し、これまでに受けた講義のテキスト、資料等から要点を整理し、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
5	学習指導案の作成	予習として、教育実習において担当が予想される項目について指導案が書けるように、項目等をノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
6	模擬授業の実施と批評	予習として、模擬授業ができるように準備すること。（2時間） 復習として、批評された内容から模擬授業を構成し直し、学習指導要領を修正しておくこと。（2時間）	
7	教育実習事前学習の振り返り	予習として、これまでの授業を振り返り、教育実習への心構えなどをノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、授業中にあった教員からの最後のアドバイスをノート等にまとめ、教育実習に備えること。（2時間）	
8	教育実習体験後の報告及び指導助言	予習として、教育実習の際に用いたノートを整理しておくこと。（2時間） 復習として、教育実習報告会に向けた資料を作成すること。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP352

授業形態： 実習

科目名： 高等学校教育実習【卒業要件外】

担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi), 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

関係する高等学校現場で2週間を過ごし、教員として実際に生徒の指導ができるようになるための実習を行います。「教職に関する科目」の中で総仕上げとも言える授業です。
「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。
高等学校教員一種免許状の取得を希望する者以外の履修はできません。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	

【到達目標】

学校現場で教職員や生徒と接することを通して、高等学校の教員として教壇に立つために必要な知識や技能を身につけることができる。

【成績の評価】

実習中の様々な活動状況や成果（80％）、学習態度（20％）
提出物は添削し返却します。

【使用テキスト】

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 情報編（文部科学省 開隆堂出版）
又は、高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）解説 商業編（文部科学省 実教出版）

【参考文献】

なし

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	学校の教育方針や特色ある教育について	教育実習、「学校の教育方針や特色ある教育についてのまとめ」（4時間）	
2	指導講話 学習指導について	教育実習、「指導講話 について」のまとめ（4時間）	
3	指導講話 生活指導について	教育実習、「指導講話 について」のまとめ（4時間）	
4	指導講話 実習全般について	教育実習、「指導講話 について」のまとめ（4時間）	
5	学級の実態と学級経営について	教育実習、「学級の実態と学級経営について」のまとめ（4時間）	
6	学級事務についての考え方と実習について	教育実習、「学級事務についての考え方と実習について」のまとめ（4時間）	
7	学習指導案の立案・考え方について	教育実習、「学習指導案の立案・考え方について」のまとめ（4時間）	
8	示範授業の参観と研究	教育実習、「授業の参観と研究」のまとめ（4時間）	
9	授業参観と授業記録の取り方について	教育実習、「授業参観と授業記録の取り方について」の復習（4時間）	
10	教材研究の仕方と学習指導案の書き方について	教育実習の指導案の作成（4時間）	
11	授業参観（学習過程、板書、発問等）	教育実習、観察参加の復習と指導案作成に（4時間）	
12	授業参観（生徒の反応、つぶやき、表情）	教育実習、授業参観のまとめ（4時間）	
13	問題のある生徒の実態把握	教育実習全般のまとめ（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP353

授業形態： 演習

科目名： 教職実践演習（高校）【卒業要件外】

担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi), 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki), 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori), 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

教職課程やそれ以外の授業科目、その他の種々の活動を通して学生が身につけた資質・能力が、教員として最小限必要なものとして形成され有機的に統合されたかについて個々の授業計画の中で確認し、1年次より記録してきた教職ポートフォリオを活用し振り返り、討議、現地調査、事例研究、ロールプレイング、演習などを通して定着を図ります。
後期開講ですが、必要に応じて前期にも時間を調整して実施することがあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心をもち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	

【到達目標】

- (1) 高等学校教員としての使命感や責任感、教育的愛情等を身につけることができる
 - (2) 高等学校教員としての社会性や対人関係能力を身につけることができる
 - (3) 高校生についての理解や学級経営等に関する知識を身につけ、基礎的経験をすることができる
 - (4) 高等学校の教育課程や指導についての知識と指導力を形成することができる
- 以上4点を目標とします。

【成績の評価】

毎回についてのまとめ、討議や発表における参加度30%、提出物70%で評価する。
フィードバックとして、提出物等は、添削し返却する。
また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】

文部科学省『高等学校学習指導要領』2019年。
ただし、他の文献でこれが掲載されているものでもよい。

【参考文献】

特に指定しない。資料を適宜配付する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 佃 平畑、山口、花城 本演習の目的と進め方	授業での課題作成（4時間）	
2	オリエンテーション 佃 平畑、山口、花城 教職を取り巻く現代的問題の考察（討議）	授業での課題作成（4時間）	
3	履修全体の振り返りと検討課題の確認 平畑、山口、花城 履修内容の整理と成果及び問題点のまとめ （教職ポートフォリオの整理）	授業での課題作成（4時間）	
4	履修全体の振り返りと検討課題の確認 平畑、山口、花城 発表	授業での課題作成（4時間）	
5	使命感、責任感、教育的愛情等に関する事項 平畑 高等学校教員のあり方と実際	授業での課題作成（4時間）	
6	使命感、責任感、教育的愛情等に関する事項 平畑 発表	授業での課題作成（4時間）	
7	高等学校の現状と課題に関する事項 山口 県下高等学校の学校経営や教育行政の状況	授業での課題作成（4時間）	
8	高等学校の現状と課題に関する事項 山口 討議	授業での課題作成（4時間）	
9	社会性や対人関係能力に関する事項(2) 平畑、山口、花城 教員に求められるマナーや社会性の検討	授業での課題作成（4時間）	
10	社会性や対人関係能力に関する事項(2) 平畑、山口、花城 演習	授業での課題作成（4時間）	
11	社会性や対人関係能力に関する事項(3) 平畑、山口、花城 生徒への対応	授業での課題作成（4時間）	
12	社会性や対人関係能力に関する事項(3) 平畑、山口、花城 保護者への対応	授業での課題作成（4時間）	
13	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(1) 平畑 生徒の理解について(講義)	授業での課題作成（4時間）	
14	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(1) 平畑 同(演習)	授業での課題作成（4時間）	
15	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(2) 平畑 生徒の理解について(講義)	授業での課題作成（4時間）	
16	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(2) 平畑 同(演習)	授業での課題作成（4時間）	
17	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(3) 平畑 生徒の理解について(講義)	授業での課題作成（4時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
18	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(3) 同（演習）	授業での課題作成（4時間）	
19	教育内容の指導力に関する事項(1) 平畑 教育課程の編成原理等の理解（講義）	授業での課題作成（4時間）	
20	教育内容の指導力に関する事項(1) 平畑 討議	授業での課題作成（4時間）	
21	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(3) 花城 保護者の声を聞く	授業での課題作成（4時間）	
22	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(3) 花城 討議	授業での課題作成（4時間）	
23	教育方法の指導力に関する事項(3) 山口 新しい教育方法や技術の検討（講義）	授業での課題作成（4時間）	
24	教育方法の指導力に関する事項(3) 山口 演習	授業での課題作成（4時間）	
25	新しい高等学校教育 平畑 教育課程特例制度などの検討（現地調査）	授業での課題作成（4時間）	
26	新しい高等学校教育 平畑 教育課程特例制度などの検討（現地調査）	授業での課題作成（4時間）	
27	教員に求められる資質・能力のまとめ(1) 平畑、山口、花城 討議	授業での課題作成（4時間）	
28	教員に求められる資質・能力のまとめ(1) 平畑、山口、花城 総括	授業での課題作成（4時間）	
29	教員に求められる資質・能力のまとめ(2)佃、平畑、山口、花城 発表	授業での課題作成（4時間）	
30	教員に求められる資質・能力のまとめ(2) 佃、平畑、山口、花城 発表と総括	授業での課題作成（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACP313
授業形態： 講義
科目名： 簿記・会計学特殊講義
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

本講義では、日商簿記検定1級の範囲に含まれる商業簿記の中から、基本的な論点について学習します。これにより日商簿記検定1級相当の簿記および会計学の知識を身につけ、経理・財務部門の専門職を目指す人に必要な知識・能力を養成することを目的としています。また、簿記の仕訳や会計学の理論の背景にある論理について理解を深めることにより、経理・財務部門の専門職として活躍する上で必要となる思考力を養います。

関連科目として「簿記・会計学特殊講義」、「簿記・会計学特殊講義」が既習であることを前提とします。

本科目は職業会計人育成プログラム所属者のみ履修可能です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 日商簿記検定1級程度の商業簿記について、基本的な論点を理解できる。
2. 上記の基本的な論点を問う問題を解くことができる。

【成績の評価】

授業への貢献状況（70%）、課題（30%）により総合的に評価します。

なお、課題については、授業時間内に講評・解説し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】

梅原秀継（2022）『財務会計論』白桃書房

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として簿記・会計学特殊講義 の第1回から第15回までの配布資料を読み返し、理解が十分ではなかった論点の学習に取り組んでください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
2	連結会計	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
3	連結会計（ディスカッション）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
4	連結会計（問題演習）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
5	企業結合と事業分離	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
6	企業結合と事業分離（ディスカッションと問題演習）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
7	リース	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
8	リース（ディスカッションと問題演習）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
9	退職給付と株式報酬	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
10	退職給付と株式報酬（ディスカッションと問題演習）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
11	外貨換算	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
12	外貨換算（ディスカッションと問題演習）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
13	課税所得と税効果	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
14	課税所得と税効果（ディスカッションと問題演習）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（2時間） 復習として授業中に取り扱った内容について、配布する資料を読み返し、内容の要約を行い知識の定着を図ってください。また、必ず課題に取り組み、問題を解くことができるよう理解を深めてください（2時間）	
15	まとめ（重要項目の確認）と質疑応答	予習として第1回から第14回までの配布資料を読み返し、授業で取り扱った内容を総復習してください（2時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACP333
授業形態： 講義
科目名： 原価計算特殊講義
担当教員： 岡田 龍哉

【授業の紹介】

原価計算は、特に製造企業において用いられる会計であり、製品原価の計算のみならず、企業内部で行われる様々な活動から発生するアウトプットの原価を計算する会計である。したがって、原価計算は企業が限られた経済的資源を効果的に利用するために必要な会計であり、規模や業種を問わず、あらゆる企業経営において不可欠な知識・技術である。本講義は、特に公認会計士試験の管理会計論に関連した内容を、計算のみならず、背後にある理論・理念・思考に対する洞察を得ることにより、専門知識を地域社会の発展のため適切に活用できるよう、職業会計人として必要な能力を養うことを大きな目的としている。

本科目は職業会計人育成プログラム所属者のみ履修可能である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

日商簿記検定1級程度の知識から、公認会計士試験の範囲に相当する知識・技術を修得し、問題を解くことができる。

経営者の観点から原価計算によって得られる数値の意味を理解し、説明することができる。

【成績の評価】

毎回の予習・復習の状況（30%）、授業内での議論への参加状況（70%）によって評価する。
毎回の授業で問題演習について解答・解説を通じて、学習状況に対しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

なし。ただし、以下のテキストの最新版を参照しながら資料を配布するため、必要な場合は受講生自身が購入すること。

TAC株式会社 『合格トレーニング 日商簿記1級工業簿記・原価計算』 TAC出版。
TAC株式会社 『合格トレーニング 日商簿記1級工業簿記・原価計算』 TAC出版。

【参考文献】

岡本清（2000）『原価計算 六訂版』 國元書房。ISBN:978-4-7658-1009-7。9,000円(税別)。
廣本敏郎・挽文子（2015）『原価計算論 第3版』 中央経済社。ISBN:978-4-502-14401-1。6,300円（税別）。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、原価計算特殊講義の内容を復習し、受講前に確認しておきたい論点をノート等に記述すること（2時間） 復習として、シラバスに記載の論点を確認し、再度理解に不安の残る論点をノート等に記述すること（2時間）	
2	設備投資の意思決定：回収期間法と投下資本利益率法	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
3	設備投資の意思決定：DCF法の基礎	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
4	設備投資の意思決定：NPV法	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
5	設備投資の意思決定：IRR法	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
6	設備投資の意思決定：総合問題演習	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
7	戦略的コスト・マネジメントの基礎	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
8	活動基準原価計算	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
9	ライフサイクル・コストニング	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
10	品質原価計算	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		等に記述すること（2時間）	
11	原価企画	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
12	経営分析：収益性分析	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
13	経営分析：安全性分析	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
14	経営分析：成長性分析	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
15	経営分析：ケーススタディ	予習として、事前に配付資料で提示したキーワードについて調べ、その意味や疑問等をノート等に記述すること（2時間） 復習として、授業内で扱った論点を自分の言葉で説明できるようにし、その内容をノート等に記述すること（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACP314
授業形態： 演習
科目名： 簿記論対策演習
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本講義は、日商簿記1級・税理士試験の簿記論レベルの簿記の論点を学習します。各論点について説明した後練習問題を解くことで理解を深めます。本講義の学習内容は会計の専門家として活躍するために必要となるものです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 日商簿記1級・税理士試験の簿記論の問題を解くことができる。
2. 上記の解答方法を説明できる。

【成績の評価】

授業への積極的な参加（60%）、小テスト（20%）、課題（20%）で評価します。
小テストについては、点数を伝え模範解答を示します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
進捗により各テーマの講義回数を変更する可能性があります。

【使用テキスト】

学生と相談の上で指示します。

【参考文献】

ネットスクール株式会社『税理士試験 教科書 簿記論・財務諸表論 基礎導入編』ネットスクール出版。(最新版)	教科書	簿記論・財務諸表論	基礎導入編』ネットスクール出版。
ネットスクール株式会社『税理士試験 教科書 簿記論・財務諸表論 基礎完成編』ネットスクール出版。(最新版)	教科書	簿記論・財務諸表論	基礎完成編』ネットスクール出版。
ネットスクール株式会社『税理士試験 教科書 簿記論・財務諸表論 応用編』ネットスクール出版。(最新版)	教科書	簿記論・財務諸表論	応用編』ネットスクール出版。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（本講義の進行について）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
2	簿記一巡	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
3	法人税法・租税公課	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
4	税効果会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
5	消費税	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
6	リース会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
7	減損損失	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
8	退職給付	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
9	引当金	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
10	社債	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
11	純資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
12	繰延資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしてお	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		く。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
13	外貨換算	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
14	棚卸資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
15	金融商品	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACP315
授業形態： 演習
科目名： 簿記論対策演習
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本講義は、日商簿記1級・税理士試験の簿記論レベルの簿記の論点を学習します。各論点について説明した後、練習問題を解くことで理解を深めます。本講義の学習内容は会計の専門家として活躍するために必要となるものです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 日商簿記1級・税理士試験の簿記論の問題を解くことができる。
2. 上記の解答方法を説明できる。

【成績の評価】

授業への積極的な参加 (60%)、小テスト (20%)、課題 (20%) で評価します。
小テストについては、点数を伝え模範解答を示します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
進捗により各テーマの講義回数を変更する可能性があります。

【使用テキスト】

学生と相談の上で指示します。

【参考文献】

ネットスクール株式会社『税理士試験 教科書 簿記論・財務諸表論 基礎導入編』ネットスクール出版。(最新版)	教科書	簿記論・財務諸表論	基礎導入編
ネットスクール株式会社『税理士試験 教科書 簿記論・財務諸表論 基礎完成編』ネットスクール出版。(最新版)	教科書	簿記論・財務諸表論	基礎完成編
ネットスクール株式会社『税理士試験 教科書 簿記論・財務諸表論 応用編』ネットスクール出版。(最新版)	教科書	簿記論・財務諸表論	応用編

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（本講義の進行について）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
2	特殊商品売買	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
3	資産除去債務	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
4	収益認識	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
5	本支店会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
6	建設業会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
7	商的工業簿記	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
8	本社工場会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
9	過年度遡及	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
10	組織再編	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
11	連結会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
12	キャッシュ・フロー	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしてお	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		く。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
13	デリバティブ	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
14	帳簿組織	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
15	伝票	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した論点について類似の問題をできるだけ多く解く。(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACP321
授業形態： 演習
科目名： 財務諸表論対策演習
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本講義では財務会計の重要な論点を取り上げて解説を行い、財務会計の重要な論点を網羅的に理解することを目的とします。各論点について説明した後に練習問題を解くことで理解を深めます。また、ディスカッションへの積極的な参加が必要となります。本講義の学習内容は会計の専門家として活躍するために必要となるものです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 日商簿記1級・税理士試験の財務諸表論の問題を解くことができる。
2. 上記の解答方法を説明できる。

【成績の評価】

授業への積極的な参加（80%）、レポート（20%）で評価します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
進捗により各テーマの講義回数を変更する可能性があります。

【使用テキスト】

学生と相談の上で指示します。

【参考文献】

ネットスクール株式会社『税理士試験 教科書 財務諸表論 理論編』ネットスクール出版。（最新版）
桜井久勝『財務会計講義』中央経済社。（最新版）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（本講義の進行について）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
2	財務諸表論の基礎知識	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
3	財務諸表の全体構造	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
4	貸借対照表と損益計算書（資産の評価など）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
5	貸借対照表と損益計算書（収益認識など）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
6	会社法開示制度	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
7	注記事項等	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
8	四半期財務諸表	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
9	貸借対照表の作成	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
10	金銭債権	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
11	棚卸資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
12	金融商品	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしてお	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		く。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
13	デリバティブ	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
14	有形固定資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
15	リース会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ACP322
授業形態： 演習
科目名： 財務諸表論対策演習
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本講義では財務会計の重要な論点を取り上げて解説を行い、財務会計の重要な論点を網羅的に理解することを目的とします。各論点について説明した後に練習問題を解くことで理解を深めます。また、ディスカッションへの積極的な参加が必要となります。本講義の学習内容は会計の専門家として活躍するために必要となるものです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 日商簿記1級・税理士試験の財務諸表論の問題を解くことができる。
2. 上記の解答方法を説明できる。

【成績の評価】

授業への積極的な参加（80%）、レポート（20%）で評価します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
進捗により各テーマの講義回数を変更する可能性があります。

【使用テキスト】

学生と相談の上で指示します。

【参考文献】

ネットスクール株式会社『税理士試験 教科書 財務諸表論 理論編』ネットスクール出版。（最新版）
桜井久勝『財務会計講義』中央経済社。（最新版）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（本講義の進行について）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
2	無形固定資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
3	減損損失	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
4	繰延資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
5	負債	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
6	退職給付	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
7	純資産	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
8	税効果会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
9	損益計算書の概要	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
10	収益認識の基準	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
11	外貨換算	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
12	建設業会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしてお	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		く。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
13	連結財務諸表	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
14	組織再編	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
15	キャッシュ・フロー計算書	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめ、不明な点をメモしておく。(2時間) 復習として、毎回の授業で学習した内容についてノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ATH202
授業形態： 講義
科目名： スポーツ社会学
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

今日、スポーツは大規模かつ複雑な営みになっており、私たちの社会に少なくない影響を及ぼしています。そのため、スポーツの振興に携わる者には、そうしたスポーツ現象を的確に理解し、批判的に検討する態度が求められます。そこでこの講義では、スポーツ社会学の基本的な知見について理解を深め、スポーツを社会的な行為として捉え直し、社会学的な視点から現実のスポーツ現象を分析する力を身につけることを目指します。

また、本科目は公認スポーツ指導者講習（日本スポーツ協会）「共通科目」の免除、ならびに「スポーツ指導基礎資格（スポーツリーダー）」の交付に単位取得が必要となる科目です。

なお、この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：sfjmkbu）を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. スポーツ社会学の主要概念を理解できる
2. 社会的行為としてスポーツを捉えることができる
3. スポーツ現象にみられる前提を問い直すことができる
4. 学術的レポートに相応しい文章表現を用いることができる

【成績の評価】

- ・レポート（中間・期末） 40%
- ・講義ごとのコメント 60%

《フィードバックの方法》

授業時のコメントは、次の講義に優秀なものを紹介します。また、採点状況を第10回終了時および第15回終了時に開示します。期末レポートについては、第15回終了後、オフィスアワーを活用してフィードバックを実施します。

【使用テキスト】

テキストは指定しません。講義毎に資料を配布します。

【参考文献】

森川貞夫・佐伯聡夫編著『体育・スポーツ社会学講義』（大修館書店、1988年）1,900円
友添秀則編『現代スポーツ評論』（図書館に配架）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomに参加し、事前アンケートに回答する。（1時間） 【復習】講義で示した参考文献を読み、疑問点についてノートにまとめておく。（3時間）	
2	スポーツと社会	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
3	スポーツと文化	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
4	スポーツと歴史：古代	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
5	スポーツと歴史：近代	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
6	スポーツと現代：メディア	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
7	スポーツと現代：生涯スポーツ	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
8	学習内容の中間まとめ	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
9	スポーツとマンガ	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
10	スポーツと地域：クラブ	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
11	スポーツと地域 : 行政	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間）。 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
12	スポーツと学校 : 体育	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間）。 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
13	スポーツと学校 : 部活動	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間）。 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
14	スポーツと産業	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間）。 【復習】講義の際に抱いた疑問に対する仮説を立てて、ノートにまとめておく。（2時間）	
15	まとめとふりかえり	【予習】これまでの講義内容を確認し、疑問点をノートにまとめておく。（2時間）。 【復習】これまでの講義の際に抱いた疑問に対する仮説を最終レポートにまとめて提出する（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ATH201
授業形態： 講義
科目名： 発育発達論
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

発育発達とは人間の成人に至る期間の形態及び機能の両面の質と量とにわたる変化を意味している。そしてこれら形態及び機能の変化は性、年齢、環境等により多くの個人差を生じてくるが、ここでは成人に至る発育発達の過程について十分な理解を深める。

ただし、履修条件として『健康とスポーツ』の単位を取得していることとする。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

成人に至る発育発達の過程について理解を深めることができる。

成人以降の老化と体力や運動能力などの関連について理解を深めることができる。

アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、発育発達に関わる諸問題に対し、既存の知識を応用して新たな問題点の発見や解決する力を修得することができる。

【成績の評価】

授業態度（40%）、レポート（30%）、定期試験（30%）で評価する。

また、レポートについてはその都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。

60点以上を合格とする。

【使用テキスト】

テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】

藤井勝紀著『発育・発達への科学的アプローチ』三恵社 2006年

公益財団法人 日本スポーツ協会『Reference Book』2021年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	発育発達の考え方	予習として発育発達について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
2	発育発達論の意義と役割	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
3	発育の概念と発達概念	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
4	発育の概観	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
5	発達の概観	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
6	発育発達期の身体特徴	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
7	発育発達期の心理的特徴	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
8	発育発達期のスポーツプログラム	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
9	発育発達の予測	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		自分なりの意見をノートに記載しておくこと （2時間）	
10	形態発育の経過	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
11	機能発達の経過	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
12	身体発達に影響する要因と条件	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
13	中高年とスポーツ	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
14	中高年とスポーツ	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
15	定期試験の要領説明および重点ポイント解説	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ATH211

授業形態： 講義

科目名： スポーツと栄養

担当教員： 津村 哲司(TSUMURA Tetsuji)

【授業の紹介】

健康寿命の延伸が重要な政策課題となっている中で、運動・スポーツ、栄養管理などのビジネスも拡大している。2020年には26兆円、2030年には37兆円規模に拡大するともいわれている。新たなビジネスチャンスとして注目されている。また、健康面での自己管理能力が企業の採用基準の重要ファクターとなる。本講義では、栄養学の知識を単なる競技パフォーマンスの向上のためのスキルと捉えず、コンディショニングの維持に必要な栄養や食事法に関する知識と技術をQOLの向上に必要なスキルとして講義する。。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 摂取した栄養素が体内でどのように代謝し、どのようにエネルギーを産生しているのかを科学的に理解できる。
2. 栄養や食事法が競技パフォーマンスの向上やコンディショニングの維持に及ぼす効果について科学的に理解できる。
3. 本授業の知識や技能を活かし、競技パフォーマンスの向上やコンディショニングの維持が出来る食事を実践できる。

【成績の評価】

成績の評価は定期試験（90%）、学習態度（10%）によって行い、総計60%以上を合格とします。なお、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにしておきます。

【使用テキスト】

使用しない

【参考文献】

- 江指隆年、中嶋陽子編著『ネオエス力基礎栄養学』（同文書院、2012年）
樋口 満著『コンディショニングの栄養学』（一村出版、2001年）
奥田豊子編『スポーツ栄養学』（嵯峨野書院、2013年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	<p>ガイダンス</p> <p>>>> 本講義は運動パフォーマンスの向上を将来の目標としています。シラバスを確認の上、最終目標に到達するためには、どのような知識・技術を修得しなければいけないのかを理解し、本講義を履修する目的を今一度明確にします。</p>	<p>シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。ガイダンスを聴いて、自分の目標と乖離が無いが十分考えて判断してください。</p>	
2	<p>基礎化学</p> <p>>>> 前述の最終目標を達成するためには、数学や有機化学などの知識が不可欠です。小・中・高校で学んだ知識を復習します。</p>	<p>シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。</p>	
3	<p>味覚と栄養</p> <p>>>> 健全な栄養摂取は正常な味覚があることが前提です。味覚に異常があると運動パフォーマンスの向上も望めない可能性があることを解説します。</p>	<p>シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。</p>	
4	<p>糖質の栄養</p> <p>>>> 糖質（炭水化物）の生体内での役割や消化吸収について学びますが、まずは基礎となる構造から学習します。</p>	<p>シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。</p>	
5	<p>糖質の代謝</p> <p>>>> 糖質の代謝はエネルギーを獲得する上で最も重要な内容です。摂取した糖質がどのようにエネルギーに変わっていくのかを学習します。</p>	<p>シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。</p>	
6	<p>脂質の栄養</p> <p>>>> 脂質の生体内での役割や消化吸収について学びますが、まずは基礎となる種類や構造から学習します。</p>	<p>シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。</p>	
7	<p>脂質の代謝</p> <p>>>> 脂質はアスリートにとって大敵ですが、重要なエネルギー貯蔵物質です。摂取した脂質がどのようにエネルギーに変わっていくかを学習します。</p>	<p>シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。</p>	
8	<p>たんぱく質の栄養</p> <p>>>> たんぱく質は消化酵素やホルモンとしての働きその他エネルギーとしても重要です。特に骨格筋でのたんぱく質およびアミノ酸の働きはアスリートにとって非常に重要です。本項では基礎となるアミノ酸の種類や構造から学習します。</p>	<p>シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててください。なお、在宅学習の場合、課題を出すこともありますので、準備しておくこと。</p>	
9	<p>たんぱく質の代謝</p> <p>>>> たんぱく質がどのように分解され、どのように合成されるかを学習します。</p>	<p>シラバスを参照のうえ、その関連事項・キーワードを参考文献等により、内容確認を行うなど、2時間以上予習をしてください。また授業終了後その日の講義内容をレポート用紙にまとめるなど2時間以上の復習に充ててく</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ださい。なお、在宅学習の場合、課題を出す ことでもありますので、準備しておくこと。	
10	ビタミン・ミネラル・水分の働き >>> たんぱく質、糖質、脂質の代謝には ビタミン、ミネラルの存在が不可欠です。三 大栄養素とビタミン、ミネラルの関連性を学 習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キー ワードを参考文献等により、内容確認を行う など、2時間以上予習をしてください。また 授業終了後その日の講義内容をレポート用紙 にまとめるなど2時間以上の復習に充ててく ださい。なお、在宅学習の場合、課題を出す ことでもありますので、準備しておくこと。	
11	各運動における消費エネルギー >>> 各運動にはそれぞれ強度があり、消 費するエネルギーにも違いがあります。それ ぞれの運動がどれくらいのエネルギーを消費 するのかを学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キー ワードを参考文献等により、内容確認を行う など、2時間以上予習をしてください。また 授業終了後その日の講義内容をレポート用紙 にまとめるなど2時間以上の復習に充ててく ださい。なお、在宅学習の場合、課題を出す ことでもありますので、準備しておくこと。	
12	基礎代謝量の算出を含む栄養計算（1） >>> 基本的な食事の栄養計算の方法を学 習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キー ワードを参考文献等により、内容確認を行う など、2時間以上予習をしてください。また 授業終了後その日の講義内容をレポート用紙 にまとめるなど2時間以上の復習に充ててく ださい。なお、在宅学習の場合、課題を出す ことでもありますので、準備しておくこと。	
13	基礎代謝量の算出を含む栄養計算（2） >>> 基礎代謝量から一日に必要なエネル ギー量の算出方法を学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キー ワードを参考文献等により、内容確認を行う など、2時間以上予習をしてください。また 授業終了後その日の講義内容をレポート用紙 にまとめるなど2時間以上の復習に充ててく ださい。なお、在宅学習の場合、課題を出す ことでもありますので、準備しておくこと。	
14	アスリートとしての食事管理 >>> 様々な栄養素もやみ雲に摂取しても 意味がありません。栄養素を摂取する適切な タイミングについて学習します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キー ワードを参考文献等により、内容確認を行う など、2時間以上予習をしてください。また 授業終了後その日の講義内容をレポート用紙 にまとめるなど2時間以上の復習に充ててく ださい。なお、在宅学習の場合、課題を出す ことでもありますので、準備しておくこと。	
15	まとめ（3大栄養素の代謝経路について） >>> 栄養素の代謝経路を統合して解説し ながら試験対策についても講義します。	シラバスを参照のうえ、その関連事項・キー ワードを参考文献等により、内容確認を行う など、2時間以上予習をしてください。ここ までの授業を通して重要なポイントについて まとめるなど最低2時間以上十分な復習をし て定期試験に臨むようにしてください。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ATH314
授業形態： 講義
科目名： スポーツ医学
担当教員： 阿部 純也(ABE Junya)

【授業の紹介】

本講義ではスポーツ指導者としての基礎的な医学的知識、スポーツと健康との関連についての理解を深めます。またスポーツ中のケガや病気の現状と予防対策を学び、救急処置や傷の手当て、アスレチック・リハビリテーションなどの実際を学びます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. スポーツ指導者に必要な基礎的な医学的知識を理解することができる。
2. スポーツ活動と健康との関係を医学的に説明できる。
3. スポーツ活動中のケガや病気について理解できる。

【成績の評価】

授業態度・レポート（60%）、定期試験（40%）レポートについては講義時に評価し、助言、修正や追加によりフィードバックを行う。
出席率70%以上を原則として、評価点が全体の60%以上を合格とする。

【使用テキスト】

使用せず、資料を配布する。

【参考文献】

福林徹・武富修治『アスレチックリハビリテーションガイド』（文光堂,2018）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
2	スポーツと健康	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
3	スポーツの内科的障害と対策	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
4	スポーツ外傷	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
5	スポーツ障害	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
6	頭頸部の外傷・障害	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
7	上肢の外傷・障害	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
8	体幹の外傷・障害	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
9	下肢の外傷・障害	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
10	救急処置	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
11	傷の手当てと応急処置	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
12	基本動作習得を目的としたアスレティック・リハビリテーション	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
13	競技の特性に応じたアスレティック・リハビリテーション	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
14	コンディショニングの手法	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
15	事例に対する計画の立案と実践	学習内容の予習・復習を積極的に行う。（準備学習2時間＋事後学習2時間） 授業後には、ノートや資料を用いて実践への応用について考察する。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ATH212
授業形態： 講義
科目名： スポーツ心理学
担当教員： 中塚 勝俊(NAKATSUKA Katsutoshi)

【授業の紹介】

スポーツ心理学は、スポーツに関する精神的領域を対象とする学問です。本授業では、スポーツの実践や指導に必要な心理学的基礎を学び、生涯スポーツを視野にスポーツ指導員としてあるいは、競技者としての必要な心理学的識見を身に付け、スポーツ経営を通して卒業後地域社会に貢献することをめざします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	5. グローバル社会においても自らの力を地域社会に役立てようとする志を持ち、ビジネスや起業などの活動を通してその発展に貢献できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	

【到達目標】

スポーツ指導員としての心理学的知識を学修し、それらを選手としての競技、スポーツ技能の指導、スポーツの動機づけ、スポーツの心理学的効果などに応用し、地域スポーツ現場で活躍できる人材となる意欲を高めることができる。

【成績の評価】

- ・ 授業態度[授業への参加度] (20%)、提出物(授業へのコメント・レポート) (20%)、定期試験(60%)から総合的に評価します。
- ・ 提出物に関しては、授業時にコメントを返却します。テストについては、個人的に研究室でフィードバックします。

【使用テキスト】

伊達万里子他(編著)「新・スポーツ心理学」(嵯峨野書院、2015)2600円

【参考文献】

授業中に、スポーツの心理学的知見を資料などを随時配布します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	自分が経験したスポーツ（3年以上）について何を得たかをまとめノートに記述しておくこと。（2時間）授業中に話される他者の経験談を参考に自分の気づきを文章にまとめること。（2時間）	
2	スポーツ心理学の内容	自分が今まで既習した心理学の内容で印象に残っている事象とその理由についてノートに文章化しておくこと。（2時間）スポーツにおいて心理学的知識が関係していると思われる事柄についてノートに整理しておくこと。（2時間）	
3	スポーツと認知・反応 運動学習、感覚と認知	心理学における「認知」について調べ、具体的日常場面を挙げノートに文章化しておくこと。（2時間）感覚と認知の違いを自ら体験した事例をノートにまとめること。（2時間）	
4	スポーツと認知・反応 空間の認知、速度の認知	主観的認知、客観的認知について調べ、自分の体験例をノートに文章化しておくこと。（2時間）スポーツ場面において体験される空間の認知、速度の認知についてノートにまとめること。（2時間）	
5	スポーツ技能の学習 スポーツ技能の学習過程	技能学習が必要とされるスポーツの種類の内、一つを取り上げskillの上達のプロセスについて視覚化した図をノートに記載すること。（2時間）授業中に提供される3種類の様相を参考に予習でとりあげたスポーツの上達過程を振り返りノートにまとめること。（2時間）	
6	スポーツ技能の学習 言語による指導、視覚的指導、動機づけ	自分が体験したスポーツにおいて指導者から受けた意欲の向上につながる指導法について整理しノートにまとめること。（2時間）スポーツにおけるコツを伝える「わざ言語」について調べノートに整理しておくこと。（2時間）	
7	スポーツの動機づけ理論	教科書の動機づけ理論に目を通し使用されている専門用語について調べ、ノートに整理しておくこと。（2時間）動機づけ、内発的動機づけの効用と限界についてノートにまとめること。（2時間）	
8	スポーツと発達 発達とは、発達の要因	生涯発達理論について調べ、主なキーワード三つについてノートにまとめること。（2時間）生涯発達とスポーツの複合性について自分の考えをノートにまとめること。（2時間）	
9	スポーツと発達 運動発達の段階と特徴	生涯における運動発達（上昇・下降）について教科書を読みノートに文章化しておくこと。（2時間）運動発達が下降するスポーツの種類と内容についてノートに文章化しておくこと。（2時間）	
10	スポーツの心理学的効果	スポーツが人間に及ぼす好影響、悪影響を調べ、それぞれノートに文章化しておくこと。（2時間）授業中に提案されるストレス対処法とスポーツの関係についてノートに整理しておくこと。（2時間）	
11	スポーツ・カウンセリング カウンセリングとは	臨床心理学におけるカウンセリングの種類を調べ、その特徴についてノートにまとめてお	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		くこと。（2時間）スポーツカウンセリングとメンタルトレーニングの差異についてまとめノートに記述しておくこと。（2時間）	
12	スポーツカウンセリング スポーツカウンセリングと心理学的技法	カウンセリング技法の中の非指示的、指示的カウンセリングの違いを文章にまとめノートに記述しておくこと。（2時間）授業中に提供される認知行動療法についてまとめノートに記述しておくこと。（2時間）	
13	スポーツカウンセリングの諸技法 来談者中心カウンセリング	来談者中心カウンセリングについて文献などを読み、ノートにまとめておくこと。（2時間）来談者中心カウンセリングの短所・長所について考えノートに列挙しておくこと。（2時間）	
14	スポーツカウンセリングの諸技法 認知的行動療法	認知行動療法について調べ、この療法の基本的考え方についてまとめノートに記述しておくこと。（2時間）認知行動療法がスポーツにおけるストレスマネジメントに果たす役割についてまとめノートに文章化しておくこと。（2時間）	
15	スポーツカウンセリングの諸技法 自己リラクゼーション、イメージトレーニング	心理的リラクゼーションの方法について調べノートに整理しておくこと。（2時間）イメージトレーニングのスポーツにおけるパニック障害への応用可能性についてまとめノートに整理しておくこと。（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ATH312
授業形態： 講義
科目名： コーチング論
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

この授業は、スペインのハンドボールチームでコーチとして指導をした実務経験のある教員が担当している。心理学的な理論と実際のコーチング場面を結び付けて考察することにより、各自が実際の指導場面に応用できるコーチングの技法を修得することが本講義のねらいである。具体的には、体育の授業や部活動等スポーツの指導場面において心理学的な視点から概観し、選手が力を発揮し成果をあげるために指導者は何をすべきかを考えることや、実践的な問題解決方法を学んでいく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

コーチングを行う上で必要な専門的知識および理論を修得することができる。
様々なスポーツ指導場面に生かすコーチングの技法を修得することができる。
アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、コーチングにおける諸問題に対し、既存の知識を応用して新たな問題点の発見や解決する力を修得することができる。

【成績の評価】

授業態度（40％）、レポート（30％）、定期試験（30％）で評価する。
また、レポートについてはその都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。

60点以上を合格とする。

【使用テキスト】

テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】

公益財団法人 日本スポーツ協会編 『Reference Book』 2021年
佐藤英郎著 『プレイングマネージャーのための新図解コーチング術』（アーク出版、2010年）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、スペインのハンドボールチームでコーチとして指導をした実務経験のある教員が担当している。授業の中では、日本とスペインのコーチングの違いやスペインのライセンス制度なども紹介し、学んでいく。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス（スポーツ指導者とは）	予習としてコーチングやスポーツ指導について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
2	指導者の心構え・視点、指導哲学、プレーヤーとの関係	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
3	リーダーシップの理論	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
4	言語による指導（フィードバックの種類と効果的な利用法）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
5	言語による指導（イメージを引き出す言葉、褒め言葉）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
6	視覚的な指導	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
7	競技者育成プログラムの理念および理念に基づく展開	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
8	スポーツ活動と安全管理	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
9	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の責任	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		自分なりの意見をノートに記載しておくこと （2時間）	
10	スポーツ事故における法的責任	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
11	ヨーロッパにおけるコーチング（自主性の発揮）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
12	ヨーロッパにおけるコーチング（コーチライセンスの仕組み）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
13	コーチングにおける年間計画の立て方	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
14	スポーツにおける人権問題	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
15	総括（第2回から第14回の講義の中で、特に興味深かったテーマについて討議する）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ATH313
授業形態： 演習
科目名： コーチング演習
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

この授業は、スペインのハンドボールチームでコーチとして指導をした実務経験のある教員が担当している。指導教員と受講生による双方向のコミュニケーションを通して、コーチング論において学んだ効果的なコーチングに関する専門的知識および技能を、自分自身のコーチング場面にどのように適用できるかを検討していく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

様々なスポーツにおいて効果的なコーチングに関する専門的知識および技能が修得できる
コーチングに関する専門的知識および技能を実際のコーチング場面で活かすことができる
アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、既存の知識を応用し
コーチングにおける新たな問題点の発見およびそれを解決する力を修得することができる。

【成績の評価】

授業態度（40%）、レポート（30%）、定期試験（30%）で評価する。
また、レポートについてはその都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、
定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。

60点以上を合格とする。

【使用テキスト】

テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】

河野一郎監修、勝田隆著『知的コーチングのすすめ』（大修館書店、2010年）
R.W. クリスチナ、D.M. コーコス著『スポーツ技術の指導』（大修館書店、1993年）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、スペインのハンドボールチームでコーチとして指導をした実務経験のある教員が担当している。日本とスペインのコーチングの違い（実際のコーチング場面を紹介・実践）や、スペインでのライセンス制度について学んでいく。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	予習としてコーチングやスポーツ指導について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
2	我が国における指導者養成の歩みと資格制度	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
3	コーチングにおける基礎知識	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
4	コーチングにおけるリーダーシップ	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
5	ジュニア期におけるコーチング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
6	コーチングの実践（ゴール型スポーツ）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
7	コーチングの実践（ネット型スポーツ・ベースボール型スポーツ）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
8	スポーツにおけるチーム・マネジメント	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		(30分)	
9	チーム・マネジメントの実践	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
10	トレーニング計画の立案	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
11	ゲーム分析とその活用方法	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
12	プロスポーツチームの指導者によるコーチング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
13	ゲームにおけるコーチング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
14	コーチングクリニック	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
15	総括（第2回から第14回の講義の中で、特に興味深かったテーマについて討議する）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
	定期試験(実施する)		担当：花城 清紀

科目ナンバリング： ATH311
授業形態： 講義
科目名： トレーニング論
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

健康の維持・増進や競技力・スポーツパフォーマンス向上のためにトレーニングは欠かすことができない。よって本講義は、身体の仕組みを理解するとともに、トレーニングに関する基礎的な知識を身につけ、適切なトレーニングが処方できる基礎を学ぶことを目的とする。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

身体の仕組みを理解するとともに、トレーニングに関する基礎的な知識を身につけることができる。体育の授業や部活動等の実践場面において合理的かつ総合的なトレーニング計画の立案と実行ができる。
アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、トレーニングにおける課題に対し、既存の知識を応用して新たな問題点の発見や解決する力を修得することができる。

【成績の評価】

授業態度（40%）、レポート（30%）、定期試験（30%）で評価する。
また、レポートについてはその都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。

60点以上を合格とする。

【使用テキスト】

テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】

宮下 充正著 『トレーニングの科学的基礎』（ブックハウス・エイチディ、2007年）
有賀 誠司著 『基礎から学ぶ！筋力トレーニング』（ベースボール・マガジン社、2008年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	予習としてトレーニングについて日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
2	トレーニングとは	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
3	体力とは 体力の概念	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
4	トレーニングの進め方	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
5	トレーニングの種類	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
6	トレーニング理論とその方法	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
7	トレーニングと栄養	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
8	トレーニング計画と実際	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
9	理論に基づいたトレーニング計画の具体案	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
10	体力テストとその活用（形態、身体組成、筋力、筋パワーの測定と評価）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
11	体力テストとその活用（無酸素性能力、有酸素性能力の測定と評価）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
12	ジュニア期のトレーニング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
13	中高年者のトレーニング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
14	各競技におけるトレーニング	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
15	総括（第2回から第14回の講義の中で、特に興味深かったテーマについて討議する）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（2時間） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ATH321
授業形態： 講義
科目名： スポーツ経営学
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

この講義の目的は、スポーツ組織の経営活動に貢献できる人材になることを目指し、スポーツ経営学の基礎知識を理解するとともに、スポーツサービスを企画する技能を身に付けることです。スポーツ基本法に示されている通り、スポーツは人々の生活を豊かにする世界共通の文化だと言えます。ところが、わが国には、暴力やハラスメントあるいはドーピングなどの問題が象徴するように、スポーツ振興上の課題が山積しています。そこでこの講義では、「スポーツ経営とは何か」という問いを中心に、人々のスポーツ行動を支える「スポーツサービス」や、サービスの提供主体である「スポーツ経営組織」に関する知識と技術を学びます。

また、この講義は公認スポーツ指導者講習（日本スポーツ協会）「共通科目」の免除、ならびに「スポーツ指導基礎資格（スポーツリーダー）」の交付に単位取得が必要となる科目であり、履修にあたっては「スポーツ社会学」（2年次後期配当科目）を履修していることが望ましいです。

なお、この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：jd6qabn）を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. スポーツ経営学の主要な概念を説明できる。
2. スポーツ経営の仕組みを説明できる。
3. スポーツサービスを企画できる。
4. 経験的なデータを収集し、自分の考えを効果的に表現できる。

【成績の評価】

- ・試験（小テスト、中間試験）60%
- ・レポート 40%

《フィードバックの方法》

小テストは講義中に答え合わせをします。中間試験は、次の講義で採点したものを返却します。レポート課題は、次の講義で講評をおこないます。

【使用テキスト】

柳沢和雄・木村和彦・清水紀宏 編著『テキスト 体育・スポーツ経営学』（大修館書店、2017年）1,800円

【参考文献】

八代勉・中村平 編著『体育・スポーツ経営学講義』（大修館書店、2002年）2,200円

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomに参加し、事前アンケートに回答する。（1時間） 【復習】講義で示した参考文献を読み、疑問点についてノートにまとめておく。（3時間）	
2	スポーツ経営の概念	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
3	スポーツ経営の構造	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
4	スポーツ経営の実践領域	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
5	運動者行動論	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
6	豊かな運動生活とは	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
7	経営資源論	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
8	スポーツ事業論	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
9	スポーツ事業論	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
10	学習内容のふりかえりと中間試験	【予習】これまでの講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】中間試験の疑問点をノートにまとめておく。（2時間）	
11	運動部活動の経営論	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
12	プロスポーツの経営論	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		専門用語の意味をノートにまとめておく。 （2時間）。 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
13	職場スポーツの経営論	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。 （2時間）。 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
14	スポーツ経営人材	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。 （2時間）。 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
15	学習内容のふりかえりと今後の学習課題	【予習】これまでの講義内容を確認し、疑問点をノートにまとめておく。（2時間）。 【復習】これまでの講義を踏まえ、スポーツ事業の企画案を検討し、最終レポートにまとめて提出する（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング：

授業形態： 講義

科目名： スポーツマネジメント論

担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

この講義では、スポーツ経営学で学習した知識を定着させるとともに、それらの知識を実践現場に応用できる力量を養成することを目的としています。そのため、プログラムサービスの提案に関わる実践的活動およびスポーツ施設におけるファシリティマネジメントといった二つの題材を学習課題として設定し、グループワークやプレゼンテーションを行います。

また、スポーツ事業を行うためには、計画・実行・評価・修正のプロセスを踏まえ、スポーツ経営学の基礎的知識に基づいた事業計画および事業評価を適切に設定することが求められます。これらの課題に取り組むことによって、特に事業計画と事業評価に関わる実践的知識の獲得を目指します。

なお、この講義の履修にあたっては「スポーツ経営学」(3年・前期)を履修していることが必須となります。この授業ではGoogle Classroom(クラスコード:t6lfbvc)を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	

【到達目標】

1. スポーツ事業計画を評価できる
2. スポーツ施設管理事業の提案書を作成できる
3. 事業計画を効果的に書面および口頭で表現できる

【成績の評価】

- ・レポート 50%
- ・表現課題 50%

《フィードバックの方法》

レポートと表現課題については、次の講義で講評をおこないます。

【使用テキスト】

柳沢和雄・木村和彦・清水紀宏 編著『テキスト 体育・スポーツ経営学』(大修館書店, 2017年) 1,800円

スポーツ経営学(3年・前期)で使用したテキストです

【参考文献】

八代勉・中村平 編著『体育・スポーツ経営学講義』(大修館書店, 2002年) 2,200円

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomに参加し、事前アンケートに回答する。（1時間） 【復習】講義で示した参考文献を読み、疑問点についてノートにまとめておく。（3時間）	
2	スポーツ事業論の振り返り	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
3	事業計画と事業評価	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
4	事業計画書の作成（1）目的の設定	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
5	事業計画書の作成（2）評価の検討	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
6	事業計画書の作成（3）資料の作成	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
7	事業計画書のプレゼンテーションと評価	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
8	プログラムサービスの実践と評価	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
9	スポーツ施設のマネジメント（1）エリアサービス	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
10	スポーツ施設のマネジメント（2）指定管理者制度	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
11	スポーツ施設活用方法の検討（1）情報の収集と整理	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間） 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。（2時間）	
12	スポーツ施設活用方法の検討（2）事業の提案	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		(2時間)。 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。(2時間)	
13	スポーツ施設活用方法の検討(3)戦略の考案	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。(2時間)。 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。(2時間)	
14	スポーツ施設活用方法の検討(4)広報活動の検討	【予習】次回の講義内容を確認し、関連する専門用語の意味をノートにまとめておく。(2時間)。 【復習】講義資料の内容をノートにまとめておく。(2時間)	
15	学習内容の振り返りと今後の学習活動	【予習】これまでの講義内容を確認し、疑問点をノートにまとめておく。(2時間)。 【復習】これまでの講義を踏まえ、スポーツ事業の計画書を検討し、最終レポートにまとめて提出する(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ATH322
授業形態： 講義
科目名： スポーツマーケティング論
担当教員： 正岡 利朗(MASAOKA Toshirou)

【授業の紹介】

スポーツがビジネスとして認知されるにつれ、スポーツ産業なるものが大きな市場を形成するようになりました。そこで、この授業では、スポーツ産業（市場）を対象として、スポーツ消費者に対するマーケティング活動を理解できるようになるべく、さまざまなアプローチの方法や事例を説明します。

なお、本授業は、グループワークで情報収集・ディスカッションを行うアクティブ・ラーニング形式を採用しています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. スポーツに関わるさまざまな主体が、消費者に対してどのようなアプローチを行っているのかを理解できる。
2. 基本的なアプローチを踏まえた上でマーケティング活動のアイデアを自ら発案できる。
3. 上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティー5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】

レポート提出（100％）の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生（グループ）のレポートの結果については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

とくにありません（インターネットを使用する場合もある）。

【参考文献】

原田宗彦『スポーツマーケティング』大修館書店、2008年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	スポーツマーケティング	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
3	スポーツプロダクト	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
4	スポーツ消費者	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
5	スポーツマーケティングプラン	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
6	プロモーション	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
7	スポンサー	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
8	ブランディングとライセンス	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
9	ITの活用	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
10	価格戦略	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
11	事例研究（カマタマーレ讃岐）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
12	事例研究（高松ファイブアローズ）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>ておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
13	事例研究（香川オリーブガイナース）	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
14	事例研究（香川アイスフェローズ）	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
15	これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101

授業形態： 演習

科目名： 基礎演習

担当教員： 未包 昭彦(SUEKANE Akihiko)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101

授業形態： 演習

科目名： 基礎演習

担当教員： 高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探ることができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 村山 昂

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101

授業形態： 演習

科目名： 基礎演習

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN101
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。友達と議論を交わし、インターネットを活用して調査するアクティブラーニング手法を身につけてほしい。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

授業時間内に図書館の利用ガイダンスをおこなう。また、合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

シラバスの見方や大学内の部署、施設等を知り支障なく大学生活を送ることができる。
図書館で目的の図書を探すことができる。
大学における学習方法を理解することができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容や提出課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	自己紹介からはじめよう（Work 1）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	大学生活をデザインしよう（Work 7）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	「大学生になる」とはどういうことだろう（Work 2）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	大学とはどのようなところだろう（Work 3）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	自分の通う大学・学部・学科について知ろう（Work 4）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	大学教員や職員の仕事について知ろう（Work 5）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	キャリアをデザインしよう（Work 6）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	大学の授業について知ろう（Work 8）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	大学生活のリスクやトラブルについて考えよう（Work 9）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	アクティブラーニングをやってみよう（Work 11）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	テーマからトピックを取り出そう（Work 12）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	図書館で資料を探そう (Work 13)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	定期試験を乗り切ろう (Work 10)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ (前期の振り返り)	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 未包 昭彦(SUEKANE Akihiko)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要な場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度(30%)、チームワーク(30%)、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題(40%)により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要な場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要な場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 村山 昂

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要な場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度(30%)、チームワーク(30%)、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題(40%)により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要になる場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN102
授業形態： 演習
科目名： 基礎演習
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

大学の勉強は高校までのそれとは違うところがある。一般に、高校までは時間割は学校が決め、先生に教科書から教えてもらったことを、正確に理解し、暗記するという受動的な「学習」に留まっているが、大学では受講する授業を学生が選び、関心を持ったことを自分から調べたり、分析したり、場合によってはみんなの前で発表して受講者同士で討議をしたりするという主体的な「研究」を行うことである。基礎演習は、こうした大学生活に必要なスタディスキルの基礎を身に付ける授業である。

合同のゼミを数回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

レポートを書く際に注意すべき点や守るべき形式を理解することができる。
プレゼンテーションソフトや表計算ソフトの基本的な操作ができる。
自分の意見をわかりやすく表現したり、発表したりすることができる。

【成績の評価】

積極的な受講態度（30%）、チームワーク（30%）、およびレポート内容やプレゼンテーション等の課題（40%）により評価する。レポート等は、添削・講評しフィードバックを行う。

【使用テキスト】

吉原恵子・間淵泰尚・富江英俊・小針 誠『スタディスキルズ・トレーニング改訂版』2018年 実教出版

【参考文献】

上記の図書のほかに必要な場合は、授業で紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（前期の反省、後期の目標）	予習としてシラバスを読み、テキストに目を通して（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
2	インターネットで情報をさがそう（Work 14）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
3	本を手にして読んでみよう（Work 15）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
4	図解で考えよう（Work 16）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
5	表・グラフを使って考えよう（Work 17）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
6	議論の方法を知ろう（Work 18）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
7	レポートの基本を知ろう（Work 21）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
8	レポートの文章の特徴を知ろう（Work 19）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
9	レポートを完成させよう（Work 22）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
10	レジュメを作成してみよう（Work 20）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
11	発表の資料を作ろう（Work 23）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること（1時間）。	
12	発表をやってみよう（Work 24）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べて（1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
13	1年間（半期）の学びを振り返ろう（Work 25）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
14	コース・ガイダンス ゼミ合同	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
15	まとめ（後期の振り返り）	予習として前回の講義で指定したテキストの範囲を読み、理解できなかった単語の意味を調べてくること(1時間)。 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをノートにまとめること(1時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

この授業では、人々の行動、企業の経営戦略やそれらを取り巻く社会経済環境に関するトピックを取り上げて議論します。1授業1トピックのペースで進める予定ですが、背景となる社会構造や経営・経済理論の説明が必要な場合は、それに追加的な時間を割くこともあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 文章を要約し、それを発表することができる。
2. 他者に伝わるようにレポートや資料を書くことができる。
3. 社会課題に興味を抱き、自らの意見を持つことができる。

【成績の評価】

授業への貢献（80％）・・・教員評価と仲間評価が行われ、コメントとともに評価結果がフィードバックされます。

発表（10％）・・・発表の内容、準備資料等に関して評価が行われフィードバックされます。

レポート等の提出（10％）

- 授業に貢献する行為や積極的な発言や質問は歓迎します。評価にも加点します。
- 授業への貢献が評価されるので全授業への出席が求められます。理由なく欠席した場合、その授業への貢献はゼロ、また5分以上遅刻した場合は大きく評価を下げることになります。また、授業の進行や他の学生の学習を妨げる行為や発言があった場合も減点します。

【使用テキスト】

山崎 康司（2016）『考える技術・書く技術【スライド編】』ダイヤモンド社

山崎 康司（2011）『入門 考える技術・書く技術 日本人のロジカルシンキング実践法』ダイヤモンド社

【参考文献】

2023年度の授業内容の一部と学生の評価は研究室の前に貼ってあります。

参考資料は、適宜配布します。

アセモグル, レイブソン, リスト (2020) 『入門経済学』 東洋経済新報社
Acemoglu, D., D. Laibson and J. List (2021) Economics, Global Edition

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	高大ドリルの使い方 30分 人生グラフを書いてみよう。	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	4、5月に就職説明会と社会人基礎力を測定する合同ゼミが、それぞれ1回ずつあります。
2	高大ドリル前期目標設定 30分 人生グラフを使って自己紹介 第1回	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
3	高大ドリル 30分 人生グラフを使って自己紹介 第2回	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
4	高大ドリル 30分 ゼミでアピール 1	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
5	高大ドリル 30分 ゼミでアピール 2	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
6	高大ドリル 30分 香川県1週間滞在ツアープラン 1	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
7	高大ドリル 30分 香川県1週間滞在ツアープラン 1	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
8	高大ドリル 30分 香川県1週間滞在ツアープラン ポスター	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
9	高大ドリル 30分 香川県1週間滞在ツアープラン ポスター	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
10	高大ドリル 30分 香川県1週間滞在ツアープラン ポスター	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
11	高大ドリル 30分 香川県1週間滞在ツアープラン スライド作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
12	高大ドリル 30分 香川県1週間滞在ツアープラン スライド作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
13	ファイナル・プレゼンテーションの予行練習	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
14	ファイナル・プレゼンテーションの予行練習	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
15	ファイナル・プレゼンテーション	予習：授業の準備（2時間） 復習：授業内容の復習と論点整理（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro)

【授業の紹介】

現在、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要なお金に関する知識や判断力（「金融リテラシー」）が強く求められるようになっていきます。

この授業は、「生活スキルとして最低限身に付けるべき金融リテラシー」の習得を目指します。具体的には、私たちに身近なお金の役割り・機能のほか、金融の仕組み・金融機関の役割りなどに関連するトピックを取り上げてプレゼンテーションを行い、議論します。背景となる社会構造や経営・経済理論の説明が必要な場合は、それに追加的な時間を割くこともあります。

また、日本銀行高松支店などの視察等も実施する予定です（先方の都合で実施時期が異なることもあります）。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 文章を要約し、それを発表することができる。
2. 他者に伝わるようにレポートや資料を書くことができる。
3. 社会課題に興味を抱き、自らの意見を持つことができる。

【成績の評価】

プレゼンテーションの内容（50％）、授業中の意見交換など授業への貢献（50％）

【使用テキスト】

適宜紹介します。

【参考文献】

適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	金融に関する情報を普段から意識し、キーワードや疑問等をメモしておくこと（2時間） 配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）	
2	第1回プレゼンテーションの準備 （人生のデザインとお金）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
3	第1回プレゼンテーションの準備 （ライフプラン）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
4	第1回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
5	第2回プレゼンテーションの準備 （お金の役割り）、	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
6	第2回プレゼンテーションの準備 （資産運用とリスク・リターン）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
7	第2回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
8	第3回プレゼンテーションの準備 （経済と金融商品）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
9	第3回プレゼンテーションの準備 （クレジット、ローン）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		まとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
10	第3回プレゼンテーションの準備 （損失への備え）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
11	第3回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
12	第4回プレゼンテーションの準備 （不確実性と意思決定）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
13	第4回プレゼンテーションの準備 （金融トラブルへの対処）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
14	第4回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
15	外部視察・研修（日本銀行など）	予習として視察する外部組織（日本銀行など）の情報を収集し、質問事項などをノートに記載しておくこと。 復習として視察の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

本講義は、外国人留学生のプレゼンテーション能力を向上させることを目的としています。日本人学生は受講することができません。

「演習」では、「聴く」「話す」スキルを中心に学習します。授業では、プレゼンテーションのCDを聴いてメモを取り、その後メモを見ながら聴き取った内容を自分の言葉で発表する練習を繰り返し行います。発表練習を通して、プレゼンテーションの流れと基本的な表現を身につけます。授業全般をアクティブラーニングで構成し、各発表に対してゼミ生全員で批評を行います。発表者はゼミ生の意見を参考にして発表内容を修正し、次週再発表を行います。これを繰り返し行うことで、プレゼンテーション能力の向上を図ります。

なお、関連科目として「演習」を続けて履修してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

他者のプレゼンテーションを正確に聴き取ることができる。
プレゼンテーションの流れを理解できる。
プレゼンテーションの基本的な表現を使うことができる。

【成績の評価】

授業中の発表（50%）、レポート・小テスト（50%）

レポート・小テストは、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。

遅刻3回で欠席1回とみなす

【使用テキスト】

『アカデミック・スキルを身につける 聴解・発表ワークブック』犬飼康弘著、スリーエーネットワーク、2007年、2,500円＋税

【参考文献】

授業中に適宜資料を配付する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
2	第1課「食中毒」 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
3	第1課「食中毒」 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
4	第2課「言葉と文化」 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
5	第2課「言葉と文化」 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
6	第3課「不登校」 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
7	第3課「不登校」 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
8	問題 コンビニエンス・ストアの今後 問題 がん告知について	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジュメや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
9	第4課「高校生とバイク」 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジюмеや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
10	第4課「高校生とバイク」 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジюмеや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
11	第5課「食糧自給率」 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジюмеや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
12	第5課「食糧自給率」 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジюмеや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
13	問題 交通事故を減少させる方法について 問題 収入と労働時間について	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジюмеや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
14	第6課「子供の生活習慣病」 聴き取り練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジюмеや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
15	第6課「子供の生活習慣病」 口頭発表練習	授業中に聴き取り練習をしたプレゼンテーションの内容を、次週に自分の言葉で発表してもらうので、発表のためのレジюмеや原稿の作成等の準備を行うこと。また、授業中の発表については、授業時に講評を行うので、それらを参考にして、自分の発表内容を修正すること。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 村山 昂

【授業の紹介】

本演習の目的は、経営学の基本的な知識を学び、身近な経営現象を分析する能力の基礎を養うことにあります。レポートや卒業論文、就職活動、仕事などに経営学の知識を活かしていくためには、理論やフレームワークを正しく理解することが重要になります。本演習では、大学一年生で学んだ内容の振り返りや、今後の講義で学ぶであろう内容を先取りすることで、経営学の理論やフレームワークを正しい理解の下で習得することを目指します。

その目的を達成するために、本演習では、入門レベルの経営学の教科書を輪読していきます。ここでは、一つ一つの理論やフレームワークの内容を丁寧に確認しながら、ミクロ組織論やマクロ組織論、経営戦略論、イノベーション論の基礎的な内容を学び、経営学の全体像を大まかにつかんでいきます。

関連科目としては「経営学概論」や「経営戦略論」、「経営組織論」などがありますが、本演習では入門レベルの教科書を輪読していくため、関連科目の知識を前提とすることはありません。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 経営学の基本的な理論やフレームワークを説明できる。
2. 経営学の基本的な理論やフレームワークを使って、身近な経営現象を考察できる。
3. 自分の考えを相手に伝えるように説明することができる。

【成績の評価】

報告資料(50%)、授業への貢献(50%)を総合して評価します。

報告資料では、毎週提出されるレジュメの内容を評価します。必要に応じてフィードバックを行います。

- 授業への貢献では、議論への積極的な参加や質問、その他の工夫などを評価します。ゼミナール形式の授業では、全授業への参加と全ての課題の提出が成績評価の前提になります。したがって、遅刻や欠席、課題の未提出、不適切な言動などは大きく減点します。

【使用テキスト】

榊原清則 (2013). 『経営学入門[上] <第2版>』日本経済新聞出版社.
榊原清則 (2013). 『経営学入門[下] <第2版>』日本経済新聞出版社.

【参考文献】

参考文献については、必要に応じて授業中に紹介します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本演習の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを読み、本演習の進め方などに関する質問の有無を確認する(2時間)。 復習：講義資料を読み返し、本演習の進め方や取り組む課題を再度確認する(2時間)。	
2	経営学とは何か	予習：テキスト上巻の第1章を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
3	ミクロ組織論 組織の中の個人と集団の特性	予習：テキスト上巻の第2章の指定範囲を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
4	ミクロ組織論 組織の中の集団の機能	予習：テキスト上巻の第2章の指定範囲を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
5	マクロ組織論 組織構造	予習：テキスト上巻の第3章の指定範囲を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
6	マクロ組織論 組織デザイン	予習：テキスト上巻の第3章の指定範囲を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
7	経営戦略論 戦略論の基礎と資源戦略	予習：テキスト上巻の第4章の指定範囲を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
8	経営戦略論 競争戦略	予習：テキスト上巻の第4章の指定範囲を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
9	経営戦略論 ドメイン戦略	予習：テキスト上巻の第4章の指定範囲を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
10	企業成長のための戦略と組織	予習：テキスト下巻の第1章を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
11	国際化のための戦略と組織	予習：テキスト下巻の第2章を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジュメに追記する(1時間)。	
12	イノベーション経営の戦略と組織	予習：テキスト下巻の第3章を読み、レジュメを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレーム	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ワークの内容をレジюмеに追記する(1時間)。 。	
13	日本企業の経営課題	予習：テキスト下巻の第4章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジюмеに追記する(1時間)。 。	
14	経営学史	予習：テキスト下巻の付録1を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：テキストを読み返し、理論やフレームワークの内容をレジюмеに追記する(1時間)。 。	
15	本演習のまとめ 要点の整理と興味関心の検討	予習：本演習で読んできた中で特に面白かった／興味がひかれた議論、もしくは面白いと感じなかった／興味がひかれなかった議論を取り上げ、なぜそのように感じたのかを考えて、レジюмеにまとめてくる(2時間)。 復習：演習内の議論も踏まえて、改めて自身の関心について考える(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 日笠 倫周(HIKASA Michinori)

【授業の紹介】

本演習では、身近な社会問題を論理的に説明できるようになることを目的とします。問題を把握するためには、現象を正確に把握できる目が重要になります。情報過剰な世の中で、情報に騙されず、より正確な問題認識をするためには、データの捉え方を学ぶ必要があると考えています。

そのため、本演習では、データ分析に関する書籍の輪読とグループによるプレゼンテーションを実施します。輪読とグループワークにより考える力とデータを見る目を養うと共に、グループワークやプレゼンテーションの要点を理解して欲しいと考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 論理的に思考することができる。
2. 自分の考えを説得的に伝えることができる。
3. データを正確に把握することができる。

【成績の評価】

成績は報告（50%）、授業態度（50%）を総合して評価します。
報告については、各人の報告時に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

初回講義時に指示します。

【参考文献】

刈谷剛彦『知的複眼思考法 誰でも持っている想像力のスイッチ』（講談社、2002年）
谷岡一郎『「社会調査」のウソ』（文藝春秋、2000年）
ダレル・ハフ著、高木秀玄訳『統計でウソをつく法』（講談社、1968年）
筒井淳也『社会を知るためには』（筑摩書房、2020年）
中室牧子、津川友介『「原因と結果」の経済学』（ダイヤモンド社、2017年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
2	統計とサンプリング	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
3	平均	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
4	分散	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
5	変数と図表	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
6	相関関係	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
7	相関関係と因果関係	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
8	偶然の相関	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
9	見せかけの相関関係を生み出す因子	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
10	逆の因果関係	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
11	グループ1によるプレゼンテーション	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
12	グループ2によるプレゼンテーション	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		時間) 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
13	グループ3によるプレゼンテーション	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
14	グループ4によるプレゼンテーション	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
15	これまでのまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

1年次の基礎演習 ・ では大学生の基礎的スキルとして、「文章を読んで理解する」「話を聴いて理解する」「理解を助け、後で思い出せるように記録する」「報告文書を書く」を中心にして取り組みました。2年次の演習 ・ では「他者に伝わるように表現する」を中心とした学習に取り組みます。経営情報コースでは、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得希望者の受講を前提においた学習内容に取り組みます。

この授業では、情報処理の学習として情報システムの設計を行うことによって、Excelとは違う情報処理を経験してもらいたいと考えています。また、その体験を通じて情報産業や情報通信システムの基礎的な概念について調べ、その内容をプレゼンテーション形式で報告発表することを課します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。 2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. プレゼンテーション形式の報告発表技術を身に付け、実践することができる。
2. 情報通信システムを構成する基礎的な要素について理解し、概要について説明できる。
3. 情報通信システムの仕組みや開発工程を理解し、概要について説明できる。

【成績の評価】

プレゼンテーション（60％）と取り組む姿勢（40％）を総合的に判断して評価する
フィードバックとして、各グループ、各個人ごとに必要なものや準備物等の注意を行う。
また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】

適宜指示する

【参考文献】

図解まるわかり データベースのしくみ
坂上 幸大（著）、翔泳社 2021年、\1,848円、ISBN-13：978-4798166056

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてITパスポート試験の調査 1時間 復習として情報システムの調査 1時間	
2	情報システムとは	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
3	いろいろな情報システムを体験する	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
4	情報システムの設計とは	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
5	情報システムを考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
6	ユーザインターフェースを考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
7	ラフスケッチを書く	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
8	中間発表	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
9	情報システムとデータ	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
10	データについて考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
11	データの関連を考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
12	データベースの役割	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
13	データフローを考える ア	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
14	アプリケーションを発表する	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	レビュー	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

1年次の基礎演習 ・ では大学生の基礎的スキルとして、「文章を読んで理解する」「話を聴いて理解する」「理解を助け、後で思い出せるように記録する」「報告文書を書く」を中心にして取り組みました。2年次の演習 ・ では「他者に伝わるように表現する」を中心とした学習に取り組みます。経営情報コースでは、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得希望者の受講を前提においた学習内容に取り組みます。

この授業では、情報処理の学習としてExcelVBAを用いた売上管理システムの作成に取り組みるとともに、情報産業や情報通信システムの基礎的な概念について調べ、その内容をプレゼンテーション形式で報告発表することを課します。また、学生が企画して授業運営を行う学生企画授業を、前期では2回予定しています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. プレゼンテーション形式の報告発表技術を身に付け、実践することができる。
2. 情報通信システムを構成する基礎的な要素について理解し、概要について説明できる。
3. 情報通信システムの仕組みや開発工程を理解し、概要について説明できる。

【成績の評価】

議論への貢献（30%）、売上管理システム制作の進捗（30%）、プレゼンテーション発表（40%）それぞれ、個別の指導を通じて、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

横山達大「アプリ作成で学ぶExcelVBAプログラミング ユーザーフォーム&コントロール 2019/2016対応」（秀和システム）ISBN987-4-7980-5770-5
その他、資料を配布する。

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容(時間) / 復習内容(時間)	備考
1	ガイダンス	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	授業計画は目安であり、内容や進行は、クラスの状況に応じて変わることがあります。
2	プレゼンテーションの特徴と心構え	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
3	プレゼンテーション資料の準備1-(1)：ストーリー	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
4	プレゼンテーション資料の準備1-(2)：良いスライドとは	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
5	プレゼンテーション発表1	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
6	学生企画授業1	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
7	売上管理システム(1)：ExcelVBAの概要・作りたいアプリの概要の把握	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
8	売上管理システム(2)：商品マスタ登録画面を作る	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
9	売上管理システム(3)：商品マスタの登録処理を行うプログラムを作る	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
10	売上管理システム(4)：メニュー画面を作る	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
11	プレゼンテーション資料の準備2	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
12	プレゼンテーション発表2	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
13	売上管理システム(5)：商品マスタの修正/削除フォームを作る	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
14	学生企画授業2	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
15	総括：夏季休業中の取組みに関する説明	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

1年次の基礎演習 ・ では大学生の基礎的スキルとして、「文章を読んで理解する」「話を聴いて理解する」「理解を助け、後で思い出せるように記録する」「報告文書を書く」を中心にして取り組んだ。
2年次の演習 ・ では「他者に伝わるように表現する」を中心とした学習に取り組む。さらに経営情報コースでは、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得希望者の受講を前提においた学習内容にも取り組む。
この授業では、情報処理の学習としてExcel VBAを用いた売上管理システムの作成に取り組むとともに、情報産業や情報通信システムの基礎的な概念について調べ、その内容をプレゼンテーション形式で報告することを課す。また、学生が企画して授業運営を行う学生企画授業を、前期では2回予定している。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. プレゼンテーション形式の報告発表技術を身に付けることができる。
2. 情報通信システムを構成する基礎的な要素について理解することができる。
3. 情報通信システムの仕組みや開発工程を理解することができる。

【成績の評価】

授業内課題（20%）、3回分のプレゼンテーション（80%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、プレゼンテーション結果については解説する。

【使用テキスト】

資料を授業中に配布する。

【参考文献】

データ流通推進協議会 図解入門ビジネス 最新データ流通ビジネスがよくわかる本 ISDN 978-4798060408

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としては、GoogleClassroomから配布した資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
2	プレゼンテーションとは1（言葉遣いについて）	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
3	プレゼンテーション資料1のスライド作成	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
4	プレゼンテーション資料1の発表原稿作成	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
5	プレゼンテーション資料1の発表	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
6	プレゼンテーションとは2（フォント、図、表の使い方）	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
7	テーマの選定1（学生企画授業に向けて）	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
8	使用する図表等の選定	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する（60分程度）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシ-	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ト)を必ず実施し指定された期日に提出する(60分程度)。	
9	プレゼンテーション資料2の実施と議論	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する(60分程度)。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題(振り返りシート)を必ず実施し指定された期日に提出する(60分程度)。	
10	プレゼンテーションとは3(論理的な展開)	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する(60分程度)。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題(振り返りシート)を必ず実施し指定された期日に提出する(60分程度)。	
11	テーマの選定2(前回の振り返りを受けての学生企画授業)	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する(60分程度)。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題(振り返りシート)を必ず実施し指定された期日に提出する(60分程度)。	
12	シナリオの作成	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する(60分程度)。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題(振り返りシート)を必ず実施し指定された期日に提出する(60分程度)。	
13	発表原稿の作成とチェック	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する(60分程度)。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題(振り返りシート)を必ず実施し指定された期日に提出する(60分程度)。	
14	プレゼンテーション資料3の発表	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する(60分程度)。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題(振り返りシート)を必ず実施し指定された期日に提出する(60分程度)。	
15	総括:講評および今後の学習に関して	予習としては、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料を作成する(60分程度)。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題(振り返りシート)を必ず実施し指定された期日に提出する(60分程度)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書）は、お金という尺度によって、私たちに企業の経営状況を伝えてくれます。そのため、財務諸表を読み解くことができるようになると、企業の経営を数値によって理解することができるようになります。本講義では、こうした財務諸表を読み解く能力についての基礎を養います。

また、本講義では、プレゼンテーションやディスカッションなどのグループワークを実施し、実践的、体験的な学びを通して、企業の経営を適切に分析し、その内容を他者に伝える力を養います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書に記載されている情報を理解し、活用することができる。
2. パワーポイントなどの資料によって、自分の意見を他者に伝えることができる。

【成績の評価】

報告内容（50%）、積極的な議論への参加（50%）により総合的に評価します。
なお、報告および議論内容に関しては、授業時間内に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】

大手町のランダムウォーカー（2020）『会計クイズを解くだけで財務3表がわかる 世界一楽しい決算書の読み方』KADOKAWA

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として「財務諸表分析」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
2	財務諸表とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
3	貸借対照表とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
4	貸借対照表の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
5	貸借対照表の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
6	損益計算書とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
7	損益計算書の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
8	損益計算書の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
9	キャッシュ・フロー計算書とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
10	キャッシュ・フロー計算書の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
11	キャッシュ・フロー計算書の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
12	財務諸表を組み合わせた分析とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>てください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）</p>	
13	財務諸表を組み合わせた分析方法	<p>予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）</p>	
14	財務諸表を組み合わせた分析（ケーススタディ）	<p>予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）</p>	
15	まとめ（重要項目の確認）	<p>予習として第1回から第14回までの配布資料や質疑応答をまとめたノートを総復習してください（1時間） 復習として重要項目の確認後に理解が十分ではなかった論点の復習に取り組んでください（1時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本演習では、簿記・会計の基礎的な論点を学習します。学習は企業が公表している財務諸表を参照しながら行います。そして、初歩的な経営分析を実践します。演習ではディスカッションでの積極的な発言を希望します。すなわち、プレゼンテーションや質疑応答の能力を高めることも目的とします。なお、学生と相談の上で授業計画を変更することがあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

会計・簿記の基本的な知識を習得し、財務諸表を読み取ることができるようになる。
初歩的な経営分析を行える。
積極的に発言ができる。

【成績の評価】

演習への積極的な参加（発表・質疑応答の発言など）80%、レポート（20%）で評価します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
日商簿記検定等の資格試験についても対応していきます。

【使用テキスト】

学生と相談の上で指示します。

【参考文献】

谷武幸・桜井久勝・北川教央（2021）『1からの会計 <第2版>』碩学舎。
桜井久勝『財務会計講義』中央経済社。（最新版）
桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社。（最新版）
桑原知之（2022）『とおる簿記シリーズ 日商簿記3級に“とおる”テキスト 第3版』ネットスクール出版。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（演習の進め方について）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
2	簿記の学習 貸借対照表と損益計算書	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
3	簿記の学習 基本的な仕訳	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
4	簿記の学習 試算表の作成	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
5	会計学の学習 会計の役割	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
6	会計学の学習 制度会計と社会	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
7	会計学の学習 会計の仕組み	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	会計学の学習 貸借対照表	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
9	会計学の学習 在庫品の会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
10	会計学の学習 生産設備の会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
11	会計学の学習 金融資産の会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
12	会計学の学習 損益計算書	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
13	経営分析の基礎 儲かっている企業を見つける	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
14	経営分析の基礎 倒産しそうな企業を見つける	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	経営分析の基礎 株価との関連性	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいった、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 正岡 利朗(MASAOKA Toshirou)

【授業の紹介】

本演習は、演習、やその後の卒業論文で必要となる、「調べて、その内容を要領よくまとめて報告する」という一連の能力を向上させるために、何回かに分けて調べるべきテーマを設定し、それぞれのテーマについてまとめた資料を、他の受講生の前で発表するというパターンで授業を行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. プレゼンテーション用ソフトの効果的使用方法が理解できる。
2. プレゼンテーションの技法を確実に身につけることができる。
3. 上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティー5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】

プレゼン内容(100点満点)の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生のプレゼン内容は講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

とくにありません(インターネットを使用する場合もある)。

【参考文献】

プレゼンテーション研究会『学生のためのプレゼンテーション・トレーニング』実教出版、2015年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	イントロダクション	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	プレゼンテーション 1 回目の準備（情報収集）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
3	プレゼンテーション 1 回目の準備（情報の整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
4	プレゼンテーション 1 回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
5	プレゼンテーション 1 回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
6	プレゼンテーション 2 回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
7	プレゼンテーション 2 回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
8	プレゼンテーション 2 回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
9	プレゼンテーション 3 回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
10	プレゼンテーション 3 回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
11	プレゼンテーション 3 回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
12	プレゼンテーション 4 回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>ておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
13	<p>プレゼンテーション4回目の準備（発表用資料の作成）</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
14	<p>プレゼンテーション4回目の発表</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
15	<p>これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
	<p>定期試験(実施しない)</p>		

科目ナンバリング： GBN201
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

スポーツ振興を担う人材は、スポーツの文化的価値を理解し、スポーツ文化の創造的な発展を希求する態度が求められます。そのためこの演習では、まずフットボールを題材としてスポーツ種目の成り立ちやルールの変遷を学習します。次にスポーツ種目を興味関心に応じて選択した後、その種目の成立過程やルールの変遷に関する資料を収集・読解し、その成果をまとめて発表します。さらに、新たなスポーツを創造し、創造したスポーツを実践することによって、スポーツの成立過程やルールの重要性を実践的に学習します。これらの活動を通じて、スポーツ文化に対する理解を深めるとともに、スポーツ文化創造の力量を養うことを目指します。

なお、この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：noe64ru）を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. スポーツの文化的価値を説明できる。
2. スポーツの成立過程を調査し、その成果を表現できる。
3. 新しいスポーツを創造することができる。
4. チームでコミュニケーションを取り、協力することができる。
5. 必要な資料を適切に収集することができる。

【成績の評価】

プレゼンテーション（口頭発表） 50%
発表資料等の成果物 50%
フィードバックとして、次の演習で報告内容の講評を行います

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

ルチアーノ・ウェルニッケ著 桑田 健訳 『サッカーはなぜ11人对11人で戦うのか？』扶桑社 2022年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomに参加し、事前アンケートに回答する。（1時間）	
2	スポーツと文化	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
3	フットボールの成り立ち	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
4	フットボールのルールとその変遷	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
5	スポーツの成り立ちに関する調査（1）種目の選定	【復習】選択したテーマに基づき資料を収集し、調べた内容をパワーポイントにまとめておく。（1時間）	
6	スポーツの成り立ちに関する調査（2）資料の収集	【復習】選択したテーマに基づき資料を収集し、調べた内容をパワーポイントにまとめておく。（1時間）	
7	スポーツの成り立ちに関する調査（3）発表資料の作成	【復習】選択したテーマに基づき資料を収集し、調べた内容をパワーポイントにまとめておく。（1時間）	
8	スポーツの成り立ちに関する調査（4）プレゼンテーションと評価	【復習】他者の発表時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
9	新しいスポーツを創造することの意義と必要性	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
10	新しいスポーツの創造（1）テーマの発案	【予習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（1時間）	
11	新しいスポーツの創造（2）ルールの検討	【予習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（1時間）	
12	新しいスポーツの創造（3）用具の確認	【予習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（1時間）	
13	新しいスポーツの創造（4）プレゼンテーションと評価	【予習】新スポーツの創造に関するプレゼンテーション資料を作成する。（1時間）	
14	新しいスポーツの創造（5）実践	【復習】新スポーツの創造に関する活動を振り返り、レポートにまとめて提出する。（1時間）	
15	学習内容の振り返りと今後の学習課題の確認	【復習】学習内容を振り返り、レポートにまとめて提出する。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

キャリア・デザインやライフ・デザインに関する知識を蓄積するために、教科書を参考にしながら、労働市場や企業の人事制度に関する資料やデータを収集し、発表を通じてゼミ内で情報を共有します。特に、適切に図表を作成し報告する技術と説明を文章化する方法を身につけることで、小論文やレポートの書き方を習得します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 文章を要約し、それを発表することができる。
2. 他者に伝わるようにレポートや資料を書くことができる。
3. 社会課題に興味を抱き、自らの意見を持つことができる。

【成績の評価】

授業への貢献（80％）・・・教員評価と仲間評価が行われ、コメントとともに評価結果がフィードバックされます。

発表（10％）・・・発表の内容、準備資料等に関して評価が行われフィードバックされます。
レポート等の提出（10％）

- 授業に貢献する行為や積極的な発言や質問は歓迎します。評価にも加点します。
- 授業への貢献が評価されるので全授業への出席が求められます。理由なく欠席した場合、その授業への貢献はゼロ、また5分以上遅刻した場合は大きく評価を下げることになります。また、授業の進行や他の学生の学習を妨げる行為や発言があった場合も減点します。

【使用テキスト】

阿部・松繁（編著）（2014）『キャリアのみかた』有斐閣

【参考文献】

2023年度の授業内容の一部と評価は研究室の前に貼ってあります。
参考資料は、適宜配布します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	6ヶ月で6kg痩せる方法1 調査 ポストイットを貼る	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：調査の見直し（2時間）	
2	6ヶ月で6kg痩せる方法2 調査 ポストイットを貼る	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：調査の見直し（2時間）	
3	6ヶ月で6kg痩せる方法3 ポスター作成 発表練習	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：ポスターの完全案を作る（2時間）	
4	6ヶ月で6kg痩せる方法4 ポスター作成 発表	予習内容：発表・ポスターの改善（2時間） 復習内容：発表・ポスターの見直し（2時間）	
5	理想のチームを作る メンバーの選択 発表	予習内容：理想のチーム編成を考える（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
6	高松のどこに住むべきか ポスター作成 発表	予習内容：理想のチーム編成を考える（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
7	演習 と演習 のこれまでをグラフでふりかえる。	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
8	理想の「演習」を考える 1 具体的授業計画を作る 第1回～第5回	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
9	理想の「演習」を考える 2 具体的授業計画を作る 第6回～第10回	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
10	理想の「演習」を考える 3 具体的授業計画を作る 第11回～第15回	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
11	理想の「演習」を考える 1 シラバス案を作成する1	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
12	理想の「演習」を考える 2 シラバスを完成する1	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
13	理想の「演習」 1 スライドを作成する	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
14	理想の「演習」 2 スライドを作成する 発表の練習	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
15	理想の「演習」 3 発表	予習内容：授業の準備（2時間） 復習内容：授業の振り返り（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro)

【授業の紹介】

この授業は、演習 で学修した金融に関する基礎知識をもとに、現代の経済社会に関するトピックス（資産運用、デジタルイゼーション、年金改革など）についてプレゼンテーションを行い、議論します。さらに、金融と経済に関する知識を深めるため、金融機関の役割や証券市場などについて議論していきます。外部組織（銀行や証券会社）の視察・研修も予定しています（先方の都合により実施時期が異なる場合もあります）。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 文章を要約し、それを発表することができる。
2. 他者に伝わるようにレポートや資料を書くことができる。
3. 社会課題に興味を抱き、自らの意見を持つことができる。

【成績の評価】

プレゼンテーションの内容（50%）、発表（50%）

-

【使用テキスト】

適宜紹介します。

【参考文献】

適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	金融に関する情報を普段から意識し、キーワードや疑問等をメモしておくこと（2時間） 配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）	
2	第1回プレゼンテーションの準備 （金商品とリスク・リターン）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
3	第1回プレゼンテーションの準備 （経済と金利）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
4	第1回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
5	第2回プレゼンテーションの準備 （新NISA）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
6	第2回プレゼンテーションの準備 （iDeCo）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
7	第2回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
8	第3回プレゼンテーションの準備 （フィンテック）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
9	第3回プレゼンテーションの準備 （デジタル中央銀行券）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		まとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
10	第3回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
11	第4回プレゼンテーションの準備 （間接金融と銀行）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
12	第4回プレゼンテーションの準備 （直接金融と証券市場）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
13	第4回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
14	外部視察・研修（地元の銀行）	予習として視察する外部組織（地元の銀行）の情報を収集し、質問事項などをノートに記載しておくこと。 復習として視察の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
15	外部視察・研修（地元の証券会社）	予習として視察する外部組織（地元の証券会社）の情報を収集し、質問事項などをノートに記載しておくこと。 復習として視察の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 稲井 富赴代(INAI Tokiyo)

【授業の紹介】

本講義は、外国人留学生のプレゼンテーション能力を向上させることを目的としています。日本人学生は受講することができません。

「演習」では、自分が調べたことや自分の意見を口頭発表します。まず、プレゼンテーションの流れと関連表現を学習した上で、内容の構成、順序を重視しながら、聞いている人にわかりやすく発表する練習を行います。

授業全般をアクティブラーニングで構成し、各発表に対してゼミ生全員で批評を行います。発表者はゼミ生の意見を参考にして発表内容を修正し、次週再発表を行います。これを繰り返し行うことで、プレゼンテーション能力の向上を図ります。

なお、関連科目として「演習」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

プレゼンテーションの流れと、それに関連した表現を使うことができる。
プレゼンテーションのpptを作ることができる。
テーマに沿ってプレゼンテーションができる。

【成績の評価】

授業中の発表（50%）、レポート・小テスト（50%）

レポート・小テストは、添削・採点して次回の授業時に返却する。授業中の発表については、授業時に講評しフィードバックを行う。

遅刻3回で欠席1回とみなす

【使用テキスト】

『アカデミック・スキルを身につける 聴解・発表ワークブック』犬飼康弘著、スリーエーネットワーク、2007年、2,500円＋税

『アカデミックプレゼンテーション入門』三浦香苗・岡澤孝雄・深澤のぞみ・ヒルマン小林恭子著、ひつじ書房、2006年、2,200円＋税

【参考文献】

授業中に適宜資料を配付する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	第7課「少子化」はじめに	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしていくこと。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）	
2	第8課「少子化」保育サービスの現状と問題点	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしていくこと。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）	
3	第9課「少子化」企業の育児休業制度について	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしていくこと。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）	
4	第10課「少子化」男性の育児に対する考え方と現状	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしていくこと。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）	
5	第11課「少子化」まとめ	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしていくこと。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）	
6	プレゼンテーションの基礎	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしていくこと。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）	
7	プレゼンテーションに必要な表現「図表の説明に必要な表現」	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）</p>	
8	<p>プレゼンテーションに必要な表現 「比較の表現、引用の表現、接続の表現」</p>	<p>共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）</p>	
9	<p>pptの作り方 プレゼンテーションにおける話し方</p>	<p>共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）</p>	
10	<p>プレゼンテーション 「都市を紹介しよう」 各自の発表</p>	<p>共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）</p>	
11	<p>プレゼンテーション 「都市を紹介しよう」 各自の再発表</p>	<p>共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）</p>	
12	<p>プレゼンテーション 「伝統行事を紹介しよう」 各自の発表</p>	<p>共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）</p>	
13	<p>プレゼンテーション 「伝統行事を紹介しよう」 各自の再発表</p>	<p>共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてくること。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にして、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）</p>	
14	<p>プレゼンテーション 「自由テーマ」</p>	<p>共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	各自の発表	等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてもらうこと。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にし、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）	
15	プレゼンテーション 「自由テーマ」 各自の再発表	共通テーマに沿って各自プレゼンテーションを行うので、pptの作成・発表原稿の作成等、プレゼンテーションのための十分な準備をしてもらうこと。授業中の発表についてはゼミ生全員で批評を行うので、それらを参考にし、各自のプレゼンテーション内容を見直し、次週の再発表のための準備を行うこと。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 村山 昂

【授業の紹介】

本演習の目的は、経営戦略論の基本的な知識を使って、企業の経営戦略を分析する能力を養うことにあります。レポートや卒業論文、就職活動、仕事などに経営学の知識を活かしていくためには、知識として知っているだけではなく、それらを使いこなせるようになることが求められます。本演習では、特に経営戦略論に焦点を当て、お手本から分析手法を学び、そこで学んだ内容を実際に試してみる経験を積むことで、経営学の知識を使いこなせるようになるきっかけをつかむことを目指します。その目的を達成するために、本演習では、大きく二つのことに取り組んでいきます。第一に、経営戦略の分析例をまとめた本を輪読します。そこでは、経営戦略論の基本的な知識を使ってどのような分析をしているのか、その分析ではどのようなデータを集めているのか、そのデータを使ってどんなグラフを作成しているのか等、経営戦略の分析の仕方について学んでいきます。第二に、一つ目の取り組みで学んだ内容を活かして、実際に経営戦略を分析するグループワークを行います。事例を選んでから、データを集めて分析を行い、その分析結果をプレゼンテーションするという一連のプロセスを経験することで、経営戦略を分析できるようになるための第一歩を踏み出すことを目指します。関連科目としては「経営学概論」や「経営戦略論」などがありますが、読解に必要な知識については演習内でも若干の解説を行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 経営戦略論の基本的な知識を使って、身近な経営現象を分析できる。
2. 分析に必要なデータを考え、自力で探することができる。
3. 自分の考えを相手に伝えるように説明することができる。

【成績の評価】

授業への貢献(50%)、分析の発表内容(50%)を総合して評価します。

授業への貢献では、輪読回のレジюмеや、議論への積極的な参加、質問、その他の工夫などを評価します。

分析の発表内容については、講評を行い、フィードバックします。

評価にあたっては、同グループのメンバーからの貢献度評価も考慮に入れます。

ゼミナール形式の授業では、全授業への参加と全ての課題の提出が成績評価の前提になります。

したがって、遅刻や欠席、課題の未提出、不適切な言動などは大きく減点します。

【使用テキスト】

沼上幹＋一橋MBA戦略ワークショップ(2018). 『一橋MBAケースブック【戦略転換編】』東洋経済新報社.

【参考文献】

沼上幹(2023). 『わかりやすいマーケティング戦略 第3版』有斐閣アルマ.
その他の参考文献については、必要に応じて授業中に紹介します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 本演習の概要や進め方、ルールの説明	予習：シラバスを読み、本演習の進め方などに関する質問の有無を確認する(2時間)。 復習：講義資料を読み返し、本演習の進め方や取り組む課題を再度確認する(2時間)。	
2	丸亀製麺の事例 市場や企業の概要の示し方	予習：テキスト第3章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：市場や企業について、どのようなことを、どのようなデータで、どのように分析していたのかをノート等にまとめる(1時間)。	
3	丸亀製麺の事例 マーケティングミックスの分析	予習：テキスト第3章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：4P'sの分析で、どのようなことを、どのようなデータで、どのように分析していたのかをノート等にまとめる(1時間)。	
4	葬儀業界のティアの事例 市場や企業の概要の示し方	予習：テキスト第1章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：市場や企業について、どのようなことを、どのようなデータで、どのように分析していたのかをノート等にまとめる(1時間)。	
5	葬儀業界のティアの事例 業界の構造分析	予習：テキスト第1章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：業界の構造分析で、どのようなことを、どのようなデータで、どのように分析していたのかをノート等にまとめる(1時間)。	
6	葬儀業界のティアの事例 マーケティングミックスの分析	予習：テキスト第1章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：4P'sの分析で、どのようなことを、どのようなデータで、どのように分析していたのかをノート等にまとめる(1時間)。	
7	事例分析の実践 事例の選択	予習：インターネットや新聞で調べて、興味のある業界や企業を3つ以上選び、なぜ興味があるのかをレジюмеにまとめる(3時間)。 復習：第6回までに読んできた内容を見返し、事例分析にはどのようなデータが必要なのかを考える(1時間)。	
8	事例分析の実践 データの探索	予習：第7回の授業で選んだ業界や企業について、インターネットや図書館などを活用して、関連しそうなデータを探索する(2時間)。 復習：データの探索を進める(2時間)。	
9	事例分析の実践 事例の分析	予習：関連しそうなデータを前回に引き続き探索する(2時間)。 復習：データの探索と分析を進める(2時間)。	
10	大塚家具の事例 市場や企業の概要の示し方 業界の構造分析	予習：テキスト第6章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：業界に関する情報を示すために、どのようなことを、どのようなデータで、どのように分析していたのかをノート等にまとめる(1時間)。	
11	大塚家具の事例 時間展開の分析	予習：テキスト第6章を読み、レジюмеを作成してくる(3時間)。 復習：市場や企業について、どのようなことを、どのようなデータで、どのように分析していたのかをノート等にまとめる(1時間)。	
12	事例分析の実践 分析の進捗報告	予習：ここまでの分析状況について、パワーポイントにまとめてくる(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習：足りないデータの収集と必要な分析を進める(2時間)。	
13	事例分析の実践 発表資料の作成	予習：テキストを見返して、どのような情報を発表に盛り込む必要があるのかを考えてくる(1時間)。 復習：発表に向けて、発表資料の作成と発表の練習を行う(3時間)。	
14	事例分析の実践 分析内容の発表	予習：発表に向けて、発表資料の作成と発表の練習を行う(3時間)。 復習：発表内容や発表方法について、良かった点や改善できる点などを考える(1時間)。	
15	本演習のまとめ 経営戦略の分析についての総括	予習：前回発表した事例分析とテキストの分析を比較して、次に事例分析を行う際に活かすことができそうなポイントを考えてくる(2時間)。 復習：演習内の議論も踏まえて、本演習で学んできた事例分析の方法を振り返り、ノート等に整理する(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 日笠 倫周(HIKASA Michinori)

【授業の紹介】

本演習では、演習での学習を基礎に、身近な社会問題をマーケティングや消費者行動論の観点から説明できるようになることを目的とします。そのために、入門レベルの専門書の輪読とグループによるプレゼンテーションを実施します。輪読とグループワークにより専門知識を活用して考える術を養うと共に、グループワークの有用性を理解して欲しいと考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 論理的に思考することができる。
2. 自分の考えを説得的に伝えることができる。
3. マーケティングと消費者行動論の基礎理論を理解し説明できる。

【成績の評価】

成績は報告(50%)、授業態度(50%)を総合して評価します。
報告については、各人の報告時に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

初回講義時に指示します。

【参考文献】

沼上幹著『わかりやすいマーケティング戦略』(有斐閣アルマ,2008年)
青木幸弘著『消費者行動の知識』(日経文庫,2008年)

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
2	マーケティングと市場	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
3	マーケティング戦略	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
4	定量的データとマーケティング・リサーチ	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
5	定性的データとマーケティング・リサーチ	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
6	ブランド戦略	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
7	デジタル・マーケティング	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
8	消費者行動とマーケティング	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
9	意思決定過程	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
10	関与	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
11	態度	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
12	消費者行動の分析	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		時間) 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
13	ブランド選択	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
14	消費文化	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
15	これまでのまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

前期では、情報システムの設計を体験してもらいましたが、この授業ではプログラミングを体験してもらいます。プログラミングと言っても様々な言語やツールがありますので、その紹介を行い、いくつかの言語とツールを体験してもらいます。その体験を通じて、情報産業や情報通信システムへの理解をより深めてもらいたいと考えています。
また、大学祭への模擬店の出展を計画することにより、プロジェクトマネジメントを体験してもらいたいと考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. プログラミング言語の概略を理解できる
2. システムエンジニアの仕事を理解できる
3. プロジェクトマネジメントを理解できる

【成績の評価】

授業での成果物（60％）と取り組む姿勢（40％）を総合的に判断して評価する
フィードバックとして、各グループ、各個人ごとに必要なものや準備物等の注意を行う。
また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】

資料等を配布する。

【参考文献】

図解まるわかり データベースのしくみ
坂上 幸大 (著)、翔泳社 2021年、\ 1,848円、ISBN-13 : 978-47981660560

スラスラ読める Pythonふりがなプログラミング 増補改訂版 リブロワークス インプレス

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
2	プロジェクトマネジメント（PM）とは	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
3	スケジュールの決定	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
4	業務内容の決定	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
5	役割分担の決定	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
6	プログラミングとは	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
7	プログラミング体験：基礎 プログラミングの文法等について説明する。	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
8	プログラミング体験：基礎＋ オブジェクト指向型の考え方について説明する。	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
9	作るべきプログラムを考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
10	プログラムのシナリオを考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
11	必要となる技術を調べる	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
12	必要なアクタを考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
13	必要な機能を考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
14	データフローを考える	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
15	全体のまとめとSEの役割	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

演習では、演習に引き続き「他者に伝わるように表現する」を中心とした学習に取り組みます。経営情報コースでは、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得希望者の受講を前提においた学習内容に取り組みます。

この授業では、演習に引き続き、情報処理の学習としてExcelVBAを用いた売上管理システムの作成に取り組むとともに、情報産業や情報通信システムの基礎的な概念について調べ、その内容をプレゼンテーション形式で報告発表することを課します。報告発表は、輪番の発表と共通課題の発表があります。また、大学祭への模擬店・展示での参加を予定しています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. プレゼンテーション形式の報告発表技術を身に付け、実践できる。
2. 情報通信システムを構成する基礎的な要素について理解し、概要について説明できる。
3. 情報通信システムの仕組みや開発工程を理解し、概要について説明できる。

【成績の評価】

議論への貢献（30%）、売上管理システム制作の進捗（30%）、プレゼンテーション発表（40%）それぞれ、個別の指導を通じて、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

横山達大「アプリ作成で学ぶExcelVBAプログラミング ユーザーフォーム&コントロール 2019/2016対応」
（秀和システム）ISBN987-4-7980-5770-5
その他、資料を配布する。

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	授業計画は目安であり、内容や進行は、クラスの状況に応じて変わることがあります。
2	企画の立案(1)：ブレインストーミングとアイデアの整理、ドキュメントの整備	課題：アイデアを整理し、ドキュメントにまとめる(1時間)	
3	企画の立案(2)：WBSと役割分担	課題：WBSおよび役割分担をドキュメントにまとめる(1時間)	
4	企画の立案(3)：スケジュールリング	課題：スケジュールをドキュメントにまとめる(1時間)	
5	大学祭準備	課題：展示物や道具類、原材料を準備する(1時間)	
6	決算報告と評価点検	課題：決算報告をまとめる(1時間)	
7	売上管理システム(1)：顧客マスタの登録フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
8	売上管理システム(2)：顧客マスタの修正／削除フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
9	売上管理システム(3)：売上情報の登録フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
10	売上管理システム(4)：売上明細の修正フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
11	売上管理システム(5)：売上情報の検索フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
12	売上管理システム(6)：売上情報の修正フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
13	売上管理システム(7)：会社情報の登録／修正フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
14	売上管理システム(8)：請求書の指定フォーム、印刷フォーム	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
15	総括：春季休業中の取組みに関する説明	復習：授業で得られた気付きをノートにまとめる(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

この授業はグループによるプレゼンテーションを行う。個人で行う場合との違い等に気付くことによって、グループワークの大切さを理解することをねらっている。また、大学祭への模擬店の出店の活動等を通して、グループワークの重要性を学ぶことができると考える。そこで、大学祭への出店計画も授業内容の1つとしている。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. プレゼンテーション形式の報告発表技術を実践できる。
2. 情報通信システムを構成する基礎的な要素について、その概要を説明できる。
3. 情報通信システムの仕組みや開発工程について、その概要について説明できる。

【成績の評価】

授業内課題（20%）、グループでの役割分担表での実施（20%）、2回分のプレゼンテーション（60%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、プレゼンテーション結果については解説する。

【使用テキスト】

資料を授業中に配布する。

【参考文献】

鈴木 義幸 未来を共創する 経営チームをつくる ISBN 978-4799326930

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション／大学祭の準備1：ブレインストーミング	予習として、GoogleClassroomから提示された配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
2	大学祭の準備2 + 当日の準備についての整理	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
3	大学祭の準備3 + グループ決め（その1）	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
4	大学祭の準備4 + テーマ選定とシナリオ作成（その1）	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
5	資料作成（その1）	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
6	発表準備とレジユメの作成（その1）	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
7	グループ毎のプレゼンテーション発表（その1）大学祭に関するプレゼンテーション	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
8	これまでの振り返り	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対しての再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うこ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		とと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
9	グループ決め（その2）	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対する再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
10	テーマ選定とシナリオ作成（その2）	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対する再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
11	シナリオに沿った役割分担の確認	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対する再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
12	発表資料とレジユメの作成（その2）	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対する再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
13	グループ毎のプレゼンテーション発表（その2）グループで取り組んだ課題解決のプレゼンテーション	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対する再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
14	卒業論文に向けて	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対する再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する調査を実施し、プレゼンテーション資料作成の準備する（60分程度）。復習として、発表後の質疑応答に対する再調査およびプレゼンテーション資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分程度）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

演習 では、演習 までの学習内容を基礎として、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書）を読み解き、分析する能力を養います。

また、本講義では、プレゼンテーションやディスカッションなどのグループワークを実施し、実践的、体験的な学びを通して、企業の経営を適切に分析し、その内容を他者に伝える力を養います。

関連科目として「演習」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書に記載されている情報を理解し、簡単な分析を行うことができる。

2. パワーポイントなどの資料によって、自分の意見を他者に伝えることができる。

【成績の評価】

報告内容（50%）、積極的な議論への参加（50%）により総合的に評価します。

なお、報告および議論内容に関しては、授業時間内に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】

大手町のランダムウォーカー（2022）『会計クイズを解くだけで財務3表がわかる 世界一楽しい決算書の読み方 実践編』KADOKAWA

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として財務諸表分析の手法をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
2	財務3表とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
3	財務3表の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
4	財務3表の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
5	時系列分析とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
6	時系列分析の方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
7	時系列分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
8	競合比較分析とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
9	競合比較分析の方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
10	競合比較分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
11	事例分析とは？	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
12	事例分析の方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
13	事例分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
14	最終報告資料の作成	予習として財務諸表分析の手法と報告予定の事例をパワーポイントにまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
15	最終報告	予習として第14回で指摘された内容を踏まえ、最終報告資料を完成させてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
	定期試験（実施しない）		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本演習では演習 に続いて、簿記・会計の基礎的な論点を学習します。学習は企業が公表している財務諸表を参照しながら行います。次に、初歩的な経営分析を実践します。そして、ビジネスゲームを行い、経営や財務の基礎を習得します。演習ではディスカッションでの積極的な発言を希望します。すなわち、プレゼンテーションや質疑応答の能力を高めることも目的とします。なお、学生と相談の上で授業計画を変更することがあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

会計・簿記の基本的な知識を習得し、財務諸表を読み取ることができるようになる。
初歩的な経営分析を行える。
経営や財務の基礎を理解できる。
積極的に発言ができる。

【成績の評価】

演習への積極的な参加（発表・質疑応答の発言など）80%、レポート（20%）で評価します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
日商簿記検定等の資格試験についても対応していきます。

【使用テキスト】

学生と相談の上で指示します。

【参考文献】

谷武幸・桜井久勝・北川教央（2021）『1からの会計 <第2版>』碩学舎。
桜井久勝『財務会計講義』中央経済社。（最新版）
桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社。（最新版）
桑原知之（2022）『とおる簿記シリーズ 日商簿記3級に“とおる”テキスト 第3版』ネットスクール出版。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（演習の進め方について）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
2	簿記の学習 決算整理	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
3	簿記の学習 精算表の作成	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
4	簿記の学習 財務諸表の作成	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
5	会計学の学習 営業活動の会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
6	会計学の学習 利益構造の分析	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	
7	会計学の学習 経営管理と会計	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	経営分析の基礎 収益性の分析	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
9	経営分析の基礎 安全性の分析	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
10	経営分析の基礎 成長性の分析	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
11	経営分析の基礎 株式投資への応用	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
12	経営と財務の学習 ビジネスゲーム（練習 前半）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
13	経営と財務の学習 ビジネスゲーム（練習 後半）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
14	経営と財務の学習 ビジネスゲーム（本番 前半）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	経営と財務の学習 ビジネスゲーム（本番 後半）	予習として、テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいった、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 正岡 利朗(MASAOKA Toshirou)

【授業の紹介】

本演習は、演習に引き続き、演習、やその後の卒業論文で必要となる、「調べて、その内容を要領よくまとめて報告する」という一連の能力を向上させるために、何回かに分けて調べるべきテーマを設定し、それぞれのテーマについてまとめた資料を、他の受講生の前で発表するというパターンで授業を行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. プレゼンテーション用ソフトの効果的使用方法が理解できる。
2. プレゼンテーションの技法を確実に身につけることができる。
3. 上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティ5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】

プレゼン内容(100点満点)の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生のプレゼン内容は講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

とくにありません(インターネットを使用する場合もある)。

【参考文献】

プレゼンテーション研究会『学生のためのプレゼンテーション・トレーニング』実教出版、2015年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	イントロダクション	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	プレゼンテーション 5 回目の準備（情報収集）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
3	プレゼンテーション 5 回目の準備（情報の整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
4	プレゼンテーション 5 回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
5	プレゼンテーション 5 回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
6	プレゼンテーション 6 回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
7	プレゼンテーション 6 回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
8	プレゼンテーション 6 回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
9	プレゼンテーション 7 回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
10	プレゼンテーション 7 回目の準備（発表用資料の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
11	プレゼンテーション 7 回目の発表	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
12	プレゼンテーション 8 回目の準備（情報収集・整理）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>ておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
13	<p>プレゼンテーション8回目の準備（発表用資料の作成）</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
14	<p>プレゼンテーション8回目の発表</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
15	<p>これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答</p>	<p>毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。</p>	
	<p>定期試験(実施しない)</p>		

科目ナンバリング： GBN202
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

スポーツ振興を担う人材には、自ら問題を設定し、科学的な探求活動に従事する力が求められます。そこでこの演習では、本学所属学生のスポーツライフの実態調査という課題を通して、社会調査の基本的な考え方について理解するとともに、実際にアンケート調査を実施し、定量的データを収集・分析するための知識および技能を身に付けることを目指します。

なお、この授業ではGoogle Classroom(クラスコード：noe64ru)を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 社会調査の基本的な考え方を理解できる
2. アンケート調査を計画し実行できる
3. アンケートにおいて適切な情報を得られるように質問内容を工夫できる
4. アンケート調査から得た定量的データを学術レポートとして表現できる
5. パラグラフを意識した記述ができる

【成績の評価】

研究報告レポート 50%

研究報告プレゼンテーション 50%

フィードバックとして、オフィスアワーを活用して報告内容の講評を行います。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

戸田山和久 著『最新版 論文の教室 レポートから卒論まで』 NHK出版 2022年 1,540円

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomを通じて配布される事前アンケートに回答する。（1時間）	
2	理論、概念、リサーチクエスション	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
3	データ、方法論、調査デザイン	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
4	パラグラフライティング、文献の引用	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
5	定量的調査の考え方と進め方	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
6	既存文献のレビュー（1）：グループAからの報告	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
7	既存文献のレビュー（2）：グループBからの報告	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
8	アンケート項目の検討	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
9	調査依頼文の作成	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
10	調査結果の集計	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
11	定量的データの分析	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
12	分析結果の考察	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
13	調査報告書の作成	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
14	研究報告会：調査結果の発表	【予習】関連する図書や論文を収集し、ノートに内容をまとめておく。（1時間）	
15	学習内容の振り返り	【復習】授業内で扱った図書や論文の文献一覧を作成し、ノートにまとめておく。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

学生の興味に応じて、人材育成、教育・訓練、人事管理等、あるいは、経営に関して企業や社会が抱える課題をいくつか取り上げ、グループ・ワークを通じて理解を深めるとともに、具体的な解決策の提案まで試みます。また、それらをスライドにまとめプレゼンテーションを行います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 人材育成、教育・訓練、人事管理等に関する課題を検討し、解決策を提案できる。
2. わかりやすいスライドを作ることができる。
3. 説得力のあるプレゼンテーションができる。

【成績の評価】

グループへの貢献（60％）・・・教員評価と仲間評価が行われ、コメントとともに評価結果がフィードバックされます。
中間発表（10％）・・・発表の内容、プレゼンの技術等に関してコメントし、評価が返却されます。
最終発表（20％）・・・発表の内容、プレゼンの技術等に関してコメントし、評価が返却されます。
最終スライド（10％）・・・コメントとともに評価結果がフィードバックされます。

グループ・ワークが中心のため、全授業への出席が求められます。適切な理由なく欠席した場合は、その授業への貢献はゼロ、5分以上遅刻した場合は大きく評価をさげることになります。

【使用テキスト】

山崎 康司（2016）『考える技術・書く技術【スライド編】』ダイヤモンド社

【参考文献】

TED（YouTube）等で良い発表を学んでください。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	1. スライド・レポートとの基本 2. 研究テーマの設定 3. グループ分け	予習：教科書の第1章を読む（2時間） 復習：授業内容の復習（2時間）	4、5月に就職説明会と社会人基礎力を測定する合同ゼミが、それぞれ1回ずつあります。
2	1. スライド・レポートとは ピラミッドからスライド・レポートへ 2. グループのテーマ検討 1	予習：授業に対応する箇所を読む（2時間） 復習：研究テーマの再考(2時間)	
3	1. スライド・メッセージの鉄則 2. グループのテーマ検討2	予習：授業に対応する箇所を読む（2時間） 復習：研究テーマの再考(2時間)	
4	1. サポート・データの要点 2. 資料を集める 1	予習：授業に対応する箇所を読む（2時間） 復習：資料を使ったレポートの作成(2時間)	
5	1. 図表を使う。 ルールとエチケット 2. 資料を集める 2	予習：資料収集（2時間） 復習：資料を使ったレポートの作成(2時間)	
6	1. 表紙、目次、導入、本論、結び 2. 資料を集める 3	予習：資料収集（2時間） 復習：資料を使ったレポートの作成(2時間)	
7	1. ストーリー展開の方針 2. 資料を集める 4	予習：資料収集（2時間） 復習：資料を使ったレポートの作成(2時間)	
8	1. ストーリーボード ストーリーラインの最終チェック 2. 資料を集める 4	予習：資料収集（2時間） 復習：資料を使ったレポートの作成(2時間)	
9	1. グループのスライド作成 1	予習：スライドの準備（2時間） 復習：スライドの改善(2時間)	
10	1. グループのスライド作成 2	予習：スライドの準備（2時間） 復習：スライドの改善(2時間)	
11	中間発表 前半	予習：発表の準備（2時間） 復習：発表の改善(2時間)	
12	中間発表 後半	予習：発表の準備（2時間） 復習：発表の改善(2時間)	
13	スライドの修正1	予習：発表の準備（2時間） 復習：発表の改善(2時間)	
14	スライドの修正 2	予習：発表の準備（2時間） 復習：発表の改善(2時間)	
15	最終発表	予習：発表の準備（2時間） 復習：発表の振り返り(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro)

【授業の紹介】

現在、我が国の地方・地域は、地元香川を含め、少子・高齢化やそれに伴う人口減少などが急速に進んでおり、地域の活性化が強く求められています。

この授業は、地元香川の地域の魅力を探るとともに、どうすれば地域が活性化するか、地元企業はどんな取り組みを行っているか、香川で働く魅力は何かなどを研究し、議論します。

可能な範囲でフィールドワークを行い、地域活性化に取り組んでいる地域や地元企業等に出向いて、積極的な意見交換を行います（フィールドワークは受入れ準備などから実施時期が異なる場合があります）。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 文章を要約し、それを発表することができる。
2. 他者に伝わるようにレポートや資料を書くことができる。
3. 社会課題に興味を抱き、自らの意見を持つことができる。

【成績の評価】

プレゼンテーションの内容（50%）、授業中の意見交換など授業への貢献（50%）

【使用テキスト】

適宜紹介します。

【参考文献】

適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	地元の魅力や企業に関する情報を普段から意識し、キーワードや疑問等をメモしておくこと（2時間） 配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）	
2	第1回プレゼンテーションの準備 （地元香川の魅力）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
3	第1回プレゼンテーションの準備 （瀬戸内国際芸術祭）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
4	第1回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
5	第1回フィールドワークの準備 （瀬戸内国際芸術祭の舞台など）	予習として対象地域に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
6	第1回フィールドワークの実施	予習として対象地域に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該地域の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
7	第1回フィールドワークの振り返り	予習として対象地域に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該地域の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
8	第2回プレゼンテーションの準備 （働く意味）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
9	第2回プレゼンテーションの準備 （地元企業で働く魅力）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		まとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
10	第2回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
11	第2回フィールドワークの準備 （地元企業の研究）外部講師	予習として対象企業に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該企業の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
12	第2回フィールドワークの準備 （魅力のある地元企業）	予習として対象企業に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該企業の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
13	第2回フィールドワークの実施	予習として対象企業に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該企業の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
14	第2回フィールドワークの振り返り	予習として対象企業に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該企業の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
15	これまでの授業のまとめ	予習として地元香川の魅力や香川の企業で働く意味などを整理し、ノートに記載しておくこと。 復習として当該魅力や働く意味・課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

皆さんが考える「より良いゼミ」とは何でしょうか？本演習の担当者は、様々な考えを持つ者が集まり、主体性をもち能動的にコミュニケーションを図りながら相互の意見を尊重し、より深く学び合うことで何らかの成果を創出していく場でありたいと考えています。そのためには、自他の学習権や人権を尊重しながら、学修を継続できる好ましい学習環境を、学生と教員がともに創り出すことが前提です。ゼミは、馴れ合いの仲良しクラブではありません。学生と教員がともに切磋琢磨し創り上げる「学びの場」「成長の場」であることを認識してください。

さて、本演習では特定のテーマにもとづくプレゼンテーションやディスカッション、来るべき就職活動や卒業論文に向けた準備などを予定しています。例えば、就職活動の流れを理解し、自分自身の能力と魅力を冷静に自己分析する機会を設けています。今のうちから自己分析を始めることは、採用スケジュールから逆算すると、早すぎるとは言えません。また、特定のテーマにもとづく統計資料からその背景を読み取り、統計の用語や分析手法に興味を持ってほしいと思います。さらに本演習では、「主体性を育む」「地域社会への関心を高める」「地域社会の一員としての自覚を促す」の3つの観点から、学生の希望があれば、学内外における学生主体のプロジェクトの実施や、地域・社会貢献活動などへの自主的な判断にもとづく積極的な参加を推奨します。これらの活動は、自らの成長を促すと思われる活動を学生が主体的に行うものであり、必ずしも授業時間内に実施するものではありません。とりわけ地域・社会貢献活動は、自らの興味関心があり、無理なく続けられる活動内容が求められるでしょう。

また、本授業は原則対面で実施します。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。

Google Classroomのクラスコードは「5fko7ra」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心をもち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 自分自身の能力と魅力を冷静に自己分析し、自己成長のための研鑽を積むことができる。
2. 統計データを正しく読み解き、論理的に思考・吟味し、自分の考えをまとめることができる。
3. プレゼンテーションやディスカッションを通じて、口頭でわかりやすく説明したり、質疑応答したりすることができる。

【成績の評価】

評価項目は、受講態度（60%）、プレゼンテーション・ディスカッション内容（40%）とする。なお、本演習で制作した学習成果物等については、その都度講評を行いフィードバックするとともに、学内外へ向けて公表する場合もある。

学生には、他の学生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。さらに、本演習がより建設的で良い方向に進むような積極的な発問、提案、回答等については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。

なお、各評価項目や配点の詳細は、第1回のガイダンスで連絡する。

【使用テキスト】

なし。プリントを随時配布する。

【参考文献】

保本正芳編著『はじめの一步 基礎からはじめるデータサイエンス』ワークアカデミー、2022年。
noa出版著『活用事例でわかる！統計リテラシー』ワークアカデミー、2021年。
竹田茂生他著『ゼロからの統計学 - 使えるシーンが見える - 』くろしお出版、2010年。
戸田山 和久著『最新版 論文の教室 - レポートから卒論まで - 』NHKブックス、2022年。
桑田てるみ他著『学生のレポート・論文作成トレーニング 改訂版 - スキルを学ぶ21のワーク - 』実教出版株式会、2015年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス Google Classroomへの参加 （クラスコード 5fko7ra） 高大ドリルについて	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
2	情報収集の仕方 「Chat GPTの誤りを収集せよ！」	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。プレゼンテーションのテーマにもとづき、情報収集を行い、スライドを作成し、発表準備を行うこと（予習：1時間）。	
3	情報収集の仕方 「全国の“たーちゃん”を搜索せよ！」	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。プレゼンテーションのテーマにもとづき、情報収集を行い、スライドを作成し、発表準備を行うこと（予習：1時間）。	
4	プレゼンテーション	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。プレゼンテーションのテーマにもとづき、情報収集を行い、スライドを作成し、発表準備を行うこと（予習：1時間）。	
5	統計データを読み取る	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
6	ディスカッション 「大学で学ぶ意義と、これからの2年間」	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。ディスカッションのテーマにもとづき、これまでの生き方を振り返り、これからの生き方を熟考し、自分の意見をまとめておくこと（予習：1時間）。	
7	就職活動に向けた準備 社会人基礎力診断、学修ポートフォリオの入力	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
8	就職活動に向けた準備 リテラシー（論理的思考力）とコンピテンシー（実践的な行動特性）の診断	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
9	就職活動に向けた準備 リテラシー（論理的思考力）とコンピテンシー（実践的な行動特性）の診断結果の振り返り	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
10	就職活動に向けた準備 協働的問題解決力の診断（Ai GROWの実施）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間）。	
11	就職活動に向けた準備 マイナビ、リクナビ登録	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
12	就職活動に向けた準備 就活スタートアップ講座	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
13	就職活動に向けた準備 履歴書・エントリーシートの書き方	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
14	就職活動に向けた準備 自己紹介書作成に向けて	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
15	これまでの授業のまとめ（学修した重点項目の確認）と質疑応答	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

「失われた30年」を経た日本、そして地方の衰退は加速度的に進んでいる。人手不足に代表される地方における経営資源の不足は、地方の企業だけではなく、地方の経済・社会システムまでを脅かしている。本演習においては、地方衰退の現状を確認し、その解決策を発見するために、複数回のフィールドワーク(現地の見学、現地でのインタビューなど)を実施する予定である。フィールドワークを実施する際には、通常の時間帯の講義を休講し、土曜日を実施する可能性があることに留意されたし。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

地方衰退に関連したテーマについて、自分なりの考えを持ち、それを他者に説明できる。

【成績の評価】

報告(100%)で成績の評価を行う。報告の点数に関しては、希望者に対してフィードバックを行う。

【使用テキスト】

指定しない。

【参考文献】

饗庭 伸 [2015], 『都市をたたむ 人口減少時代をデザインする都市計画』 花伝社/本体¥1,700+税/ISBN-13:978-4763407627。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス、イントロダクション、個別面談の実施 など	【予習】：2024年4月から同年9月の間に高松市周辺で行われるイベントを調べ、その概要についてノートやメモ帳(電子媒体を含む)などにまとめておくこと(1時間)。 作成物は第1回の講義に必ず持参すること。 【復習】：第1回の講義で学習ポートフォリオについて説明を行うので、指示した項目を埋めておくこと(1時間)。	
2	個別面談の実施 とグループ決め、フィールドワークの説明	【予習】：第1回の講義で学習ポートフォリオについて説明を行うので、指示した項目を埋めておくこと(1時間)。 【復習】：第2回の講義で配布したワークシートの所定の項目を埋めておくこと(1時間)。	
3	フィールドワークの準備 : 文献調査	【予習】：第2回の講義で配布したワークシートの所定の項目を埋めておくこと(30分)。 【復習】：第3回の講義で説明を行った第5回で実施するフィールドワークの準備として、指定した文献を図書館などで借りてくること(1時間)。	
4	フィールドワークの準備 : インターネット資料の調査	【予習】：第3回の講義で説明を行った第5回で実施するフィールドワークの準備として、指定した文献を図書館などで借りてくること(1時間)。 【復習】：第3回の講義で説明を行った第5回で実施するフィールドワークの準備として、この回で調べることができなかったインターネットの資料を用意しておくこと(1時間)。	
5	フィールドワーク : マップの作成	【予習】：第5回のフィールドワークの準備として、第4回の講義で配布したマップに目を通し、可能であればインターネットを活用して、マップ内の施設について調べておくこと(1時間)。 【復習】：第6回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。	
6	フィールドワーク : 現地状況を把握	【予習】：第6回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。 【復習】：第7回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。	
7	フィールドワーク : インタビュー	【予習】：第7回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。 【復習】：第8回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。	
8	フィールドワーク : まとめ	【予習】：第8回のフィールドワークの準備をしておくこと(1時間)。 【復習】：これまでのフィールドワークを踏まえて、第8回に配布したワークシートに振り返りを記入すること(1時間)。	
9	フィールドワークの振り返り	【予習】：これまでのフィールドワークを踏まえて、第8回に配布したワークシートに振り返りを記入すること(1時間)。 【復習】：第9回の講義で配布したワークシートの該当箇所を記入しておくこと(1時間)。	
10	フィールドワークの準備	【予習】：第11回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		【復習】：第11回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
11	フィールドワーク：マップの作成	【予習】：第11回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第12回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
12	フィールドワーク：現地状況を把握	【予習】：第12回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第13回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
13	フィールドワーク：インタビュー	【予習】：第13回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第14回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
14	フィールドワーク：まとめ	【予習】：これまでのフィールドワークを踏まえて、第13回に配布したワークシートに振り返りを記入すること(1時間)。 【復習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を記入しておくこと(1時間)。	
15	前期のまとめ、振り返り、期末課題の説明	【予習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を記入しておくこと(1時間)。 【復習】：期末課題を説明するので、期末課題を作成し、提出すること(4時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 日笠 倫周(HIKASA Michinori)

【授業の紹介】

本演習の目的は、「身近な社会現象をマーケティングや消費者行動論の理論で説明できるようになる」ことです。そのためには、知識を身に付け、論理的な思考力を養い、現象の裏にある法則性を論理的に理解することが必要となります。これらの能力を培うために、本演習では輪読を行います。論理的思考能力を養うということは、社会の様々な問題を読み解き解決へ導く能力を養うということです。「本を読み、考え、まとめ、議論する」という一連の流れを通じて、専門知識と論理的思考力を身に付けて欲しいと考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 論理的に思考することができる。
2. 自分の考えを説得的に伝えることができる。
3. マーケティングと消費者行動論の理論を理解し説明できる。

【成績の評価】

成績は報告（50%）、授業態度（50%）を総合して評価します。
報告については、各人の報告時に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

初回講義時に指示する。

【参考文献】

池尾恭一・青木幸弘・南知恵子・井上哲浩『マーケティング』（有斐閣,2010年）
神取道宏『ミクロ経済学の力』（日本評論社,2014年）
田村正紀『リサーチ・デザイン 経営知識創造の基本技術』（白桃書房,2006年）
野村康『社会科学の考え方 認識論、リサーチ・デザイン、手法』（名古屋大学出版会,2017年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
2	マーケティング専門書の輪読と報告（マーケティング戦略）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
3	マーケティング専門書の輪読と報告（マーケティング戦術）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
4	マーケティング専門書の輪読と報告（マーケティング・リサーチ）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
5	マーケティング専門書の輪読と報告（定量的な分析）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
6	マーケティング専門書の輪読と報告（定性的な分析）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
7	マーケティング専門書の輪読と報告（デジタル・マーケティング）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
8	マーケティング専門書の輪読と報告（ブランド・マネジメント）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
9	消費者行動論専門書の輪読と報告（デジタル化と消費者行動）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
10	消費者行動論専門書の輪読と報告（消費者行動分析におけるフレームワーク）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
11	消費者行動論専門書の輪読と報告（ロジットモデル）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
12	消費者行動論専門書の輪読と報告（プロビットモデル）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		時間) 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
13	消費者行動論専門書の輪読と報告（因子分析）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
14	消費者行動論専門書の輪読と報告（複数の消費者の反応分析）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
15	これまでのまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

この授業では、ビジネスモデルを考えることを目標としています。ビジネスモデルを考えるというとても非常に難しく感じるかもしれませんが、情報技術を使って従来のビジネスや業務を改善することもビジネスモデルの1つだと考え、テキストを読みながら、みんなでいろいろな意見を持ち寄り、新しいビジネスモデルを考えていきたいと思っています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1) DXを用いたビジネスモデルを説明できる
- (2) 自分の意見に他の人の考えを取り込むことができる
- (3) 他の人に自分の意見を説明できる

【成績の評価】

授業での成果物(60%)と取り組む姿勢(40%)を総合的に判断して評価する
フィードバックとして、各グループ、各個人ごとに必要なものや準備物等の注意を行う。
また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】

DXビジネスモデル 80事例に学ぶ利益を生み出す攻めの戦略 小野塚征志(著) インプレス 2022年
¥2,090 ISBN-10 : 4295013919

【参考文献】

適宜指示する

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
2	DXとは	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
3	DXとビジネスモデル	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
4	最近の情報技術	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
5	場の創造によるビジネスモデルの例	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
6	非効率を解消するビジネスモデルの例	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
7	需給を拡大するビジネスモデルの例	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
8	収益機会を拡張するビジネスモデルの例	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
9	ビジネスモデルの作成：テーマの決定	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
10	ビジネスモデルの作成：現状分析	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
11	ビジネスモデルの作成：問題発見	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
12	ビジネスモデルの作成：問題解決	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
13	ビジネスモデルの作成：プロセスの設計	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
14	レビュー	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
15	演習 に向けて	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対しての再調査 1時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

本演習は、卒業論文のための準備として、情報システムを図解し記述するための方法論を学ぶことを目標としています。題材としては、情報化社会の現状について勉強するとともに、「身近な情報システムについて考察する」「情報システムを組み合わせるとして便利で快適な機能を提供する」「情報システムにとって、どのようなことが危険か」ということなどテーマに繋がるものを扱います。また、本演習での実践的、体験的な学びを通して経営や社会に対する理解を深めます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. ネットワークの専門用語について独力で調べ、概念を把握することができる。
2. 情報システムの構成を図解し記述する方法を理解し、小規模のシステムについて実際に作図できる。
3. 情報システムの企画につながるアイデアを出すことができる。

【成績の評価】

授業において提示した課題への取り組み(100%)
個別の指導を通じて、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

適宜資料を配布する。

【参考文献】

荒井玲子「上流工程で成功する人、つまずく人」(技術評論社) ISBN978-4-7741-3746-9
そのほか、適宜指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	就職関連のガイダンスが行われることがあります。 また、学生の到達状況に応じて、内容を適切に変更します。 さらに、情報関連の時事的なトピックがある場合は言及します。
2	オブジェクト指向の基本概念	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	
3	UML(1)：ユースケース図	課題：ユースケース図に関する課題(1時間)	
4	UML(2)：クラス図	課題：クラス図に関する課題(1時間)	
5	UML(3)：シーケンス図	課題：シーケンス図に関する課題(1時間)	
6	UML(4)：コミュニケーション図	課題：コミュニケーション図に関する課題(1時間)	
7	UML(5)：ステートマシン図	課題：ステートマシン図に関する課題(1時間)	
8	UML(6)：アクティビティ図	課題：アクティビティ図に関する課題(1時間)	
9	UML(7)：コンポーネント図	課題：コンポーネント図に関する課題(1時間)	
10	UML(8)：配置図	課題：配置図に関する課題(1時間)	
11	要求定義モデリング	課題：要求定義モデリングに関する課題(1時間)	
12	構造モデリング	課題：構造モデリングに関する課題(1時間)	
13	振る舞いモデリング	課題：振る舞いモデリングに関する課題(1時間)	
14	実装モデリング	課題：実装モデリングに関する課題(1時間)	
15	総括：今後の学習活動と夏季休業中の取組みについて	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

現在公開されている公的統計データおよびICTに関する記事などを概観しながら、そこで発生している問題を回避、解決するための思考力・判断力を身につけることで、卒業論文作成に向けての準備とする。さらには対象に応じたどのような指導プログラムへの作成可能かについても検討する。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1)メディアの中の情報を正確にとらえ、的確に伝えることができる。
- (2)自分自身がICT問題解決力を身に付けることができる。
- (3)ICT問題解決力の必要性を他者に伝えることができるようになる。

【成績の評価】

授業において提示した課題への取り組み（100%）
リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題およびプレゼンテーション結果については解説する。
オフィスアワーを設定しているので、研究室に質問に来れば対応する。

【使用テキスト】

資料を授業中に配布する。

【参考文献】

総務省 令和5年度 情報通信白書 2023年
問題解決力を鍛える!アルゴリズムとデータ構造 大槻兼資 講談社 2020年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス ICT分野の基本データの確認	予習として、GoogleClassroomからダウンロードした配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
2	情報通信業基本調査の実際	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
3	通信利用動向調査の実際	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
4	ICT産業の市場規模について	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
5	ICTサービスの利用動向	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
6	電気通信事業におけるICT政策の最新動向	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
7	電波および放送におけるICT利活用	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
8	移動通信システムの進展	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
9	通信市場の構造変化	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行う	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
10	世界のIoTデバイス数の推移及び予測	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
11	ICTを導入・利活用することによる雇用や生活の質の変化について	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
12	ICTを活用した社会課題解決の取組	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
13	5Gがもたらす社会全体のデジタル化	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
14	5G/IoT/AI等のイノベーション	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
15	総括：今後の学習活動に向けてのアドバイス	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（2時間）。復習として、発表後の質疑応答に対する再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

有価証券報告書は、様式が統一され、監査によって信頼性が守られているため、企業を比較検討しやすいという特徴があり、業界研究や企業分析など様々な場面において役立ちます。しかし、有価証券報告書は、財務情報（会計情報）に加え、非財務情報（経営者による説明など）の記載もあり、100ページを超えるものが普通であるため、どこをどう読み進めれば良いのかというポイントを掴むことが必要になります。本講義では、こうした能力を養います。さらに、自分の意見を文章や図表で表現する練習をすることで卒業論文の執筆に備えます。

また、本講義では、プレゼンテーションやディスカッションなどのグループワークを実施し、実践的、体験的な学びを通して、企業の経営を定量的かつ定性的に分析する力を養います。さらに、次年度の卒業論文の執筆に向け、仮説の立て方や検証方法についての基礎を学んでいきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 有価証券報告書に記載されている情報を理解し、活用することができる。
2. パワーポイントなどの資料によって、自分の意見を他者に伝えることができる。

【成績の評価】

報告内容（50%）、積極的な議論への参加（50%）により総合的に評価します。
なお、報告および議論内容に関しては、授業時間内に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】

桜井久勝（2020）『財務諸表分析（第8版）』中央経済社

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として「実証会計学」について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
2	有価証券報告書の概要と探し方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
3	貸借対照表の見方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
4	貸借対照表の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
5	貸借対照表の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
6	損益計算書の見方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
7	損益計算書の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
8	損益計算書の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
9	キャッシュ・フロー計算書の見方	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
10	キャッシュ・フロー計算書の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
11	キャッシュ・フロー計算書の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
12	財務諸表分析の視点と方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		てください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
13	財務諸表分析（収益性）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
14	収益性の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
15	収益性の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本演習では、経営分析の実践を中心に行います。経営分析では、実際に企業が公表している財務諸表の数値を使用して分析を行います。各学生が分析担当企業を決めて分析を実践し、その分析結果を発表してディスカッションを行います。分析方法については適宜講義します。また、会計学の基礎知識についても適宜講義します。演習ではディスカッションでの積極的な発言を希望します。すなわち、プレゼンテーションや質疑応答の能力を高めることも目的とします。なお、学生と相談の上で授業計画を変更することがあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

経営分析の基本的な知識を習得する。
経営分析を行い、その結果についてプレゼンテーションできる。
ディスカッションにおいて積極的に発言ができる。

【成績の評価】

演習への積極的な参加（発表・質疑応答の発言など）80%、レポート（20%）で評価します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
日商簿記検定等の資格試験についても対応していきます。

【使用テキスト】

学生と相談の上で指示します。

【参考文献】

桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社。（最新版）
桜井久勝『財務会計講義』中央経済社。（最新版）
谷武幸・桜井久勝・北川教央（2021）『1からの会計 <第2版>』碩学舎。
桑原知之（2022）『とおる簿記シリーズ 日商簿記3級に“とおる”テキスト 第3版』ネットスクール出版。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（演習の進め方について）	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
2	経営分析の実践と発表 収益性の分析	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
3	経営分析の実践と発表 収益性の分析	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
4	分析結果についてのディスカッション	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
5	経営分析の実践と発表 安全性の分析	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
6	経営分析の実践と発表 安全性の分析	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
7	分析結果についてのディスカッション	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こちらの企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
8	これまでの分析結果と株価との関連性	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こちらの企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
9	経営分析の実践と発表 成長性の分析	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こちらの企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
10	経営分析の実践と発表 成長性の分析	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こちらの企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
11	分析結果についてのディスカッション	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こちらの企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
12	経営分析の実践と発表 不確実の分析	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こちらの企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。（1時間）復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。（1時間）	
13	経営分析の実践と発表 不確実の分析	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こちらの企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		をノートに書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。(1時間)	
14	分析結果についてのディスカッション	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。(1時間)	
15	これまでの分析結果と株価との関連性	予習として、主に経営分析に関してテキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、新聞や雑誌などで企業の会計数値（売上高や利益額など）を見て、この企業の経営はうまくいってそうだが、こっちは企業は倒産の危険があるんじゃないか、ということを書き込む。(1時間) 復習として、演習で学習した経営分析の方法について、ノート・テキスト・参考文献を読み返して、計算結果を確認する。(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

近年、健康・スポーツ科学における様々な分野の中で、調査的研究手法が数多く利用されている。この演習では、健康・スポーツ科学に関するデータを用いて、分析・評価・検討を行うことで、実際に起こっている事象を明らかにしていく。そのために、まず、健康・スポーツ科学に関するデータを用いた図書を参考にして実際の事例を学び、分析・評価がどのように行われているのかを学ぶ。その後、実際に用意したデータを用いての分析・評価・検討、最終的にはデータの収集から検討に至る一連の流れを経験することで、調査的研究手法の基礎を学んでいく。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

図書や論文を読み、その内容を理解し、説明できる。
データの集め方や集計方法を理解し、説明できる。
データ分析の代表的な手法について理解し、実践できる。
分析結果を論文にふさわしい文章で表現できる。

【成績の評価】

小テスト40%、最終レポート60%で評価する。
小テスト、レポートの結果および内容については授業時に公表してフィードバックを行い、質問点や疑問点については、オフィスアワーの際に解説を行う。

60点以上を合格とする。

【使用テキスト】

- ・西内 啓 著「遠藤保仁がいればチームの勝ち点は117%になる～データが見せるサッカーの新しい魅力～」(ソフトバンク新書, 2012) 730円
適宜資料も配布する。

【参考文献】

- ・P.G.ホーエル 著「初等統計学」(培風館, 1981)
- ・中西 達夫 著「悩めるみんなの統計学入門」(技術評論社, 2010)

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてスポーツ競技のデータについて日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
2	健康・スポーツ科学のデータ基礎	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
3	健康・スポーツ科学のデータ分析事例	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
4	健康・スポーツ科学のデータのまとめ	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
5	データの集計と表現の基礎知識	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
6	分散と標準偏差	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
7	様々な確率分布	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
8	独立性の検定：カイ二乗検定	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		(30分)	
9	2つの平均の差の検定：t検定	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
10	3つ以上の平均の差の検定：分散分析	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
11	小テスト（カイ二乗検定、t検定、分散分析）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として小テストでできなかったところを自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
12	データの収集	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
13	データの分析と評価	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
14	分析結果および評価の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
15	まとめ（前期の振り返り）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN301
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

スポーツ経営学をはじめとする社会科学における実証研究では、質問紙調査による量的研究手法が多く採用されています。この演習では、健康・スポーツ科学に関するデータを用いて、分析・評価・検討を行うことで、スポーツの現場で起こっている現象を数量的に明らかにする方法を学びます。そのために、まず、健康・スポーツ科学に関するデータを用いた図書を参考にして数値の捉え方を学び、それらの数値がどのように分析・評価されているのかを学びます。その後、実際にデータを用いての分析・評価・検討、最終的にはデータの収集から検討に至る一連の流れを経験することで、量的研究手法の基礎を学んでいきます。

なお、この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：e5gc453）を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

図書や論文を読み、その内容を理解し、説明できる。
データの集め方や集計方法を理解し、説明できる。
データ分析の代表的な手法について理解し、実践できる。
分析結果を論文にふさわしい文章で表現できる。

【成績の評価】

小テスト40%、最終レポート60%で評価する。
小テスト、レポートの結果および内容については授業時に公表してフィードバックを行い、質問点や疑問点については、オフィスアワーの際に解説を行う。
60点以上を合格とする。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

- ・P.G.ホーエル 著「初等統計学」（培風館，1981）
- ・中西 達夫 著「悩めるみんなの統計学入門」（技術評論社，2010）
- ・西内 啓 著「遠藤保仁がいればチームの勝ち点は117%になる～データが見せるサッカーの新しい魅力～」(ソフトバンク新書，2012)

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomに参加し、事前アンケートに回答する。（1時間）	
2	健康・スポーツ科学のデータ基礎	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
3	健康・スポーツ科学のデータ分析事例	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
4	健康・スポーツ科学のデータのまとめ	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
5	データの集計と表現の基礎知識	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
6	分散と標準偏差	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
7	様々な確率分布	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
8	独立性の検定：カイ二乗検定	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
9	2つの平均の差の検定：t検定	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
10	3つ以上の平均の差の検定：分散分析	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
11	小テスト（カイ二乗検定、t検定、分散分析）	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
12	データの収集	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
13	データの分析と評価	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
14	分析結果および評価の検討	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
15	まとめ（前期の振り返り）	【復習】学習内容を振り返り、レポートにまとめて提出する。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

演習 で行なったプレゼンテーションの内容をさらに掘り下げ、最終的には論文にまとめます。また、スライドとプレゼンテーションも引き続き改善していきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 人材育成、教育・訓練、人事管理、経営に関する課題を検討し、解決策を提案できる。
2. 学術的な論文を書くことができる。

【成績の評価】

レポート等提出物（60％）・・・日々の積み重ねを重視します。
中間発表（10％）・・・発表の内容、プレゼンの技術等に関してコメントし、評価がフィードバックされます。
最終原稿（20％）・・・コメントとともに評価結果がフィードバックされます。
最終スライドと発表（10％）・・・コメントとともに評価結果がフィードバックされます。

全授業への出席が求められます。適切な理由なく欠席した場合は、その授業への貢献はゼロ、5分以上遅刻した場合や提出が遅れた場合は大きく評価をさげることになります。

【使用テキスト】

山崎 康司（2011）『入門 考える技術・書く技術 日本人のロジカルシンキング実践法』 ダイアモンド社

【参考文献】

安宅和人(2010)『イシューからはじめよ 知的生産の「シンプルな本質」』 英治出版
TED (YouTube) 等で良い発表を学んでください。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	論文の構成	論文構成の整理（2時間） 論文構成の改善（2時間）	
2	先行研究と論文の貢献	参考文献の整理（2時間） 参考文献の追加（2時間）	
3	参考文献の書き方	参考文献の整理（2時間） 参考文献の追加（2時間）	
4	個人作業：スライドから論文の構成を考える。	論文校正の準備（2時間） 論文校正の改善（2時間）	
5	個人作業：先行研究の吟味1	先行研究の吟味1（2時間） 先行研究箇所の執筆2（2時間）	
6	個人作業：先行研究の吟味2	先行研究の再吟味（2時間） 先行研究箇所の校正（2時間）	
7	個人作業：論文の貢献	論文の貢献の再吟味（2時間） 論文の貢献箇所の校正（2時間）	
8	個人作業：参考文献リスト作成	参考文献リストの再吟味（2時間） 参考文献リストの校正（2時間）	
9	個人作業：ファーストドラフトの完成	ファーストドラフトの作成（2時間） ファーストドラフトの校正（2時間）	
10	ファーストドラフトの発表	発表スライドの準備（2時間） 発表スライドの校正（2時間）	
11	個人：論文の改善1	セカンドドラフトの準備（2時間） セカンドドラフトの校正（2時間）	
12	個人作業：論文の改善2	サードドラフトの準備（2時間） サードドラフトの校正（2時間）	
13	個人作業：論文完成	最終原稿の執筆（2時間） 最終原稿の再校正（2時間）	
14	個人作業：スライドの改善	発表スライドの改善（2時間） 発表スライドの決定と発表の練習（2時間）	
15	最終発表	発表の改善（2時間） 発表の振り返り（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 蓮井 明博(HASUI Akihiro)

【授業の紹介】

現在、我が国の地方・地域は、地元香川を含め、少子・高齢化やそれに伴う人口減少などが急速に進んでおり、地域の活性化が強く求められています。

この授業は、演習で学修した内容をさらに深めつつ、地元香川の地域の魅力を探るとともに、どうすれば地域が活性化するか、地元企業はどんな取り組みを行っているか、香川で働く魅力は何かなどを研究し、議論します。

可能な範囲でフィールドワークを行い、地域活性化に取り組んでいる地域や地元企業等に出向いて、積極的な意見交換を行います（フィールドワークは受入れ準備などから実施時期が異なる場合があります）。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 文章を要約し、それを発表することができる。
2. 他者に伝わるようにレポートや資料を書くことができる。
3. 社会課題に興味を抱き、自らの意見を持つことができる。

【成績の評価】

プレゼンテーションの内容（50％）、授業中の意見交換など授業への貢献（50％）

【使用テキスト】

適宜紹介します。

【参考文献】

適宜紹介します。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。日本銀行や地域金融機関での実務経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	地元の魅力や企業に関する情報を普段から意識し、キーワードや疑問等をメモしておくこと（2時間） 配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。講義で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめること（2時間）	
2	第1回プレゼンテーションの準備 （地元香川の魅力）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
3	第1回プレゼンテーションの準備 （屋島、小豆島などの観光地）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
4	第1回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
5	第1回フィールドワークの準備 （観光地、八十八か所霊場など）	予習として対象地域に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
6	第1回フィールドワークの実施	予習として対象地域に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該地域の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
7	第1回フィールドワークの振り返り	予習として対象地域に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該地域の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
8	第2回プレゼンテーションの準備 （働く意味）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
9	第2回プレゼンテーションの準備 （地元企業で働く魅力）	予習として事前に配布した資料に目を通し、専門用語を拾って意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。 復習としてプレゼンテーションの準備内容を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		まとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
10	第2回プレゼンテーションの発表・議論	予習として準備したプレゼンテーションの内容を確認・見直し、要領よく発表できるように工夫すること（1時間） 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（1時間）	
11	第2回フィールドワークの準備 （地元企業の研究）外部講師	予習として対象企業に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
12	第2回フィールドワークの準備 （魅力のある地元企）	予習として対象企業に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として議論の結果をまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
13	第2回フィールドワークの実施	予習として対象企業に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該企業の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
14	第2回フィールドワークの振り返り	予習として対象企業に関する情報を収集し、その魅力や課題などをノートに記載しておくこと。 復習として当該企業の魅力や課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
15	これまでの授業のまとめ	予習として地元香川の魅力や香川の企業で働く意味などを整理し、ノートに記載しておくこと。 復習として当該魅力や働く意味・課題などをまとめて再構築し、他者への説明ができるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

ゼミは、自他の学習権や人権を尊重しながら、学修を継続できる好ましい学習環境を、学生と教員がともに創り出すことが前提です。ゼミは、馴れ合いの仲良しクラブではありません。学生と教員がともに切磋琢磨し創り上げる「学びの場」「成長の場」であることを認識しましょう。

本演習では演習で学んだ内容をベースとして、来るべき卒業論文執筆に向けた学修準備および就職活動に向けた準備（進路を見据えたキャリア形成）などを行います。具体的には、卒業論文執筆の意義について理解を深めたうえで、各自が関心のある社会事象をピックアップしレポートにまとめるとともに、卒業論文中間報告会にも参加します。また、就職活動に向けて履歴書や自己紹介書の作成を行うとともに、特定のテーマにもとづくディスカッションを行います。他者との関係を築きつつ、自己の意見を他者に伝えるように表現する力、すなわち実社会に通じるコミュニケーション能力の向上につながるでしょう。さらに、学生が希望する場合は大学祭にも出店します。大学祭催し物の企画立案・準備・実践は、協調性や責任感を養うきっかけとなるでしょう。さらにまた、演習に引き続き「主体性を育む」「地域社会への関心を高める」「地域社会の一員としての自覚を促す」の3つの観点から、学生の希望があれば、学内外における学生主体のプロジェクトの実施や、地域・社会貢献活動などへの自主的な判断にもとづく積極的な参加を推奨します。これらの活動は、自らの成長を促すと思われる活動を学生が主体的に行うものであり、授業時間外に実施する場合があります。とりわけ地域・社会貢献活動は、自らの興味関心があり、無理なく続けられる活動内容が求められるでしょう。就職活動に向けた準備として、授業時間外に本学キャリア支援課がガイダンス等を行う場合がありますが、それらには積極的に参加してください。地域の発展や持続可能性を追求し、多様な主体と連携・協働できる職業人に近づけるよう日々研鑽に励みましょう。また、本授業は原則対面で開催します。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。

Google Classroomのクラスコードは「5fko7ra」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心をもち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 統計データの正しい表現方法を身につけるとともに、データを正しく読み解き、論理的に思考・吟味し、自分の考えをまとめることができる。
2. 自らの問題意識を明確化し、卒業論文のテーマを設定し、研究計画を作成することができる。
3. 自分の将来のキャリアを真剣に考え、自己分析や企業分析を入念に行ったうえで、就職活動に臨むことができる。

【成績の評価】

評価項目は、受講態度（60%）、プレゼンテーション・ディスカッション内容（20%）、履歴書・レポート等の提出物（20%）とする。なお、本演習で制作した学習成果物等については、その都度講評を行いフィードバックするとともに、学内外へ向けて公表する場合もある。

学生には、他の学生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。さらに、本演習がより建設的で良い方向に進むような積極的な発問、提案、回答等については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。なお、各評価項目や配点の詳細は、第1回のガイダンスで連絡する。

【使用テキスト】

なし。プリントを随時配布する。

【参考文献】

保本正芳編著『はじめの一步 基礎からはじめるデータサイエンス』ワークアカデミー、2022年。
noa出版著『活用事例でわかる！統計リテラシー』ワークアカデミー、2021年。
戸田山 和久著『最新版 論文の教室 - レポートから卒論まで - 』NHKブックス、2022年。
桑田てるみ他著『学生のレポート・論文作成トレーニング 改訂版 - スキルを学ぶ21のワーク - 』実教出版株式会、2015年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス Google Classroomへの参加 （クラスコード 5fko7ra） 高大ドリルについて	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
2	ディスカッション “コロナ禍があなたに気づかせたものとは？”	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。ディスカッションのテーマにもとづき、自分の意見をまとめておくこと（予習：1時間）。	
3	ディスカッション “身近なモノが10年後にどう変わったらうれしいですか？”	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。ディスカッションのテーマにもとづき、自分の意見をまとめておくこと（予習：1時間）。	
4	就職活動に向けた準備 社会人基礎力及び学修ポートフォリオ	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
5	就職活動に向けた準備 協働的問題解決力の診断（Ai GROWの実施）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
6	就職活動に向けた準備 履歴書の書き方（概要説明）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
7	就職活動に向けた準備 履歴書を書く・添削	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
8	就職活動に向けた準備 ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
9	就職活動に向けた準備 就職活動報告会	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
10	卒業論文執筆に向けた準備 卒業論文の意義と執筆要領	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	卒業論文執筆に向けた準備 研究論文の探し方	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
12	卒業論文執筆に向けた準備 研究テーマの検討	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
13	卒業論文執筆に向けた準備 テーマに沿った情報収集とレポート作成	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
14	卒業論文執筆に向けた準備 レポート添削	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
15	これまでの授業のまとめ（学修した重点項目の確認）と質疑応答	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（復習：1時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

「失われた30年」を経た日本、そして地方の衰退は加速度的に進んでいる。人手不足に代表される地方における経営資源の不足は、地方の企業だけではなく、地方の経済・社会システムまでを脅かしている。本演習においては、地方衰退の現状を確認し、その解決策を発見するために、複数回のフィールドワーク(現地の見学、現地でのインタビューなど)を実施する予定である。フィールドワークを実施する際には、通常の時間帯の講義を休講し、土曜日を実施する可能性があることに留意されたし。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

「地方衰退」、「地方再活性化」に関連するテーマに関して、批判的に検討を行い、自分の考えを他者に伝えることができる。

【成績の評価】

パワーポイントでの報告内容(50%)とフィールドワークへの参加(40%)、授業への積極性と態度(10%)で評価を行う。報告内容及び資料の点数に関しては、希望者に対してフィードバックを行う。

【使用テキスト】

指定しない。

【参考文献】

饗庭 伸 [2015], 『都市をたたむ 人口減少時代をデザインする都市計画』 花伝社 ISBN-13:978-4763407627。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス、イントロダクション、個別面談	【予習】：「地方衰退」に関連する文献やインターネット資料を調べ、ノートなどにまとめておくこと(1時間)。 【復習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めておくこと(1時間)。	
2	グループ決め、グループディスカッション	【予習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めておくこと(1時間)。 【復習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めておくこと(1時間)。	
3	フィールドワークのための資料収集	【予習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当欄を埋めておくこと(1時間)。 【復習】：第3回の講義で提示した資料を図書館などで借りてくること(1時間)。	
4	フィールドワークのための資料収集	【予習】：第3回の講義で説明した資料を図書館などで用意すること(1時間)。 【復習】：第5回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
5	フィールドワーク：現地の確認	【予習】：第5回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第6回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
6	フィールドワーク：インタビュー	【予習】：第6回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第7回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
7	フィールドワーク：まとめ	【予習】：第7回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第4回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(1時間)。	
8	フィールドワークを踏まえた報告	【予習】：第8回の報告の準備をしておくこと(1時間)。 【復習】：第8回の報告を踏まえて、第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(1時間)。	
9	ミニ・フィールドワーク	【予習】：第8回の報告を踏まえて、第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(1時間)。 【復習】：第10回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
10	ミニ・フィールドワーク	【予習】：第10回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第11回の報告の準備を行うこと(1時間)。	
11	フィールドワークを踏まえた報告	【予習】：第11回の報告の準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第11回の報告を踏まえて、第11回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(1時間)。	
12	フィールドワーク：現地の確認	【予習】：第12回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第13回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
13	フィールドワーク：インタビュー	【予習】：第13回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		【復習】：第14回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。	
14	フィールドワーク :まとめ	【予習】：第14回のフィールドワークの準備を行うこと(1時間)。 【復習】：第14回で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(1時間)	
15	これまでのまとめ、振り返り、フィードバック	【予習】：第14回の講義で配布したワークシートの該当箇所を記入しておくこと(1時間)。 【復習】：期末課題を説明するので、期末課題を作成し、提出すること(4時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 日笠 倫周(HIKASA Michinori)

【授業の紹介】

本演習の目的は、「興味のある身近な社会現象の問題点を明確化し論理的に説明できるようになる」ことです。そのために、本演習の前半では社会調査に関する専門書の輪読を行います。社会調査への理解を深めながら、論証時に必要とされる手続きを身に付けて欲しいと考えています。また、本演習の後半からは、論文の精読を行いながら、卒業論文のテーマを選定していきます。論文（で示される研究課題）を読み解きながら、個々人が興味のあるテーマを掘り下げ、卒業論文の準備を進めて欲しいと考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 論理的に思考することができる。
2. 社会調査の基礎を理解し説明できる。
3. 卒業論文のテーマを決めることができる。

【成績の評価】

成績は報告（50%）、授業態度（50%）を総合して評価します。
報告については、各人の報告時に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

初回講義時に指示する。

【参考文献】

伊神満 『「イノベーターのジレンマ」の経済学的解明』（日経BP, 2018年）
田村正紀 『リサーチ・デザイン 経営知識創造の基本技術』（白桃書房, 2006年）
戸田山和久 『論文の教室 レポートから卒論まで』（NHKブックス, 2012年）
野村康 『社会科学の考え方 認識論、リサーチ・デザイン、手法』（名古屋大学出版会, 2017年）
盛山和夫 『社会調査法入門』（有斐閣, 2004年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
2	専門書の輪読と報告（社会調査の基礎）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
3	専門書の輪読と報告（サンプリング）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
4	専門書の輪読と報告（分布と統計量）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
5	アンケート調査について	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
6	専門書の輪読と報告（検定の基本）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
7	専門書の輪読と報告（相関関係）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
8	専門書の輪読と報告（回帰分析）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
9	専門書の輪読と報告（質的データの基本）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
10	卒業論文のテーマについて	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
11	論文の精読（論文における「問い」の設定）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
12	論文の精読（論文における「主張」の明示）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		時間) 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
13	論文の精読（「論証」とは何か）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
14	論文の精読（論文執筆における「アウトライン」の役割）	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
15	卒業論文テーマの選定	予習：指定図書の該当箇所を読み込み、質問点・疑問点をノートにまとめておくこと（1時間） 復習：講義後は講義内容を振り返り、講義内容をレポートとしてまとめること（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

前期のゼミナールでは、ビジネスモデルを考えました。この授業ではそのビジネスモデルから卒業論文のタイトルと目次を作成します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1) 卒業論文のテーマを決定できる
- (2) 卒業論文の目次を作成できる

【成績の評価】

授業への取組み（10％）と成果物（90％）で総合的に判断する。
成果物については、添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

各自個別に指示する

【参考文献】

データ分析力を育てる教室 松本健太郎(著) マイナビ出版 2022年 ¥2,299 ISBN-13 : 978-4839976392

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
2	卒業論文のテーマ作り	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
3	テーマ決定のための情報収集1	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
4	テーマ決定のための情報収集2	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
5	テーマ決定のための情報収集3	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
6	テーマ決定のための情報収集4	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
7	テーマの決定(主題文を書く)	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
8	目次の作成1	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
9	目次の作成2	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
10	各章の主題文を考える1	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
11	各章の主題文を考える2	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
12	各節の主題文を考える1	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
13	各節の主題文を考える2	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
14	卒論のテーマと目次を発表する	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
15	卒業論文に向けて	予習として図書館、インターネット等での調査 1時間 復習としてゼミナールでの質疑応答に対する再調査 1時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302

授業形態： 演習

科目名： 演習

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

本演習では、卒業論文のための準備として、論文形式の文章に慣れることを目標としています。題材としては、情報化社会の現状について勉強するとともに、「身近な情報システムについて考察する」「情報システムを組み合わせるとして便利で快適な機能を提供する」「情報システムにとって、どのようなことが危険か」ということなどテーマに繋がるものを扱います。また、本演習での実践的、体験的な学びを通して経営や社会に対する理解を深めます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. ネットワークの専門用語について独力で調べ、概念を把握することができる。
2. 論文形式の文章の構成や記述の方法を理解し、与えられた文章をもとに要約を記述することができる。
3. 卒業論文のための問題設定につながるアイデアを出すことができる。

【成績の評価】

授業において提示した課題への取組み（100%）
個別の指導を通じて、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

適宜資料を配布する。

【参考文献】

山内志朗「ぎりぎり合格への論文マニュアル」(平凡社) ISBN978-4-582-85103-8
そのほか、適宜指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	就職関連のガイダンスが行われることがあります。 また、学生の到達状況に応じて、内容を適切に変更します。 さらに、情報関連の時事的なトピックがある場合は言及します。
2	企画の立案(1)：ブレインストーミングとアイデアの整理、ドキュメントの整備	課題：アイデアを整理し、ドキュメントにまとめる(1時間)	
3	企画の立案(2)：WBS	課題：WBSをドキュメントにまとめる(1時間)	
4	企画の立案(3)：組織体制の設計と役割分担	課題：役割分担をドキュメントにまとめる(1時間)	
5	企画の立案(4)：スケジュールリング	課題：スケジュールをドキュメントにまとめる(1時間)	
6	大学祭準備	課題：展示物や道具類、原材料を準備する(1時間)	
7	決算報告と評価点検	課題：決算報告をまとめる(1時間)	
8	自分の正しさを説明する	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	
9	説明の欠陥を指摘する	復習：資料の内容をもとに授業内容をまとめる(1時間)	
10	文章を読む(1)：デジタルサイネージ	課題：要約をまとめる(1時間)	
11	文章を読む(2)：知的画像認識	課題：要約をまとめる(1時間)	
12	文章を読む(3)：チームスポーツ解析	課題：要約をまとめる(1時間)	
13	文章を読む(4)：緊急医療における情報通信システム	課題：要約をまとめる(1時間)	
14	文章を読む(5)：古文書の計量分析	課題：要約をまとめる(1時間)	
15	総括：卒業論文のテーマ設定に向けて	課題：研究ノートを整備する(1時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

前期「演習」に引き続き、日々の情報に向き合う中、問題を回避、解決するための思考力・判断力を身につけることで、卒業論文作成に向けての準備とする。さらには対象に応じてどのような指導プログラム作成が可能かについても引き続き検討する。特に、論文形式の文章に慣れることで、卒業論文作成に向けての準備をする。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1)メディアの中の情報を正確にとらえ、的確に伝えることができる。
- (2)自分自身がICT問題解決力を身につけることができる。
- (3)ICT問題解決力の必要性を他者に伝えることができるようになる。

【成績の評価】

授業において提示した課題への取組み(100%)リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題およびプレゼンテーション結果については解説する。

【使用テキスト】

資料を授業中に配布する

【参考文献】

経営情報学入門 木嶋恭一他著 放送大学教育振興会 2019年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	問題解決力に関する論文検索	予習として、GoogleClassroomからダウンロードした配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
2	合同ゼミ	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
3	PDCAサイクルおよび目標設定過程	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
4	代替案発想過程	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
5	合理的判断過程	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
6	最適案導出過程	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
7	数値データの扱い	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
8	図解化の考え方、描き方	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
9	メタ認知	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
10	ブレイクスルー	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
11	グループワーク活動とファシリテーター	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
12	システム思考とデザイン思考	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
13	ゲーミング教材の基礎技術	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
14	ゲーミング教材の開発	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
15	総括：今後の卒業論文作成に向けてのアドバイス	予習として、配布資料をしっかりと読み、テーマに対する知識を整理し、資料作成の準備する（60分）。復習としては、発表後の質疑応答に対しての再整理および資料の修正を行うことと、配布資料にある課題（振り返りシート）を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 石田 裕明(ISHIDA Hiroaki)

【授業の紹介】

演習 では、演習 までの学習内容を基礎として、有価証券報告書をより深く分析する能力の修得を目指します。演習 と同じく、自分の意見を文章や図表で表現する練習をすることで卒業論文の執筆に備えます。

学習成果をレポートの形式でまとめることにより、卒業論文の練習を行います。また、本講義では、プレゼンテーションやディスカッションなどのグループワークを実施し、実践的、体験的な学びを通して、企業の経営を定量的かつ定性的に分析する力を養います。さらに、次年度の卒業論文の執筆に向け、仮説の立て方や検証方法についての基礎を学んでいきます。

関連科目として「演習 」が既習であることを前提とします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 有価証券報告書に記載されている情報を理解し、活用することができる。
2. 文章によって、自分の意見を正しく他者に伝えることができる。

【成績の評価】

報告内容（50%）、積極的な議論への参加（50%）により総合的に評価します。

なお、報告および議論内容に関しては、授業時間内に講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

なし（必要に応じてプリントを配布します）。

【参考文献】

桜井久勝（2020）『財務諸表分析（第8版）』中央経済社

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として財務3表の分析手法をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
2	財務諸表分析（生産性）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
3	生産性の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
4	生産性の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
5	財務諸表分析（安全性）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
6	安全性の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
7	安全性の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
8	財務諸表分析（不確実性によるリスク）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
9	不確実性によるリスクの分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
10	不確実性によるリスクの分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
11	財務諸表分析（成長性）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
12	成長性の分析方法	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
13	成長性の分析（ケーススタディ）	予習として事前に提示する専門用語の意味について調べ、疑問点等をノート等にまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
14	最終報告資料の作成	予習として財務3表の分析手法と報告予定の事例をパワーポイントにまとめてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
15	最終報告	予習として第14回で指摘された内容を踏まえ、最終報告資料を完成させてください（1時間） 復習として授業中に行われた質疑応答の内容などをまとめてください（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 奥原 貴士

【授業の紹介】

本演習では、論文・書籍の輪読を中心に行います。輪読は会計分野、株価と会計情報の関係などの論文・書籍を取り上げます。これらについて担当者が内容を資料にまとめて発表を行い、その後ディスカッションを行う。このような学習で会計データを使った分析方法や論文の書き方を覚えていきます。続いて、チームでテーマを決めて調査・分析を行い、レポートを書いたり発表を行います。最終的に、これらの学習から卒業論文のテーマを決めていきます。演習ではディスカッションでの積極的な発言を希望します。すなわち、プレゼンテーションや質疑応答の能力を高めることも目的とします。なお、学生と相談の上で授業計画を変更することがあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

専門的な論文・書籍の内容を理解できる。
その内容をしっかりプレゼンテーションできる。
会計データを使った分析を行い、資料を作成し発表できる。
ディスカッションにおいて積極的に発言ができる。

【成績の評価】

演習への積極的な参加（発表・質疑応答の発言など）80%、レポート（20%）で評価します。
遅刻、私語、スマホ使用などは禁止します。他の学生に迷惑をかけないように心がけてください。
日商簿記検定等の資格試験についても対応していきます。

【使用テキスト】

学生と相談の上で指示します。

【参考文献】

田村威文・中條祐介・浅野信博（2021）『会計学の手法（第2版）』中央経済社。
桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社。（最新版）
伊藤邦雄（2023）『企業価値経営 第2版』日経BP 日本経済新聞出版。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（演習の進め方について）	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
2	輪読 設備投資とその後の利益（研究の目的と背景）	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
3	輪読 設備投資とその後の利益（分析結果）	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
4	輪読 設備投資とその後の利益（研究の結論）	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
5	輪読 研究開発投資とその後の利益（研究の目的と背景）	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
6	輪読 研究開発投資とその後の利益(分析結果)	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
7	輪読 研究開発投資とその後の利益(研究の結論)	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
8	輪読 会計情報と株価との関連性（研究の目的と背景）	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
9	輪読 会計情報と株価との関連性（分析結果）	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理解を深める。(1時間)	
10	輪読 会計情報と株価との関連性（研究の結論）	予習として、論文・テキスト・参考文献を読んで内容をノートにまとめる。また、不明な点を書き込んでおく。(1時間) 復習として、演習で学習した内容について、論文・ノート・テキスト・参考文献を読み返して理	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		解を深める。(1時間)	
11	チーム別の研究発表の準備	予習・復習として、チーム別の研究について調査・分析をしっかりとこなす。(2時間～終わるまで)	
12	チーム別の研究発表の準備	予習・復習として、チーム別の研究について調査・分析をしっかりとこなす。(2時間～終わるまで)	
13	チーム別の研究発表	予習・復習として、発表の資料作成やプレゼンテーションの準備をしっかりと行う。(2時間～終わるまで)	
14	チーム別の研究発表	予習・復習として、発表の資料作成やプレゼンテーションの準備をしっかりと行う。(2時間～終わるまで)	
15	チーム別の研究発表	予習・復習として、発表の資料作成やプレゼンテーションの準備をしっかりと行う。(2時間～終わるまで)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

この演習の目的は、学術論文の要件と研究の進め方を理解し、卒業研究の計画書を作成することである。そのため、この演習では、まず、テキストから学術研究の意味や進め方を学習していく。次に、担当教員から提示された学術論文の要件に沿って、研究の背景と方法を検討し、自らの問題意識を表現していく。第15回には、研究計画の報告会を実施する。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 図書や論文を読み、その内容を理解できる。
2. 卒業研究の計画書を論文に相応しい文章表現で他者に説明できる。
3. 3つ以上の先行研究から、それらの学術的・実践的な貢献と課題を説明できる。
4. 他者の研究内容や文章表現上の問題を指摘できる。

【成績の評価】

- ・小テスト 20% (特に到達目標1に対応)
- ・研究計画書 80% (特に到達目標2、3、4に対応)

《フィードバックの方法》

研究の進捗に応じて、その都度、フィードバックをおこないます。

【使用テキスト】

上野千鶴子 著『情報生産者になる』(筑摩書房, 2018年) 920円
その他にも、スポーツ経営学(3年前期)で利用する教科書『テキスト 体育・スポーツ経営学』を利用します。

【参考文献】

ハワード・S・ベッカー著『論文の技法』講談社 1996年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてスポーツ関連の論文について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
2	学术论文の要件	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
3	研究の進め方	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
4	研究計画書の要件、小テスト	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容、また、小テストでできなかったところを自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
5	問題意識の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
6	問題意識の設定	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
7	問題意識の表現	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
8	先行研究の収集・読解	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
9	先行研究の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
10	先行研究の整理と批判的検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
11	先行研究の課題の表現	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
12	研究目的の設定・表現	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
13	調査手法の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
14	調査手法の表現	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
15	研究計画の報告	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN302
授業形態： 演習
科目名： 演習
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

【授業の紹介】

この演習の目的は、学術論文の要件と研究の進め方を理解し、卒業研究の計画書を作成することです。そのため、この演習では、まず、テキストから学術研究の意味や進め方を学習します。次に、担当教員から提示された学術論文の要件に沿って、研究の背景と方法を検討し、自らの問題意識を表現していきます。第15回には、研究計画の報告会を実施します。

なお、この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：e5gc453）を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- 1．図書や論文を読み、その内容を理解できる。
- 2．卒業研究の計画書を論文に相応しい文章表現で他者に説明できる。
- 3．3つ以上の先行研究から、それらの学術的・実践的な貢献と課題を説明できる。
- 4．他者の研究内容や文章表現上の問題を指摘できる。

【成績の評価】

- ・小テスト 20%（特に到達目標1に対応）
 - ・研究計画書 80%（特に到達目標2、3、4に対応）
- 《フィードバックの方法》
研究の進捗に応じて、その都度、フィードバックをおこないます。

【使用テキスト】

上野千鶴子 著『情報生産者になる』（筑摩書房、2018年）920円
その他にも、スポーツ経営学（3年前期）で利用する教科書『テキスト 体育・スポーツ経営学』を利用します。

【参考文献】

- ・日本スポーツ社会学会 編「スポーツ社会学研究 第29巻 第1号」（創文企画、2021）
- ・日本体育・スポーツ経営学会 編『体育・スポーツ経営学研究 第36巻』（日本体育・スポーツ経営学会、2024）
- ・日本スポーツマネジメント学会 編『スポーツマネジメント研究 第13巻』（創文企画、2021）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomに参加し、事前アンケートに回答する。（1時間）	
2	学術論文の要件	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
3	研究の進め方	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
4	研究計画書の要件	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
5	問題意識の検討	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
6	問題意識の設定	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
7	問題意識の表現	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
8	先行研究の収集・読解	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
9	先行研究の検討	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
10	先行研究の整理と批判的検討	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
11	先行研究の課題の表現	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
12	研究目的の設定・表現	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
13	調査手法の検討	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
14	調査手法の表現	【復習】授業時に抱いた疑問についてノートに書き出し、関連する資料を調べておく。（1時間）	
15	研究計画の報告	【復習】報告した研究計画に基づき、研究計画書を作成し提出する。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
科目名： 卒業論文
担当教員： 藤原 泰輔(FUJIHARA Taisuke)

【授業の紹介】

ものの考え方、現象のとらえ方、論文とはどういうものかなど、演習 及び で学んだことを背景に卒業論文を作成する。不思議な現象の発見とそれに基づく研究課題の設定、仮説の構築、アウトラインの作成、関連するデータの収集分析、および本論の作成と関連する論文のレビューなどを行い、卒業論文として完成させる。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

世の中の面白い現象とはどういうものかを把握できる。
データ収集及び分析のスキルを獲得し、論理的に文章を書くことができる。

【成績の評価】

各回の発表内容（20%）および卒業論文の内容（80%）で評価する。
評価に関するフィードバックを希望する人は、個別に研究室で行う。

【使用テキスト】

なし。

【参考文献】

伊丹敬之『創造的論文の書き方』有斐閣（2001年）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

企業経営の経験に基づき、社会現象の捉え方や分析の仕方などを、経営の視点から紐解き、卒業論文に反映することができる。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション：本講義の概要説明	<p>【予習】論文とは何か、論文の全体はどのような要素で構成されているか。事前に渡される資料を見て理解をする。（2時間）</p> <p>【復習】講義で説明されたことを再度振り返り、講義の目的をしっかりと認識する。また自分の理解が正しかったところと違っていたところを把握し、理解を深める。（2時間）</p>	
2	テーマ検討：探索	<p>【予習】テーマを検討し、論文の問題設定につながる現実の事象を抽出する。それをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
3	テーマ検討：深堀り	<p>【予習】前回の指摘事項を踏まえ、不思議な現象と思える事象に関する事実やデータを収集し、それをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
4	テーマ検討：決定	<p>【予習】論文で分析する事象・問題設定・当該時点での仮説を具体化し、それをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
5	アウトラインの作成：章立ての検討	<p>【予習】論文全体のアウトラインを作成する。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、アウトライン全体を再度検討する。（2時間）</p>	
6	アウトラインの作成：各章の内容検討	<p>【予習】全体の流れを踏まえ、各章でどのようなことを書くのか、箇条書きでまとめたレジюмеを作成する。また当初仮説を進化させていく。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
7	アウトラインの作成：全体の流れのチェック	<p>【予習】各章の内容を踏まえて、全体として追加しなければならない内容はないのかなどを検討し、それをレジюмеにまとめる。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、レジюмеに反映させる。（2時間）</p>	
8	アウトラインの作成：完成	<p>【予習】確度の高い仮説を構築し、詳細なアウトラインを作成する。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、アウトラインを完成させる。（2時間）</p>	
9	第1回中間報告	<p>【予習】現状までに進めたことを発表資料に</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		まとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを再度振り返り、修正が必要なところは修正する。（2時間）	
10	データ収集：ウェブ・雑誌・新聞など各種メディア	【予習】仮説を検証していくための事実や定性的なデータを集め、それをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
11	データ収集：政府統計など定量データ	【予習】仮説を検証していくための定量データを収集し、それをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
12	データ収集：インタビューなどその他の方法	【予習】必要なインタビューやフィールドワークを実施し、そこで明らかになったことをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
13	データ分析：初期分析	【予習】収集した定性的・定量的データを分析し、仮説の確からしさを評価する。それらをレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
14	データ分析：深堀り	【予習】初期分析に基づき、さらに深く分析をすすめる、その結果をレジュメにまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
15	第2回中間報告	【予習】これまでの分析結果を発表資料に落とし込む。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
16	論文の執筆：分析対象となる現象のパート	【予習】分析対象の事象および問題設定を文章化する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
17	論文の執筆：仮説パート	【予習】自分が設定している仮説について文章化する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
18	論文の執筆：レビューパート	【予習】関連する既存研究の資料・論文を読み、それを取りまとめる。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
19	論文の執筆：論証パート	【予習】これまでに行った分析や論証を文章化する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
20	論文の執筆：結論パート	【予習】結論パートを文章化する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
21	第3回中間報告	【予習】中間発表資料を作成する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
22	中間報告をうけての修正：仮説論証パート	【予習】仮説論証パートの文章修正を行う。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
23	中間報告をうけての修正：結論パートの修正	【予習】結論部分の文章の修正を進める。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
24	論文の目的・目次の作成	【予習】論文全体の内容を踏まえて目次は「はじめに」のパートを作成する。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
25	最終報告準備	【予習】最終報告に向けて論文の記載内容を再度見直す。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
26	最終報告	【予習】論文の最終化を行う。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）	
27	論文の校正：本文	【予習】誤字脱字のチェックなど、作成原稿を指定された様式に修正していく。（2時間） 【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		修正を進める。（2時間）	
28	論文の校正：図表	<p>【予習】図表のナンバリング・出所の確認などを行う。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）</p>	
29	要約の作成	<p>【予習】作成した本編に基づき要約を作成する。（2時間）</p> <p>【復習】ゼミで指摘されたことを振り返り、修正を進める。（2時間）</p>	
30	論文提出	<p>【予習】修正箇所がないか再度確認し提出の準備を行う。（2時間）</p> <p>【復習】論文作成プロセスの全体を通して自分が学んだことを整理する。（2時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
科目名： 卒業論文
担当教員： 松繁 寿和(MATSUSHIGE Hisakazu)

【授業の紹介】

卒業論文を完成させることで、ものごとを分析するにあたって必要な作業を学ぶ。

1. 研究課題の設定
2. 先行研究レビュー
3. 仮説の構築
4. アウトラインの作成
5. 関連するデータの収集分析
5. 本論の作成
6. 結語

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

研究計画を立て、適切にスケジュール管理をしながら遂行することができる。
適切な研究方法を選択し、研究倫理を踏まえたうえで分析結果を深く考察し、研究論文の様式に従って論述できる。
研究成果をまとめ、他者に論理的に明確に伝えることができる。
自主的探求活動に意欲的に取り組むことができる。

【成績の評価】

準備段階での提出物（30%）、発表内容（30%）、卒業論文の内容（40%）で評価する。

【使用テキスト】

山崎 康司（2011）「入門 考える技術・書く技術 日本人のロジカルシンキング実践法」ダイヤモンド社

【参考文献】

適宜指示

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	(04月) 資料No.10の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
2	資料No.11の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
3	資料No.12の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
4	(05月) 資料No.13の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
5	資料No.14の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
6	資料No.15の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
7	(06月) 資料No.01-No.15の整理	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
8	テーマ案 目次の作成 1	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
9	目次の作成 2	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
10	「本論（前半）」の執筆（仮説、方法、データと資料の説明）	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
11	(07月) 「本論（後半）」の執筆（仮説の証明）1	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
12	「本論（後半）」の執筆（仮説の証明）2	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
13	「本論（後半）」の執筆（仮説の証明）3	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
14	「結語」の執筆	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
15	(08月) 参考文献の執筆	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
16	(9,10月) 「先行研究と論文の課題」の執筆	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
17	「序論」の執筆 1	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
18	「序論」の執筆2	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
19	「結語」の執筆（第1稿 完成）	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
20	(11月) 論文校正（追加資料の作成）1	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
21	論文校正（追加資料の作成）2	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
22	論文校正（追加資料の作成）3	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
23	要約の作成	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
24	(12月)論文校正 4	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
25	論文校正 5（校了）	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
26	プレゼンテーション・スライドの作成1	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
27	プレゼンテーション・スライドの作成2	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
28	(01月)プレゼンテーションの練習 1	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
29	プレゼンテーションの練習2	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）間）	
30	発表	予習：授業の準備（2時間） 復習：作成資料の改善（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400

授業形態： 演習

科目名： 卒業論文

担当教員： 高塚 順子(TAKATSUKA Junko)

【授業の紹介】

本演習の目的は、これまでのゼミや授業等で身につけた知識や思考力を活用し、大学4年間の集大成である卒業論文を各自で書き上げ、要約をまとめ、その成果を発表することです。各々が、最も興味関心のあるテーマについて、背景の整理から独自の着眼点での分析・考察を行い、発表まで行います。具体的には、研究テーマの設定、研究計画の作成、研究背景や先行研究のレビュー（テーマに関する従来の専門的学術研究の情報を収集したうえで、そこから課題を見出したうえでそれを解決する仮説や研究方法等を見出す）、論文執筆要領を遵守しながら研究論文の形式に従って論文を執筆、プレゼンテーション資料の作成と発表（研究成果を他者に論理的に明確に伝える）などを行います。1年間にわたる長丁場の自主的探究活動であるため、卒業論文の完成という大きな目標達成に向けて、常に複数の小さな達成目標を設定し、それを一つひとつ乗り越えていくことが重要です。そのため、定期的に報告と質疑応答を行うとともに、全員参加のゼミ活動と個別指導を併用した授業スタイルとします。卒業論文の執筆という知的トレーニングを通じて、問題発見・分析・解決能力を高め、忍耐力、発想力、自主性、独自性、創造性を育みましょう。また、学生相互にコメントし合うピア・レビューを通じて、各自の論文をブラッシュアップしていきます。

なお、研究テーマは自由ですが、あまり担当者の専門とかけ離れている場合は十分に指導できない可能性があります。地域の現状を把握し、直面する社会課題をどのように解決するか、その方策を多様な視点（例えば、皆さんがこれまでに学んだ経営学、経済学、統計学等の専門領域の視野）から考察し、何らかの解決策を見出すような内容（地域の持続可能性を探求し、地域社会の課題解決に貢献する内容）が望ましいです。

また、本授業は原則対面で実施します。ただし、学修の定着度や感染症拡大状況等により授業計画や方法を途中で変更する場合があります。

Google Classroomのクラスコードは「7khtfdx」です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

地域における課題に興味関心をもち、その課題を抽出し明文化できる。

研究計画を立て、適切にスケジュール管理をしながら遂行することができる。

適切な研究方法を選択し、研究倫理を踏まえたうえで分析結果を深く考察し、研究論文の様式に従って論述できる。

研究成果をまとめ、他者に論理的に明確に伝えることができる。

自主的探求活動に意欲的に取り組むことができる。

【成績の評価】

評価項目は、報告・発表（30%）、卒業論文およびその要約の完成度の内容（50%）、授業態度（20%）とする。なお、卒業論文の結果については審査し、フィードバックを行う。

学生には、他の学生に迷惑をかけることのないよう、良好な受講態度が求められる。普段の学生生活から、自分の行為に責任をもち、周囲の方々へ配慮し、思いやりをもって接することを心がけて欲しい。受講態度や研究への姿勢が不適切な場合は、それに応じた減点をするので留意すること。また、遅刻や欠席する（した）場合は、その事実が判明した段階で可及的速やかに大学に連絡を入れること。30分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回は欠席1回に相当とみなす。さらに、本授業がより建設的で良い方向に進むような積極的な発問、提案、回答等については、随時、評価に加点する。授業の内容や学習上の問題について質問や相談がある場合は、オフィスアワーを掲示等で確認のうえ、適宜教員研究室へ質問に来ること。研究の進捗状況によっては、上述した授業計画に加えて授業時間外に、必要な時間をさらに確保する必要がある。

なお、評価に関する詳細は、第1回のガイダンスで連絡する。

【使用テキスト】

なし。適宜、必要資料を配布する。

【参考文献】

戸田山 和久著『最新版 論文の教室 - レポートから卒論まで - 』NHKブックス、2022年。

石井 一成著『ゼロからわかる 大学生のためのレポート・論文の書き方』ナツメ社、2011年。

新田 誠吾著『はじめてでも、ふたたびでも、これならできる！レポート・論文のまとめ方』すばる舎、2019年。

白谷 秀一他著『実践 はじめての社会調査 テーマ選びから報告まで 』自治体研究社、2009年。

n o a 出版著『活用事例でわかる！統計リテラシー』ワークアカデミー、2021年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	前期ガイダンス Google Classroomへの参加 (クラスコード 7khtfdx)	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、各自の論文執筆に関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
2	執筆要領の確認、学問的誠実性について	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、各自の論文執筆に関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
3	問題意識の検討・明確化	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、各自の論文執筆に関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
4	おおまかな研究テーマの決定	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。新聞やインターネットなどのさまざまなメディアから、各自の論文執筆に関連する内容について情報収集を行うこと（1時間）。授業で学んだこと、疑問点や気づいたことを、必ずその日のうちにメモ等にまとめ復習すること（1時間）。	
5	研究計画の作成	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
6	先行研究のレビューと論点整理（文献・資料1本目）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
7	先行研究のレビューと論点整理（文献・資料2本目）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
8	先行研究のレビューと論点整理（文献・資料3本目）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
9	先行研究のとりまとめ	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
10	先行研究の検討と主要論点の抽出	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
11	研究課題の抽出、仮説設定	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
12	分析の方向性の確認、タイトル（仮題）の決定、章構成の検討	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
13	章構成の検討 キーワードの列挙	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。各自の論文執筆に必要な文献や資料を調べたうえで、論文執筆に必要なアイデアを各自のノートに取りまとめておくこと（1時間）。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（1時間）。	
14	中間報告書の提出および発表（論文タイトル、研究背景（動機）、研究目的、先行研究のレビュー、章構成）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
15	これまでのまとめ（学修した重点項目の確認）と質疑応答、夏季休業中に取り組むべき課題の周知	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
16	後期ガイダンス 夏季休業中の進捗状況確認	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
17	論文執筆（個別指導） の収集・吟味・執筆 第1章に必要な資料	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
18	論文執筆（個別指導） の収集・吟味・執筆 第2章に必要な資料	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
19	論文執筆（個別指導） の収集・吟味・執筆 第3章に必要な資料	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
20	論文執筆（個別指導） アップ・整理・執筆 参考文献のリスト	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
21	論文執筆（個別指導） ・修正・研究上の限界と課題の明示 全体の整合性確認	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
22	卒業論文中間報告会の概要説明	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間発表の準備を行うこと（2時間）。	
23	卒業論文中間報告会の準備（PPT資料の作成）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間発表の準備を行うこと（2時間）。	
24	卒業論文中間報告会の準備（PPT資料に基づく発表練習）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間発表の準備を行うこと（2時間）。	
25	卒業論文中間報告会	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（2時間）。	
26	中間報告に基づく修正箇所の見直し	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業にて、教員や学生相互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（2時間）。	
27	本論の完成	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。授業にて、教員や学生相	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		互のディスカッションで指摘された論点については、適宜、加筆・修正を行うこと（2時間）。	
28	要約の執筆	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
29	要約の完成	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに概要等を書き進めること（2時間）。	
30	卒業論文最終報告（プレゼンテーション）	配布プリントは、紛失しないよう各自で用意するA4リングファイルあるいはフラットファイルに綴じること。研究計画通りに中間報告書や論文、概要等を書き進めること（2時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
科目名： 卒業論文
担当教員： 岡本 丈彦(OKAMOTO Takehiko)

【授業の紹介】

卒業論文の作成に際しては、まず学生自身が、これまでの3年間の履修で修得した経営学に関する専門知識を用いて、「国際・グローバル経営」、「倫理」、「地域の衰退」、「地域活性化」そして「生産性向上」に関連したテーマを選択する。その上で、自ら調査・研究を行い、その成果をゼミナールにおいて報告を行い、質疑応答を繰り返して理解を深める。そして、11月下旬から12月上旬頃に開催が予定されている「卒論中間報告会」において報告と質疑応答をした後、そこでの討議・議論を踏まえた上で、必要な場合には修正を加え、最終的に卒業論文としてまとめることを目標としている。2020年度より、経営に関連したボードゲームを作成し、その作成過程及びルールの説明、実際にプレーした際に分かったこと、そして改善点をまとめたものを論文形式で執筆し、それを卒業論文とすることを認める。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

研究・調査・議論したことをもとに、卒業論文とその要約を完成させることができる。
企業や経営に関する部分的・理論的な知識を、具体的・実践的・総合的な知識にまとめ上げることができる。

【成績の評価】

卒業論文の中間報告会での報告(41%)および、提出された卒業論文(59%)で評価を行う。
卒業論文の中間報告会での報告を行うか、その代替となる報告を行わない学生には単位を認定することができない。また、中間報告会での報告および卒業論文の点数に関しては、希望者に対してフィードバックを行う。

【使用テキスト】

適宜指示を行う。

【参考文献】

アンドレアス・ズーハネク著/柴田明・岡本丈彦訳 [2017], 『企業倫理：信頼に投資する』 同文館出版 ISBN-13 : 978-4495388010。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンスとイントロダクション、個別面談	<p>【予習】：卒業論文のテーマについて考え、そのテーマを選択した理由をノートあるいはワードでA4・1枚程度にまとめておくこと(2時間)。 個別面談の際に使用するため、ノートあるいはワードを印刷した資料を持参の上、授業に臨むこと。 【復習】：予習で作成した内容と個別面談での指摘を踏まえて、第1回の講義で配布したワークシートに記入を行うこと(2時間)。</p>	
2	個別面談 と卒業論文のテーマについての検討・グループでのディスカッション :AグループとBグループ	<p>【予習】：第1回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 個別面談の際に使用するため、第1回の予習で作成したノートあるいは、ワードを印刷した資料を持参の上、授業に臨むこと。 【復習】：グループでのディスカッションの際に出た指摘を踏まえて、予習で作成したワークシートのブラッシュアップを行うこと(2時間)。</p>	
3	卒業論文のテーマについての検討・グループでのディスカッション :CグループとDグループ	<p>【予習】：第2回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：グループでのディスカッションでの指摘を踏まえて、予習で作成したワークシートのブラッシュアップを行うこと(2時間)。</p>	
4	卒業論文のテーマについての報告会 :Aグループ	<p>【予習】：第3回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「卒業論文のテーマについての報告会」の感想とそこからのインプリケーションをワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。</p>	
5	卒業論文のテーマについての報告会 :Bグループ	<p>【予習】：第4回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「卒業論文のテーマについての報告会」の感想とそこからのインプリケーションをワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。</p>	
6	卒業論文のテーマについての報告会 :CグループとDグループ	<p>【予習】：第5回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「卒業論文のテーマについての報告会」の感想とそこからのインプリケーションをワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。</p>	
7	テーマについての関係資料の調査報告 と面談 :AグループとBグループ	<p>【予習】：第6回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「テーマについての関係資料の調査報告」の感想とそこからのインプリケーションをワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。</p>	
8	テーマについての関係資料の調査報告 と面談 :CグループとDグループ	<p>【予習】：第7回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「テーマについての関係資料の調査報告」の感想とそこからのインプリケーションをワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	これまでの報告の振り返り	【予習】：第8回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：「これまでの報告の振り返り」の感想と今後の卒業論文の作成計画についてワークシートの該当箇所にまとめておくこと(2時間)。	
10	論文の章立てについての説明と作業	【予習】：第9回の講義で配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第10回に配布したワークシートに、現在の卒業論文の章立ての構想をまとめておくこと(2時間)。	
11	論文の章立てについての報告会	【予習】：第11回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：報告回での指摘を踏まえ、章立てをブラッシュアップすること(2時間)。	
12	論文の章立てについての報告会	【予習】：第12回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：報告回での指摘を踏まえ、章立てをブラッシュアップすること(2時間)。	
13	論文の章立てについての報告会	【予習】：第13回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：報告回での指摘を踏まえ、章立てをブラッシュアップすること(2時間)。	
14	講評	【予習】：卒業論文の作成に向けた資料を図書館で探し、可能であれば借りてくること(2時間)。 【復習】：第14回に配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
15	前期のまとめと今後の相談	【予習】：第14回に配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。 【復習】：第15回に配布したワークシートの該当箇所を埋めておくこと(2時間)。	
16	卒業論文の完成に向けたスケジュールの確認、個別面談	【予習】：卒業論文の執筆のスケジュールを作成してこること(2時間)。 【復習】：第16回の講義を踏まえて、作成したスケジュールをブラッシュアップすること(2時間)。	
17	論文の第1章についての報告会	【予習】：第17回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：第18回の報告会の準備を行うこと(2時間)。	
18	論文の第1章についての報告会	【予習】：第18回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：第19回の報告会の準備を行うこと(2時間)。	
19	論文の第1章についての報告会	【予習】：第19回の報告会の準備を行うこと(2時間)。 【復習】：第17回から第19回の報告回を踏まえて、執筆中の卒業論文のブラッシュアップを行うこと(2時間)。	
20	卒業論文中間報告会のPPTプレゼンテーション・リハーサル	【予習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。 【復習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
21	卒業論文中間報告会のPPTプレゼンテーション・リハーサル	【予習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。 【復習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。	
22	卒業論文中間報告会のPPTプレゼンテーション・リハーサル	【予習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。 【復習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。	
23	卒業論文の中間報告会	【予習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。 【復習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。	
24	卒業論文の中間報告会	【予習】：卒業論文中間報告会の資料作成を行うこと(2時間)。 【復習】：中間報告回での質疑応答を踏まえて、執筆中の卒業論文をブラッシュアップすること(2時間)。	
25	卒論の最終報告と論文の本文（序論・本論・結論）草稿提出	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(2時間)。 【復習】：第25回の指摘を踏まえて、卒業論文の執筆をつづけること(2時間)。	
26	卒論の最終報告と論文の本文（序論・本論・結論）草稿修正	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(2時間)。 【復習】：第26回の指摘を踏まえて、卒業論文の執筆をつづけること(2時間)。	
27	卒論の最終報告と論文の本文（序論・本論・結論）草稿確認	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(2時間)。 【復習】：第27回の指摘を踏まえて、卒業論文の執筆をつづけること(2時間)。	
28	卒論要約・卒論黒表紙・中表紙3枚・目次・本文・参考文献/参考サイトの提出	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(2時間)。 【復習】：第28回の指摘を踏まえて、卒業論文の執筆をつづけること(2時間)。	
29	卒論要約・卒論黒表紙・中表紙3枚・目次・本文・参考文献/参考サイトの確認	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(2時間)。 【復習】：第28回の指摘を踏まえて、卒業論文の執筆をつづけること(2時間)。	
30	卒業論文の確認と提出	【予習】：卒業論文の作成を行うこと(20時間)。 【復習】：提出後、卒業論文の執筆を通じて考えたことをメールで指導教員まで提出すること(2時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
科目名： 卒業論文
担当教員： 日笠 倫周(HIKASA Michinori)

【授業の紹介】

本演習の目的は、卒業論文の作成です。そのために、各自でマーケティングや消費者行動論に関連した問題を設定し、文献レビューや調査を進めていきます。加えて、論文の質向上と進捗管理のために、定期的に、報告と質疑応答を行います。論文執筆を目的としたゼミ活動と個別指導を行う中で、柔軟な思考を養って欲しいと考えています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. マーケティングや消費者行動論に関連した問題を設定できる。
2. 文献レビューや調査を通じ、問題解決のための手順を身に付けることができる。

【成績の評価】

成績はゼミ報告（10%）、中間報告（40%）、卒業論文の内容（50%）で評価します。報告は講義の度に問題点などを指摘し、随時フィードバックを行います。卒業論文の内容に関する評価は、提出後、個別にフィードバックを行います。

【使用テキスト】

適宜指示します。

【参考文献】

酒井聡樹著『これから論文を書く若者のために 大改訂増補版』（共立出版,2006年）
田村正紀著『リサーチ・デザイン 経営知識創造の基本技術』（白桃書房,2006年）
盛山和夫著『社会調査法入門』（有斐閣,2004年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（年間予定の確認）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
2	問いの設定と資料整理（問題意識と関係した資料収集）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
3	問いの設定と資料整理（関連資料の収集整理）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
4	問いの設定と資料整理（調査資料から図表の作成）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
5	問いの設定と資料整理（資料の追加収集）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
6	問いの設定と資料整理（問いの確定）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
7	アウトライン（章立てと各章の構成）の作成（アウトラインの意義と作り方）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
8	文献レビューの作成（問題意識と関係した文献渉猟）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
9	文献レビューの作成（関連領域の文献渉猟）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
10	文献レビューの作成（調査した先行研究の整理）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
11	文献レビューの作成（理論の整理）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
12	文献レビューの作成（位置付けの確定）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
13	アウトライン（章立てと各章の構成）の作成（アウトラインの修正）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
14	進捗状況の報告（前半グループの1回目の報告）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
15	進捗状況の報告（後半グループの1回目の報告）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
16	オリエンテーション（後期ゼミ運営方針の確認）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
17	アウトライン（章立てと各章の構成）の作成（アウトラインの確定）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
18	個別指導（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
19	個別指導（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
20	個別指導（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
21	進捗状況の報告（前半グループの2回目の報告）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
22	進捗状況の報告（後半グループの2回目の報告）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
23	中間報告会準備（資料作成）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
24	中間報告会準備（報告練習）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
25	中間報告会	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
26	個別指導（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
27	個別指導（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
28	個別指導（各受講生の進捗に応じて個別に対応する）	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
29	最終校正と要旨作成	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
30	成果報告と講評	予習：各自の問題に関連する様々な文献や資料を調べ、論文の執筆を進めること（3時間） 復習：報告へのコメントに対応する時間を設け、適宜論文の修正を行うこと（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
科目名： 卒業論文
担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

演習 の経験を生かして、卒業論文を期日内に完成させましょう。
卒業論文を書くということは、4年間で自分がどれだけ成長できたかを確認する良い機会です。4年間で学んだ問題発見・解決能力、経営、情報、会計に関する知識をフルに使って頑張りましょう！

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

資料収集や文章表現能力を身に付け、卒業論文を完成させることができる

【成績の評価】

卒業論文100%で評価する。
論文は資料として保管します。
製本等を希望する人は申し出てください。
また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】

論文の内容に合わせ適宜指示する

【参考文献】

適宜指示する

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として演習 の振り返り 2時間 復習として論文例の調査 2時間	
2	卒業論文のテーマ探し その1	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
3	卒業論文のテーマ探し その2	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
4	卒業論文のテーマ探し その3	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
5	テーマの報告会	予習として発表資料作成 2時間 復習として発表後の質疑応答に対する再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
6	卒業論文の作成 その1	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
7	卒業論文の作成 その2	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
8	卒業論文の作成 その3	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
9	卒業論文の作成 その4	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
10	卒業論文の作成 その5	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
11	進捗状況の報告 その1	予習として発表資料作成 2時間 復習として発表後の質疑応答に対する再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
12	卒業論文の作成 その6	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
13	卒業論文の作成 その7	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
14	卒業論文の作成 その8	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
15	卒業論文の作成 その9	予習として、各自で図書館、インターネット	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
16	卒業論文の作成 その10	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
17	進捗状況の報告 その2	予習として発表資料作成 2時間 復習として発表後の質疑応答に対する再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
18	卒業論文の作成 その11	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
19	卒業論文の作成 その12	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
20	卒業論文の作成 その13	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
21	卒業論文の作成 その14	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
22	卒業論文の作成 その15	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
23	身長状況の報告 その3	予習として発表資料作成 2時間 復習として発表後の質疑応答に対する再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
24	卒業論文の作成 その16	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
25	卒業論文の作成 その17	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
26	卒業論文の作成 その18	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
27	卒業論文の作成 その19	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	
28	卒業論文の作成 その20	予習として、各自で図書館、インターネット等で調査をすること。2時間 復習として、査読の結果をゼミナールで話し合い修正を加えること 2時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
29	卒業論文の発表会 その1	予習として発表資料作成 2時間 復習として発表後の質疑応答に対する再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
30	卒業論文の発表会 その2	予習として発表資料作成 2時間 復習として発表後の質疑応答に対する再調査とプレゼンテーションの修正 2時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
科目名： 卒業論文
担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

卒業論文の提出に向けて取り組みます。各自の取り組みとして、様々な社会状況に関心を持ち、解決や解明が必要とされている事柄に着目し、その問題を明文化された形で設定することからスタートします。情報システムを使えば解決する問題や、データの分析により解明できることが、必ずあるはずで、それを見つけてください。また、その問題に対する自分なりの意見を出すこと、そしてその意見の正当性・妥当性を文章を用いて、とことん説明し切ることが、各自に求められる課題です。そのためには、作業工数の見積もりや、スケジュール管理が重要になります。これまでの学問の積重ねや総合的な人間力が求められる最終ボス戦ですので、すべてを総動員し気合を入れて頑張り抜きましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 様々な社会状況に興味関心を持ち、問題を抽出し明文化することができる。
2. 論文形式の文章の構成や記述のしかたを理解し、文章を書くことができる。
3. 研究計画を立て、適切にスケジュール管理をしながら遂行していくことができる。

【成績の評価】

提出された卒業論文の内容（100%）により評価を行う。これには、合同で行う中間報告会における説明や質疑応答の内容、その後の授業において実施する口頭試問における内容も含んでいる。評価の内訳は、問題設定の妥当性（30%）、結論とそれを支える論拠の妥当性（40%）、文章が一義的で論理展開が正確であること（30%）を目安とするが、必ずしもこのとおりでない場合もある。卒業論文の内容に関しては、原稿の完成に至るまでの各段階、および、原稿完成後の提出前の時点において、着眼点や論証方法、文体について批評・評価を行うことでフィードバックを行う。

【使用テキスト】

花井等ほか「論文の書き方マニュアル ステップ式リサーチ戦略のすすめ」（有斐閣）ISBN978-4641120457

【参考文献】

適宜、指示する。自分で必要な文献を探すこと。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	前期ガイダンス	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
2	問題設定と背景	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
3	問題の精選	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
4	研究計画	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
5	全体連絡(1)：問題設定に関する報告資料の作成	課題：報告資料を作成する(4時間)	
6	進捗報告(1)：問題設定の絞り込み状況	課題：報告資料を作成する(4時間)	
7	進捗報告(2)：問題設定の文章表現	課題：報告資料を作成する(4時間)	
8	デッドライン(1)：問題設定完了	課題：報告資料を作成する(4時間)	
9	全体連絡(2)：章構成とWBSに関する報告資料の作成	課題：報告資料を作成する(4時間)	
10	進捗報告(3)：構成要素の洗い出し	課題：報告資料を作成する(4時間)	
11	進捗報告(4)：構成要素の取捨選択と順序	課題：報告資料を作成する(4時間)	
12	デッドライン(2)：章構成の決定・WBS作成	課題：報告資料を作成する(4時間)	
13	全体連絡(3)：原稿執筆のマイルストーンについて	課題：報告資料を作成する(4時間)	
14	デッドライン(3)：原稿作成(背景・問題設定・仮説・章構成)	課題：報告資料を作成する(4時間)	
15	前期総括：各自の取組みについての講評、および、夏季休業中に取組むべき課題	課題：報告資料を作成する(4時間)	
16	後期ガイダンス	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
17	原稿校正(1)：文体	課題：原稿を作成する(4時間)	
18	原稿校正(2)：各章の説明内容とアイデア	課題：原稿を作成する(4時間)	
19	全体連絡(4)：中間報告資料の作成について	課題：原稿を作成する(4時間)	
20	原稿校正(3)：根拠・論拠・裏付けの確認	課題：原稿を作成する(4時間)	
21	原稿校正(4)：論理構成要素の過不足	課題：原稿を作成する(4時間)	
22	中間報告練習(1)	課題：報告資料を作成する(4時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
23	中間報告練習(2)	課題：報告資料を作成する(4時間)	
24	中間報告練習(3)	課題：報告資料を作成する(4時間)	
25	中間報告会	復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間) 課題：原稿を作成する(2時間)	
26	原稿校正(5)：指摘事項の検討と取捨選択	課題：原稿を作成する(4時間)	
27	原稿校正(6)：図表番号の確認	課題：原稿を作成する(4時間)	
28	口頭試問	復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間) 課題：原稿を作成する(2時間)	
29	デッドライン(4)：最終原稿提出	復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間) 課題：原稿を作成する(2時間)	
30	総括：各自の卒業論文についての講評	予習：各自の取組み内容に応じて、研究ノートに記録を取る(2時間) 復習：教員や他の学生からのアドバイスを検討し、研究ノートに反映する(2時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
科目名： 卒業論文
担当教員： 岡田 龍哉

【授業の紹介】

本授業では、演習、で学んだことを踏まえて、会計学をはじめとする卒業論文を執筆・作成する。卒業論文を執筆するにあたっては、適切なテーマの設定を前提に、資料・データ収集を重ね、それらから読み取れる社会現象を科学的な思考で捉えることが重要となる。本授業では、諸社会現象を対象として、これらを科学的観点から分析する手法を学びながら、それらを論文としてまとめる作業の指導を中心に進めていく。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

科学的な思考でさまざまな社会現象を説明することができる。
仮説の構築、検証、考察を論理的に行うことができる。
論文として適切な文章を作成することができる。

【成績の評価】

評価は、発表・議論（40%）及び論文内容（60%）の各項目（割合）により行う。卒業論文は資料として保管する。フィードバックは報告、発表の都度実施する。

【使用テキスト】

教員作成の研究・執筆要領に関する冊子を用いる。

【参考文献】

石坂春秋著『レポート・論文・プレゼン スキルズ』（くろしお出版、2012） 価格1,400円（税抜）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、研究テーマに関する現在の興味・関心をまとめ、Wordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、研究テーマに関する疑問点をまとめ、Wordファイルにまとめておくこと（2時間）	
2	予備調査：現状の整理	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
3	予備調査：先行研究の探索	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
4	仮テーマの選定	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
5	論旨の提示：先行研究の整理	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
6	論旨の提示：リサーチクエスションの設定	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
7	中間報告	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
8	テーマの設定	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
9	目次案の作成	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
10	資料の整理・報告：問題意識の設定	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		おくこと（2時間）	
11	資料の整理・報告：先行研究の検討	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
12	資料の整理・報告：研究課題の整理	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
13	資料の整理・報告：研究方法の設定	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
14	資料の整理・報告：論理構成の確認	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
15	中間報告：前期の振り返り	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
16	論文の執筆：全体的な概要の作成	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
17	論文の執筆：各章の概要の作成	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
18	論文の執筆：各章の内容の確認	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
19	論文の執筆：序章および終章のまとめ方	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
20	論文の執筆：序章および終章の確認	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
21	卒業論文中間報告会への準備 : 構成の確認	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
22	卒業論文中間報告会への準備 : スライドの作成	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
23	卒業論文中間報告会への準備 : まとめ	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
24	卒業論文中間報告会リハーサル	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
25	卒業論文中間報告会（予定）	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
26	最終調整 : 問題設定および結論の確認	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
27	最終調整 : 修正点の洗い出し	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
28	論文の校正及び要旨の作成 : 手順の確認	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
29	論文の校正及び要旨の作成 : 最終確認	予習として、授業時間内に提示された疑問点について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
30	最終報告	予習として、授業時間内に提示された疑問点	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		について調べ、その結果をWordファイルにまとめておくこと（2時間） 復習として、授業内で検討した疑問点に対する解と新たな疑問をWordファイルにまとめておくこと（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： GBN400
授業形態： 演習
科目名： 卒業論文
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

この授業の目的は、スポーツ経営現象を対象とした社会科学的な研究をおこない、その学術研究の成果を卒業論文として提出することである。そのため、この授業では、まず、自分の問題意識に応じた先行研究の検討をおこない、先行研究の課題を指摘していく。そして、その先行研究の課題に応じたリサーチクエスチョンを導出し、研究の目的を設定する（この課題は演習で完了しているが、再検討をおこなう）。次に、自分の研究目的に応じた調査手法を学び、具体的な調査を計画する。この計画にしたがって、データの収集をおこなう。続いて、調査結果を記述し、リサーチクエスチョンに対して考察を加える。最後に、研究上の限界や課題について説明する。これら一連の課題を、論文を執筆していくかたちで進めていく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 先行研究の検討から学術的に意義のあるリサーチクエスチョンが導出できる。
2. 研究課題に応じた調査技法を用いてデータを収集できる。
3. 適切な推論によって調査結果を考察できる。
4. 論文に相応しい文章表現を用い、研究成果を他者に説明できる。

【成績の評価】

卒業論文として提出された論文の質 100%

《フィードバックの方法》

研究の進捗に応じて、その都度フィードバックをおこなう。

【使用テキスト】

新堀 聰著『評価される博士・修士・卒業論文の書き方・考え方』同文館出版 2010年

【参考文献】

ハワード・S・ベッカー著『論文の技法』講談社 1999年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてスポーツ関連の論文について日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
2	研究目的の再検討：問題意識の吟味	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
3	研究目的の再検討：先行研究の吟味	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
4	研究目的の再検討：リサーチクエストの吟味	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
5	研究手法の検討：主要概念の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
6	研究手法の検討：主要概念の定義	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
7	研究手法の検討：調査手法の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
8	研究手法の検討：調査対象の選定	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
9	研究手法の検討：調査の計画	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
10	調査実施依頼	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
11	調査実施	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
12	調査実施	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
13	再調査	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
14	再調査	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
15	データの整理	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
16	データの分析	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
17	データの分析	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
18	調査結果の記述	予習として配布資料やノートなどに目を通	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
19	調査結果の記述	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
20	結果の考察	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
21	結果の考察	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
22	研究成果の要約	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
23	学術的・実践的含意の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
24	学術的・実践的含意の説明	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
25	研究上の限界と課題の検討	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
26	研究上の限界と課題の説明	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		(30分)	
27	参考文献表の確認	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
28	要約の作成	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
29	文章表現の確認	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
30	卒業論文として提出	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。さらに、提出する予定の卒業論文の様式を再度確認する(30分) 復習として再度提出した卒業論文の内容を確認し、今後の課題をノートにまとめておくこと(30分)	担当：花城 清紀
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP211
授業形態： 講義
科目名： 教師論【卒業要件外】
担当教員： 藤本 駿(FUJIMOTO Syun)

【授業の紹介】

教職や保育職は、皆さんにとって最も身近な職業の一つです。幼稚園や小学校でお世話になった先生に憧れて、この大学に入学した人も多いのではないのでしょうか。では、先生の仕事はどのようなものなのか知っていますか。先生の仕事の実際は、保育や教育を受ける立場からは見えづらいものです。教職や保育職を目指すならば、教師や保育者としての視点を持つことが必要です。

そこで本授業では、教職や保育職にかかわる歴史、制度、理論など様々な視点から検討し、その理解を深めていきます。また、現代社会における教職や保育職の重要性や課題を通して、教職への意欲を高め、各自の教職の在り方を考えることを目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 公教育の担い手である教職・保育職の社会的意義やその役割について理解できる。
2. 教師観や保育者観の変遷を通して、今日に求められる資質能力を理解できる。
3. 教師・保育者の職務内容や、服務上・身分上の義務を理解できる。
4. 教職・保育職が学校内外の専門家等と連携・分担し、チームとして諸課題に対応する重要性を理解できる。
5. 教職・保育職についての自分の考えを深め、自分の適性や意欲を確かめることができる。

【成績の評価】

毎回授業後に配布する振り返りシートの提出（30%）、4回行う小レポートの作成（20%）、期末試験の結果（50%）から総合的に評価する。

定期試験のフィードバックは、試験終了後に解答例を配付する。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

- ・佐々木司・三山緑編著『これからの学校教育と教師 - 「失敗」から学ぶ教師論入門 - 』ミネルヴァ書房、2014年。
- ・大豆生田啓友他編著『アクティベート保育学 保育者論』ミネルヴァ書房、2019年。
- ・佐久間亜紀・佐伯胖編著『アクティベート教育学 現代の教師論』ミネルヴァ書房、2019年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、教師・保育者とは何か	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
2	教師観・保育者観の歴史（1）江戸時代の教師・保育者	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
3	教師観・保育者観の歴史（2）戦前の教師・保育者	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
4	教師観・保育者観の歴史（3）戦後の教師・保育者	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師観・保育者観の歴史に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまとめること（2時間）。	
5	教師・保育者の役割（1）保育者の仕事とその魅力	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
6	教師・保育者の役割（2）教師の仕事とその魅力	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
7	教師・保育者の役割（3）教師・保育者の職業的特徴	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師・保育者の役割に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまとめること（2時間）。	
8	教師・保育者の専門性（1）授業づくり	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
9	教師・保育者の専門性（2）子ども理解	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
10	教師・保育者の専門性（3）学級経営	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師・保育者の専門性に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		めること（2時間）。	
11	教師・保育者の職務内容（1）服務上・身分上の義務	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
12	教師・保育者の職務内容（2）教員研修	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
13	教師・保育者の職務内容（3）勤務条件	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
14	教師・保育者の職務内容（4）チーム学校運営への対応	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師・保育者の専門性に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまとめること（2時間）。	
15	全体のまとめ、これからの教師・保育者を取り巻く課題	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP111
授業形態： 講義
科目名： 教育学原論【卒業要件外】
担当教員： 松原 勝敏(MATSUBARA Katsutoshi)

【授業の紹介】

教育学原論では、教育課程編成・実施の方針に示す「自ら考え、判断し、行動できる力」を獲得するための基礎作りを行う。そして、卒業認定・学位授与の方針に示す、現代社会における様々な問題に関心を持ち、問題解決に取り組む力量を獲得するために、本授業では、教育に関係する領域を広範囲に、かつ、多角的に追求し、教育の概念や理念の把握に努める。

今日、人々の教育に関する意見や要望、そして批判には、いろんな立場から多様な意見が噴出して、答えを出すのが非常に難しい状況にある。教育学原論では、教育という社会事象を専門的な立場から理解するために必要な基礎的な知識を獲得し、自らの言葉で今日の教育課題を説明することができる力量を形成する。

本講義は、卒業認定・学位授与の方針の「3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる」及び「自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる」ための資質の形成を目指します。

この科目では、学修成果として、専門知識活用能力、多面的思考能力、多文化理解能力に関連しています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	
		多文化理解能力	

【到達目標】

1. 教育という社会事象を専門的な立場から理解するために必要な基礎的な知識を獲得することができる。
2. 教育の基本的概念や教育の理念の基礎を理解することができる。
3. 教育の歴史や思想の学習をとおして、今日の教育の基本理念の形成過程を理解することができる。
4. 自らの教育観の基礎を作り、教育に関する事柄について、専門的・客観的な立場から、自分なりの意見表明ができる力の獲得することができる。
5. 上の4つの到達目標を達成することで、卒業認定・学位授与の方針に示す、現代社会における様々な問題に関心を持ち、問題解決に取り組む力量を獲得することができる。

【成績の評価】

毎回の授業終了時に課するミニレポート（約30%）、レポート（約20%）、定期試験（約50%）の3つを以て、総合的に評価する。

- ・ミニレポートについては、次の授業の冒頭の部分で内容についてコメントする。
- ・主たるレポート課題については、15回目の授業でフィードバックする。
- ・試験の内容については、学内ネットを通じてフィードバックする。

【使用テキスト】

新中等教育原理（平成22年 佐々木正治編著、福村出版）

【参考文献】

授業時に、適宜、紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・教育の意味と本質	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
2	教育の目的と目標	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
3	人間社会における教育の役割	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
4	家族や社会における教育の思想と教育の役割	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
5	主要な教育思想	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
6	近代学校制度の成立と展開	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
7	日本の学校教育の歴史	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
8	義務教育の概要	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
9	今日の我が国における学校制度と主要国の学校制度	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		提出。(1時間)	
10	教育課程の基礎	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
11	学習指導の基礎	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
12	家庭教育	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
13	生涯学習	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
14	教員養成	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
15	今日の教育課題	予習：1～14回のワークシートの点検。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP212
授業形態： 講義
科目名： 教育心理学【卒業要件外】
担当教員： 横川 和章(YOKOGAWA Kazuaki)

【授業の紹介】

教師は、幼児・児童・生徒の発達や学習状態を適切にとらえ、それに応じて指導することが求められています。本講義では、幼児・児童・生徒の発達、性格、知的能力（記憶、思考、学習）、やる気、学習指導と評価、学級集団などについての基本的知識を扱います。心理学に基づく教育の充実を目標として、学校や幼稚園・保育所で直接に子どもの教育・保育に関わる際に有用となる理論を紹介し、受講した学生が理論と教育実践を結びつけられることを目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 学生が子どもの教育・保育にあたるための幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、理論を含めた基礎的な知識を身に付けることができる。
2. 学生が各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解できる。
3. 学生がそのような知識をどのようにして子どもの教育・保育の実践に生かせるのか考える態度を身に付けることができる。

【成績の評価】

- ・ 定期試験（80％）、授業時に出される課題（20％）。
- ・ 定期試験及び課題については、オフィスアワーにてフィードバックします。

【使用テキスト】

富永大介・平田幹夫・竹村明子・金武育子（2016）『教職をめざすひとのための発達と教育の心理学』（ナカニシヤ出版）

【参考文献】

鎌原雅彦・竹綱誠一郎（2019）『やさしい教育心理学』（有斐閣）
武田明典（2020）『教師と学生が知っておくべき教育心理学』（北樹出版）
藤原和政・谷口弘一（2021）『学校現場で役立つ教育心理学』（北大路書房）
高櫻綾子（2021）『子どもの育ちを考える教育心理学』（朝倉書店）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	教育心理学の内容・方法	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
2	学習と記憶	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
3	動機づけ	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
4	知能・創造性と学力	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
5	自己理解とパーソナリティ	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
6	心理検査	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
7	測定と評価	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
8	幼児児童生徒の理解	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
9	発達の原理	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
10	発達段階の特徴	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
11	社会化と個性化	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
12	学校不適応行動の理解	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておく	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		こと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
13	学級経営	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
14	学級集団	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
15	発達障害と支援	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP121
授業形態： 講義
科目名： 特別支援教育【卒業要件外】
担当教員： 湯浅 恭正(YUASA Takamasa)

【授業の紹介】

特別な支援を必要とする子ども理解を進めるための基本を講義し、学校における教育内容・教育方法について学ぶ。そのために特別な支援を必要とする子どもの心理特性・発達特性、学級づくり・授業づくりの指導方法と教育課程の概要を講義する。これらを通して教師の資質・能力として必要な知識・技術・教育観について学ぶ。さらにインクルーシブ教育の理念・国際的動向・制度の基本を押さえ、「通級による指導」や「自立活動」の意義に触れるとともに、特別支援学校・学級で求められる個別の指導計画・個別の教育支援計画の意義、関係機関との連携等、インクルーシブ教育時代の特別支援教育の現代的課題を学ぶ。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 特別な支援を必要とする子どもの生活・発達・学習における困難さとニーズを把握するための基本を理解することができ、それを表現して他者に伝えることができる。
2. 特別な支援を必要とする子どもが授業や学級活動に参加するための支援に必要な知識・支援方法・関係機関との連携の在り方の基本を理解することができ、それを他者に伝えることができる。
3. 特別な支援を必要とする子どもとともに生きるインクルーシブな共生社会の在り方の基本を理解することができ、それを他者に伝えることができる。

【成績の評価】

授業の各回をいくつかにまとめたテーマごとに特別支援教育の基本的な知識と指導技術の理解、さらに教育観について各自が総括した報告を評価する(80%) - 総括の視点は授業において適宜説明し、学生からの質問等を受けて質の高い総括報告を求める。

授業の毎回において小報告を提出し、それをトータルに評価する(20%) - 毎回の小報告について特に重要と思われる学生からの指摘や質問を取り上げて、次回の授業でフィードバックする。

【使用テキスト】

『よくわかる特別支援教育 第2版』(湯浅恭正編、ミネルヴァ書房、2018)

【参考文献】

授業において適宜資料を配布する。また参考文献として、渡部昭男『障害のある子の就学・進学ガイドブック 改訂版』日本標準、2022。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	特別支援教育を学ぶために-授業のガイダンス	予習内容:指定したテキストの内容の目次を含めて特別支援教育の内容を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別支援教育を学ぶためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて、総括報告に備える(2時間)。	
2	インクルーシブ教育を含めた特別支援教育の理念と制度	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別支援教育とインクルーシブ教育の関連についてメモし、講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、インクルーシブ教育と特別支援教育の理念・制度の関連のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
3	特別なニーズのある子どもの発達特性	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別なニーズのある子どもの発達特性を概観してメモし、講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別なニーズのある子どもの発達特性を理解するためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
4	特別なニーズのある子どもの心理特性	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別なニーズのある子どもの心理特性を概観してメモし、講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別なニーズのある子どもの心理特性を理解するためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
5	特別支援学校・学級に在籍する子どもの学習・発達における困難さ	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別支援学校・学級に在籍する子どもの学習・発達における困難さを概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別支援学校・学級に在籍する子どもの学習・発達における困難さを理解するためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
6	特別な支援を必要とする幼児の支援方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別な支援を必要とする幼児の支援方法を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別な支援を必要とする幼児の支援方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
7	特別な支援を必要とする児童・生徒の支援方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、通常学級における特別な支援を必要とする児童・生徒の支援方法の事例を読み、口頭発表に備える(3時間)。復習内容:講義を踏まえて、通常学級における特別な支援を必要とする児童・制度の支援方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
8	教育課程における「通級による指導」「自立活動」の位置づけ	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「通級による指導」「自立活動」の教育課程における位置づけを概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、教育課程における「通級による指導」「自立活動」の位置づけのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
9	「通級による指導」の内容と指導方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「通級による指導」の内容と方法を概観し、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「通級による指導」の内容と方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
10	「自立活動」の内容と指導方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「自立活動」の内容と指導方法を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「自立活動」の内容と指導方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
11	個別の指導計画・個別の教育支援計画の意義と教育課程	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の意義と教育課程について概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の意義と教育課程における位置づけのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
12	個別の指導計画・個別の教育支援計画を作成する方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成する方法を概観し、メモして講義に備える(2時)。復習内容:講義を踏まえて、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成する方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
13	関係機関と連携して特別支援教育の体制を整備する意義	予習内容:指定したテキストの内容のうち、関係機関と連携して特別支援教育の体制を整備する意義を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、関係機関と連携して特別支援教育の体制を整備する意義のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
14	外国につながるのある子ども・貧困等により困難な課題のある子どもへの支援	予習内容:指定したテキストの内容のうち、外国につながるのある子どもを含めた特別なニーズのある子どもの支援について概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、外国につながるのある子どもを含めた特別なニーズのある子どもの支援のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
15	インクルーシブ教育時代の特別支援教育の方向	予習内容:講義の全体を振り返り、総括報告のための準備をする(3時間)。復習内容:講義を踏まえて、インクルーシブ教育時代の特別支援教育の方向のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて最終の総括報告に備えるとともに、講義の全体を振り返り、教職における特別支援教育の意義を確かめる。(4時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP311
授業形態： 講義
科目名： 教育制度論【卒業要件外】
担当教員： 松原 勝敏(MATSUBARA Katsutoshi)

【授業の紹介】

Google Classroom クラスコード：kcvykpI

「教育制度」という言葉は、やや「お堅い」言葉に聞こえるかもしれませんが、また、制度や法規に関連することからは難しいのでできれば避けて通りたい…と思う人も少なくないと思います。

しかし、学校は、今日、私たちの暮らしを支える制度の1つとして機能しています。それ故に、学校には、その目的や制度のあり方、教育内容について様々な規定が設けられるとともに、多くの税金やその他の財貨が投入され、そこに教員をはじめといたくさんの人々が関わって、生徒たちの生活を支えているのです。それゆえに、教員に対する社会的使命や期待には大きなものがあると同時に厳しいものがあります。

本講義は、そのような点を考慮して、責任を果たせる教員としての意識づくりを図りたいと思います。また、採用試験も考慮して、法制面からのアプローチによって教育制度の理解を目指します。できるだけ、丁寧にわかりやすく講義することに努めますので、肩肘張らず受講して下さい。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- ・教育現場での1つ1つの行為が、社会的な制度の枠の中で運営されていることを理解し、自らの教育実践に取り組む姿勢を形成することができる。
- ・この授業では、教育制度の基本的な枠組みを理解すると共に、制度構築の理念を理解して、教育制度に関する問題に自分なりの意見表明ができる。

【成績の評価】

毎回の授業時におけるミニレポートへのコメント(約30%)、レポート(約20%)及び定期試験(約50%)の合計点によって成績を評価し、単位を認定します。

毎回の授業時に、各学生の学びを点検し、学習成果の改善のためのフィードバックを行います。また、最終的な学習の成果については、私の学内HPを通じて学生に以後の学びへの示唆をフィードバックします。

【使用テキスト】

河野和清編著『現代教育の制度と行政 改訂版』福村出版 2017

【参考文献】

文部科学省「幼稚園教育要領」2017
文部科学省「小学校学習指導要領」2017

その他、授業時に、適宜紹介します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション&教育制度を学ぶ意義	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
2	教育法規の全体像	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
3	学校制度とその課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
4	教育行政制度とその課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
5	教育財政制度とその課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
6	教育課程行政	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
7	学校経営の理論と実際	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
8	学校経営における地域や保護者との連携	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
9	幼児・児童の管理	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
10	学校における安全管理	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		提出。(1時間)	
11	教員養成制度	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
12	特別支援教育制度	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
13	学校を巡る社会状況の変化と学校の課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
14	生涯学習社会に向けた教育制度の在り方	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
15	我が国及び諸外国における教育事情と教育改革	予習：1～14回のワークシートの点検。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP231
授業形態： 講義
科目名： 教育課程論【卒業要件外】
担当教員： 山岸 知幸(YAMAGISHI Tomoyuki)

【授業の紹介】

教育課程とは、学校教育を行っていく上での根幹をなすものです。子どもの「資質・能力」を確実に育成するために、様々なレベルでの計画が示されているものと言ってもよいでしょう。

この授業では、教育課程・カリキュラムに関する歴史、意義や編成原理、現在の学習指導要領の重要なポイントについて学んでいきます。教育課程についての具体的な事例にも基づいて考察していきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 教育課程・カリキュラムに関わる歴史や理論を理解することができる。
2. 学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程の意義や編成方法を体系的に理解することができる。
3. 各学校の実情にあわせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解することができる。

【成績の評価】

レポート試験（60%）、毎回の授業後に提出する小レポート（40%）

レポートについては、採点基準を説明する。

毎回の授業後に提出する小レポートについては、次の授業時間にコメントを添えて返却する。

【使用テキスト】

高等学校学習指導要領解説 総則編（平成30年7月 文部科学省）

【参考文献】

授業中に適宜資料を配付する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション - 教育課程とは -	シラバスを読み、また教科書に目を通し、考えたことや疑問点についてノートにまとめておくこと（2時間）。 本授業のねらいについて、A5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
2	我が国の戦後の教育課程の変遷	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
3	カリキュラム改革の歴史（1） - 児童中心主義思想を中心に -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
4	カリキュラム改革の歴史（2） - 教育内容の現代化を中心に -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
5	教育課程の編成原理と類型	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
6	教育課程の編成・実施・評価・改善	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
7	学習指導要領を学ぶ（1） - 総則を中心に -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
8	学習指導要領を学ぶ（2） - カリキュラム・マネジメントの視点から -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
9	学習指導要領を学ぶ（3） - 学校間連携の視点から -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
10	教育課程の実際（1） - 年間行事計画 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	教育課程の実際（２） - 時間割の作成 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをA５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
12	教育課程の実際（３） - 日課・週時程の編成 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをA５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
13	教育課程の実際（４） - 教科年間指導計画 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをA５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
14	教育課程の実際（５） - 特色ある学校づくりと学校評価 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをA５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
15	まとめ - これからの教育課程・カリキュラムの課題 -	これまでに配布された資料及びテキストを復習し、質問項目をノートにまとめておくこと（２時間）。 これまで学んだことを整理し、A４一枚程度にまとめること（２時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP335
授業形態： 講義
科目名： 総合的な学習の時間の指導法【卒業要件外】
担当教員： 野村 一夫(NOMURA Kazuo)

【授業の紹介】

学習指導要領に示された目標、内容及び内容の取扱い等の分析を通して、小・中学校の総合的な学習の時間及び高等学校の総合的な探究の時間の趣旨やねらい、カリキュラム上の位置付けなどの理解を図ります。

また、現代的な課題から探究課題を設定し探究活動を行い、ディスカッションを通して、自己の在り方生き方と一体的で不可分な課題を発見し、解決していくための学習指導の意義を考えます。

これらの学修を通して授業設計や指導法、評価、環境整備、外部との連携などについての基礎的な理解と実践力の育成を図り、高等学校教員としての資質・能力の基礎を培うことを目指します。

この授業ではClassroom(クラスコード：vv5rris)を使用し、資料配付や課題「授業リフレクション」の提示などを行います。

この授業科目は教職に関する科目であり、卒業要件外となります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 総合的な学習の時間創設の経緯を知り、カリキュラム論に基づく位置付けを説明することができる。
2. 総合的な探究の時間へ移行した背景と趣旨を踏まえ、自己の生き方在り方と一体的で不可分な課題を探究する指導計画を作成することができる。

【成績の評価】

学修内容の理解はもとより、学修に対する意欲と態度を評価します。

「私の考える探究課題」の提出(40%)、「授業リフレクション」の提出(10%)、定期試験(50%)とします。

「授業リフレクション」は、Classroomで提出し、返却時にコメントします。

定期試験は、採点基準を説明します。

【使用テキスト】

高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編 平成30年 文部科学省

【参考文献】

随時紹介する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。教育委員会や教育センターにおける指導経験を踏まえて、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間の意義と課題、指導上の留意事項等について指導します。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（総合的な学習の時間（総合的な探究の時間）のイメージ）	予習として、小学校から高等学校における総合的な学習の時間の学習経験（テーマ、特に記憶に残っている学習活動、学習を通じていたことなど）を振り返り、ノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間の現状と課題を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
2	総合的な学習の時間の経緯と背景	予習として、総合的な学習の時間を学習することの必要性について考え、ノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間創設の経緯を踏まえて、その意義授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
3	総合的な学習の時間の教育課程上の位置付けとカリキュラム論	予習として、小・中学校における現行の教育課程（カリキュラム構成）を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間を教育課程に位置付けられていることに関する自らの考え授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
4	総合的な探究の時間への移行による学習指導要領における目標、内容及び内容の取扱いの変化	予習として、総合的な学習の時間と各教科との目標、内容及び内容の取扱いの異同について調べ、ノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、各教科と総合的な学習の時間の違いから考えたことを授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
5	総合的な探究の時間で育成することを旨とする資質・能力	予習として、総合的な学習の時間で身に付けたい力を具体的に考えノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間で育成する資質・能力をどのように活かすのかを授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
6	総合的な探究の時間における四つの課題の取扱い	予習として、総合的な学習の時間における四つの課題を調べノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、四つの課題に関する自らの考えを授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
7	各学校において目標及び内容等を定める際の留意事項	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の全体計画を収集しておくこと。（1時間）復習として、各学校において目標と内容等を定めることの意義を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
8	総合的な探究の時間の全体計画の作成	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の全体計画を収集しておくこと。（1時間）復習として、全体計画を作成することの意義を授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
9	総合的な探究の時間の年間指導計画の作成	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の年間指導計画を収集しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間において年間指導計画を作成することの意義を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
10	総合的な探究の時間の単元計画の作成	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の学習指導案等を収集しておくこと（1時間）復習として、総合的な学習の時間の学習活動の在り方を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	探究的な学習の過程における「主体的・対話的で深い学び」の視点	予習として、探究的な学習を中核とする単元計画を考えノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、最適な学習活動の在り方を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
12	探究的な学習の指導のポイント	予習として、探究的な学習を指導する際の留意事項を考えノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、探究的な学習における指導上留意したいことを考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
13	総合的な探究の時間の評価の在り方	予習として、各教科における評価上の留意点を整理しノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間における評価方法を振り返り、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
14	総合的な探究の時間の指導体制と時間の弾力的運用の在り方	予習として、各教科等における学習形態と指導体制等の工夫を調べノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、時間の弾力的運用の工夫を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
15	総合的な探究の時間に係る環境整備と地域との連携・協働の在り方	予習として、学校と地域との連携・協働の在り方について調べ、ノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、これからの学習活動の在り方を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP332
授業形態： 講義
科目名： 情報科教育法 【卒業要件外】
担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi)

【授業の紹介】

高等学校における情報教育として設置された普通教科「情報」専門教科「情報」各教科の目標を達成するために必要な基礎知識や指導技術について学習を行う。高等学校学習指導要領改訂についても触れる。教職科目として、情報の教員となるための教育実践の修得し教育実習につなげる科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

高等学校学習指導要領に定められた、普通教科「情報」専門教科「情報」について具体的に授業運営ができる。
高等学校学習指導要領に定められた、普通教科「情報」専門教科「情報」についての授業運営の課題を解決することができる。

【成績の評価】

評価は、授業内ミニレポート20%、授業内発表50%、課題レポート30%で評価を行います。
授業内ミニレポート、課題レポートは添削し返却します。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 情報編

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	現代情報化社会の概要と普通教科「情報」、 専門教科「情報」の内容概説	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
2	普通教科「情報」設置の経緯と趣旨および科目 編成。高等学校学習指導要領改訂について	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
3	普通教科「情報」の概要	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
4	普通教科「情報」「情報」の目標と内容	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
5	普通教科教科「情報」「情報」の目標と内 容	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
6	普通教科「情報」各科目における授業計画の 立案法	授業計画の立案法について復習する（4時間 ）	
7	学習題材やテーマの選定法	学習課題やテーマの選定法について指示され た課題を解く（4時間）	
8	学習指導案の作成法	学習指導案の作成法について指示された課題 を解く（4時間）	
9	学習指導法	学習指導案を作成する（4時間）	
10	学習の評価と測定の方法	学習の評価と測定の方法の復習（4時間）	
11	専門教科「情報」設置の趣旨	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
12	専門教科「情報」の目標と科目編成	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
13	教育課程の編成と指導計画の作成	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
14	関係法規の概要	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
15	進路指導	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP333
授業形態： 講義
科目名： 情報科教育法 【卒業要件外】
担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi)

【授業の紹介】

高等学校における情報教育として設置された普通教科「情報」専門教科「情報」各教科の目標を達成するために必要な基礎知識や指導技術について学習を行う。なお、高等学校学習指導要領改訂についても触れる。教職科目として、情報の教員となるための教育実践の修得し教育実習につなげる科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

高等学校学習指導要領に定められた、普通教科「情報」専門教科「情報」について具体的に授業運営ができる。
高等学校学習指導要領に定められた、普通教科「情報」専門教科「情報」についての授業運営の課題を解決することができる。

【成績の評価】

評価は、授業内ミニレポート20%、授業内発表50%、課題レポート30%で評価を行います。
授業内ミニレポート、課題レポートは添削し返却します。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

必要に応じてその都度指定する

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	専門教科「情報」基礎的科目の目標と内容 「情報産業と社会」「情報の表現と管理」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
2	専門教科「情報」応用的選択科目の目標と内容1 「アルゴリズムとプログラム」「情報と問題解決」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
3	専門教科「情報」応用的選択科目の目標と内容2 「情報テクノロジー」「ネットワークシステム」「データベース」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
4	専門教科「情報」応用的選択科目の目標と内容3 「情報メディア」、「情報デザイン」、「表現メディアの編集と表現」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
5	専門教科「情報」総合的科目の目標と内容 「課題研究」「情報システム実習」「情報コンテンツ実習」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
6	学習指導を行う上で必要な情報活用技能1 情報の収集・処理・発信の技能とツールの利用方法	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
7	学習指導を行う上で必要な情報活用技能2 シミュレーション、問題解決のツールの利用方法	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
8	学習指導を行う上で必要な情報活用技能3 デジタル化、ネットワークコミュニケーション技能	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
9	グループによる教育指導の実際1 グループ分けとテーマ設定	テーマについての調査（4時間）	
10	グループによる教育指導の実際2 設定したテーマについての調査、情報収集	テーマについての調査（4時間）	
11	グループによる教育指導の実際3 調査結果のまとめと授業計画の作	テーマについての調査（4時間）	
12	グループによる教育指導の実際4 学習指導案の作成	学習指導案の作成作業（4時間）	
13	グループによる教育指導の実際5 模擬授業及び相互批判、検討	模擬授業の準備（4時間）	
14	グループによる教育指導の実際6 授業計画、指導案等の手直し、改良、評価、検討	指導案の修正（4時間）	
15	高等学校学習指導要領まとめ	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP334
授業形態： 講義
科目名： 商業科教育法 【卒業要件外】
担当教員： 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

教科「商業」に関する知識や商業（ビジネス）教育の理念と内容について体系的に学び、その指導方法を考察し商業科の教員としての資質能力を身に付けます。

「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。

高等学校教員一種免許状「商業」の取得を希望する者以外の履修はできません。

また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、プレゼンテーション、3分間スピーチ）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。

この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：bb1odvj）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	

【到達目標】

1. 学習指導要領に示された目標や内容を理解することができる。
2. 商業（ビジネス）教育の基本理念を理解することができる。
3. 教科「商業」に関する教育内容を体系的に把握することができる。
4. 基礎的・基本的知識と指導法を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業への取り組み（30%）、発表（45%）、提出物（25%）。
発表はその場で講評し、提出物は後日返却する。

【使用テキスト】

日本商業教育学会編『商業科教育論』（2019年）実教出版

文部科学省『高等学校学習指導要領解説 商業編』（平成31年）実教出版...文部科学省のHPからダウンロードしたものでもかまわない

【参考文献】

文部科学省『高等学校学習指導要領』（平成31年）東山書房
他、その都度指示する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校や教育委員会での教育や指導、管理の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を進めます。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと教員としての心構え	予習として、「教職ポートフォリオ」の必要範囲を記入・整理しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
2	商業教育の意義・必要性	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
3	高等学校学習指導要領と商業教育	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
4	商業科の教育課程の編成と実施	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
5	商業科の学習指導	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
6	各分野の学習指導（1）基礎的科目、マーケティング・マネジメント分野	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
7	各分野の学習指導（2）会計・ビジネス情報分野、総合的科目	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
8	指導計画の理念と作成	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるように自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	学習指導案の研究（１）作成（ICT機器、教材の活用を含む）	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
10	学習指導案の研究（２）模擬授業	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるようにパワーポイントや配付する資料を作成すること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
11	学習指導案の研究（３）振り返り	予習として、前回の模擬授業の反省点等を洗い出し、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
12	プレゼンテーションの基本（ICT機器、教材の活用を含む）	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
13	教育課程編成の事例研究	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
14	学習評価の理念と実際	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
15	これからの商業教育のあり方	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
	定期試験（実施しない）		

科目ナンバリング： BTP335
授業形態： 講義
科目名： 商業科教育法 【卒業要件外】
担当教員： 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

先修科目「商業科教育法」で修得した知識や技術を活用することで教育課程編成についての理解を深めるとともに、様々な分野において修得した知識を総合的に活用することで授業を組み立てる力や学習指導案の作成から模擬授業の実施にいたるP D C Aサイクルを回すことで授業を改善する力を身に付けます。

。「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。
高等学校教員一種免許状「商業」の取得を希望する者以外の履修はできません。
また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、プレゼンテーション、フィールドワーク、3分間スピーチ）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。
この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：k7xjxvs）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	

【到達目標】

1. 学習指導要領に示された教科「商業」に関する各科目を体系的に把握することができる。
2. 基礎的な学習指導や指導計画の考え方を理解することができる。
3. 具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業への取り組み（30%）、発表（模擬授業など）（45%）、提出物（レポート、学習指導案など）（25%）。
発表はその場で講評し、提出物は後日返却する。

【使用テキスト】

日本商業教育学会編『商業科教育論』（2019年）実教出版
文部科学省『高等学校学習指導要領解説 商業編』（平成31年）実教出版...文部科学省のHPからダウンロードしたものでもかまわない

【参考文献】

文部科学省『高等学校学習指導要領』（平成31年）東山書房
他、その都度指示する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校や教育委員会での教育や指導、管理の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を進めます。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと高等学校における商業教育の現状	予習として、「教職ポートフォリオ」の必要範囲を記入・整理しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
2	教育課程と学習指導	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
3	指導計画と授業展開（ICT機器、教材の活用を含む）	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
4	プレゼンテーションと授業（ICT機器、教材の活用を含む）	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるようにパワーポイントや配付する資料を作成すること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
5	授業の振り返りと効果的な授業（ICT機器、教材の活用を含む）	予習として、前回の模擬授業の反省点等を洗い出し、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
6	学習指導案とその事例研究	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
7	授業研究（1）高校へ出向き授業を見学（授業見学）	予習として、見学予定の高等学校について調べ、その特徴や教諭等への質問事項を整理しノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
8	授業研究（2）高校へ出向き授業を見学（授業見学、質疑応答、振り返り）	予習として、見学予定の高等学校について調べ、その特徴や教諭等への質問事項を整理しノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
9	学習指導案の作成	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるように学習指導案等を作成する準備をすること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
10	授業研究（教材の作成、板書の整理、振り返り等）	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるようにパワーポイントや配付する資料を作成する準備をすること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
11	模擬授業（1）（板書等利用）実施による授業研究とその評価	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるように準備をすること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
12	模擬授業（2）（ICT等利用）実施による授業研究とその評価	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるように準備をすること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
13	模擬授業（3）（「ビジネス基礎」）実施による授業研究とその評価	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるように準備をすること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
14	模擬授業（4）（基礎的・基本的な科目）実施による授業研究とその評価	予習として、分担された科目の該当箇所を研究し、模擬授業ができるように準備をすること。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
15	これからの商業教育および「商業科教育法」のまとめと質疑応答	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP232

授業形態： 講義

科目名： 特別活動論【卒業要件外】

担当教員： 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

学校における多様な集団活動による課題の発見や解決を通してよりよい集団の形成や学校での生活を旨とする特別活動の意義を理解するとともに、取り上げた問題やトピックを様々な視点から考察することで、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等、特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付けます。

「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。

高等学校教員一種免許状の取得を希望する者以外の履修はできません。

発達科学部の学生も受講します。

また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、3分間スピーチ）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。

この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：ulx55hf）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 学習指導要領における特別活動の目標及び主な内容を理解することができる。
2. 教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連を理解することができる。
3. ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事の特質を理解することができる。
4. 教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方を理解することができる。
5. 特別活動における取り組みの評価・改善活動の重要性を理解することができる。
6. 合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の意義や指導の在り方を例示することができる。
7. 特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解することができる。

【成績の評価】

授業への取り組み（30%）提出物（40%）、模擬授業体験（30%）。

提出物は後日返却し、模擬授業体験はその都度コメントするとともに評価のコメントはオフィスアワーで行う。

【使用テキスト】

文部科学省『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』（平成30年）東洋館出版社...文部科学省のHPからダウンロードしたものでかまわない

【参考文献】

その都度指示する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校や教育委員会での教育や指導、管理の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を進めます。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	特別活動の意義・目標・内容と教育課程における位置づけ	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
2	特別活動の歴史的変遷	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
3	特別活動と生徒指導	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
4	特別活動とホームルーム経営	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
5	ホームルーム活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
6	生徒会活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
7	部活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
8	学校行事	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	特別活動の今	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
10	特別活動の指導の在り方（模擬体験授業の解説）	予習として、どのような模擬体験授業を行うのかを想定し授業の構成を考え、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
11	特別活動の指導の在り方（模擬体験授業の内容検討）	予習として、どのような模擬体験授業を行うのかを想定し授業の構成を考え、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
12	特別活動の指導の在り方（模擬体験授業の構成検討）	予習として、どのような模擬体験授業を行うのかを想定し授業の構成を考え、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
13	模擬体験（グループ発表）と振り返り	予習として、これまでの授業を振り返るために使用テキストを読み直し、特別活動の目標や意義を、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
14	模擬体験（グループ発表）と振り返り	予習として、これまでの授業を振り返るために使用テキストを読み直し、特別活動の目標や意義を、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
15	これからの特別活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP233

授業形態： 講義

科目名： 教育の方法及び技術【卒業要件外】

担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi),河田 祥司

【授業の紹介】

現代は高度情報通信社会と言われるように、スマホやタブレット等に代表される各種の情報メディアが開発され、よりに大量の情報生成、蓄積、流通等が可能になりました。このような社会で求められる能力とは、インターネットや新しいICTを活用でき、必要とする情報の選択、加工、創造、伝達等に関わる新しいコミュニケーション能力です。なおこの授業過程では、「学習者の新たな学びという、主体的で対話的な深い学び」を目標にアクティブラーニング(以下、ALと称する)の手法を取り入れた新しい教育改革の一端を経験することができます。

この科目では、学習者の豊かな発想や興味・関心に対応できる学習形態の中で、経験、観察や調査、情報検索、映像やCGなどが活用できる自由度の高いメディアの選択と活用を可能にする教育の方法と技術の修得を目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

1. 教育実践に必要な教育の方法に関する基礎的・基本的な知識の理解、技術の習得ができる。
2. 新しい学力観に対応した教授学習システムを設計することができる。
3. 情報ネットワークや情報メディアなど、ICTを活用した教育技術の習得ができる。
4. ALを体験することで、新しい教育方法・技術の活用方法が習得でき、教育者としての資質・力量の向上が養われる。

【成績の評価】

予習レポート(15%)、復習レポート(15%)、研究レポート(70%)、なお、予習レポートとは、主として授業前に予習した内容を、復習レポートとは、授業後に行った復習の結果をまとめて提出するもので、後日採点したものは返却する。研究レポートとは、最終試験に代わるものとして、当該科目に関するいくつかの課題から、幾つかを選択して報告書としてまとめて提出するものを指す。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

授業の中で適宜印刷物(資料)を配布します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	良い授業の調査から見る教育（保育）方法・技術の分析	予習（1時間）：良い授業の調査から見る教育（保育）方法・技術の分析の予習 復習（3時間）復習1時間：良い授業の調査から見る教育（保育）方法・技術の分析の復習	
2	子供の成長・発達段階における教育の役割の考察	予習（1時間）子供の成長・発達段階における教育の役割の予習 復習（3時間）子供の成長・発達段階における教育の役割の考察のまとめ	
3	学習指導要領における「確かな学力」の分析	予習（1時間）学習指導要領における「確かな学力」の分析の予習 復習（3時間）学習指導要領における「確かな学力」の分析の復習	
4	学習意欲の向上を図る動機付け理論の考察	予習（1時間）学習意欲の向上を図る動機付け理論の予習 復習（3時間）学習意欲の向上を図る動機付け理論の復習	
5	指導技術の向上を目指す方策の検討	予習（1時間）指導技術の向上を目指す方策の予習 復習（3時間）指導技術の向上を目指す方策の復習	
6	学習と成長を支える教育目標の分類体系の検討	予習（1時間）学習と成長を支える教育目標の分類体系の予習 復習（3時間）学習と成長を支える教育目標の分類体系の復習	
7	AL先進校の教育記録からみる有効性と限界の分析	予習（1時間）AL先進校の教育記録からみる有効性と限界の分析の予習 復習（3時間）AL先進校の教育記録からみる有効性と限界の分析の復習	
8	ICTの特徴と教育（保育）利用の有効性と限界の検討	予習（1時間）ICTの特徴と教育（保育）利用の有効性と限界の検討の予習 復習（3時間）ICTの特徴と教育（保育）利用の有効性と限界の検討復習	
9	ICTを活用した学習指導案（保育案）の作成	予習（1時間）ICTを活用した学習指導案（保育案）の作成の予習 予習（3時間）ICTを活用した学習指導案（保育案）の作成の復習	
10	情報社会の光と影（1）情報モラルと教育	予習（1時間）情報社会の光と影（1）情報モラルと教育の予習 復習（3時間）情報社会の光と影（1）情報モラルと教育の復習	
11	情報社会の光と影（2）未来への展望	予習（1時間）情報社会の光と影（2）未来への展望の予習 復習（3時間）情報社会の光と影（2）未来への展望の復習	
12	AL「主体的・対話的で深い学び」の授業過程の設計	予習（1時間）AL「主体的・対話的で深い学び」の授業過程の設計の予習 復習（1時間）AL「主体的・対話的で深い学び」の授業過程の設計の復習	
13	ALによる教育の円滑な実施（1）指導内容・方法の検討	予習（1時間）ALによる教育の円滑な実施（1）指導内容・方法の検討の予習	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習（1時間）ALによる教育の円滑な実施 （1）指導内容・方法の検討の復習	
14	ALによる教育の円滑な実施（2）人的環境等の検討	予習（1時間）ALによる教育の円滑な実施 （2）人的環境等の予習 復習（1時間）ALによる教育の円滑な実施 （2）人的環境等の検討復習	
15	教育の方法及び技術のまとめと展望	予習（1時間）教育の方法及び技術全体の振り返り 復習（3時間）教育の方法及び技術のまとめ	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP336
授業形態： 演習
科目名： 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法【卒業要件外】
担当教員： 松田 圭司

【授業の紹介】

この授業では、現代のICTの現状を知り、教育現場や校務でのICT（情報通信技術）活用状況等を学ぶ。講義および視聴覚資料による解説・事例紹介と、学生自身が各種ICT機器、環境を活用し、体験的に学修する機会を設けながら、授業における児童生徒および教員によるICT活用の他、授業の準備、学習評価に関する活用、校務における活用や教育データの活用を学ぶ。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

授業のテーマ及び到達目標

1. 情報通信技術の活用の意義と理論を理解する。
2. 情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について理解する。
3. 児童及び生徒に情報活用能力（情報モラルを含む。）を育成するための基礎的な指導法を身につける。

【成績の評価】

学生に対する評価

授業への取り組みとレポート課題（50%）、定期試験（50%）

提出されたレポートを返却することにより、フィードバックを行います。
オフィスアワーを設定しているので、利用すること。

【使用テキスト】

テキスト

教室へのICT活用入門（藤本 かおる 著、国書刊行会）ISBN-13：978-4336063397

【参考文献】

参考書・参考資料等

無理なくできる 学校のICT活用 タブレット・電子黒板・デジタル教科書などを使ったアクティブ・ラーニング（長谷川 元洋 著、学事出版）ISBN-13: 978-4761921903

小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	現代のICTの現状（ICTを支えるさまざまな技術要素を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
2	ICTの教育現場および校務での活用状況（現在学校で導入されているICT技術の具体例を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
3	教育現場でのICTの重要性および生かし方（教育現場で必要とされているICTの要素を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
4	特別の支援を必要とする児童、生徒のためのICTの活用（特別支援の各種ケースとICT適用の可能性の判断方法を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
5	ICT支援員など外部人材や大学などの外部機関やサポート機関との連携のありかた（ベンダのサポートIPAなど公的機関にはどのようなものがあるか？その活用方法について学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
6	学習場面に応じたICTを効果的に活用した指導事例【教材の作成方法】（実際に教材を作る際に有効なツールについて学ぶ。講義スライドや動画作成ツールなどを学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
7	学習場面に応じたICTを効果的に活用した指導事例【教材の活用、セキュリティ】（効果的な教材の活用方法およびネットワークセキュリティを確保するためのツールについて学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
8	教育データの採取、保管による指導、評価の実践（教務パッケージシステムやLMSの現状について学ぶ。クラウドストレージの有効活用について学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
9	遠隔、オンライン教育の意義およびシステムの利用方法（教務パッケージシステムやLMSそれらの操作方法などを学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
10	遠隔、オンライン教育の事例および問題点を確認（各種オンラインシステムの効果的な活用方法および問題点と改善策（将来像）などの方法を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間)	
11	統合型校務支援システムを含む情報通信技術を効果的に活用した校務の推進の方法（重要な校務の抽出、分析とそれらの概略業務フローについて学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
12	総合的な学習の時間において、横断的に育成する情報活用能力の内容について（科目の特性に関わらず、スムーズにICTを導入するための手法について学ぶ。）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
13	情報活用能力について各科目の指導事例を理解し、その指導方法の習得1（具体的な指導案の作成および対象科目の選定とその科目の特徴の明確化する。）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
14	情報活用能力について各科目の指導事例を理解し、その指導方法の習得2（指導案策定訓練、レポートの作成及び提出）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
15	将来の理想ICT教育のありかたについて、グループディスカッションおよびレポート作成（機器訓練も含む）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP234
授業形態： 講義
科目名： 生徒・進路指導論【卒業要件外】
担当教員： 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

生徒指導の進め方や進路指導・キャリア教育のあり方についての様々な問題やトピックを取り上げ、生徒が抱える課題などを見つけ解決する手法を身に付けます。

「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。

高等学校教員一種免許状の取得を希望する者以外の履修はできません。

発達科学部の学生も受講します。

また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、3分間スピーチ）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。

この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：2rnsi66）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	
		多面的思考能力	
		チーム活動能力	

【到達目標】

1. 生徒指導、進路指導・キャリア教育の理論と方法について理解することができる。
2. 生徒指導、進路指導・キャリア教育を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付けることができる。

【成績の評価】

提出物及び小レポート（50%）、学年末の最終レポート（50%）。
小レポートは後日返却し、最終レポートはオフィスアワーでコメントする。

【使用テキスト】

文部科学省『生徒指導提要（改訂版）』（令和4年）。… 文部科学省のHPからダウンロードしたものでかまわない

【参考文献】

その都度指示する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校や教育委員会での教育や指導、管理の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を進めます。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	生徒指導の基礎	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
2	生徒指導の方法原理	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
3	生徒指導の組織的な取組みと学校内外の連携	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
4	こども基本法	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
5	進路指導の進め方 - ほめ方と叱り方	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
6	生徒指導の諸問題（1）- インターネットと携帯電話	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
7	生徒指導の諸問題（2）- 校則	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
8	生徒指導の諸問題（3）- いじめ	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
9	生徒指導の諸問題（4）- 不登校	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
10	生徒指導の諸問題（5）- 懲戒と体罰	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
11	生徒指導の諸問題（6）- 暴力行為と少年非行	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
12	進路指導・キャリア教育の意義と教育課程における位置づけ	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
13	進路指導・キャリア教育の組織的な推進体制と連携	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
14	職業に関する体験活動とキャリア教育	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
15	生涯を通じたキャリア形成とキャリア・カウンセリング	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP331
授業形態： 講義
科目名： 教育相談【卒業要件外】
担当教員： 織田 幸美(ODA Yukimi)

【授業の紹介】

教育相談は、生徒の心理的発達を支援するための日常的な教育活動であり、教育の専門家としての教師にとって、教育相談に関する基礎の習得は不可欠です。幼児・児童・生徒の発達上直面する問題について柔軟に対応し、援助するためのスキルについて、体験的な活動も取り入れながら心理的成長を支える予防的援助について学習します。

この授業ではGoogle Classroom(クラスコード：gl7ixql)を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

到達目標は以下の4点である。

1. 学校における教育相談の意義と理論を理解することができる。
2. 教育相談を進める際に必要な基礎的知識を理解することができる。
3. 教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解することができる。
4. 学校での予防的心理教育の方法について理解し、実践力を高めることができる。

【成績の評価】

学期末試験(60%)と小レポート(40%)

小レポートについては、その都度、授業時に講評する。定期試験については教務課窓口及び教員研究室において模範解答を閲覧できるようにする。

【使用テキスト】

教師のための教育相談(2018年 西本絹子 萌文書林)

【参考文献】

絶対役立つ教育相談(2017年 藤田哲也監修 ミネルヴァ書房)
生徒指導提要(改訂版)デジタルバージョン(2022年 文部科学省)

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目である。小・中・高等学校の現場での教育相談担当教員やスクールカウンセラーの経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行う。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	現代の子どもと子育てをめぐる状況と教師に求められる役割	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
2	教育相談とは何かー教師のおこなう教育相談の役割・特徴	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
3	相談援助の理論ーカウンセリングとカウンセリングマインドの考え方を理解する。	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
4	相談援助の技術1ーカウンセリングマインドを活かす聴き方	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
5	相談援助の技術2ーカウンセリングマインドを活かす保護者との関係づくり	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
6	子ども理解1ー発達の視点から子どもを理解する	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
7	子ども理解2ー問題のアセスメント	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
8	子ども理解3 問題行動のとら	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
9	いじめ問題への対応	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
10	不登校への対応	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		めて提出すること。（2時間）	
11	特別な支援を要する子どもへの対応1－理解と支援の考え方	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
12	特別な支援を要する子どもへの対応2－支援の実際の基礎	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
13	障害のある子ども・気になる子どもへの保護者への対応	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
14	「困った保護者」・不適切な養育環境への対応	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
15	子ども支援と学級経営	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP351

授業形態： 講義

科目名： 教育実習事前事後指導【卒業要件外】

担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi), 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

高等学校で教育実習を行うための準備学習を行います。
実習後は振り返りと総括を行い、別に教育実習の報告会も実施します。
「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。
高等学校教員一種免許状の取得を希望する者以外の履修はできません。
また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		専門知識活用能力	
		多面的思考能力	

【到達目標】

- (1) 高等学校教諭の業務や職業倫理について理解し、教師としての使命感や倫理観を培うことができる。
- (2) 自己評価および自己課題の明確化を通して豊かな人間性を育むことができる。
- (3) 学校教育活動に必要な知識や判断力を習得することができる。
- (4) 学習指導計画の作成・実践・記録・評価等を体験する中で、教師として必要な技能、実践力を習得することができる。

【成績の評価】

授業への興味関心及び授業に積極的に参加する態度（20％）、提出物（30％）、発表（50％）
提出物はオフィスアワーで、発表はその都度コメントします。

【使用テキスト】

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 情報編（文部科学省 開隆堂出版）
又は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 商業編（文部科学省 実教出版）

【参考文献】

必要に応じてその都度指定する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	教育実習の意義・目的・内容等について	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、要点をノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
2	実習校の研究と実習上の留意点	予習として、実習予定の高等学校について調べその特徴などを整理し、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
3	小論文の書き方と教材研究について	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、要点をノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
4	学習指導と生活指導の方法	予習として、予定されている授業内容を確認し、これまでに受けた講義のテキスト、資料等から要点を整理し、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
5	学習指導案の作成	予習として、教育実習において担当が予想される項目について指導案が書けるように、項目等をノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
6	模擬授業の実施と批評	予習として、模擬授業ができるように準備すること。（2時間） 復習として、批評された内容から模擬授業を構成し直し、学習指導要領を修正しておくこと。（2時間）	
7	教育実習事前学習の振り返り	予習として、これまでの授業を振り返り、教育実習への心構えなどをノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、授業中にあった教員からの最後のアドバイスをノート等にまとめ、教育実習に備えること。（2時間）	
8	教育実習体験後の報告及び指導助言	予習として、教育実習の際に用いたノートを整理しておくこと。（2時間） 復習として、教育実習報告会に向けた資料を作成すること。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP352

授業形態： 実習

科目名： 高等学校教育実習【卒業要件外】

担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi), 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

関係する高等学校現場で2週間を過ごし、教員として実際に生徒の指導ができるようになるための実習を行います。「教職に関する科目」の中で総仕上げとも言える授業です。
「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。
高等学校教員一種免許状の取得を希望する者以外の履修はできません。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	

【到達目標】

学校現場で教職員や生徒と接することを通して、高等学校の教員として教壇に立つために必要な知識や技能を身につけることができる。

【成績の評価】

実習中の様々な活動状況や成果（80％）、学習態度（20％）
提出物は添削し返却します。

【使用テキスト】

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 情報編（文部科学省 開隆堂出版）
又は、高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）解説 商業編（文部科学省 実教出版）

【参考文献】

なし

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	学校の教育方針や特色ある教育について	教育実習、「学校の教育方針や特色ある教育についてのまとめ」（4時間）	
2	指導講話 学習指導について	教育実習、「指導講話 について」のまとめ（4時間）	
3	指導講話 生活指導について	教育実習、「指導講話 について」のまとめ（4時間）	
4	指導講話 実習全般について	教育実習、「指導講話 について」のまとめ（4時間）	
5	学級の実態と学級経営について	教育実習、「学級の実態と学級経営について」のまとめ（4時間）	
6	学級事務についての考え方と実習について	教育実習、「学級事務についての考え方と実習について」のまとめ（4時間）	
7	学習指導案の立案・考え方について	教育実習、「学習指導案の立案・考え方について」のまとめ（4時間）	
8	示範授業の参観と研究	教育実習、「授業の参観と研究」のまとめ（4時間）	
9	授業参観と授業記録の取り方について	教育実習、「授業参観と授業記録の取り方について」の復習（4時間）	
10	教材研究の仕方と学習指導案の書き方について	教育実習の指導案の作成（4時間）	
11	授業参観（学習過程、板書、発問等）	教育実習、観察参加の復習と指導案作成に（4時間）	
12	授業参観（生徒の反応、つぶやき、表情）	教育実習、授業参観のまとめ（4時間）	
13	問題のある生徒の実態把握	教育実習全般のまとめ（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP353

授業形態： 演習

科目名： 教職実践演習（高校）【卒業要件外】

担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi), 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki), 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori), 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

教職課程やそれ以外の授業科目、その他の種々の活動を通して学生が身につけた資質・能力が、教員として最小限必要なものとして形成され有機的に統合されたかについて個々の授業計画の中で確認し、1年次より記録してきた教職ポートフォリオを活用し振り返り、討議、現地調査、事例研究、ロールプレイング、演習などを通して定着を図ります。
後期開講ですが、必要に応じて前期にも時間を調整して実施することがあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心をもち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	
		コミュニケーション能力	
		専門知識活用能力	

【到達目標】

- (1) 高等学校教員としての使命感や責任感、教育的愛情等を身につけることができる
 - (2) 高等学校教員としての社会性や対人関係能力を身につけることができる
 - (3) 高校生についての理解や学級経営等に関する知識を身につけ、基礎的経験をすることができる
 - (4) 高等学校の教育課程や指導についての知識と指導力を形成することができる
- 以上4点を目標とします。

【成績の評価】

毎回についてのまとめ、討議や発表における参加度30%、提出物70%で評価する。
フィードバックとして、提出物等は、添削し返却する。
また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】

文部科学省『高等学校学習指導要領』2019年。
ただし、他の文献でこれが掲載されているものでもよい。

【参考文献】

特に指定しない。資料を適宜配付する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 佃 平畑、山口、花城 本演習の目的と進め方	授業での課題作成（4時間）	
2	オリエンテーション 佃 平畑、山口、花城 教職を取り巻く現代的問題の考察（討議）	授業での課題作成（4時間）	
3	履修全体の振り返りと検討課題の確認 平畑、山口、花城 履修内容の整理と成果及び問題点のまとめ （教職ポートフォリオの整理）	授業での課題作成（4時間）	
4	履修全体の振り返りと検討課題の確認 平畑、山口、花城 発表	授業での課題作成（4時間）	
5	使命感、責任感、教育的愛情等に関する事項 平畑 高等学校教員のあり方と実際	授業での課題作成（4時間）	
6	使命感、責任感、教育的愛情等に関する事項 平畑 発表	授業での課題作成（4時間）	
7	高等学校の現状と課題に関する事項 山口 県下高等学校の学校経営や教育行政の状況	授業での課題作成（4時間）	
8	高等学校の現状と課題に関する事項 山口 討議	授業での課題作成（4時間）	
9	社会性や対人関係能力に関する事項(2) 平畑、山口、花城 教員に求められるマナーや社会性の検討	授業での課題作成（4時間）	
10	社会性や対人関係能力に関する事項(2) 平畑、山口、花城 演習	授業での課題作成（4時間）	
11	社会性や対人関係能力に関する事項(3) 平畑、山口、花城 生徒への対応	授業での課題作成（4時間）	
12	社会性や対人関係能力に関する事項(3) 平畑、山口、花城 保護者への対応	授業での課題作成（4時間）	
13	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(1) 平畑 生徒の理解について(講義)	授業での課題作成（4時間）	
14	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(1) 平畑 同(演習)	授業での課題作成（4時間）	
15	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(2) 平畑 生徒の理解について(講義)	授業での課題作成（4時間）	
16	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(2) 平畑 同(演習)	授業での課題作成（4時間）	
17	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(3) 平畑 生徒の理解について(講義)	授業での課題作成（4時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
18	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(3) 同（演習）	授業での課題作成（4時間）	
19	教育内容の指導力に関する事項(1) 平畑 教育課程の編成原理等の理解（講義）	授業での課題作成（4時間）	
20	教育内容の指導力に関する事項(1) 平畑 討議	授業での課題作成（4時間）	
21	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(3) 花城 保護者の声を聞く	授業での課題作成（4時間）	
22	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(3) 花城 討議	授業での課題作成（4時間）	
23	教育方法の指導力に関する事項(3) 山口 新しい教育方法や技術の検討（講義）	授業での課題作成（4時間）	
24	教育方法の指導力に関する事項(3) 山口 演習	授業での課題作成（4時間）	
25	新しい高等学校教育 平畑 教育課程特例制度などの検討（現地調査）	授業での課題作成（4時間）	
26	新しい高等学校教育 平畑 教育課程特例制度などの検討（現地調査）	授業での課題作成（4時間）	
27	教員に求められる資質・能力のまとめ(1) 平畑、山口、花城 討議	授業での課題作成（4時間）	
28	教員に求められる資質・能力のまとめ(1) 平畑、山口、花城 総括	授業での課題作成（4時間）	
29	教員に求められる資質・能力のまとめ(2)佃、平畑、山口、花城 発表	授業での課題作成（4時間）	
30	教員に求められる資質・能力のまとめ(2) 佃、平畑、山口、花城 発表と総括	授業での課題作成（4時間）	
	定期試験(実施しない)		